

日本美術年鑑：昭和46年版（1970.1-12）

著者	東京国立文化財研究所美術部（美術研究所） 編
出版年月日	1972-03-28
URL	http://doi.org/10.18953/00005634



YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

昭和 46 年 版 (1970. 1—12)

美 術 研 究 所

NATIONAL INSTITUTE OF ART RESEARCH

12—53 UENO-PARK, TAITO-KU. TOKYO

序

美術界の年間における動向を把握してこれを記録にとどめることはなかなか容易でない。本年鑑は発刊以来、現代美術並びに古美術にわたり、その動向を客観的に偏りなく捉えるための資料を提供することに主眼をおいてきた。しかも、わが美術界は近年すこぶる活況を呈し、諸美術団体の定期展をはじめとして、随時の展覧会もその数を増し、更に各都市の諸画廊における個展・グループ展等の開催も相次ぎ、また古美術界をみても、国宝・重要文化財の新指定と相表裏して、国・公立博物館や諸財団の美術館における特別展も頻度を増し、加うるに諸新聞社・デパート、あるいはその他の関係団体が企画した国際的な美術展覧会の増加により、新しい文化交流の時代も現出しつつある。一方東西美術関係の研究論文や現代美術に関する評論の発表、研究書、解説書、図録類の刊行等もまた枚挙にいとまのない実情である。

本年鑑はこのような美術界の盛況を、その豊富さと多様性において反映させるよう、必要な資料を集約載録して瞭然たらしめることに意を注ぎ、記事採択の適正と内容の充実とに努力している。しかし、前述のような美術界の現状は、もはや当年鑑の記録蒐集機能の限度を越すにいたり、とりわけ美術展覧会の多数化と美術関係施設、美術家の増加は著しいものがあり、その適正な採録は期しがたいと思われるので、美術展覧会はその主要展の記載にとどめ、受賞一覧その他と便覧はやむなく割愛した。なお、この間にも思わぬ過誤や不備の点がないとは限らない。利用される方々の叱正と教示とを得ることができれば幸甚である。

この年鑑の編集は従来通り当研究所美術部(美術研究所)第2研究室の諸君がこれに当り、更に資料室・第1研究室および庶務課の諸君もこれを援助するところが多かった。なお、この年鑑の編集に当っては、常に諸官庁や美術関係の公私機関をはじめ、多数の学者作家等の御援助を煩わしている。殊に文化庁、国立美術館・博物館、各地の諸新聞社、雑誌社、美術館、研究所、学校、美術団体、画廊等の御援助に待つところが少くない。ここにこれら諸機関の当事者諸賢に対して深甚の謝意を表する。

昭和46年12月

東京国立文化財研究所

美術部長 中 川 千 咲

凡 例

1 本年鑑は、昭和45年1月から同年12月に至る1年間の美術界の主要な出来事を掲載した。

1 本年鑑は、「図版」「本欄」の二部からなり、「図版」には上記期間中に発表された注目すべき作品の写真を主として掲載し、「本欄」は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。

従来さらに巻末に「便覧」を付したが、本年はこれを省略した。

1 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫塑、工芸、書、および建築に限っている。絵画のうち、日本画と洋画の区別は困難な場合もあるが、ほぼ慣例に従った。建築と工芸はわれわれの注意をひく範囲にとどめ、書は古美術に限った。

1 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。

1 美術展覧会の欄は、展覧会名、日付、場所の順に略記したが、場所が東京の場合にはすべてこれを略し、デパートの場合には日本橋の東急・高島屋・三越の日本橋を、また渋谷の東急、銀座の松屋、池袋の西武等の渋谷・銀座・池袋を省略した。

1 美術文献目録についてはそれぞれ項目の初めに凡例を記した。

なお「図版」に用いた写真は主に高林・村井・三友写真研究所の写真と諸雑誌よりの複写によることを記して資料提供の謝意に代えさせていただく。

目次

目次

序	1
凡例	3

目次	4
図版目録	4

〔本欄〕

昭和45年美術界年史	1
主要美術展覧会	6
物故者	97
美術文献目録	111
凡例	111

目次	111
定期刊行物所載文献	112
現代美術・西洋美術	112
東洋古美術	172
単行図書	186

図版目録

日本画

1 高秋(奥田元宋展)	奥田元宋
2 春泥二(20回記念新興展)	小林巢居人
3 五浦(55回院展)	塩出英雄
4 ねねと茶々(シ)	北沢映月
5 濤(17回日府展)	中村恵一郎
6 出陣の舞(55回院展)	安田靉彦
7 条(第三文明展)	田所量司
8 白い宙(55回院展)	下田義寛
9 腑分(シ)	前田青邨
10 砂に還る(シ)	守屋多々志
11 姉妹(シ)	小倉遊亀
12 曲水の宴(左)(シ)	森田曠平
13 曲水の宴(右)(シ)	シ
14 座羅のトルキスタン遺跡(シ)	平山郁夫
15 雅日(シ)	堅山南風
16 樹海(シ)	松尾敏男
17 天鈿女命(シ)	月岡栄貴
18 榕樹(シ)	郷倉和子
19 雪後山水(34回新制作展)	麻田鷹司
20 大和路(55回院展)	奥村土牛
21 異邦の人々(34回新制作展)	上野泰郎
22 暮色の川(シ)	上原卓
23 小漣(シ)	稗田一穂
24 遠い驟雨(シ)	太田正弘
25 沼(2回日展)	小野竹喬
26 寥(シ)	池田遙邨
27 獅子(シ)	山口華楊

28 雪の城(2回日展)	東山魁夷
29 響(シ)	杉山寧
30 樹蒼(シ)	大島秀信
31 母(シ)	高山辰雄
32 カンガルー(シ)	入江西一郎
33 富士西湖(シ)	西山英雄
34 椅子の上(シ)	森田沙伊
35 残照の浜(シ)	加藤東一

洋画

36 オルフエウスの海に(22回立軌展)	吉村保三
37 満月(シ)	田屋幸男
38 投影A(シ)	丹野正弘
39 日昏れ(シ)	小川イチ
40 早雲山(14回新槐樹社展)	堀田清治
41 トレドの塔(シ)	岡野正樹
42 レッテルがないの。(1970年 モダンアート展)	加藤三男
43 EXPO 70によせて(シ)	岡本公夫
44 方丈B(シ)	朝妻治郎
45 カラースケールのある造花のバ ラの絵(シ)	阪本文男
46 パベルの塔(シ)	勝呂忠
47 冬池(58回日本水彩展)	水野以文
48 玉乃島清国(シ)	石井鶴三
49 double figure 1. II (44回国展)	大沼映夫
50 増幅する(シ)	福留章太
51 日本忍呪しぱり(シ)	小牧源太郎
52 断崖(シ)	庫田發

目次

53	造船(47回春陽会)……………加	山 四 郎	102	アトレミレイ(25回行動展)……………田	中 阿喜良
54	雪の朝(シ)……………中	谷 泰	103	求心都市(34回新制作展)……………西	村 元三朗
55	朝の城(シ)……………岡	鹿之助	104	ドンキホーテ讃歌(シ)……………角	浩
56	微風(56回光風会展)……………花	田 忠 吾	105	虫の演奏会(16回一陽展)……………野	間 仁 根
57	作品1970(44回国展)……………須	田 剋 太	106	赤の中に二つの四角のある風景 (34回新制作展)……………糸	田 芳 雄
58	雪の朝(36回東光展)……………家	永 駢三郎	107	他人の空の出来ごと(16回一陽 展)……………北	山 泰 斗
59	春(56回光風会展)……………大	沢 海 蔵	108	三人の踊り子(34回新制作展)……………小	磯 良 平
60	女(シ)……………宮	崎 進	109	寒い休日(32回一水会展)……………上	田 哲 農
61	海辺一景(36回東光展)……………葦	名 芳 夫	110	アディオス(シ)……………小松崎	邦 雄
62	床上静物(29回創元展)……………井	上 和	111	BEL AVENIR(24回二紀会 展)……………星	崎 孝之助
63	秋の静物(36回東光展)……………江	藤 哲	112	清水門(シ)……………三	輪 勇之助
64	家郷(56回光風会展)……………笹	岡 了 一	113	野の少女(32回一水会展)……………北	村 巖
65	船(29回創元展)……………樋	口 治 平	114	山湖残雪(シ)……………高	田 誠
66	ゲレンデ(56回光風会展)……………小	寺 健 吉	115	山の遊び場(24回二紀会展)……………中	川 紀 元
67	祭(29回創元展)……………高	島 常 雄	116	黒い二人(シ)……………中	西 勝
68	水辺に遊ぶ(50回記念朱葉会展)……………田	栗 テ ル	117	ある風景B(34回自由美術展)……………一	木 平 蔵
69	風(66回太平洋美術展)……………小	林 孝 一	118	石像(38回独立展)……………鳥	海 青 兄
70	江北鹿浜獅子舞(シ)……………椿	悦 至	119	西域の月(シ)……………緑	川 広太郎
71	妙A(50回記念朱葉会展)……………吉	田 ふじを	120	秩父果場(シ)……………斎	藤 長 三
72	ささやき「私語」(42回新構造社展)……………本	目 勇 市	121	タイルの部屋(シ)……………松	樹 路 人
73	零地帯の工場(18回光陽会展)……………鷺	田 新 太	122	漁港尺雪(2回日展)……………小	糸 源太郎
74	ブハラの嚙タバコ売り(26回現 代美術家協会展)……………三	浦 勝 治	123	花と人形(24回二紀会展)……………田	村 孝之介
75	海と起重機(6回主体美術展)……………大	野 五 郎	124	おどりの牀(32回一水会展)……………木	村 辰 彦
76	宙に在るモノ(26回現代美術家 協会展)……………原	田 雅 兆	125	12345(34回新制作展)……………玉	置 正 敏
77	ダムA(6回主体美術展)……………深	見 公 道	126	浴泉(24回二紀会展)……………宮	本 三 郎
78	夏(シ)……………羽	原 智 達	127	デントロビュウム(シ)……………黒	田 重太郎
79	待春(22回三軌会展)……………井	川 徳 造	128	記録(34回自由美術展)……………八	幡 健 二
80	モロッコ「土」(シ)……………市	川 正 三	129	晨光桜島(2回日展)……………田	村 一 男
81	二つの顔(13回新象展)……………下	田 悌二郎	130	坐像(シ)……………寺	島 龍 一
82	鬼哭図「イ」(シ)……………吉	川 慧 介	131	赤い十字架「A」(24回二紀会展)……………佐	野 繁次郎
83	横むいた犬(24回女流画家展)……………戸	川 ふみ子	132	四次防(34回自由美術展)……………井	上 長三郎
84	エデンの夕辺(シ)……………島	あふひ	133	窓外夜景(2回日展)……………檜	原 健 三
85	Space(13回新象展)……………萩	駿	134	猫と少年(シ)……………所	栄 次
86	憩う舞妓「お囃子」(24回新樹会展)……………島	村 三七雄	135	闘牛(シ)……………岡	田 又三郎
87	囃子(シ)……………武	田 邦 雄			
88	祭礼(シ)……………朝井	閑右衛門			
89	赤と白の対話(シ)……………桂	ゆ き			
90	PARIS(24回女流画家展)……………後	藤 よ志子			
91	まちとひと(24回新樹会展)……………中	神 潔			
92	Tきゆう舎にて(シ)……………三	宅 悦 隆			
93	ダフネ(55回二科展)……………大	沢 昌 助			
94	夏の宿題(シ)……………北	川 民 次			
95	オホツーク海(シ)……………服	部 正一郎			
96	昭和南山(25回行動展)……………田	辺 三重松			
97	居酒屋(55回二科展)……………中	村 直 人			
98	白い壺の寓話(25回行動展)……………河	野 通 紀			
99	ある構想(シ)……………斎	藤 真 成			
100	鬼ヶ島(シ)……………田	中 稔 之			
101	上流(シ)……………大	森 朔 衛			

版 画

136	夢想記一夜(2回フィレンツェ 国際版画ビエンナーレ展)……………田	村 文 雄
137	天使昇天 No 3 (38回日本版画 協会展)……………萩	原 英 雄
138	作品S 7—1970(7回東京国際 版画ビエンナーレ展)……………船	坂 芳 助
139	神にとっては一個の輪舞な時計 (1回版画グランプリ展)……………渡	辺 栄 一
140	北山時雨(44回国展)……………関	野 準一郎
141	闇・コンポジション(7回東京国 際版画ビエンナーレ展)……………黒	崎 彰

目次

- 142 レインボー北斎・ポジションB
(7回東京国際版画ビエン
ナーレ展)……………鵜 堀
143 歳月(個展)……………清 宮 質 文

彫 刻

- 144 球(14回新槐樹社展)……………岡 政 敏
145 3.25 mのクロバエの羽(国際鉄
鋼彫刻シンポジウム「万国博
会場」)……………若 林 奮
146 リフレクションR-1(1970年モ
ダンアート展)……………広 井 力
147 無題(国際鉄鋼彫刻シンポジウ
ム「万国博会場」)……………伊 原 通 夫
148 作品1970(国際鉄鋼彫刻シンポ
ジウム「万国博会場」)……………飯 田 善 国
149 杜の詩(44回国展)……………荒 川 明 照
150 部屋或はマイホーム(44回国展)……………鈴 木 実
151 スミ(10回日本国際美術展)……………成 田 克 彦
152 遺跡の時刻(44回国展)……………堀 川 恭
153 空に向う(44回国展)……………本 田 貴 侶
154 トルソ(個展)……………朝 倉 響 子
155 墨客漫歩(18回日彫展)……………斎 藤 知 雄
156 ヴィナス(66回太平洋美術展)……………白 井 保 春
157 人間家族「娘の肖像」(個展)……………島 田 勝 吾
158 16個の単体(10回日本国際美術
展)……………高 松 次 郎
159 Musée de l'Homme(須磨離
宮公園2回現代彫刻展)……………保 田 春 彦
160 限界状況(5回ジャパン・アート
フェスティバル)……………菅 木 志 雄
161 花園(24回新樹会展)……………木 内 克
162 屈む(ク)……………千 野 茂
163 女(メ)……………広 瀬 和 子
164 水面(2回現代彫刻展)……………多 田 美 波
165 空にかかる階段(25回行動展)……………富 樫 実
166 作品1970(2回現代彫刻展)……………土 谷 武
167 閉じられた泡沫又はPANDORA-
A(25回行動展)……………建 畠 覚 造
168 女の華(16回一陽展)……………山 崎 猛
169 ニョロ、ニョロ(個展)……………安 原 喜 武
170 045-ドライブ(16回一陽展)……………蜜波羅 伸 三
171 夏の日の思い出(個展)……………土 田 隆 生
172 蝗(55回二科展)……………小 畠 広 志
173 夏の海(55回二科展)……………淀 井 敏 夫
174 愛して、愛して(24回二紀会展)……………堀 義 雄
175 立つ(タ)……………桑 原 巨 守
176 立像(34回新制作展)……………富 松 孝 佑
177 男と女(タ)……………細 川 宗 英

- 178 こわれゆく形態No.4(34回自由
美術展)……………中 島 一 雄
179 緑蔭(34回新制作展)……………加 藤 昭 男
180 無草の群4(ク)……………本 郷 新
181 海の向日葵No.5(34回自由美
術展)……………松 本 光 司
182 紡ぎ唄(2回日展)……………水 船 六 洲
183 一如(ク)……………長谷川 昂
184 国境(34回自由美術展)……………光 坂ヒデノリ
185 若き女(2回日展)……………大須賀 力
186 幻花(ク)……………和 田 金 剛
187 沙汀(ク)……………堀 進 二
188 和(34回自由美術展)……………北 村 隆 博
189 裸婦(2回日展)……………清 水 多 嘉 示
190 髪(ク)……………横 山 豊 介
191 楽屋(ク)……………圓 鋳 勝 三
192 子は宝(木彫小品個展)……………森 大 造
193 スカートをはいいた女(個展)……………小 沢 勇 寿 郎
194 女(太平洋秋季展)……………平 野 敬 吉

遺作・回顧

- 195 静物(岸田劉生展)……………岸 田 劉 生
196 卑弥呼(安田靫彦展)……………安 田 靫 彦
197 腰かけた女(山本豊市作品展)……………山 本 豊 市
198 賑やかな連中(池部釣遺作展)……………池 部 釣
199 青年像(木内克の全貌展)……………木 内 克
200 卓上菓果(小出檜重展)……………小 出 檜 重

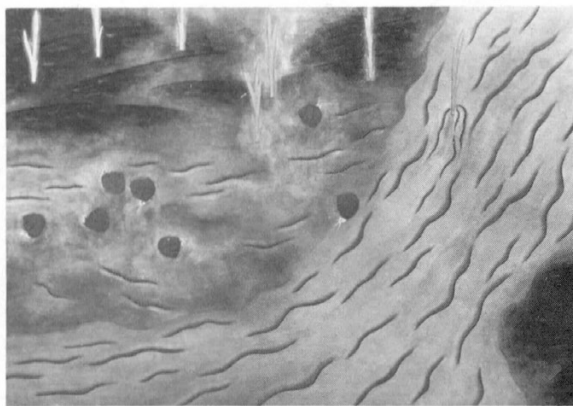
外 国

- 201 キュクロプス・プラン(7回東
京国際版画ビエンナーレ展)……………ルギンビュール
202 誕生日のテーブル(日本万国博)……………ハインリッヒ・
ブルマック
203 五感のうち「視覚」(現代イギリ
ス美術展)……………ジョー・ティル
ソン
204 包装した床(10回日本国際美術
展)……………ク リ ス ト
205 分割された円のマケット(ヘッ
プワース展)……………バーバラ・ヘッ
プワース
206 水円盤(日本万国博)……………ジョージ・ペー
カー
207 欲望の鳥(現代インド絵画展)……………バドリ・ナラヤ
ン
208 生命のダンス(ムンク展)……………エドワルド・ム
ンク

版 図



1 高秋（奥田元宋展）奥田元宋



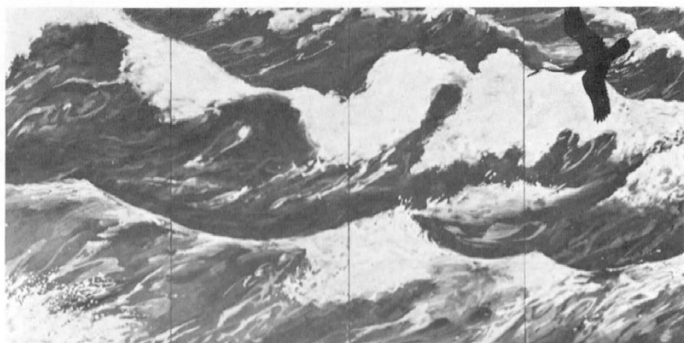
2 春泥二（20回記念新興展）小林巢居人



3 五浦（第55回院展）塩出英雄



4 ねねと茶茶（第55回院展）北沢映月



5 雨（17回日府展）中村恵一郎

日本画



6 出陣の舞 (55回院展) 安田 靱彦



7 条 (第三文明展) 田所 量司



8 白い宙 (55回院展) 下田 義寛



9 膳分 (55回院展) 前田 青邨



10 砂に還る (55回院展) 守屋 多々志



11 姉妹 (55回院展) 小倉 遊亀



12 曲水の宴(左)(55回院展)森田 曠平



13 曲水の宴(右)(55回院展)森田 曠平



14 塵囂のトルキスタン遺跡(55回院展)平山 郁夫



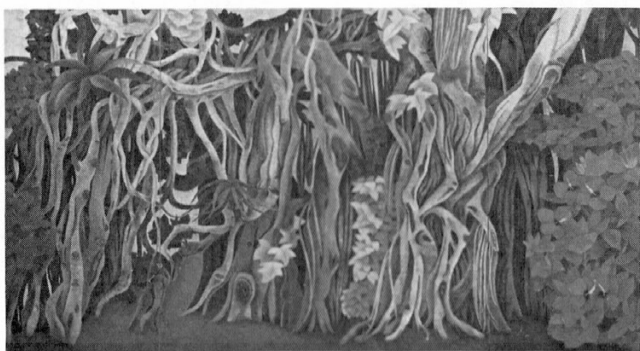
15 雅日(55回院展)堅山 南風



16 樹海(55回院展)松尾 敏男



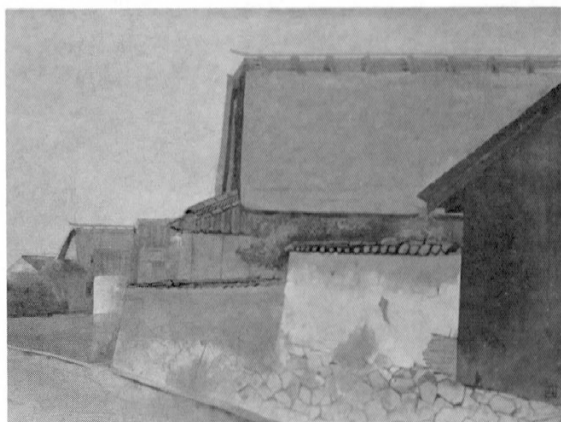
17 天鈿女命(55回院展)月岡 栄貴



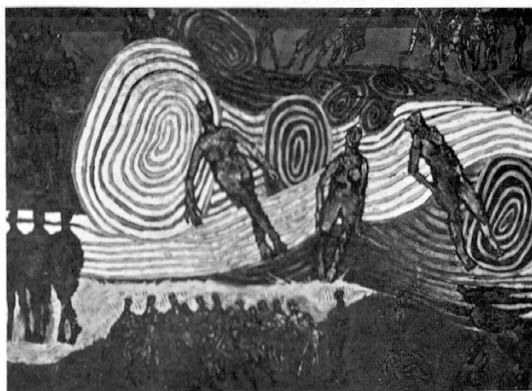
18 楷樹 (55回院展) 郷 倉 和 子



19 雪後山水 (34回新制作展) 麻 田 鷹 司



20 大和路 (55回院展) 奥 村 土 牛



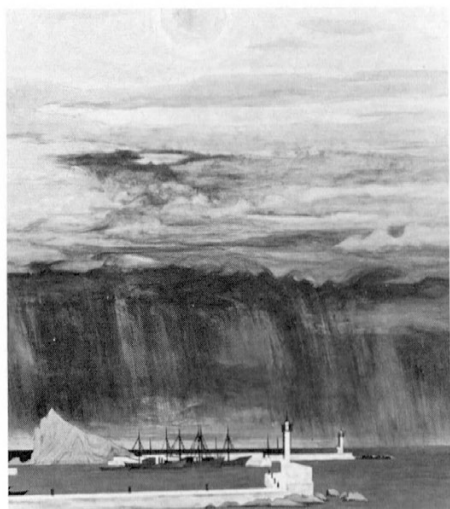
21 異邦の人々 (34回新制作展) 上 野 泰 郎



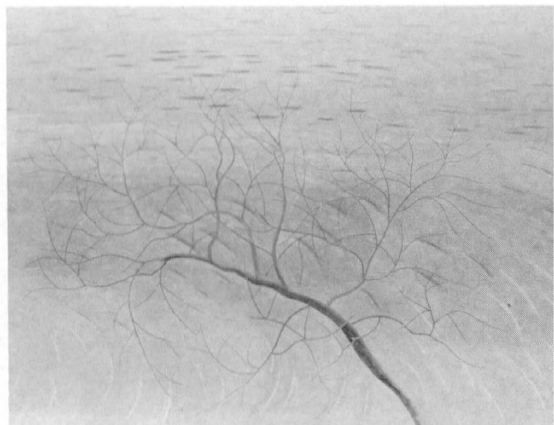
22 暮色の川 (34回新制作展) 上 原 卓



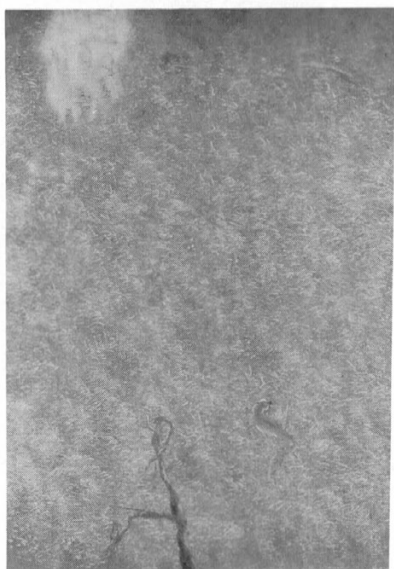
23 小澁 (34回新制作展) 稗 田 一 穂



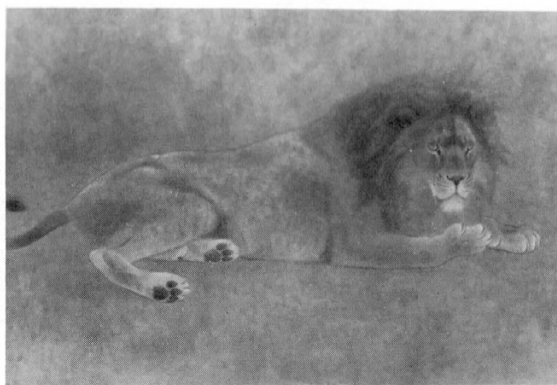
24 遠い驟雨 (34回新制作展) 太田正弘



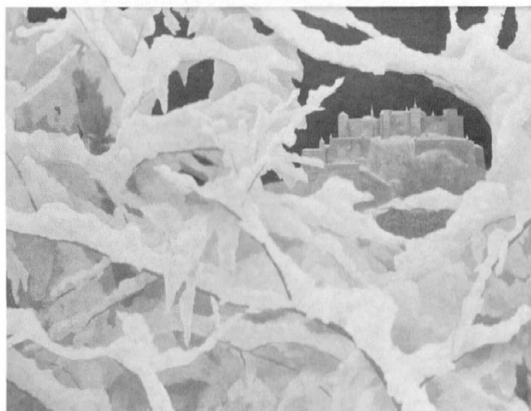
25 沼 (2回日展) 小野竹喬



26 寥 (2回日展) 池田遙邨



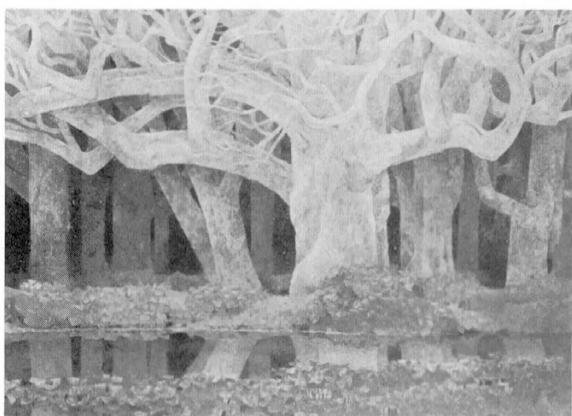
27 獅子 (2回日展) 山口華楊



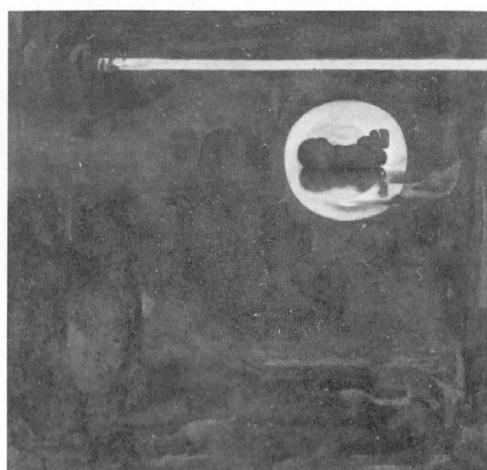
28 雪の城 (2回日展) 東山魁夷



29 響 (2回日展) 杉山寧



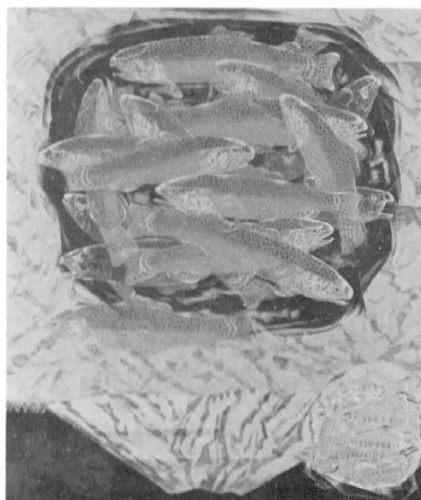
30 樹蒼 (2 回日展) 大 島 秀 信



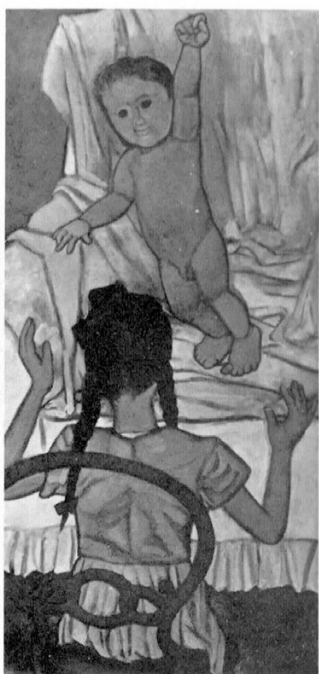
31 母 (2 回日展) 高 山 辰 雄



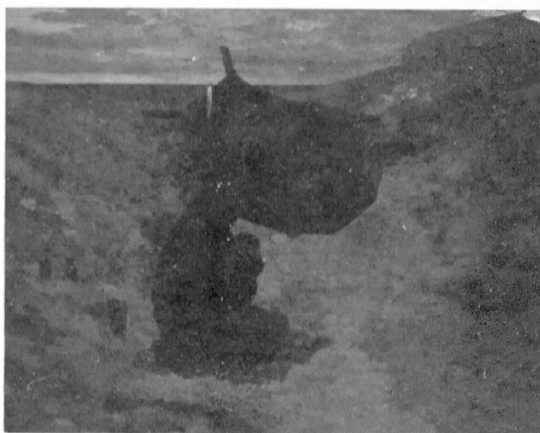
32 カンガルー (2 回日展) 入 江 西 一 郎



33 富士西湖 (2 回日展) 西 山 英 雄



34 椅子の上 (2 回日展) 森 田 沙 伊



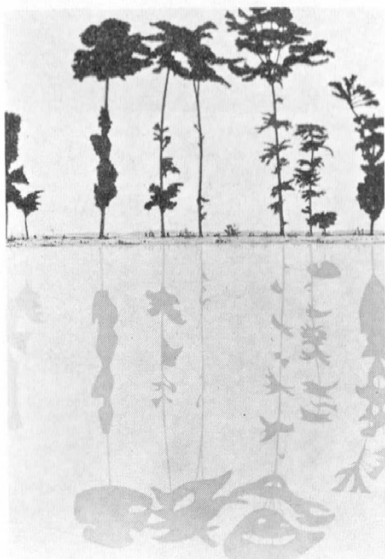
35 残照の浜 (2 回日展) 加 藤 東 一



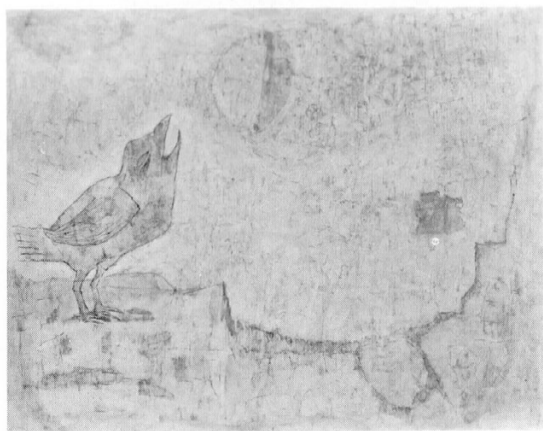
36 オルフエウスの海に (22回立軌展) 吉 村 保 三



37 満月 (22回立軌展) 田 屋 幸 男



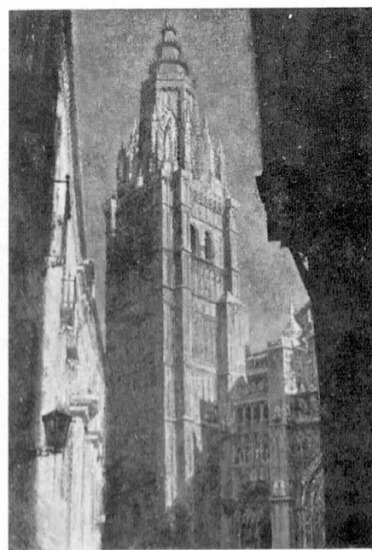
38 投影A (22回立軌展) 丹 野 正 弘



39 日昏れ (22回立軌展) 小 川 イ チ

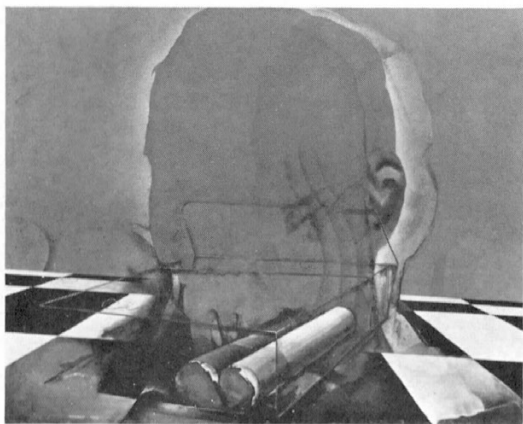


40 早雲山 (14回新槐樹社展) 堀 田 清 治



41 トレドの塔 (14回新槐樹社展) 岡 野 正 樹

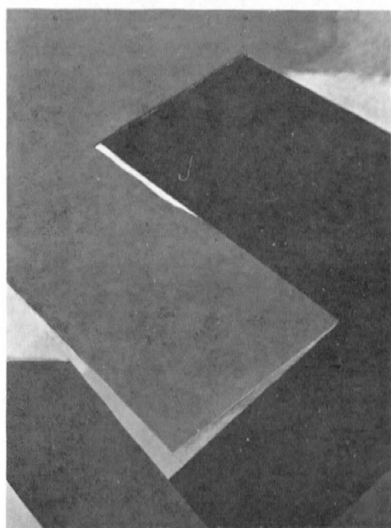
洋 画



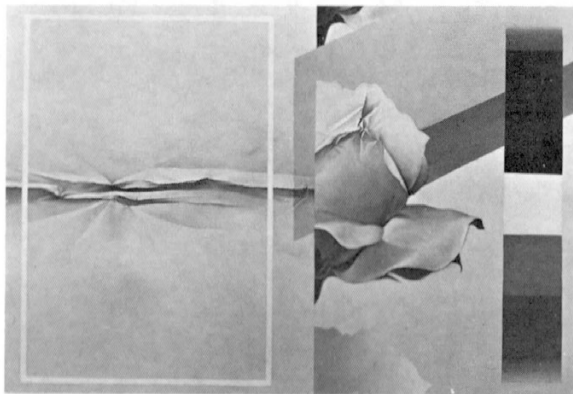
42 レッテルがないの / (ろ) (1970年モダンアート展) 加藤 三 男



43 EXPO 70によせて (1970年モダンアート展) 岡 本 公 夫



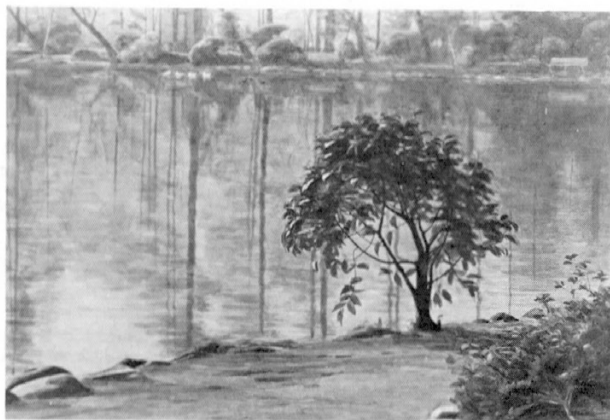
44 方丈B (1970年モダンアート展) 朝 妻 治 郎



45 カラースケールのある造花のバラの絵 (1970年モダンアート展) 阪 本 文 男



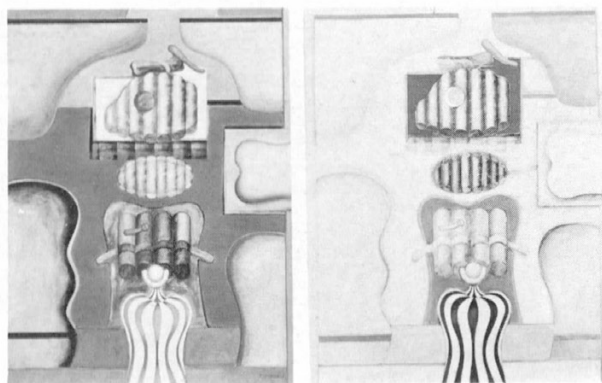
46 バベルの塔 (1970年モダンアート展) 勝 呂 忠



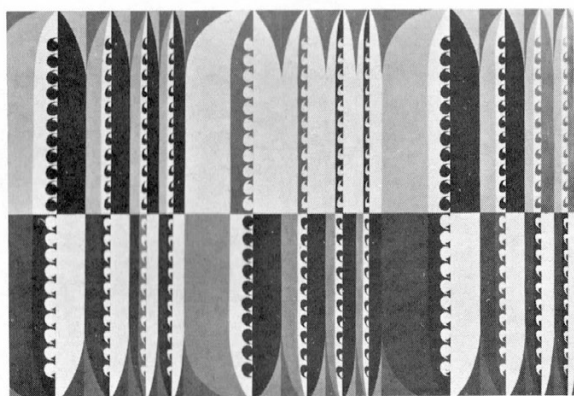
47 冬池 (58回日本水彩展) 水 野 以 文



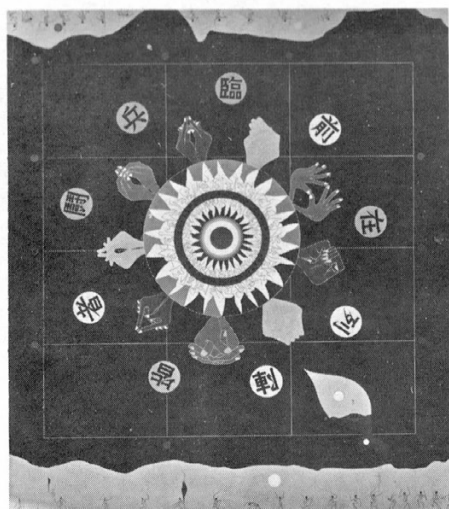
48 玉乃島清国(58回日本水彩展)石井鶴三



49 double figure I, II (44回国展)大沼映夫



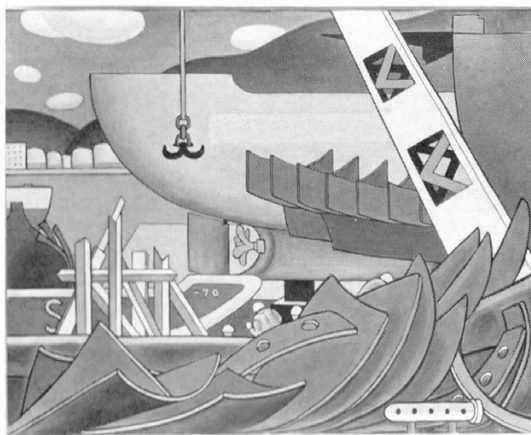
50 増幅する(44回国展)福留章太



51 日本忍呪しぼり(44回国展)小牧源太郎



52 断崖(44回国展)庫田 裂



53 造船(47回春陽会展)加山四郎



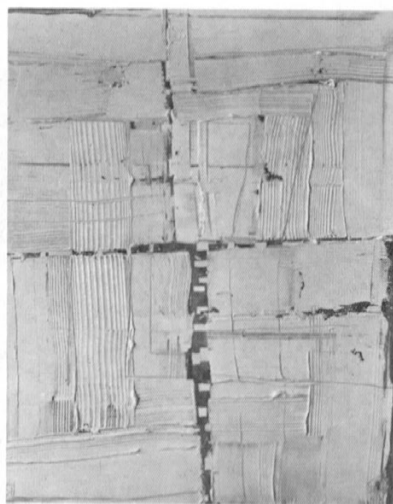
54 雪の朝 (47回春陽会展) 中 谷 泰



55 朝の城 (47回春陽会展) 岡 鹿之助



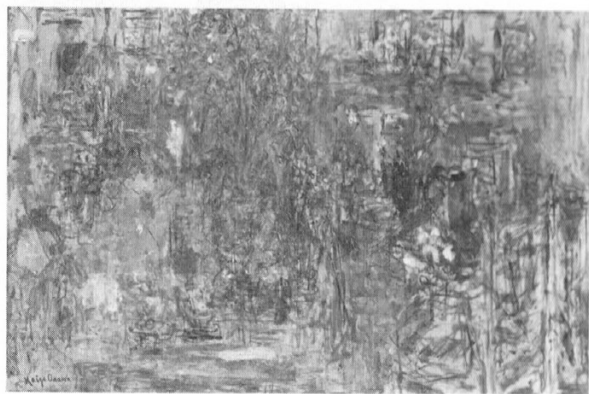
56 微風 (56回光風会展) 花 田 忠 吾



57 作品1970 (44回国展) 須 田 魁 太



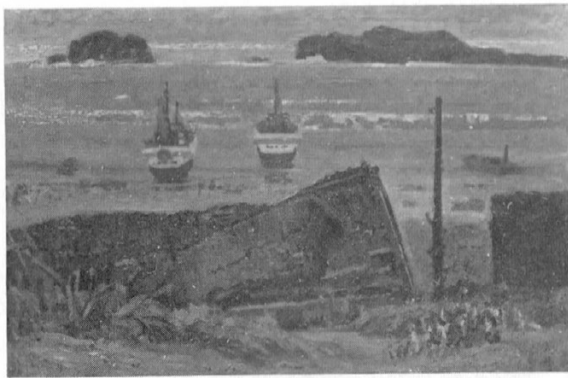
58 雪の朝 (36回東光展) 家 永 駈三郎



59 春 (56回光風会展) 大 沢 海 蔵



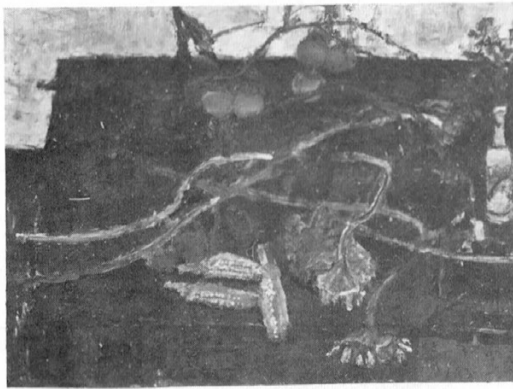
60 女 (56回光風会展) 宮 崎 進



61 海辺一景 (36回東光展) 華名芳夫



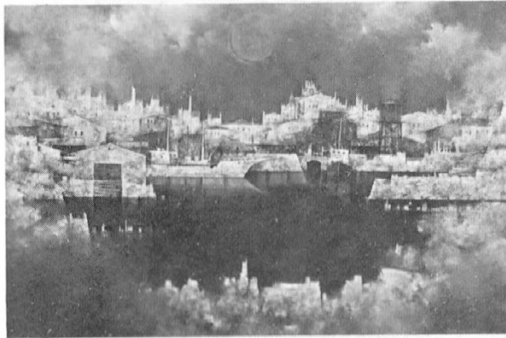
62 床上静物 (29回創元展) 井上和



63 秋の静物 (36回東光展) 江藤哲



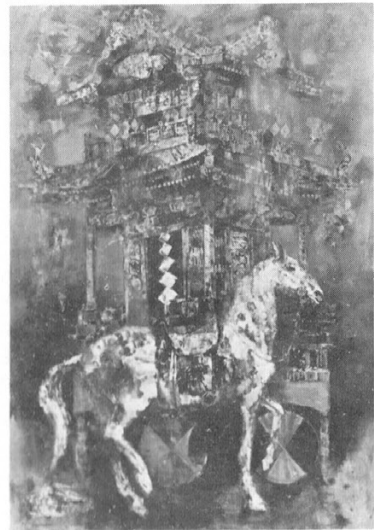
64 家郷 (56回光風会展) 笹岡了一



65 船 (29回創元展) 樋口治平



66 グレンデ (56回光風会展) 小寺健吉



67 祭 (29回創元展) 高島常雄



68 水辺に遊ぶ (50回記念朱葉会展) 田 栗 テ ル



69 風 (66回太平洋美術展) 小 林 孝 一



70 江北大鹿浜獅子舞 (66回太平洋美術展) 椿 悦 至



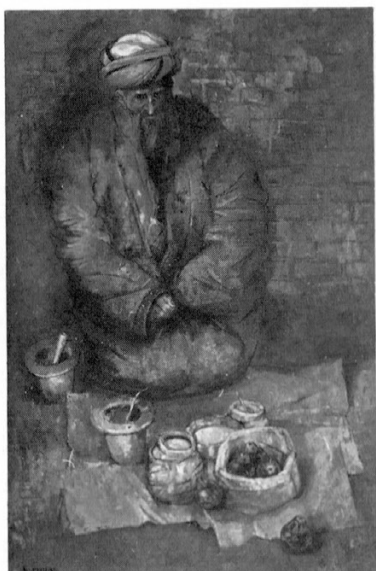
71 妙A (50回記念朱葉会展) 吉 田 ふじを



72 ささやき「私語」(42回新構造社展) 本 目 勇 市



73 零地帯の工場 (18回光陽会展) 鷺 田 新 太



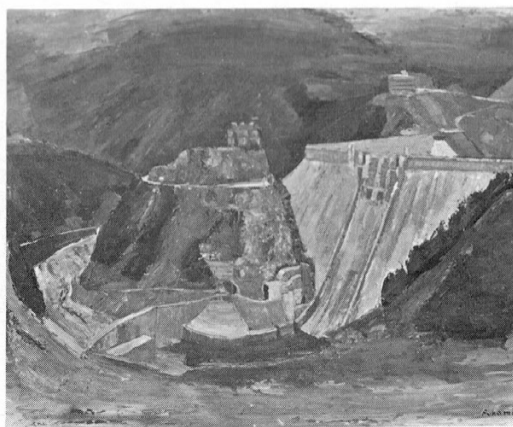
74 プハラの嚙タバコ売り (26回現代美術家協会展) 三浦勝治



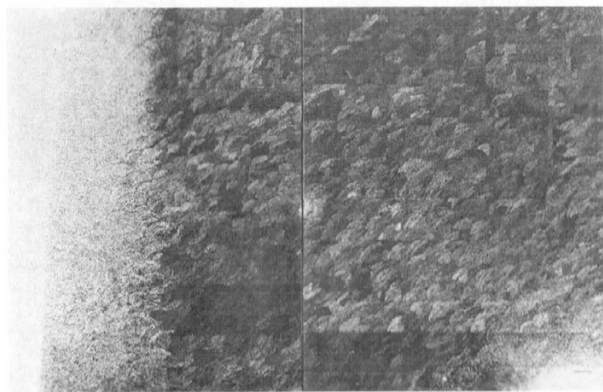
75 海と起重機 (6回主体美術展) 大野五郎



76 宙に在るモノ (26回現代美術家協会展) 原田雅兆



77 ダムA (6回主体美術展) 深見公道



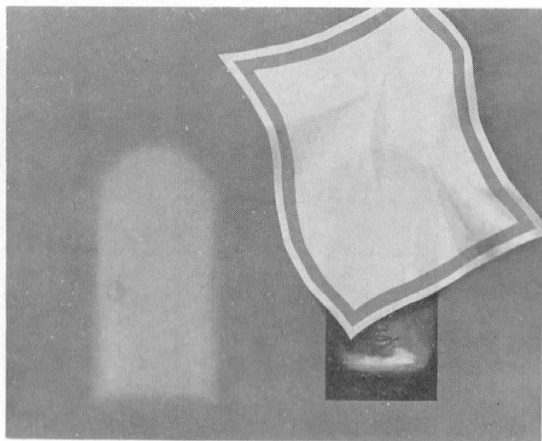
78 夏 (6回主体美術展) 羽原智達



79 待春 (22回三軌会展) 井川徳造



80 モロッコ「土」(22回三軌会展) 市川正三



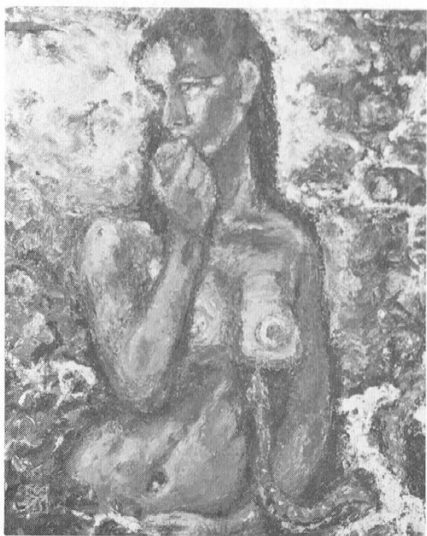
81 二つの扉(13回新象展) 下田悌二郎



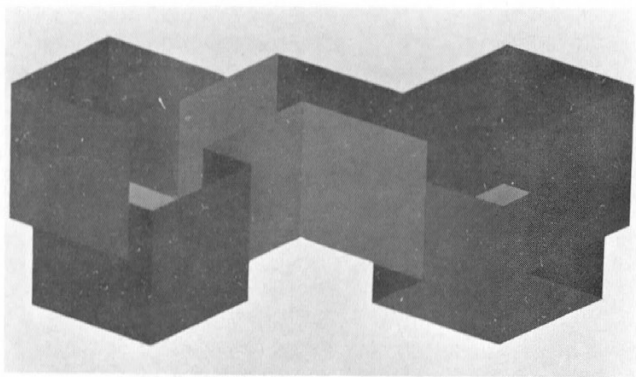
82 鬼哭図「イ」(13回新象展) 吉川慧介



83 横むいた犬(24回女流画家展) 戸川ふみ子



84 エデンの夕辺(24回女流画家展) 島あふひ



85 Space(13回新象展) 萩駿



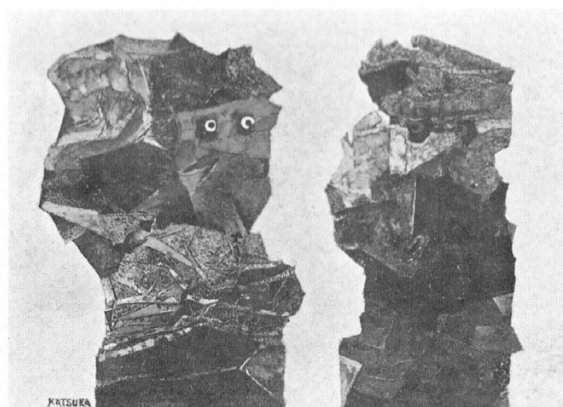
86 憩う舞妓「お囃子」(24回新樹会展) 島 村 三七雄



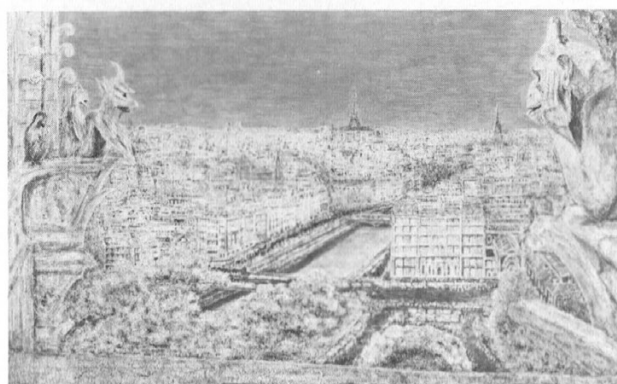
87 囃子(24回新樹会展) 武 田 邦 雄



88 祭禮(24回新樹会展) 朝 井 閑右衛門



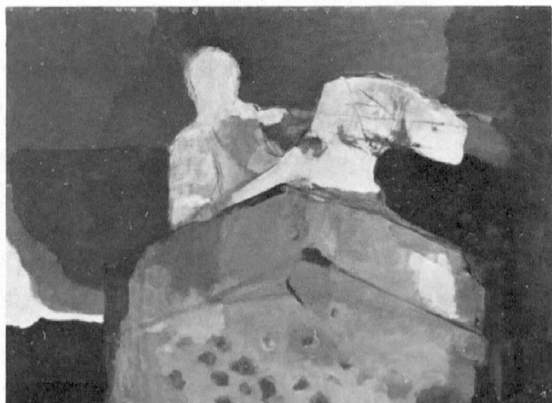
89 赤と白の対話(24回新樹会) 桂 ゆ き



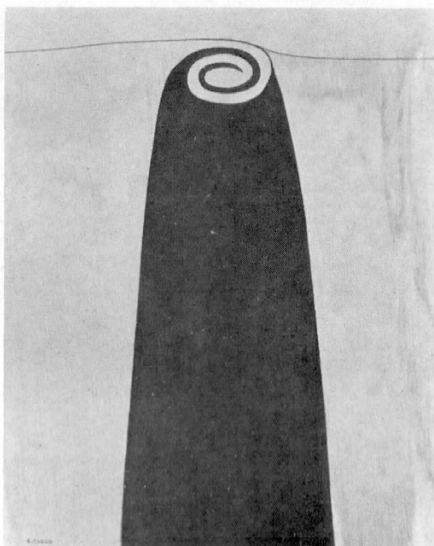
90 PARIS(24回女流画家展) 後 藤 よ志子



91 まちとひと(24回女流画家展) 中 神 潔



92 テキユー舎にて (24回新樹会展) 三宅悦隆



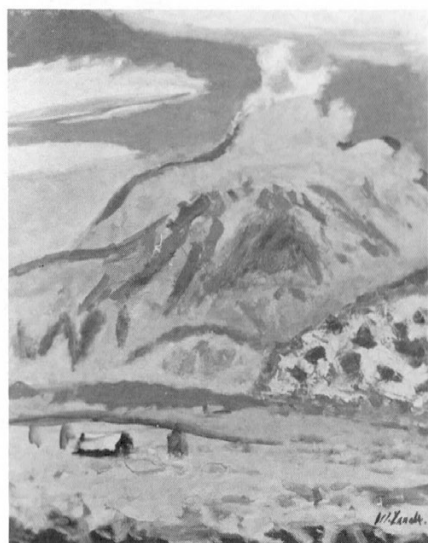
93 ダフネ (55回二科展) 大沢昌助



94 夏の宿題 (55回二科展) 北川民次



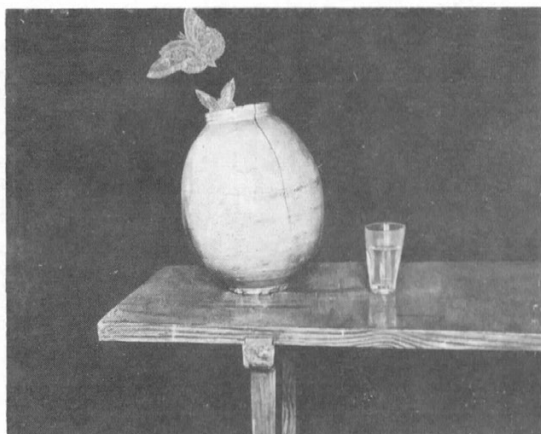
95 オホーツク海 (55回二科展) 服部正一郎



96 昭和新山 (25回行動展) 田辺三重松



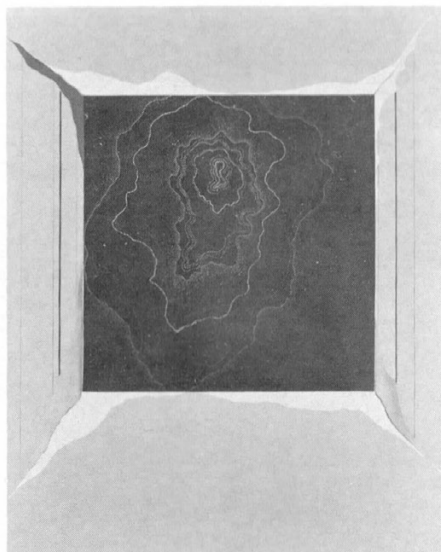
97 居酒屋 (55回二科展) 中村直人



98 白い壺の寓話 (25回行動展) 河野通紀



99 ある構想 (25回行動展) 斉藤真成



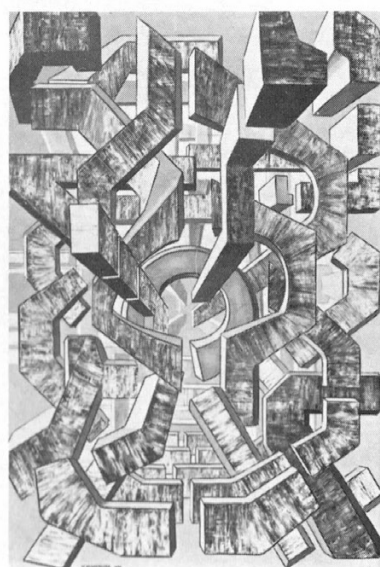
100 鬼ヶ島 (25回行動展) 田中稔之



101 上流 (25回行動展) 大森朔衛



102 アトレミレイ (25回行動展) 田中阿喜良



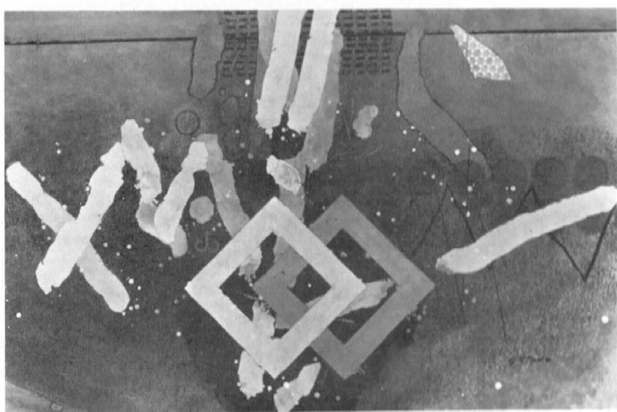
103 求心都市 (34回新制作展) 西村元三朗



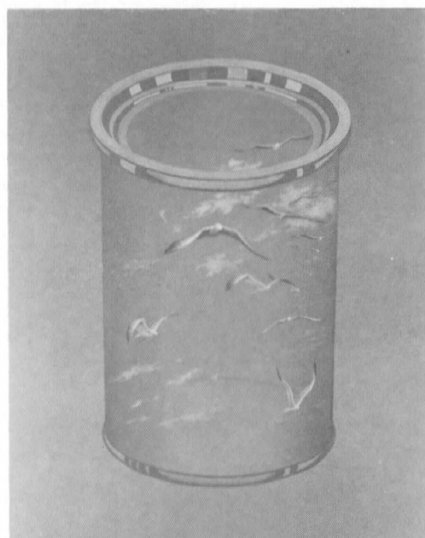
104 ドンキホーテ讃歌 (34回新制作展) 角 浩



105 虫の演奏会 (16回一陽展) 野 間 仁 根



106 赤の中に二つの四角のある風景 (34回新制作展) 糸 田 芳 雄



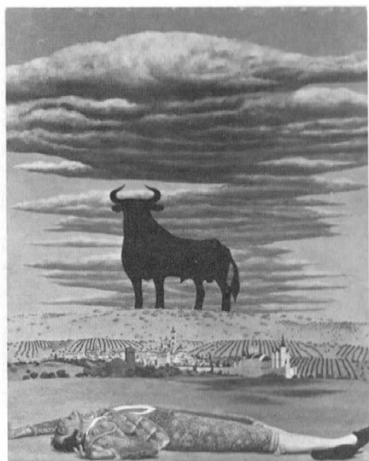
107 他人の空の出来ごと (16回一陽展) 北 山 泰 斗



108 三人の踊り子 (34回新制作展) 小 磯 良 平



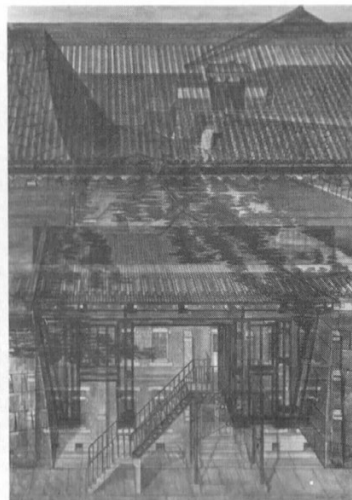
109 寒い休日 (32回一水会展) 上 田 哲 農



110 アディオス(32回一水会展) 小松崎 邦雄



111 BEL AVENIR(24回二紀会展) 星 崎 孝之助



112 清水門(24回二紀会展) 三 輪 勇之助



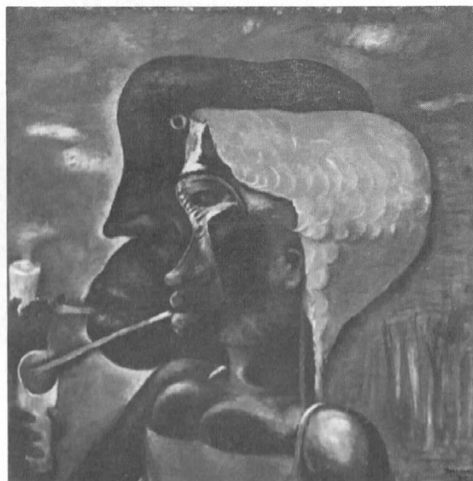
113 野の少女(32回一水会展) 北 村 巖



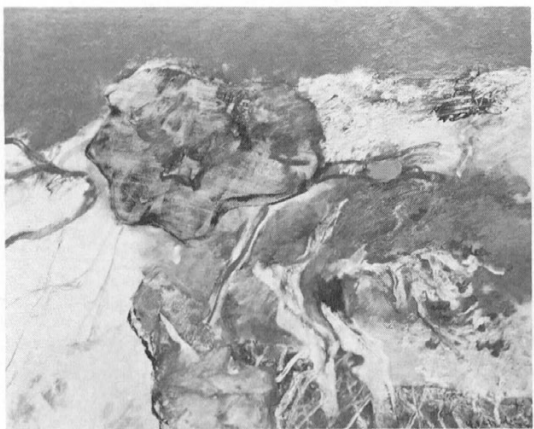
114 山湖残雪(32回一水会展) 高 田 誠



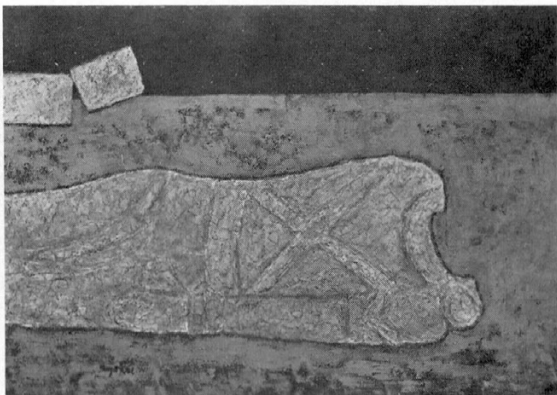
115 山の遊び場(24回二紀会展) 中 川 紀 元



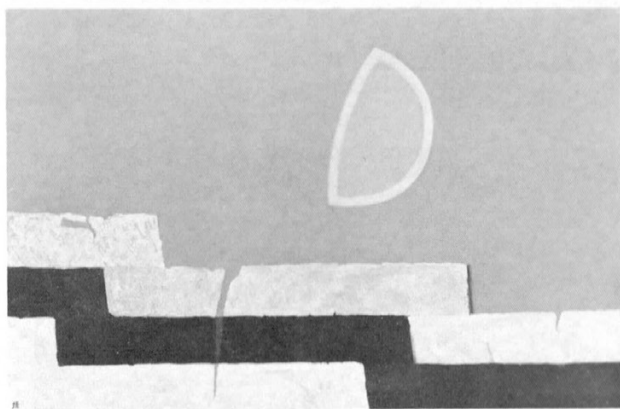
116 黒い二人(24回二紀会展) 中 西 勝



117 ある風景B (34回自由美術展) 一木平蔵



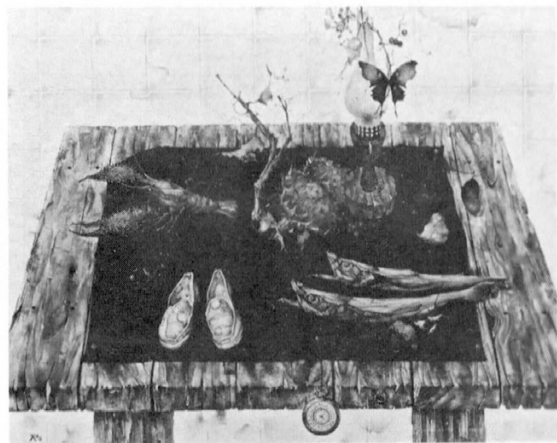
118 石像 (38回独立展) 鳥海青児



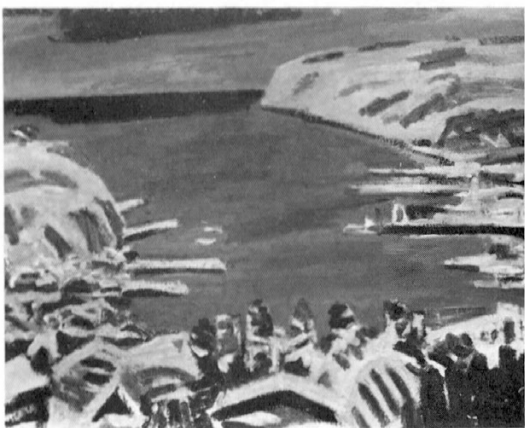
119 西域の月 (38回独立展) 緑川広太郎



120 秩父巣場 (38回独立展) 齊藤長三



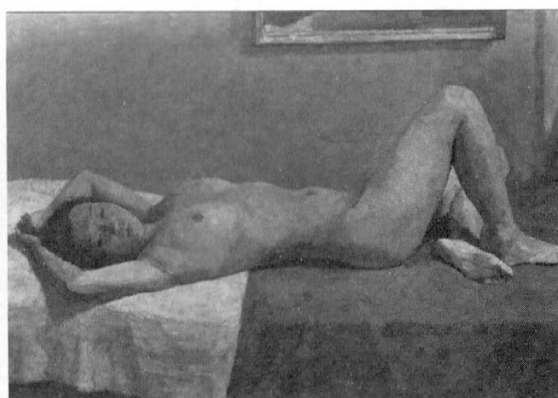
121 タイルの部屋 (38回独立展) 松樹路入



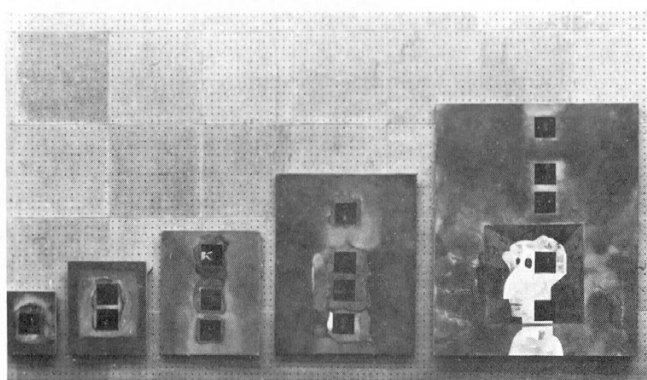
122 漁港尺雪 (2回日展) 小糸源太郎



123 花と人形 (24回二紀会展) 田村孝之介



124 みどりの床 (32回一水会展) 木村辰彦



125 1 2 3 4 5 (34回新制作展) 玉置正敏



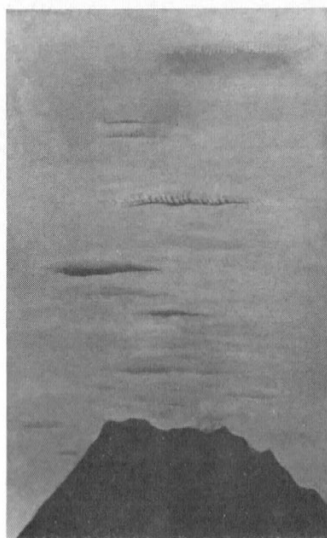
126 浴泉 (24回二紀会展) 宮本三郎



127 デントロビューム (24回二紀会展) 黒田重太郎



128 記録 (34回自由美術展) 八幡健二



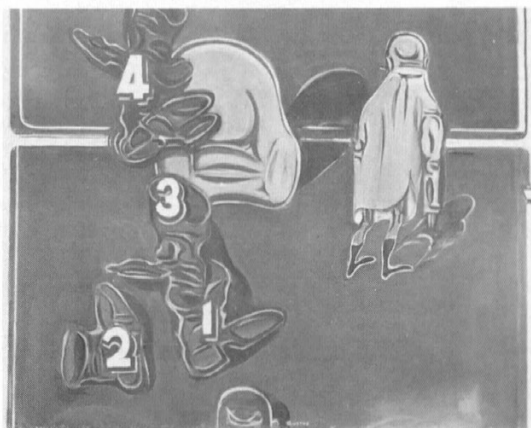
129 晨光桜島 (2 回展) 田村 一 男



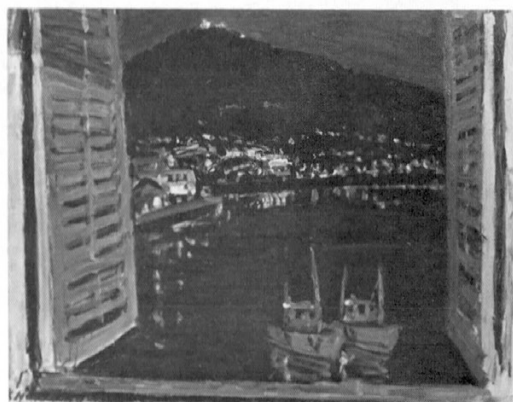
130 坐像 (2 回展) 寺島 龍一



131 赤い十字架「A」(24回二紀会展) 佐野 繁次郎



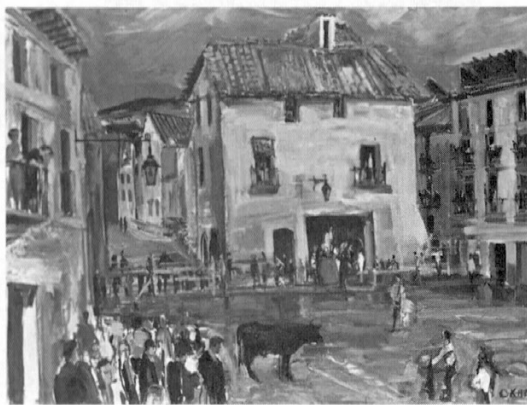
132 四次防 (34回自由美術展) 井上 長三郎



133 窗外夜景 (2 回展) 櫛原 健三



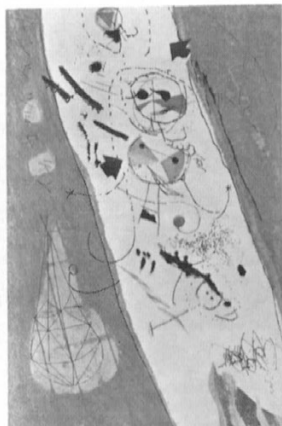
134 猫と少年 (2 回展) 所 栄次



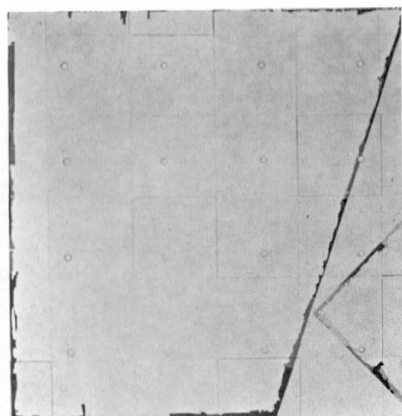
135 闘牛 (2 回展) 岡田 又三郎



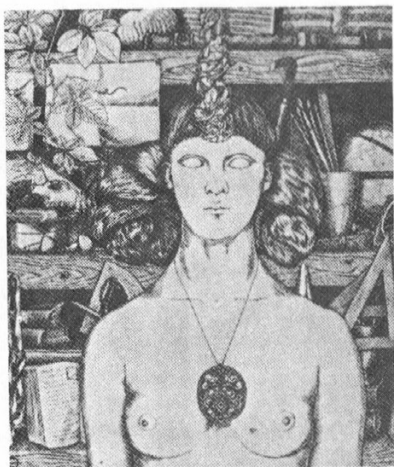
136 夢想記一夜(2回フィレンツェ国際版画ビエンナーレ展)
田村文雄



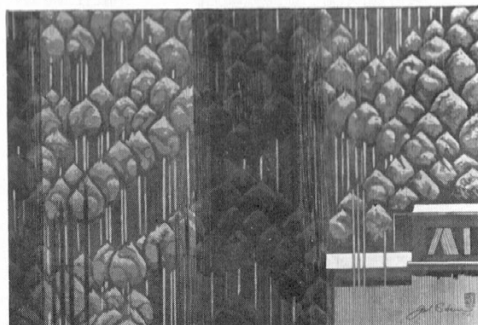
137 天使昇天No.3(38回日本版画協会展)
萩原英雄



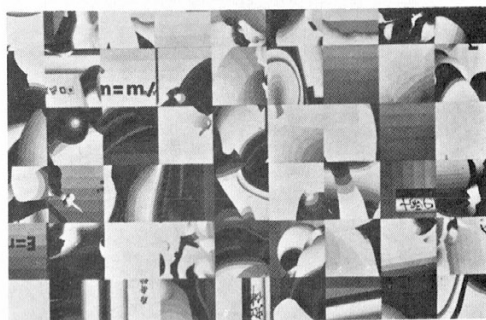
138 作品S7-1970(7回国際版画ビエンナーレ展)
船坂芳助



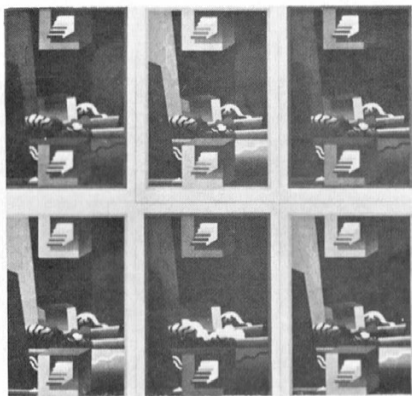
139 神にとっては一個の輪舞の時計(1回版画グランプリ展)
渡辺栄一



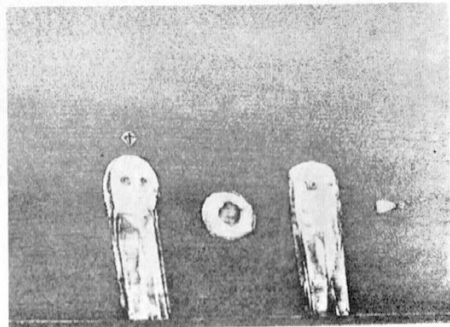
140 北山時雨(44回国展)関野準一郎



142 レインボー北斎ポジションB(7回東京国際版画ビエンナーレ展)
魏 嘯



141 闇コンポジション(7回東京国際版画ビエンナーレ展)
黒崎 彰

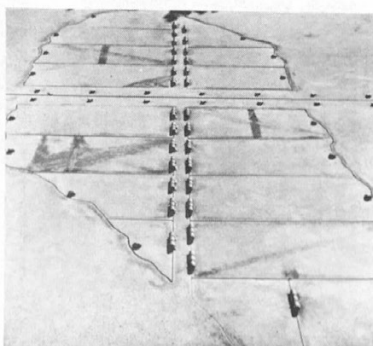


143 歳月(個展)清宮質文

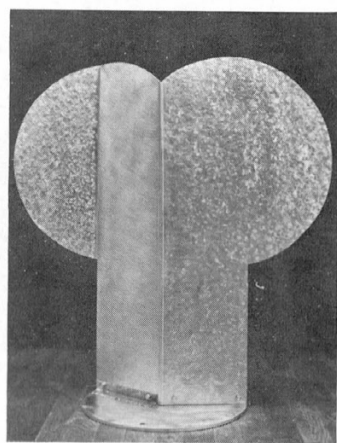
版 画



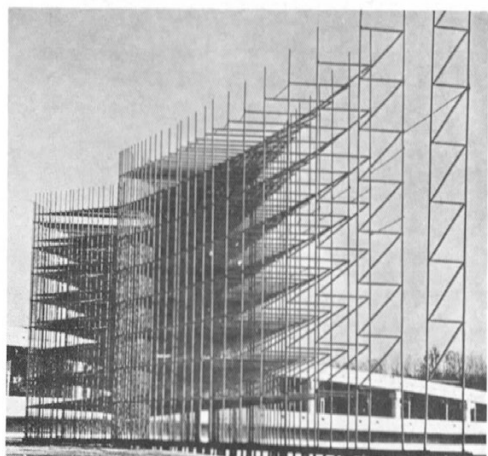
144 球 (14回新槐樹社展) 岡 政 敏



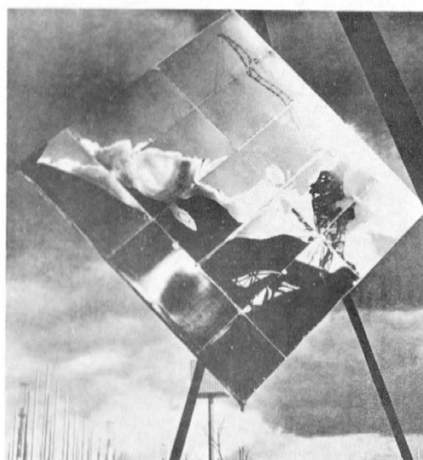
145 3.25mのクロバエの羽
(国際鉄鋼彫刻シンポジウム「万国博会場」)
若 林 奮



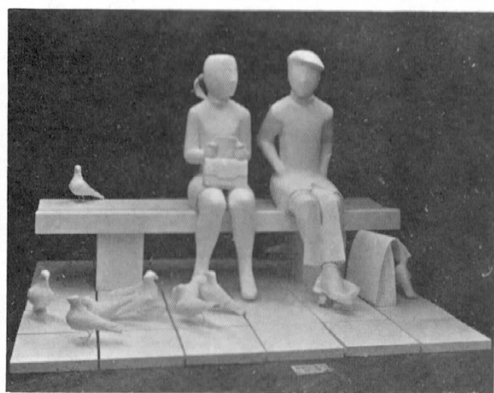
146 リフレクションR-1(1970年モダンアート展)
広 井 力



147 無題(国際鉄鋼彫刻シンポジウム「万国博会場」) 伊 原 通 夫



148 作品1970(国際鉄彫刻シンポジウム「万国博会場」)
飯 田 善 国

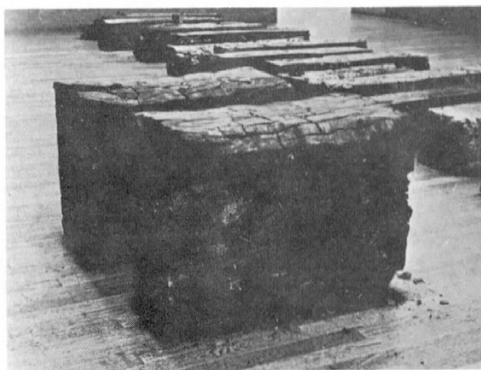


149 杜の詩 (44回国展) 荒 川 明 照

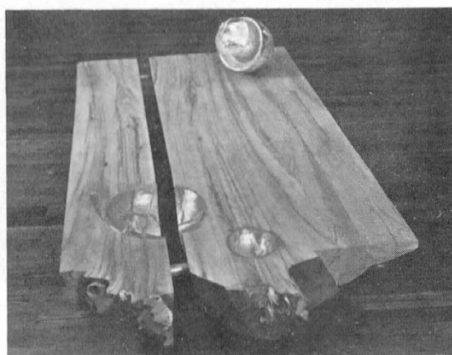


150 部屋成はマイホーム (44回国展) 鈴 木 実

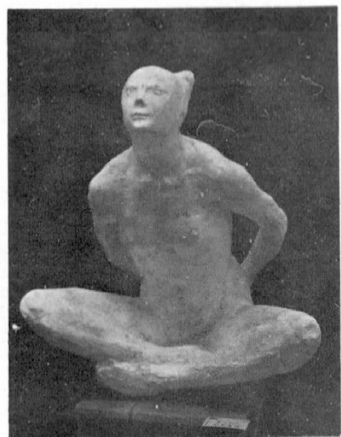
彫 刻



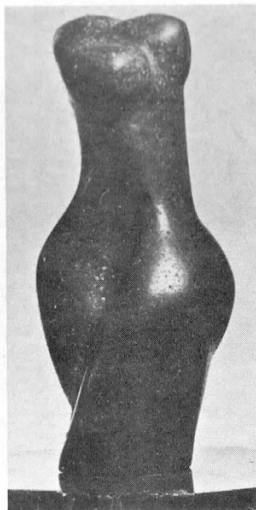
151 スミ (10回日本国際美術展) 成田 克彦



152 遺跡の時刻 (44回国展) 堀川 恭



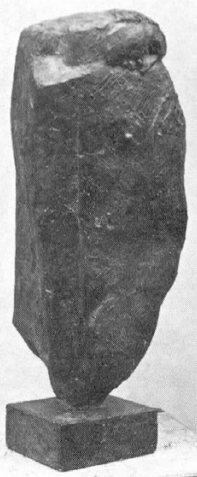
153 空に向う (44回国展) 本田 貴侶



154 トルソ (個展) 朝倉 響子



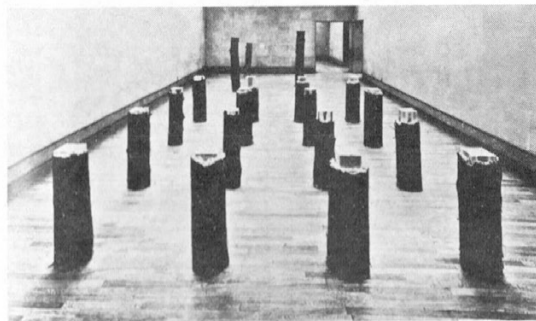
155 墨客漫歩 (18回日影展) 斎藤 知雄



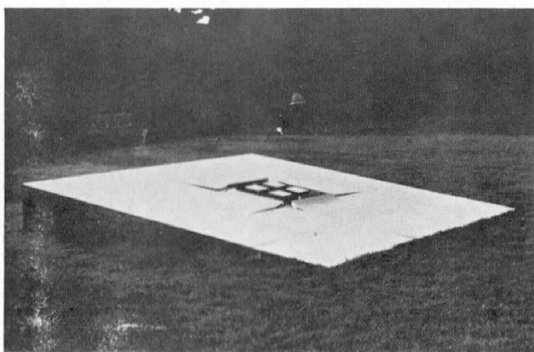
156 ヴィナス (66回太平洋美術展)
白井 保春



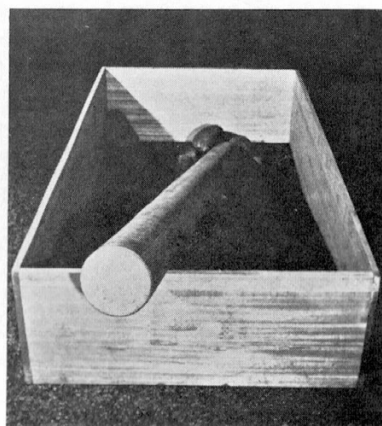
157 人間家族「娘の肖像」(個展) 島田 勝吾



158 16個の単体 (10回日本国際美術展) 高松 次郎



159 Musée de l'Homme (須磨離宮公園 2 回現代彫刻展) 保田春彦



160 限界状況 (5 回ジャパン・アートフェスティバル)
菅木志雄



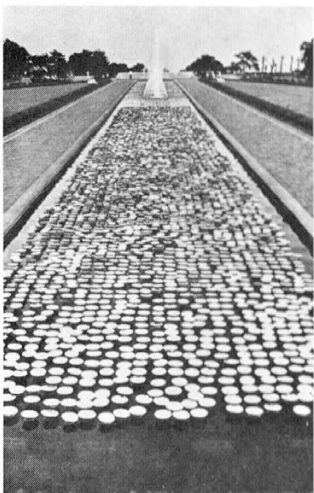
161 花園 (24 回新樹会展) 木内克



162 屈む (24 回新樹会展) 千野茂



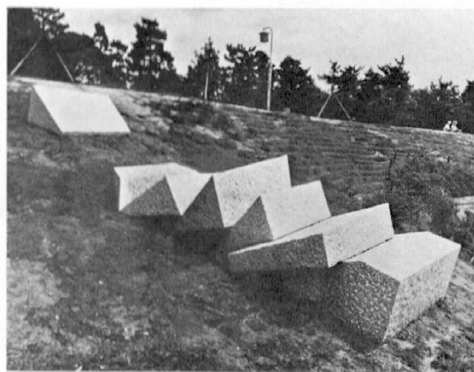
163 女 (24 回新樹会展) 広瀬和子



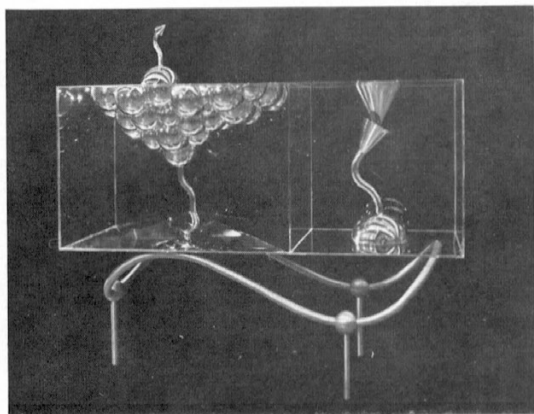
164 水面 (2 回現代彫刻展) 多田美波



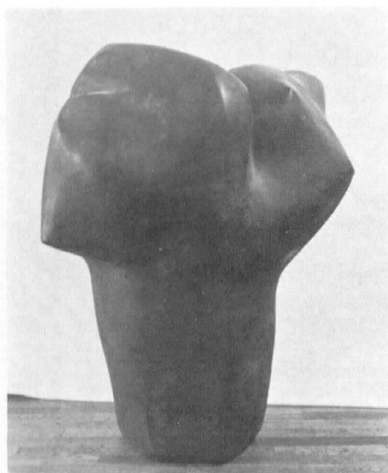
165 空にかける階段 (25 回行動展) 富樫実



166 作品1970 (2 回現代彫刻展) 土谷武



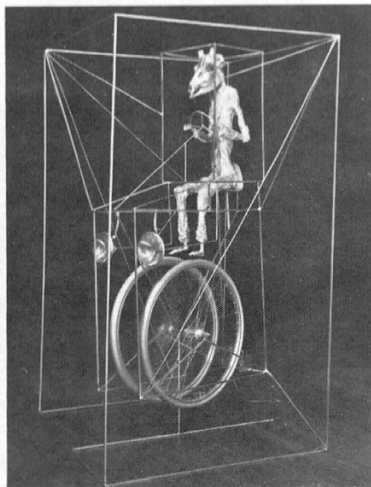
167 閉じられた泡沫又はPANDORA (25回行動展) 建 昌 覚 造



168 女の華 (16回一陽展) 山 崎 猛



169 ニヨロ、ニヨロ (個展) 安 原 喜 武



170 045-ドライブ (16回一陽展) 蜜波羅 伸 三



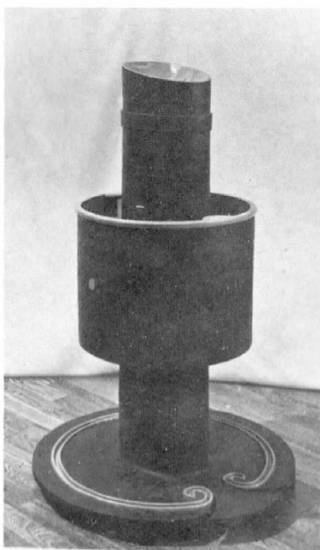
171 夏の日の思い出 (個展) 土 田 隆 生



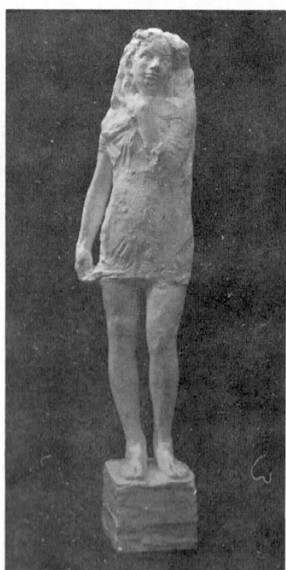
172 鯉 (55回二科展) 小 島 広 志



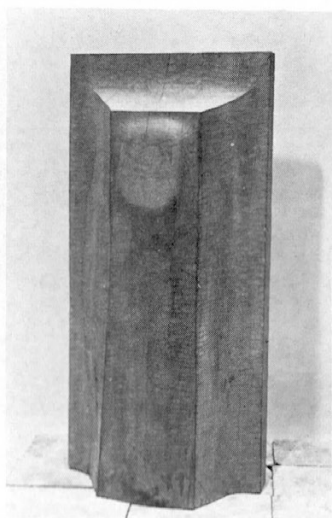
173 夏の海 (55回二科展) 淀 井 敏 夫



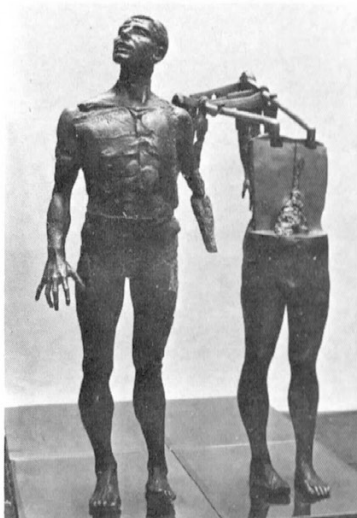
174 愛して、愛して(24回二紀会展) 堀 義 雄



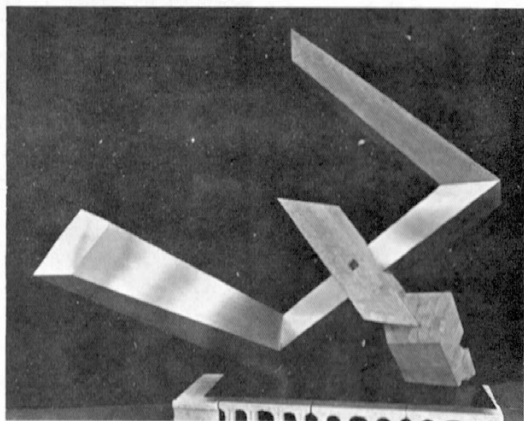
175 立つ(24回二紀会展) 桑 原 巨 守



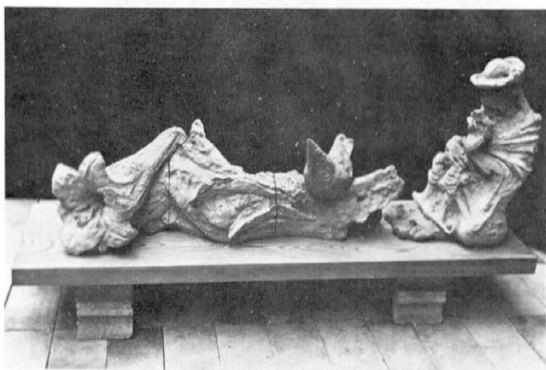
176 立像(34回新制作展) 富 松 孝 脩



177 男と女(34回新制作展) 細 川 宗 英



178 こわれゆく形態No. 4 (34回自由美術展) 中 島 一 雄



179 緑蔭(34回新制作展) 加 藤 昭 男



180 無辜の群4 (34回新制作展) 本 郷 新



181 海の向日葵No. 5 (34回自由美術展) 松本光司



182 紡ぎ唄 (2回日展) 水船六洲



183 一如 (2回日展) 長谷川 昂



186 幻花 (2回日展) 和田金剛



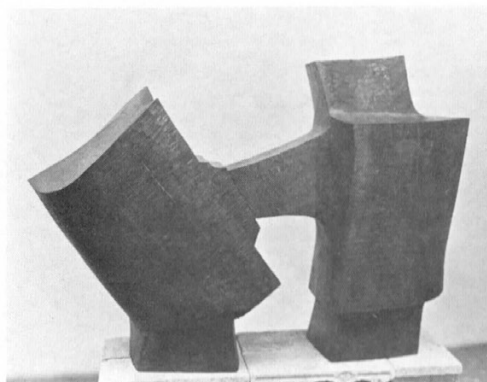
184 国境 (34回自由美術展) 光坂ヒデノリ



185 若き女 (2回日展) 大須賀 力



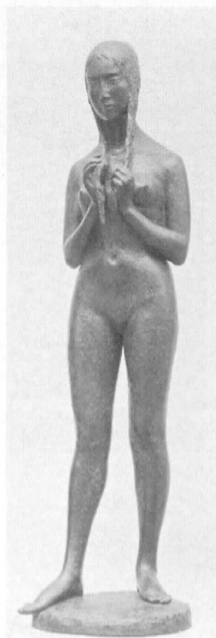
187 沙汀 (2回日展) 堀 進二



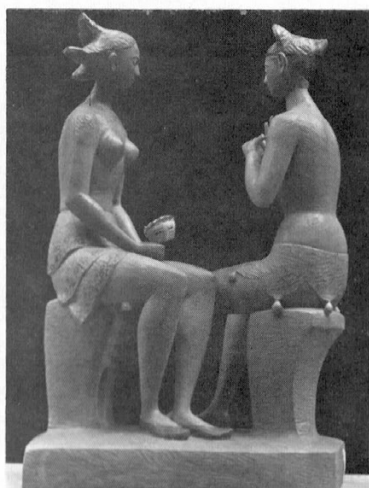
188 和 (34回自由美術展) 北村隆博



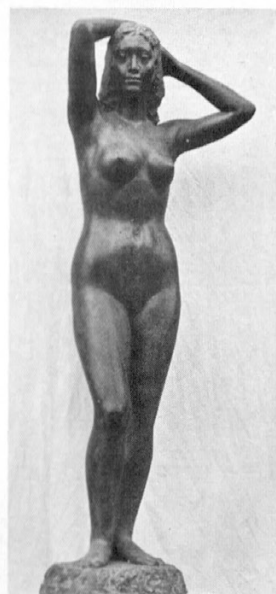
189 裸婦 (2回日展) 清水多嘉示



190 髪 (2回日展) 横山豊介



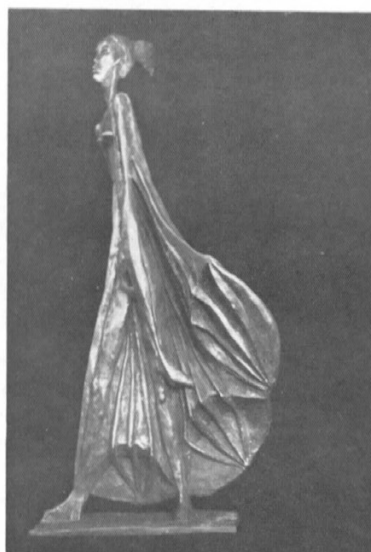
191 楽屋 (2回日展) 圓錐勝三



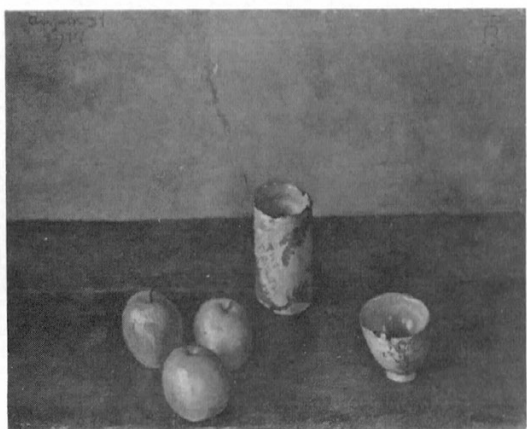
194 女 (太平洋秋季展) 平野敬吉



192 子は宝 (個展) 森大造



193 スカートをはいた女 (個展) 小沢勇寿郎



195 静物(岸田劉生展) 岸 田 劉 生



196 卑弥呼(安田靫彦展) 安 田 靫 彦



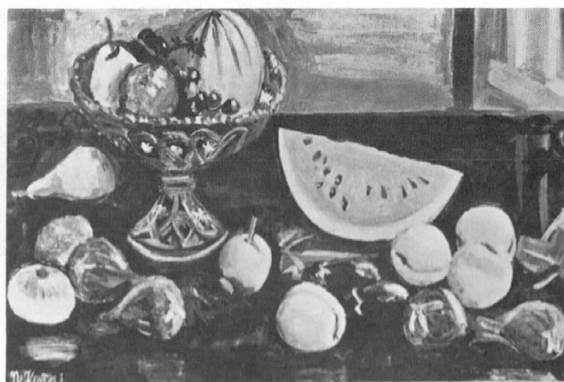
197 腰かけた女(山本豊市作品展) 山 本 豊 市



198 賑やかな連中(池部釣遺作展) 池 部 釣

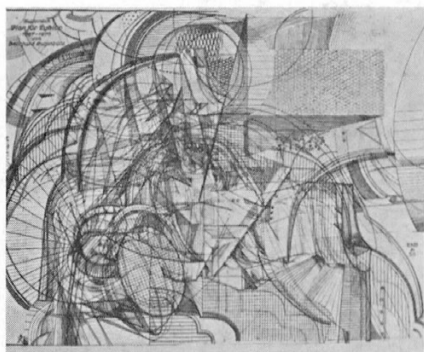


199 青年像(木内克の全貌展) 木 内 克

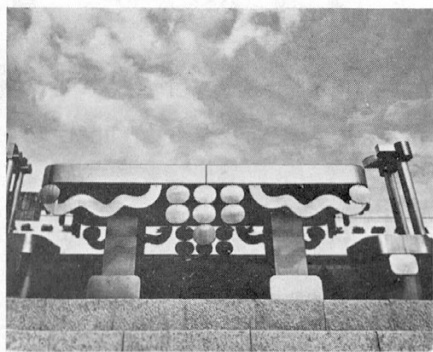


200 卓上菜果(小出檜重展) 小 出 檜 重

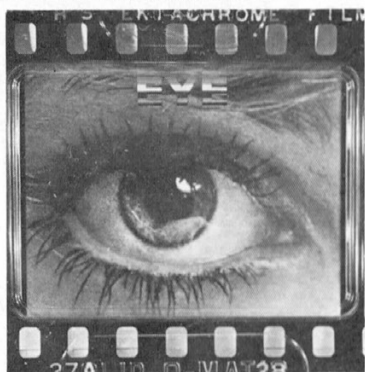
遺作・回顧



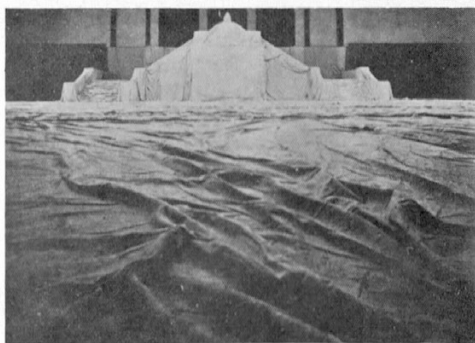
201 キュクロプス・プラン(7回東京国際版画ビエンナーレ展) ルギンビュール



202 誕生日のテーブル(日本万国博) ハイムリッヒ・ブレマック



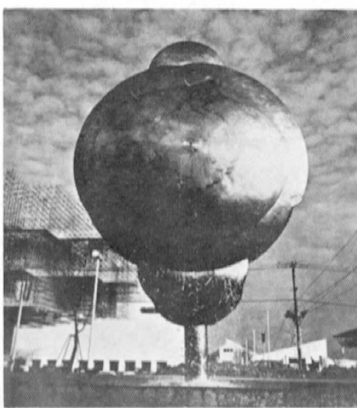
203 五感のうち「視覚」(現代イギリス美術展)
ジョー・ティルソン



204 包装した床(10回日本国際美術展) ク リ ス ト



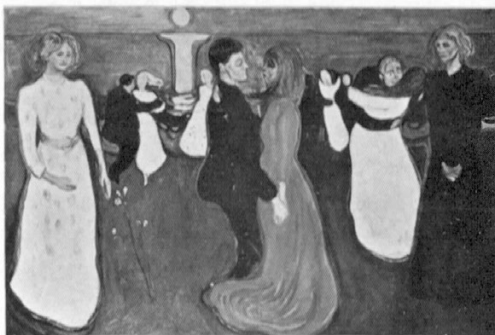
205 分割された円のマケット (ヘップワース展)
バーバラ・ヘップワース



206 水円盤(日本万国博) ジョージ・ベーカー



207 欲望の鳥(現代インド絵画展)バドリ・ナラヤン



208 生命のダンス(ムンク展) エドワルド・ムンク

外 国

本欄

昭和45年美術界年史

1 月

○毎日芸術賞 第11回毎日芸術賞(昭和44年度)の受賞者が1日附毎日新聞紙上で発表されたが、美術関係では、芸術大賞に板画家・棟方志功(「板画大欄」と板芸業40年記念「棟方志功障壁画展」の成果)と芸術賞に建築家・白井晟一(「親和銀行本店」の設計)がきまり、16日、東京一ツ橋のパレスサイドビルで表彰式が行なわれた。

○「世界の歌壇」展 4日から20日まで新宿小田急百貨店において歌麿の作品300余点を集めて行なわれた。ギメ美術館、ホノルル美術館、リードパーク美術館など外国からの出品も50余点を数えた。

○埋蔵文化財の破壊の現状についての報告 日本考古学協会の埋蔵文化財保護対策特別委員会は全国の埋蔵文化財が開発事業などで破壊されてゆく埋蔵文化財の実態を、昭和40年より調査して来たが、この程その調査結果の概要をまとめ「埋蔵文化財破壊の現状」と題する資料を発表した。それによると、埋蔵文化財は予想以上に激しい勢いで壊れつつあり、調査をせぬうちに破壊され文化財としての価値を失った遺跡の数は地元の研究者が確認しただけでも5年間で1000件を越えている。(8日)

○文化庁買上げ作品 文化庁では美術団体展、個展などの発表作の中から毎年その年度の優秀作品の買上げを行なっているが、昭和44年度の買上げ作品が下記の通り決まり、21日発表された。

日本画—「礎と少年」加倉井和夫(日展会員)、「青の時」下田義寛(院展特待)、「ロマネスクの祭壇」大森運夫(新制作協友)

洋画—「外輪山」田村一男(日展理事)、「驚く可き風景B」猪熊弦一郎(新制作会員)、「画家の家族」北川民次(二科副会長)、「町・トレド」藤田吉香(国画会員)

彫刻—「鳥の季節」水船六洲(日展評議員)

○第2回新潮芸術大賞 文芸・美術の分野でのすぐれた業績をあげた作家に贈られる第2回新潮芸術大賞は、今回芸術部門の授賞者として、ここ2、3年来の業績が高く評価された日本画家日展理事高山辰雄が選ばれた。26日、東京・帝国ホテルで授賞式が行なわれた。

2 月

○建築家丹下健三に法王庁から勲章 丹下健三東大教授にローマ法王庁から「サン・グレゴリオ・マンニャ勲章」が授与されることになり、本月初旬、駐日ローマ法王庁大使館から連絡があった。東京・文京区の東京カテドラル(昭和39年完成)を設計したのが授章の理由で、16日に同大使館で伝達式が行なわれた。因みに同勲章はローマ法王庁の最高勲章で、日本人としては4人目の受章者となった。なお同教授は「日本の都市を変化させた業績」に対して、18日香港大学から名誉学位を贈られた。

○ピカソ近代版画展 パブロ・ピカソの新作版画をあつめた「ピカソ近代版画展」(東京国立近代美術館、毎日新聞社主催)が、7日から3月15日まで東京国立近代美術館で開催された。前年欧米各地で開かれ国際的な話題をまいた版画展で、'68年3月から10月にわたっての精力的な製作ぶりを示し、エロチカルな日記風につづられた版画347点のうちの256点を展示、エッチング、ドライポイント、アクアティントなどさまざまな版画の技法を試みた作品群は、版画家や愛好家の関心をあつめた。

○天台の秘宝展 最澄の1150年忌を機に14日から3月3日まで新宿の小田急百貨店に於いて延暦寺を始め全国の天台宗寺院・博物館から100余点の寺宝を集めて開催された。

○国宝浄楽寺本堂、破損 滋賀県甲賀郡の浄楽寺は国宝の本堂と三重塔とがアオゲラ(キツツキ科)に荒らされ、支輪の部分に穴を開けられた個所が見つかった。アオゲラは保護鳥なので捕獲せず、建物の周囲に網を張って被害の拡大を防ぐこととした。

3 月

○広隆寺境内の発掘調査 京都市のバイパス建設工事に先立ち平安博物館が広隆寺境内の発掘調査を行っているが、2日までに日本書紀の記述の通り現在の広隆寺の境内に蜂岡寺が実在したことが確認された。

○安井賞 第13回安井曾太郎賞(財団法人安井曾太郎記念会、毎日新聞社主催)の選考委員会は、4日東京・上野の日本美術協会会館で開かれ、安井賞に藤田吉香(国画会会員)の「春木萬華」が決まり、今回から加えら

れた佳作賞には市川正三(三軌会友)の「無言譜」が選ばれた。受賞作を含む64作家70点の作品は6日から17日まで池袋西武百貨店で開催の安井賞展に展示された。

○芸術選奨 第20回(44年度)芸術選奨と第3回新人賞の受賞者が10日文化庁から発表された。美術関係では、栃木県議会議事堂の設計で地方建築の造形的水準を高め、また千葉県文化会館(建築学会賞)、坂出市の人工土地を手がけるなど、公共建築の近代的表現を開拓してきた大高正人(建築設計事務所長)が選奨に、第9回現代日本美術展、個展の発表作が熟練した技術と新鮮な感覚で大きな成果をあげた版画家吉原英雄が新人賞に選ばれた。

○重文の四天王像が盗難 大分県日田市永興寺の重文木造四天王像四体が盗まれたことが22日に判った。しかし27日、山口県玖珂郡和木村の小瀬川に四体とも発見。相当損傷があり、解体修理を行なうため4月7日、京都の美術院国宝修理所に運ばれた。

○鎌倉、瑞泉寺の庭が復元される 鎌倉の瑞泉寺の庭に創立当初に造られた古い庭が発見され昨年末から復元工事が行なわれ、3月中旬にはほぼ原初に近い姿を現わした。従来の庭の姿を一変させる「心」字形の雄大な構想をもち江戸時代の古図と同じであることが判った。瑞泉寺の開山夢想国師の作と言われて来たが、同じく夢想国師作と言われる京都の西芳寺、天竜寺などの庭園に匹敵するもので鎌倉末期の庭園として日本庭園史上甚だ重要な資料である。夢想国師作の確実な作例となるか詳細な調査報告と今後の検討が期待される。

○“人間国宝”指定 文化財保護審議会(田中義男会長)は、27日44年度の重要無形文化財(人間国宝)と重要文化財の指定を決め、坂田文相に答申した。“人間国宝”としての工芸技術関係では、「備前焼」藤原啓(本名敬二、71才)、「萩焼」三輪休和(本名邦広、74才)、「木工芸」黒田辰秋(65才)、氷見晃堂(本名与三治、63才)の4名が新しく個人指定された。

○国宝・重要文化財指定 文化財保護審議会は30日、新たに美術工芸品関係として国宝2件、重要文化財58件を指定した。国宝は書跡の古文尚書卷第六、紙背元秘抄一卷(唐、神田喜一郎蔵)、考古の製鉄遺物銅鐸10口・銅鐸1口・流水文銅鐸3口・銅戈7口(弥生式文化、神戸市所有)の2件。重要文化財は絵画では徳川黎明会蔵柳燕図(元時代)のほか11件でこの中には浅井忠筆「春暁」(明治、東京国立博物館)、竹内栖鳳筆「斑猫図」(大正、山種美術館)が含まれる。彫刻は山形市宝積院蔵木造十一面観音立像以下6件。工芸品は岡山美術館蔵の能装束(桃山時代)や広島県日吉神社蔵の赤糸威鍔(室町時代)などを中心に16件、書跡は畠山記念館蔵の虚堂智愚墨跡(南宋時代)、や徳川黎明会蔵の藤原定家自筆書状(鎌倉時代)を含めた14件、考古は永青文庫蔵の銀胡人像など11件である。

○万国博美術館 日本万国博覧会が15日から9月13日まで、大阪府吹田市の千里丘陵で開かれたのは周知のことだが、その主な展示館として万国博美術館(富永惣一館長)が開設された。シンボルゾーンの北側に建てられた4階建の施設は延べ4,650平方メートル。展示された東西の美術品は海外40数カ国と国内から732点で、その万端経費は総額400億円にものぼるといわれた。万博テーマの「人類の進歩と調和」にふさわしく、その展示の方法は日本を中心として東洋美術の歴史の流れをタテの軸とし、それに関連する東西美術の調和、対比、融合をヨコにというように、展示内容は時代順に、(1)原始の魂・古代の声―創造のあけぼの。(2)東西の交流―シルクロード、南蛮文化。(3)聖なる造型―信仰への道。(4)自由への歩み―人間・自然・社会。(5)現代の躍動。とテーマを分けて陳列された。因みに、入場料は、大人200円で、入館者は計177万5173人にものぼったという。(参照10頁)

○万国博記念の特別展 万国博覧会に協賛して各博物館で記念の特別展が約6ヶ月間の長期間にわたり開催された。

「京の美術」 京都国立博物館では4月1日より9月27日まで「京の人形」「古清水」「金剛力士」「天球院の障壁画」「高台寺時給」「法然上人絵伝」「京名所風俗図」「京の絵地図」「友禅染」「禅の書」の10のテーマにより順次展覧を行ない、多方面から京の美術の開花を浮彫りにした。

「仏教美術名品展」 奈良国立博物館では4月18日より8月23日まで360余件の多数の仏教美術の優品が展覧された。

「万国博記念大和文華館名品展」 大和文華館では3月4日より9月27日まで同館所蔵の名品を展覧し、同時に「東西の交流」「東洋の美術」「日本の美術」「鉄斎の芸術」のテーマによる特別展を併せて開催した。

4 月

○昭和44年度(第26回)恩賜賞・日本芸術院賞決定

日本芸術院は、9日昭和44年度日本芸術院恩賜賞、院賞の受賞者を次の通り決めた。恩賜賞―寺島紫明(本名徳重)(改組第1回日展出品作の日本画「舞妓」に対し)日本芸術院賞―小堀進(改組第1回日展出品作の洋画「初秋」に対し)、森田茂(改組第1回日展出品作の洋画「初秋」に対し)、昼間弘(改組第1回日展出品作の彫塑「穹」に対し)、海野建夫、(改組第1回日展出品作の彫金「雨もよい」に対し)、桑田笹舟(本名明、改組第1回日展出品作の書「母」に対し)。

○須磨コレクション、寄贈 須磨コレクションとして知られている須磨弥吉郎元外交官(東京都杉並区南荻窪2の101)蒐集の、スペイン代表作家の作品92点が19日、長崎県と長崎市に贈られることになった。長崎

開港400年を記念して同県と長崎市は、この20日まで長崎県立博物館で当コレクションを借受け、「スペイン作家美術展」を開いたが、その出品作品がそっくり寄贈された。寄贈作品は、スペインのゴシック時代から現代まで700年にわたる代表作家の作品で、油絵46点、彫刻17点、板絵類9点など合計92点。「個人で所蔵しているより、スペイン、オランダなどいち早く外国の文化を受けた長崎で、長く保存して頂く方がふさわしい」という蒐蔵家の意向が実ったもの。

○「グタイ・ピナコテカ」閉館 大阪・中之島（北区宗是町）に、具体美術協会の吉原治良代表所有の江戸時代の米倉庫だったといい伝えられていた広さ370約平方メートルの木造建物を改造して「グタイ・ピナコテカ」（ピナコテカとは絵画陳列所の意味）と名づけ昭和37年9月オープンしたが、以来前衛美術運動の拠点として国際的な声価を高めたこの美術館も、近年のビル化の波に押されて20日で閉館、とりこわされることになった。閉館を惜しんで、12日から15日まで「現グタイ・ピナコテカ最終展」を開いた。

5 月

○スペイン美術展 1日より6月28日まで東京国立博物館で、本格的なスペイン美術の紹介、「スペイン美術展」（スペイン文部省美術総局・朝日新聞社主催）が行なわれた。展示されたのは紀元前約1,000年の牛の頭部、紀元前7世紀の石彫、ローマ時代の彫像から19世紀スペイン印象派までの彫刻、油絵、版画143点で、17世紀バロック絵画を中心とする。なお続いて京都市美術館でも7月4日から8月22日まで開催された。

○ベン・シャーン展 1969年3月に没したベン・シャーンの回顧展が21日より7月5日まで東京国立近代美術館で開かれた。東京新聞社共催。アメリカ大恐慌時代の鋭い社会風刺と巨大な文明の影にひそむ哀愁とを切々と描き続けたこの画家の油彩、テンペラ48点を中心に水彩、版画、素描、ポスターなど総計170点を展示。同展はその後9月まで大阪、札幌を巡回した。

○遠山記念館付属美術館が完成 昨年6月から埼玉県比企郡川島村に工費7千万円で建設中だった財団法人遠山記念館付属美術館が完成し、12日から一般公開された。これは日興証券の遠山元一相談役の1万点に上るといわれる美術コレクションの一部を常時陳列するもので、設計は今井兼次早大名誉教授。鉄筋コンクリート高床式2階建320平方メートル。

○第10回日本国際美術展 日本万国博の開催に合わせ1年延期したこの展覧会は、10日～30日・東京都美術館、6月6日～28日・京都市美術館、7月15日～26日・愛知県美術館で開かれた。従来の国別の展示

や一切の授賞方式をやめて、1人の総コミッショナーに展覧会の性格や作家の選定などすべてを託すことになり、今回は総コミッショナーを美術評論家中原佑介に依頼した。「人間と物質」というテーマのもとに、外国作家27名、日本人作家13名を選定。展示は、いわゆるコンセプチュアル・アートと称する傾向が主体をなし、物と人間との関係をさまざまに体験させようと試みた。主催、毎日新聞社、日本国際美術振興会。

6 月

○ヘップワース展 ヘンリー・ムーアとともに現代イギリス彫刻界を代表するバーバラ・ヘップワースの大規模な展覧会が1日より9月15日まで、箱根・彫刻の森美術館で行なわれた。野外、屋内の両展示場を活用、過去10年間の作である大小の彫刻39点、素描7点が理想的に展示され、連日多数の観覧客をあつめ、すぐれた彫刻美を満喫させた。サンケイ新聞社、ブリティッシュカウンシル共催。10月17日～11月22日、京都国立近代美術館でも開催。

○首相飛鳥地方を視察 28日佐藤栄作首相、今日出海外文化庁長官等一行は遺跡保存が急務であることが叫ばれている飛鳥地方を視察した。

7 月

○第5回ジャパン・アート・フェスティバル 今年の暮れ、ニューヨークのグッゲンハイム美術館で開かれる第5回ジャパン・アート・フェスティバルの国内展示が11日から26日まで東京国立近代美術館で開かれた。約2600点の応募作品から53点が選ばれ、JAF A大賞は菅木志雄「限界状況(1)」(立体)、優秀賞は今中クミ子、中里斉(平面)、上矢津(版画)、寺田武弘、山田建烈(立体)に決定。

○東京芸術大学美術学部本館にサヨナラ 明治43年のもらい火で全焼、翌年12月25日に完成した東京美術学校(現東京芸大美術学部)本館が、老朽のためまもなく、8月にとりこわされるというので、18日午後2時から卒業生、在校生約1200人が本館前に集って、「本館にサヨナラする会」を開いた。石井鶴三芸術院会員の音頭で乾杯、全国各地からは参加した老卒業生たちがあちこちで旧交をあたためながら、本館のなごりを惜しみ合った。

○「原爆の図」米国で初公開 25年前、広島に落された原爆の惨状を描いた丸木位里、俊夫妻の作品「原爆の図」が今秋アメリカで初めて展示されることが、このほど(7月下旬)決まった。展示されるのは、「幽霊」「火」「水」「虹」「少年少女」「原子野」「竹やぶ」「救出」の8部作

(昭和25年から29年までの執筆分、なお43年までに12部を描き上げた)で、積出しは9月中旬、10月15日からのニューヨークでの展覧会を皮切りに約6カ月間、アメリカの主要都市を移動展示する計画が実現した。この展示はニューヨークにあるニュー・スクール・アート・センターが中心になって行ない、クエーカー教団関係者らの応援もあった。

8 月

○第14回シェル美術賞 民間企業の美術コンクールのさきがけとして知られている第14回シェル美術賞の受賞者が今月初めに決まった。1昨年からテーマを「墨にさよる表現の新しい可能性を開拓する作品」にしほり、ことしの審査は、応募者約400人、搬入点数約900点のなかから選ばれた。受賞者は、1等(賞金50万円)が佐々木壮六、2等(10万円)が田所幸一、3等(5万円)が西真、大塚長栄、黒崎彰、その他佳作17人。9月9日から13日まで、東京・霞ヶ関ビルのプラザホールで入賞作品展が開かれるのを皮切りに、京都(市美術館)、名古屋(桜画廊)を巡回。

○ミレー展 広く世界の人々から愛し親しまれてきた19世紀後半の画家フランソワ・ミレーの作品を中心に、「ミレー・バルビゾン派の画家たち」(読売新聞社:日本テレビ放送網主催)が15日から9月30日まで、東京渋谷・西武百貨店で開かれた。ミレーの作品は油絵24点、デッサン、エッチングなど33点、それにテオドール・ルソー、コロ、ドービニー、ディアズらミレーと切離せぬバルビゾン派の七星といわれる画家たちの17点もあわせて展示した。

○日本文化財団、ミケランジェロ「模刻」を公開 日本文化財団(東京千代田区霞が関ビル内、松下幸之助会長、郡英司理事長)は9月10日から東京港区赤坂2、三井銀行旧赤坂支店の建物に「ミケランジェロ彫刻館」を開館するが、25日陳列されるミケランジェロの「ピエタ」「ダビデ」「モーゼ」の原寸大、大理石模刻を報道関係者に公開した。これらミケランジェロの三大傑作と一緒に国外に紹介されたことはないが、同財団では5年前ミケランジェロの研究家であり、彫刻家のイタリア国立ルッカ美術大リド・ボベッキ教授に模刻を依頼していたのがようやく完成、このほど日本に運ばれたもの。模刻の費用は1億数千円という同財団が負担する。明春3月末まで東京で展示し、そのあと京都、名古屋と巡回する。

○現代の陶芸・ヨーロッパと日本 28日から10月11日まで京都国立近代美術館で開催。デンマーク、フィンランド、フランス、イギリス、イタリア、ノルウェー、スウェーデン、スイスの8カ国83名、日本から47名計約250点が展示された。焼物の質感を生かした新しいオブジェ的作品など、既成の陶器の概念を破ったも

のが多く、北欧ことにフィンランドの活躍が著しかった。

9 月

○「鈴木春信」展 春信の歿後200年を記念して1日から30日迄、東京国立博物館において鈴木春信の特別展が開催された。春信の作品の他に後継者である湖竜斎、文調、春章の作品も合わせて390点近くが展示された。

○神戸須磨離宮公園・第2回現代彫刻展 ビエンナーレ形式の野外彫刻展。招待出品制で今回のテーマは「夜と昼」。土谷武、保田春彦、伊藤隆道、多田美波、堀内正和、若林奮、柳原義達、向井良吉ら20人が参加、方形のステンレス製の造形で光源を内蔵した保田の「ミューゼ・ド・ロム」が大賞を獲得した。1日から10月18日まで、神戸市、日本美術館企画協議会、朝日新聞社主催のもとに開かれた。

○飛鳥・藤原宮跡は国が10年計画で買上げて保存 飛鳥・藤原宮跡の保存対策として文化庁は8日10年計画で約百万平方メートルの土地を約120億円で買上げ史跡を整備するとの方針を明らかにした。

○大宰府史跡を拡大して史跡地に指定 文化庁は21日大宰府史跡106.8ヘクタールのうち特別史跡12.4ヘクタールを文化財保護法に基づき新たに史跡指定地にすることに正式決定し告示した。

○重文白山神社社殿の一部を破損 京都府加茂町白山神社の重文社殿の墓股が落されバラバラに壊れているのが21日に判った。幸いほぼ原型通りに復元が可能である。

○ムンク展 ノルウェーの生んだ巨匠エドワード・ムンクの大展観がノルウェー国立美術館、オスロ市立ムンク美術館の協力により26日から10月18日まで、神奈川県立近代美術館で行なわれた。「叫び」「思春期」などの油絵37点、「不安」「接吻」など版画114点、版画6点で、版画の代表作はほとんど網らしていた。ヒューマンな画情でつらぬかれた作品群は時節柄、多数の観覧者をあつめ、殊に苦しい世代の鑑賞層に非常な感銘を与え、共感を得たことは特筆に価する。東京新聞・中日新聞社主催、同展は46年2月まで、名古屋、神戸、京都を巡回。

10 月

○法金剛院に藤原後期庭園跡を発見 庭園文化研究所(森蔵所長)は3日京都法金剛院の旧庭園発掘調査において、1130年創建当初の旧庭園の遺構のうち滝石と溪流跡が完全な形で発見されたと発表した。

○東洋陶磁展 9日より11月29日まで東京国立博物館

において東洋陶磁展が開かれ英・米・仏・韓国など諸外国の博物館や所蔵者の出品も加えて三百余点にのぼる中国・朝鮮・日本の陶磁の名品が展示された。

○英国風景画展 18世紀初頭から19世紀中期にかけての英国風景画の代表作家ターナーやコンスタブルを中心に、その周辺の著名作家コックス、パークス、ゲインズバラら24名の油絵50点、水彩スケッチ50点の風景画展が国立西洋美術館・日本経済新聞社・ブリティッシュカウンシル主催で10日から11月23日まで国立西洋美術館で開かれた。これだけ大量にまとまってわが国に紹介されたことは初めてのことで有意義だった。以後12月1日～昭和46年1月15日、京都国立近代美術館でも開催。

○近代100年名作展 このほど兵庫県立近代美術館が新設開館したが、その開館記念展として「近代100年名作展」を10日から11月4日まで行なった。日本画59点、洋画56点、彫刻33点にのぼる日本近代美術史上の名作の数々が集められ、開館にふさわしい催し物となった。

○文化勲章・功労者決定 昭和45年度の文化勲章と文化功労者が28日の閣議で内定した。2人の文化勲章受章者のうち美術関係者は、版画の棟方志功、8人の文化功労者のうちでは、ガラス工芸の岩田藤七、洋画の小山敏三、評論の矢代幸雄。文化勲章の伝達式は11月3日皇居で、文化功労者の顕彰式は同4日に東京・虎の門の国立教育会館で行なわれた。

11 月

○現代インド絵画展 ニューデリー、ボンベイ、カルカッタ、マドラスで活躍する現代インド絵画を代表する17名、54点を展示して「現代インド絵画展」が東京国立近代美術館で、3日から29日まで開かれた。共催インド大使館。翌年1月24日～2月14日、京都市美術館でも開催。

○文化財白書 文化庁は4日文化財保護法施行20周年を記念し「文化財保護の現状と問題」を発表した。白書の発行は5年前の15周年白書に次いで2回目であるが、今回は急激な近代化と開発による文化財の危機に対処する為に、文化財保護行政を国土計画の中に位置づけ関連行政機関との強固な連携のもとに開発事業

と文化財保護の調和をはかることを提唱している。

○ボストン美術館にて禅林美術展 文化庁とボストン美術館の主催による禅林美術展が11月5日～12月20日の間、米国ボストン美術館において開催された。日本から向嶽寺藏達磨図をはじめ国宝・重文など72点が出陳されて多大の反響を呼び、米国各地から三万一千名を越える入場者を記録した。

○「古筆手鑑」展 11月10日～29日の間、東京国立博物館に於いて「翰墨城」、「見ぬ世の友」、「藻塩草」の三大手鑑を始め「大手鑑」など資料的価値の非常に高い30点が出陳された。

○芸術、文化部門に褒章 学術、芸術、文化部門など、文部省関係の褒章受章者が10日の閣議で決定した。本年度の美術関係者では、学術、芸術の功労者に贈られる紫綬褒章を陶芸の近藤雄三(雅名・悠三)に、学校教育や社会教育、文化活動に貢献した人への藍綬褒章を美術出版の藤本韶三、古典浮世絵の安達久太郎に、長年教育などの仕事にたずさわっている黄綬褒章を木彫製作の山本栄吉(栄雲)、文化財管理の松尾愛、文化財保護の柿沢真平にそれぞれ贈られることになった。

○芸術院新会員決定 日本芸術院は25日、会員欠員補充選挙の開票を行ない、新会員に第一部、美術部門では、杉山寧(日本画)、円鋸勝三(彫塑)の2名が内定、12月15日文相の任命により正式に決定した。

12 月

○国際版画ビエンナーレ展 第7回東京国際版画ビエンナーレ展が10日から1月24日まで東京国立近代美術館で開催された。参加41カ国、出品作家168名、総計328点の作品を陳列。回を重ねる毎にその技法が工夫され、従来の伝統的技法の他に、写真製版、オフセットなど機械印刷の作品も出てきて、技法の幅が広がり、ことにシルクスクリーンの増加は著しく全体の三分の一近くも占めて、技法の多様化が目撃された。今回から新たに京都国立近代美術館も主催者に加わり、京都での展覧会も46年2月28日から3月21日まで同館でも開かれた。国際大賞にはスイスの彫刻家、ベルンハルト・ルギンビュール「キュークロープス・プラン」(凹版)、国内大賞ともいふべき東京国立近代美術館賞には饗嘯(日本)の「レインボー北斎」が選ばれた。

主要美術展覧会

〔現代美術〕

1 月

藝会日本画展(12回) 4—11 高島屋
 昭和44年度日展日本画受賞作家新作展 4—13 松屋
 池田満寿夫コレクション展 4—15 京王
 新春の日本画展・特別展示「富士」 5—2月15 山種美術館
 鉄斎の名作展 6—8 大阪市立美術館
 フランス現代タビスリー展 6—2月1 東京国立近代美術館
 八樹会展 6—24 日動画廊
 近代日本の工芸展 6—2月15 京都国立近代美術館
 屏風名作特別展 6—3月29 大倉集古館
 尾崎愛明個展 8—17 村松画廊
 錯誤'70展(1回) 8—17 サトウ画廊
 豊島弘尚個展 8—17 樺画廊
 檜葉雅メタモルフォーズ展 8—17 シロタ画廊
 新春展・中国の工芸 8—3月22 出光美術館
 加藤東一スケッチ展 9—13 松屋
 清水晃個展 9—18 ルナミ画廊
 川崎小虎個展 10—20 北辰画廊
 日崎崎尊夫版画展 10—30 美術出版社ロビー
 知求会春季展 12—17 地球堂ギャラリー
 八駿会展(6回) 12—17 スルガ台画廊
 金曜会展(12回) 12—17 資生堂ギャラリー
 芝田耕個展 12—17 ハクホウ画廊
 福沢一郎個展 12—18 戎橋画廊
 家永三郎制作展 12—18 ギャラリーカワチ
 ホッジ・ボッジ・アート展 12—21 ポール・ギャラリー
 島田章三滯欧作品展 12—24 銀座サエグサ画廊

五人展 12—24 ときわ画廊(大西清自、カワシミカズオ、小室至、五月女幸雄、原口典之)
 北村竺個展 12—31 第七画廊
 渡辺三子男個展 12—2月2 芸術生活画廊
 白士会展(5回) 16—21 東和画廊
 19—24 銀座ヤマト画廊
 大森啓助新作展 16—25 日動サロン
 八幡健二展 19—24 日本画廊
 芥川耿展 19—24 壹番館画廊
 錯誤'70展(2回) 19—24 サトウ画廊
 鶴岡洋銅版画個展 19—25 シロタ画廊
 平松輝子個展 19—29 アメリカ文化センターホール
 井上悟個展 19—29 丸の内サエグサ画廊
 岡本半三展 19—31 フジ・アートギャラリー
 昭和44年度院展受賞作家展 20—25 松坂屋
 橋口五葉展 23—28 東急
 鶴田吾郎遺作展 23—29 ギャラリー・アルカンシエル
 群炎会員展 25—2月7 一方堂画廊
 中井勝郎「人間の標本」展 26—31 文芸春秋画廊
 錯誤'70展(3回) 26—31 サトウ画廊
 高島文彦彫刻展 26—31 ときわ画廊
 下川都一郎個展 26—2月1 日動サロン
 本田真吾個展 26—2月1 田村画廊
 中野淳個展 26—2月4 飯田画廊
 刑部人油絵展 27—2月1 三越
 荻野康児個展 27—2月1 高島屋
 田中佐一郎遺作展 27—2月1 松坂屋
 木村光佑個展 28—2月6 紀伊国屋画廊
 佐藤美智子個展 29—2月3 東和画廊

浦崎永錫個展 29—2月6 銀彩堂画廊
 ヒューマン・ドキュメンツ'70展 31—2月14 東京画廊(第1グループ:久野真、斎藤義重、白髪一雄、菅井汲、関根美夫、高間惣七、前田常作、元永定正、吉原治良)

2 月

清宮質文版画展 1—28 南天子画廊
 酒見恒平不孤展 2—7 銀座ヤマト画廊
 金宗学個展 2—8 村松画廊
 松谷武判版画展 2—14 八重洲ステーション・ギャラリー
 吉田光彦版画展 2—28 美術出版社ロビー
 立軌展(22回) 3—8 三越
 田中案山子日本画展 3—8 三越
 県展選抜展 3—9 都美術館
 昭和会展(5回) 3—12 日動サロン
 ビカソ近作版画展 7—3月15 東京国立近代美術館
 錯誤'70小本章個展 9—14 サトウ画廊
 江藤哲個展 9—14 下村画廊
 「煉」展(2回) 9—14 ときわ画廊
 松本弘子個展 9—15 文芸春秋画廊
 山本国晶個展 9—15 シロタ画廊
 三輪龍作の愛液展 9—24 壹番館画廊
 淀井敏夫展 10—3月7 ギャラリー・キューブ
 福地敬治個展 12—21 銀座サエグサ画廊
 レオナルド・フジタリトグラフ展 13—19 日動サロン
 中川一政近作展観 14—30 吉井画廊
 石井明油絵個展 16—21 丸善画廊
 寺田武弘彫刻展 16—21 信濃橋画廊

吉田清志個展 16-21 文芸春秋画廊

山本衛士個展 16-22 田村画廊
木々展・青木一平個展 16-31 夢土画廊

奥田元宋展 17-22 高島屋
17回日府展 18-27 都美術館
富田真平個展 19-28 現代彫刻センター

小玉光雄・恵俊彦二人展 20-28
日本橋画廊

墨の美展—近代日本画への招待 5
20-4月30 山種美術館

中村憲之個展 23-28 ときわ画廊
鈴木博尊個展 23-28 ハクホウ画廊

丸山妙子油絵展 24-3月1 三越
小林ドンゲ・雨月物語刊行記念展
26-3月1 壹番館画廊

3 月

小林萬吾・藤川勇造展 1-22
香川県文化会館

中央公論新人展(日本画)(13回) 2-7
中央公論画廊

錯誤'70展(8回) 2-7 サトウ画廊

柳原睦夫陶芸展 2-14 八重洲ステーション・ギャラリー

大島哲以小品展 2-14 彩壺堂
朝日ビル分室

脇田愛二郎版画展 2-31 美術出版社ロビー

潮展(2回) 3-8 三越

フランス絵画半世紀の巨匠たち「印象派以後」展 3-22 日動画廊

30回美術文化展 4-16 都美術館
会員出品目録
絵画

作品70「Part from—I」 吉岡治美

作品70「Part from—II」

エノコロ草・連山 藤田竜児

於能基呂島(波)

引き裂かれたる流れの中の水により白い泡に仮面の歌ありひとしづくは赤い血の私の涙 竹田甫

SYO その3

「葬」黄色い花につつまれて 岩田哲夫

「葬」灰土にかえる

緑とピーマン1 後藤啓八郎

緑とピーマン2 市川重治

呼吸 村岡和雄

作品 村岡和雄

作品(余情) 岡田徹

女の賭A

女の賭B

夢 森久根

真昼の冒瀆 大西弘之

女の賭B 大宮健嗣

四国のお正月(山) 亀浦忠夫

四国のお正月(町) 岡本唯嗣

伯叔 猪飼重明

追憶の魂 入来天

原野(象化)A 森中喬章

世相 今村市久

脚下 岡田恭於

永遠の夢 小島喜八郎

地獄と木食仏 露木康雄

それはむかしの少年の物語 島駿一郎

黙 松代中

白昼夢 吉田彰

記憶 川元順山

変貌人間 彫像 塔

秋 斂

作品70—A 水野孝嗣

1970(A) 山崎貴英子

1970(B) 栗田フジオ

晩秋 II 青山清輝

晩秋 I 筒井年男

存在 107 横山敏明

存在 91 加藤純雄

源氏物語現代シリーズ(い) 島田雄二

源氏物語現代シリーズ(ろ) 坂東青樹

人間症(A) 小関通

人間症(B) 階級

修羅曼荼羅 繁栄の中の不安

形象(密教) 平和への願い(B)

ポジティブな性 平和への願い(A)

つげる 武政忠

階級 大谷伸爾

「祀り」 前谷治朗

「祀り」 絵画における有意性の限界

絵画における意味の測定 山川誠之

戦国 阿久津寿之

負の影像 児島邦三

果敢なるもの 南正猛

作品 戸川金雄

魔王 千葉一雄

幻覚時代 犬塚政巳

冷たい温室 入来兵衛

露出した部屋 小林猛雄

「殖」の連作 中島尚

阿咩 A 求・みどり No. 4

阿咩 B (ステンレス・布)

顔の影の位相 F L — 23

ルーヴィンの壺 F L — 24

の位相 植田峻弘

視点 島木律

転生 流れる

思索(ステンレス・布)

見えぬもの

美術展覧会(3月)

後遺症
作品'70風景B 村上賢秀
作品'70風景A
作品 1 久米寿夫
作品 2
作品 (A) 池上政子
作品 (B)
人間のなかの人間 戸口ツトム
人間のなかの人間
公害B 中村博
敗北・ベトナム
公害A
作品GR-1 東政美
相 III 堀田修
相 II
相 I
相 IV
デザートはいかが
沖繩・伊佐浜
沖繩・嘉手納
バリの空(女)R
バリの空(女)Q
相 似(2)
相 似(1)
構成 402-2
構成 402-1
四つの自由
(No. 2)
四つの自由
(No. 4)
四つの自由
(No. 3)
四つの自由
(No. 1)
眼点 中野好喜
影 八島正明
波のフォルム2 高橋敏行
波のフォルム3
彫刻
曲勢 国光与之
作品 45-3 久富金之
作品 45-2
作品 見崎泰中
なかまのちかいはかたいぞ 富田宏代
20回一線美術展 4-16 都美術館
橋本雅邦展 4-18 埼玉県郷土資料室
万博記念大和文華館名品展—東西の交流 4-4月26 大和文華館

15回新世紀展 5-16 都美術館
南大路一展 5-19 ギャラリーためなが
福島金一郎個展 6-12 日動サロン
13回安井賞展 6-17 西武
出品目録
内的風景 2 麻田浩明
人鳥70-「秀」II 跡部邦雄
赤い木 荒井茂雄
春 五十嵐二朗
黒い運河 磯村敏之
無言譜 市川正三
ひろがりの中で
モンマルトルの見える青い門
枯野
ガールドリヨン
野外フラメンコ
絵描きの洗礼
夜
カモフラージュの為の講義室
窓からの夜の眺め
峯を越えて
夜に(A)
むつごろ
青空の中の青空
空間B(正常と異常の間)
漁場
扉
緑とピーマン
ピアッツアのある街
朝
サンマクルー
雪の鉢山
室内裸女
オレンジ色のストライプ
次元交錯 I
黙劇 No.4
黄色い部屋
子供と孔雀
丘
シャトー
漁港
ピラミッド
病む(暗示にかかった手)
友添泰典

ENTRANCE
樹下
奥千本
ニッポン7
「風神」
ニッポン8
「雷神」
雲と砂丘
教会 I
小さな物語より
「いつかある日」
性花
緑のカメ
橋
北の海 B
昼と夜と
採鉱所 A
唄う人
翠木萬華
春木萬華
レモンのある静物
森
豊かな海
食卓
タイルの静物
コタンクルカムイの静物
すてきなソファ—「夜」
FICTION
SPACE-D—
少年
濠
かくれきりした人(2)
人花
あの恋のそばで
寺内萬治郎遺作展
館
出品目録
油彩
自画像
山茶花と子供
庭に立つ子供
風景
風景
裸婦

友田智恵
中根寛夫
中村貞夫
西岡茂八郎
西田亨
林清納
早川義孝
坂東青樹
樋口治平
日野耕之祐
平野遼一
藤井俊喬
藤沢吉香
星俊六
堀口千鶴雄
馬越陽子
松井豊人
松樹路人
松本宏
三尾公三
三宅悦隆
三輪勇之助
山田文子
山本久美子
ユタカ順子
6-15 埼玉会

裸婦	大正15年聖徳太子奉賛展出品	裸婦	昭和35年作 木炭	コルシカ島理想化女
浴衣	昭和10年第1回第二部会展出品	裸婦	昭和37年朝日新聞社主催 寺内萬治郎素描展出品 木炭	巴里の宿
緑の服	昭和11年第二部会小品展出品	裸婦	同素描展出品 ペン 着色	伎場(カジノ・ド・パリ)
赤いコート	昭和13年第2回文展出品	裸婦	同素描展出品 木炭 パステル	ヴェルサイユの初夏
婦人像	昭和18年ころ作	裸婦(座像)	同素描展出品 木炭 パステル	ヴェルサイユの新緑
画家S君の像	昭和21年第2回日展出品	裸婦立像	同素描展出品 鉛筆 淡彩	南仏の春
裸婦	昭和22年作	少女(座像半身)	同素描展出品 クレパス	巴里の初夏
赤いオーバーの女	昭和22年ころ作	婦人(座像半身)	同素描展出品 木炭	巴里郊外、サン・クルーの庭
横臥裸婦	昭和25年第6回日展出品 芸術院賞受賞作	たけのこ	昭和19年作 鉛筆	巴里郊外、サン・クルーの新緑
足を投げ出す女	昭和26年第7回日展出品	バギオ土産(ダモルテス)	鉛筆 淡彩	巴里、ノートルダム寺院
裸婦立像	昭和26年作	柿	昭和22年作 鉛筆 淡彩	巴里、シャイヨー美術館のテラス
婦人像	昭和26年ころ作	かぼちゃとピーマン	シ	ニース郊外、マチスの家
背を向く裸婦	昭和28年厚生省国立公園協会委嘱作	なすときゅうり	シ	熱河承德大観
海裸婦		トマト	シ	広東大観
荒川溪谷		ピーマン、なす、みょうが	シ	北京大観
風景		く	シ	大同石仏
遅日像		ゆずと松たけ	昭和31年作	蘇州の城内
風景		扇画 柿	鉛筆 淡彩	泰国の夕空 ロップブリー平野
裸婦	昭和32年ころ作	遺影	1葉	泰国バンコック、ワット・アルン古塔
うづくまる裸婦	昭和34年第2回日展出品	父の像	レリーフ プロンズ製	金とモザイクの廻廊
裸婦	昭和34年	写真「アトリエの寺内先生」	1葉	泰国王宮内ワット・プラケオ寺院前
裸婦	昭和37年朝日新聞社主催 寺内萬治郎素描展出品	遺品「パレット」	1枚	海金剛夕陽
裸婦	昭和38年第6回日展出品	遺品「絵筆」	14本	奔流
裸婦	昭和39年第50回光風会展出品	俳句	杉村彩雨著「春塵抄」掲載1句	瀑布
裸婦	昭和40年第51回光風会展出品	ハガキ	自筆年賀状1葉	マンチリヤを被る女
パステル		雑誌「赤い鳥」挿絵	昭和6年2月4月5月号	中禅寺湖風景
裸婦	素描	同「金の星」表紙絵	復刻版	中禅寺湖の新緑
裸婦	昭和27年作ペン	難波田龍起個展	スクラップブック1冊	東照宮内
裸婦	昭和29年作 昭和37年朝日新聞社主催 寺内萬治郎素描展出品 木炭	13回新協展		夜又門(日光)
裸婦	木炭	7-16 都美術館		広目天
裸婦		川島理一郎展	7-29 東急日動画廊	鍾馗憤怒
裸婦		出品目録		二人舞妓
裸婦		兵士と女		舞妓
裸婦				舞妓(嵐山)
裸婦				舞妓(折鶴)
裸婦				舞妓
裸婦				蘭
裸婦				蘭花
裸婦				蘭花園
裸婦				蘭花園
裸婦				蘭花
裸婦				南方の蘭花園
裸婦				蘭花
裸婦				蘭花
裸婦				洋蘭とシャボテン
裸婦				牡丹
裸婦				牡丹
裸婦				スペイン壺に牡丹
裸婦				花咲く樹々

緑蔭
森
森の丘
緑蔭
日比谷公園
朝の森
杭州西湖
赤富士
富士箱根
踊り
夜の舞妓
浮世絵の誘惑
王宮の踊り
愉快な仲間
花祭
草華
蘭花幻想
太陽にうたう
雨と風の詩
雨と風の詩
夕映えの調べ
湖の幻想
熱帯の風
風
メトロ
鎌倉山風景
置き物の犬を前に
土方久功水彩画個展 8—14 大倉
画廊
二元会代表作品展 9—14 下村画
廊
野村博個展 9—14 養清堂画廊
錯誤'70展(9回) 9—14 サトウ画
廊
主潮会展 9—14 昭和画廊
高瀬昭男展 9—17 みゆき画廊
瑛九個展 9—18 沓番館画廊
自由美術三人展 9—21 日本画廊
(西八郎、大野修、市川秀光)
加守田章二作陶展 10—15 高島屋
今日のコンクリート・ポエトリ展
12—4月1 芸術生活画廊
山口薫展 13—25 西武
万国博美術展・調和の発見 15—9
月13 万国博美術館
作品リスト
創造のあけぼの
幾何文様の土器 テヘラン、イラン
文化省(考古学局)
舞踊人物文様の高坏
車輪つき小壺

長口の水準 アンカラ考古博物館
祭礼用標識
角馬文様の金杯 テヘラン、イラン
文化省(考古学局)
人物、獅子、牛の矢筒
女の土偶
男の土偶
祈る男の像 バグダッド、イラク博
物館(古代美術総局)
祈る女の像
ウルの王ウル・ナムの像
狭い肩のグデア像 バリ、ルーヴル
美術館
アッシリアの象牙浮彫 バグダッ
ド、イラク博物館(古代美術総局)
精霊の浮彫 ロンドン、大英博物館
アッシリアの廷臣の頭部
アッシュルナシル王の頭部
獅子狩の浮彫 アスラン・テベ出土
獅子(グリフォン)文様の飾り版 テ
ヘラン、イラン文化省(考古学局)
神像の浮彫 バグダッド、イラク博
物館(古代美術総局)
戦車、岩壁画 アルジェ、バルド博
物館
牛と駝鳥、岩壁刻画
女の坐像 アディス・アババ国立博
物館
分銅、印章 ガーナ国立博物館
書記の坐像 カイロ、エジプト博物
館
ワシユ・カーの家族
アンテフの石碑
アケナトンとネフェルティティの石
碑
ツタンカーメン王立像
ラメセス二世の頭部
地母神 ニューデリー、国立博物館
りす
牛
アステカ浮彫 アステカ、メキシコ・
シティ、国立人類博物館
マヤの石碑古
アクロポリスの少女像 アテネ、ア
クロポリス美術館(古代美術総局)
花をもつ少女 バリ、ルーヴル美術
館
競技者の頭部

アルカディウスの頭部 イスタン
ブール、考古博物館
エルコラーノの婦人像 ナポリ国立
考古美術館(ナポリ・カセルタ地
区古代美術総局)
ローマ市民の像
イシス神殿のヴィーナス
神殿のある風景
トーテム・ポール アラスカ・イン
ディアン、シトカ、アラスカ経済
開発局
仮面 マランガン様式、シドニー、
オーストラリア博物館
丸木舟の飾り マランガン様式
祖霊像 マオリ、ウェリントン、ド
ミニオン美術館
ジャンガウ神話 No. 5 シドニー、
ニュー・サウス・ウェールズ美術館
方壺(ホウライ、角ばった酒がめ)
東京、根津美術館
壺(酒がめ) 京都、財団法人泉屋博
古館
乳虎
鼎(ティ、三足器) 東京、出光美術館
双羊尊 東京、根津美術館
白(ユウ、蓋と提げ手のある盛酒器)
東京、根津美術館
壺(ホウ、酒がめ) 東京、出光美術館
尊(ソ、酒器)
兕觥(ジコウ、水さし型の酒器)
壺(ホウ、酒がめ) 大阪財団法人藤
田美術館
方尊(ホウソン、角ばった盛酒器)
甗(ケン、穀物の蒸し器) 京都、財
団法人泉屋博古館
鼎(ティ、三足器) 東京、出光美術
館
狩猟文様の鏡 東京、永青文庫
斜格子文様の壺(コ、つぼ) 東京、
永青文庫
ひざまずく人物 トロント、ロイヤ
ル・オンタリオ博物館
ひざまずく人物
怪獣幾何学文様の鏡 東京、財団法
人五島美術館
頭のひらたい土偶 西宮、辰馬悦蔵
三つ口の土偶 東京国立博物館
容器形の土偶
人面装飾の土器 西宮、辰馬悦蔵

渦巻文様の深鉢 東京国立博物館
 紐文様のかめ 〃
 火焰形の深鉢 〃 長岡、近藤篤穂
 渦巻文様のかめ 〃 長野、井戸尻
 考古館
 輪積み形の深鉢 〃
 細線文様の深鉢 〃
 鈎文様の深鉢 〃
 曲線文様の深鉢 大阪、阿形邦三
 段飾りの壺 東京国立博物館
 朱塗りの壺 〃
 長頸の壺 〃
 騎馬人物飾りの壺 〃
 人物飾りの壺 京都国立博物館
 こしかける女の埴輪 東京国立博物館
 琴をひく男の埴輪 群馬、相川徹子
 武装の埴輪 東京国立博物館
 鳥獣文様の銅鐸 〃
 鹿文様の銅鐸 西宮、辰馬悦蔵
 渦巻文様の銅鐸 〃
 渦文飾りの銅鐸 東京国立博物館
 透し彫り鞍金具 大阪、菅田八幡宮
 怪獣文様の冑 東京国立博物館
 直弧文の鏡 宮内庁
 内行花文の鏡 〃
 男の土偶 ジェラブルス出土 イス
 タンブル、考古博物館
 女の土偶 〃
 男の頭部 ラゴス、ナイジェリア国
 立美術館
 入墨を入れた男の頭部 ラゴス、イ
 フェ美術館
 入墨をしない男の頭部 ラゴス、イ
 フェ美術館
 正装のオバ王とその従者 ラゴス、
 ナイジェリア国立美術館
東西の交流
 バッカスの饗宴 ラホール美術館
 如来像 東京国立博物館
 如来坐像 岡山学園
 如来頭部 カーブル博物館
 如来頭部 〃
 如来頭部 〃
 如来頭部 〃
 菩薩浮彫 〃
 如来頭部 東京国立博物館
 仏頭 東京、個人

仏陀立像 ニューヨーク、メトロポ
 リタン美術館
 幟をもつ菩薩 東京国立博物館
 器をもつ菩薩 〃
 ドルナの像 〃
 有翼の天使 〃
 菩薩群像 バリ、ギメ美術館
 兜跋毘沙門天 京都、教王護国寺
 (東寺)
 舍利容器 バリ、ギメ美術館
 舍利容器 東京国立博物館
 舍利容器 〃
 釈迦如來說法の刺繍 奈良国立博物
 館
 飛天の刺繍 東京国立博物館
 花鳥文様の板縮染 〃
 花草文様の蠟染 〃
 縞文様の絞染 〃
 花鳥文様の錦 〃
 唐花文様の錦 〃
 宝珠と山形文様の綴織 〃
 大唐草文様の錦 正倉院宝物 宮内
 庁
 鴛鴦と唐草文様の錦 〃
 羅の幡 正倉院宝物 〃
 錦の幡 〃
 鹿草木文様の板縮染 〃
 狩獵文様の錦 〃
 花樹孔雀文様の刺繍 〃
 花樹双鳳及羊文様の白綾 〃
 羅の短袖衣 〃
 花文様の毛氈 〃
 カットグラスの碗 東京国立博物館
 カットグラスの碗 岡山学園
 カットグラスの碗 〃
 バルメット文様の銀皿 テヘラン、
 イラン文化省(考古学局)
 花喰鳥文様の盃 大阪市立美術館
 唐草文様の鏡 東京、財団法人五島
 美術館
 鳥獣葡萄文様の鏡 愛媛、大山祇神
 社
 葡萄唐草文様の染草 奈良、東大寺
 天人透し彫りの幡 東京国立博物館
 狩獵文様の銀皿 東京、出光美術館
 狩獵文様の銀壺 奈良、東大寺
 ペルシア三彩の鉢 ニシャプール窯
 大阪、個人
 ペルシア三彩の大皿 東京、山品賢
 治氏
 双獣文様の鉢 大阪、個人

浮彫のある瓶 テヘラン、イラン文
 化省(考古学局)
 装飾水差 〃
 彩色飾壺 東京国立博物館
 唐三彩の大盤 東京、永青文庫
 唐三彩の六葉盤 東京国立博物館
 花形の盤 奈良、唐招提寺
 酒袋を持つ商人 〃 シアトル美術
 館
 唐三彩の胡人 東京国立博物館
 唐三彩の駱駝 〃
 唐三彩の駱駝 〃
 人物文様の水差 東京、出光美術館
 唐三彩の水差 東京国立博物館
 唐三彩の水差 〃
 奈良三彩の壺 京都国立博物館
 青釉の平鉢 倉敷、大原美術館
 青白磁の鉢 東京国立博物館
 鳳凰文様のタイル カシャーン窯
 岡山学園
 文様のタイル テヘラン・イラン文
 化省(考古学局)
 寄木の手箱 宮内庁
 瑞鳳塚の金冠、帯鉤 ソウル、韓国
 国立博物館
 有翼の怪獣 バリ、ルーヴル美術館
聖なる造形
 仏説法図(シュラーヴァスティの
 奇蹟) カルカッタ、インド博物
 館
 菩薩像 バリ、ギメ美術館
 仏伝浮彫 ラホール美術館
 菩薩像 東京、根津美術館
 ヴェッサンタラ本生の浮彫 カル
 カッタ、インド博物館
 タラ神 〃
 シバ神 ニューデリー、国立博物館
 ヴィシュヌ神 〃
 阿閼如来 ネパール政府
 如来立像 シアトル美術館
 如来立像 バンコック、国立博物館
 法輪 〃 〃
 ホンサ(霊鳥) アユデューヤ、国立
 博物館
 弥勒菩薩 プノンペン、カンボジア
 国立博物館
 四羽のハムサに乗る男神 〃 〃
 ナーガ上の如来 〃
 地母神ヴァスンダリ ラングーン、
 ビルマ文化省
 如来坐像 東京、永青文庫

美術展覧会(3月)

弥勒菩薩
京都個人
菩薩交脚像 雲崗将来 ニューヨーク、メトロポリタン美術館
如来立像 雲崗将来 パリ、ギメ美術館
菩薩頭部 京都大学人文科学研究所
菩薩半跏像 東京、永青文庫
菩薩交脚像 京都、藤井齊成会
仁王像 天龍山第8窟将来京都、藤井齊成会
菩薩立像 クリーヴランド美術館
三尊仏浮彫 宝慶寺伝来東京、永青文庫
十一面観音浮彫
銅板押出仏 東京、根津美術館
観音菩薩半跏像 ホノルル・アカデミー・オブ・アーツ
普悦阿彌陀三尊 京都、清浄華院
釈迦三尊 京都、二尊院
釈迦と二声聞 堺、祥雲寺
孔雀明王 京都、仁和寺
千手観音 岐阜、虎溪山永保寺
楊柳観音 大津、聖衆来迎寺
舍利容器、四天王 感恩寺石塔より
発見ソウル韓国国立博物館
弥勒菩薩半跏像 ソウル、韓国国立博物館(徳寿宮)
弥勒菩薩半跏像 京都、広隆寺
菩薩立像(救世観音) 奈良、法隆寺
聖観音 奈良薬師寺
夢違観音 奈良法隆寺
誕生釈迦仏 奈良、東大寺
阿彌陀如来 奈良、法隆寺
薬師如来 京都、高山寺
梵天 奈良、唐招提寺
帝釈天
日羅立像 奈良、橘寺
地藏菩薩 奈良、神南融念寺
薬師如来 奈良国立博物館
不動明王 京都、般若院
不動明王 京都、広隆寺
兜跋毘沙門天 京都、清凉寺
雲中供養菩薩 宇治、平等院
雲中供養菩薩
雲中供養菩薩
長勢 真達羅大将(十二神将の内) 京都、広隆寺
恵光童子(八大童子の内) 和歌山、高野山金剛峯寺

快慶 仏弟子立像(十大弟子の内)
京都、大報恩寺(千本釈迦堂)
仏弟子立像(十大弟子の内)
風神 京都、妙法院(三十三間堂)
雷神
摩和羅女(二十八部衆の内)
誕生釈迦仏 京都、大報恩寺(千本釈迦堂)
子島曼荼羅 奈良、子島寺
胎藏界曼荼羅(両界曼荼羅の内) 京都、教王護国寺(東寺)
金剛界曼荼羅(両界曼荼羅の内)
両界曼荼羅 大阪、四天王寺
釈迦如来 京都、神護寺
仏眼仏母像 京都、高山寺
十一面観音 東京、日野原家
千手観音 東京国立博物館
普賢菩薩 鳥取、豊乗寺
普賢延命 舞鶴、松尾寺
普賢十羅刹女 文化庁
普賢十羅刹女 鳥取、常忍寺
虚空蔵菩薩 東京国立博物館
孔雀明王 奈良、法隆寺
孔雀明王 東京国立博物館
孔雀明王 舞鶴、松尾寺
無畏十力吼(五大力菩薩の内) 和歌山、高野山有志八幡講十八箇院
金剛吼(五大力菩薩の内)
竜王吼(五大力菩薩の内)
不動明王(五大尊の内) 京都、教王護国寺(東寺)
大威徳明王(五大尊の内)
降三世明王(五大尊の内)
軍荼利明王(五大尊の内)
金剛夜叉明王(五大尊の内)
青不動 京都、青蓮院
黄不動 京都、曼殊院
大威徳明王 奈良、唐招提寺
大威徳明王 奈良、談山神社
吉祥天 奈良、薬師寺
帝釈天(十二天の内) 奈良、西大寺
火天(十二天の内)
焰摩天(十二天の内)
羅刹天(十二天の内)
水天(十二天の内)
風天(十二天の内)
毘沙門天(十二天の内)
伊舎那天(十二天の内)
梵天(十二天の内)
地天(十二天の内)
日天(十二天の内)
月天(十二天の内)
十二天屏風 京都、神護寺
珍海 羅刹天(十二天の内) 大阪、前田維
珍海 羅梵天(十二天の内) 大阪、前田維
日天(十二天の内)
地天(十二天の内)
阿彌陀浄土曼荼羅 和歌山、高野山西禪寺
九品曼荼羅 和歌山、高野山清浄心院
阿彌陀来迎図 奈良、興福院
阿彌陀来迎図 桜井、長谷寺
山越阿彌陀図 京都、禅林寺(永観堂)
山越阿彌陀図 文化庁山越阿彌陀・地獄極楽図 京都、金戒光明寺
涅槃図 東京国立博物館
涅槃図 奈良、達磨寺
隆信忠涅槃図 奈良国立博物館

梵天(十二天の内)
地天(十二天の内)
日天(十二天の内)
月天(十二天の内)
帝釈天(十二天の内) 京都、教王護国寺(東寺)
火天(十二天の内)
焰摩天(十二天の内)
羅刹天(十二天の内)
水天(十二天の内)
風天(十二天の内)
毘沙門天(十二天の内)
伊舎那天(十二天の内)
梵天(十二天の内)
地天(十二天の内)
日天(十二天の内)
月天(十二天の内)
託磨勝賀帝釈天(十二天の内)
火王(十二天の内)
焰摩天(十二天の内)
羅刹天(十二天の内)
水天(十二天の内)
風天(十二天の内)
毘沙門天(十二天の内)
伊舎那天(十二天の内)
梵天(十二天の内)
地天(十二天の内)
日天(十二天の内)
月天(十二天の内)
十二天屏風 京都、神護寺
珍海 羅刹天(十二天の内) 大阪、前田維
珍海 羅梵天(十二天の内) 大阪、前田維
日天(十二天の内)
地天(十二天の内)
阿彌陀浄土曼荼羅 和歌山、高野山西禪寺
九品曼荼羅 和歌山、高野山清浄心院
阿彌陀来迎図 奈良、興福院
阿彌陀来迎図 桜井、長谷寺
山越阿彌陀図 京都、禅林寺(永観堂)
山越阿彌陀図 文化庁山越阿彌陀・地獄極楽図 京都、金戒光明寺
涅槃図 東京国立博物館
涅槃図 奈良、達磨寺
隆信忠涅槃図 奈良国立博物館

涅槃図 大津、大本山石山寺
 涅槃図 奈良、新薬師寺
 涅槃図 大阪、長宝寺
 八相涅槃図 福井、剣神社
 男神 京都、松尾大社
 男神 〳
 女神 〳
 板絵神像 京都、宝積寺鎮守堂
 板絵神像 〳
 板絵神像 〳
 板絵神像 〳
 清滝権現 東京、畠山記念館
 狩場明神 和歌山、高野山金剛峯寺
 丹生明神 〳
 新羅明神 大津、園城寺(三井寺)
 御子守女神 京都、個人
 春日明神影向図 大阪、財団法人藤田美術館
 中尊寺経 和歌山、高野山金剛峯寺
 扇面法華経冊子 大阪、四天王寺
 長谷寺経 桜井、長谷寺
 アーメット・ムーサ 昇天物語挿絵、マホメットと天使たち
 イスタンブール、トプカピ美術館
 アーメット・ムーサ 昇天物語挿絵、海を渡るマホメット 〳
 カシム・バシヤ マホメットの生涯
 イスタンブール、トルコ・イスラム美術館
 コーラン 〳
 エミール・ヒソンの記念碑 カイロ、イスラム美術館
 エル・ハナフィ寺院の扉 〳
 祈禱用絨毯 イスタンブール、トルコ・イスラム美術館
 聖女エウドキア イスタンブール、考古博物館
 竜を退治する聖ゲオルギウス モスクワ、トレチャコフ美術館
 大天使ミカエル 〳
 やさしみの聖母 レニングラード、ロシア美術館(ソ連文化省)
 聖母と王の王キリスト ソフィア、国立美術館
 聖告 〳
 大天使ミカエル バルデヨフ、シャーリシュ美術館
 玉座のキリスト 〳
 大天使ミカエルと聖者たち バルデヨフ、シャーリシュ美術館
 聖マグダレーナ寺院の聖母 フルボ

カー、南ボヘミア・アレシエ美術館
 画家テオドリック 聖ヒエロニムス
 プラハ、中央ボヘミア文化財保護局
 ビエタ フルボカー、南ボヘミア・アレシエ美術館
 聖母子 バリ、ルーヴル美術館
 幼児キリストに乳を与える聖母 〳
 司教の像 バルセロナ、マレーズ美術館
 聖母子 〳
 聖母子 〳
 聖母子と寄進者たち リスボン、国立古代美術館
 サントス・オ・ノーボの祭壇画の画家 聖告 〳
 サントス・オ・ノーボの祭壇画の画家 羊飼の礼拝 〳
 〳 キリストの埋葬 〳
 聖母子の厨子 エボラ美術館
 香炉 ベルリン、工芸美術館(プロシア文化財美術館総局)
 獅子聖水注 〳 (〳)
 十字架 〳 (〳)
 ウェストファリア派の画家 聖母子
 ベルリン、絵画館(〳)
 テイルマン・リーメンシュナイダー 殉教者聖エラスムス ベルリン、彫刻館(プロシア文化財美術館総局)
 カトリコン ベルリン、美術図書館(〳)
 アルブレヒト・デューラー 黙示録 〳 (〳)
 ルカス・クラナッハ 新約聖書の木版挿絵 〳(〳)
 シモーネ・マルティニ 聖女カタリーナ オッタワ、カナダ国立美術館
 ベルナルド・ダッディ 聖母と幼児キリスト サン・パウロ美術館
 タッデオ・ガッディ キリストの変容 フィレンツェ、バディア(フィレンツェ地区美術館総局)
 タッデオ・ガッディ キリストの変容のシノピア 〳 (〳)
 スピネルロ・アレティーノ 聖告
 アレッツォ、サン・ロレンツォ聖堂(フィレンツェ地区美術館総局)

フラ・アンジェリコ 殉教者聖ペテロ(〳)
 殉教者聖ペテロのシノピア 〳(〳)
 マソリーノ・ダ・パニカーレ 聖イヴォと崇拝者たち エンポリ、サンタゴスティーノ聖堂 (〳)
 アンドレア・デル・カスターニョ 聖三位一体と聖ヒエロニムス
 フィレンツェ、サンティッシマ・アスンツィアータ聖堂(〳)
 聖三位一体と聖ヒエロニムスのシノピア
 アンドレア・マンテーニャ 荒野の聖ヒエロニムス サン・パウロ美術館
 アンドレア・デル・サルト ザカリヤのお告げ フィレンツェ、スカルツォ修道院(フィレンツェ地区美術館総局)
 ヤコボ・ダ・ボントルモ キリストの磔刑 フィレンツェ地区美術館総局
 ラファエルロ 足萎えをいやす聖ペテロ ロレト法皇離宮
 犠牲を拒む聖パウロ、〳
 ジョヴァンニ・デラ・ロbbiea 聖母子と聖ヨハネ フィレンツェ、パルジェロ美術館
 ヤコボ・ダ・ボンテ・パッサーノ 羊飼の礼拝 ウィーン、美術史美術館
 ジュリオ・チェザーレ・プロカッチーニ 侮れるマグダラのマリヤ
 ミラノ、ブレラ美術館
 サルヴァトーレ・ローザ マルヴァールの聖ギョーム ウィーン、美術史美術館
 ティツィアーノ 聖母子 ローマ、レオナルド・アルベルティーニ氏
 ロジェ・ヴァン・デル・ワイデン 聖告 アントヴェルペン、王立美術館
 ベトルス・クリストッス 聖エリザベートとボルトガルのイザベラ
 ブリュージュ、市立美術館
 聖ルチア伝の画家 聖ニコラス 〳
 ビーテル・パウル・ルーベンス 十字架のキリスト アントヴェルペン、王立美術館
 アントン・ヴァン・ダイク ビエタ 〳

美術展覧会(3月)

フィリップ・リーペルト トラン
ベックを吹く天使 ケベック美術
館

自由への歩み

伝禅月貫休 羅漢(十六羅漢の内)
宮内庁
羅漢(十六羅漢の内) 京都、清涼寺
伝石恪 二祖調心図 宋時代 東京
国立博物館
伝李成・王曉 読碑窠石図 大阪市
立美術館 阿部コレクション
燕文貴 江山樓觀図 シ
瀟湘臥遊図 東京国立博物館
徽宗 搗練図 ポストン美術館
伝徽宗 秋景山水図 京都、金地院
冬景山水図 シ シ
米友仁 遠岫晴雲図 大阪市立美術
館 阿部コレクション
李唐 秋冬山水図 京都、高桐院
伝閻次平 秋野牧牛図 京都、住友
家
伝毛松 猿図 東京国立博物館
李廸 紅白芙蓉図 シ
伝馬麟 梅花小禽図 東京、財団法
人五島美術館
不空三蔵像 京都、高山寺
梁楷 雪景山水図 東京国立博物館
牧谿 遠浦歸帆図(瀟湘入景の内)
東京、日野原家
玉潤 洞庭秋月図(瀟湘入景の内)
加賀、矢田松太郎
シ 廬山図 南宋時代 東京、吉川
家
因陀羅 智常・李渤図(禅機図の内)
東京、品山記念館
シ 智常禅師図(禅機図の内)元時代
東京、静嘉堂
伝銭選 牡丹図 京都、高桐院
宮女図 岡山、個人
顔輝 蝦蟇仙人図 京都、知恩寺
シ 鉄拐仙人図 シ シ
一巻 中峰明本像 兵庫、高源寺
孫君沢 劉阮天台図 萩、菊屋嘉十
郎
シ 樓閣山水図 シ パークレー、
ジェームス・ケーヒル
方從義 太白滝湫図 大阪市立美術
館 阿部コレクション
戴進 春冬山水図 萩、菊屋嘉十郎

李在 山水図 東京国立博物館
石銳 探花図 高槻、橋本末吉
仇英 樓閣山水図 京都、禅林寺(永
観堂)
呂紀 四季花鳥図(春) 東京国立博
物館
シ 四季花鳥図(夏) シ
シ 四季花鳥図(秋) シ
呂紀 四季花鳥図(冬) シ
謝時臣 山齋雅集図 高槻、橋本末
吉
李著 漁樂図 シ
徐渭 松石図 シ
文徵明 秋光泉声図 シ
文嘉 琵琶行図 大阪市立美術館
阿部コレクション
文伯仁 万竿烟雨図(四万山水図の
内) 東京国立博物館
シ 万壑松風図(四万山水図の内)
シ
シ 万頃晴波図(四万山水図の内)
シ
シ 万山飛雪図(四万山水図の内)
シ
莫是龍 雲林飛瀑図 高槻、橋本末
吉
董其昌 盤谷図 大阪市立美術館
阿部コレクション
趙左 竹院逢僧図 シ
倪元璐 山水図 東京、静嘉堂
王鐸 夏景山水図 シ
陳紹英 夏景山水図 シ
米万鐘 寒林訪客図 高槻、橋本末
吉
呉彬 迎春図 クリーヴランド美術
館
シ 溪山絶塵図 高槻、橋本末吉
丁雲鵬 夏山欲雨図 シ
盛茂輝 秋山観瀑図 シ
藍瑛 荷郷清夏図 京都、森川家
龔賢 千山夕照図 高槻、橋本末吉
陸騫 江山泛舟図 高槻、橋本末吉
石谿 報恩寺図 京都、個人
八大山人 山水図 京都、相国寺
石濤 廬山観瀑図 京都、住友家
シ 東坡詩意図冊 大阪市立美術館
阿部コレクション
石濤 黄山図巻 京都、住友家
黄鼎 漁樂図 高槻、橋本末吉

高其佩 天保九如图 大阪市立美術
館 阿部コレクション
華嵒 大鵬図 京都、個人
金農 墨竹図 大阪市立美術館
李鱣 花鳥図冊 シ
朱虚谷 金魚図 高槻、橋本末吉
呉俊卿 藤図 シ
斉璜(白石) 桜桃図 高槻、橋本末
吉
伝藤原隆信 平重盛像 京都、神護
寺
シ 源頼朝像 シ シ
伝藤原隆信 藤原光能像 シ シ
文覚上人像 シ
北条実時像 横浜、称名寺(神奈川
県立金沢文庫保管)
北条顕時像 シ
明恵上人像 京都、高山寺
道宣律師像 京都、泉涌寺
元照律師像 シ
俊蒔律師像 シ
無等周位 夢窓国師像 京都、妙智
院
没倫紹等 一休宗純像 東京国立博
物館
鳥獣人物戯画(甲巻) 京都、高山寺
鳥獣人物戯画(乙巻) シ
鳥獣人物戯画(丙巻) シ
鳥獣人物戯画(丁巻) シ
華嚴祖師絵伝 京都、高山寺
三条殿焼討ち(平治物語絵巻より)
ポストン美術館
絵師草紙、御物 宮内庁
円伊 一遍上人絵伝 京都、歓喜
光寺
三十二番職人歌合絵巻 枚方、幸節
静彦
如拙 瓢鮎図 京都、退蔵院
溪陰小築図 京都、金地院
聴松軒図 東京、静嘉堂
三益齋図 シ
蜀山図 シ
柴門新月図 大阪、財団法人藤田美
術館
伝周文 山水図 東京、根津美術館
雪舟 破墨山水図 東京国立博物館
雪舟 山水図 岡山、個人
雪舟 四季山水図(春) 東京国立博
物館
雪舟 四季山水図(夏) シ
雪舟 四季山水図(秋) シ

雪舟 四季山水図(冬) シ
 雪舟 四季山水図(春) 東京、個人
 雪舟 四季山水図(夏) シ
 雪舟 四季山水図(秋) シ
 雪舟 四季山水図(冬) シ
 雪舟 天橋立図 京都国立博物館
 雪村 風濤図 京都、個人
 雪村 松に鷹図 東京国立博物館
 雪村 松に鷹図 シ
 相阿弥 山水図 京都、個人
 雪村 瀟湘入景図 京都、大仙院
 芸阿弥 観瀑図 東京、根津美術館
 狩野正信 山水図 室町時代 兵庫、個人
 日月山水図 大阪、金剛寺
 松桜図 京都、妙蓮寺
 柳桜草花図 京都、妙法院
 狩野永徳 花鳥図 京都、聚光院
 狩野元秀 四季花鳥図 大阪、田万清臣氏
 狩野山楽 牡丹図 京都、大覚寺
 狩野山雪 梅に遊禽図 京都、天球院
 海北友松 四季山水図 熱海、世界救世教
 海北友松 山水図 東京国立博物館
 海北友松 花鳥図 京都、建仁寺
 長谷川等伯 鳥鷺図 東京、大日本インキ化学工業株式会社
 長谷川等伯 猿猴竹林図 京都、相国寺
 長谷川等伯 柳橋水車図 大阪、前田維
 宇治橋図 東京国立博物館
 俵屋宗達 風神雷神図 京都、建仁寺
 俵屋宗達 蓮池水禽図 京都国立博物館
 俵屋宗達 西行法師行状絵詞3巻 京都、森川家
 俵屋宗達 西行法師行状絵詞4巻 シ
 俵屋宗達絵 本阿弥光悦詞 蓮花図 下絵和歌巻 京都、個人
 長谷川等伯 武田信玄像 和歌山、高野山成慶院
 婦人像 奈良、大和文華館
 細川昭元夫人像(おいぬの方) 京都、竜安寺
 細川蓮丸像 京都、聰松院
 浅井長政像 和歌山、高野山持明院

浅井長政夫人像 シ
 藤堂高虎像 津、四天王寺
 藤堂高虎夫人像 シ
 狩野長信 花下遊楽図 東京国立博物館
 彦根屏風 彦根、井伊直愛
 狩野内膳 豊国祭礼図 京都、豊国神社
 東山名所図 泉大津、細見良
 舞踊図 京都市
 祇園祭礼図 東京、出光美術館
 狩野秀頼 高雄観楓図 東京国立博物館
 吉野花見図 泉大津、細見良
 伝桃田柳栄 狩野探幽像 京都国立博物館
 渡辺華山 鷹見泉石像 東京国立博物館
 谷文晁 木村兼葭堂像 大阪府教育委員会
 シ 松島図 江戸時代 京都、個人
 尾形光琳 つつじ図 東京、畠山記念館
 宮本武蔵 紅梅に鳩図 東京、永青文庫
 池大雅 西湖春景図 東京国立博物館
 池大雅 楼閣山水図 シ
 池大雅 西湖図 宇治、黄檗宗大本山萬福寺
 青木木米 兎道朝滋図 東京国立博物館
 シ 兎道朝滋図 岡山、個人
 シ 新緑帯雨図 東京、出光美術館
 浦上玉堂 万籟千疊図 滋賀、財団法人布施美術館
 浦上玉堂 山雨染衣図 岡山、個人
 浦上玉堂 幽澗泉石図 東京、個人
 浦上玉堂 山中無事図 京都国立博物館
 田能村竹田 考盤図 東京、出光美術館
 與謝蕪村 鶯図 京都、北村謹次郎
 與謝蕪村 鴉図 京都、北村謹次郎
 與謝蕪村 竹林茅屋柳蔭騎路図 尼崎、藪本公三
 與謝蕪村 秋山行旅図 東京国立博物館
 円山応挙 山水図 亀岡、金剛寺(応

挙寺)
 松村呉春 柳鷺群鴉図 東京、山崎義男
 伊藤若冲 雪中鴛鴦図(花鳥魚貝図)、宮内庁
 伊藤若冲 群鴉図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 貝甲図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 向日葵雄鷄図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 芙蓉双鷄図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 大鷄雌雄図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 紫陽花双鷄図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 蓮池遊魚図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 池辺群虫図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 雪中錦鷄図(花鳥魚貝図) シ
 伊藤若冲 群鷄図6 豊中、小曾根山西福寺
 葛飾北斎 富嶽三十六景 大阪、新庄二郎
 安藤広重 東海道五十三次名古屋、株式会社東海銀行
 西洋遊楽図 4 東京、永青文庫
 西洋風俗図 大阪、南蛮文化館
 泰西王侯騎馬図 西宮、藤井明
 四都図・世界図 神戸市立南蛮美術館
 世界図・日本図 福井、浄得寺
 世界図・日本図 東京、小林中
 南蛮屏風 リスボン、国立古代美術館
 南蛮屏風 5 東京国立博物館
 南蛮屏風 東京、出光美術館
 南蛮屏風 大阪、南蛮文化館
 悲しみのマリア 大阪、南蛮文化館
 聖母子 シ 東京国立博物館
 拇指のマリア シ
 聖ヴェロニカの御影 東京国立博物館
 聖母子 リスボン、国立古代美術館
 聖ペテロ 南蛮文化館
 ボルトガル国印度副王信書 京都、妙法院
 聖餅宮 鎌倉、東慶寺
 聖餅宮 水戸、財団法人水府明徳会
 花クルス文様の箱 熱海、世界救世

美術展覧会(3月)

教

イエズス会紋章の硯箱 大阪、南蛮文化館

南蛮風の櫃 東京国立博物館

南蛮風の櫃 大阪、南蛮文化館

南蛮風の大櫃 シ

小竈竈 ボルト、ソアレス・ドス・レイス美術館

ローマ字紋の鞍 京都大学

南蛮人文様の椅子 京都、瑞光寺

祈禱用見台 リスボン、国立古代美術館

火薬容器 シ

織部縞文の角鉢 東京、根津美術館

ロレンツォ・ロット男の肖像 ミラノ、ブレラ美術館

ティツィアーノ マルスとヴィーナス ウィーン、美術史美術館

ティントレット アダムのエヴァ ヴェネツィア、アカデミア美術館

ヴェロネーゼ 獵犬をつれた少年 ニューヨークメトロポリタン美術館

アレクサンドロ・ヴィットルア 東方の囚人 フィレンツェ、パルジェロ美術館

アレクサンドロ・ヴィットリア 豊饒の女神 シ

ニコロ・ロカタリヤータ バッカス シ

ムリリョ 犬と少年 レニングラード、エルミタージュ美術館

ヴァン・デル・ワイデン フィリップ・ブル・ボンの肖像 ブリュージュ、市立美術館

クエンタン・メシイス ペトルス・エギディウスの肖像 アントヴェルペン、王立美術館

ファルケンボルク フィ村の眺望
ルカス・クラナッハ(父)聖女クリスティナ ブラハ、国立美術館

ルカス・クラナッハ パリスの審判シアトル美術館

ルカス・クラナッハ ルッターの肖像 ベルリン、国立美術館(プロシア文化財美術館総局)

ルカス・クラナッハ メランヒトンの肖像

ベルリン、国立美術館(プロシア文化財美術館総局)

ハンス・ホルバイン サレー伯ヘンリー・ハワード サン・パウロ美術館

ベハーム 貴族の肖像 ミュンヘン、バイエルン州立美術館

フランツ・ハルス ヤコブ・ピーテルス・オリカンの肖像 ハーグ・マウリツホイス王立美術館

フランツ・ハルス アレッタ・ハネマンズの肖像 シ

レンブラント 老人の肖像 ロッテルダム、ボイマンス美術館(オランダ美術省文化財局)

ファン・ホイエン 榎の木のある風景 アムステルダム、国立美術館

イサーク・ファン・オスターデ 旅籠屋の前の旅人

ハーグ、マウリツホイス王立美術館

ヤコブ・イサークズ・フォン・ロイスダール 砂丘の風景 ハールレム、フランツ・ハルス美術館

ヤン・ステーン 養鶏所、ベルナルディナの肖像 ハーグ、マウリツホイス王立美術館

ヘラルド・テル・ボルヒ 室内のつどい アムステルダム、国立美術館

ペイエレン 静物 ロッテルダム、ボイマンス美術館

ニコラ・ブーサン ナイルから救われたモーゼ バリ、ルーヴル美術館

ジャン・バニニ 枢機卿リシュリユの肖像 バリ、ルーヴル美術館

ジャン・マルク・ナティエ ヘーベに扮したシャトル公妃 ストックホルム、国立美術館

アレクサンドル・ロスラン 画家ヴェルネ、シ

ジャン・バティスト・シャルダン カードのお城 バリ、ルーヴル美術館

フランチェスコ・ゲルディ サンマルコのピアツェッタ ヴェネツィア、カ・ドーロ(ヴェネツィア美術館総局)

ジョシュア・レイノルズ 天使の顔 ロンドン、テイ・ギャラリー

トマス・ゲインズバラ 画家の娘 マーガレット ロンドン、テイ・ギャラリー

ジョン・コンスタブル 虹のかかったハンプステッドの荒野

ウィリアム・ターナー 捕鯨船 1845年 シ

ウジェーヌ・ドラクロワ シオの虐殺(習作) ブラハ、国立美術館

カミュー・コロ 妖精の踊り バリ、ルーヴル美術館

ギュスターヴ・クールベ おうむと女 ニューヨーク、メトロポリタン美術館(H. O. ハヴェマイヤー・コレクション)

アーノルト・ベックリン 死神と自画像 ベルリン、国立美術館(プロシア文化財美術館総局)

カスパー・ダヴィット・フリードリッヒ 夜明けの山々 シ

オットー・フリードリッヒ 女優エルザ・ギャラフレス ウィーン・オーストリア美術館

イリヤ・レーピン ザボロジエのコサックたち モスクワ、トレチャコフ美術館

ワシーリ・スリコフ 雪遊び レニングラード、ロシア美術館

カルポー フローラ 京都、吹田貿易株式会社

クロード・モネ 黄昏のヴェニス 東京、ブリヂストン美術館

オーギュスト・ルノワール 浴女と小犬 サン・パウロ美術館

オーギュスト・ルノワール バナナ畑 バリ、印象派美術館

ポール・セザンヌ 黒人シビオン サン・パウロ美術館

ポール・セザンヌ オーヴェールの農場 バリ、印象派美術館

ポール・セザンヌ 喫煙者 モスクワ、プーシキン美術館

ポール・セザンヌ ギャスケの肖像 ブラハ、国立美術館

ポール・ゴーギャン ボン・タヴェンの洗濯女 バリ、印象派美術館

ポール・ゴーギャン くだものを持つ女 レニングラード、エルミタージュ美術館

ヴァン・ゴッホ アルルの庭 ハーグ、ヘーメンテ美術館

オーギュスト・ロダン パルザック
像 東京国立西洋美術館

アリスティード・マイヨール イル
・ド・フランス

パブロ・ピカソ マジョリカ島のス
ペイン女 モスクワ、プーシュキ
ン美術館

ジョルジュ・ルオー 郊外のキリス
ト 東京、ブリジストン美術館

張大千 横貫公路 台北、張目寒
富岡鉄斎 王元之竹樓記図 宝塚、
清荒神清澄寺

孫真人山居図

福祿寿図

村上華岳 夏の山 神戸、村上常一
郎

速水御舟 京の家・奈良の家 東
京、個人

小林古徑 花・実 東京、個人

安井曾太郎 坐像 東京、個人

岸田劉生 切り通し 東京多摩文華
館

小出楯重 前向の裸女 釧路、金井
俊一

須田国太郎 歩む鷺 東京国立近代
美術館

藤田嗣治 パラ色のシュミーズのユ
キ 京都、吹田貿易株式会社

現代の躍動

ジェームス・アンソール たくらみ
アントヴェルベン、王立美術館

エドヴァルト・ムンク 思春期 オ
スロ、国立美術館

マックス・ペヒシュタイン 嵐と開
拓地 ミュンヘン バイエレン州
立美術館

エゴン・シーレー フゴ・コラー博
士の肖像 ウィーンオーストリア
美術館

ボフミール・クビスタ 道化師 ブ
ラハ、国立美術館

フランティセク・クプカ 宇宙の春
ブラハ、国立美術館

オットー・グットフロイント だきあ
う人物

ウンベルト・ボッチョーニ 空間の
中の連続するユニークな形体 マ
リノッティ

マルセル・デュシャン 階段をおり
る裸婦 No. 3 フィラデルフィ
ア美術館

パブロ・ピカソ 三人の楽師 フィ
ラデルフィア美術館

コンスタンタン・ブランクーシ 三
匹のペンギン フィラデルフィア
美術館

ジャン・アルプ 頭、口髭、瓶 パ
リ、国立近代美術館

ピエト・モンドリアン コンポジ
ション 青B オッテルロー、国
立クレラー・ミュラー美術館

ワシリー・カンディンスキー 点
倉敷、大原美術館

ロベール・ドローネー 生の歓び
パリ、国立近代美術館

オットー・ヴォルス コンポジショ
ンV パリ、国立近代美術館

ベン・ニコルソン Feb. 28—53
(垂直な時間) ロンドン・テイ
ト・ギャラリー

ジョルジオ・デ・キリコ ヘクトル
とアンドロマケの別れ 倉敷、大
原美術館

サルバドル・ダリ 煮豆のある柔ら
かい構築、市民戦争の予感 フィ
ラデルフィア美術館

パウル・クレー 美しき女庭師 ベ
ルン美術館(クレー財 団)

フェルナン・レジェ 余暇 ルイ・
ダヴィット頌 パリ、国立近代美
術館

ジャクソン・ポロック カット・ア
ウト 倉敷、大原美術館

マーク・トビー 雑踏 シアトル美
術館

ウィレム・デ・クーニング 女と自
転車 ニューヨーク、ウィット
ニー美術館

ラルフ・バルソン 無題 キャンベ
ラ、ナショナル・コレクション

ペトロフ・ヴォトキン 母 モスク
ワ、トレチャコフ美術館

アレクサンドロヴィッチ・リーロフ
水色の空間

ニコライ・アンドレーフ 壇上の
レーニン

アレクサンドル・デイネカ 母
イオシフ・セレブリアニー ショ
スタコヴィッチの肖像

ルフィーノ・タマヨ 自画像 メキ
シコ、シティー、国立近代美術館

ダビド・シケイロス 自画像

A. R. チュグタイ パキスタンの大
使 パキスタン政府貿易部

アレキサンダー・カルダー 五つの
赤い弧 ニューヨーク、グッゲン
ハイム美術館

ヘンリー・ムーア 家族 ロンド
ン、テイト、ギャラリー

バーバラ・ヘップワース シング
ル・フォーム ロンドン、マルボ
ロ画廊

ハンス・アルトリング T1967—H26
パリ、作者

ルーチョ・フォンタナ 空間概念
ミラノ、テレジタ・フォンタナ

斎藤義重 作品 東京画廊

アルベルト・ブーリ グランデ・ブ
ラスティカ ローマ、作者

ジュゼッペ・カボグロッシ 平面324
ミラノ、イル・ナヴィリオ画廊

佐藤敬 二重空間 パリ、作者

ピエール・スーラージュ 絵画 パ
リ、作者

ヴィクター・パスモア アポロ ロ
ンドン、マルボロ画廊

ジャン・デュビュッフュ シャペル
男 パーゼル、バイエラー画廊

リュイ・ショウ・カン 絵画No. 2
ホンコン市立美術館

手島右郷 飛 東京、作者

比田井南谷 70-1 東京、作者

森田子龍 沖 塚、清荒神清澄寺

宇野雪村 昌 東京、作者

サム・フランシス 赤の中の黒
ニューヨーク、近代美術館

千葉勝 交叉 ローマ、作者

ウン・ノー・リー コンポジション
パリ、作者

ジャン・ポール・リオペル ランディ
ング モントリオール、近代美術
館

ジョルジュ・マチュウ 王太子 パ
リ、作者

ペーデルセン 星の王と彼の鳥たち
パリ、作者

ジャン・フォートリエ 彼の小さな
心 パリ、ミシェル・クーテュリ
エ画廊

今井俊満 夜の騎士 東京、芳賀徹
堂本尚郎 1960—Z 東京、作者

白髪一雄 赤牌 尼崎、作者

フリッツ・ラウス インパネス サ

美術展覧会(3月)

ン・アンセルモ、作者
 ジョセフ・ヤンコヴィッチ テス
 ティモニー デュッセルドルフ、
 ウルトラ・ヴェントルフ
 工藤甲人 蝶の階段 平塚市役所
 大島哲以 花園に死す 東京、個人
 下田義寛 白い夢 東京、油井
 一二
 ヴィクトール・ヴァザリ EGI-
 2 パリ、ドニーズ・ルネ画廊
 ケネス・ノランド 歌 ニューヨー
 ク、ウィットニー美術館
 ゴードン・ワルター 青と黄 ウェ
 リントン、作者
 山口長男 豚 東京南画廊
 吉原治良 青と赤 芦屋、作者
 菅井汲 太陽 パリ、作者
 フランク・ステラ 泉の流れ III
 ニューヨーク、レオ・カステリ画廊
 リー・アギナルト 直線 #101
 1969年 パッサイ、作者
 エミール・シューマッハー 巨大な
 アーチ B-2/1969 ハーゲン、
 作者
 猪熊弦一郎 垂直都市 赤No.1
 1968年 大阪株式会社マーチャン
 ダイズ・マート
 元永定正 三つの浮遊物体 宝塚、
 作者
 ギュンター・ユッカー 渦巻 渦巻
 渦巻 渦巻 デュッセルドルフ、
 作者
 リャオ・シュ・ピン 秋冬の門
 ニューヨーク、作者
 オクヨン 寓話 ソウル、作者
 ミラン・ラルーハ コンポジション
 1968年 プラティスラヴァ、作者
 エイヴィンド・ファルストレム 作
 品II ストックホルム、近代美
 術館
 ヘルナン・ゴンザレス 発芽力
 1969年 コスタリカ、作者
 勅使河原景風 神鏡 東京、作者
 ノグチ・イサム 叫び ニューヨー
 ク、作者
 デヴィッド・スミス 演台の番人
 ニューヨークウィットニー美術館
 堀内正和 球の切り方 東京、作者
 豊福知徳 風I ミラノ、作者
 向井良吉 異質な土壌に生きる植物
 東京、作者

吾妻兼治郎 白いかたちと黒いかた
 ち ミラノ、作者
 木村賢太郎 七つの餅(B) 東京、南
 画廊
 ジェラード・ウォルバーク 柱
 サクラメント、作者 ドナルド・
 ジャッド 無題
 ニューヨーク、レオ・カステリ画廊
 関根伸夫 空相 箱根、財団法人
 彫刻の森美術館
 ジャン・イブステギ 扉を押す男
 パリ、クロード・ベルナル画廊
 宮脇愛子 作品1968年 東京、作者
 ハインツ・マック 光の柱 フ
 ッペルツホーフ、作者
 飯田善国 時間の風景No.2 東京、
 作者
 山口勝弘 静物による 黙示録(I)
 東京、作者
 多田美波 Epicycle No.2 東京、
 作者
 伊藤隆康 The System 鎌
 倉、作者
 モケッティ ○→×→○ ミラノ、
 パンツァ・ディ・ピウモ氏
 田中信太郎 マイナー・アート 東京、
 作者
 フレッチャー・ベントン シンクロ
 ネティック C-5500S サンフラ
 ンシスコ、作者
 吉村益信 コーナー；アウトイン
 東京、作者
 スタニスラフ・フィルコ 空間の詩
 作者
 マイケル・スノー アルミニウムと
 鉛 オンタリオ美術館
 ピーノ・パスカーリ 水たまり
 ミラノ、アレクサンドル・イオラス
 画廊
 フェルナンデス・アルマン 私の愛
 の色 パリ、フィリップ・デュラ
 ン・リュエル
 ジョー・ティルソン 五感の味わい
 ロンドン、マルボロ画廊
 湯原和夫 無題 横浜、作者
 襲嘔 第7触覚と虹の部屋 レキシ
 ントン、作者
 荒川修作 無題 ニューヨー
 ク、作者
 三木富雄 耳 東京、作者
 ロバート・ラウシェンバーク アク

スル ニューヨーク、レオ・カス
 テリ画廊
 アンディ・ウォーホル 花
 ロイ・リクテンスタイン 三つのピ
 ラミッド
 ロバート・ミュラー 大天使 バ
 リ、フランス画廊
 クラエス・オルデンバーク 巨大な
 すいがら ビヴァリー・ヒルズ、
 クライナー財団
 ジョージ・シーガル コスチュー
 ム・パーティ ニューヨーク、シ
 ドニー・ジャニス画廊
 ルイズ・ネヴェルソン 暗い空
 ニューヨーク、ベイス画廊
 宇佐美圭司 ゴースト・プラン No.
 1 東京、作者
 高松次郎 扉の影 東京、作者
 協同制作 ガーデン・オン・ガーデン
 協同制作 ホーム・マイ・ホーム
 樋口治平個展 16-20 資生堂ギャ
 ラリー
 山本文彦個展 16-21 あかね画廊
 三浦重雄彫刻展 16-21 ときわ画
 廊
 大久保実雄個展 16-21 昭和画廊
 五百住乙個展 17-28 ギャラリー
 ・オカベ
 兵藤和男個展 18-28 日本橋画廊
 23回示現会展 18-31 都美術館
 22回三軌会展 18-31 都美術館
 46回白日展 18-31 都美術館
 29回水彩連盟展 18-31 都美術館
 煌々彫刻展(2回) 20-25 小田
 急
 坂本繁二郎追悼展 20-4月1 東
 急
 出品目録
 立 石 谷 1897年 絹本水墨
 秋 の 朝 日 1899年 水彩
 北茂安村の一部 1907年 油彩
 大 島 の 一 部
 張 り 物 1910年
 う す れ 日 1912年
 魚を持って来た 1913年
 海女
 人 参 畑 1914年
 海 岸 の 牛
 馬 1916~
 41年
 牧 場 1915年
 仔 牛

国道筋 1916年 シ
 牛 1920年 シ
 葉牡丹 シ
 静物 1921年 シ
 女の頭 1922年 シ
 ボルテ・シンヤ シ
 チー
 ヴァンヌ郊外 1923年 シ
 ヴァンヌ風景 シ
 眠れる少女 シ
 帽子を持てる女 シ
 老婆 シ
 ブルターニュ シ
 家政婦 1923～
 27年 シ
 放水路の雲 1924年 シ
 馬 1925年 シ
 白馬 1929年 シ
 放水路の雲 1927年 シ
 母の像 シ
 楠の新緑 シ
 熟稲 シ
 桃 1928年 シ
 郊外 シ
 自画像 1923～
 30年 シ
 農村風景 1930年 シ
 柿 1932年 シ
 鳶形山 シ
 馬 1933年 シ
 繫馬 1934年 シ
 二仔馬 1935年 シ
 放牧二馬 シ
 松間馬 1936年 シ
 耕作白馬 シ
 仔馬 1937年 シ
 水より上る馬 シ
 厩の白馬 シ
 三仔馬 1938年 シ
 松間馬 シ
 柿と栗 1939年 シ
 柿 1940年 シ
 林檎と馬鈴薯 シ
 窓の馬鈴薯 シ
 甘藍 1941年 シ
 柿 1942年 シ
 柿と馬 1942年 シ
 牛と馬 1942年 シ
 鶏卵 1943年 シ
 水砥指石 シ
 柿梨りんご シ
 壁面下図 シ
 壁面下図その二 1944年 シ
 煉瓦と瓦 シ

能面 シ
 柿面 シ
 放牧場 シ
 八女風景 1946年 シ
 ざぼんなど 1947年 シ
 林間馬 シ
 能面と謡本 1946～
 47年 シ
 能面と謡本 1947年 シ
 香炉 シ
 盆 1948年 シ
 能面 シ
 鮭 1949年 油彩
 本とローソク シ
 炭斗 シ
 玩具具 シ
 能面 シ
 柿と栗 1950年 シ
 馬 1952年 シ
 静物 シ
 水より上る馬 1953年 シ
 暁明の根子岳 シ
 能面 シ
 八女平野 1954年 シ
 壁 シ
 石 シ
 能面 シ
 炭斗 シ
 能面 1955年 シ
 泊船暁光 1956年 水彩
 林檎など 1957年 油彩
 根子岳暁明 シ
 トマトなど シ
 林檎柿など 1958年 シ
 植木鉢 シ
 菊慈童と中将面 1959年 シ
 箱 シ
 書物など シ
 瘦男と中将面 シ
 植木鉢 シ
 阿蘇の秋・雲仙 1934～
 41～60 油彩 屏
 の春 年 風
 毛糸 1960年 油彩
 母仔馬 シ
 女面と謡本 シ
 能面と鼓の胴 1962年 シ
 鼓胴と能面 シ
 鉢達磨 シ
 月 1964年 シ
 雲上の月 1965年 水彩
 月 1966年 油彩

月 シ
 馬市行 1967年 シ
 月 1967年 シ
 放牧場 シ
 伊豆海岸 1917～
 66年 シ
 松山 1935～
 69年 シ
 月光 1969年 シ
 <参考出品>
 牛 1919～ 油彩
 65年
 婦人像 1922～
 68年 シ
 団扇 1933～
 68年 シ
 月(絶筆) 1969年
 6月
 野水信展 20—4月3日 画廊代々木
 の森
 沢田哲郎個展 21—4月3日 伊勢丹
 大村連個展 23—28 ときわ画廊
 小川游・藤田忠夫二人展 23—28
 銀座サエグサ画廊
 菅野矢一個展 23—28 資生堂ギャ
 ラリー
 錯誤70展(11回) 23—28 サトウ画
 廊
 菌部雄作個展 23—29 シロタ画廊
 ヒューマン・ドキュメンツ70,展
 23—4月4日 東京画廊(第2
 グループ:磯田行久、岡本信治
 郎、岡崎和郎、小島信明、篠原有
 司男、宮脇愛子、吉村益信、横尾
 忠則)
 岡本省吾エッチング展 23—4月
 4日 パピエ画廊
 小島善太郎油絵自選展 24—29 三
 越
 作品目録
 戸山ヶ原風景 明治40年代
 (処女作) (1911)
 明治時代の娘 シ
 田端遠望 シ
 中村君の顔 大正初期
 (1912年1921年)
 やわらかき光 シ
 四ッ谷見附(A) シ
 晩秋 シ
 旧オーストリア 大使館 シ
 踞まる女(焼失) シ
 四ッ谷見附(B) シ
 木戸(焼失) シ
 枯木 シ
 バリ郊外 大正後期(滞欧
 作)(1922年～19
 25年)

美術展覧会(3・4月)

ナボリの老婆 (A) 〃
 ナボリの老婆 (B) 〃
 マルセイユ風景 〃
 編み物 昭和初期 (1926~1934年) 〃
 武蔵野の丘 〃
 駅次の春花 〃
 菜の花 〃
 笛吹く男 〃
 風山 〃
 柿なる里 昭和10年代 (1935~1944年) 〃
 妙義山石門 〃
 村の少女 〃
 村のナポレオン 〃
 多摩の早春 〃
 村の風景 昭和20年代 (1945~1954年) 〃
 加住村の春 〃
 滝山展望 〃
 青い帽子 〃
 郡山の秋 〃
 鏡 〃
 猫 〃
 狩野川 〃
 狩野川秋景 〃
 想い 昭和30年代 (1955~1964年) 〃
 孔雀 〃
 静物 〃
 ダリア 〃
 長崎港夕映 〃
 長崎港(A) 〃
 長崎港(B) 〃
 ダリア 〃
 大浦天主堂(A) 〃
 大浦天主堂(B) 〃
 石廊崎 〃
 雲仙梅林 〃
 桃 〃
 林中のつどい 〃
 つどい 〃
 高千穂峡 〃
 収いこい 昭和40年代 (1965~1970年) 〃
 静物 〃
 オランダ屋敷 〃
 桃 〃
 ばら 〃
 梅咲く里 〃
 桃 〃
 椿 〃
 春ば 〃
 庭ら 〃

三多摩秋景 〃
 裸婦 〃
 桃 〃
 桃 〃
 桃 〃
 桃 〃
 ざくろ 〃
 ざくろ 〃
 ぶどう 〃
 ぶどう 〃
 春庭 〃
 戸山ヶ原秋景 〃
 千葉の海岸 〃
 ボーズする女 〃
 裸婦 〃
 アマリリス 〃
 桃 〃
 宮下登喜雄版画展 27-4月1 小 〃
 田急 〃
 錯誤'70展(12回) 30-4月4 サ 〃
 トウ画廊 〃
 西原元個展 30-4月4 樺画廊 〃
 斎藤真一展 30-4月5 文芸春秋 〃
 画廊 〃
 永井一正個展 30-4月11 芒番館 〃
 画廊 〃
 自由美術彫刻七人展 30-4月11 〃
 日本画廊 〃
 25回日本美術院春季展 31-4月5 〃
 三越 〃
 日本美術院同人小品展 31-4月 〃
 5三越 〃
 河野新個展 31-4月5 銀座ヤマ 〃
 ト画廊 〃
 三浦山巖小彩画展 31-4月5 松 〃
 坂屋 〃
 富山妙子個展 31-4月11 ギャラ 〃
 リー・オカベ 〃
 4月 〃
 4回東方美術協会展 1-7 日本 〃
 美術協会 〃
 正田壤個展 1-8 日動サロン 〃
 20回モダンアート展 1-19 都美 〃
 術館 〃
 会員出品目録 〃
 絵画 〃
 作品7/70「消えてゆく像」 小林美奈子 〃
 作品8/70「裸像を盗まれた」 〃
 ランドスケープ 志賀 広 〃
 〃 〃

静 〃
 動 〃
 風の形 〃
 作品 〃
 作品 〃
 孤独 〃
 抗原No.106 〃
 作品708 〃
 ある記録b 〃
 〃 a 〃
 ビルの壺 〃
 初夏 〃
 作品70-3 〃
 対-2 〃
 1970年 状態O 〃
 -L-GSP 〃
 〃 O-L-V 〃
 ML 〃
 作品70-2 〃
 〃 70-1 〃
 緋の形象No. 4 〃
 〃 No. 3 〃
 ヘラの像 〃
 バベルの塔 〃
 聖Ⅱ 〃
 Ⅰ 〃
 黒のコンストラ 〃
 クションA 〃
 〃 B 〃
 間 〃
 間 〃
 カトレアの手 〃
 風中の2人 〃
 2人 〃
 座る4人 〃
 魅いられた女 〃
 EXPO 70によ 〃
 せて 〃
 レッテルがない 〃
 の!(イ) 〃
 〃 (ロ) 〃
 穹(その1) 〃
 〃(その2) 〃
 跡 〃
 THE 〃
 惜 〃
 力一ぱい行く 〃
 ウントとぶ 〃
 「。」 〃
 「△」 〃
 女人①曼荼羅 〃
 〃 ② 〃
 野Ⅱ 〃
 Ⅰ 〃
 祭壇の業炎 〃
 〃 〃
 宮本 宏 〃
 〃 〃
 石橋行雄 〃
 松永品子 〃
 上前智祐 〃
 陰山光義 〃
 立花みどり 〃
 上野山エイシ 〃
 中井幸一 〃
 〃 〃
 小林孔 〃
 〃 〃
 恒川俊明 〃
 〃 〃
 佐藤多都夫 〃
 〃 〃
 江藤環子 〃
 〃 〃
 石井利秋 〃
 〃 〃
 勝呂忠 〃
 〃 〃
 山口信郎 〃
 〃 〃
 鯛天伸一 〃
 〃 〃
 高塚篤 〃
 〃 〃
 周襄吉 〃
 〃 〃
 村井正誠 〃
 〃 〃
 岡本公夫 〃
 〃 〃
 加藤三男 〃
 〃 〃
 小松清 〃
 〃 〃
 西川幸衛 〃
 オオミダイゾー 〃
 惜 〃
 西川幸衛 〃
 小川孝子 〃
 〃 〃
 栗原勇 〃
 〃 〃
 勝田寛一 〃
 〃 〃
 荒瀬貞次 〃
 〃 〃
 能伸ヤツヲ 〃
 〃 〃

蒼
広がり
父親と息子(ダ
イダロスとイカ
ロス
対話
化粧
春
千潮(2)
シ(1)
作品〜赤
作品〜青
蝶・鳥・大砲な
ど
旅の夢
作品
忘れじの島
緑と瑠璃
空
作品
むさし野
領域
対話する青の風
景
青の中の女
地平線のある
チューリップの
花の絵
カラススケール
のある造花のパ
ラの絵
Rose and
Yellow
Rose
作品「70-4」
シ「70-6」
高華 宅
シ 式
饒舌
Five O' Clock
a.m.
黎明一A.M.5
黄と黒No.1
シ No.2
階段をのぼる人
々
エレベーターと
人々
空とレモンと女
たち
空と人と人との
間
ゴロ・ゴロ・ゴ
ロ
アクエリアス
海の星
星の化石
黒いリング
風の輪③
シ ④

いそべ たつお
シ
渡 辺 可 久
岡 島 茂 夫
正 田 茂 壤
矢 橋 六 郎
水 谷 信 子
シ
根 岸 茂 行
シ
近 藤 鐵之助
シ
山 内 慶 子
鈴 木 初 江
シ
清 野 恒 二
東 俊 二
シ
小 串 里 子
小 倉 ポ オ
シ
阪 本 文 男
シ
河 野 稷 而
シ
白 石 道 夫
齋 藤 出 誠
シ
木 村 良 枝
勝 本 富士雄
シ
光 永 直 人
出 水 徹
シ
笹 岡 信 彦
シ
刀 根 真 澄
シ
中 川 タマオ
シ
岸 浩 慧
森 浩 慧
シ

方丈(A)
シ(B)
序曲
祭典
SPACY
YELLOW 1
(スペースイ
イエロー)
シ 2
Libido 36
父子
空間70-1
シ 70-2
鳥 と 子 供
子供と切紙細工
ハードル競技を
終えて
朝日新聞社
「OLYMPI-
AD TOKYO
1964」より
朽ちるモニュメ
ント
70年モニュメン
ト
形態=畸型と幻
影
シ=と虚飾な
る扉
70-302
70-301
冬 の 旅
十二月の旅
コラージュNo.5
シ No.6
月 の 話
陽
凝
V団地
ベテンシリーズ
シ20
バラは何処へ
食卓にのった家
族
＜中村 真 遺作特別展示＞
散在 1950年作
アダムとイブ 1957年作
10...20...30R P(フラ・アンシェリ
コに) 1966年作 100号
＜若松 六弥 遺作特別展示＞
太陽の門(A)
シ(B)
明るい風(A)
シ(B)
版 画
HAMA-2
シ -1

朝 妻 治 郎
シ
執 行 正 夫
シ
石 川 忠 一
シ
木 村 一 生
加 藤 博 康
永 井 肇
シ
曾 根 亮 子
シ
堀 田 能 生
赤 崎 君 美
シ
渡 部 武
シ
伊 勢 昌 史
シ
岩 田 ちよ子
シ
ア ベ ミ サ
シ
宅 野 豊
神太麻 雅 生
岡 周 末 一
芦 田 尚 一
芝 章 一
河 村 一 夫
飯 沼 志 珪 夫

朱 と 黒 牛 玖 健 治
白 と 朱 と 黄
作 品 高 橋 克 芳
シ
流 水 吹 田 文 明
夜 に 咲 く
Banon 田 島 宏 行
作 品 清 野 克 己
鳥No.1
生活美術・デザイン
70-71 鉦之原 捷 夫
70-70
Design by
Photography
7-10
作 品 本 野 東 一
シ
3D・M・70 馬 場 雄 二
彫 刻
作 品 橋 木 正 司
再 会 高 木 辰 夫
ミュー大陸モノ
レール 谷 村 敬 八 郎
水を呼ぶ
城 田 辺 芳 栄
人-No.2
人-No.1
リフレクション
R-1 広 井 力
シP-2
管'70-5 杉 江 淳 平
プロメテウス 住 谷 正 巳
陶彫A 加 藤 重 男
シ B
38回日本版画協会展 1-19 都美
術館
会員出品目録
代折羅大将 (木) 山 口 速
(奈良新薬師
寺)
偽版 GIPA- (シ) 川 上 澄 生
NG 古地図 (シ) 伊 藤 真 人
石庭 (シ) 西 沢 静 男
条件(A) (銅) 西 沢 静 男
条件(B) (シ)
湖山(牡丹・連
蝶) (木) 金 守 世 士 夫
蓮湖山 (シ)
東京1969年 (銅) 相 笠 昌 義
都会人のバ
ラード (石) 岩 見 礼 花
アポロンA (木) 池 田 修 三
アポロンB (シ)
橋A (シ)
橋B (シ)

美術展覧会(4月)

顔(黒に囲ま(シ) 木 下 富 雄
れて)
崖 (シ) 前 田 藤四郎
港近く (シ) シ
風景(A) (シ) 星 裏 一
ダイス・群(銅) 大 内 マコト
ダイスの設計(シ) シ
原子野 (木) 上 野 誠
魔船・第5福(シ) シ
竜丸
先斗町 (シ) 関 野 準一郎
一力 (シ) シ
古いもの其二(シ) 西 川 藤太郎
(箱段)
古いもの其一(シ) シ
(うだつ)
1945年日本Ⅰ(シ) 木 村 晃 郎
1945年日本Ⅱ(シ) シ
山精 (シ) 石 井 鶴 三
仮面の踊り (銅) 渋谷 栄 一
史26 (木) 高 橋 信 一
史25 (シ) シ
現代の伝説 (シ) 中 川 雄太郎
異端への傾斜(銅) 中 林 忠 良
異端への傾斜(シ) シ
鳥の連作No.8(木) 武 井 武 雄
鳥の連作No.9(シ) シ
部屋 (シ) 河 原 侃 二
秋庭夜琴 (シ) 伊 藤 真 人
猫の広場(夜)(シ) 稲 垣 知 雄
不出品 (シ) 伊 藤 勉
春のいぶき (シ) 塚 本 哲 一
生物(Ⅲ) (シ) 玉 井 忠 一
顔(咲) (シ) 木 下 富 雄
Oの肖像 (シ) 市 川 禎 男
憂うつな壁A(シ) 田 島 宏 行
詩仙堂つつじ(シ) 北 岡 文 雄
庭
三井寺の茶店(シ) シ
作品-70-(1)
(ゲーム・ゲー(シ) 梶 木 順 子
ム)
作品-70-(2)
(ゲーム・ゲー(シ) シ
ム)
三 (シ) 吉 田 遠 志
深さ (シ) シ
飛行船 (銅) 坂 東 壮 一
書物狂 (シ) シ
桂・石庭 (木) 前 田 政 雄
土塀(手向山)(シ) シ
スペース (シ) 内 間 安 識

スペース・ピ(シ) シ
ンク
ロスアンゼ(シ) 平 塚 運 一
ルの山の手
本栖湖 (シ) 福 島 一 郎
飾る花(S.4)(シ) 高 橋 力 雄
飾る花 (シ) シ
雪合戦 (銅) 高 橋 淳 子
雪の公園 (シ) シ
森の踊り (シ) 渋谷 栄 一
昏 (孔) 若 山 八十氏
旦 (シ) シ
赤い闇3 (木) 黒 崎 彰
赤い闇1 (シ) シ
つみ重さなる(シ) 小 作 青 史
箱
顔 (シ) 黒 木 貞 雄
元初の碑 (シ) シ
70-A (銅) 穴 戸 徳 子
70-B (シ) シ
WORK・F(木) 船 坂 芳 助
11-1970
WORK・M(混) シ
21-1970
飼育B (石) 河 原 英 雄
飼育A (シ) シ
塔Ⅰ (木) 佐 藤 宏 茂
ヨブ記よりⅣ(シ) 栗 山
ヨブ記よりⅢ(シ) シ
落ちる (石) 馬 場 檣 男
倦怠 (シ) シ
風の精 (銅) 堀 井 英 男
遠い道 (シ) シ
作品 (木) 利根山 光 人
鏡のある街 (シ) 由 木 礼
精霊の街 (シ) シ
画集「薔薇刑」(シ) 日 和 崎 尊 夫
より
画集「薔薇刑」(シ) シ
より
ナンセンス・(シ) 吉 田 穂 高
ミソロジー
(風景部分)
ナンセンス・(孔) シ
ミソロジー
(海辺の神話)
ポートレイト(銅) 小野辺 義 雄
No. 3
ポートレイト(シ) シ
No. 4
Beyond the
Memory of 木 天 野 邦 弘
Men No. 3
Beyond the
Memory of(シ) シ
Men No. 2

作品 70-2(シ) 川 西 祐三郎
作品 70-1(シ) シ
CUN (孔) 松 本 旻
GUN (シ) シ
作品 69.17(木) 日 下 賢 二
作品 70. 3(シ) シ
甫のあと (シ) 吹 田 文 明
DOR (シ) シ
危 (シ) 上 野 長 雄
現代 (シ) シ
きざし (シ) 吉 田 千鶴子
ロンド・カブ(銅) 加 藤 清 美
リチオ-ソ
郊外ヘドライ(混) 宮 下 登喜雄
磯 (シ) シ
鏡の中に (銅) 橋 本 潔
樹の領分 (シ) シ
70 開華C(混) 榎 戸 真 喜
70 開華A(シ) シ
ある風景 (銅) 駒 井 哲 郎
天使昇天
No. 3 (木) 萩 原 英 雄
天使昇天
No. 4 (シ) シ
作品 920 (シ) 鈴 木 幹 二
作品 1001 (シ) シ
衆の子 (シ) 城 所 祥
花をもつ夜叉(シ) シ
黙示 (石) 西 貝 和 子
碑文 (シ) シ
愛 (銅) 深 沢 幸 雄
扉と訪問者 (シ) シ
詩 70-8 (木) 卷 白
詩 70-7b(シ) シ
作品古代 (銅) 牛 玖 健 治
作品古代E (シ) シ
枷(掌紋)(孔) 前 田 守 一
おつとめ(出(シ) シ
勤簿)
電話 (シ) 細 田 政 義
時計 (シ) シ
HAME 2 (木) 友 沢 恭 男
HAME 1 (シ) シ
レモンとたま(銅) 佐 藤 暢 男
ご
シシトウ (シ) シ
招待出品目録(韓国現代版画協会)
think (Ⅰ) 金 敏 子
think (Ⅲ) シ
think (Ⅱ) シ

From his records No. 7 金 相 游
 Work No.9-1 シ
 The Completion of municipal hospital Print No. 2 シ
 Pantomime 69-A 尹 明 老
 Pantomime 69-C シ
 Pantomime 69-B シ
 Movement in White(H) 裏 隆
 Movement in White(I) シ
 Work B 金 薫
 Work A シ
 Work B 劉 康 烈
 Work C シ
 同時性 70-4 徐 承 元
 同時性 70-1 シ
 同時性 70-3 シ
 同時性 70-2 シ
 清水登之展 1-29 東急日動画廊
 出品目録
 ニューヨークセントラルパーク 1916
 蹄鉄場 1918
 ニューヨーク青物市場 シ
 ニューヨーク地下鉄切符売場 シ
 テニスプレーヤー シ
 横浜夜景 1921
 横浜夜景<神奈川県立博物館蔵> シ
 アイスクリームパビリオン 1922
 支那街 シ
 ブロクター店入口 シ
 チャイルド洋食店 1923
 親子像 シ
 ウッドストック肉屋裏庭 シ
 バリー地下鉄切符売 1924
 セース河畔 シ
 セース河畔の洗濯屋 シ
 活動写真館<神奈川県立鎌倉近代美術館蔵> シ
 蹄鉄 1925
 薬局にて シ
 メリーゴーラウンド シ
 兵隊と僧侶(トレド郊外) シ

マドリッドの散歩道 シ
 (トレド郊外の)ラッパ卒 シ
 チントレット模写(A) シ
 チントレット模写(B) シ
 チントレット模写(C) シ
 カフェー シ
 街の掃除夫<東京国立近代美術館蔵> シ
 グランギニョール 1926
 パリ夜街 シ
 主婦と下男 シ
 ダンス シ
 水兵のいるカフェー シ
 肉屋 シ
 カフェーの三人 シ
 生家秋 1927
 支那街 1928
 齒科医 シ
 薬を売る男 シ
 分譲地 1929
 父の庭 1930
 地に憩ふ シ
 地に生る シ
 池畔 シ
 乳母 シ
 若樵夫 シ
 夏朝 1931
 植木屋の家族 シ
 山麓の家族 シ
 母子像 1932
 陶土の丘 シ
 薪 1933
 幼女像 シ
 生家春 シ
 農家の庭 シ
 蛙と樽 シ
 炉辺 1934
 蒙古オボ祭 1935
 ハイラル郊外 シ
 蒙古風景 シ
 爆撃 1937
 戦蹟 シ
 無人島の対話 シ
 更生 1940
 難民歸る 1941
 昭南センター浮ドック 1942
 南方の女 シ
 南国の青年 1944
 (墨彩)
 阿蘇山麓をゆく

洞爺湖畔浴場より羊蹄山を見る
 冬の北海道風俗
 紀州勝浦
 番傘
 飼われたる仔熊(昆布温泉所見)
 入浴
 共同風呂
 温女
 湯気
 (掛軸)
 猫
 金魚
 辨天
 朝顔 団扇形
 虎
 富本憲吉遺作展 1-5月10 東京
 国立近代美術館 5月19-6月28
 京都国立近代美術館
 大和時代(大正2年~大正15年)
 (焼きもの)
 *楽焼 草花文皿 大正2年
 *楽焼 ジョッキー シ
 *楽焼 草花文鉢 大正3年
 *楽焼 草花文鉢 シ
 *楽焼 草花文一輪差 シ
 *楽焼 草花文水呑 シ
 *土焼 染付「寂しき辻堂」陶板 大正4年頃
 *白磁飯茶碗 大正7年
 飛雲模様白象嵌湯呑 シ
 朝顔模様白象嵌湯呑 シ
 *瑠璃釉円形蓋物 大正7年頃
 *白磁壺 大正8年
 *青磁菓子器 大正9年頃
 *青磁透彫香炉 大正9年
 *染付ぶどう葉文六角香合 シ
 *白磁八角鉢 大正10年
 白磁椿陽文中皿 シ
 *白磁八角形コーヒーセット シ
 *染付たて文大鉢 シ
 *楽焼 たて彫文蓋付鉢 大正11年
 土焼鉄砂刷毛目扁壺 シ
 *青磁水滴 シ
 *染付机上小品 門 シ
 *白磁浮彫芙蓉模様中皿(5客) シ
 楽焼 竹と梅文壺 シ

美術展覧会(4月)

*土焼 象嵌蓋付水注 瑠璃釉蓋付小壺	大正12年	白磁ぶどう葉刻文湯 呑	シ	色絵「安堵村風景」香 合	シ
*染付蛾文八角香合	シ	*柿釉・色絵柘榴文飾 壺	シ	*色絵唐花草八角皿 5客	シ
*染付机上小品 塀	シ	*柿釉金彩小壺	シ	赤絵染付竹文煎茶碗 6客	シ
*「竹林月夜」陶板	シ	*柿釉蓋付小壺 2個	シ	*白磁壺	昭和12年
*染付「老樹」陶板	大正13年	*土焼 刷毛目柳文大 皿	シ	*白磁角飾筒(内部金 銀彩羊歯文)	シ
*土焼 象嵌花文壺	大正14年	染付煙草入と灰皿	シ	*染付ぶどう葉文小筒	シ
*土焼 鉄砂すすき文 組鉢(5個い れこ)	シ	*白磁蓋付壺	昭和7年	*染付家形水滴	シ
染付芦文小筒	シ	*土焼 蠟抜天目釉柘 榴模様大鉢	シ	*色絵四弁花文飾壺	シ
*染付「小屋の道」陶板	シ	瑠璃釉彫花文香合	シ	*色絵草花文角陶板	シ
*呉須象嵌花文小筒 (版 画)	シ	染付菊文六角香合	シ	*色絵黍文菓子皿	シ
*「団扇之図」(木版画) 軸装	大正4年頃	*白磁蓋付壺	昭和8年	*色絵抜き色紙文捻徳 利	シ
*「わはん図」(木版画) 軸装	シ	白磁八角中鉢	シ	色絵四弁花文菓子皿	シ
(絵)		*黒釉「蘭香」壺	シ	*土焼 白刷毛目茶碗	昭和13年
*「竹運び」鉛筆スケッ チ 額装	大正9年	*染付葉模様果物鉢	シ	*色絵すべりひゆ文大 鉢	シ
「柘榴図・賛は東剛西 麗」軸装	大正11年	*染付絵変り皿 10枚	シ	*色絵「芦之図」陶板	シ
*「高麗陶磁譜」巻物	大正11年	染付斜線文長方小筒	シ	*色絵「高原の菊」菓子 皿	シ
*「橋頭初夏の雨」軸装	大正12年	*色絵八角徳利(九谷 最初の作)	シ	*白磁鉢	昭和14年
*「大和安堵村陶窯図」 軸装	シ	*白磁壺	昭和9年	色絵あざみ文角鉢	シ
*「安堵村八景」(絵と 文)巻物	シ	*白磁陶碗	シ	*色絵円窓梅花文柿釉 煎茶碗 5客	シ
*「河豚図」軸装	大正13年	*染付「竹林月夜」小筒	シ	*白磁角鉢	昭和15年
*「大和風景と草花」画 帖	大正14年	*蓋付小壺三種(染付・ 餓釉・柿釉)	シ	*色絵「洋蘭とアジャ ンタム」陶板	シ
「竹藪に囲まれたる 家」軸装	シ	土焼 染付芍薬文蓋 付中壺	シ	*色絵更紗文香炉	シ
*「富本憲吉模倣集」の 内(下絵)8点	大正15年	*色絵花文角筒	昭和10年	白磁大壺	昭和16年
(帯)		*白磁釉裏紅四弁花文 大皿	シ	*白磁銀覆輪鉢	シ
*あざみ模様(組)	大正14年	*白磁蓋付小壺	シ	染付「カーネーショ ン」小陶板	シ
*山ぶどうの葉模様 (組)	シ	白磁香炉	シ	染付・柿釉併用透窓	昭和16年
東京時代(大正15年~昭和21年)		*白磁八角香炉	シ	*染付色絵椿之図飾筒	シ
(焼きもの)		白磁角香合	シ	*柿釉円窓色絵梅模様 汲出茶碗 5客	シ
*白磁 硯屏	昭和2年頃	*柿釉黒花文大皿	シ	*色絵更紗文大皿	シ
*白磁 大鉢	昭和4年	*染付銅彩魚貝文鉢	シ	*色絵赤更紗文六角飾 筒	シ
*信楽鉄絵銅彩大皿	シ	*染付菊模様平皿	シ	*色絵「芥子花と支那 籠之図」陶板	シ
*赤地銀欄手壺	シ	染付「竹林月夜」長方 筒	シ	色絵「菊之図」陶板	シ
染付「竹林月夜」香合	シ	*染付麦藁手八角蓋物	シ	*色絵「飾筒と草花之 図」陶板	シ
*土焼 蠟抜き芍薬文 天目釉大壺	昭和5年	*染付あざみ文筒	シ	*色絵椿文柿釉角飾筒	シ
*鉄描き「竹林月夜」陶板	シ	*野兎文香合	シ	*赤絵染付斜線文蓋物	シ
*白磁面取壺	昭和6年	*赤絵あざみ文大皿	シ	*色絵赤四弁花文香炉	シ
白磁蓋付中壺	シ	*赤絵「羊歯之図」陶板	シ	*色絵四弁花文香炉	シ
*白磁面取八角蓋付壺	シ	*白磁呉須象嵌羊歯文 筒	昭和11年	*白磁大壺	昭和17年
白磁蓋付小壺	シ	*白磁壺	シ	*銀欄手更紗文八角飾 筒	シ
		*白磁蓋付小壺	シ	色絵「柳の図」角鉢	シ
		*柿釉蠟抜き丸文徳利	シ	*急須 8個1組	シ
		*瑠璃釉金彩四弁花文 蓋物	シ		
		*色絵更紗文長方筒	シ		

*白磁ひさご形大壺	昭和18年	色絵赤更紗文角瓶	〃	*染付「風花雪月」灰皿 (工房用)	〃
*白磁鉢	昭和19年	*色絵染付煎茶碗 6客	〃	*色絵金銀彩染付風景壺	〃
*色絵「菊と詩句」陶板	昭和20年	*色絵染付蓋置	〃	色絵呉須象嵌「牡丹と 詩句」陶板	昭和32年
*色絵「梅と竹」染付徳 利	〃	*色絵金彩彩変り酒盃 5客	〃	*色絵金彩染付絵変り 中皿 5客	〃
色絵急須・湯ざまし・ 茶碗(昭13)	〃	*赤絵金彩飾壺	昭和27年	*色絵金銀彩「富貴」飾皿	〃
*色絵筆架 4種	昭和13年— 20年	*色絵「柘榴」香炉	〃	*金銀彩家形箸置 10客	〃
(絵)		色絵金彩「風花雪月」 小陶板2枚1組	〃	*色絵金彩絵変り箸置 5客	〃
*「感想」巻物	昭和2年	*色絵赤地銀彩「柘榴 之図」陶板	〃	白磁壺	昭和33年
*「陶片集」画帖	昭和5年	色絵「岩に万年青・ 平常心」飾皿	〃	*赤地金銀彩菱四弁花 文壺	〃
*「長崎陶器旅行記」画帖	昭和6年	色絵「寒山詩」牡丹陰 刻陶板	〃	*赤地金銀彩羊歯文飾 壺	〃
*「草花写生帖」画帖 4冊	昭和17年	*鉄描銅彩「竹林月夜」 皿 5客	〃	*色絵金銀彩羊歯文八 角飾皿	〃
*「高山帖」画帖	昭和20年	*染付絵変り中皿 5客	〃	*色絵紫四弁花文角飾 皿	〃
京都時代(昭和21年~昭和38年)		鉄描銅彩「風花雪月」 湯呑 10客	〃	*色絵金彩染付「竹林 月夜」陶板	〃
(焼きもの)		鉄描銅彩「竹に風花雪 月」四方湯呑	〃	*色絵金銀彩菱模様香 炉	〃
*「李朝燭台」陶板	昭和21年	*土焼「白雲悠々」大皿	昭和28年	色絵染付「春夏秋冬」 灰皿	〃
*色絵金銀彩「椿」陶板	〃	*粟田羊歯文香炉	〃	*色絵「花字」コーヒー 碗 2組	〃
*土焼 鉄描銅彩柳模 様大鉢	昭和22年	*粟田色絵金彩茶碗	〃	*色絵「花字」コーヒー セット・銘々皿	〃
*色絵赤更紗文大鉢	昭和24年	色絵更紗文角瓶	〃	*色絵「花字」コーヒー セット・盛合せ皿	〃
*色絵「芦之図」大皿	〃	*色絵赤地金銀彩羊歯 文大皿	〃	白磁壺	昭和34年
*色絵「山歸来と詩句」 陶板	〃	*色絵金銀彩呉須刷毛 目香炉	〃	*白磁八角くり出し大 皿	〃
*色絵金彩赤更紗文徳利	〃	*色絵「柘榴」陶淵明の 詩句」陶板	〃	白磁 陶硯	〃
*色絵染付徳利	〃	*色絵「壺に椿花」陶額	〃	*色絵金銀彩四弁花文 八角飾皿	〃
*赤地金彩六角徳利	〃	*鉄描き銅彩字変り八 寸皿 5客	〃	*染付色絵金銀彩大飾 皿	〃
*色絵染付斜線文徳利	〃	*色絵赤更紗染付柳文 大皿	昭和29年	*金銀彩羊歯文大飾皿	〃
色絵「風花雪月」角盒	〃	*色絵「白雲悠々」中皿 5客	〃	色絵呉須象嵌「牡丹 ・詩句」十角飾皿	〃
*色絵柿釉染付旅行用 煎茶器 1組	〃	*色絵「沢菊」中皿 5客	昭和30年	染付色絵「大和風景」 尺皿	〃
*土焼 蠟抜き「平常心」 天目釉皿	昭和25年	*土焼 銅彩大皿	〃	*色絵金銀彩「風花雪 月」大陶板	〃
土焼 天目釉「風花」 茶碗	〃	*粟田麦藁手香炉	〃	*染付絵変り「風花雪 月」小陶板 3種	〃
*鉄黒釉壺	〃	*瑠璃金彩「竹林月夜」 飾壺	〃	染付「柳之図」小陶板	〃
*色絵「山茶花」香炉	〃	*色絵金銀彩羊歯文捻 徳利	〃	*色絵斜線文煎茶器 1組(自家用)	〃
*色絵四弁花文香炉	〃	*色絵赤地金銀彩煎茶 碗 5客	〃	色絵染付菱文様煎茶 器 1組	〃
色絵染付「風花雪月」 角盒	〃	*色絵赤地金銀彩絵変 り煎茶碗 5客	〃	*色絵染付菱文様灰皿	〃
*染付赤絵「村落遠望」 陶額	〃	鉄描き銅彩「花字」皿 10客	〃	*色絵絵変り巻紙形箸 置 5客	〃
*色絵染付円窓五弁花 文旅行用煎茶器 1組	〃	色絵金銀彩四弁花文 蓋付壺	昭和31年		
色絵染付円窓斜線文 旅行用煎茶器 1組	〃	*染付絵変り組皿 5客	〃		
*色絵「富貴」角皿 5種	〃	*白磁香炉	昭和32年		
色絵染付蘭文灰皿	〃	染付「風景」灰皿	〃		
鉄描銅彩「花」大飾皿	昭和26年				
鉄絵文緑釉壺	〃				
鉄黒釉茶入	〃				
鉄黄釉茶入	〃				

美術展覧会(4月)

*色絵金銀彩四弁花文蓋付飾壺	昭和35年	*金銀彩飾小宮	シ	陶器(朝日新聞社)	昭和23年
*色絵金彩羊歯文壺	シ	*色絵染付金銀彩四弁花文香炉	シ	富本憲吉陶器集(美術出版社)	昭和31年
*金銀彩羊歯模様胴組飾壺	シ	*色絵金銀彩幾何模様香炉	シ	富本憲吉模様選集(中央公論美術出版)	昭和32年
*色絵四弁花文大飾壺	シ	*白磁金銀彩羊歯文香炉	シ	自選富本憲吉作品集(朝日新聞社)	昭和37年
*色絵紫四弁花文大飾皿	シ	*色絵染付「竹・自作詩句」陶額 2点	シ	(東京展では*印のみ展示)	
*色絵「水瓶圖」陶板	シ	*赤地金銀彩羊歯文壺(最終未完作)	昭和38年	56回光風会展 2—19 都美術館	
*色絵金銀彩羊歯文小宮	シ	(絵)		会員出品目録	
*色絵金彩羊歯文飾宮	シ	*「淡彩刷毛目茶碗画賛」軸装	昭和21年	絵画	
色絵金彩羊歯文松文角飾宮	シ	「自用煎茶器の図」軸装	昭和22年	楽士輪違宜和	
*金彩羊歯模様香炉	シ	*「身辺雑器」画卷	昭和24年	ピエロの悲しみ	河内文夫
色絵金銀彩「風花雪月」角香合 2個1組	シ	*「金描自作模様十種」画帖	シ	白い壁の静物	芦田芳男
色絵「春夏秋冬」香合	シ	*「自作陶器図案五十種」画帖	昭和25年	女椅子	宮崎進
色絵金銀彩「楽合四花」香合	シ	「双池硯と筆二種」軸装	昭和28年	水禽寺坂公雄	
*色絵金銀彩「花字」香合	シ	「竹林月夜」軸装	昭和31年	坐像寺島龍一	
*色絵金銀彩四弁花文八角飾宮	昭和36年	「石と万年青・画賛」軸装	昭和32年	Baccanale	西村愿定
*色絵金銀彩四弁花文飾宮	シ	*金描「大和川急雨」軸装	昭和32年	A RUE VER-CINGETOR-IX(PARIS)	阪倉宜暢
*色絵染付羊歯文金彩六角飾宮	シ	*「流水帖」2冊 画帖	昭和33年	拓演奏家	小川博史
*色絵染付薊模様六角飾宮	シ	*「大和川急雨・画賛」額装	昭和34年	エジプト	庄司栄吉
*赤地金銀彩沢蘭六角飾宮	シ	「花字皿と飾宮」軸装	シ	鶏女像	時田幸彦
*色絵金銀彩菱四弁花文六角飾宮	シ	*金描「村落遠望」陶板軸装	シ	サーカスの男	清原啓一
*染付金彩羊歯文飾宮	シ	(書)		翔ふたり	森崎輝夫
*赤地金銀彩羊歯文角飾宮	シ	*「壺中日月長」軸装	昭和29年	ある日の午後	藤原昭三
*赤地金銀彩菱花「白雲悠々」大皿	シ	*白雲悠々 額装	昭和30年	少年とマリと運河	岩本隆善
*金銀彩染付「牡丹の蕾」大飾皿	シ	*「涼風第一窓」額装	昭和31年	ニールのほitori	福井重男
*赤地金銀彩麦葉文香炉	シ	*署名帖	昭和37年	滞船	由里明
*青白磁香炉	シ	(その他)		湿地・黒	高橋規矩治郎
*赤地金銀彩麦葉文香炉	シ	*帯止め・ブローチ類(24種)		蒼昏	岡崎勇次
*染付金銀彩「花字」陶板	シ	*自作自用陶印(20個)(出版物)		馬と少年	岸本年晴
*染付色絵金銀彩「柘榴」角陶板	シ	富本憲吉模様集(版画)	大正4年	雲と砂丘	根岸秀雄
*色絵「蜜柑の図」陶板	シ	富本憲吉模様集(自家限定版) 3冊	大正12年	漁家	西田亨
*金銀彩羊歯文様飾宮	昭和37年	窓辺雑記(文化生活研究会)	大正14年	野末の冬	山田茂人
金銀彩羊歯文角飾宮	シ	富本憲吉模様集 1冊	昭和2年	卓上静物	佐野隆人
*色絵金銀彩四弁花文角飾宮	シ	楽焼行程(采文閣)	昭和5年	息い	阿部和美
色絵金銀彩「春夏秋冬」飾壺	シ	模様寸感(自家限定版)	昭和6年	塔	小山宇司
*赤地金銀彩飾小宮	シ	富本憲吉陶器集(自家限定版)	昭和8年	チェロを弾く人	小島清雄
		製陶余録(沼森社)	昭和15年	古い倉庫	増田英吉
				入重山	福谷光磨
				キリストの降架	村山俊夫
				須磨の鳥追い	里見明正
				徴風	角卓吾

早春	晩草	室内	人の	人物	花道	春花
雪	原	(グリンデルワルトにて)				
初水	編庭	の	竜舌	仙物	蘭物	冬仙
静	べ	ニス	の	家	風景	家景
白祠	の	ある	風	船	秋道	船景
白雪	の	街			舍形	秋道
鳩子	の					鳩子
窓立	裸面	と	枯	山	辺	山
白女	い	ショール	の	像	港	像
○	君				風	君
石	窯	ある	風景	女	野	風景
白	い	部の			す	部の
冬	い				春	冬の
牛	露	水門	ある	防	田	牛
夢	校	庭	の一	隅	丘	夢
女	間	近	き			女
古						古
湖	沼	(上高地)	を	望	む	湖
丘	雪	の	牧		後	丘

鹿口下光沢村藤山本岡辺	島藤行山島田津本江田沢木野林名田菅井地桃庭藤田宅端田坂田村和中淵藤木	菅山山高大田江南西藤笹渡森幸佐兼遠中上根橋桐永竹高天小山和小新森円大桜斉岩三川泉長中木乾田馬(宇城)加鈴	月塀雪像天海娘港郷寥が鹿色堂岬卓内像像朝た街像海内場ム店秋像昏木近し波所で少女(木版)山畔	正だ残の雪の寂高原にるあるの工スチュール濃路晚子橋傘船ひと髪と卓の	のん濃衣南度春豆の向きののの	港ら濃衣南度春豆の向きののの	お信黒春薩内印漁浅家春丹來たわ秋聖秋幡街ミ室夏壁坐港横ち塔座冬室街廃コ露信座黄胡摩番静造小長緑百合と夏湖
-------------	------------------------------------	------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	-----------------------------------	----------------	----------------	------------------------------------------------------

匠之馨子之一生栄悦	千芳昌義弥一	吉屋野井矢岡田宮井	秋守矢藤血西飯高桜	で嬢隅像室窓り(パ	角一の列民の修理屋)	町M肉肖女陳春庶靴り)
又三郎永一平治枝吉一郎子三綱郎躬雄智郎金実ミ子	鍋三郎新亮慶三健清八松正頼八理正幸美経忠キ元	田頭田方木馬寺井村元野田村江本飼周領川田田	岡鬼辻山緒市有小河辻秋星黒木藤橋鶯本国佐石山森	地春海スー近供卓デ書像物卓像ト姫子景るン柿衣像女景町春絶雪地泳雪朝町古	磨のヴレージの橋間レのヨットハーイコーり堤ひマンショ人衣ネの	大待須スリコート棧子樹ゲ読座静雪バー白梅座緑黒踊緑あ朝青黒女女青ア丘浅廃り九悠早雪海サ寺
一郎二晃慶	勘光	江原田村	溝日吉杉	と人形		

美術展覧会(4月)

湖水船雪七城お川ミモザアカシヤ静人オ立小温清庭舶神お新溶画校郷立卓紫船路阿春赤町錦とあるムで人牧場(鶴ヶ丘)人間その6「ラ・ユマニテ」白海老早高婦塔千水少	湖畔の風景山古む端物ち樹憩室湯雪景杜店炉子倉愁春上り地山し松秋鯉のホームS猫梅春川像の浜門女	北堀島米益塩鳥高山梅野熊西村梧東池大熊樋大早北広筒梶海老道野井崎田町田畑平坂進中川氷千有根米	川戸田山出尾田川林平野寺松井浦田森沢口原田浜井井沢道野井崎田町田畑平坂進中川氷千有根米	威重英千鶴孝正二郎寛子上夫亨男雄洋隆郎三一三之淳一博進夫男里朝二侃一昭吉定子男一哲茂久吉一道司郎	夫勉繁博吾子吉郎寛子上夫亨男雄洋隆郎三一三之淳一博進夫男里朝二侃一昭吉定子男一哲茂久吉一道司郎	トンネルのある風景 潮風強き岬女色ち 少原娘の窓隔日て 高踊朝マ一静小なる町に安美娘の女し景部 外白春丹鳥屋初青焙谷方張花バ創樹黒辰砂紅梅文大皿合森天 工芸心一猫皿合森天 方張花バ創樹黒辰砂紅梅文大皿合森天 方張花バ創樹黒辰砂紅梅文大皿合森天	森留吉万長大岡高久北藤矢若池西新喜布坂石大城小関鷗石鷺福伊加原林皆山山中飯遠般帖辻堀寺花古舟	田岡田羽峰倉野倉山原田林田村庄多尾元野保森谷飼山田原藤藤田川鹿形村内田藤若佐本房畑越	健富克靖一八昇清俊拳善良盛安婦久子男九代夫子為朗顯陶子郎華華駒太臣生郎映弘行典友三郎茂子健次郎	司彬美章勇次夫二章代一郎稔功郎吾三郎策愛親久男九代夫子為朗顯陶子郎華華駒太臣生郎映弘行典友三郎茂子健次郎	幹服街や陶映壞花ス芽調鉄風蒼赫い砂角い作釉磁仲花(鳥)片た話陰獲の譜子点品抄立ち器ム映展 ど工の碑心ブ器線壺華品り作壺器容(鳥)片た話陰獲の譜子点品抄立ち器ム映展 ど工の碑心ブ器線壺華品り作壺器容(鳥)片た話陰獲の譜子点品抄立ち器ム映展	佐竹山中城土小米三諏佐中野伊藤大加龜辻山河加鈴谷宮中松伊西神浜加野佐北井品武金片原河大太西2-193-153-25	間内崎村戸屋川沢橋訪野村口東本賀藤井井本合藤木口原野勢村成納上藤原伏山石丸桐本和田村2-193-153-25	章郎子一男平二久民修寛介朗慶肇選造勝式年成鈔々三謙嗣一子一澤也燁隆子央介喜勇明信生郎男明夫美術小田急第七画廊 真愛董夏杏欣国俊晴庄賢正寿青良晃栄鉄純達真紀圭三代水稲五保博英都館小田急第七画廊
-------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	------------------------------------------------	---------------------------------------------	--------------------------------------------------	-------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	--------------------------------------------	-------------------------------------------------	------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

「近代日本美術における1930年」展
3-5月16 東京国立近代美術館

出品目録

<フォーザの傾向>

裸 体	前田 寛治	1928
海	〃	1930
雪 景 色	佐伯 祐三	1927
モランの寺	〃	1928
静 物	里見 勝蔵	1926
顔	〃	1930
女	〃	1933
裸婦ナックレ	木下 孝則	1930
女の顔	林 武	1927
横たわれる女	〃	1928
婦 人 像	〃	1930
夜のテラス	野口弥太郎	〃
ベルクール広場	〃	1931
フレンチカンカン	〃	1932
トランプをする アルルカン	林 重義	1929
広告のある風景	〃	1930
赤 い 酒	〃	〃
少年道化	三岸好太郎	1929
代々木の庭	児島善三郎	1930
独立美術首途	〃	1931
無衣の女	〃	1932
岸田国士像	長谷川利行	1930
鉄工場の裏	〃	1931
洋傘に倚る少女	顰 光	1930
作 品	井上長三郎	1935
自 画 像	大野 五郎	1929
レンガ工場	〃	1931
森の道(上高地)	宮坂 勝	1928
笛 吹 き	中山 巍	1931
大根と小娘	〃	1933
バ ン	伊藤 廉	1927
リユーマチの労働者	〃	1930
赤色衣を着けたる婦人	中野 和高	1927
菓を売る男	清水 登之	1928
プチジャン	高品達四郎	〃
裸 婦 立 像	鈴木 亜夫	1926
農 婦	鈴木 保徳	1931
二人の女	田中佐一郎	1930
蔬 菜	須田国太郎	c.1931
法 観 寺 塔 婆	〃	1932
アマルフィ風景	小林 和作	1928
人形をもつ娘	〃	〃
二人の女	海老原喜之助	1927
ゲレンデ	〃	1930
かれはなばたけ	曾宮 一念	1932

<前衛的傾向>

素朴な月夜	古賀 春江	1929
海	〃	〃
海と射光	三岸好太郎	1934
ウソ発見器	福沢 一郎	1930
科学美を盲目にする	〃	〃
他人の恋	〃	〃
よき料理人	〃	〃
雪 景	飯田 操朗	1933
夜四題(4点)	谷中 安規	c.1932
挿 絵	〃	〃
作 品	〃	〃
美しきエスプリ	前田藤四郎	1931
時 計	〃	1932
草 の 中	平川 清蔵	〃
二 人 像	山口 長男	c.1930
作 品	〃	〃
図 説	吉原 治良	1934
作 品 3	〃	1934~35
作 品 A	〃	1935
ス ー ド	恩地孝四郎	1925
人体考察(4点)	〃	1927
ご み	藤牧 義夫	1932
版画4点(雑誌「形成画報」掲載)	岡田 竜夫	1928
静 物	山口 進	1926
かたち(鉄)	小野 忠重	1933
赤の中の小さな白	瑛 九	1935
デ ッ サ ン	〃	〃
作 品	水谷 武彦	c.1925
作 品	〃	〃
<社会派的傾向>	〃	〃
コムソモルカ	寺島 貞志	1930
ポスター第5回プロレタリア美術大展開覧会	〃	1932
ブラウダを持つ蔵原惟人	永田 一脩	1928
告 別	大月 源二	1929
小林多喜二死面	岡本 唐貴	1933
労働者	須山 計一	〃
メ ー デ ー	勝木 貞夫	1930
同志山忠の思い出	望月 晴郎	1931
無産者新聞ポスターほか	柳瀬 正夢	c.1930
ポスター・ソヴェート同盟を守	奥村 信吉	1931
腕	石垣栄太郎	1929
リ ン チ	〃	1931
棟梁の家族	前田 寛治	1928

ブルジョワ議
会と民衆の生活
(下絵)

赤 帽 平 山 氏	佐藤 哲三	1929
老 船 員	新海 覚雄	1933
農夫の家族	川上 律江	1932
土 工 部 屋	菊地善二郎	1933
サ ー カ ス	〃	c.1933
連作「三代の死」のうち4点	小野 忠重	1931
工 場 の 煙	蓬田兵衛門	1933
松山 文雄	ほか原画執筆	雑誌、その他の資料
徳川美術館名品展	4—26	神奈川 県立近代美術館
板谷波山展	4—5月10	石川県美 術館
ブランデー・コレクション特別展	5—5月17	大阪市立美術館
染木煦南船北馬展	6—10	丸善画 廊
藤川叢三彫刻展	6—11	資生堂ギ ャラリー
中村敬一個展	6—11	樺画廊
田栗テル個展	6—11	銀座サエグ サ画廊
錯誤'70展(13回)	6—11	サトウ 画廊
竹岡羊子個展	6—12	文芸春秋画 廊
古茂田守介展	6—18	現代画廊 南天子画廊
魚住五百誓エッチング展	6—18	パピエ画廊
秘宝ビザンチン古陶展	7—12	高 島屋
森秀雄個展	7—16	紀伊国屋画廊
石黒宗庵回顧展	7—5月10	京都 国立近代美術館
出品目録		
湖上微醺平鉢		
黒釉褐斑鳥文壺		
彩瓷壺		
窯変白泥文壺		
唐姑文壺		
黒釉花器		
呉須立線長壺		
鶺鴒斑壺		
緑釉壺		
古瀬戸釉人物文壺		
白瓷布目文壺		

仲	和	田	八	の	も	化	風
夫	忠	原	川	が			
夫	春	西	大	芽			
男	和	原	松	累			
子	竹	谷	洪	紋			
齋	雲	辺	田	る			
門	右	太	中	獲			
也	達	郎	浜	嘉			
油	龍	賀	須	花			
二	正	口	小	譜			
陶	舜	藤	加				
茂	美	本	寺	器			
仲	年	山	梶	壺			
郎	一	樋	大	譜			
夫	吉	田	滝	子			
生	三	卷	村	膚			
郎	嘉	倉	鶴	焉			
山	真	端	東	話			
箬	静	池	寺	鳥			
人	秀	井	春	◆			
雄	正	藤	佐	城			
已	尚	林	小	生			
珉	翠	東	伊	体			
壺			閔	塊			
稔			榎	ま			
盛			岸	ぐ			
雄			岩	象			
利			堀	精			
郎			真	紋			
也			南	飾			
輝			横	口			
夢			淺	想			
吉			鴨	生			
雄				面			
州				譜			
郎				刻			
映				下			
雄				譜			
次				一			
章				星			
恒							
郎							
志							
夫							
波							
男							
景							
春							
佐							
緒							

石や創森「燃える金壺」作緑坤陽潭登軌触	すのち	馬ぎ彫	亀津伊三宮	倉田藤谷	蒲永裕吾	舟壽司一衛
花瓶	品		亀徳河宮小平信米	倉田合崎森松田沢	康八十匡芳克宏	之吉造郎己春洋久
岡田又三郎油絵展			14—19	三越		
10回伝統工芸新作展			14—19	三越		
現代アメリカ版画展			14—19	高島屋		
鱧利彦近作展			15—21	ギャルリー・アルカンシェル		
西村功伯展			15—25	フォーラム画廊		
裸婦名作展			16—21	阪神6月16—21 福屋		
後藤よ志子展			18—24	日動サロン		
北大路魯山人陶芸展			18—24	伊勢丹		
大谷久子個展			18—27	紀伊国屋画廊		
和田徹展			18—28	日本橋画廊		
13回安井賞展出品作品による小品展			19—28	椿近代画廊		
花田和治展			20—25	ときわ画廊		
錯誤、'70展(15回)			20—25	サトウ画廊		
秋元幸茂個展			20—26	シロタ画廊		
鳥屋尾安亮個展			20—26	みゆき画廊		
合田佐和子作品展			20—26	田村画廊		
北川民次展			20—30	飯田画廊		
日本表現派展			21—26	日本美術協会		
36回東光展			22—5月8	都美術館		
44回国画会展			22—5月8	都美術館		
会員出品目録						
絵画						
海の風景				蛇子善悦		
花咲く丘より				斎藤静輝		
ベッドルーム				佐々木豊		
王朝の人々				島田章三		

と 人	と 人	ど 人	り の	と 園	と 公	公 昼
家 の	遊 の	い も	の	の	の	の
部 の	の	の	の	の	の	の
屋 の	の	の	の	の	の	の
岸 の	の	の	の	の	の	の
里 の	の	の	の	の	の	の
く の	の	の	の	の	の	の
麦 の	の	の	の	の	の	の
景 の	の	の	の	の	の	の
萃 の	の	の	の	の	の	の
議 の	の	の	の	の	の	の
家 の	の	の	の	の	の	の
院 の	の	の	の	の	の	の
(上 の)	の	の	の	の	の	の
も の	の	の	の	の	の	の
月 の	の	の	の	の	の	の
梅 の	の	の	の	の	の	の
屋 の	の	の	の	の	の	の
碑 の	の	の	の	の	の	の
形 の	の	の	の	の	の	の
道 の	の	の	の	の	の	の
石 の	の	の	の	の	の	の
の	の	の	の	の	の	の
茫 の	の	の	の	の	の	の
山 の	の	の	の	の	の	の
路 の	の	の	の	の	の	の
マ の	の	の	の	の	の	の
影 の	の	の	の	の	の	の
影 の	の	の	の	の	の	の
景 の	の	の	の	の	の	の
ち の	の	の	の	の	の	の
Double Figure II	の	の	の	の	の	の
飛 の	の	の	の	の	の	の
鳥 の	の	の	の	の	の	の
ち の	の	の	の	の	の	の
化 の	の	の	の	の	の	の
IR	の	の	の	の	の	の
国 の	の	の	の	の	の	の
家 の	の	の	の	の	の	の
(モロ の)	の	の	の	の	の	の
動	の	の	の	の	の	の

美術展覧会(4月)

さざなみ 宮 芳 平
 エーゲ海紀行 日 向 裕
 おどろき 石 井 一
 氷 人 松 登
 炎の空 橋 本 三
 夜くる鳥 木 内 井 敬
 丘の上の街 福 井 敬
 フランチェスカ 宗 像 逸
 寺院 田 中 道
 画像 石 久
 村祭の群像 下 洩 冷
 魚 原 中 島 宣
 野 原 藤 本 俊
 女 上 原 正
 泉とナワ蛇と巫 三 橋 健
 女 サカスの馬 梅 宮 馨
 凱風(gentle Breeze) 山 崎 隆
 作品 70-2A 渡 辺 一
 侵入者 菊 地 辰
 高速道路 吉 田 幸
 踊るマサイ 尾 田 勇
 終焉 鎌 田 龍
 ローマの遺跡 栗 林 今
 砂上の詩 石 橋 朝
 群像 '70 岩 尾 繁
 トレドの丘 長 野 秀
 テムズの朝の少女 小 林 静
 冬の湖北 沢 野 敏
 古風な船と観光 真 垣 武
 聖使徒 三 枝 茂
 瀬戸内海 松 田 正
 花と鳥 井 上 善
 黒い蝶と花 水 上 民
 化物の上には赤い雲がある 金子 三
 イタリアの寺院 二 見 利
 長津呂港 伊 藤 弥
 法起寺の塔 上 田 清
 教会のみえる露 小 泉 富
 デモ・ニュールック 鈴 木 正
 磯の幻想70-1 高 瀬 捷
 ピサの街 遠 藤 未
 青い椅子と枯ひまわり 辻 清
 紫陽花(朝) 森 掬
 波と浸蝕海岸 関 口 五
 春の詩 宇 田 要
 無題 No.5 吉 兼 三

FANTASY
 (ある壁画のた
 めのエチュード)
 箭(しがらみ)
 クサビ
 作品 1970
 日本忍呪しばり
 王 者
 大きな絵画
 COLOUR70-
 1
 「合」 70-3
 むし
 TWIN-2
 斜面による
 春の構図
 開
 増幅する-7
 無限空間の平面
 化(天体)
 WILL-26
 作品 52
 黄色い奴
 版画
 佐渡の海辺
 箱入り猫
 校倉ウ
 シェド
 北壁新雪
 偽版古地図
 街-プレリュー
 ド-
 唐時代の石仏
 「菩薩」
 史 27
 ヨブ記より VI
 ヨブ記より V
 レスラ-
 虚 離
 黒と黄
 緑と赤
 作品 1004
 作品 1003
 風景
 北山時雨
 作品 1
 作品 2
 心像世界-S-
 19-
 交錯する色面
 「キング」
 不動明王 (No.
 35)

宮 木 蕙
 平 井 一 男
 張 替 正 次
 須 田 剋 太
 小 牧 源 太
 宇 治 山 哲 平
 高 松 健 太
 大 西 博 文
 真 野 岩 夫
 東 野 貞 美
 菅 野 充 造
 矢 岡 勲 子
 大 清 水 映
 赤 岩 賢 三
 福 留 章 太
 重 延 環 子
 岩 田 和 子
 佐々木 節 雄
 積 田 鑑 士
 下 沢 木 鉢
 稻 垣 知 雄
 前 田 政 雄
 斎 藤 清 家
 橋 本 興 生
 川 上 澄 生
 大 橋 弘 明
 平 塚 運 一
 高 橋 信 一
 栗 山 茂
 中 尾 義 隆
 伊 藤 勉 勉
 はりかえしよ
 お
 鈴 木 幹 二
 星 裏 一
 関 野 準 一
 佐 藤 宏
 山 口 源
 品 川 工
 笹 島 喜 平

吉祥天(F)
 湖山(蓮花月)
 工芸
 手付壺
 蓋物
 ピッチャー
 盆子
 角鉢
 黄釉櫛目注瓶
 (黒)
 黄釉象嵌銘々碗
 (五ヶ)
 黄釉象嵌盛鉢
 雲と虫模様裂地
 紙更紗
 胡楽地
 胡紺布(赤)
 紺布(緑)
 縞柿紙刀
 拭漆手管
 紬広巾絞布
 綿藍染絞着物
 白地着物階段小
 紋
 染色両面四曲屏
 風
 壁掛
 壁掛
 壁掛
 木綿帯
 貝壁掛
 花と蝶壁掛
 ショール
 カーデガン(婦
 人用)
 毛織布(1)
 毛織布(2)
 つむぎ着尺 A
 つむぎ着尺 B
 二軸打紋大皿
 角鉢様刷毛目
 線絵角鉢
 型染壁掛
 カーテン地赤
 カーテン地黄
 板メ十字緋
 黄地段熨斗目
 蘇枢帯地
 藍地袖着尺
 彫刻
 横たわるポロニ
 ュウス
 金 守 世 士 夫
 船 木 研 児
 藤 井 幸 子
 古 沢 万 千 子
 後 藤 清 吉 郎
 原 田 麻 那
 原 山 雅 子
 黒 田 辰 秋
 片 野 元 彦
 小 島 恵 次 郎
 三 代 沢 本 寿
 長 沼 孝 一
 中 村 操
 岡 村 吉 右 衛 門
 及 川 全 三
 大 島 郁
 太 田 仔 至 子
 佐 久 間 藤 太 郎
 柚 木 沙 弥 郎
 四 本 貴 資
 柳 悦 博
 故 前 川 典 子
 川 田 清

惑星	堀川恭	海辺静物(B)	木本晴之晃	ポンスフ	加藤秀夫
遺跡の時刻	高橋洋	日よけと舟	本市川	塔シエナ	中村徳三郎
おんな—70—4	高橋	花祭(一)	横山了平	本寺遠望シエナ	原田平治郎
おんな—70—3	染谷英五	花祭(二)	伊藤善藏	海辺静物	笠木実
紅花(ポリエス テル)	佐藤健次郎	アトリエ	宮城音郎	農家	小柳秀太郎
立女(石膏)	山本豊市	けしの咲く博物	加山四郎	流れの見える風	田畔司郎
作品70・群像一 手I・II	関谷井祐茂	船所	上原欽二	景	野村千春
女	小川清彦	船造	保坂良平	きいろい花	佐藤篤郎
空	柴田善二	船造内	木下公康	館のある町	遠藤典太
はじらい女嬢	古島士勝男	造内砂丘の小	関	教会のある町	南大路一清
若い嬢	古島士勝男	砂丘の小	横堀	風景(1)	水谷田三郎
F飛	古島士勝男	人人道女男	南三	風景(2)	倉田中川
あなたに捧げる 愛の花	古島士勝男	と女	福地敬治	萩初冬	成川上
うそつき野郎	古島士勝男	イエデ	川端弥之助	北アルプスの見 える風景(信州 白馬村にて)	岩田栄之助
船	古島士勝男	五浦六角堂	小泉倫之助	丘の家	杏掛利通
作品H	古島士勝男	麓深	友田みね	神之木	伊藤慶之助
部屋はマイホ ーム	古島士勝男	山麓の丘	津谷鹿市	雑木郷	鬼塚金華子
糸にあやつられ た踊り	古島士勝男	奏塔小村	中山節子	タスキ	前田藤四郎
団地にいた未亡 人	古島士勝男	春東福寺東司	西尾節子	青い風景	三井永一
杜の詩	古島士勝男	五月田園	田中山	人物山	北岡文雄
夜(ヒロシマの 女)	古島士勝男	河の裏通り	小川マ	木葉山	ヨハネス・アイ
坐立	古島士勝男	午後のサボテン	岡三	肥後塩	武加
明日香の母子	古島士勝男	野の花	中尾	早杉田	木村健夫
風	古島士勝男	私の花	西尾	雪の村	田清美
風	古島士勝男	ムチリンダ(苦 行林)	田中山	白僧院	
47回春陽展	古島士勝男	ストーバをつく る人達	小川マ	ルソール	
22—5月8 都美術館	古島士勝男	遠い網	岡三	風カトレア	
会員出品目録	古島士勝男	花A	中尾	シブリエージュ	
ストライプと星	古島士勝男	花B	西尾	あすか合唱団	
ストライプと星	古島士勝男	白間津港風景	田中山	おいもっとの ませろ	
父と子	古島士勝男	ロッション	小川マ	住めば都	
海辺の小屋	古島士勝男	「赤い実」A	岡三	はかなき夢	
PANORAMA	古島士勝男	「赤い実」B	田中山	二つのペ	
COMPOSITIONE	古島士勝男	朝の春の	小川マ	雪の農村	
室	古島士勝男	雪の	岡三	家族の類似	
砂光卓	古島士勝男	焼跡と	田中山	天気予報	
卓上	古島士勝男		小川マ	ゲルベゾルテ	
二暮二香	古島士勝男		岡三	日本もゆ	
二暮二香	古島士勝男		田中山	日本もゆ	
青緑	古島士勝男		小川マ	城	
海辺静物(A)	古島士勝男		岡三	パーティング	

美術展覧会(4・5月)

モ レ ラ 小林ドンゲ
いへきかな 石井鶴三
希望のマスク 清宮質文
小 さ な 炎 幸田美恵子
見物人・檻 駒井哲郎
見物人・手品 馬場 榊
九 つ の 夢 曾根 徹
落 下 1 横尾丈夫
落 下 2 出岡 実
相模大山 大庭勝郎
那須山 宗久恭子
丘 窓 辺 宮脇 晴
階段の家と魚の 田川勤次
風景 井上重生
階段の家と鳥の 四方れい
静物 本莊 赴
玉 蜀 黍 土屋義郎
籠 早春の箱根 伊川鷺治
早 春 の 箱 根 色 足立源一郎
暮 春 の 居 る 庭 滝 高田力蔵
孫 の 居 る 庭 滝 井上重生
湯 加 太 瀬 戸 田川勤次
加 太 瀬 戸 井上重生
納 川 奈 四 方 れ い
川 野 で 遊 ぶ (Ⅱ) 本 莊 赴
野 で 遊 ぶ (Ⅰ) 土 屋 義 郎
崖 麦 秋 の 丘 伊 川 鷺 治
麦 秋 の 丘 土 屋 義 郎
桐 花 の こ ろ 伊 川 鷺 治
野 草 初 冬 の 溪 流
初 冬 の 溪 流 早 春 (伊豆下田
の 家) 足 立 源 一 郎
初夏の鹿嶋槍 高 田 力 蔵
ブチ・トリヤノ ン の 水 車 小 屋 土 屋 義 郎
ブチ・トリヤノ ン の メーゾン・ド・ラ・レエス 加 賀 孝 一 郎
静 物 同 志 社 大 学 礼 拜 堂
朝 の 海 大 沢 鉦 一 郎
「紫陽花」のはな で 飾 る 藤 野 龍 磨
花 梅 林 吉 田 達 磨
わ ら 帽 子 徳 田 信 保
玉 陵 (沖 縄) 風 土 の 馬

秋田の紅葉 竹
伊豆の山 海浜の松
丘の一樹 セザンヌのアト
リエ 公園の森
青の世界 古き香
大和田山 遠州栗ヶ岳
山すそ 沖縄風景(2)
沖縄風景(1) 速度と影
Composition 階段の憂鬱
夏の思い出 ある風景 憶
厨子 慶など アメリカの形
70-2 虚像+実像
まんだら70-G 供物(B)
まんだら70-G (供物A)
人類の遠い道 梅
林 春の馬 岬の馬
キジムナー (木の精)と裸婦 民話七色ム
ーティ(人柱) 駈ける
波 川 辺
川 風 景 か ら ま つ
霧氷(夢の海) 山 の 別 荘
村 の 農 家 上高地・霞沢岳
上高地・樹間の 穂高
基地のカフェー 慶長16年日本の
城 雪 行 春 来

佐藤昌胤 豊泉恵三
田辺謙輔 角南松生
宮田武彦 平田峻三
小栗哲郎 秋口保波
大嶺政寛 松村禎夫
川島昇太郎 石川武彦
玉那覇正吉 田代利夫
今竹七郎 池田 登
細井三男 原田武夫
川隅路之助 大嶺政敏
加藤助八 今関 鷺 人
山本朝子 石井光楓
関 四郎五郎 小川 緑
広野殷生

遺作 山 高橋辰雄
阿佐ヶ谷風景 砂 浜
保田海辺 阿佐ヶ谷風景
柴原雪個展 23-28 銀彩堂画廊
明日葉展(5回) 23-5月2 東和
画廊 宵展(5回) 25-5月2 日動サロ
ン 吉崎道治油絵展 25-5月6 伊勢
丹 春の野外彫刻展 25-5月17 北の
丸公園 5月20-6月10 神代植
物公園 鶴岡政男個展 25-5月30 画廊代
々木の森 22回京展 26-5月10 京都市美術
館 安藤信哉個展 27-5月1 丸善画
廊 伊原通夫展 27-5月2 東京画廊
江藤環子個展 27-5月2 スルガ
台画廊 高橋敏個展 27-5月2 文芸春秋
画廊 山本丘人新作展 27-5月2 下村
画廊 倉石隆個展 27-5月2 梅花亭
ギャラリー 石垣栄蔵個展 27-5月3 ルナミ
画廊、シロタ画廊 河野芳夫展 27-5月4 壱番館画
廊 蒼騎展 28-5月3 日本美術協会
陶芸三人展 28-5月3 三越(田
村耕一、清水卯一、藤本能道)
万博記念・大和文華館名品展<東洋
の美術> 28-6月28 大和文華
館 5 月
ワイズ・パッシュ展 1-16 大阪
フォーラム画廊 英国風景画展 1-20 丸紅アート
ギャラリー 森本紀久子個展 1-23 第七画廊

スペイン美術展 1—6月28 東京

国立博物館

出品目録

- ビリャナの B.C. 1600 ビリャナ市
宝物(62点) ~1350年 立美術館
- コステイス B.C. 11世 マドリード
の雄牛の頭 紀 国立考古学
部 ブロンズ 博物館
- セーロ・デ B.C. 2世紀
ロス・サン 石
トスの婦人 像
- パラソーテ B.C. 6世紀
の人頭牛 石
- スエバ・カ 石 コルドバ考
ルテヤのラ 古学博物館
イオン
- アウグスト メリダ美術
ス皇帝 館
- アサイラの ブロンズ マドリード
男の頭部 国立考古学
博物館
- アサイラの ブロンズ
女の頭部
- エフィゲニ モザイク バルセロナ
ヤのいけに 考古学博物
え 館
- 使徒の石棺 A.D. 410~ タラゴナ古
430年 代キリスト
石灰石 教博物館
- ブリビエス A.D. 4世紀 ブルゴス考
カの石棺 古学博物館
- セーロ・デ 石 マドリード
ロス・サン 国立考古学
トスの奉納 博物館
婦人像(3
体)
- パラモン神 テラコッタ
- アウグスト B.C. 15年 セビリヤ考
ス皇帝 大理石 古学博物館
- アウグスト 大理石
ス皇帝の姉
オクタビア
- アウグスト 大理石
ス皇帝
- ガルバ皇帝 大理石
- アレホ・フェルナンデス
- 受胎告知 セビリヤ美術館
- ファン・バントーハ
- フェリペ三世 ブラド美術館
- オーストリアの マルガリータ
(フェリペ世紀)
- エル・グレコ
- 聖バルトロメ グレコ美術館・
トレド
- 聖 パ ブ ロ
- 慈悲の聖母 カリダード病院
・イエスカス
- ファン・デ・ラス・ロエラス

無原罪のお宿り セビリヤ美術館

- ペドロ・デ・オレンテ
- ヤコブの家族 ブラド美術館
- フランシスコ・リバルタ
- 十字架を抱く聖 バレンシア美術
フランシスコ 館
- 聖 ペ ト ロ
- 聖母マリアの肖 像を描く聖ルー
カス
- ファン・デ・リバルタ
- 磔 刑 1615年
- ビセンテ・カルドゥーチョ
- 聖 家 族 1631年 ブラド美術館
- フランシスコ・パチュエーコ
- 祈る老夫婦
- 祈る若夫婦 セビリヤ美術館
- サンチェス・コエリョの弟子
- イザベル・ク ブラド美術館
ラーラ・エウヘ
ニアとマгдаレ
ナ・ルイス
- アロンソ・バスケス
- 捕虜を救う聖ペ セビリヤ美術館
ドロ・ノラスコ
- ホセ・デ・リベラ
- 聖アンドレア 1635年 ブラド美術館
- 聖アンドレア 1641年
ごろ
- 盲目の彫刻家 1632年
- イ ソ ッ プ 1638年
- 金貸しの老婆 1638年
- ディエゴ・ベラスケス
- 修道女ヘロニ 1620年
マ・デ・ラ・
フエンテ
- フェリペ四世 1653年
- フランシスコ・スルバラン
- ラス・クエバ 1635年 セビリヤ美術
スの聖母 館
- 聖ブルーノと教 皇ウルバノ二世
- 大教皇グレゴ 1622年
リウス
- 十字架上のキ 1630年
リスト ごろ
- 聖 ルー カス 1638~ カディス美術
9年 館
- 瞑想する聖ブル
ーノ
- 福者エンリケ 1640~ セビリヤ美術
・スソン 45年 館
- 聖ルイス・ベル セビリヤ美術
トラン 館
- 聖女マリーナ 1640~
50年
- 聖ヒエロニムス

洗者聖ヨハネ 1638~ カディス美術
9年 館

- 聖 マ テ オ
- 福音書家聖ヨ ハネ
- 聖 マ ル コ ス
- 十字架上のキリ セビリヤ慈善病
スト 院
- アロンソ・カーノ
- ボルハの聖フラ セビリヤ美術館
ンシスコ
- 福音書家聖ヨハ マラガ美術
ネ 館
- ファン・デ・アレリャーノ
- 花 ブラド美術
花 館
- バルトロメ・ムリリーヨ
- 聖女フスタと 1665~ セビリヤ美術
ルフィーナ 66年 館
- 悲しみの聖母 1660年
マリア
- ビリャエバの 聖トマス
- 無原罪のお宿り 1668年
- 聖フランシス セビリヤ慈善病
コ・ザビエル 院
- ルイス・トリスタン
- 無原罪のお宿り セビリヤ美術館
- ヘロニモ・ハシント・エスピ
ーサ
- 聖ペドロ・ノラス バレンシア美術
コの調停 館
- ファン・カレニョ
- カルロス二世 1680年 ブラド美術
ごろ 館
- 道化役者フラン シスコ・バサン
- ホセ・アントリーネス
- マгдаレナ セビリヤ美術館
- 無原罪のお宿り
- フランシスコ・リッシ
- 聖 母 の 訪 問 ブラド美術
館
- 受 胎 告 知 ブラド美術
館
- クラウディオ・コエリョ
- オーストリアの ブラド美術
マリアーナ妃 館
- エステバン・マルチ
- 聖 パ ブ ロ バレンシア美術
館
- ファン・アントニオ・エスカ
ラ ンテ
- 天国の探検者 コルーニャ美術
館
- バルデス・レアル
- フェルナンデ 1658年 セビリヤ美術
ス・ペーチャ 館
- 神父

美術展覧会(5月)

イエスカス神 1658 セビリヤ美術館
父
カルバリオの丘
へ向う聖母と聖
ヨハネ
サラセンの襲 1653年
撃
聖体を捧げる 1653年
聖女クララ
天使に鞭うた 1658年
れる聖ヒエロ
ニムス
聖ヒエロニムス
の誘惑
祈る聖イグナ 1674~
チオ 6年
フェルナン 1658年
ド・ヤニエス
修道士
フアン・デ・ 1658年
レデスマ修道
士
○アシスクロ・アントニオ・デ・
パロミーノ
無原罪のお宿り ブラド美術館
○ヘロニモ・アントニオ・デ・エ
スケーラ
水
○アンドレス・デ・ラ・カリエ
ハ
騎士の肖像
○フランシスコ・バイユ
巨人との戦い
○ラモン・バイユ
野 遊 び
ギターを弾くマ
ホ
○ルイス・エウヘニオ・メレンデ
ス
鮭とレモンと 1772年
壺
梨とメロンと 1764年
樽
○ルイス・パレート
リハーサル風景
○アントニオ・カルニセーロ
美 し き マ ハ
マドリッドに 1783年
気球あがる ころ
○マリアーノ・サルバドル・マ
エーリヤ
スペイン王 1775年
女、ポルトガ
ル女王、カル
ロータ・ホア
キーナ
漁 師 た ち
海
○スランシスコ・デ・ゴヤ

木のぼり
カルロス四世
七 面 鳥
自 画 像
ブラド美術館
サラゴサ地方
美術館
大教皇グレゴ 1798年
リウス ロマンティコ
美術館、マド
リード
バルマのマリ
ア・ルイーサ
カルロス四世
マリアーノ・フ
エレール
コルドバ美術館
コルドバ美術館
バレンシア美術
館
闘牛技(41点 銅版画
一組) スペイン現代
美術館
下絵と銅版画(四組)
1「連れていかれてしまった」
2「そのために前たちは生れた
のだ」——「戦争の惨禍」の一部
3「ムーア人はエジプトマントで
独特のマントさばきをみせる」
——「闘牛技」参照
4「掠奪する男」——「不条理」の一
部
ブラド美術館
○ピセンテ・ロベス
マクシモ・ロベ
ス スペイン現代美
術館
○アウレリアーノ・ベルエーテ
フエンフリーア
の峠 コルーニャ美術
館
マンサナーレス
河 スペイン現代美
術館
○カシミール・サインス
風 景 コルーニャ美術
館
○エウヘニオ・ルーカス
革 命 スペイン現代美
術館
○フェデリコ・デ・マドラソ
フローレス少 1842年
年
○エドゥアルド・ロサレス
オフエーリア
裸 婦
○ホアキン・ソローリャ
海辺のこども 1910年
魚はまだ高い 1894年
○イグナシオ・スロアーガ
レルマの革袋 1926年 個人コレク
職人の家 シン
パリーエ・イ 1931年
ンクラン
マヌエル・デ・
フェーリア
○カルロス・アーエス

ビコス・デ・エ スペイン現代美
ウローバ連峰 術館
○マリアーノ・フォルトゥーニ
闘 牛
○ダリオ・デ・レゴヨス
風 景
○フランシスコ・ドミンゴ・マル
ケス
ドス・アグアス
伯邸の正面入口
○イグナシオ・ピナーソ
少 女
○ホセ・グティエレス・ソラーナ
漁 の 帰 り
○フランシスコ・ヒメーノ
アイグア・ブラ
ーバ
○アントニオ・ムーニョス・デグ
ライン
グラナダの驟雨
○アロンソ・ベルゲータ
聖セバステ 多彩 1534年
イアヌス 色木 バリャド
彫 リード国
立彫刻美
術館
聖サントニア
ーゴ
受胎告知 1525年
諸王礼拝 1534年
○フアン・デ・フニ
聖女アンナ
聖ヨハネ
○グレゴリオ・フェルナンデス
聖ブルーノ
○フアン・デ・メーサ
洗者聖ヨハネ セビリア美術
館
○伝ディエゴ・シローエ
聖 家 族 木 彫
○フアン・アロンソ・ビリャブリ
ーエ
聖 バ ブ ロ 多彩色
木彫
○アロソ・カーノ
アルカラの聖 1656年
ディエゴ グラナ
ダ美術
館
バドゥアの聖
アントニオ
山本丘人画展 4—9 下村画廊
3回創展 4—11 日本美術協会
高山登展 4—11 田村画廊
英国陶芸展 5—10 高島屋
転石会彫刻展(3回) 5—10 高島
屋

「日本画のこころと表現」展 5—6

月28 山種美術館

香月泰男個展 6—16 フォルム画廊、みゆき画廊

池田満寿夫展 6—16 南天子画廊

早川良雄作品展 6—16 老番館画廊

ヴァザレリ展 6—23 南画廊

地主梯助個展 7—15 梅田画廊

阪急三番街店

須田寿展 10—18 日動サロン

30回日本画院展 10—22 都美術館

39回期日会展 10—22 都美術館

10回日本国際美術展 10—30 都美術館

出品目録

○ディートリッヒ・アルブレヒト

知覚、1970

木箱の環境装置の内側に配した19枚の写真

木箱 160×120×650

写真 約30×50

○カール・アンドレ

錆びの庭園、1970

さびた鉄棒、針金、鉄帯

さまざまな長さの太さ

床面 800×2000

○ブゼム

東京ビエンナーレのための音のプロジェクト、1970

テープレコーダーと2個のスピーカーが、“これは美術館の展示室です”という文句を繰り返す

スピーカーは750×1500の部屋に配された

○ダニエル・ビュラン

〈東京展〉

目に見えるのは

その状況や色や数や作者のいかにかわりなく、

白と灰色の縦縞である、

白と灰色の縦縞を想起させる、

白と灰色の縦縞でしかない、

白と灰色の縦縞なのだ。

1970

白と灰色の縦縞の入った紙

縞の幅 8.7

〈京都展〉

1970年5月15日に、京都市下京区木屋町通りで、京都展のため特別に5つの仕事が行なわれた。

この作品は 展覧会の壁面の外にあり、

展覧会の時の外にある。

〈名古屋展〉

作品は長谷川寅二郎がつくることになろう。

○クリスト

包装した床、1970

175枚の塗装用布

床面 1240平方メートル

布 300×400

○ヤン・ディベッツ

遠近法の訂正—水平と垂直と十字形、1968

3枚の写真パネル

各 120×120

わがアトリエ内の影、27/7/1969

34枚の写真パネル

各 23.5×29

第10回東京ビエンナーレのためのプロジェクト、12/1969

3枚のパネル(地図と写真)、カセットテープ

各 100×100

○ヘル・ファン・エルク

影の吸収、1970

スーパー 8 mmフィルム、段ボール箱

8分

木の柵のうしろの自画像、1970

スーパー 8 mmフィルム、木の柵

8分

撮影した美術館の床、1970

12枚のカラー・ボラロイド写真

各 7.5×11

○榎倉 康二

場、1970

紙、油、アクリル

床面 700×920

紙 110×77/55×77/55×38/38×28

○ルチアーノ・ファブロ

空、1967/68

ラッカーを塗った金属板

(1950年におけるゼロの時点で写し取った星空の図)

250×354

赤んぼう、1968

通風機、布帯

34×15×15

前、後、左、右、1970

4枚の紙

各 21×4

吊下ったイタリア、1968

鉄

140×90

トリノ、ノティーツィエ画廊蔵

鉛のイタリア、1968/69

鉛、ガラス

140×90

イタリア、バリ、アンジェロ・バルダッサーレ蔵

ルダッサーレ蔵

(ファブロの5点の作品は五角形の白い部屋に展示された)

○バリー・フラナガン

1970年5月1日、1970

段ボール紙、木毛、砂

200×900×300

○ハンス・ハーケ

循環、1970

プラスチック管、電気ポンプ、水、空気

床面 800×1600

道路の表面を流れる水、1970

プラスチック管、水、でこぼこの道路

長さ 7000

○堀川 紀夫

中ノ俣川プラン—13、1970

針金で梱包し、郵送された13個の自然石

最大11×13×11.5/最小5.5×8×6

○狗養 賢二

無題、1970

ハトロン紙

700×1300×20

○スティーン・ジェームズ・カルテンバック

あなた自身を示せ、1970

8カ国語で紙にプリントした“あなた自身を示せ”の句

各 55×41

(8枚が展示室に貼られ、何枚かが美術館内の休憩室に貼られた)

○河口 龍夫

陸と海、1970

26枚の写真パネル

各 90×148

○河原 温

きょう、1/1/1970—31/3/1970

(96枚の日付のパネル)

カンバス、リキテックス

各 26×36

○小池 一誠

石、1970

自然石と切断した石

床面 550×350

美術展覧会(5月)

- 個々の石の重量 20~50kg
○スタニスラフ・コリバル
無題, 1968
ブロンズ、コンクリートの台座
高さ 152
とげ, 1968
アルミニウム
33×33×14
トリオ, 1968
石膏、木
154×84×27
漂流物, 1968
アルミニウム
252×113×12
決定的な瞬間, 1969
石膏、木
135×131×29
結び, 1969
鉄、石膏、ひも
61×40×120
前とあと, 1970
木、アルミニウム、ひも
70×70(木の板) / 8.5×8.5×8.5
(アルミニウムの立方体)
○小清水 漸
鉄板 I, 1970
3枚の鋼鉄板
200×330×30
各鉄板 100×200×12
鉄板 II, 1970
鋼鉄
100×200×21
○ヤニス・クネリス
閉鎖した部屋, 1970
鉄棒、ばね
一室全体(1400×800)
○エドワード・クラジンスキ
K..., 1968
ゴムひも、木の板
K..., 1969
ゴムひも、木の円筒
K..., 1969
ゴムひも、木の円筒
L..., 1969
ゴムひも、本のオブジェ
L..., 1969
ゴムひも、受話器のオブジェ
L..., 1969
ゴムひも、本のオブジェ
L..., 1969
ゴムひも、本のオブジェ

- M..., 1969
ゴムひも
N..., 1969
つなぎ合せた木の棒
K..., 1970
ゴムひも、木の円筒
(各作品の長さ 100~800)
○ソル・ルウィット
紙の挿入, 1970
紙、65000個の美術館の壁の穴
450×600 / 450×765 / 450×810 /
450×550
○ルロフ・ロウ
鉛／床の作品, 1970
鉛板(190×100×0.2)
床面 760×600
巻いた鉛 190×18×10 / 100×18
×10
○松沢 宥
私の死, 1970
意識
時間の長さ
○マリオ・メルツ
植物の繁殖, 1970
ゴムひも
450×2000(一室の壁面全体)
○成田 克彦
スミー4と5, 1969
木炭
各 75×45×90
東京、山本孝蔵
スミー7から22まで, 1970
木炭
各 30×30×140
○ブルース・ノーマン
作品, 1970
ビデオテープに録画し、2台のモ
ニター・テレビで放映されたダン
ス
ダンスの舞台 450×450
○野村 仁
ドライアイス, 1970
24枚の写真パネル(ゴム・シート
上のドライアイスの写真)
各 91×69.7
ヨード, 1970
12枚の写真パネル(鉄板上のよう
素の写真)各 69.7×86.5
○パナマレンコ
7個の加速装置, 1970
木、モーター、鉄製円盤
5個 35×35/2個 30×25
○ジュゼッペ・ペノーネ

- 部屋の非磁気化, 1970
小さな鏡、部屋、空気、水
美術館内から上野公園の中心まで
各鏡の直径 5
○マルクス・レッツ
無題, 1968
シリコン・ゴム、アルミニウム、
鎖
長さ 154
ベルン、トニ・ゲルバー画廊蔵
無題, 1969
亜鉛メッキ加工の鉄
長さ 300
ベルン、トニ・ゲルバー画廊蔵
無題, 1969
鉄、クレヨン
大きさ自由
オランダ、ルネルスロート、ミッ
ケリー画廊蔵
無題, 1969
ゴム板、鉄
102×102
ベルン、トニ・ゲルバー画廊蔵
無題, 1969
ステンレス・スチールの円筒、革
のケース
長さ 100; 直径 5.0(一端で)な
いし4.9(他端で)
ベルン、トニ・ゲルバー画廊蔵
図面計画, 1965—1969
53枚のデッサン
各 22×30
観客は、1枚30円で、望みの図面
を自分でゼロックスにかけてコ
ピーすることができる。またその
コピーにもとづいて制作してもか
まわない。
オランダ、ルネルスロート・ミッ
ケリー画廊／ベルン、トニ・ゲル
バー画廊蔵
無題, 1969
4枚の亜鉛メッキ加工の鉄板
大きさ自由の正方形
無題(青空), 1970
大きなボジ・フィルム
200×200
ベルン、バルタザール・ブルクハ
ルトとの共作
ベルン、トニ・ゲルバー画廊蔵
無題, 1969
くさび形の鋼鉄物
140(長さ)×80(幅)×1(高さ)
ベルン、トニ・ゲルバー画廊蔵

無題 1969

ステンレス・スチール

700×7×7

ベルン、トニ・ゲルバー画廊蔵

○クラス・リンケ

男一女 1970

リンケとバウムガルトルによる行為

二つの性の間の関係

目で見える普遍的な人間の状況

解放の企て

(仮借なき闘い)

共存

(相たずさえて生きる図)

別離

(別れる二人)

邂逅

(お互いを見出だす図)

対決

距離

意識的に、無意識にお互いとかかわる

位置

過去、現在、未来

地に足をつけた

広々とした

行為と変貌

肉体的訓練によってあなたのコンプレックスを把握する試み

立つこと、歩くこと、走ること、坐ること、横たわること

○ライナー・ルッテンベック

灰の山 I 1970

灰、40本の角棒

灰の山の底辺直径 200

角棒を刺した状態で 350

アントワープ、J. フィッシュマン蔵

灰の山 II 1970

灰 4本の鉄製角筒

底辺直径 200

ベルリン、ルネ・ブロック蔵

二つの灰の山 1970

灰、250本の鋼鉄の細い棒

一つの山の底辺直径 150

二つの山の間の距離 50

オランダ、ヒルフェルスム、フリッツ・ベヒト蔵

紙の山 1970

丸めた紙

底辺直径 250

○ジャン＝フレデリック・シュニール

千の色合い

10冊の本(白から紫までの規則正しい移行を示す) 各30×22×5

○リチャード・セラ

環で囲む一底板(ヘキサグラム)、1970

円形に曲げたL型鋼鉄

作品は2つの半円から成り、一方の半円の半径は150、他方の半径163

作品は上野公園に残る

豚はその子を食べてしまう 1970

(カール・アンドレと共同の政治的抗議)

写真によるブラカード

55×42

杉の木 1970

移植した杉の木

780(高さ)×20

木は上野公園に残る

手一鉛 1970

16ミリ・フィルム、ループ映写機

3分間

○庄司 達

リコピーした新聞紙の一部の上に本当の新聞紙を貼った52枚の新聞紙—3/31—5/1 1970

新聞紙、紙

各 55×105

新聞紙30枚に四角の孔を残して赤く塗った新聞紙 1970

新聞紙 塗料

各 55×105

○ケイス・ソニヤ

トーキョー・セット 1970

ビデオ・カメラ、投光器、2台のテレビモニター、テーブル・デッキ、生の音響

床面 1100×750

○高松 次郎

16個の単体 1970

杉

床面最大 110(高さ)×580×580

各 110×42×42(最大)

37個の単体 1970

杉

床面最大 250(高さ)×400×400

各 42×42×42(最大)

○田中 信太郎

凝結 1970

ウレタン

900×450×0.5

○ジルベルト・ゾリオ

国境は暴力によって生まれる線である 1970

ブラックライト 灰色の部屋

450×800×760(一室)

二紀選抜展 11—16 都美術館

奥村光正個展 11—17 あかね画廊

加賀谷武個展 11—17 シロタ画廊

山本圭吾個展 11—17 村松画廊

木内克自選展 11—20 現代彫刻センター、6月1—10 梅田画廊阪急三番街店

彫刻集団五月会展(3回) 11—23

日本画廊

大沢昌助展 11—23 ギャラリーためなが

小牧源太郎個展 11—23 青木画廊

木村賢太郎彫刻展 11—6月30 プラザ・ディック

臥竜会展(3回) 12—17 高島屋

高田力蔵油絵展 12—17 三越

児玉希望回顧展 12—17 高島屋

パンリアル春季展 12—17 京都府

立文化芸術会館

雨晴会展(15回) 13—16 下村画廊

墨彩会展(3回) 13—19 ギャラリー・アルカンジェル

走泥社展 16—22 伊勢丹

9回独立選抜展 17—23 都美術館

群炎展 17—24 日本美術協会

万博記念特別展<京都の美術工芸> 17—8月2 京都市美術館

佐藤真一画展 18—24 兜屋画廊

田中阿喜良展 18—28 日本橋画廊

木村光佑個展 13—28 芸術生活画廊

相原求一郎展 19—26 日動サロン

宮尾秀人展 21—27 ボール・ギャラリー

ベン・シャーン展 21—7月5 東

京国立近代美術館

出品目録

油彩・テンペラ

自画像 1928 油彩

花瓶 〃 〃

サッコとヴァン 1931 テンペラ

ゼッティの受難 —32

(サッコとヴァンゼッティ・シリーズ)

崇拜(トム・ムーニー・シリーズ) 1932 〃

二重の自画像 1933 〃

ライカーズ島刑務所壁画のため 1934 〃

—35 の習作

美術展覧会(5月)

耳を傾ける聴衆	1936	テンペラ	テレビアンテナ	1953	テンペラ	スポレット	1965	1965	水彩
ニュージャージ ー州、ルー ヴェルト市連邦 住宅開発セン ー壁画のための 習作(左パネル)	1938	シ	ひ と	1954	シ	ジャン・ポール・ サルトルの肖像	シ	グワッシュ	
シ (右パネル)	シ	シ	寓 話	1958	シ	フルブライト上 院議員	1966	シ	
ハイッタウン (壁画習作)	シ	シ	雄羊の角笛とメ ノラ	シ	シ	二番目のフェ	シ	水彩	
失 業 者	シ	シ	永訣(ラッキー・ ドラゴン・シ リーズ)	1961	シ	ニックス			
サンデー・ペイ ンティング	シ	シ	これ以上は無駄 (シ)	1961	シ	スコエガンの わが家	1967	シ	
讃歌の中のキリ スト	1939	シ	ダグ・ハマー	1962	シ	詩篇150番(トラ ンベット)	シ	グワッシュ	
エプロンの少女	シ	シ	シヨルド	シ	シ	スコエガン・	1968	水彩	
宗教の自由(デ ザインNo.1)	シ	シ	生 命 の 樹	1963	シ	パレード			
言論の自由(シ No.2)	シ	シ	一 致	1968	シ	花 の ブ ラ シ	1969	グワッシュ	
ミズーリ州の紋 章(シNo.3)	シ	シ	こ っ も の 日	不明	シ	素 描			
出版の自由(シ No.4)	シ	シ	水彩・グワッシュ			ホメロス風のた たかい	1951	毛筆素描	
民衆の声(シ No.5)	シ	シ	エステラジー	1930	水彩	ロバート・オッ ペンハイマー	1954	シ	
辺境の開拓(シ No.6)	シ	シ	(ドレフュス・ シリーズ)			ア ウ ト	1956	シ	
移 民(シNo.7)	シ	シ	熟練者たち(シ)	シ	シ	みんなのたのし み	シ	シ	
移 民(シNo.8)	シ	シ	パレオロークと ドゥマンジュ (シ)	シ	シ	トロンボーン・ ブレイヤー	シ	シ	
河 船(シNo.9)	シ	シ	弁護士(サッコ とヴァンゼッ ティ・シリーズ)	1931	グワッシュ	掲 示 板	シ	シ	
大 工	1940 —42	シ	フラー州知事 (シ)	シ	シ	モザイクのため の素描	1959	鉛 筆	
連邦安全保障ビ ルのための習作	1940 —45	シ	フレッツ荘 (シ)	シ	シ	自 画 像	シ	毛筆素描	
松葉杖の女(連 邦安全保障ビル のための習作)	1940 —42	シ	手錠をかけられ たトム・ムー ニー(トム・ムー ニー・シリーズ)	1932	シ	日本の新聞を読 む男(ラッキー ・ドラゴン・シ リーズ)	1961	シ	
連邦安全保障ビ ルのための習作	シ	シ	陪 審 員 席(シ)	1933	シ	ワ ル シ ャ ワ	1963	シ	
熔 接 工	シ	シ	トム・ムーニー と看守長(シ)	シ	シ	フ ラ ン ク フ ル ターとブラック	シ	インクとぼ かし	
リ デ ィ ス	1942	シ	W.C.T.U. (キ リスト教婦人禁 酒同盟) パレ ード	1933	シ	悲嘆にくれた男	シ	毛筆素描	
サンデー・モー ニング	1943	シ	ハイレ・シェラ シエ	1935	シ	ユダヤ人センター(ワシントン D.C.)より委嘱の壁画のための 素描			
イタリア風景	1943 —44	シ	休 息	1940	シ	ベン・シャーン カタログNo. 51	1969	毛筆素描	
縄とびをする少 女	1943	シ	農民にたずねよ	1941	シ	ベン・シャーン・ カタログNo. 52	シ	シ	
埋 葬	1944	シ	「赤い階段」のた めの習作	1944	水彩	ベン・シャーン・ カタログNo. 53	シ	シ	
ブ ー ル	1945	シ	診 療 所	1945	シ	ベン・シャーン・ カタログNo. 54	シ	シ	
春	1947	シ	眠 る 男	1949	グワッシュ	ベン・シャーン・ カタログNo. 55	シ	シ	
坑 夫 の 死	1949	シ	シ カ ゴ	1955	シ	ベン・シャーン・ カタログNo. 56	シ	シ	
ノクターン	シ	シ	「天国と地獄の 結婚」より	シ	シ	ベン・シャーン・ カタログNo. 57	シ	シ	
クラリネットと ティン・ホルン のコンポジショ ン	1951	シ	リ ュ ー ト	1957	シ	ベン・シャーン・ カタログNo. 58	シ	シ	
			「寓話」のための 素描	1958	水彩	ベン・シャーン・ カタログNo. 59	シ	シ	
			都 市	1961	シ	ベン・シャーン・ カタログNo. 60	シ	シ	
			創造のアルファ ベット	1963	シ				
			毛 沢 東	1964	グワッシュ				

ベン・シャーン・ 1969 毛筆素描
カタログNo. 61
(フリュートを
吹く天使)
ベン・シャーン・ 〃 〃
カタログNo. 62
(手)
ベン・シャーン・ 〃 〃
カタログNo. 63
(ハーブ奏者)
ベン・シャーン・ 〃 〃
カタログNo. 64
(ドラム奏者)
版 画
レヴァナとわが 1931 リトグラフ
悲しみの聖母
(汝より偉大な
ものを看よ)
移民家族 1941 セリグラフ
産 院 〃 〃
ワルシャワ 1943 〃 〃
誰も居なくなっ 1948 〃 〃
た祭のあと
本のあるところ 1950 〃 〃
に剣はない
三つのくぼみ 1952 〃 〃
フェニックス 〃 〃
シウォード公園 1954 リトグラフ
至 福 1955 木 版
鉦 山 ビ ル 1956 セリグラフ
科 学 者 1957 〃 〃
スーパーマー 〃 〃
ケット
サッコとヴァン 1958 〃 〃
ゼッティの肖像
(サッコとヴァ
ンゼッティ・シ
リーズ)
小 麦 畑 〃 〃
仮 面 1959 〃 〃
あ や と り 〃 〃
アルジェリア回 〃 〃
想
プ レ ア デ ス 1960 〃 〃
詩 人 〃 〃
詩 篇 133 番 〃 〃
無 益 〃 木 版
盲目の植物学者 1961 セリグラフ
十 戒 〃 〃
弦と堅琴で彼を 1963 〃 〃
たたえよ
美しきものすべ 1965 〃 〃
て
そしてわが瞳は 〃 〃
涙の泉
ガ ン ジ ー 〃 〃
真に偉大な人々 〃 〃
を常に思う
メ ノ ラ 〃 〃

信 条 1966 セリグラフ
伝 道 の 書 〃 〃
ビザンチン回想 〃 〃
マーチン・ルー 〃 木 版
サー・キング牧
師
花 の ブ ラ シ 1968 リトグラフ
水爆実験を止め 不明 セリグラフ
よ
リルケ「マルテの手記」より・
一行の詩のためには<版画集>
多くの都市を 1968 リトグラフ
多くの人々を 〃 〃
多くの事物を 〃 〃
禽獣を知らねば 〃 〃
ならぬ
飛ぶ鳥のすがた 〃 〃
小さな草花のた 〃 〃
たずまい
まだ知らぬ国々 〃 〃
の道を
思いがけぬ邂逅 〃 〃
遠くから近づい 〃 〃
てくるのが見え
る別離
少年の日の想い 〃 〃
出を
心を悲しませて 〃 〃
しまった両親を
少年時代の病氣 〃 〃
を
静かなしんとし 〃 〃
た部屋で
海 辺 の 朝 〃 〃
海そのものの姿 〃 〃
星くずとともに 〃 〃
消え去った旅寝
の夜々
愛にみちた多く 〃 〃
の夜の回想
産 婦 の 叫 び 〃 〃
白衣の中に眠り 〃 〃
におちて恢復を
まつ産後の女
死んでゆく人の 〃 〃
枕もと
死 者 の 傍 で 〃 〃
一篇の詩の最初 〃 〃
の言葉
織 物
私たちの息子や 1968 タペスト
娘を家庭に リー
装 丁
伝 道 の 書 1967 書 籍
ハ ガ ダ 〃 〃
ポスター

われらフランス 1942
の労働者は警告
する
これらすべての 1946
権利のために
ユージン・マッ 1968
カーシー
ケネディ画廊 〃
22回中央美術協会展 25—31 日本
美術協会
谷川晃一展 25—6月6 画廊春秋
新制作日本画春季展 26—31 高島
屋
岩田専太郎現代風俗画展 26—31
三越
岩田藤七個展 26—31 高島屋
小堀進・森田茂二人展 26—6月6
フジテレビギャラリー
小林哲夫個展 27—6月2 日動サ
ロン
吹田文明個展 29—6月20 第七画
廊
未公開富岡鉄斎作品展 30—6月5
伊勢丹
「白馬会の画家たち」展 30—6月28
奈良県文化会館
出品目録
○青 木 繁
ラ ン プ 明32 水 彩・紙
男 の 像 明34 〃
神 話 明39 油彩・カン
バス
日 本 武 尊 〃 〃
東京国立博物館
○赤 松 麟 作
土 佐 堀 川 大6 油彩・カン
バス
裸 婦 大正時代 〃
少 女 〃 〃
琵琶 湖 昭4 〃
○岡 田 三 郎 助
女 肖 像 明31 油彩・カン
バス
東京芸術大学
セース川上流の景 明32 〃同上蔵
萩 明41 〃
雑 草 図 明42 〃
東京国立博物館
く も り 明43 〃
桃 の 林 大6 〃
住金物産株式会社
○久 米 桂 一 郎

美術展覧会(5・6月)

晩 秋 明25 油彩・カン
バス

清水 寺 明26 シ
清水 秋景図 シ シ
姉の像 シ パステル・紙
鴨 川 明27 油彩・カン
バス
東京芸術大学

○黒田 清輝
セーヌの流れ 明23頃 油彩・カン
バス
住金物産株式会社
散歩(逍遙と改題) 明28 シ
東京国立博物館

大磯 鳴立庵 明29 シ
昔語り(下絵) シ シ
東京国立文化財研究所

{仲居
舞妓
構図

花野(画稿) 明40 シ
シ

森の 中 明43 パステル・紙
シ

木 苺 大元 油彩・カン
バス

○小林 萬吾
苺り入れ 明32 油彩・カン
バス

夕 景 明治後期 油彩・板

池 大元 油彩・カン
バス

菊(駅の一隅) シ

○小代 為重
浜辺の枯草 明29 油彩・カン
バス
東京芸術大学

○白滝 幾之助
稽古(下絵) 明30頃 油彩・板
霧のテームズ河 明42.3頃 油彩・カン
バス
ス
(ターナー(1775~1851)の「NORHAM CASTLE」の模写)

○中沢 弘光
おもひで 明41 油彩・カン
バス
東京国立近代美術館

○長原 孝太郎

焼 芋 屋 明25 インク・淡
彩・紙
東京国立博物館

牛肉屋の二階 インク・淡彩・紙

入道 雲 明42 油彩・カン
バス
東京芸術大学

冬の月 明治後期 シ
残雪(二曲屏風) 大2 シ
東京国立近代美術館

○藤島 武二
春の小川 明29 水彩・紙
東京芸術大学

浜辺の朝 明31 油彩・カン
バス

海 辺 明31 油彩・板

西洋婦人像 明39~40 シ

風吹く日 明40 シ

雲(ローマ) 明41~42 シ
ブリヂストン美術館

ボンペイ 明41~42 シ
シ

○三宅 克己
ニューヘヴンの雪 明31 水彩・紙
東京芸術大学

雨後のノートルダム 明35 シ
お茶の水図書館

魔 跡 明43 シ
住金物産株式会社

○矢崎 千代二
教 鷗 明33 油彩・カン
バス
東京芸術大学

エルベ河の雨 明41 シ
シ

トリノ風景 大12 パステル・紙

○山本 森之助
琉球の灯台 明35 油彩・板
東京芸術大学

曲 浦 明41 油彩・カン
バス
東京国立近代美術館

○湯浅 一郎
茶 店 明30 油彩・板
御 殿 場 明治中期 シ
東京芸術大学

○和田 英作
裸体習作 明29 油彩・カン
バス

薬を編む女 シ シ
室内(伯林) 明32 油彩・板
海浜落日 明41 油彩・カン
バス

○和田 三造
大 島 明治後期
海岸風景 シ

6 月

由木礼作品展 1-6 養清堂画廊
佐熊桂一郎個展 1-6 日本画廊
玉ノ内満雄個展 1-6 銀座ヤマ
ト画廊

向彫会展 1-6 中央公論画廊
堀文子作品展 1-10 村越画廊
塙賢三個展 1-13 ときわ画廊
島内きみ個展 1-13 日本橋画廊
24回女流画家協会展 1-13 都美
術館

66回太平洋美術会展 1-13 都美
術館

Salon de Juin 展(1回) 1-13
ギャルリー・ためなが

未更会展(20回) 2-6 下村画廊
斎藤清水墨小品展 2-7 三越
藤井哲吉写真展 2-7 松坂屋
バーバラ・ヘップワース展 2-9
月15 彫刻の森美術館

サロン・ド・ジュワン展 4-9
椿近代画廊

JAN 展(39回) 5-10 東急
昭和44年度恩賜賞日本芸術院賞受賞
作品展 5-10 松屋
元村平展 5-10 西武

6回主体美術展 7-19 都美術館
会員出品目録

花 石川 歌子
作 品(M) 佐藤 吉彦
残されたもの 野嶋 佳浩
残された風影 シ
グループ 植田 寛治
A.P.V. シ

寓 話 奈良 清四郎
踊 る 川 合喜二郎
曲 芸 シ

船 海 残された人たち I 残された人たち II あ　る　風　景 ペ　ー　パ　ー ペ　ー　パ　ー ペ　ー　パ　ーから生 れた女 季節の終り(B) 季節の終り(A) 二　人(B) 二　人(A) 波 街(B) 街(A) コンビナートをつ くる(足場の あるタンク) 東京風景(東雲 埋立地より豊洲 埠頭を望む) ラ　オ　コ　ー　ン ラ　オ　コ　ー　ン パリスの審判 風　景 と　ざ　た　し　窓 窓をひらく 山羊のある静物 山羊のある静物 (B) トロイアの女た ちと木馬 食　憩 卓 ブラズム考 作　品2 作　品1 年　　月 あ　る　寓　話 立てる人・夕 立てる人・夜 立てる人・朝 風　或　る　休　日 祭　の　後　に 雲　　水 映　森　樹 生　　樹 売られる自然 分割された自然 映　え　る	具 辺 残された人たち I 残された人たち II あ　る　風　景 ペ　ー　パ　ー ペ　ー　パ　ー ペ　ー　パ　ーから生 れた女 季節の終り(B) 季節の終り(A) 二　人(B) 二　人(A) 波 街(B) 街(A) コンビナートをつ くる(足場の あるタンク) 東京風景(東雲 埋立地より豊洲 埠頭を望む) ラ　オ　コ　ー　ン ラ　オ　コ　ー　ン パリスの審判 風　景 と　ざ　た　し　窓 窓をひらく 山羊のある静物 山羊のある静物 (B) トロイアの女た ちと木馬 食　憩 卓 ブラズム考 作　品2 作　品1 年　　月 あ　る　寓　話 立てる人・夕 立てる人・夜 立てる人・朝 風　或　る　休　日 祭　の　後　に 雲　　水 映　森　樹 生　　樹 売られる自然 分割された自然 映　え　る	寺　田　政　明 木　村　栄　治 山　田　光　春 森　川　ユキエ 森　田　六　男 和　田　松　久 田　中　淳　栄 磯　村　敏　之 豊　田　一　男 山　村　保史郎 稲　葉　実 野　本　醇 手　塚　益　雄 松　井　豊 石　井　義　雄 吉　江　新　二 末　松　正　樹 根　岸　正　郎 井　上　俊　郎 亀　山　良　雄 八　橋　誠　滋 島　田　武　幸 宮　崎　照　雄 瀬　高　政　良	夏 海　女　た　ち 海　女　た　ち 人　間　そ　し　て 泉　た　ち　1 泉　た　ち　2 ダ　ム　A ダ　ム　B 樹　木　品 作　品 四　角　い　森 四　角　い　森 ニコレの笛 ニコレの笛(泉) アベルの地 BLUE SKY FOR ME 朽　ち　る　物 風化される物 対　話 青　中　の　対　話 恍　惚　の　点 人　品　U-70 作　品　(B) 森　　(A) 窓 横　を　見　る　人 空　を　見　る　人 Tokyo　スモッ グ② Tokyo　スモッ グ① 四　ッ　の　円 終　　末 門　　鳴　り 海　　さ　い　の　か　わ　ら コ　タ　ン　A コ　タ　ン　B 港　　(A) 港　　(B) 山　景　(A) 風　景　(B) バンドのあると ころ 羽　子　板　市 樹　　と　人 北　　風 冬　の　譜　(I) 冬　の　譜　(II)	羽　塚　智　達 原　谷　政　義 賀　川　孝　男 森　秀　男 深　見　公　道 西　良　三郎 紺　野　修　司 奥　井　章　夫 松　本　忠　義 林　俊　治 塚　田　猛　昭 久保田　孝　司 塚　田　重　明 矢　野　利　隆 八　幡　三　郎 平　沢　理　紀夫 中　村　輝　行 関　晴　明 上　野　実 吉　井　忠 脇　坂　憲　治 前　田　進 前　川　博　人 加　藤　人　勁 小　谷　良　徳 小　谷　良　徳 浜　哲　郎 八　鉄　四　郎 堀　内　菊　二	冬　の　譜　(III) あ　る　朝　A あ　る　朝　B 風　景　B 風　景　A 数　　(1) 数　　(2) 逢　　う 水　を　運　ぶ　女 人　間　た　ち　(B) 人　間　た　ち　(A) 翳　　々 陽　炎 卓　上　の　幻　想 空　店　じ　ま　い 雑　　カ　ス　ム サ　　ダ　　ン ア　　デ　　ン エ　　イ　　ン イ　　イ　　ン 憩　　う　(West) 憩　　う　(East) 母　子　像 人　偶　物 室　　像 黒　い　花　-70 立　　棺　-70 家　系　譜 刺　男 男　薄　暮 火　力　発　電　所 草　む　れ　(1) 草　む　れ　(2) 草　む　れ　(3) 作　品　X ₂ 作　品　X ₁ 北　の　海 作　品　B 作　品　A し　わ　の　中　… ベ　ニ　ス　風　景 20回新興展　7-19 会　員　出　品　目　録 観　　る 挽　歌　1 2 3	堀　内　菊　二 平　野　遼 戸　津　勇　作 戸　　伸 関　戸　功 塩　水　流　功 大　村　連 大　岩　織　治 前　田　孝　造 奥　富　修 田　中　朝　吉 司　　修 長　尾　和 古　山　保　子 伊　志　嶺　保　俊 小　谷　博　貞 倉　石　隆 森　芳　雄 中　島　保　彦 小　菅　徳　二 尾　崎　平　次 荒　木　道　夫 鬼　頭　太　三 赤　塚　徹 鈴　木　国　稔 都　美　術　館 瀬　尾　徳　司 根　本　正
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

美術展覧会(6月)

原始の祈り 平野三代吉
山径初夏 大川一男
一黙の彫像 吉田貞典
沈黙の彫像 丹慶三
五百羅漢 吉川重光
ポーズ 川重光
原爆図 島赤
病院前
原爆図 鶴見橋前
文明危機 吉川重光
懸瀑 岡田忠男
能登の御陣乗太 小野一郎
鼓耕土(本年休耕) 小野一郎
シ 6
シ 7
法を誘る 丸茂湛祥
工事場のある風 野口広文
景 皆川実
夕 鶴平田潮
海蝕(見残岬) 浜中利夫
秩父札所合宿坊 石川栄一
紅白梅 鈴木草牛
上越連義 戸塚靖一
裏妙義 戸塚靖一
羊蹄曉雲 戸塚靖一
浅草 戸塚靖一
武蔵野早春 戸塚靖一
樹氷原 戸塚靖一
洗心流垢(春夏) 戸塚靖一
シ (秋冬) 戸塚靖一
老梅(左) 船田玉樹
シ (右) 船田玉樹
流映 満田天民
春泥(1) 小林果居人
シ (2) 小林果居人
天馳ケル 鬼原素俊
かんたと軍鶏 茨木杉風
シ 渡辺玉花
紅南軒対野 大山人
北窓接山 谷口正春
悠 壺 滝明 正後藤大二
千霧藏藏 斎戸時義
藏藏 庄内砂丘 野口森春
秋の猿橋庭 金光
春

湖畔秋色 箱山精一
老松(雪) 岡田錬石
老松(月) 深沢泉子
映明浅間山 上地瑛一郎
薄明浅間山 鈴木春栄
浅間山 諸永青晃
群鯉競彩 河野大樹
椿四季 境田忠士
女青春 満金子八
朝根上り松 鈴木大
春近し(山中湖 飯田良
畔) 沢高 原 飯田武
波椿 宮崎英也
ミサキ馬(都井 岬) 遠山可住
秋終る 歌 舞 原三輪高英子
樵演 い 花鳥行嶺日畔て谷 故芝垣 孫三郎
白庭に 来る 杉本井村雨仙良之助
滝見も れ 秋朝 辻 大 路 耕 作
池島区に 谷 小 尾 義 人
豊溪猿 狢 馬に の れ 大 路 耕 作
牛に の れ 小 尾 義 人
佐藤のトキ 恩 田 耕 作
(他2題) 菊花昇天 鎌田縁峯
作品記(1) 鎌田縁峯
(2) 秋 佐藤一彰
19回光陽会展 7-19 都美術館
内田圭介個展 8-13 日本画廊
新國喜代個展 8-13 樺画廊
栃木順子版画展 8-13 養清堂画
廊
野宮武明個展 8-13 みゆき画廊
菅木志雄個展 8-21 田村画廊
佐藤亜土個展 8-21 村松画廊
門脇俊一作品展 9-14 三越
安喰虎雄作品展 9-14 兜屋画廊
伊藤清永展 9-14 高島屋

アートクロック展 9-14 三越
(淡島雅吉、伊藤隆道、岡本太郎、
岡本信次郎、勝井三雄、沢田重隆、
杉浦康平、高松次郎、宮脇愛子、
柳田昌和)
風俗屏風名品展 9-21 東武
新制作油絵彫刻選抜展 10-28 東
急日動画廊
京都日本画中堅作家展 12-17 西
武
蔵本利彦個展 12-7月2 芸術
生活画廊
小林武夫個展 13-18 銀座ヤマト
画廊
丹燿会日本画展(11回) 13-19 伊
勢丹
池下昌徳個展 14-23 紀伊国屋画
廊
霹靂社展(24回) 14-26 都美術館
APPLE IN SPACE展 15-20
アメリカ文化センターホール
根本喜美恵個展 15-20 東洋美術
館画廊
福井良之助展 15-20 西美倶楽部
松本受展 15-21 シロタ画廊
新象作家協会展(13回) 15-27 都
美術館
58回日本水彩展 15-27 都美術館
伊藤朝彦個展 15-27 日本画廊
岩田正己展 16-27 彩壺堂
17回新美術展 17-26 都美術館
大歳克衛個展 17-29 日本橋画廊
松樹路人、桑原巨守二人展 19-27
日動サロン
23回創造美術展 21-7月3 都美
術館
福留章太個展 22-27 文芸春秋画
廊
大内田茂士近作展 22-27 資生堂
ギャラリー
清宮質文展 22-7月4 南天子画
廊
九阜会展(12回) 23-27 壺中居
清流会展(22回) 23-27 下村画廊
晴風会日本画展(4回) 23-28 松
坂屋
樗会日本画展(6回) 23-29 高島
屋
大須賀選金工作品展 26-7月1
松屋

片谷美香個展 26—7月25 第七画廊
 42回新構造展 28—7月10 都美術館
 26回現展 28—7月10 都美術館
 50周年記念朱葉会展 28—7月10 都美術館
 にほん画四人展 29—7月4 ときわ画廊(森岡和美他)
 高木勇次個展 29—7月4 昭和画廊
 大河原元展 29—7月4 兜屋画廊
 三浦哲生展 29—7月5 シロタ画廊
 中村秀雄個展 29—7月5 村松画廊
 熊谷守一展 29—7月11 ギャラリー・ムカイ
 岩崎巴人展 30—7月5 日本美術協会
 佐野ぬい個展 30—7月11 ギャラリー・おかべ

7 月

岡野正樹個展 1—6 銀座ヤマト画廊
 ヴィンツェンツォ・ガエタニエッロ展 1—25 ギャラリー・キューブ
 原健版画展 1—31 美術出版社ロビー
 太陽展(7回) 2—15 日動画廊
 「小林古径・その人と芸術」展 2—8月23 山種美術館
 出品目録
 <前期>

小 督	明治34年頃
關 草	〃 40年
加 賀 鷹(下絵)	〃 42年
踏 絵(下絵)	〃 44年
極 楽 井	〃 45年
螢	大正3年頃
河 風	〃 4年
雨	〃 6年
い で ゆ	〃 7年
春 日	〃 8年頃
猿 曳	〃 9年頃
伊 都 岐 島	〃 〃
羅 浮 仙	〃 〃
達 磨	〃 10年
静 物	〃 11年
犬 と 遊 ぶ	〃 13年

犬と遊ぶ(下絵)
 柳 ・ 桜
 竹
 不 尽
 不 二
 機 織(下絵)
 洗 濯 場
 同 (下絵)
 琴
 鶴 と 七 面 鳥
 琴
 同 (下絵)
 夜 鴨
 清 姫
 髪
 蓮
 鴨
 弥 勒
 松 竹 梅
 桜 花
 山 百 合
 栞 采
 白 日
 白 華 小 禽
 冬 日
 スケッチ帖
 <後期>
 麦
 清 姫(下絵)
 孔 雀
 白 花 小 禽
 果 子
 清 霽
 竹 雀
 水 仙
 三 宝 柑
 西 行 法 師
 不 動
 同 (下絵)
 蓼
 水 仙
 橋
 文 珠(下絵)
 馬 郎 婦
 牛
 か ら す 瓜
 栗
 猫
 麦
 童 女(下絵)
 鶴

大正13年
 〃 13年頃
 〃 〃
 〃 15年
 〃 15年頃
 〃 15年
 〃 〃
 〃 〃
 昭和2年
 〃 3年
 〃 4年
 〃 〃
 〃 4年頃
 〃 5年
 〃 6年
 〃 7年
 〃 7年頃
 〃 8年
 〃 8年頃
 〃 〃
 〃 〃
 〃 9年
 昭和10年
 〃 〃
 〃 10年頃

大正8年
 昭和5年
 〃 9年
 〃 11年
 〃 〃
 〃 12年
 〃 〃
 〃 13年
 〃 14年
 〃 〃
 〃 15年
 〃 〃
 〃 15年頃
 〃 16年頃
 〃 17年
 〃 〃
 〃 18年
 〃 〃
 〃 〃
 〃 19年頃
 〃 21年
 〃 〃
 〃 22年
 〃 23年

唐 俑
 子 犬
 ちゅうりっぷ
 常 夏
 牡 丹
 青 楓
 菖 蒲
 同 (下絵)
 同 (下絵)
 桔 梗
 鉢 花
 紅 梅
 紅 梅
 瓶
 無 花 果
 桔 梗
 水 仙
 スケッチ帖
 近代日本名画特別展 2—9月27
 大倉集古館
 池部鈞造作展 3—29 東急日動画廊
 出品目録

病後の人	油 彩	1910頃
猫と玉虫	〃	1918頃
子供の顔	〃	1923
先生と生徒	〃	1924
スポーツマン	〃	1926
落花	〃	1934
酸漿(ほうずき)	〃	1935
島の女	〃	1937
母と子	〃	1938
鯉	〃	1940
宵祭	〃	〃
温泉湯	〃	1941
釣魚	〃	1942
池	〃	1943
コーモリ傘の老人	〃	1944
軍鶏を飼う人	〃	1948
終戦直後の小学生	〃	〃
杉並区永福町	〃	〃
「わしの 買い手は なかろうか」	〃	1949
花見	〃	〃
切株	〃	〃
老巡査	〃	1950
睨み合い	〃	1951
走り高飛の練習	〃	〃
猫	〃	〃
村角力見物	〃	〃
姉妹	〃	〃

美術展覧会(7・8月)

潮風	油 彩	1952
勝負師(闘鶏)	シ	シ
北海道の子供	シ	1953
湯治客	シ	シ
まつりばやし	シ	1954
祭り天国	シ	シ
漫才泰平	シ	シ
祭礼	シ	シ
賑やかな連中	シ	1955
漁港(銚子)	シ	シ
熱演	シ	1956
おもちゃ屋の娘	シ	シ
雨あがり	シ	シ
花笠	シ	1957
落花醉態	シ	シ
浅草公園	シ	1958
銀座	シ	シ
盆踊	シ	シ
盆踊の一隅	シ	1959
浜の長老	シ	シ
車庫	シ	1960
土用浪	シ	シ
畳	シ	シ
温泉	シ	1961
だるま	シ	1962
ふぐ提燈	シ	1964
ふぐ提燈	水 彩	
岩風呂(上州の山の湯にて)	シ	
浴場にて	シ	
クラリネット	シ	
三味線	シ	
脱衣場(法師温泉)	シ	
祭の女	シ	
踊り(前向き)	シ	
踊り(後向き)	シ	
闘鶏	シ	
九十九里浜	グワッ シユ	
阿蘇山麓をゆく	墨 彩	
洞爺湖畔浴場より 羊蹄山を見る	シ	
冬の北海道風俗	シ	
紀州勝浦	シ	
番傘	シ	
飼われたる仔熊 (昆布温泉所見)	シ	
入浴	シ	
共同風呂	シ	
温女	シ	
湯気	シ	
猫	掛 軸	

金魚	掛 軸	
辨天	シ	
朝顔	シ	団扇形
虎	シ	
野口弥太郎展	4—8月2	神奈川 県立近代美術館、長崎県立美術博 物館
川口精六展	6—11	フォルム画廊
城戸義郎個展	6—11	みゆき画廊
大森運夫個展	6—12	八重洲ステ ーションギャラリー
斎藤逸郎個展	6—12	田村画廊
庫田發個展	7—13	高島屋
5回ジャパンアートフェスティバル	11—26	東京国立近代美術館
渡辺禎雄展	12—18	フランネル画 廊
頓田室子展	13—18	銀座サエグサ 画廊
比田井仁史展	13—18	日本画廊
山本豊市作品展	14—19	高島屋
山本一郎個展	20—26	村松画廊
日本陶彫会展(17回)	22—26	松坂 屋
石山俊陶彫展	23—8月1	壱番館 画廊
神崎キク個展	27—8月1	昭和画 廊
速水史郎個展	27—8月2	村松画 廊
塚田猛明個展	27—8月2	シロタ 画廊
本郷新彫刻展	27—8月8	日動画 廊
現代フランスガラス彫刻展	22—27	西武
福井良之介版画展	22—33	番町画 廊
ベン・シャーン展	22—6月13	南 天子画廊
田所量司個展	24—29	竹川画廊
自由美術解放展	24—30	都美術館
41回第一美術展	24—6月5	都美 術館
36回旺玄会展	24—6月5	都美術 館
島田省吾彫刻展	25—30	壱番館画 廊
黒崎彰版画展	25—30	養清堂画廊

菅原二郎個展	25—30	みゆき画廊
榎戸真喜版画展	25—31	シロタ画 廊
渡辺隆根個展	25—31	文芸春秋画 廊

8 月

現代の宗教美術展	1—24	東急日 動画廊
グループVAVA展	3—16	村松 画廊
京都日本画壇新人選抜展 (4回)	4—9	高島屋
日本水墨派展	4—9	三越
津田青楓書画展	4—9	三越
現代美術の一断面展	4—30	東京 国立近代美術館

出品目録

無 題	塗 料	狗巻 賢二
送 排 空	空気・金 属器具・ 電力	大西 清自
関 係・熱	鉛	河 口 竜夫
シ	金 属	シ
*70年8月 石を割る	石	小清水 漸
紙 の 袋	紙	シ
無 名 状 況	木・ロー プ	菅 木志雄
シ	木	シ
置 く こ と	木・ロー プ	高橋 雅之
光 と 影	金属・電 球	高松 次郎
凝 固 I	砂・鉄板	田中信太郎
凝 固 II	砂・鉄板	シ
ベニヤ板の 表面の高さ から6mm	ベニヤ板 ・鉄	成田 克彦
No. 48	フィルム	本田 真吾
VECTOR 5	写真・パ イプ	矢 辺 啓司
ガラス・ビ ニール・テ ープ・蛍光 灯など		吉田 克朗
関係項(於 いてある場 所)	鉄 板	李 禹煥
シ II	木	シ
シ III	ロープ	シ
平和美術展	10—19	都美術館

独立十人の会(20回) 11-16 高島
屋(鳥居敏文、小原稔、田中行一、
竹内晟、中村節也、中津瀬忠彦、
矢崎牧広、藤岡一、清水鍊徳、妹
尾正彦)

新しき村美術展(23回) 11-16 三
越

24回新樹会展 11-16 三越

出品目録

絵画

紫陽花の庭 青山龍志
あざみの静物 シ
ガスタンクとモノレール シ
田舎の自然 シ
テーブルと椅子 赤堀尚
赤いテーブル シ
青いテーブル シ
水差しのある静物 シ
青いバックの静物 シ
部屋の間 窓から シ
カーニュ風景 シ
その向こうは 池内康子
ある日のこと シ
クリと風景 伊藤禎朗
サクランボ シ
はたはた シ
もの皆高いその 柱ゆき
中で シ
作品A・B
ステンドグラスのミニチュール アルベルト・カルペンティール
漁夫達1・2 築地進
魚市場 シ
セーヌ シ
蒼の破綻 絹谷幸二
蒼の破風 シ
テーブルA・B 紺野修司
作品A・B 紺野修司
発光体Ⅲ 志村節子
スカンジナビアの沼A・B 進藤蕃
まちとひとA・B 中神潔
作品A・B・C 野間佳子
ブルゴーニュの小村 橋本博英
川沿いの家 シ
ステンドグラス ルイ・フランセン

静物A・B・C
人 人・A
人 人・B
作品A・B・C
D
高架線とボート
水上で働く
ある眺め
漁船と港A・B
長久手風景
五百羅漢
都門
山王
明王
六地藏
熱海風景
裸婦横臥
仙石原風景
静物A・静物B
ヨコハマ運河
古い倉庫
ケイコ場
夕映(カリカチ
峠)
パ
ラ
女人像
作品A・B・
C・D・E
アムステルダム
ブルターニュの
村
小さいシャトー
晩秋のノルマン
ディ風景
麦秋の村(プロ
バンス)
スペインの山
日本の風景1・
2・3・4・5
作品A・B・
C・D・E・F
舞妓憩う
菖蒲
砦(きぬた)
野宮(のみや)
般若(はんや)
社(やしろ)
囃(はやし)
静物
横たわる人形
花
室内
若い男

星俊六
星守雄
三雲祥之助
植田寛治
笠井誠一
黒木実
志邨武久
平沢喜之助
山本蘭村
朝井閑右衛門
岡田又三郎
片岡球子
門倉芳枝
島村三七雄
武田邦雄
仲田好江
南政善

少女南政善
小犬と女
三つの馬
二つの馬
少年と木馬 三宅悦隆
Tきゅう舎にて
山に見える郊外
風景
彫刻
ポーズする女(Ⅲ) 秋山進
作品No.16 大滝直平
作品70海Ⅰ 佐藤健次郎
作品70海Ⅱ
海水浴 高橋米
女 広瀬和子
ゆ ら 茂木弘行
少年の胸像 シ
さ よ シ
追 想 渡部環子
黒猫の詩 荒川明照
壁の中の太陽 原武典
壁の中の太陽
70Ⅱ
絵・セベロング 土方久功
ルイネマリ シ
浴 シ
婦人誕生 木内克
蠟型A・B・
C・D・E
裸婦立像 桜井祐一
S 嬢 千野茂
屈む シ
若い女 シ
想 山本豊市
蝶 シ

工芸

作品A・B・ 岩田藤七
C・D・E・F

仏教美術彫刻展(17回) 11-16 三
越(森大造、西山如拙、鈴木国
策、先崎栄伸、萩原雅春、佐藤勝
利、野坂法山、鈴木信春、佐藤匡
義、三木貞夫、安西順一、西川宗
舟、渡辺亀三郎、花田一男、松本
昇、高村晴雲、長谷川宣雅)

佐々木邦彦日本画新作展 14-19

大丸

19世紀ヨーロッパ絵画展 14-19

西武

美術展覧会(8・9月)

ミレー展 15—9月30 西武
中部日本画展 17—21 愛知県美術館
秋の日府展 18—23 三越
清水泰次個展 18—23 松坂屋
三浦巖水彩画展 22—31 フジテレビギャラリー
阿伊染茂清個展 24—29 樺画廊
瀬尾孝子個展 24—29 養清堂画廊
十一会展(13回) 24—29 下村画郎
(軽部興、菅野功、島あふひ、山野正、松永和夫、木下幹一、柳田久、丸木俊、中谷ミユキ、関口茂)
伊藤勇個展 24—30 夢土画廊
肅榮宝日本画展 25—30 三越
創展 25—31 ギャラリー・アルカンシエル
鉄斎の芸術 25—9月27 大和文華館
チェコ版画代表作家展 29—9月4 伊勢丹
近代日本画のあけぼの展 29—9月13 北海道立美術館
ミロ版画展 31—9月11 大阪フォーラム画廊東京店

9 月

55回日本美術院展 1—20 都美術館
出品目録
春の詩 浅田庭史
簇生 前田田榮廣
舞妓 池田田義寛
白宙 下田田義紀
北辺 大田中青坪
孫樹 田松尾敏男
砂に還る(楼蘭に想う) 守屋多々志
池の春 若木山人
眠 稻木皓華
玉虫 中庭燠
椿笑園の主人達 中島清忠
宿鳥 今野忠一
七 小栗一恬
高原に 小栗正
湖心 樋口慶
万景 福王法
地獄 飯鉢王大
秋 尽 山本大

北国の人 小島丹漾
坂のある漁村 岩長四郎
オルゴール 津田時子
工場の雄
バリ島 神田昌雄
ユーカラ 小田三千枝
榕樹 倉五浪子
面構(豊太閤と 片岡球子
黒田如水) 多訥郎
久爾能麻呂婆 島多訥郎
布引の滝 内田冬青
雑木の夢 松尾津子
夏の神幸 河川朝信
風 いベこ 松生一千
黒日譜 原谷祐通
昔毫寺秋意 関口正男
白胎霊夢 入江正已
托水 小宮本青
最上川源流 藤井康三
園池花子
積み重なった音 菊野満
篋の滝映 真富羽北奥安郷堅前真小新中岡折鈴長桜小池川大堀大塩鎌
鳴樹 むらさき ねと茶路舞母日分馬妹横笛
大陣の舞 出西雅 雅六 姉朝氏物語 牛椿六南祇残舞 早一字金輪仏頂岳コ 岬残五杜

忘れられた神々 浄崖女漁御見佐山金松奥黄河神 ストライプの森 那群北アルガルブの村 礎家民鵜白黒聖滝家皎習神里社溪花転月塔待万瓶春蒼吉家秋瀬
夜壁ち 堂仏庫湖い 豆丈里韻のあ 朝智像秋 側話 森麿仰 河 湯 大 簡 性 風景 島 生 映 室 苑 景 暖 紋 羅 路 祭 家
田浜梅横近牧布小江池木小村森三村 小江小桑 岩 岡 斎 清水 長 上 常 莊 坊 高 鯨 熊 神 渡 綿 番 磯 森 高 服 高 斧 日 今 小 近 葉 館 水
俊道三津正三伸大十九琳翔一瑞伯石秀道松 繁 慶男三之草空福明輝湖以羅夫知四郎雄子泉以弘志榮輔方一尋人山子
瀨砂川山藤野施林尻田下島田崎村 中 沢 尻 島 原 壁 田 藤 水 井 田 盤 司 坂 橋 越 坂 原 辺 谷 場 野 本 浪 部 野 民 置 井 野 藤 谷 岡 谷
夫 子 省 惠 英 郎 介 幾 郎 子 孔 谿 枝 靈 邦 男 治 応 昇 繁 慶 男 三 之 草 空 福 明 輝 湖 以 羅 夫 知 四 郎 雄 子 泉 以 弘 志 榮 輔 方 一 尋 人 山 子

士子子子孝朗子繁照男夫友司禰始司田江一弥英男老仙二光子月樹曉雄郎子勝子治郎一夏彦夫子男司夫松	磨仔玲立和悦奈義哲信安武余幸豐碩芳亮阿熊英樸幸重梅幾秀文道三佳昭真正將賢立紀真洋敏桂殿博	瀨島塙橋島井田本田村田見辺元山田本司上藤沢見田藤佐村山田合山池津田本藤井智藤合川木森風沢内賀原	川川小石小荒吉芦飯野島淺渡山横神米郡川齋安吉藤齋岩田昌飛河荻中宝梅浜坂森佐平越加落下鈴大五矢高有森	朝譜女草日夏幻時色が林門花殿見ま燈園水湖壳原幻林句ま合れ山沼立花郷魚式秋像庫路生町	のの英のり魔春一ピ屋ギリ田所さラ存ん色憶のさまの流木辺川と婚の工場小の	花雲英のり魔春一ピ屋ギリ田所さラ存ん色憶のさまの流木辺川と婚の工場小の	花雲英のり魔春一ピ屋ギリ田所さラ存ん色憶のさまの流木辺川と婚の工場小の
------------------------------------------------	----------------------------------------------	-------------------------------------------------	---------------------------------------------------	-------------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

威平星重一雄平子人代子多良登方よ惇夫角郎雄葉準峰三子子鱗映園勝憲枝子舟一茂子支山榮風子衛人治夫坦光杏
虎曠煌勝圭常治正弘加鈴美良於なみ信龜柳英國春光邦和青翠靜貞元耐漁榮德兎米良光和直春安節定
島田多藤中橋高藤室川垣垣藤莊保藤沢浜島沢西崎藤森城下永沢丸本市島上部郷岡井見木東藤田内田飼井田藤
中森那波加田高星日伊松江志塩安古久齋入小飯横小岡加江結松富成西松古真井服本星梅酒里青山内前山岡鶯川飯後
詩宴話岳人朝台日精下人情來秋古念峠景り蒼窓花林童寒夏年想ス賀日千和良跡口話シ
のしの屋の石旅の谷が魚との童ラ志れ爾由河寓ヤ
水か役月ののの々ザビエルの湯雪板さル街デル松國テの雪す馬港木のッ
海曲む雪伝劫収五高遠森峽午能蹟千聖た湍川上玄佇春月風午爽ピモ輝赤源雪響大晩曆追季象残う撒大漁形桜氷ニ馳

章朗郎彦子人賀子祐貴江久緒康美男夫遠彦硬人鳥欣波介治亮子卓恵夫子生雄子茂之貴初衛子興子也子世樹夫磨
 芳志芳武照雪多公良榮春宣文博津純郁英善爽候恭千圭啓淳秀存武高竹辰小聰由勝公三真世志芳直日富
 崎藤多中沢中川川田岡川岡藤藤谷藤山橋田山井垣沼島岩川林林波村田川尾田多谷溝條原原崎井本村藤崎沢口
 杉後佐谷吉山菊堀島月西片齋齋小後平岩吉小福上笹中白吉小中若仙木藤小蓮飯本染横上荻松高益山中後松宮樋
 アン創む翳漢郷月様の古の朝峽想後ス人趾草草館女望情歌踊町り雨庭屋野庭舗暮慈子物火秋光り
 ドリ病羅正墳文命舞ののトキの講の人のと雨のイの董高久のたの祈
 説牛羅正墳文命舞ののトキの講の人のと雨のイの董高久のたの祈
 閑伯映漂夢懷お古天岩事石流憩滄燦雨塵憂東天仙虫小欲朝街浜ス土祈緑婉寂そ女閑骨女園京薄奥伝棄朝燈立慈
 開伯映漂夢懷お古天岩事石流憩滄燦雨塵憂東天仙虫小欲朝街浜ス土祈緑婉寂そ女閑骨女園京薄奥伝棄朝燈立慈

美術展覧会(9月)

家青い鳥の影松場落趣夏海
 ショウの葉の仕事村大原初海
 寂落京の村大原初海
 織松林の路夢
 白島古寓とまと畑
 三河本宿あたり
 慈光・岩谷観音
 伽墳の港街もるる
 朝来年を越える
 蝶に依る春影
 潜初夏のひとま
 初まつむし
 樹祭漁涼寧響裸祀待庭魚群夏集
 タオル工場
 25回行動美術展
 会員出品目録
 絵画
 Green belt
 Green belt
 アルコスの日記
 DIMANCHE

神藤山木村藤上本辺出口本田輪田橋田田浦浪倉部田葉沢藤部田井島田本原岡藤井田川藤中谷
 知恭武紫翠清皓立海真芳隆輝一青逸和彩映元千賀能鶴妙克修美恵金久春影照馨
 子茂子夫朗紅太郎楓順雄達野規二繁子一夫雄濤瞳玲子功夫子泉彦子游稔勉丘子雄平恵子万男季耳子子
 1—20 都美術館

アルコスの日記
 SAMEDI
 DIVERTIM-
 ENTO「黄」
 DIVERTIM-
 ENTO「黒」
 beach 1
 beach 2
 シエリト・リン
 ド
 シエリト・リン
 ド
 記憶との断点
 記憶とのはざま
 で
 作品 70A
 Wokk 70—22
 Wokk 70—21
 モンタージュ
 方式 70~27
 方式 70~28
 私の場所は何
 処?
 空・象・気—2
 空・象・気—1
 r—
 n—
 窓 (B)
 窓 (A)
 窓 D
 窓 C
 ヒンドウの神像
 インドの魔術師
 化石(A)
 化石(B)
 説
 口分と男曲海島
 女終えゆく鬼
 CHINA TO-
 WN の窓
 KOBE NAN-
 KINMACHI
 の窓
 市 邑
 上 流
 もうひとつの
 ヴァカンス
 私のヴァカンス
 「アプレミディ」
 ある構想雷
 椅子の修理

前川佳子
 田中徳喜
 シ
 大門清次
 中右瑛
 シ
 南和好
 シ
 伊藤久三郎
 鬼頭正人
 江見絹子永
 吉川家永
 藤井多鶴子
 柘植太
 河端亮治
 小山内益郎
 大場厚
 野尻引
 深見隆
 星野和雄
 辻親造
 田中稔之
 貝原六一
 シ
 大森朔衛
 大谷久子
 シ
 田中阿善良
 斎藤真成
 佐藤真一

カルタする漁夫
 潜在空間 A
 潜在空間 B
 働く人び
 叫び
 山の神、海の神
 狐の嫁入祭
 村祭
 Q 室の男・女
 男 K・女 N
 山の子
 浜なすの海辺
 葵の上
 牡丹唐獅子
 白い壺の寓話
 てんとうむし
 すてきなソ
 ファー
 野川の朝霧
 夏の庭
 コクリコ
 長者原
 別れの構図
 塔と牡丹
 庭の牡丹
 雨後檜下宿
 昭和新年山
 照りかける裏大
 雪
 暁のオリブ
 オリブ園の李
 花
 日の出港
 岬の漁春
 島のい実
 朱午睡
 風車と人物
 壺売る人
 伯耆大山晩秋
 トレドの秋
 インカの町
 ビサックの日曜
 日
 万年山
 ざくろなどの静
 物
 美佐子
 燈下婦人像
 白杵石仏
 知恩院

佐藤真一
 高井寛二
 高橋進
 難波香久三
 辻司
 下高原千蔵
 下高原竜巳
 矢野喜久男
 河野通紀
 松本宏
 福井勇
 田川寛一
 田中忠雄二
 向井潤吉
 田辺三重松
 榎倉省吾
 古柏家新
 小林武夫
 飯田清毅
 故伊谷賢蔵
 シ
 シ
 シ
 シ
 シ
 シ
 シ
 シ
 シ
 シ
 全
 和風

眠る使徒	西 阪 修	うちにこもりし	下高原 進	CHIMNEY	建 富 覚 造
眠るキリスト	坪 内 節太郎	ものを...	シ	BOTTLES	0 と 0 の 間
熊野万葉	三 芳 悌 吉	ながれいずるも	シ	栄光と崩壊	中 島 快 彦
浜木綿	尾 崎 悌之助	蜀へのみち 1	保 地 謹 哉	風	小 門 光 男
浜ゆうと仮面	田 中 勇次郎	蜀へのみち 2	阿 部 平 臣	「現代の指標」	高 橋 慎 悟
お堀雪景(B)	川 原 章 二	接 合	河 合 祐 司	四角のかたち	尾 川 宏 信
お堀雪景(A)	荒 木 由 三	接 合No.1	シ	穴のある16個の	富 谷 道 信
街の人	山 森 元 亀	メモランダム	シ	球	エッグパワー
Aの街	儀 間 比呂志	70-A	竹 内 豊	モ コ モ コ	中 野 蔭 武
松のある街	荒 井 秀 宣	メモランダム	シ	ニョキニョキ	安 原 喜 武
遺跡の街	玉 沢 潤 一	貝殻の季節	橋 本 省 栄	For a Space I	風 間 大 輪
地藏菩薩	高 須 国 之	雲と柩と	長谷川 信 嘉	For a Space II	塩 見 哲 郎
おみくじ	近 藤 直 行	彫 刻	岩 城 信 昭	状況<5 m>	増 田 正 和
木馬と肩ぐるま	三 箇 三 郎	魚 鱗No.34	井 上 通	COVER	本 郷 宣 彦
画室の一隅	西 田 秀 雄	L'AVION	横 田 夫 男	「入」	富 樫 実
エイサー踊り	大 森 重 夫	作品197「連作オ	村 井 和 夫	空にける階段	今 村 輝 久
南島踊り	原 義 行	ラ」	新 名 隆 弘	TROIS VAG-	松 岡 阜 慎
白馬岳を望む丘	大 熊 峻	作 品	辻 弘	UES	板 谷 美 美
信濃の農家	辻 好 子	ACCUMUL-	小 林 陸 一郎	ANIMAL	伊 藤 勝 美
石仏と少年	小 西 嘉 純	ATION-W	白 井 謙 二郎	作品WV	長谷川 栄
鳥と石仏	仲 谷 孝 夫	through the	田 中 栄 作	昔の音はもう聞	北 田 孝 之
島の犬族	木 村 平	glass(v)	藤 庭 賢 一 生	えないNo.2	春信一没後200年記念一展 1-30
ほしあみ	シ	STUPA	石 井 厚 生	作品「あかり」	東京国立博物館
発掘された祈り	シ	STUPA	シ	L'AUTOMO-	出品目録
(I)	シ	二つのものが一	飯 内 弘	BILE	巨川画工 美人の首(絵暦)
発掘された祈り	シ	つになる時	林 是	無款	見立琴高仙人 友幸工
(III)	シ	ヒコークモ	佐 藤 允 了	シ	シ
火口壁	シ	鏡	小 井 戸 信 雄	シ	シ
火口王	シ	作 品 No.1	西 山 三 郎	小松軒画 太夫禿(絵暦)	シ
明教	シ	作 品	小 谷 謙 省	シ	シ
密教化	シ	魔術師の変貌	村 井 浩	無款	シ
海女の島	シ	錬金術師の廟	井 上 平 八 郎	井蛙画	シ
冬	シ	(マケット S =	石 黒 鏝 二	無款	シ
夏	シ	1/500)	建 昌 覚 造	シ	シ
作品(ブルー)	シ	イミスのための	シ	シ	シ
作品(オレンジ)	シ	ミニマム(マ	シ	シ	シ
サン・マルコ	シ	ケット S = 1/	シ	シ	シ
遙かなトレド	シ	500)	シ	シ	シ
ノアとシッタン	シ	「随喜悦楽図」	シ	シ	シ
ン	シ	坐 像	シ	シ	シ
ボンギーとパゴ	シ	MAN	シ	シ	シ
ダ	シ	作品Structure	シ	シ	シ
丘陵家族	シ	B-1	シ	シ	シ
半島驟雨	シ	マ ム	シ	シ	シ
主体と客体との	シ	割られた胡桃	シ	シ	シ
結合に関する定	シ	魚鱗No.33 (遺	シ	シ	シ
律	シ	産)	シ	シ	シ
主体の客体化或	シ	リ メ イ ン	シ	シ	シ
は客体の主体化	シ	箱の唇とレモン	シ	シ	シ
に対する一つの	シ	の唇	シ	シ	シ
問題提示	シ	絵画を背にした	シ	シ	シ
	シ	肖像	シ	シ	シ
	シ	閉じられた泡沫	シ	シ	シ
	シ	又は PANDO-	シ	シ	シ
	シ	RA	シ	シ	シ

美術展覧会(9月)

春信	シ・あふぎの晴 嵐	春信	とみよしや前細判・紅摺絵	春信	風俗四季歌仙・立秋
シ	座舖八景・台子 の夜雨	シ	見立鉢の木(二 枚続)	シ	シ・神楽月
シ	シ・鏡台の秋月	シ	桃枝折り(シ)	シ	シ・二月・水辺 梅
シ	シ・琴路の落雁	シ	見立鉢の木(シ)	シ	シ・卯月
シ	シ・あんとうの 夕照	シ	鶴上の遊女	シ	シ・水無月
シ	シ・手拭掛け帰 帆	シ	見立琴高の図	シ	シ・仲秋
シ	シ・時計の晩鐘	シ	水辺納涼(二枚 続)	シ	シ・弥生
シ	シ・ぬり桶の暮 雪	シ	見立黄石公張良 (シ)	シ	シ・二月
シ	シ・時計の晩鐘	シ	牛にのれる遊女 柱絵判	シ	シ・神無月
シ	新板風流四季の 花・目録	シ	見立陶朱公	シ	シ・菊月
シ	シ・春	シ	雪の窓	シ	シ・竹園鶯
シ	シ・夏	シ	機織り	シ	シ・立春
シ	シ・秋	シ	驚娘	シ	シ・三月
シ	シ・冬	シ	水売り	シ	シ・卯月
シ	見立草子洗い	シ	見立大黒天	シ	シ・水無月
シ	シ	シ	見立天神	シ	シ・弥生
シ	シ	シ	猿廻し	シ	かぎやおせん
シ	風流七小町・シ 柱絵判	シ	見立菊慈童 横中判	シ	永 楽 屋
シ	みづ	シ	見立恵比寿(絵暦)	シ	本 柳 屋 お 藤
シ	蚊帳の外猫じゃ らし 柱絵判・ 紅摺絵	シ	蓮池舟遊び二美 巨川工・ 人(シ) 横中判	シ	若衆とおせん
シ	座舖八景・琴路 の落雁	シ	機織り	シ	鶯 売 り
シ	シ・あんとうの 夕照	シ	砧	シ	格子先の虚無僧
シ	シ・手拭掛け帰 帆	シ	布袋	シ	蚊帳を出て手紙 を読む女 柱 絵 判
シ	風流やつし七小 町(七枚揃)	シ	見立普賢	シ	縁 先 美 人
シ	シ・そとば	シ	機織り	シ	文 読 み 美 人
シ	シ・関寺	シ	吹矢 横中判	シ	幻の若衆文を焼 く
シ	シ・しみづ	シ	文読み男女(絵 暦)	シ	浮世美人寄花山 しろ屋内はつい と
シ	鍾馗に美人 柱絵判・ 紅摺絵	シ	六玉川・擲衣の 玉川(相模)	シ	遊女に玉づさ
シ	小ののよしざね 細判・紅 摺絵	シ	シ調布の玉川 (定家)	シ	遊 女 と 禿 大 判
シ	美人三番叟	シ	シ擲衣の玉川 (相模)	シ	夜 更 け
シ	見立竹林七賢人 横大判・ シ	シ	シ千鳥の玉川 (能因法師)	シ	格 子 先
シ	新年ひきぞめ	シ	シ調布の玉川 (定家)	シ	おはぐろつるけ 横 中 判
シ	官女玉虫 大判・紅 摺絵	シ	シ調布の玉川 (シ)	シ	遊 女
シ	宇治川 横大判・ シ	シ	シ千鳥の玉川 (能因法師)	シ	三 都 太 夫 揃 横 大 判
シ	小野道風 細判・シ	シ	シ井手の玉川 (俊成)	シ	浮世美人寄花・ わたや美人
シ	中村松江の八百 屋お七	シ	シ萩の玉川 (俊頼)	シ	雪 中 遊 女 柱 絵 判
シ	女中年礼 横大判・ シ	シ	シ高野の玉川 (弘法大師)	シ	太 夫 と 素 見 柱 絵 判
シ	明霞名所渡・市 むら座	シ	風俗四季歌仙・ 二月・水辺梅	シ	夢見に酸漿持て る美人
シ	熊谷と敦盛	シ	シ・三月	シ	遊 女 禿 に 客
		シ	シ・五月雨	シ	美人に虚無僧
				シ	太夫に瓢と蓑盆 持てる禿
				シ	太 夫 禿 ・ 狗
				シ	烟 中 恋 人 の 姿
				シ	寝屋うたたね
				シ	浮世美人寄花・ 松阪屋内野風

春 信 浮世美人花見
立・丁字屋内て
う山
シ 浮世美人寄花・
山しろ屋内はつ
いと
シ 絵本続江戸土産 絵 本
シ 絵本 八千代草
シ 教訓いろは歌
シ 千代乃松
シ 諺 草
シ さざれ石
シ 青楼美人合(五
冊)
シ 美人図(時計晩
鐘) 肉 筆 画
シ (行燈夕照)
シ 浴 後 図
シ 玄宗楊貴妃図
シ ほ に ほ ろ
シ 子 供 の 相 撲
シ 子 供 遊 び
シ 影絵・兎もかけ
る波の上
シ 騎 馬 童 子
シ 虫 籠 と 小 児
シ 蚊 帳 美 人
シ 一 本 菊
シ 雪 ま ろ げ
シ 布 袋 と 唐 子
シ 廊 下 相 撲
シ 憎 ま れ っ 子
シ 蚊 帳 の 母 子
シ 筒 井 筒
シ 春 駒
シ 虫籠をもつ母子
シ 母 と 子
シ 母 と 子
シ 琴 棋 書 画
シ 白 象 と 唐 子
シ 鷄 合 せ
シ ・庭の雪
シ 僧正遍照(綿く
り)
シ 新後撰・俊成(夜
梅)
シ 権中納言敦忠
シ 清原元輔(萩)
シ 中納言朝忠(見
立寒山拾得)
シ 藤原敏行朝臣
シ 坂上是則(障子
張り)
シ 源重之

春 信 風流六歌仙・僧
正遍照
シ 素性法師
シ 僧正遍照(綿く
り)
シ 清原元輔(萩)
シ 中納言朝忠(見
立寒山拾得)
シ 藤原敏行朝臣
(湯上り美人)
シ 風流六歌仙・僧
正遍照
シ 紀友則
シ 坂上是則(障子
張り)
シ 中納言兼輔(将
棋遊)
シ 新後撰・俊成(夜
梅)
シ 素性法師
シ 呉竹の
シ 在原業平朝臣
シ 源順
シ 源重之
シ 山吹の
シ 長水
シ 萩
シ 山辺赤人(田子
浦汐汲)
シ 水仙花(炬燵)
シ 寄山吹
シ 鏡恨
シ 大中臣能信朝臣
シ 柿本人麿
シ 小野小町(縁台
美人)
シ 紀貫之(観桜)
シ 平兼盛
シ 藤原清正(藻刈
り舟)
シ 大中臣頼基朝臣
(菊花手入)
シ 藤原元真(洗濯)
シ 柿本人麿
シ 源信明朝臣
シ 持統天皇
シ 君しのぶ
シ 宗瑞(衣がえ)
シ 小松ばら
シ 比良暮雪
シ 風流うたひ見
立・景清
シ 小式部内侍
シ 浮世美人寄花・
娘風

春 信 風流江戸八景・
浅草晴嵐
シ 本柳屋お藤 横間判
シ 笠森おせん
シ 笠森おせん
シ おせんの茶屋 横中判
シ おせんの茶屋
シ 風流江戸八景・
品川帰帆
シ 柳屋見立三美人 横大判
シ お休所よろづや
シ 風流江戸八景・
浅草晴嵐
シ 大門屋木戸口
シ 風流江戸八景・
両国橋夕照
シ 井戸水汲み
シ 子供人形(7枚)
シ 12ヶ月行事(12
枚)
シ 初 夢 見 立
シ 雪 の 窓 辺
シ 髪 洗 い
シ さ さ や き
シ 茄子取り男女
シ 寺小姓と上臈 横中判
シ 五 常 ・ 信
シ ・ 礼
シ 夜雨宮詣美人
シ 雪中相合傘 柱絵判
シ 素丸(年わすれ)
シ 縁 先 美 人
シ 梅 の 枝 折 り
シ 紅 葉 狩
シ 蚊 や り 火
シ 若 衆 と 奴
シ 苦 屋
シ 雪中相合傘 大判
シ 子の日小松引
シ 掛物見る美人
シ 柿 の 実 と り
シ 野 の 遊 び
シ 紅 葉 舞 美 人
シ 今様師八景・石 小判
橋の晴嵐
シ 追 羽 子
シ 見立業平東下り
シ 五 常 ・ 智
シ ・ 義
シ 両 国 橋 柱絵判
シ 縁 先 物 語
シ 三宝もつ美人 小判
シ 螢 狩

美術展覧会(9月)

春 信 芝 居 歸 り
 シ 臥 竜 梅
 シ 三隅隅田川堤下
 舟中美入
 シ かわらけ 投げ
 シ 子の日小松引
 シ 見立牛若丸
 シ 春 の 雁
 シ 舟遊二美人と男
 シ 三 番 叟
 シ 今様踊入景・羽 小判
 衣の落雁
 シ 七夕・短冊かき
 美人
 シ 琴 と 笛
 シ 座舗入景・台子
 の夜雨
 シ 八 つ 橋
 シ 春駒 舞 二美人
 シ 桜花の下駕籠美
 人
 シ 蚊帳内外の美人
 シ 簞笥 前 二美人
 シ 五 常 ・ 仁
 シ 海 女 柱絵判
 シ 弾 琴 美 人
 シ 下駄の雪取り
 シ あ や と り
 シ 風に悩む美人
 (野分)
 シ 美 人 対 話
 シ 恋 の 矢 文
 シ 桃 咲 く 頃
 シ 鶉きき
 シ 梅の枝折り 柱絵判
 シ 舳ひ舟美人
 シ 縁先梅見美人 続本
 シ 蚊帳の内外
 シ 山吹の花を持て
 る美人
 シ 初夢
 シ 蚊帳美人
 シ 五常・礼
 シ ・ 智
 シ 夜の梅 柱絵判
 シ 梅見美人
 シ 見立玄宗皇帝楊
 貴妃
 シ 人形遊び
 シ 鶉飼い
 シ とくさ刈り
 シ 松の影
 シ 梅と美人

春 信 菰
 シ 詠歌三美人 続本
 シ まねえもん
 シ 蚊帳美人
 シ 雪月花の内・品
 川の月
 シ ・ 青楼の雪
 シ 書 横中判
 シ 楼上縁端立姿美
 人
 シ 風流七小町・清
 水
 シ 蚊帳美人
 シ 納涼美人・若者
 シ 深川楼
 湖竜斎 風流七小町・雨
 乞
 シ 蚊やり
 シ 春の書斎
 シ 恵比須見立・童
 子
 シ 略近江入景・石
 山の秋月
 シ 摂津国搦衣の玉
 川
 シ 煙草をのむ太夫 柱絵判
 シ 嫖客
 シ 夏
 シ 信・日の出を拝
 す
 シ 雑・水鏡
 シ 風流大和二十四
 孝・楊香
 シ ・ 刺子
 シ 風流十二季花・
 弟月
 シ おにごこ 柱絵判
 シ 亀井戸太鼓橋
 シ 美人と猿
 シ 美人と猫
 シ きぬぎぬ
 シ 遠眼鏡
 シ 朝顔
 シ 虚無僧
 シ 名島坐舗入景・
 孔雀の夕照
 シ ・
 シ いんこの晴嵐
 シ ・
 シ わしの晩鐘
 シ ・
 シ あふむの暮雪
 シ ・
 シ はいたかの秋月
 シ ・
 シ 鶴の帰帆

湖竜斎 名島坐舗入景
 きんけい夜雨
 シ ・
 シ きうわん鳥落
 雁
 シ ・
 シ わしの晩鐘
 光信 雨中傘さし二美
 人
 国信 おしどりを見る
 美人と子供
 美信 文見る二美人
 シ 芝居棧敷
 シ 江戸町一丁目
 文調 角つたやのひと
 まち
 シ 笠森おせん 細判
 重政 双女万歳舞図
 シ 美人挿花
 春章 かいこやしない
 重政 草
 シ 草
 シ 草
 シ 草
 シ 草
 シ 草
 シ 草
 シ 草
 シ 草
 シ 草

2 回須磨離宮公園現代彫刻展 1—

10月18 神戸須磨離宮公園

出品目録

○高 橋 清

Atlinemi 1966 ブロンズ 60×
 40×100cm

ひと 1966 木 220×90×60cm

起源 1967 ブロンズ 50×50×50
 cm

人とトラロック 1968 木 175×80
 ×80cm

還相 1970 石 105×105×115cm

起源 No. 7 1970 ブロンズ、テラ
 コッタ、鉄 100×700×350cm

願生 1970 石 380×125×125cm

○土 谷 武

作品1967 石 220×70×90cm

作品1968 1968 石 90×210×145
 cm

作品1970 1970 石 100×200×
 600cm

○福島 敬 恭

無題 1970 鉛 会場一都

無題 1970 紙 130×120×120cm

○福岡 道 雄

エピソード 1970

ポリエステル 200×250×180cm

○村岡 三 郎

余り 1970

ポリエステル、土砂 300×380×230cm

○保田 春 彦

National Museum アンテ・ス
パティー・エターテム前期 1969

ステンレススチール 110×720×300cm

Musée de l'Homme I 1970

ステンレススチール 40×300×300cm

Musée de l'Homme II 1970

ステンレススチール 100×100×100cm

○伊藤 隆 道

色と光 1970 鉄、塩化ビニール、
蛍光灯 300×300×300cm走る光 1970 鉄、ステンレスス
チール、投光器 350×200×200cm

○多田 美 波

地球の光・北緯 34°39' 東経135°
7'15"

水面 1970

塩化ビニール、金網、アルミ鏡
20×500×4000cm空中 1970 ポリカボネート 700×
1000cm地表 1970 アクリル 250×450cm
15個アウフヘーベン 1970 アクリル
フォーム、アクリルミラー 400×
200×100cm 400×200×100cm

ルミナス・ボックス 1970

アルミニウム 143×200×143

○松原 成 夫

シチュエーション 1970

鉄、プラスチック、電球 10×
10×580cm 100本

アロットメント 1970

鉄塗料 5×5cm 5000本

○吉村 益 信

インフラレッド空間(赤外線空間)
1970鉄、赤外線ランプ 200×200×20
cm 2個

トウ・ハレクリシュナ 1970

鉄、ネオン 150×50×75cm

○尾川 宏

星のとまった竿 1970

ポリエステル 700×200×200cm

○田中 栄 作

○中野 將

○向井 良 吉

○村井 浩

都市人間 1970 アルミニウム
300×300×250cm、250×120×10
cm、250×240×10cm

○一色 邦 彦

津舞 1966 ブロンズ 80×60×70
cm憩A 1967 ブロンズ 55×35×45
cm

夏 1968 ブロンズ 45×35×70cm

立つ 1968 ブロンズ 50×10×10
cm

湖風 1969 石膏 55×40×100cm

愁 1970 ブロンズ 75×35×27cm

波 1970 ブロンズ 70×35×27cm

MASS 1970 石膏 70×60×38cm

藻波 1970 ブロンズ 50×12×12
cm

淡沲 1970 石膏 60×45×35cm

渚 1970 ブロンズ 40×35×90cm

○掛井 五 郎

ロトの妻 1960 ブロンズ 80×20
×23cmヨブ記 1961 ブロンズ 78×45×
100cm使徒 1962 ブロンズ 80×25×25
cm

ロバと使徒 1964

ブロンズ 55×37×120cm

時満てるマリヤ 1965

ブロンズ 95×56×43cm

雅歌 1967 ブロンズ 40×16×17
cm

黙示 1968 鉄 42×12×21cm

マリヤ 1968 ブロンズ 25×25×
11cm

灰に沈む 1969 木 60×30×30cm

エジプトを出る 1970 ブロンズ
74×23×26cm

その時 1970 木 43×30×30cm

後髪のある女 1970

木 78×25×35cm

○若林 奮

多すぎるのか、少なすぎるのか?

(1) 1970 鉛、鉄 18×40×30cm

多すぎるのか、少なすぎるのか?

(2) 1970 鉛、木 15×40×30cm

多すぎるのか、少なすぎるのか?

(3) 1970 鉛、木 13×40×27cm

多すぎるのか、少なすぎるのか?
(4) 1970 鉛、紙 4×40×27cm多すぎるのか、少なすぎるのか?
(5) 1970 鉛、木 26×28×15cm多すぎるのか、少なすぎるのか?
(6) 1970 鉛、木 15×39×27cm多すぎるのか、少なすぎるのか?
(7) 1970 鉛、鉄 19×39×30cm多すぎるのか、少なすぎるのか?
(8) 1970 鉛、鉄 15×59×14cm

○堀内 正 和

円筒をはすかいに通りぬけるもう
ひとつの円筒 1970 ブロンズ 64
×35×35cm

○柳原 義 達

道標 1970 ブロンズ 150×130×
70cm

秋のシュールリアリズム展 7—12

ギャラリウムカイ

現代イギリス版画展 7—19 南天

子画廊

福田豊二郎展 7—19 南天子画廊

集団・版展(4回) 8—13 椿近代

画廊

井上恒也日本画展 8—13 三越

フランス画壇巨匠展 8—13 三越

安田鞆彦展 8—13 高島屋

出品目録

守屋大連 明治 絹本 国画玉成会
41 軸夢 殿 大正 6 回文展
元

東京国立博物館蔵

御産の禱 大正 1 回院展
3

東京国立博物館蔵

五合庵の春 大正 7 回院展
9

東京国立博物館蔵

牛 大正 13

日 食 大正 紙本 12 回院展
14 額

東京国立近代美術館蔵

居 醒 泉 昭和 絹本 15 回院展
3 軸風 神 雷神 昭和 紙本 16 回院展
4 二曲
一 双
屏風朝 顔 昭和 絹本 2 回七絃会
6 軸挿 花 昭和 19 回院展
7鴨川夜情 3 回七絃会
シ シ役 優 婆 塞 昭和 改組帝展
11

美術展覧会(9月)

方丈閑日	昭和12	シ	8回七絃会
孫子勒姫兵	昭和13	シ	改組新文展
黄瀬川陣	昭和15~16	紙本 六曲一 双屏風	奉祝展・28 回院展
行基菩薩	昭和18	紙本 軸	10回清光会
赤星母堂像	シ	シ	
若き射手	シ	シ	
山本元帥像	昭和19	紙本 額	戦時特別展
観世音菩薩像	昭和21	紙本 軸	11回清光会
六朝文宮俑	昭和22	紙本 額	
王昭君	シ	シ	32回院展
窓	昭和26	紙本 軸	36回院展
淡妝	昭和28	紙本 額	6回清流会
送春雅餅	昭和29	シ	19回清光会
紅菊白瓷	シ	紙本 軸	大虚会
須磨(源氏)	昭和30	紙本 軸	7回清流会
良寛和尚像	昭和31	シ	尚美展
伏見茶亭	シ	紙本 軸	41回院展
薔薇瓶	昭和32	紙本 額	1回高樹会
菖蒲	昭和34	シ	
王昭君	シ	シ	11回清流会
大観先生像	シ	シ	44回院展
蓬生(源氏)	シ	シ	東京国立近代美術館蔵
洛陽花	昭和36	シ	12回白寿会
紅梅	シ	シ	13回清流会
黎明富士	昭和37	シ	46回院展
宋瓷梅花	シ	シ	春季院展
小泉信三氏像	昭和38	シ	
室内	シ	シ	15回清流会
新春	シ	シ	
梅花定窯瓶	シ	シ	7回高樹会
曙梅	昭和39	シ	日本経済新聞社新社屋落成記念展
谷崎潤一郎氏像	シ	シ	
飛鳥の春の額田王	シ	シ	49回院展

藤壺女御(源氏)	昭和40	紙本 額	春季院展
刷毛目壺に百合	シ	シ	17回清流会
平泉の義経	シ	シ	50回院展
笙を吹く宮人	シ	シ	山種美術館蔵
箕を持つ宮人	シ	シ	浜奈須会
琵琶を弾く宮人	シ	シ	高島屋増築記念現代美術展
女楽の人々	シ	シ	9回高樹会
富嶽	昭和42	シ	春季院展
紅花青花	シ	シ	19回清流会
春曉富士	シ	シ	
酒折宮	シ	シ	52回院展
胡服新粧	シ	シ	中央公論秋季展
伎楽面(醉胡徒)	昭和43	シ	春季院展
白梅	シ	紙本 軸	三越春季展
卑弥呼	シ	紙本 額	53回院展
紅白梅	シ	シ	
醉胡王随群	昭和44	シ	春季院展
彩壺と偶人	シ	シ	彩壺堂展
醉貴妃	シ	シ	21回清流会
桔梗	シ	シ	尚美展
森蘭丸	シ	シ	54回院展
木瓜磁州瓶	シ	シ	22回白寿会
紅白梅織部瓶	シ	シ	中央公論秋季展
春光	昭和45	シ	三越春季展
宋赤絵人形	シ	シ	名古屋松坂屋展
富士	シ	シ	
孤雲(書)	昭和41	紙本 軸	
自詠和歌(書)	昭和43	紙本 額	法隆寺幻想展
観水(書)	昭和45	シ	
秀峯(書)	シ	紙本 軸	
万葉和歌(書)	シ	紙本 額	
山種美術館蔵			
14回シェル美術賞展	9-13	霞が	
関ビル・プラザホール(佐々木莊六、田所幸一、西真、大塚長栄、			

黒崎彰、北川邦之、久野豊子、山本満、八島正明、堀井武彦、藤井肇、中村正次、江添栄一郎、岳沢兵衛、畑垣卓二、嶋野寿蔵、森野真弓、智内兄助、中里斎、城景都、小山剛男、林潤一)

現代イギリス美術展 9-10月25

東京国立近代美術館

出品目録

デイヴィッド・アネズリー

無題 1966 彩色アルミニウム

ピーター・ブレイク

愛の壁 1961 カラー・ジュ構成

アンソニー・カロ

桃色の積み重ね 1969 スチール

パトリック・コールフィールド

風景の中の彫刻 1966 油彩・板

ス

スイスの山小屋の内部 1969 油彩・カンヴァス

バーナード・コーエン

隅から隅まで 1965 アクリル・カンヴァス

ロビン・デニー

ある時 1968 油彩・カンヴァス

ス

不定の場所Ⅲ 1969 アクリル・カンヴァス

バリー・フラナガン

四つのキャスプ 1967 砂と麻袋

ス

白昼光 1969 85ミリ映写機作品1'69 2台

デイヴィッド・ホール

無題(六つの側面をもつ作品) 1967 アルボライト

リチャード・ハミルトン

水浴する人たちⅡ 1967 カラー写真に油彩・カンヴァス

ス

ピクチャー・ラム 1968 写真に油彩・カンヴァス

デイヴィッド・ホックニー

最初の結婚 1962 油彩・カンヴァス

ハワード・ホッジキン

日本の大きな衝立 1964 油彩・カンヴァス

ハワード・ホッジキン
 大きなスタッ 1964 油 彩・木
 フ・ルーム —67
 ジョン・ホイランド
 9. 1. 67 1967 アクリル・カ
 ンヴァス
 シ
 8. 1. 69 1969 アクリル・カ
 ンヴァス
 アレン・ジョーンズ
 葉巻たばこ 1968 油彩・カンヴァ
 ス
 シ
 絵具の虚構 1969 油彩・カンヴァ
 ス
 シ
 椅子 1969 彩色合成樹脂
 とガラス繊維
 フィリップ・キング
 貫 通 1965 プラスチック
 シ
 ポイント X 1965 プラスチック
 シ
 呼びかけ 1967 スチール
 R. B. キタイ
 ブディヨニユ 1962 油彩・カンヴァ
 イと馬に乗る ザーク・バ
 ーベリ
 シ
 オハイオのギ 1964 油彩とクレヨ
 ャング ン・カンヴァ
 ス
 シ
 ウォルター・ 1966 油彩・カンヴァ
 リップマン ス
 マーク・ランカスター
 モーテル 1966 油彩とリキテ
 —67 ックス・カン
 ヴァス
 シ
 ケンブリッジ 1969 リキテックス
 のエイト ・カンヴァス
 エデュアルド・パオロツィ
 カシノのウィ 1963 彩色アルミニ
 トゲンシュタ ウム
 イン I
 シ
 スメン・スレ 1965 磨いたクロ
 ン ム・スチール
 シ
 メインスパー 1967 彩色アルミニ
 ウム
 シ
 大阪プロジェ 磨いた青銅
 クト
 ブリジット・ライリー

バンナー 1 1968 感光乳剤・カ
 ンヴァス
 シ
 ベルセフォネ 1970 感光乳剤・カ
 12 ンヴァス
 ティム・スコット
 メイダムの同 1966 木・スチール
 次多項式 管
 ビーター・セッジリー
 ヴィデオ盤 1969 螢光彩色の金
 属
 シ
 色の循環 1970 アクリル・カ
 ンヴァスと制
 御装置
 リチャード・スミス
 旗 1969 油彩とポリウ
 レセイン
 シ
 無題 茶色の 1970 クレヨン・切
 素描 紙
 シ
 無題 オレン 1970 クレヨン・切
 ジの素描 紙
 ジョー・ティ
 ルソン
 五感のうち 1969 木製浮彫にア
 「視覚」 クリルにスク
 リーン
 シ
 五感のうち 1969 木製浮彫にア
 「嗅覚」 クリルにスク
 リーン
 ウィリアム・
 タッカー
 九本の柱 1967 鳩灰色に塗っ
 たスチール
 シ
 連作B. No. 1 1969 木とコンクリ
 ート
 ウィリアム・
 ターンブル
 No. 3 1964 青く塗ったス
 チール
 シ
 導 管 1966 スチール
 ジョン・ウォ
 ーカー
 レッスン K 1969 アクリル、チ
 ョーク・カン
 ヴァス
 シ
 結 球 II 1969 アクリル、チ
 ョーク・カン
 ヴァス
 高間惣七展 11—16 西武
 木内克の全貌展 12—27 茨城県立
 美術博物館

出品目録

女 1925 ブロンズ
 頃
 第24回二科展出品(滞欧作)
 女 1925 テラコッタ
 頃
 (滞欧作)
 犬 1925 ブロンズ
 (滞欧作)
 ブロンズのトル 1925 ブロンズ
 ソー
 (滞欧作)
 女の顔 1929 テラコッタ
 第23回二科展出品(滞欧作)東京国
 立近代美術館、茨城県立美術博物
 館、神奈川県立美術館蔵
 鬼の首 1937 テラコッタ
 第24回二科展出品(滞欧作)
 青年像 1940 石膏
 第27回二科展出品
 かたまり 1949 テラコッタ
 第3回新樹会展出品
 手と膝をつく女 1950 テラコッタ
 7作家自選展出品 毎日美術賞
 寝ている女 1951 ブロンズ
 第5回新樹会展出品、東京国立近
 代美術館蔵
 裸 婦 1951 テラコッタ
 第5回新樹会展出品、毎日新聞社
 蔵
 太陽とアマゾン 1952 ブロンズ・
 レリーフ
 裸 婦 1953 ブロンズ
 そり返る 1953 石膏
 第7回新樹会展出品
 おとな 1954 テラコッタ
 第3回日本国際美術展出品
 みつけたポーズ 1954 ブロンズ
 第1回現代日本美術展出品
 裸 婦 1955 テラコッタ
 頃
 裸 婦 1956 テラコッタ
 女 1956 テラコッタ
 第2回現代日本美術展出品、東京
 国立近代美術館、茨城県立美術博
 物館蔵
 女 1957 ブロンズ
 第4回国際美術展出品、茨城県立
 美術博物館蔵
 顔 1957 テラコッタ
 トルソー 1958 テラコッタ
 裸 婦 1958 テラコッタ

— 58 —

草々会展(2回) 21-26 ときわ画廊

鱧利彦作品展 22-27 高島屋

17回日本伝統工芸展 22-10月4

三越

出品目録

陶 芸

灰釉壺 秋崎祐之介
志野茶碗 荒川豊蔵
鉄釉柘榴文皿 伊志良光二
白壺鉢 井上萬二
色鍋島連翹文鉢 今泉今右衛門
色絵つゆくさ文鉢 今泉善詔
角皿(大、小組) 岩渕重哉
練上鶺鴒鉢 上田恒次
信楽水指 上田直吾
碧釉游華文壺 宇野三吾
泡釉壺
色絵鴛鴦文組皿 永楽紘一
鉄絵齒染文壺 江崎敏夫
青磁鉢 江崎良孝
青白磁壺 江刺田勝彦
塩釉大皿 榎田貴史
鉄釉秋容譜皿 大迫みき
灰釉壺 岡野法世子
自然釉皿 小野珀
釉裏金釉黃釉花入 各見飛出記
備前広口花器 加藤孝幸兵衛
鉄釉鉢 加藤伸也
萌黄金彩水指 加藤藤鋤道明
織部掛分鉢 加藤重山
呉須絵鉢 金龜上喜
備前七角大鉢 龜上谷紀
象嵌草文大皿 神川弘志
牡丹文飾皿 川瀬満隆
抜絵鉄釉鉢 川木村盛
刷毛目鉄釉鉢 川木村盛
青白磁組鉢 木村盛
備前大徳利 木村盛
赤天目釉、釉描大皿 木村盛
油滴天目釉蓋物 木村盛
灰釉壺 木村盛
天目釉壺 木村盛
上野文淋茶入 熊谷保勝
上野灰釉皿 熊谷保勝
黄彩壺 栗原鶴笙
鉄釉鉢 高鶴
青上野組鉢 高鶴
鉄釉鉢

白土渦文鉢 小竹章
染付面取大鉢 近藤悠三
「山と海」 近藤豊
ペルシャ青壺 近藤潤
呉須花瓶 斎藤勉
染付深鉢 坂高麗左衛門
萩茶碗 酒井田柿右衛門
山吹文濁手大鉢 酒井田倉新兵衛
草花文花瓶 坂倉田泥
枇杷釉萩焼茶碗 坂田木正
萩井戸茶碗 佐々木正
織部四方組鉢 皿谷緋佐子
花文壺 篠田義一
釉裏紅梅花大皿 備前緋襷花器
鉄彩壺 上野焼茶碗
塩釉刻印文大皿 塩釉大鉢
辰砂大鉢 志野花入
灰釉方壺 灰釉鉄絵皿
灰釉広口壺 灰釉裏金彩蝶
萌黄釉裏金鉢 文鉢
緑釉裏金鉢 白釉裏金鉢
白釉焼灰被水指 皿
黒陶鶴文大皿 白磁蓋物
三彩大鉢 辰砂大鉢
黄唐津叩き壺 菱小文大鉢
備前焼壺 彩釉扁壺
灰釉鉢 琉球窯赤絵面取
花生柿釉赤絵角皿
鉄釉壺 黒彩の壺
大徳利 青白磁花瓶
緑釉金彩琺瑯文花 壺
備前水指 備前窯変花鉢
備前陶組鉢 白鉄釉草文皿
練上辰砂壺

備前壺 松田華山
緑地釉裏金彩魚 松本佐吉
文水指 丸田正美
刷毛目鉄砂流し 文方壺 三浦小平二
青磁パンチセッ ト 三浦富峰
窯変広口壺 三浦英男
灰釉皿 水宮川哲治
色絵草花平鉢 萩焼茶碗 三輪休和
萩焼茶碗 三輪休和
志野大皿 美山田隆治
常滑焼鉢と小皿 山田常山
油滴天目鉢 山田雄一
大平鉢 山田雄一
釉裏紅葡萄酒瓶 白斑花器
青織部鉢 青織部四方鉢
染織 糸織着物「松風」
白地ヤシラミ花 織 赤松存
紹綴帯「調べ」 友禪訪問着「菱 花文」 伊砂久二
型染「溪流文様」 訪問着「七宝」 伊藤俊
ローケツ着物「新涼」 梅原新太郎
刺繍訪問着「潮 騒」 榎本和子
佐賀錦ハンド バッグ「木もれ 陽」 大矢季世
着物「百合子の ための貝合せ」 小倉建亮
絞り染着物「高 雄の時雨」 尾崎良三
着物「杉木立」 加藤重穂
友禪訪問着「潮 丹波布着尺 鎌倉子三
紅型小花唐草文 夏長着 河上峰仙
訪問着「清仲」 丹波太物着尺 川島信房
「縹市松」 組組「潮」 唐組帯「玉鬘」 訪問着「草文」 訪問着「あじさ い」 乾漆箱に雀時絵 箱 入月昇

美術展覧会(9月)

彫漆水指 キ「芽生之」 箱	植田如僂 植田秀子	田田淑枝 田田加津子	如秀二 田田誠二	僂子 枝子	彫漆鉄線手箱 透漆文櫛木香盤 蝶花文茶入 描キ「マ」梅柳 文棗	中島光夫 西原長仁 難波本	島西原 波本	光長仁 廣子稔	夫正甫 斎子稔	鑄銅花入 砂張水指 鳥文嵌銅花 器蟹金具 海角銀瓶 八角銀器 結び文銅花 直弧線花瓶 影金紙箱 落目銅壺 彫金魚文飾 ふぐ香盒 銀打出指 接合せ鉢 肩衝平釜 鑄銅花入「嫩葉譜」 「雑草の歌」	香金鴨河 金北木 後下進 介鈴須 関	取岡森 下内村 藤田藤 川木戸 谷	正宗榮 春光庄 太聖比 郎玉芳 秀幸平 郎章四 郎	彦幸一 明生郎 學古明 秀秀平 郎郎 郎	典周 二広明 幸誠山 郎裕一 三昌齋 溪子一 真弘雲 男
漆皮春灯文盛器 キ「マ」硯箱 大漁の図飾箱 素地キ「マ」食籠 平又「檜水仙」箱 乾漆色紙箱 乾漆香盆 乾漆角型香盆 堆漆一輪草茶入 堆漆香盒「射干」 堆漆肩衝茶入 堆黒紫陽花箱 堆朱宝石葺筒「汀」	植田内太 植田太 太田太 太田太 岡奥	田田田 田田田 田田田 田田田 田田田	如秀二 田田誠二 田田誠二 田田誠二 田田誠二	僂子 枝子 二俵 魚子泉 堂香淳 寛	彫漆鉄線手箱 透漆文櫛木香盤 蝶花文茶入 描キ「マ」梅柳 文棗 乾漆切抜絵飾箱 乾漆存清繩文飾 箱 キ「マ」しげり 食籠 乾漆三彩盤 青漆銀線文盛器 キ「マ」百紅 文重ね箱 沈金華秋箱 沈金「春の日」茶 箱 枝垂桜漆箱 乾漆時絵盆 巴文変り塗丸盆 古代朱盛器 乾漆菊根茶器 沈金草原箱 金胎時絵花瓶 時絵金地鹿文庫 乾漆キ「マ」小宮 紙稔編玉虫盆 時絵秋苑文飾箱 沈金花小箱 彫漆茶入 水畔朱飾箱 瑞華食籠一對 金工	中島光夫 西原長仁 難波本 根野 比古田 福西 福井 藤前 前田 前増 増松 松三 向村 室谷 山山 吉六	島西原 波本 比古田 福西 福井 藤前 前田 前増 増松 松三 向村 室谷 山山 吉六	光長仁 廣子稔 外宏慈 観大 史新昌 紀一 益芳 権明 武玄 春和 楊夜 煤大	夫正甫 斎子稔 記行子 文峰 雄一 弘一郎 城子 六峰 志之 二子 哉光 堂墳	鑄銅花入 砂張水指 鳥文嵌銅花 器蟹金具 海角銀瓶 八角銀器 結び文銅花 直弧線花瓶 影金紙箱 落目銅壺 彫金魚文飾 ふぐ香盒 銀打出指 接合せ鉢 肩衝平釜 鑄銅花入「嫩葉譜」 「雑草の歌」 鑄銅花器 鍛銀目平水指 銅鏡起平水指 「梅」 銀系文赤銅平 肩衝火箸 竹梅金嵌角 銀四方曲線 臘銀線文建 梅林肩銀花 蝶文臘銀丸 十王口平釜 潮流七宝文 糸目方青銅 六方口文小 銀線文四方 藤地文耳花 面取釜 鷺水滴 金彩銀切底「茶 室の窓」 金彩銀「秋の裾 野」 錫梨地波文茶 入 菱文鑄銅花瓶 桜金具 青銅瓜形花瓶 白銅花入 木竹工 拭漆櫻文机 櫻系卷形盛器	香金鴨河 金北木 後下進 介鈴須 関	取岡森 下内村 藤田藤 川木戸 谷	正宗榮 春光庄 太聖比 郎玉芳 秀幸平 郎章四 郎	彦幸一 明生郎 學古明 秀秀平 郎郎 郎	典周 二広明 幸誠山 郎裕一 三昌齋 溪子一 真弘雲 男
風車時絵草鳥文小箱 時絵すき文小箱 金胎金雀枝時絵 盛器 籃胎盛器 乾漆食籠 乾漆時絵盛器 兎絵組盆 漆皮花蝶文盤 時絵霧氷宮 春花文箱 堆朱七宝文茶入 鉄線華文色紙箱 水鏡時絵水指 沈金「花蝶」漆箱 乾漆八角彩漆盛 器 あじろ描キ「マ」 小宮 時絵箱「たかむ ら」 キ「マ」文箱 「ねむの花」箱 朱石目盆	植田内太 植田太 太田太 太田太 岡奥	田田田 田田田 田田田 田田田 田田田	如秀二 田田誠二 田田誠二 田田誠二 田田誠二	僂子 枝子 二俵 魚子泉 堂香淳 寛	彫漆鉄線手箱 透漆文櫛木香盤 蝶花文茶入 描キ「マ」梅柳 文棗 乾漆切抜絵飾箱 乾漆存清繩文飾 箱 キ「マ」しげり 食籠 乾漆三彩盤 青漆銀線文盛器 キ「マ」百紅 文重ね箱 沈金華秋箱 沈金「春の日」茶 箱 枝垂桜漆箱 乾漆時絵盆 巴文変り塗丸盆 古代朱盛器 乾漆菊根茶器 沈金草原箱 金胎時絵花瓶 時絵金地鹿文庫 乾漆キ「マ」小宮 紙稔編玉虫盆 時絵秋苑文飾箱 沈金花小箱 彫漆茶入 水畔朱飾箱 瑞華食籠一對 金工 流銀花器 銀環象嵌鑄銅花 瓶 銀鉄木兎置物 銀象嵌鑄銅花瓶 布目象嵌線文宝 石箱 白玉椿金具 「どじょう」金具 砂張銀梨地水指 色金切底水禽置 物 銀彩壺 鐸形の釜 平禽文水滴 菊久華文香盒 釜「春の訪れ」 鑄銅回文銀錯花 瓶	中島光夫 西原長仁 難波本 根野 比古田 福西 福井 藤前 前田 前増 増松 松三 向村 室谷 山山 吉六	島西原 波本 比古田 福西 福井 藤前 前田 前増 増松 松三 向村 室谷 山山 吉六	光長仁 廣子稔 外宏慈 観大 史新昌 紀一 益芳 権明 武玄 春和 楊夜 煤大	夫正甫 斎子稔 記行子 文峰 雄一 弘一郎 城子 六峰 志之 二子 哉光 堂墳	鑄銅花入 砂張水指 鳥文嵌銅花 器蟹金具 海角銀瓶 八角銀器 結び文銅花 直弧線花瓶 影金紙箱 落目銅壺 彫金魚文飾 ふぐ香盒 銀打出指 接合せ鉢 肩衝平釜 鑄銅花入「嫩葉譜」 「雑草の歌」 鑄銅花器 鍛銀目平水指 銅鏡起平水指 「梅」 銀系文赤銅平 肩衝火箸 竹梅金嵌角 銀四方曲線 臘銀線文建 梅林肩銀花 蝶文臘銀丸 十王口平釜 潮流七宝文 糸目方青銅 六方口文小 銀線文四方 藤地文耳花 面取釜 鷺水滴 金彩銀切底「茶 室の窓」 金彩銀「秋の裾 野」 錫梨地波文茶 入 菱文鑄銅花瓶 桜金具 青銅瓜形花瓶 白銅花入 木竹工 拭漆櫻文机 櫻系卷形盛器	香金鴨河 金北木 後下進 介鈴須 関	取岡森 下内村 藤田藤 川木戸 谷	正宗榮 春光庄 太聖比 郎玉芳 秀幸平 郎章四 郎	彦幸一 明生郎 學古明 秀秀平 郎郎 郎	典周 二広明 幸誠山 郎裕一 三昌齋 溪子一 真弘雲 男

朗司矩 万人正 篁子二人夫 穗藏彦 卓明夫 一靱津 精博郎 弘造 浩 宏敏茂 範 洋 子 一子喜 完 義平彦 郎
仁鷹 不久丘 松文 堅甲 敏一 吉武 弘 正 厚 宏 多 昭 正 又 正 義 閔 光 和 益 正 良 滋 繼
見田 野井 本 本 村 岡 藤 川 田 沢 利 原 藤 内 村 田 尾 山 村 田 山 田 穴 置 沢 林 東 住 松 羽 松 間 勢 磯 川 藤
塩麻秋 向山 石上 堀吉 工平 穂黑 毛上 近大 奥沢 広 烏竹 西 太 加 麻 赤 玉 田 小 山 大 若 丹 小 風 伊 小 石 伊

美術展覧会(9月)

ある室内の風景 石 阪 春 生
6
5
出発(ジャンダーク) 角 浩
ドンキホーテ讃歌
古い物語 A 坂 井 範 一
B
ノルマンデー風景 B 大 国 章 夫
A
サーカスの人達 B 松 田 稔
A
木船構造図・海図 安 保 健 二
・船
首像
JOHNNY DEAD 丸 山 正 三
LOU SMOKING
ELLEN AND TOE
飛 交 う 中 島 節 子
道 成 寺 中 尾 進
鬱 内 田 武 夫
神おわし給うや 萩 太 郎
(2)
死
働 く 人 鈴 木 新 夫
休 息
白 い 坂 道 相 原 求 一 朗
風 車
ブルターニュの道
楨 中 村 貞 夫
高 雄
根 尾
砂山の詩—こらばう麦— 竹 本 三 郎
砂山の詩—漁網—
銃 殺 鎌 田 正 蔵
埋 葬
白い正方形のための情景(2)
シ (1)
連鎖計画作品—38
COMPOSITION '70 遊離する核
シ 閉塞する核
シ 分裂する核
OUT 椿 義 則

IN
THE FOUNDER '70—R

シ—X
シ—V

作 品 1

シ 2

シ 3

シ 4

韓国の印象 1

シ 2

トルソのある

テラコッタ

かやのなか

農村の秋オーベルニユ地方(A)

農村の秋(B)

遺 跡

ペルージャの昼

休み

夜のシエナ

飛驒の朝市

飛驒の獅子舞

犬と静物とヴィナス

独とヴィナス

午 睡

オレンヂの木

青 い 花

黄 色 い 実

赤 い 湖

真 夏 の 間

海辺の船付場

九 月 の 間

DESNITY—

平行

DESNITY—

梯形

青 の 可 能

青 の 投 影

青 の 名 残 り

求 心 都 市

立 体 都 市

高速道路マーキング(出口予告)

へ絵画的提案

カタツムリ型新住宅都市計画案

変 身 '70—20

シ '70—18

シ '70—19

青 の 中 の 青

折線と固まり

椿 義 則
鶴 見 雅 夫

シ

シ

富 岡 惣 一 郎

シ

シ

シ

小 関 利 雄

シ

西 田 勝

シ

シ

太 田 忠

シ

加 藤 金 一 郎

シ

シ

寺 戸 恒 晴

シ

服 部 和 益

シ

シ

荒 井 茂 雄

シ

シ

岡 田 正 二

シ

シ

桑 田 道 夫

シ

佐 野 ぬ い

シ

シ

西 村 元 三 朗

シ

福 島 誠

シ

シ

岡 崎 紀

シ

シ

高 津 鉄 朗

シ

柱 彫
石 人
家 族

接点へのフォルム(B)

接点へのフォルム(A)

男 と 女(1970)

L'ACQUA

遺された記録—

'70(壁シリーズより)

柩 車

色

印

冥 府 の 薊

断絶の中の調和

昆虫とその標本

(1)

シ

シ

(2)

M A S — U

作 品 T—H

シ W・D・H

作品 W・D・H

演 技 者

梅 根 先 生

ラ ク ダ

老 人

冬 の 影

お と な の 影

動

静

無事の郡1~10

(10点)

隼 の 碑

放 つ

さ さ と 少 年

蟹 市 の 女

あ さ み

夜 の 譜

蓮 華

少 女 1

少 女 2

起 原

シ

大 谷 氏 像

W の 首

豊饒の地母神像

或る海浜の碑II

高 津 鉄 朗
彫 刻

田 村 興 造

細 谷 泰 茲

阿 部 米 蔵

シ

細 川 宗 英

小 田 襄

浜 田 登 美 子

本 間 紀 男

滝 井 延 也

中 坂 圭 二

小 武

土 谷

シ

シ

澄 川 喜 一

シ

シ

シ

吉 田 芳 夫

シ

西 常 雄

シ

芥 川 永

シ

大 国 丈 夫

シ

本 郷 新

山 内 壮 夫

村 田 勝 四 郎

岩 野 勇 三

シ

シ

山 本 常 一

菅 原 安 男

武 次 郎

シ

高 橋 清

シ

吉 田 大 象

シ

岡 本 庄 三

シ

やきいもうり
「漂流」のための
習作 海・蝶々
北洋の男Ⅱ
北洋の男Ⅰ
N 嬢
ジ パン
C H I K O
雪の国
湖
流れる空間
二つの輪
鴉
なかよし
ナイジェリアの
女
豊亀先生津田青
楓
男立像
さわこ
Tの首
木上のピエロ
説話—サヨ女—
結立像
座像
碾
エンペードクレ
ス劇の第一声
背車
逆立ち
炎天
緑蔭
スペース・デザイン
TESTEM(身
体障害者の家)
住居ユニット
熊本県婦人会館
小椅子群
スチールによる
構成
立体カーペット
タビ(二人)
夢の森
S+P
55回二科展 1—20 都美術展
会員出品目録
絵画
ムーランルウ
ジュ
愛
チッチェンイツ
ツアの神殿(メ
キシコ)

郡司和男
本 田 明 二
舟越保武
佐藤忠良
伊藤礼太郎
一色邦彦
中島幹夫
香浦有一
田畑一
村 田 勝四郎
山本恪二
竹田京一
伊東繁
寒川典美
五十嵐芳三
富松孝佑
篠崎明雄
麦倉忠彦
加藤昭男
池 辺 陽
川 島 甲 士
剣持勇男
松村勝男
池 辺 昌 子
白石勝彦
鶴岡義雄
松 井 正

主よ永遠の安息
を彼らに与え給
え(メキシコ)
華やかな古典
漁村
あるつどい
夏の電車B
夏の電車A
聖夜
燭火礼拝
室内A
室内B
断面A
断面B
戦いの挽歌(1)
戦いの挽歌(2)
コルドバの老人
断絶の母子
ストロボの夜
パンガロー
宵
スーベニール
南十字星
CHOCOLAT
1970(B)
CHOCOLAT
1970(A)
日 本
森 奏
合 華
向 師
道 化
旅 芸
緑衣の女
居酒屋
南仏風景
寺の見える街
海 辺
ナザレの女
アクロポリス
ベニスの夜
安芸の宮島
塔の見える街
オホツク海
筑波桜川
浅間高原
あるコレクショ
雪窓
男鹿の夏
ダフネ

松 井 正
斎藤三郎
山本不二夫
寺田竹雄
田中君枝
伊庭新太郎
佐伯輝一
石橋宏一郎
桑原実
久保繁造
猪田七郎
佐々木宗一郎
春田安喜子
ベル・串田
塙賢三
鈴木幸生
相沢和郎
中村直人
福島金一郎
東郷青児
野村守夫
服部正一郎
山尾薫明
松本弘二
大沢昌助

昼
回 想
オレンジ売り
陽 差
夏の宿題
山とくちなしの
花
山麓と花と
サーカス親子
紫の箱
白の箱
朝の城
歴史のある館
壺をつくる
人々
屋外カフェ
生と鳥A
石と鳥B
山 村
洛 北
水のない静物
枯れた風景
作 品
太陽の季節
水汲み場
スペイン紀行
馬 屋
納 屋
壁 画 下 絵
ハカラランダの咲
く丘(タスコ)
タスコの丘
朝の停車場
静かなEXPO
昼
夜
45・自画像
日本楽し
山 (A)
山 (B)
黎 明
パリーの裏町
ある家族B
ある家族A
スモッグの中で
港の灯
芸術愛好家
シュザンヌと長
老達
佐藤吉五郎
天野三郎
北川民次
青山龍水
藤井二郎
藤川栄子
西村龍介
吉井淳二
清水刀根
井上覚造
月館い
大 瀧 一
吉 田 正 雄
松 葉 清 吾
狩 野 守
伊 東 静 尾
安 藤 幹 衛
末 永 一 夫
福 島 淳志郎
藤 沢 典 明
西 村 千太郎
増 田 勉
高 根 秀 雄
堀 越 隆 次
佐 藤 睦 郎
吉 村 勲

美術展覧会(9月)

鳩と女 原田直康
花と少女 赤羽恒男
かたち・II 赤羽恒男
かたち・I 赤羽恒男
陽炎(かげろう) 関谷陽
春宵 竹内清
人間の位置 A 竹内清
人間の位置 B 竹内清
原生花園 吉野清明
トドハラ 吉野清明
朝 今長谷巖
太陽の下南の島 大城皓也
風 (A) 新田稲実
風 (B) 新田稲実
祭典 田川覚三
火の儀式 伊藤研之
風景 鈴木盛壽
観音 新開盛壽
リオの夜(2) 藤田慎治
リオの夜(1) 藤田慎治
海底のエリート 飯島貞子
青のトラベル 飯島貞子
山あじさい 中川時之介
あやめ 中川敬三
異国への旅情 辻本敬三
南紀の山畑 池上丁一
潮ノ岬遠望 池上丁一
野薔薇と少年 蓮
Out Winter 杉本ヘンリー
Autumn come
to West-Side
Lake 井上賢三
裸婦 (A) 井上賢三
裸婦 (B) 井上賢三
工場見える風景 故仁戸田秀吉
ひき潮の海 戸川ふみ子
薔薇の階段 戸川ふみ子
田園 前田和子
構成 I 浦田和義
彫塑 前田和義
海辺の母子 淀井敏夫
硝子 細井良雄
月夜 手塚登久夫
少女 手塚登久夫
蝗(づきのきず) 小嶋広志
蝗(おそい羽化) 小嶋広志
無伴奏チエロ 日高頼子
鳥 KINTOTO 高須賀桂

ケメ子 須賀通泰
胎苞 野口嘉光
OUT, IN 大平隆洋
地の糧 千本木康亘
地の歌 太田和夫
包核 体 三國恭三
S嬢の像 木村敏侃
波と人 吉岡侃三
かたち(B) 飯田艇夫
夏の海 淀井敏夫
海辺の女 淀井敏夫
海鳥と少年 淀井敏夫
YAGINO AT
AMA 大西金次郎
母と子 小島尚久
鳩を抱く女 松下隆治
森の仲間たち 手塚登久夫
双頭心 長谷川雅司
流心 荒木啓
上昇への過程 菅原二郎
エラエラ70-2 小山由寿
出て来た芽 B 三井良弘
出て来た芽 A 細井正久
- 12・+ 12 東村正法
硝子 日高正法
円い標 須賀野チイ
形の自然 須賀野チイ
真空 須賀野チイ
ある一つの世界 No. 36 須賀野チイ
ある一つの世界 No. 35 須賀野チイ
作品 70 0 乗松巖
連帯口 高橋忠雄
333 の塔 高橋忠雄
華 安藤菊男
和 番匠宇司
シリンダー人間 番匠宇司
核 工藤健三
ファイル状の顔 河合隆三
止揚 斎藤顕治
支塊 斎藤顕治
球の断片 竹内正治
講 竹内正治
商業美術
ポスター 2点 赤羽喜一
ポスター 2点 高橋春人

ポスター 2点 高橋良
ポスター 2点 日置勝
ポスター 2点 坪井鶴吉
ポスター 2点 池田正三
ポスター 2点 明山正次
ポスター 2点 藤森重信
ポスター 2点 田沢清平
ポスター 2点 河村久子
ポスター 2点 竹内和夫
ポスター 2点 木島武雄
ポスター 2点 山崎達夫
ポスター 2点 武高橋貞夫
ポスター 2点 高勢節郎
ポスター 2点 水口幸三
ポスター 1点 佐々木保
ポスター 2点 菊池部重太郎
ポスター 2点 阿岡悦次
ポスター 2点 中馬師津夫
ポスター 2点 安藤吉
ポスター 2点 竜口清二
ポスター 2点 柳下秀次
ポスター 2点 栗木邦彦
ポスター 1点 黒杉本一
ポスター 2点 杉本山政
ポスター 2点 高山信太
ポスター 1点 京田良
ポスター 1点 関明伸
ポスター 1点 林栄一
ポスター 2点 大里邦彦
モノメント 1点 黒木明伸
竹久夢二展 4-16 松屋
三上正寿日本画展 5-11 伊勢丹
竹内栖鳳とその後の展開 5-27
京都市立美術館
出品目録
○竹内栖鳳
春郊帰牧 紙彩衝立 明治26
百騒一睡 絹彩四曲一 28
双屏風
第4回内国勸業博
覧会
帰去来 絹彩軸 29
千山萬壑之図 絹彩四曲屏 30
松韻流水 絹彩軸 30
観花 絹彩軸 30

美術展覧会(9月)

飼われたる猿と 二曲一双 明治41
 兎 屏風
 第2回文展
 蝸 牛 軸 42頃
 主基斎田風俗屏 六曲一双 大正4
 風 屏風
 斑 猫 額 13
 第1回淡交会
 宿鴨宿鴉 紙墨軸 15
 第3回淡交会
 蹴 合 絹彩額 11
 魚肥山果熟 軸 11
 おぼろ月 紙彩 昭和3
 撰美堂展
 虎 絹彩六曲一 11
 双屏風
 秋 夕 軸 4頃
 潮来小署 15
 第6回淡交会
 惜 春 18
 第8回淡交会
 花に蔵 9
 第8回淡交会
 炉 辺 10
 第1回春虹会
 驟雨一過 紙彩 11
 五葉会
 蛙と蜻蛉 軸 11
 第15回帝展
 夏 鹿 絹彩六曲一 11
 双屏風
 憩える車 軸 13
 第4回春虹会
 皇統一本菊 14
 艶 陽 15
 毎日主催 日本画展
 雄 風 二曲一双 11
 屏風
 奉祝文展
 しぐるる池 紙彩軸 16
 三越新作日本画展
 ○上村松園
 虫の音 絹彩二曲半 明治42
 双屏風
 第14回新古美術品展
 人形使い 11
 花がたみ 軸 大正4
 第9回文展
 楊貴妃 二曲半双 11
 屏風
 第4回帝展
 娘 15

待 月 軸 大正15
 第7回帝展
 新春 螢 11
 苑 10
 東京高島屋展
 天保歌妓 10
 第1回春虹会
 草紙洗小町 12
 第1回文展
 初 雪 11
 緑 雨 13
 第4回珊々会
 風 14
 第5回珊々会
 鼓の音 15
 ニューヨーク万国博展
 櫛 11
 第6回春虹展
 しんし 16
 現代巨匠作品展
 夕暮 11
 第4回文展
 晩秋 17
 朝日主催 関西邦画展
 ○西村五雲
 秋 興 絹彩六曲一 大正2
 双屏風
 第7回文展
 夜桜 軸 昭和6
 秋 茄子 7
 第13回帝展
 海 鱸 額 7頃
 冬 暖 軸 9
 第1回珊々会
 冬 光 額 10
 三越総合展
 午 閑 軸 12
 麦 秋 額 11
 第1回文展
 梅日和 軸 11
 春 宵 11
 後庭初夏 11
 風 蕪 11
 清 潭 13
 第4回珊々会
 園裡即興 額 11
 第3回市展
 春 梢 軸 11
 ○西山翠嶂
 広寒宮 絹彩六曲一 明治40
 双屏風
 第1回文展

秣 衝立 大正9
 第2回帝展
 木 檀 軸 12
 毎日主催 日本美術展
 くらべ馬 額 昭和7
 第13回帝展
 牛 買 い 9
 第15回帝展
 馬 14
 第3回文展
 黒 豹 26
 青甲社30周年展
 鷹 紙彩軸 32
 猫と牡丹 絹彩額
 幽 春 軸
 雪 晨
 ○橋本関雪
 南 国 絹彩六曲一 大正3
 双屏風
 第8回文展
 後 苑 六曲一 3
 双屏風
 第8回文展
 郭巨図 軸三幅 8
 第1回帝展
 秋桜老猿 軸 昭和3
 月下帰漁 11
 個展
 雨後狸 11
 玄猿 11
 霜猿 14
 消昼 16
 夏夕 軸 昭和16頃
 霜柿老鴉 紙彩 17
 玄猿 絹彩 19
 清猿 11
 布袋 紙彩 11
 秋馬心猿 絹彩 11
 意猿 11
 春暖 11
 清暑 11
 ○土田麦僊
 罰 絹彩六曲半 明治41
 双屏風
 第2回文展
 髪 軸 44
 第5回文展
 大原女 四曲一 大正4
 双屏風
 第9回文展

美術展覧会(9月)

梅ヶ畑村 軸 大正4
伊豆の海 額 6
鶉 絹彩軸 15
舞妓 額 額 額 額
鮭 と 額 額 額 額
朝 顔 二曲一 昭和4
蓮 華 軸 5
甜瓜 図 6
平 牀 額 8
舞妓 紙彩軸 10頃
茄 子 額 双幅
32回一水会展 22-10月10 都美術
館
会員出品目録
ぶどう園 三浦俊輔
凱歌(モロッコ) 中畑明人
薪色の葉 名取 雄一
アディオス 小松崎邦矢
港の丘 菅野矢一
夕日 尾崎正章
瀬戸内イワシ網 尾崎正章
漁夫 中谷竜一
フィレンツェの 田中春弥
露店商 深沢紅子
リュージュの 沢井広道
話 やつり 筒井村義
あやの少女 深沢村義
岩の少 筒井村義
野の少 筒井村義
九谷の溪流 木下義
宇部万年池ゴル 木下義
フコース 木下義
白い温泉街 浮田克躬
パリ郊外 浮田吉志郎
初庭の小鳥 田栗津雄
庭のゴルフ場 大津鎮雄
(仙石) 三橋文雄
山こ 三橋善次郎
大月 三橋善次郎
月の上 塩見栄一
ヨットハーバー 野村光司
餅 本山唯雄
北欧の夏 広瀬功

甲州勝沼風景 景
カサブランカの 空
印象 金色の午後 空
から馳けてくる
函館の街 東
水差しの花 流
溪の女 達
夏の名湖 畔
浜名湖の村 堰
信州の晩 春
晴間横 岳
北雪の横 岳
夏来 冬
厳海峡の街
海峽のA
街 石狩川の雪どけ
小樽の運河
インドの子供
高
總アルハンブラ
セイロンの子供
浴衣のむすめ
群 石狩河口
母と子の午後
坂道のある街
三裸女
ブルージュの夏
阿蘇山遠望
霧の芦の湖
室蘭トッカリシ
ョ(B)
室蘭トッカリシ
ョ(A)
三月堂仏像
東大寺
カムイコタン夏
日花 一
サッカラのピラ
ミッド
冬の清川
(最上川)
冬の滝(最上峽)
静物
初秋の神威岬灯
台
ジャコタンの海
(神岬)

吉藤 古賀 文子
崎島 藤島井林郷島村谷原本川永田柄藤見野田島岸野島田野辺本地 芳樹
道 三哲 敏親寅昭つ義 福修伊嘉寿弘友 豊輝陽 祐一郎華一 樹
治 正吉郎夫悖三光一登ね夫功治一八正一道治敬司彦子一郎華一 樹
獎 子 悖三光一登ね夫功治一八正一道治敬司彦子一郎華一 樹
吉藤 古賀 文子
崎島 藤島井林郷島村谷原本川永田柄藤見野田島岸野島田野辺本地 芳樹
道 三哲 敏親寅昭つ義 福修伊嘉寿弘友 豊輝陽 祐一郎華一 樹
治 正吉郎夫悖三光一登ね夫功治一八正一道治敬司彦子一郎華一 樹
獎 子 悖三光一登ね夫功治一八正一道治敬司彦子一郎華一 樹

大雪山・黒岳 中物場妹 蹟 ぎ
賑やかな連見 泉 奇 ぐり
温村角 泉 奇 ぐり
温村角 泉 奇 ぐり
姉 カナの 奇 ぐり
や 裸婦とネグリ
ジエ 晴子プロフィール
バレダンサー
雪解の頃 境
紅浅人 境
静 花店のウイン
ド
のうぜんかつら
曉の出 漁
みどりの池
養魚 一
まい・ほーむ
漁港(1)
漁港(2)
一休 みる
草を刈る
山湖残雪
浅間の老人
ソウルの丘
ソウルの草
小夏の娘 像
E 白い帽子
シエナのやきも
の屋
睡雨後睡蓮 蓮
工場風角
街像(二)
座像(一)
山莊の庭
木孤 独
読書する少女
アトリエにて
リボンをつけた
美恵子
読 書
ベネチアの午後
小池 木高木 源川山島田 日鈴木田 池田 福高田中 納林安安 越後島 金子 元坂 松村能河 故泉 松本
竹部 下野下 川山島田 塔木村坂 田 崎村 富宅宅 越後島 金子 元坂 松村能河 故泉 松本
義 下野下 川山島田 塔木村坂 田 崎村 富宅宅 越後島 金子 元坂 松村能河 故泉 松本
夫 寿々子 三男 則 雪三馬江 枝子 三彦 乾 一郎 新生 誠助 二 進美雄 進 博 信 嘉津美 一男 冬美 輝子 彦 久男

介	夷章	男文雄	か雄覺次茂	輝二郎一輝一郎郎博雄貴子重游子三治花三郎郎三茂昇雄郎平一昭衛精
直之	今朝	忠喜通	ゆた守鹿	元進祐孝行政嘉三俊長春幸久祥昭踏雅二三憲宗節寅力高勘義敏
谷々	正今	林下田	坂出松田沢	山井橋原井藤田村石木谷川植中西瀬野井川田智智井田本中田栗
前田	沢破	栗森富	田早兼山中	杉壺高荻今齋山杉中白許加吉小徳田河猪生浅石奥越森寺岡竹田吉小
荒西不				

美術展覧会(9月)

雌阿寒青沼 一木万寿三
白さぎ立つ 山口川 玲子
テーブルの上の 栗本一郎
静物 ノ川口 雄
紀あんず咲く島 端哲雄
三方五潮門 相川昭二
山歌う人 水田庄介
春の南アルプス 境元資郎
子 供 北川五郎
舟 繋 鈴木睦美
昭和新勝山 田中太郎
高遠花の頃 伊藤辰男
彼岸の鉦山 滝由季生
深谷の鮎道 大与志登野
港沿いの漁港 青塚誠三
残雪のた門 田中野彦
朽ちた木 松林 明
樹 デイトリッチ夫人 子
人 初 夏 麗茂 人
人形嘆きのマリ 飯田実
ア(セビリア) 富加山裕夫
朝聖堂の峠道 加山川五郎
残雪の貝殻落 山鈴木忠義
壺屋部風景 伊藤登直
高出雲のほと 砂原久
ゴルフ場のほと 岡田正
千壺閣天井 坂井胡
古陶風景月 佐藤德
湯の山風景 島谷川
山峡六の春 朝倉力
獲れた登山路 小沢功
郊外の山路(金沢) 塩原二
雪の登漁港 亀下貢
市場春下道 千葉福
早海へ港風景 堀忠義
内港風雪後 小川元
犀川雪婦 石山富
裸川 野とやぶかん 三郎
野と貯木場 井戸健
港新 生

湖はなさき 畔港 森山 田本のぞみ
夏コロセウム 淀川 本川 義友
南の修理船場 伴野 川 盛利
ある遊技場 小金島 子 敏夫
工場地滞に添う 小林 林 義明
運河 田代 修一
妙高山 柴岡 寛一
飛驒の秋街 堀口 方貞
白い港石 西出 外
漁 兼松 一
楼門(大和 佐々木 郎
上神宮) 千葉 明
雪どけの川 鍋谷 一
栗駒山秋岸 瀨木 正
真崎海リ 坂本 龍
ナポ 枯れた花のある 井田 精
静物 少女と愛大 神橋 周
新緑窓外風景 高島 卯
久米川古戦場 中 三
疾風 都美術館
16回一陽展 22-10月10
会員出品目録
絵画
陶能登の海 浅井 一介
猫登のA 堀内 千里
猫登のB 萩原 光
常磐戸 片柳 忠男
太陽賛歌(1)平和の願い 国本 克己
太陽賛歌(2)めぐみ 勝 一 見
流木の歌 北山 泰斗
ほね貝の歌 米良 道博
南の月 シヤルトル 棟方 寅雄
他人の空シリーズ<青空の再来> 松 下 明治
他人の空の出来事 黒いカーテン 人

「ビルと短調」テラスにて
「ビルと短調」歩道橋
森の友達 虫の演奏会
Espace T. Dialogue
3月のポートレート
青の中のイヴェント
巴里慕情
モンマルトル
裸婦 1
裸婦 2
白き風景
野辺の樹
魔辻芸人
カフエー
踊り子
夕陽
絵画 A-1
絵画 A-2
人形の図
室内静物
望郷蝶
長崎聚落図
青の中の連続的な出会いA
青の中の連続的な出会いB
犬吠 1
犬吠 2
PLACE DU CALVAIRE PARIS
PLAZA ASPROMONE MLANO
サントトロッペ風景
僧院の庭
機関車と貨車
人力車
黄金の一陽
一陽の顔
月蝕にのびる芽
天体にとどく手
カーニバル
海の王様
月の王様

村上英男
野間仁根
野間佳子
中村秀雄
荻野康児
小出泰弘
小川哲郎
小野怏郎
大石可久也
岡本耕典
大羽梧郎
鈴木信太郎
指田由来
沢田正太郎
鈴木力
高岡徳太郎
田辺栄次郎
田所満雄
鶴田猛
月見里シゲル
上田春雄
故山路真護

風 二 人	山 谷 鉄 一	冬 の 挽 歌	神 門 四 郎	星月夜	1893	個人蔵
園 服 の 子	八重垣 逸 郎	雨 の 挽 歌		叫び	1893	国立美術館、オスロ
あくたれっ子		彫 刻	植 木 力	思春期	1894	シ
ヨ メ ガ サ	山 田 首	坐 像		マドンナ	1894	シ
ヒ ト デ		尾山多賀之丞		豊饒	1898	シグナル・ベルゲセン
燈下のホークソング	齋 藤 満 夜	婦 人 像	金 田 忠 勲	メランコリー	1899	市立ムンク美術館、オスロ
赤い鉄の扉		動物の形態	根 本 春 代	生命のダンス	1899	国立美術館、オスロ
譜 面 A	山 田 治	立 像	大 野 悦 三	汽車の煙	1900	市立ムンク美術館、オスロ
譜 面 B		標 的	郷 三	渚での踊り	1900	ナロドニイ、ギャラリー、ブラハ
冬 の 子	角 美 貴 子	大 字 日 本	小 池 郁 男	雪のなかの白樺	1901	シグナル・ベルゲセン
木の葉の幻想		此夏急逝せし亡き妻の像	森 川 正 之	夏至祭り	1901	クラウヴェネ・ス・コレクシオン
昼 の 月	越 智 映 介	女 の 華	山 崎 猛	赤いカーベットのがある裸婦	1903	州立美術館、ミュンステル
トンネルのある漁村		女 の 泉	加 藤 博 二	キューピッドとプシケ	1907	市立ムンク美術館、オスロ
ANIMALS IN MOTION I	佐 野 儀 雄	顔 子	宮 川 和 博	水浴する男たち(ヴァルネ・ト・リブ・ディック)		
ANIMALS IN MOTION II		対 話		(a)成人	1907	アテネウム美術館、ヘルシンキ
SPIRIT No. 1	井 黒 四 郎	断 層	密波羅 伸 三	(b)青年	シ	ラスムス・メイエル・コレクション、ベルゲン
SPIRIT No. 2		045 ドライブ	中 村 輝	(c)老年	シ	市立ムンク美術館、オスロ
商 店 街	熊 田 藤 作	オロチョンの火の鳥	浅 野 孟 府	歴史(オスロ大学講堂壁画の習作)	1914	オスロ市美術館(ロルフ・ステーネルセン寄贈)
地 下 街		中沢良夫先生	榊 山 勝	疾駆する馬	1910	市立ムンク美術館、オスロ
木偶の競走	上 野 富 蔵	円による形態	横 沢 英 一	ベッド際に坐る少女	1915	国立美術館、ストックホルム
枯木林の中(1)	江 川 光 信	コ ー ナ ー	シロタ	キャベツ畑に立つ男	1916	国立美術館、オスロ
枯木林の中(2)		加賀谷武備展 26—10月3		藤椅子の側に立つ裸婦	1929	市立ムンク美術館、オスロ
対 話	中 村 亮一郎	画廊		波	1921	シ
集 集		ムンク展 26—10月18 神奈川県立近代美術館		星月夜	1923	シ
遊 戯 作 品 II	野 間 伝 治	出品目録		腰かけているモデル	1925	市立ムンク美術館、オスロ
遊 戯 作 品 III		油 絵		赤い家	1926	シグナル・ベルゲセン
あるイマージュ「化身」	中 島 マ ミ	自画像	1880			
あるイマージュ「化身」		ストーブに火をつける少女	1833			
懐古の浜 A	宮 本 清	ゆり椅子に坐っている画家の叔母(カーレン・ピヨルスタ)	1884			
懐古の浜 B		ピアノを弾く少女	1886			
偽りの空 A	森 秀 雄	カール・ヨハン通りの軍楽隊	1889			
偽りの空 B		郵便船の到着	1890			
枯 野 I	与 儀 達 治	サン・クルーの夜	シ			
枯 野 II		フロムナード・デザングレン	1891			
作 品 1	鈴 木 国 威	妹インゲルの肖像	1892			
作 品 2						
漁 船 と 帆 船	荻 原 宗 晃					
船						
屋 根 と 小 路	市 川 勉					
屋 並						
スモッグの中のドンキホーテ	小 松 久 子					
団 地 の 夕 方						
蓮 (A)	柳 原 謙 三					
蓮 (B)						

美術展覧会(9月)

裸婦「クロト カヤ」	1927 ごろ	市立ムンク美 術館、オスロ	寄り添う頭	1905	市立ムンク美 術館、オスロ	ヴァイオリ ン・コンサー ト	1903	市立ムンク美 術館、オスロ
孤独な人たち	1935 ごろ	シ	自画像	1911	シ	ブローチ	シ	シ
波止場の女た ち	シ	シ	浜辺に立つ少 女	1914	シ	煙草をもつ自 画像	1909	シ
浜辺にいる二 人の女	シ	シ	月光の浜辺に 立つ若い少女	1912	シ	太陽に向って	1912	シ
窓辺での自画 像	1940 ごろ	シ	日光浴	1915	シ	自画像・死の 踊り	1916	シ
木版画			日光浴	シ	シ	星月夜、ヨー ン・ガブリエ ル・ボルクマ ン(イブセン 劇)	1925	シ
不 安	1896	市立ムンク美 術館、オスロ	とど松の林の なかの若い男 と女	シ	シ	K・E・シ ュ レイネル教授 (ノルウェー の解剖学者)	1930	シ
女の髪にうず くまる男の頭	シ	シ	森 へ	1920	シ	帽子をかぶっ た自画像	シ	シ
月 光	シ	シ	波止場の女た ち	シ	シ	エッチング		
月 光	シ	シ	訣別の時(イ ブセン劇「王 位継承者」か ら)	シ	シ	死と少女	1894	市立ムンク美 術館、オスロ
メランコリー	シ	シ	ビルギッテ	1930	シ	慰 め	シ	シ
メランコリー	シ	シ	火の裁き(イ ブセン劇「王 位継承者」か ら)	1927	シ	クリスティア ニア・ボヘー ム	シ	シ
声	シ	シ	髪への接吻	1930	シ	病める子	シ	シ
男の頭の中	1897	シ	石版画			その翌朝	シ	シ
森 へ	シ	シ	骸骨の腕のあ る自画像	1895	市立ムンク美 術館、オスロ	声	シ	シ
森 へ	シ	シ	叫 び	シ	シ	人間ふたり (孤独な人た ち)	シ	シ
水浴する女た ち	シ	シ	手	シ	シ	女	シ	シ
接 吻	1897 ~98	シ	嫉 妬	1896	シ	接 吻	シ	シ
接 吻	1902 ごろ	シ	病める子	シ	シ	浜辺にいる若 い少女	シ	シ
痛みの花	1898	シ	魅 惑	シ	シ	裸 婦	シ	シ
浜辺にいる二 人の女	シ	シ	別 離	シ	シ	少女と心臓	シ	シ
浜辺にいる二 人の女	シ	シ	臨終の床で	シ	シ	ステファス・ マラルメ(フ ランズの詩 人)	シ	シ
冬の雪景色	シ	シ	病室での死	シ	シ	シグビヨルン ・オブストフ エルダー(ノ ルウェーの詩 人)	シ	シ
浜辺を背にし た少女の顔	1899	シ	ハンス・イ ェ ーゲル(ノル ウェーの作 家)	シ	シ	病める子	シ	シ
浜辺を背にし た少女の顔	シ	シ	アウグスト・ ストリンベリ (スウェーデ ンの劇作家)	シ	シ	水浴する少年 たち	シ	シ
肥った娼婦	シ	シ	肉 欲	1898	シ	ノクターン	シ	シ
男と女	シ	シ	宴が終って	1899	シ	リユーベック	1903	シ
人間ふたり (孤独な人た ち)	シ	シ	女	シ	シ	櫨の木	シ	シ
人間ふたり (孤独な人た ち)	シ	シ	灰	シ	シ	波止場の少女 たち	シ	シ
人間ふたり (孤独な人た ち)	シ	シ	波の中の人 たち	1896	シ	看護婦	1908	シ
心 臓	シ	シ	罪	1901	シ	疾駆する馬	1915	シ
宇宙での出遇 い	シ	シ	グラン・カフ エ でのヘンリ ク・イブセン	1902	シ			
メランコリー	1901	シ	マドンナ	1895 と 1902	シ			
祈る老人	1902	シ	吸血鬼	シ	シ			
りんごの木	シ	シ						
洗 たく	シ	シ						
寄り添う頭	1905	シ						

筆彩色版画

カ ン カ ン	1896	市立ムンク美術館、オスロ
不 安	シ	シ
別 離	シ	シ
嫉 妬	シ	シ
原 始 人	1905	市立ムンク美術館、オスロ
ベッドの前に立つ裸婦	1907	シ
憎 悪	1907	シ
ダニエル・ヤコブソン教授(デンマークの医学者)	1909	シ
山 道	1911	シ
歴 史	1912	シ
アルマ・マテル	1914	シ
嫉 妬	シ	シ
立腹の御婦人	シ	シ
生命の樹の下に佇む老人	1915	ニルス・アストルップ
寝そべっている犬	シ	市立ムンク美術館、オスロ
スクーリー王と詩人ヤトゲイル(イブセン劇「王位継承者」から)	1916	シ
聖 典	シ	シ
け ん か	シ	シ
イブセン劇「幽霊」の一場面	1920	シ
穴を掘る労働者たち	シ	シ

銅版 版木

少女と心臓	銅版	市立ムンク美術館、オスロ
疾駆する馬	シ	シ
肥った娼婦	版木二枚	シ
孤独な人たち	版木	シ
寄り添う頭	シ	シ
ゴシック風な少女	シ	シ
近代日本の美術貿易	26—11月 8	サントリー美術館
魚田元生個展	28—10月 3	樺画廊
二元会展	28—10月 3	下村画廊
知求会展	28—10月 4	文芸春秋画廊(祁答院慶昭、幸田祐三、佐藤多持、奈良原浩)
小原稔展	28—10月 9	日本橋画廊

清水六兵衛作陶展	29—10月 4	三越
山下大五郎油絵展	29—10月 4	三越
「花と女」フランス近代名作展	29—10月 4	高島屋
北山泰斗展	29—10月 9	フジテレビギャラリー

10 月

穂月明水墨画展	2—7	松屋
上田臥牛個展	2—9	日動サロン
ベルギーのタビストリー展	3—20	大阪市立美術館
野村千春作品展	5—9	資生堂ギャラリー
瀬下妙子個展	5—9	銀座サエグサ画廊
小川イチ個展	5—10	フジカワ画廊
抒情7人展(4回)	5—11	文芸春秋画廊(赤岩賢三、熊川昭典、田屋幸男、塙賢三、早川義孝、松葉良、和田徹)
鈴木俊行展	5—11	シロタ画廊
網谷義郎個展	5—16	フォルム画廊
田中稔之個展	5—24	第七画廊
上村松室展	9—14	東急
佐々木大樹・日出雄彫刻2人展	9—14	松屋
瑛九遺作展	10—11月 3	北九州市立八幡美術館
英国風景画展	10—11月 23	国立西洋美術館
出品目録		
○ブルッキング、チャールズ		
疾風を受ける満帆のカッターと艦隊	油彩・カウソ	ヴァン
暴風、坐礁した二層戦艦	シ	
○コンスタブル、ジョン		
スタッフ川のはしけ	油彩カンヴァスに紙貼り	
デダムの水車場	油彩カンヴァス	1820年
ソールズベリ大聖堂と園い	シ	シ
ハムステッドの荒野	シ	1820—21年頃(推定)

空と樹の習作	油彩紙	
樹の幹の習作	シ	1821年頃(推定)
ハムステッド、ブランチ・ヒルの油	油彩カンヴァス	1821—22年頃(推定)
ブライトン・ビーチ、石炭船水門	油彩紙	
	油彩カンヴァス	1826年
ホワイトホールの階段から眺めたウォータールー・ブリッジ開通式	シ	1832年
虹のかかったハムステッドの荒野	シ	1836年
○クローム、ジョン		
スレート採掘場	油彩カンヴァス	
森のはずれ	シ	1809—11年頃(推定)
マーリンフォード・グローヴ	シ	1815—17年頃(推定)
○ド・ラウサーバーク、フィリップ・ジェームズ		
シャフハウゼン、ライン河の滝	油彩カンヴァス	1775年頃
コールブルックデール夜景	油彩カンヴァス	1801年
○ド・ウィント、ピーター		
麦 畑	油彩カンヴァス	
○ゲインズバラ、トマス		
市場へ行く農夫たち	油彩カンヴァス	1770年頃
村の眺め、農夫と家畜	シ	1770年代の初め
森の風景、村の恋人たちと牛	シ	1770年代
橋を渡る牛を追う馬上の農夫	シ	1781年頃
浅瀬を渡る馬車	シ	1780年代中頃
○ホッジス、ウィリアム		
太平洋の噴火口	油彩カンヴァス	
ダスキー湾の瀑布	シ	
○モerland、ジョージ		
船を引きあげる漁師たち	油彩カンヴァス	1791年
砂をはこぶ馬車	シ	1792年
○スコット、サミュエル		
ウェストミンスター・ブリッジの建設	油彩カンヴァス	1748—49年

美術展覧会(10月)

オールド・ロン 1749年
 ドン・ブリッジ
 ○ターナー、ジョゼフ・マロード・ウィリアム
 マコンのぶどう 油彩カン 1803年
 収穫祭 ヴァス
 川 辺 の 柳 1807年頃
 ロウアー・ホー 油彩板 1807—10
 プからのウィン 年頃
 ザーの眺め
 ニューアーク僧 1807年頃
 院
 峽 谷
 テームズ河、 1807年頃
 ウィンザー近傍
 グランド・ジャ 油彩カン 1809—20
 ンク・ジョン・カ ヴァン 年
 ナル、サウソー
 ルの風景附近
 ネ ミ 湖 1828年頃
 岩 の 入 江 1828—29
 年頃
 橋の見える川辺 1828年
 クロード・ローラ 1835年頃
 ン風の主題
 パレストリーナ 1835—40
 風に波立つ浜 年頃
 水のある風景
 スポレート、橋 1840年頃
 と塔
 ヴェネツィアの 1845年頃
 祭
 ○ウォード、ジェームズ
 闘牛、セント・油彩板
 ドナツ城遠望
 リーゼンツ・油彩カン 1807年頃
 パーク、牛の群 ヴァス
 れ
 ゴーデールの断 1813年頃
 崖
 ○ウィルソン、リチャード
 ディー川のホー 油彩カン 1762年頃
 ルト橋 ヴァス
 ドルバダーンの 1807年頃
 城
 ス ノー ドン
 カーナーヴォン
 の城
 カステル・ガン 1807年頃
 ドルフォとアル ヴァス
 パノ湖
 ○ウートン、ジョン
 狩 り 油彩カン
 ヴァス
 グロースターシ 1807年頃
 ャー、ストーク・ ヴァス
 パーク
 ○ライト・オヴ・ダービー、ジョゼフ

インディアン 油彩カン 1785年
 寡婦 ヴァス
 ○ライト・オヴ・ダービー
 虹のある風景 油彩カン 1794—95
 ヴァス 年頃
 ○ボニントン、リチャード・パークス
 ディヴ：教会の 水彩
 前の行列
 船の見える海岸 水彩
 風景
 ○コンスタブル、ジョン
 スタッア川、デ 鉛筆、セ 1830—36
 ダムの教会堂遠 ビア・ウ 年頃
 望 オッシュ
 彩色
 ○コットマン、ジョン・セル
 グレータ河畔 水彩 1805年頃
 耕 地
 ノーリッチ大聖 1805年頃
 堂、聖ルカ礼拝 堂
 ○コックス、デーヴィッド
 田舎道、牛追い 水彩鉛筆
 にセビ
 ア・ウォ
 ッシュ彩
 色
 ウェールズの城 水彩濃厚 1836年
 な絵具で (推定)
 調子づけ
 ○カズンズ、アレグザンダー
 古典的風景 単彩ウォ
 ッシュ彩
 色
 山 岳 風 景 ブラッシ
 ュウォ
 ッシュ彩
 色
 日陰の丘の見える風景 アクワチ
 ントウォ
 ッシュ彩
 色
 ○カズンズ、ジョン・ロバート
 ネ ミ 湖 水彩 1779
 バエストゥムの 青と灰色
 二つの古代神殿 のウォ
 ッシュ彩
 色
 ヴィラ・マダム 鉛筆
 から眺めたロー 水彩
 マ
 グリニッチ・ヒ 水彩
 ルからの眺め
 ○ド・ウィント、ピーター
 カクストール僧 水彩
 院
 崖と池のある風 1807年頃
 景
 ○ガーティン、トマス
 エクスマス 水彩
 ドーセットジャ 1807年頃
 ーの浜、ラルワ
 ースの入江

ダラム大聖堂 水彩 1799年
 ボルトン僧院 1801年
 ○パーマー、サミュエル
 仲秋の満月 水彩 1830—31
 年頃
 柵の中の羊たち 墨 1831—32
 年頃
 ○ローランソン、トマス
 艦 階 の 帰 還 ペン水彩
 宿屋の前の馬車
 ○サンドビー、ポール
 ウィンザー城、 水彩にグ
 ノーステラスよ ワッ
 り西を望む 加筆
 クィーン・エリ 鉛筆水彩 1770年
 ザベス門より東
 にカッスル・ヒ
 ルを望む
 ウィンザー・ホ 鉛筆ペン
 ーム・パーク に水彩
 シート・ストリ 鉛筆水彩
 ート下手より眺
 めた町と城
 ○タウン、フランシス
 モンブランの見 水彩 1781年
 えるアルヴェイ
 ロン川の水源
 セント・ジョン ペン水彩 1786年
 の谷間、ケスウ
 イック遠望
 ライダル・ロー 1806—07
 ドから眺めたグ 年
 ラミア湖
 ○ターナー、ジョゼフ・マロード・ウィリアム
 キュー・ブリッ 水彩 1806—07
 ジ 年
 ドーヴァー 1824年
 海 辺 に て
 海辺、水遊びす 1823年
 る人々
 砂 浜 に て
 海 辺 の 神 殿
 山を望む川の風景
 コブレニツ
 ヴェネツィア、 1807年頃
 ラグーナからの ジョデッカの眺
 め
 サン・ジョルジ 1807年頃
 ョ・マジョーレ
 密波羅伸三個展 11—21 紀伊国屋
 画廊
 青山光佑展 12—18 シロタ画廊
 24回二紀展 12—30 都美術館
 会員出品目録

絵画

コーヒーうり 黒沢三郎
 ジブシー 中 西 勝
 インディオの母 子 三 輪 勇之助
 黒い二人 三 輪 勇之助
 清水門 西 村 功
 佳き日 鈴 木 博
 頼む女 児 玉 幸雄
 少 鈴 木 博
 夜 児 玉 幸雄
 塔のある街 吉 田 富士夫
 旗のある街 吉 田 富士夫
 廻転木馬 佐々木 孔
 仲 間 佐々木 孔
 野外の水槽 (養鱒場) 佐々木 孔
 「かき」のいかな 作業場 佐々木 孔
 巴里郊外 浜田 信助
 アマルナー 103 山口 操
 アッシュール 104 山口 操
 不 滅 金 田 辰弘
 願 望 鴨 居 玲
 ドワはノックさ れた (アンネの 日記より) 鴨 居 玲
 り ん 星 崎 孝之助
 BEL AVEM-IR 星 崎 孝之助
 GÉNÉRATI-ONS 星 崎 孝之助
 花 佐 伯 米 子
 海浜室内プール 佐 伯 米 子
 赤い十字架(B) 佐 野 繁次郎
 赤い十字架(A) 佐 野 繁次郎
 山の遊び 中 川 紀 元
 信濃路 大 兼 益 夫
 バリの街角 坂 本 直 治
 賑やかな大阪空 坂 本 直 治
 漁船の群 山 本 直 治
 赤い崖 大 石 俊 彦
 姉妹 数 野 正 雄
 木馬の休日 宮 本 三 郎
 レ・トロワ・グ ラース 宮 本 三 郎
 浴 泉 山 義 一
 花 鳥 山 義 一
 ある風物詩 田 村 孝之介
 海 風 田 村 孝之介
 花と人形 田 村 孝之介

江の島ヨットハ
ーバー野尻湖畔
瓦 埴

山 湖

大雪山遠望

集約された街

集約された塔と

街

運河ぞいの家

土蔵のある風景

LA-CANA

(ラカーニヤ)

ZORONGO

(ソロンゴ)

う わ さ

あ る く

東大寺遠望

椅子と道化師た

ち

サ ー カ ス

林の小道

群

埋れる (ローゼ

ンブルグ)

「無」へのはじま

り

連なる (一)

連なる (二)

宴

ネ ー ワ ッ ト

チ ェ リ カ

生の頌歌

仮面の時

弾性圏 1

弾性圏 2

貝の曲線

オーム貝 (3)

万象流転

万應なき招宴

月夜 A

月夜 B

野火

かたち

念

心臓移植

研究と失敗

(遺作室)

ゲルグロエの夏

スクアール・

ド・ロブセルヴ

アトル

雪 霽 れ

成 井 弘

津 田 周 平

中 野 安次郎

北 村 脩

久 野 修 男

宮 永 岳 彦

秋 保 正 三

土 岐 国 彦

大久保 実 雄

小 島 謙

近 藤 嘉 男

小笠原 誠 次

吉 野 純 智

小 川 敏 子

加 藤 竜 平

乾 英

森 英

市 野 長之介

牧 弘ナ

小 島 真 佐 吉

坂 宗 一 隆

鳥 居 雅 寿 明

青 木 美

宮 嶋 美

黒 田 重太郎

想 生 獅 男

子 女

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

シャトルーズの

庭

一修道僧の像

港の女

母子(パステル)

梳る女

罌粟の花

雪後

浴後

女と子犬

閑庭惜春

溪園に残る雪

デンドロビウ

ム

精

争

魚

修 験 者

月と菩薩

女

彫 刻

リンゴの果は落

ちた (GREEN

STRUCTUR-

E)

碑 No. 10

S. R. No. 1

末摘花

花

い し ぶ み

出 山 釈 迦

G

リボンのむすめ

坐せる裸婦

裸 婦

シ テ 登 場

親射 鸞

射 鸞

拡 標

公 1500 M

愛して・愛して

打ちよせる波の

ように

琢

横たわる円柱

34回自由美術展

会員出品目録

絵 画

想 生 獅 男

子 女

と

と

と

と

黒田重太郎

森 本 健 二

吉 羽 一 郎

木 津 一 夫

長 野 隆 業

小 島 弘

北 川 薫

水 野 欣三郎

坂 上 政 克

松 村 外次郎

矢 形 勇

菅 沼 五 郎

滝 川 毘 堂

長谷川 ハ ナ

村 上 丙

邑 田 五 朗

堀 義 雄

山 崎 誠

山 崎 修

12-30 都美術館

岡 島 弘 国

幸 丸 辰 門

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

美術展覧会(10月)

ブラインド 長谷川 匠
 帰還 〃
 嬉地の変化P— 広 畑 美代子
 Y 〃
 嬉地の変化P— 〃
 W 〃
 ひ と 福 寿 一 三
 ひ と 〃 〃 〃
 穴 齋 藤 勤 也
 自画像 〃 〃 〃
 武装する女 青 木 正 春
 アクロポリスA 溝 田 コトエ
 コリントス 〃 〃 〃
 エスカルゴ 浜 松 一 誓
 二階建バス 〃 〃 〃
 少女 杉 原 清 司
 ハレタ日 〃 〃 〃
 芸人 尾 崎 正 義
 吊される人々 〃 〃 〃
 みまもる人々 長谷部 昇
 かくれる人々 〃 〃 〃
 憂 慎 有 村 真 鐵
 黄昏の幻影 〃 〃 〃
 虹をさがして… 海 見 久 子
 話しつづける二人 〃 〃 〃
 島 桜 井 直 子
 山 〃 〃 〃
 斗争の記録 710 池 田 和 美
 よぎる影 宇 都 宮 マ リ
 ねこと女 藤 井 喜 久 雄
 ふり返るあなた 小 作 青 史
 真夏の食事 〃 〃 〃
 メコン怨歌 ① にしおかひろし
 メコン怨歌 ② 〃 〃 〃
 1970—8月 笠 松 昭 吾
 青のフーガ 〃 〃 〃
 談合 団 〃 〃 勇
 風塵 〃 〃 〃
 映像の男 井 上 美 彦
 カムフラージュ 〃 〃 〃
 作品A 井 上 リ ラ
 作品B 〃 〃 〃
 浮遊 毛 内 義 衛
 夏の正午 〃 〃 〃
 丘 大久保 四郎太
 ヘリコプターの 伊 藤 博
 飛ぶ風景3 〃 〃 〃
 満州〔I〕 東 宮 不二夫
 満州〔II〕 〃 〃 〃
 みちしるべ 千 葉 精 一

海の向日葵 No. 5
 ゆらぐ湖畔にて SPACE—4
 果てしなき無限 への憧憬
 月と娘と 〃
 作品B 佐々木 美枝子
 作品A 〃 〃 〃
 記録(時 No. 1) 村 山 良 一
 記録(時 No. 2) 〃 〃 〃
 ひ と 相 沢 幸 二
 ひ と 池 田 一 末
 ヒロシマ8. 6 大 成 瓢 吉
 静物 大 石 川 嘉 一
 静物 赤 木 幸 輝
 象 (I) 崎 仁 彦
 象 (II) 〃 〃 〃
 アトリエ 沢 田 俊 一
 ある風景B (パ 一 木 平 蔵
 ビロン) 〃 〃 〃
 ある風景A (ル 〃 〃 〃
 クソール) 〃 〃 〃
 食 丸 山 武 男
 格 青 木 澄 江
 異 そ の 二 上 原 二 郎
 白い闘技場 〃 〃 〃
 ある日 〃 〃 〃
 作品K X 清 野 満 敏
 作品K R 〃 〃 〃
 劇 No. 8 佐々木 正 芳
 劇 No. 7 〃 〃 〃
 の死 横 尾 茂 子
 作品 土 器 屋 杏 子
 作品 〃 〃 〃
 風景(A) 浜 田 紀 子
 風景(B) 〃 〃 〃
 静物 関 〃 〃 正
 静物 〃 〃 〃 和
 象風景 岡 〃 〃 泰
 象風景 〃 〃 〃 子
 風 日 浅 野 和 美
 円のある作品 浅 野 孝 孝
 (2) 〃 〃 〃
 横たわる虚無 広 瀬 一 二
 胎 〃 〃 〃
 佇 倉 智 憲 夫
 筑豊の記録 70 〃 〃 〃
 作品 70—A 西 垣 清
 け も の 正 田 徹
 風の絵図 沢 田 哲 郎
 雷の絵図 〃 〃 〃

松 本 光 司
 橋 本 久 枝
 浜 田 純 来
 中 村 春 来
 〃 〃 〃
 佐々木 美枝子
 〃 〃 〃
 村 山 良 一
 〃 〃 〃
 相 沢 幸 二
 池 田 一 末
 大 成 瓢 吉
 石 川 嘉 一
 赤 木 幸 輝
 崎 仁 彦
 〃 〃 〃
 沢 田 俊 一
 一 木 平 蔵
 〃 〃 〃
 丸 山 武 男
 青 木 澄 江
 上 原 二 郎
 〃 〃 〃
 清 野 満 敏
 〃 〃 〃
 佐々木 正 芳
 〃 〃 〃
 横 尾 茂 子
 土 器 屋 杏 子
 〃 〃 〃
 浜 田 紀 子
 〃 〃 〃
 関 〃 〃 正
 〃 〃 〃 和
 岡 〃 〃 泰
 〃 〃 〃 子
 日 浅 野 和 美
 浅 野 孝 孝
 〃 〃 〃
 広 瀬 一 二
 〃 〃 〃
 倉 智 憲 夫
 〃 〃 〃
 西 垣 清
 正 田 徹
 沢 田 哲 郎
 〃 〃 〃

よ 〃 〃 〃
 ひ 〃 〃 〃
 四 次 防 閥 品 品
 派 作 〃 〃 〃
 作 〃 〃 〃
 十 月 台 風 風
 井戸川湊切り ア ク タ ー
 獲 〃 〃 〃
 くろのバックB 〃 〃 〃
 追われる2 〃 〃 〃
 黒い顔の女 〃 〃 〃
 白静 〃 〃 〃
 静 〃 〃 〃
 静 〃 〃 〃
 ひ か り
 狂ったドライブ (芽生え)
 愛風化 (A) 品 品
 作 〃 〃 〃
 人 〃 〃 〃
 人 〃 〃 〃
 CTBO (II) 〃 〃 〃
 作 〃 〃 〃
 人 〃 〃 〃
 人 〃 〃 〃
 地 〃 〃 〃
 記 〃 〃 〃
 作 〃 〃 〃
 ブールサイド 〃 〃 〃
 希 〃 〃 〃
 その後の風景 〃 〃 〃
 像 〃 〃 〃
 鼓 〃 〃 〃
 落 〃 〃 〃
 土 〃 〃 〃
 亜 〃 〃 〃
 碑 〃 〃 〃
 森 〃 〃 〃
 森 〃 〃 〃
 子供との対話 「昼寝」
 影 〃 〃 〃
 黒い雨 〃 〃 〃
 頭上のドーム 〃 〃 〃
 記録 I 〃 〃 〃
 飢 餓 術 師 〃 〃 〃
 風 景 (1) 〃 〃 〃
 風 景 (3) 〃 〃 〃

井 上 照 子
 〃 〃 〃
 井 上 長三郎
 〃 〃 〃
 田 賀 亮 三
 〃 〃 〃
 岡 本 実
 〃 〃 〃
 細 井 千鶴子
 〃 〃 〃
 千 原 三 郎
 増 田 暢 士
 久 田 弘 弘
 〃 〃 〃
 藤 沢 匠
 〃 〃 〃
 田 原 史
 三 田 耕 之
 森 田 田 廣
 吉 田 耳 浪
 本 田 洋 子
 林 田 セツ子
 磯 部 克 己
 〃 〃 〃
 前 田 良 亮
 金 子 寛 勇
 小 山 〃
 〃 〃 〃
 森 本 仁 平
 〃 〃 〃
 河 内 登 国
 〃 〃 〃
 奈 良 柱
 比 田 井 仁 史
 〃 〃 〃
 高 原 栄 人
 豊 島 網 明
 平 野 哲 夫
 富 山 妙 子
 久 保 愛 浅
 彦 阪 〃
 〃 〃 〃
 奥 田 紘
 〃 〃 〃
 斎 藤 岩 男
 宋 英 玉
 〃 〃 〃
 脇 正 人
 石 田 貞 雄
 森 〃 健
 〃 〃 〃

魔見ぬ人 めぐりあい 東の浜辺(B) 東の浜辺(A) エトランゼ 若き理髪師 女たちの犬 三匹の犬 The hand No. 7 The hand No. 9 苦の島—仏桑華 苦の島—おんな 占凶 い く さ 1 らくがき、そし てどうするのだ 月夜の晩に 道 化 目 撃 者 口紅を塗る男 路上のピエタ 夜 カラーの時代 パテシバとダビ デ 作 品 No. 3 作 品 No. 8 叫 ぶ 片日のジャック 家系図0-1 片日のジャック 家系図0-3 浮遊する島 仏 桑 華 裸 (黒) 裸 (赤) じっと見ていろ なんてやつだ 帰えらぬ夏 花つけた女 窓に倚る鳥 もどかしき指 虚 構 実 証 食 卓 暗 い 季 節 女 の 座 男 の 座	品 市 村 力 神 田 千 里 山 本 鉄 男 山 下 弘 喜 兵 藤 寛 司 原 田 拓 大 沢 啓 三 安 藤 勲 鶴 飼 充 男 浦久保 義 信 沢 木 鈴 江 窪 田 且 佳 加 古 マツオ 竹 中 俊 一 藤 波 ちげん 森 田 亘 久 保 吉 氾 斎 藤 二 郎 大 和 良 輔 青 山 嘉 靖 伊 藤 和 子 藤 沢 喬 上 野 省 策 伊 藤 朝 彦 藤 林 叡 三 川 添 正次郎 西 八 郎 市 川 秀 光	歪形のある風景 赤坊のいる風景 椅子 子 不在 会 話 狂った時間 景 風 候 何 独 なる 人 孤 考 え 人 記 波 雲 録 青 し レ モ ン 平 和 宣 言 女 た ち 害 幽 ボ ス た ち 自動車と自転車 面 売 り 幻 影(川) 喪 服 の 花 嫁 静 彼 方 へ 言 証 魚 を 干 す 人 C A R 計 庄 力 計 黒 い 都 市 う ず く ま 肖 サーカスの女 少年の休 暇 人 肖 物 像 肖 夜 像 昼 ピ エ タ 大 行 進 B 民 話 風 化 記 憶 の 面 仮 が され る も の 街 角 行 進 私は阿処へ行く のか知らない 時計のある風景 休 日 土 の 記 録(1) 木 (Ⅲ)	大 野 修 浜 田 弘 康 調 弘 惣 男 灰 谷 正 夫 白 水 興 承 八 幡 健 二 川 上 茂 昭 佐 藤 孝 三 柿 手 春 久 小 関 恵 浩 河 合 良 浩 平 沢 一 憲 景 山 重 義 外 寄 佐 重 弘 小 野 昭 州 西 中 見 博 新 平 田 孝 高 木 邦 之 吉 見 敏 治 森 村 良 平 峰 田 茂 子 竹 生 節 男 西 井 義 晃 中 西 康 郎 松 野 康 子 川 上 十 郎 磯 野 新 次 矢 島 貞 男 西 さ だ 子 大 成 節 子 池 内 茂 吉 中 沢 洋 一 太 田 幸 雄 大 室 博 武 田 仁 守 中 村 三 恵	むしばむ(B) 風 蝕 都会の構図(A) ピアフラ(実証) 土 工 B 台 所 11 貌 家 雇 活 動 人 解 面 の 鎖 仮 び た 鎖 古 ナンセンストリ オ トリオサウンドズ お ン な I ひ と 街 共 同 保 育 の 子 ども たち ハ 彫 刻 「M 34」 「M-50」 DIANA 屈む女(ひと) S 嬢 裸 処 ? 何 バス・ストップ 岐 路 つ 立 手 を あ げ た ト ル ソ 少 年 I 少 年 II 若 い 女 A 若 い 女 B 母 と 子 国 境 Portrait of R. V. 「R. V の首」 N DONNA RO- MANA DISCORSO 座 像 鶴 さ ん 群 体 (海 の 陽) 群 体 (満 ち て く る も の) 想 面 仮 面	結 城 茂 平 出 雄 篠 爪 俊 彦 渡 辺 辰 吉 渡 辺 修 田 垣 内 愛 治 古 田 千 鶴 子 小 寺 照 久 佐 藤 弘 山 田 千 秋 坪 井 平 次 熊 谷 明 宏 亘 益 慧 竹 下 馨 江 原 和 足 は ら た は じ む 塩 谷 寿 久 中 谷 唯 一 伊 藤 誠 釣 青 木 上 信 道 井 上 宗 弘 鈴木 田 文 夫 池 佐 野 治 雄 垣 田 清 堀 野 寛 高 西 谷 富 士 西 村 清 隆 大 米 坂 ヒデノリ 二 森 駿 伊 藤 釣 赤 萩 賢 司 峯 上 玲 子 井 上 玲 子 安 藤 士 板 津 邦 夫
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

美術展覧会(10月)

餓鬼 島田忠恵
こわれゆく形態 中島一雄
No.4
Q 田島義明
和 富樫隆一
和 北村隆博
不 高橋昭五郎
変 吉村主税
虚ろな構え 安丸信行
潜在する世界へのメス
38回独立美術展 12-30 都美術館
会員出品目録
奥多摩の秋 山道栄助
湖畔の秋 今井憲一
昇天 今井憲一
ボンネット 中尾彰
山なみ 中尾彰
早春 中尾彰
マドリッドの裏 大久保泰
街
太陽の中のノートルダム
青空の十字 竹内晟誠
桜島 堀之内一
窓 辺 正雄
五箇山の秋 妹尾計介
奥日光の秋 志村計介
けし
花 伊藤彰一
札幌の街花 田中良二
白い花面 尾崎幸二
間 網谷幸二
凹 古賀猛
何故か 西山舜之助
蒼の記憶 A 山田栄二
海辺にて B 山田栄二
夜明け線 池島勘治郎
路窓の花 森通
夏 トリオ・ナンヤン
三人びえる 松本英一郎
燃える 針生鎮郎
炎 題 帆 三昧書
無満 経 三昧書
読 負 三昧書

変容の群 A 河尻隆次
変容の群 B 清水鍊徳
戸隠山 齋藤長三
霧ヶ峯 故海老原喜之助
秩父カス者 故宇根元 警
サカ 雨ふり 鳥
殉 雨ふり 鳥
人 雨ふり 鳥
川治いの町 松島正幸
流れと丘 鳥居敏文
カデイス 水島清雄
オータン日誌 小林数雄
二 岬 横地康国
海 光を求める人々 奥谷博
光を讀める人々 中津瀬忠彦
夜明け 三日月の詩 中間冊夫
蝶を追う 田植時 菊地精二
腰かける 老神父 山本正
うづくまる 少女 桜井寛
バチカン取材 ブルターニユーの森 松樹路人
骨のある静物 骨のある部屋 芝田米三雄
白い部屋 白い部屋 久保一
タイルの部屋 海を渡った人形 加藤陽六
サーカス (B) 加藤陽六
サーカス (A) 緑川広太郎
岩 仙 仙 小 林 和 作
仙 仙 仙 鈴 木 保 徳
仙 仙 仙 鈴 木 保 徳
西城の月 赤燈の秋 山 鈴 木 保 徳
山湖の秋 群と遊ぶ 乾燥花をいたわる女性 花帽子の裸婦 妖雲 巴里の花屋 池 巨木に群る鳥

ミモザとユウカリの谷間 斑目秀雄
サランジュのモンブラン 齋藤求
丘の家 午後ひととき 島村三七雄
舞妓集う A 舞妓集う B 中村節也
蜃気楼 調 高森明
魚カスベ・鳥 広瀬義男
無題 鈴木正教
REPETITION 70-15
REPETITION 70-16
変形された船型 重ねられた船型 作品(Work)-70
一
Fresh room manifesto 江添栄一郎
The room, Green coat street 富士本昇
形状 70-101 浅羽保治
形状 70-102 足達襄一
作 品 1 藤岡精一
作 品 1 空 月素
バジリカサンマルコ 胎史 二 森兵五
空 二 要 白野文敏
牛 森 下川都一朗
森 矢崎牧広
七島八島(高層湿原) 奥霧ヶ峯(高層湿原)
贈られた洋蘭 エトルタ 浅間山 石像 見 狭間 小原 稔
書 だろみ 朝

B カ フ エ 鳩 川 誠 一
A カ フ エ 小 原 雄 二
装 飾 古 墳 B 西 田 藤次郎
装 飾 古 墳 A 寺 島 穰
ナポリ海岸通り 齋 藤 研
サクレクール寺 坂 本 善 三
院 高 間 惣 七
M. X (X 氏 の 舞 台 の た め の ...)
M. X (2, 3 の タ ブ ロ ー)
悲しみの天使 芝 田 耕
人 間 空 間 李 田 たけを
流 動 大 坪 権 治
A 赤い鳥と黒い 高 間 惣 七
鳥 芝 田 耕
B 白と鳥と朱の 李 田 たけを
鳥 大 坪 権 治
都 会 芝 田 耕
北 国 抒 情 李 田 たけを
海に橋がかか 大 坪 権 治
った
海に橋がかかる 高 間 惣 七
という
「フラメンコ」横 仲 村 一 男
「フラメンコ」縦 赤 星 孝
イ ビ サ 松 藤 真 澄
し ら ん い 砂 田 友 治
群 像 A 砂 田 友 治
群 像 B 安 田 謙
載 甲 冑 式 安 田 謙
再びラマンチャ 山 田 貞 実
を出発する 齋 田 武 夫
茨 の 冠 今 井 信 吾
サーカス館 土 井 俊 泰
「窓」 三 浦 洋 一
仮 面 松 崎 真 一
飾 像 梶 内 忠 男
映 界 A 岡 村 芳 男
磁 界 B 沢 村 美 佐 子
影(ロ) 大 内 の ぶ 子
影(イ) 織 田 彩 子
信 州 小 諸 川 村 芳 男
千 曲 川 村 美 佐 子
カラーによる空 沢 村 美 佐 子
間映像 大 内 の ぶ 子
リ ズ ム 織 田 彩 子
ふ く ろ う 佐 川 敏 子
七 面 鳥 佐 川 敏 子
冬 の 日 木
裸 木

淵 (1) 桜 井 浜 江
淵 (2) 青 柳 春
月 夜 の 話 西 野 久 子
花 の な か え 松 島 鈴 子
太陽の下の1ベ ニー 荒 木 絢 子
天 赤 星 信 子
天 か ま き り 赤 星 信 子
樹 と 椅 子 高 須 鞆 子
赤 の 構 図 入 江 一 子
朱 の 構 図 水 野 恭 子
オアハカの秋 堀 口 千 鶴 雄
クウルナヴァ 和 気 史 郎
カの冬 井 上 寛 信
あ だ し 野 空 野 入 百 蔵
初 秋 米 原 二 郎
北 海 の 鳥 B 白 鳥 三 郎
北 海 の 鳥 A 来 栖 重 郎
山 頂 江 口 良
腰「おぼろ」 高 崎 文 夫
梵 森 崎 幸
燃える花 廣 瀬 通 秀
さいはての夢 齋 藤 紅 一
さいはての夢 森 崎 幸
市の群れ 廣 瀬 通 秀
市の人達 齋 藤 紅 一
シャトーガイヤ 森 崎 幸
ール 廣 瀬 通 秀
ビュイの塔 齋 藤 紅 一
渴いた静物 森 崎 幸
古い扉のある静 廣 瀬 通 秀
物 齋 藤 紅 一
風景 A 江 口 良
風景 B 高 崎 文 夫
蹟 (B) 森 崎 幸
蹟 (A) 廣 瀬 通 秀
暗い逐日 齋 藤 紅 一
追 想 森 崎 幸
寓 話 (1) 廣 瀬 通 秀
寓 話 (2) 齋 藤 紅 一
森の風景 A 森 崎 幸
森の風景 B 廣 瀬 通 秀
山口蓬春展 13-18 横浜高島屋
長森聰展 13-24 日本橋画廊
高松次郎アトリエ開放展 16-18
三鷹・高松次郎宅
SCULPTURE OUT IN 16-25
銀座・田島 (五十嵐芳三、池田
宗弘、大平隆洋、篠崎明男、土谷
武、中島一雄、森川昭、米坂ヒデ
ノリ)

矢柳剛個展 16-31 ポール・ギャ
ラリー
小出楢重展 17-28 日動画廊
出品目録
自 画 像 1912 油彩
自 画 像 1913 シ
銀 扇 1914 シ
少 女 像 シ シ
池 畔 初 夏 1915 シ
道頓堀の夕陽 シ シ
山 間 残 照 1918 シ
N 夫 人 像 シ シ
Nの家族(芸術 1919 シ
家の家族)
支那皿とリンゴ シ シ
風 景 1919頃 シ
お梅像(少女於 1920 シ
梅之像)
自 画 像 シ シ
秋 の 風 景 シ シ
裸婦立像(立て 1921 シ
る裸女)
バリ・ソンム 1922 シ
ラールの宿にて シ
窓 シ シ
カーニュ風景 シ シ
ピジャマを着た 1923 シ
る女
青衣の人形と黒 1923 シ
帽子のある静物
貝 殻 草 シ シ
卓 上 草 花 シ シ
喇叭のある静物 1924 シ
壁面装飾のため 1924 シ
の7枚の静物画
(草花静物)
壁面装飾のため シ シ
の7枚の静物画
(野菜静物)
壁面装飾のため シ シ
の7枚の静物画
(草花静物)
壁面装飾のため シ シ
の7枚の静物画
(野菜静物)
壁面装飾のため シ シ
の7枚の静物画
(草花静物)
壁面装飾のため シ シ
の7枚の静物画
(野菜静物)
壁面装飾のため シ シ
の7枚の静物画
(草花静物)
静 物 シ
静 物 シ
帽子を冠れる自 1924 シ
画像

美術展覧会(10月)

フランス人形	1925	シ
地球儀のある静物	シ	シ
街景	シ	シ
草花静物	シ	シ
裸女	1925頃	シ
裸女立像	シ	シ
蔬菜静物	1926	シ
腰かけている裸女	シ	シ
横臥裸婦	1926頃	シ
花(卓上の)	1927頃	シ
卓上蔬菜	1927	シ
草花静物	シ	シ
裸女結髪	シ	シ
帽子を冠れる自画像	1928	シ
横たわる裸女A	シ	シ
周秋蘭像	シ	シ
西瓜のある静物	シ	シ
卓上静物	シ	シ
雪景色	シ	シ
桃	1929	シ
卓上菜果	シ	シ
芦屋風景	シ	シ
裸女(3)	シ	シ
卓上蔬菜	シ	シ
支那寝台の裸女	シ	シ
婦人像	1930	シ
立てる人形	シ	シ
卓上の桃	シ	シ
海	シ	シ
六月の郊外風景	シ	シ
フランス人形…顔	シ	シ
人形の顔	シ	シ
枯木のある風景	シ	シ
盛装	シ	シ
前向きの裸女	シ	シ
室内裸身(立てる裸婦)	シ	シ
裸婦立像	1911	鉛筆
少女像	1914	グワッシュ
海	1914頃	パステル
江子島(大阪旧府庁舎)	1920	エッチング・着彩
パンション・エリクセンの窓より	ベン	
ノエルの夜店	1921	シ
僕の下宿	シ	シ
裸婦	1926	コンテ
裸婦	1928	墨

裸婦	シ	グワッシュ
裸婦	シ	コンテ
裸婦	シ	コンテ・淡彩
支那寝台に横たわれる裸婦	シ	コンテ
支那寝台の裸婦	シ	コンテ・淡彩
裸婦	シ	コンテ
支那寝台の裸女	1930	グワッシュ
アトリエ風景	シ	鉛筆・墨
奈良風景	1923	ガラス絵
臥せる裸女	シ	シ
裸婦	シ	シ
横浜開港と洋画の開花展 17-11月		
8 神奈川県立博物館		
出品目録		
ペリー来航から横浜開港へ		
公余探勝図(重文)・2巻	谷文晁・寛政5(1793)年	東京国立博物館
文政元年戊寅五月十四日夜相州浦賀ニ漂着異国船・1枚	文政元年(1818)年	横浜市図書館
文政五年壬午四月二十九日相州浦賀浦ニ渡来ノ諸危利亜海船図・1枚	文政5年(1822)年	横浜市図書館
文政五年五月五日浦賀ニ於ケル英国船・1枚	文政5年(1822)年	横浜市図書館
異国船取押方日記・1冊	弘化2年(1845)年	県立金沢文庫
弘化丙寅相州浦賀異国船渡来記・1冊	弘化3年(1846)年	県立金沢文庫
弘化三年米人ビッドル来朝之図・1枚	弘化3年(1846)年	横浜市図書館
弘化三年閏五月米国軍艦二隻浦賀渡来・1枚	下岡蓮枝年代不明	横浜市図書館
琉球浦賀異国船渡来風聞書・1冊	弘化3年(1846)年	神奈川県立博物館
弘化四丁未歳四月三浦郡浦賀港海岸見取図・1枚	弘化4年(1847)年	横浜市図書館
相州巡覧私記・1冊	弘化4年(1847)年	県立金沢文庫
浦賀御奉行所建方絵図・1幅	年代不明	神奈川県立博物館
西洋事情図解・1巻	嘉永3年(1850)年	神奈川県立博物館
豆州上総相州下総武州房州海陸御固場所附・1枚	嘉永6年(1853)年	神奈川県立博物館

海陸御固泰平鑑・1枚	嘉永6年(1853)年	神奈川県立博物館
御代泰平鑑・1枚	嘉永6年(1853)年	神奈川県立博物館
御貿易場・1枚	安政6年(1859)年	神奈川県立博物館
御貿易場・1枚	安政6年(1859)年	神奈川県立博物館
御貿易場・1枚	安政6年(1859)年	神奈川県立博物館
東海道神奈川在横浜御貿易場・1枚	安政6年(1859)年	神奈川県立博物館
東海道五拾三次之内神奈川(保永堂版)・大錦・横1枚	初代・広重 天保4(1833)年頃	神奈川県立博物館
本牧海上之二(伊勢屋版)・中判・横1枚	初代・広重 弘化2(1845)年頃	神奈川県立博物館
不二三十六景武蔵本牧海上(佐野喜版)・半切・横1枚	初代・広重 嘉永5(1852)年	神奈川県立博物館
富士三十六景武蔵本牧のはな(萬屋版)・大錦・縦1枚	初代・広重 安政5(1858)年	神奈川県立博物館
富士三十六景武蔵野毛横はま(萬屋版)・大錦・縦1枚	初代・広重 安政5(1858)年	神奈川県立博物館
横浜御開港地明細之図・1枚	高島計之・安政6(1859)年	神奈川県立博物館
安政六未夏神奈川表横浜御開港之正図・1枚	安政6(1859)年	神奈川県立博物館
神奈川港御貿易場御開地御役屋敷井町々寺院社地に至る迄明細大絵図にあらわす・1枚	一玉斎・安政6(1859)年	神奈川県立博物館
開港当時本町を主とした横浜町全景・1幅	万延元(1860)年頃	神奈川県立博物館
御開港横浜大絵図・1幅	橋本玉蘭・安政6(1859)年	神奈川県立博物館
御開港横浜大絵図2編外国人住宅図・1幅	橋本玉蘭・文久2年(1862)年	神奈川県立博物館
御開港横浜正景YOKOHAMA CHART・1枚	文之2(1862)年頃	神奈川県立博物館
横浜明細全図・1枚	一川・芳員・慶応4(1868)年	神奈川県立博物館
横浜明細之全図・1枚	橋本玉蘭・文久3(1870)年	神奈川県立博物館

横浜式覧之真景 橋本玉蘭 神奈川県
全・1幅 齊・明治 立博物館
4 (1871)
年

亜墨利加国条約並税則・1冊

英吉利国条約並税則・1冊

仏蘭西国条約並税則・1冊

魯西亜国条約並税則・1冊

和蘭陀国条約並税則・1冊

安政6 神奈川県
(1859)年 立博物館

横浜御免貿易場 安政6 神奈川県
明細書・1冊 (1859)年 立博物館

五ヶ町議定書連 安政6 神奈川県
判帳写・1冊 (1859)年 立博物館

御触書并願書控 安政6 神奈川県
・3冊 (1859)年 立博物館

横浜土産・5冊 五雲亭貞 神奈川県
秀・万延 立博物館
元(1860)
年

横浜みやげ・大 五雲亭貞 神奈川県
錦 横8枚 秀・万延 立博物館
元(1860)
年

黄金花・1冊 文久元 県立金沢
(1861)年 文庫

金川司鑑・1冊 文久元 神奈川県
(1861)年 立博物館

神奈川横浜弁覧 文久元 県立金沢
・1冊 (1861)年 文庫

横浜開港見聞誌 五雲亭貞 神奈川県
・3冊 秀・文久 立博物館
2 (1862)
年

珍事五ヶ国 横 南草庵松 神奈川県
浜はなし・1冊 柏・文久 立博物館
2 (1862)
年

横浜繁昌記・1 錦溪老人 神奈川県
冊 慶応年 立博物館
間か

西洋往来全・1 明治元 神奈川県
冊 (1868)年 立博物館

横浜八景詩画・ 梅花老人 神奈川県
1冊 ・明治 立博物館
2 (1869)年

黒船来航絵巻とベリーよりの献上品

金海奇観・2巻 嘉永7 早稲田大
(1854)年 学図書館

浦賀紀行図・1 嘉永7 長野市
巻 (1854)年

幕末京浜之景・ 嘉永7 神戸市立
4巻 (1854)年 蚕糸美術
館

米利幹船加奈川 嘉永7 徳川黎明
入津之図・1巻 (1854)年 会

黒船来航絵巻・ 嘉永7 神奈川県
1巻 (1854)年 立博物館

亜米利加船渡来 嘉永7 神奈川県
横浜之真図・1 (1854)年 立博物館

巻

亜米利加使節饗 応之図・1巻

米利堅船中燕席 嘉永7 長野市
歌舞図・1巻 (1854)年

横浜応接場警衛 嘉永7 長野市
隊布列図・1巻 (1854)年

モールス電信機 郵政省通
および実験図 信博物館

米軍墨西哥政侵 1851年・
図説・12枚 Carl
Nebel

横浜浮世絵

二代・広重 神奈川横浜一覽(金鱗
堂版)

万延元(1860)年閏3月大錦 3枚統

五雲亭貞秀 神名川横浜新開港図
(山口版)

万延元(1860)年2月大錦 3枚統

〃 横浜本町景港崎街新廓(山口版)

万延元(1860)年3月大錦 3枚統

〃 神奈川横浜港案内図絵(大黒屋
版)

万延元(1860)年7月大錦 3枚統

一勇斉国芳 横浜本町之図(泉市版)

万延元(1860)年4月大錦 3枚統

〃 横浜廓之図(版元名不明)

万延元(1860)年4月大錦 3枚統

五雲亭貞秀 横浜売物図絵 唐物店
之図(大黒屋版)

万延元(1860)年閏3月大錦 3枚
統

〃 横浜異人商館売場之図(佐野喜
版)

文久元(1861)年9月大錦 3枚統

〃 横浜異人商館座敷之図(森治版)

文久元(1861)年9月大錦 3枚統

〃 横浜商館仏蘭西人馬乗之図(大平
版)

文久元(1861)年正月大錦 縦1枚

〃 横浜商家紅毛人書認之図(大平
版)

文久元(1861)年正月大錦 縦1枚

〃 横浜港来亜墨利加商人旅行之図
(大平版)

文久元(1861)月正月大錦 縦1枚

〃 横浜港来商官魯西亜人之図(大
平版)

文久元(1861)年正月大錦 縦1枚

芳虎 武品横浜外国人遊行之図(山田
屋版)

文久元(1861)年正月大錦 3枚統

一恵齊芳幾 亜米利加国大船之図
(丸鉄版)

文久元(1861)年3月大錦 3枚統

五雲亭貞秀 横浜交易西洋人荷物運
送之図(山口屋版)

文久元(1861)年4月大錦 5枚統
一川・芳員 亜墨利加蒸気船(丸甚
版)

文久元(1861)年4月大錦 3枚統
一川・芳員 五国異人横浜上陸図
(遠彦版)

文久元(1861)年11月大錦 3枚統

五雲亭貞秀 横浜鈍宅之図(山口版)

文久元(1861)年2月大錦 3枚統

〃 五箇国人物行歩図(山口版)

文久元(1861)年3月大錦 3枚統

一川・芳員 神奈川権現山外国人遊
覧(泉市版)

文久元(1861)年2月大錦 3枚統

立祥 横浜繁栄之図(丸鉄版)

慶応元(1865)年9月大錦 3枚統

喜齊・立祥 武陽横浜一覽(金鱗堂
版)

慶応2(1866)年4月大錦 3枚統

一川・芳員 横浜港仏蘭西商館之図
(丸甚版)

慶応2(1866)年3月大錦 3枚統

三代・広重 横浜商館之図(伊勢屋
版)

慶応3(1867)年3月大錦 3枚統

喜齊・立祥 横浜高台英役館之全図
(師岡屋版)

明治2(1869)年頃大錦 3枚統

〃 横浜海岸通18番異人旅宿之図
(師岡屋版)

明治2(1869)年頃大錦 3枚統

芳虎 横浜海岸通之図(伊勢喜版)

明治3(1870)年8月大錦 3枚統

三代・国輝 横浜海岸通商館繁栄
之図(大國屋平吉版)

明治3(1870)年11月大錦 3枚統

三代・広重 蒸気車出発時刻貸金附
(若狭屋版)

明治5(1872)年11月大錦 3枚統

豊重 横浜ステーション之図(森本
版)

明治8(1875)年2月大錦 3枚統

〃 横浜新海地高島町鉄道之真景
(辻岡屋版)

明治8(1875)年2月大錦 3枚統

三代・広重 横浜郵便局開業之図
(報知村田蔵版)

明治8(1875)年大錦 3枚統

五雲亭貞秀 横浜鉄橋之図(丸甚版)

明治3(1870)年大錦 6枚統

松山 横浜名所一覽 時計台 県庁
(豊田版)

明治9(1876)年10月大錦 3枚統

チャールス・ワグマンとその周辺

〇チャールス・ワグマン

美術展覧会(10月)

広 東 風 景 安政5年 水彩・紙
(1858)
ジ ャ ン ク 安政5年 水彩・紙
(1858)
東禅寺浪士乱入 文久元年 水彩・紙
図 (1861)
或 る 女 文久元年 水彩・紙
(1861)~
文久3年
(1863)
下 仁 田 風 景 明治3年 水彩・紙
(1870)
神奈川県立博物館
新 潟 の 家 明治3年 油彩・麻
(1870) 布
東京国立博物館
街 道 明治5年 油彩・麻
(1872) 布
神奈川県立博物館
宿 場 明治5年 油彩・麻
(1872) 布
神奈川県立博物館
横 浜 街 頭 明治10年 水彩・紙
(1877)
神戸市立南蛮美術館
あ め 売 り 油彩・板
東京国立博物館
ワグマン夫人 油彩・麻
像 布
東京国立博物館
ワグマン夫人 水彩・紙
像 布
腰 越 風 景 油彩・板
東京国立博物館
小 女 像 油彩・麻
布
東京芸術大学
自 画 像 油彩・麻
布
東京芸術大学
日 本 婦 人 水彩・紙
東京芸術大学
箱 根 風 景 水彩・紙
富 士 遠 望 水彩・紙
七 里 ケ 浜 風 景 水彩・紙
O Bun San
神戸市立南蛮美術館
玉 川 水彩・紙
富 士 遠 望 水彩・紙
人 物 水彩・紙
室 内 水彩・紙
○五 姓 田 義 松
自 画 像(13才) 慶応3年 油彩・麻
(1867) 布
東京芸術大学

横 浜 婦 人 明治初期 油彩・麻
布
東京芸術大学
海 岸 神 奈 川 台 明治初期 油彩・紙
東京芸術大学
小 女 像 明治初期 油彩・麻
布
神奈川県立博物館
西 洋 婦 人 肖像 明治14年 油彩・麻
(1881) 布
東京芸術大学
I 氏 幼年時代の 明治15年 油彩・麻
像 (1882) 布
神奈川県立博物館
操 芝 居 明治16年 油彩・麻
(1883) 布
東京芸術大学
明 治 大 帝 淡彩・紙
東京芸術大学
ナイアガラ瀑布 明治22年 油彩・麻
の図 (1889) 布
御 物
田 子 浦 之 景 明治25年 油彩・麻
(1892) 布
御 物
○高 橋 由 一
花 魁 図 明治5(1 油彩・麻
872)年頃 布
東京芸術大学
岩 倉 具 祝 像 明治22・ 油彩・麻
3(1889~ 布
90)年頃
御 物
驟 雨 図 油彩・板
本 牧 風 景 油彩・麻
布
蔬 菜 図 油彩・板
(伝) 魚 図
大 久 保 利 通 像 明治14(1 油彩・麻
881)年 布
東京国立博物館
松 田 玄 々 堂 像 油彩・麻
布
神戸市立南蛮美術館
○山 本 芳 翠
西 洋 婦 人 像 明治15(1 油彩・麻
882)年 布
東京芸術大学
裸 婦 明治15(1 油彩・麻
882)年頃 布
佐野喜三郎肖像 明治18(1 油彩・麻
895)年 布
蔵島山紅葉之図 明治20(1 油彩・麻
887)年 布
御 物

琉球中城東門図 明治20(1 油彩・麻
887)年 布
御 物
○田 村 宗 立
果 蔬 図 着色・紙
東京国立博物館
東 山 風 景 明治初期 油彩・厚
紙
神奈川県立博物館
明 石 博 高 翁 像 油彩・麻
布
海 岸 風 景 図 屏 風 油彩
○小 林 清 親
猫 と ぶ ど う 油彩・麻
布
東京国立博物館
上 野 精 養 軒 着色
神奈川県立博物館
東京小梅曳船の 大 錦・版
図 画
神奈川県立博物館
巨木に鷲を狙う 大 錦2枚
銅 師 ・版画
○渡 辺 文 三 郎
多 摩 夕 照 図 水彩・紙
○渡 辺 幽 香
房 州 根 本 海 岸 明治30(1 油彩・麻
897)年 布
○初代五姓田芳柳
明治 天 皇 御 影 明治6(1 着色・絹
873)年 明治神宮
西 南 戦 役 大 阪 臨 明治10(1 着色・絹
時 病 院 877)年
東京芸術大学
明治 天 皇 傷 病 兵 明治10(1 着色・絹
慰 問 877)年 靖国神社
○二代五姓田芳柳
明治 天 皇 二 重 橋 油彩・麻
御 発 車 布
東京国立博物館

資料編

蕃書調所
川 上 冬 崖
冬 崖 画 帳 (江戸末 着色・紙
期)
ナポレオン像図 (江戸末 着色・紙
期)
草 花 写 生 (江戸末 着色・紙
期)
来 信 着色・紙
ラ ジャ メ ン 図 着色・絹
ろ びんせんひょうこうきりやく
魯敏孫漂行紀略 (安政4年)
・口絵3枚・冊子
典 地 誌 略 (明治3 13冊の内
~13年) 6冊

西画指南(明治4・2冊
＜前編＞)

神奈川県立博物館

風景(明治初期)

東京国立博物館

○高橋由一

臨写法講義 東京芸術大学

着色画略説 東京芸術大学

◇チャールス・ワグマンとその周辺

Capital of the Tycoon

1863年 東京大学図書館

Illustrated London News

1864年—'66年 東京大学史料編纂所

1867年 早稲田大学図書館

1877年 国立国会図書館

The Japan Punch

1865年・1866年 神奈川県立博物館

1884年—'86年 横浜市図書館

Punch

1841年・1862年 東京芸術大学

イーゼル(ワグマン使用)

東京芸術大学

高橋由一油絵資料 東京芸術大学

五姓田義松書簡(明治14年)

シ (明治16年)

シ (明治23年)

シ ＜仏文＞

奉歎願上候口上書(明治13年)

芳柳より義松洋行に際しての意見書

(明治13年頃)

洋画修学規則(明治37年)

五姓田義松略歴(大正3年)

初代芳柳略歴 神奈川県立博物館

初代芳柳写生帳 神奈川県立図書館

二代五姓田芳柳 横浜弁天通近火の

時 水彩・紙 神奈川県立図書館

団々珍聞(小林清親挿絵)

明治18年 神奈川県立博物館

◇工部美術学校

○アントニオ・フォンタネージ

1818年—1882年

不忍池図

東京国立博物館

明治10(1877)年前後 油彩・麻布

デッサン(工部美術学校時代)

東京国立博物館

北海道秀作美術展(3回) 18—11

月3 北海道立美術館

坂本文男個展 19—24 樺画廊

10周年記念展 19—24 昭和画廊

(糸園和三郎、牛島憲之、香月泰

男、里見勝藏、鈴木信太郎、野間
仁根、仲田好江)

小林正治展 19—25 夢土画廊

ピカソ版画展 19—31 フジテレビ
ギャラリー

若尾和呂個展 19—31 南画廊

中津瀬忠彦展 20—26 日動サロン

白根光夫滞欧作品展 20—30 丸の
内サエグサ画廊

画廊文化学院開設記念展 20—31

画廊文化学院 (有馬生馬、中川
紀元、熊谷守一、裕伊之助、梅原
龍三郎、木下義謙)

9回国際形象展 20—11月1 三越

山崎猛彫塑個展 22—28 茗番館画
廊熊谷守一展 24—11月23 神奈川県
立近代美術館

新興展 25—31 日本美術協会

創展(4回) 26—11月1 都立大手
町産業会館

70年会油絵展(1回) 26—11月1

文芸春秋画廊

現彫展(1回) 26—11月2 現代彫

刻センター(岩野勇三、桑原巨守、
加藤昭男、橋本堅太郎、長江録弥、
神戸武志、四田昌二)

岩田栄吉油絵展 27—11月1 三越

ハンリアル展(28回) 27—11月5

京都市美術館

岩崎鐸個展 27—11月7 ギャラ
リー・おかべ宇治山哲平展 29—11月7 茗番館
画廊

棟方志功板業展 30—11月4 東急

11 月

昭和会受賞作家展(2回) 1—15

日動画廊

2回日本美術展 1—12月6 都美
術館

会員受賞者目録

日本画

カンガルー 入江 西一郎

人 魚 田 島 なす美

ネパールの牛 長谷部 日出男

樹 蒼 大 島 秀 信

自 転 車 土 屋 礼 一

奥の丹波路 宇 田 裕 彦

暮 色 佐 藤 岡 夫

湖 或る会話

沖 縄 の 節 句

閑 照 の 浜

残 緑 の 雨

浄 晨 嶼

島 ハーロとセイン

ト 潮 家 映

晨 沖 縄 の 山 池

翠 宵 火 望 知 秋 夏 竈 獅 寥

高 荒 沼 初 椅 雪 飛 煉 早 浴(印度ベナレ

山 磯 寺 海 故 中 小 川 森 東 加 森 寺 岩

夏 の 森 上 城 驛 朝 蝶

子 の 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

の 森 上 城 驛 朝 蝶

関 堂 本 元 次 税

浜 田 山 東 一 児

村 藤 太 清 徑

加 佐 山 忠 作 一

大 嶋 谷 自 然 彦

嶋 村 松 乙 彦

曲 子 光 男

川 崎 鈴 彦

中 野 島 青 玄

野 杉 原 木 竹 人

杉 鈴 山 岸 純 柏

川 本 末 雄 子

三 谷 栗 口 華 楊

小 山 池 田 遙 邨

宇 中 小 川 崎 田 小 沙 伊

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

野 崎 田 山 魁 夷 三

村 崎 田 山 魁 夷 三

池上高地	摩深遊立北	靜霧秋山須湧	蛟響富緑草	午火駒	バ	松氷千	アテ	伊今	寂暖	又聖母	水	を運ぶ	パール	鯉夜	暗	周	アツ	爽	河	田	戸	夏	叢	月	瓦																															
周	の	苦	西	湖陰	原后	原岳	子	瀟湖	草	朝	吹雪	冬	樹	晴	林	丘	内	秋	畔	女	隱	日	樹	職																																
雪春	泉光	幟子	爽夫	興生	義夫	昭宋	寧雄	平二	生	明雄	克彦	郎克	一樹	臣生	夫	夫	雄	吾	觀象	成山	寛	珠	明子	川	夫	兄	正	正	吉	雄																										
映秀	慶詔	緋澄	道俊	一義	元	英良	健東	志達	幸	春吉	知圭	茂文	長正	和辰	申	萬錦	鉄	桑晨	正	新	正	昇	孝	和	広	將																														
鳥石	田	山	原	橋	田	宮	村	川	木	保	田	山	山	輪	合	井	塚	本	辺	府	崎	口	本	野	光	野	葉	田	井	山	田	根	山	野	陀	藤	藤	代	野	名	田	田	村	根												
白立	水	東	尾	梶	高	池	大	野	石	高	下	奥	杉	西	三	河	室	大	福	渡	国	川	山	山	谷	黒	沢	秋	浦	加	高	山	浜	羽	島	矢	米	遠	加	田	西	海	浜	藤	稻	木	関									
湖畔	湖	雪	秋	女	浦	物	陽	池	提	湖陰	原后	原岳	子	瀟湖	草	朝	吹雪	冬	樹	晴	林	丘	内	秋	畔	女	隱	日	樹	職																										
香畔	奏景	女景	祭	麓	服	屋	の	丹	花	日	女	像	船	海	物	物	仔	風	な	風	ト	女	内	柱	愁	日	遠	丘	う	体	初	秋	庭	朝	鏡	ダン	サー																			
洋	地	子	外	王	妙	高	山	部	の	牡	椿	の	を	する	の	静	親	子	な	風	ト	女	内	柱	愁	日	遠	丘	う	体	初	秋	庭	朝	鏡	ダン	サー																			
清湖	庭	独	高	椅	窓	齋	残	雪	緑	静	モ	丘	芸	百	夏	編	翔	坐	滯	鷄	庭	北	秋	静	陽	朝	ア	ラ	ベ	ス	ク	ジ	人	灯	室	岩	シ	ヤ	ル	ト	ル	の	柱	愁	日	遠	丘	う	体	初	秋	庭	朝	鏡	ダン	サー
伊西	辻	庄	笹	南	橋	井	高	高	杉	西	森	新	内	松	篠	寺	高	清	伊	日	井	藤	上	常	由	時	宮	根	寺	伊	川	阪	藤	口	倉	尾	津	領	部	島	野	瀬	上	頭	木	下	道	保	久							
藤山	司	岡	原	手	田	光	村	村	田	保	山	永	崎	島	橋	規	矩	啓	正	耕	之	和	獎	蕪	昶	明	彦	進	敬	雄	正	男	暢	積	雄	郎	鈞	郎	三	治	郎	永	馬	則	繁	郎	次									
清真	利	榮	了	政	健	宣	一	慝	兵	次	孝	郎	夫	一	規	祐	和	獎	蕪	昶	明	彦	進	敬	雄	正	男	暢	積	雄	郎	鈞	郎	三	治	郎	永	馬	則	繁	郎	次														
伊西	辻	庄	笹	南	橋	井	高	高	杉	西	森	新	内	松	篠	寺	高	清	伊	日	井	藤	上	常	由	時	宮	根	寺	伊	川	阪	藤	口	倉	尾	津	領	部	島	野	瀬	上	頭	木	下	道	保	久							
香畔	奏景	女景	祭	麓	服	屋	の	丹	花	日	女	像	船	海	物	物	仔	風	な	風	ト	女	内	柱	愁	日	遠	丘	う	体	初	秋	庭	朝	鏡	ダン	サー																			
洋	地	子	外	王	妙	高	山	部	の	牡	椿	の	を	する	の	静	親	子	な	風	ト	女	内	柱	愁	日	遠	丘	う	体	初	秋	庭	朝	鏡	ダン	サー																			
清湖	庭	独	高	椅	窓	齋	残	雪	緑</																																															

山	遊	ぶ	奈	良	夫	法	寺	門	女	刑	部	人	作	は	品	か	真	海	藤	德	郎
夕	観	音	堀	岡	治	室	内	の	物	安	宅	雄	空	青	い	B-70	齋	本	吉	太	郎
晚	日	秋	山	井	彦	静	隆	け	海	高	橋	男	蕪	は	風	風	橋	野	堅	郎	郎
清		韻	藤	田	子	夜	明	の	た	鈴	木	三	女	い	角	平	西	山	敬	吉	三
秋		霖	桜	下	一	ス	ペ	か	か	藤	江	郎	華	乙	女	阿	村	戸	勇	藏	基
冬		(最上)	真	谷	徹	け	イン	湖	畔	溝	江	二	葦	年	話	瀬	野	永	房	正	象
川		の	深	木	重	ス	雪	川	秋	鶉	飼	義	若	の	譜	富	島	藤	団	団	樹
カ		涼	舟	松	利	ニ	の	ベ	日	壠	田	郎	1	春	I	木	国	月	直	延	幸
丘		窓	搏	沼	巖	カ	少	キ	景	木	見	子	沈	サ	秀	伊	山	山	芳	慶	雄
夜		港	大小	川	史	ディ	ツ	リ	猫	所	田	正	対	度	風	三	崎	池	慶	義	一
目		二	村	田	蔵	ン	迫	早	架	吉	谷	次	青	の	女	柚	坡	坂	志	辰	郎
漁		・	中	延	彦	に	る	海	年	山	河	慶	印	精	精	片	野	藤	藤	一	郎
CIRQUE		黒	新	崎	次	追	石	残	丘	戸	上	一	潮	空	空	辻	村	塚	健	判	政
出		船	岡	代	郎	雪	打	カ	ー	石	島	男	冬	像	群	宮	内	紫	判	輝	礼
椅子		人	足	子	衛	色	柵	ス	春	手	方	貢	響	和	年	小	野	村	枝	小	秀
千		明	金	田	生	祭	街	第	町	棟	測	功	蒼	が	れ	矢	塚	内	枝	枝	郎
女		黒	飯	嶋	吾	花	版	九	ほ	馬	中	聖	布	後	空	大	野	内	太	郎	郎
白		卓	幸	山	七	ある	原	輪	柵	田	泉	江	の	女	周	石	崎	野	素	寛	次
説		書	益	代	郎	雪	娘	N	祭	酒	掘	淳	平	つ	頂	木	谷	本	寬	宣	信
高		原	田	沢	蔵	た	列	大	M	田	谷	実	海	の	雲	羽	野	崎	太	郎	郎
サ		蘇	柳	池	晃	月	祭	山	氏	荒	破	進	青	が	後	岸	熊	中	昂	一	郎
阿		燈	菊	原	男	正	人	高	民	上	古	之	道	つ	空	小	橋	星	宣	信	夫
若		町	日	通	一	人	の	農	彫	不	川	農	横	の	女	佐	本	野	秀	良	助
煌		J	平	田	雌	詩	氏	像	塑	古	齋	章	な	山	頂	花	里	垣	武	晋	六
ス		天	松	橋	甫	四	年		惑	北	後	弘	髪	命	祥	中	太	木	武	嘉	多
雪		道	高	永	榮	太	つ		Ⅲ	吉	山	郎	浴	の	風	太	木	佐	古	大	中
広		園	武	鶴	治	春	志		代	長	神	衛	大	き	女	須	賀	村	田	船	水
坂		色	鶴	田	郎	義	み		い	倉	川	芳	立	ぎ	性	花	里	垣	下	藤	川
野		門	鶴	高	秋	一	海		女	持	崎	照	自	品	A	中	太	木	古	大	石
秋		中	鶴	松	海	郎	影		年	崎	川	三	洋	67-	婦	大	石	水	黒	清	蛭

沙然	汀れ	堀古中	進忠	二雄	バ砂	レエ	の女	高小	橋森	剛夫	夏花	山貝	市鴨	川賀	通政	三雄
自絡	に	古中	賀川	雄清	東陽	(た	丘る)	鈴石	木田	弘至	瓶魚	と鳥	鳴浜	賀須	達松	也園
望女	薩	進佐	間藤	弘松	明女	へ	の語	古円	賀鏗	高規	蠟型	象晨	須佐	藤本	正美	己茂
女菩	の	矩山	木本	樹成	K天	に	き	赤雨	堀宮	平子	造器	館翔	寺村	田坪	吉重	生周
久謚	む	山安	三民	二郎	虹焦	土	行く	佐坂	藤敏	重道	し	志極	大会	井口	富秀	康雄
屈謚	立	分浅	周順	治雄	蕊立	(ずい)	女	坂山	垣塊	男記	の意	柏鳥	春日	石木	晴朴	朗景
裸精	立	難草	孫次	三郎	想裸	立	像	長能	征弘	二行	の品	70%	野明	村保	久子	忠子
女母	子	杉松	宗喜	一郎	脱容	も	で	渡宮	寅三	彦郎	鎮魂	歌ス	榎西	坂山	辰白	治汀
青一	春	長谷	喜三	昂夫	女翔	い	像	浜岡	三静	郎朋	「漆ミ	ノ	大板	川村	泰光	蔵哉
踐明	日	横堤	文達	夫男	お立	子	B	岡親	治良	毅夫	流圓	舞水	横皆	西若	光忠	夫弘
髪天	子	溝高	鎮広	太吉	喜牛	工芸	針	叔遠	三治	諺郎	朝幻	動池	中大	堂浦	佑憲	一生
念鳥	ル	市遠	松静	司三	母	ロビー	韻	坂雨	良	秀德	風ビ	彩映	般中	田田	景美	郎史
思母	一	佐長	孝喜	昭治	子	千仏	の	西安	西川	三実	馬流	彩石	三飯	佐川	竹月	行華
念テ	く	中田	喜代	邦郎	工芸	緑翼	針	可西	谷重	一利	染化	飛東	岸帖	橋治	節	正郎
佇妖	(2)	尾山	新八	堂来	の韻	想羅	律韻	小三	吾重	仲三	東飛	翔祖	皆高	崎鹿	覺	太華
虹歩	遊	原富	朝繁	明朗	の韻	葉黑	韻	藤越	健泰	明司	織錦	始祖	佐山	山	光	典
宙組	と(B)	松立	義義	朗瑞	鳥容	黑爽	韻	森浮	武友	彦之	「人間	11の	番山	浦脇	省洋	吾二
望連	之	得池	節瑠	庸田	ろほ	漕陽	韻	安今	友政	造之	羽化	夜幡	横青	山木	猛一	夫夢
思初	品	宮中	光青	尚忠	曲屏	人ほ	韻	河龜	友政	之春	青金	・因	東木	端母	滋真	芳簪
青作	1970	館杉	弘	忠郎	二み	は蒼	韻	小加	友政	之春	の白	ぐ大	寺來	石野	正正	一作
視遙		今綿	国司	淳男	70風	瑞二	韻	堀角	友政	之春	青金	の空	結叶	城東	月哲	乙雄
殘思		雨野	一博	直二	風景	瑞二	韻	尾広	友政	之春	の空	の朝	故故	田東	光陶	夫山
壺折		中木	圭金	剛光	「蒼い	二み	韻	井松	友政	之春	の空	の朝	故故	田東	醇一	郎久
幻清		和藤	天政	廣之	系譜	二み	韻	大亀	友政	之春	の空	の朝	故故	田東	久	夫利
長波		沢松	尚正	信三	「蒼い	二み	韻	張松	友政	之春	の空	の朝	故故	田東	久	夫利
渚楽		北円	勝	三	系譜	二み	韻	小	友政	之春	の空	の朝	故故	田東	久	夫利

美術展覧会(11月)

[illegible]

美術展覧会(11月)

風景Ⅰ油	彩	ラム クマール	
風景Ⅱ	シ	シ	
風景Ⅲ	シ	シ	
異様な宴会	シ	レッドイ、P. T.	
気まま放題	シ	シ	
私に御用心	シ	シ	
食 事	シ	シ	
無 題	シ	サントシユ、G. R.	
無 題	シ	シ	
無 題	シ	シ	
タンダヴァ	シ	スワミナタン、J.	
素 描 イ ン ク	シ	シ	
麻生三郎・糸園和三郎・野見山暁治三人展	4—14	みゆき画廊	
高山登個展	4—14	ウォーカー画廊	
戸村浩展	7—19	南画廊	
土井邦晃新作油絵展	9—14	兜屋画廊	
昆野恒作品展	9—14	ときわ画廊	
加藤登美子個展	9—14	ち番館画廊	
山本貞雄遺作展	9—15	文芸春秋画廊	
エルンスト・フックス展	9—21		
青木画廊			
岡信孝個展	10—15	高島屋	
金重陶陽遺作展	10—15	松坂屋	
江戸の服飾展	10—12月20	徳川美術館	
幻想の日本画展	12—12月2	芸術生活画廊(池田幹雄、石踊絃一、石黒直子、大島哲以、工藤甲人、近藤弘明、佐々木裕久、佐藤昌美、下田義寛、館岡豊照、中島千波、橋本龍美、平川敏夫)	
サロン・ド・ジュアン展	13—18		
椿近代画廊			
レアリティ展(8回)	13—21	日動サロン	
岸田劉生展	14—12月8	小田急	
出品目録			
油彩・水彩・素描			
草 花	油彩	1909. 5. 1	
冬の日(虎の門馬政局風景)	シ	1909. 12. 11	
人体デッサン	素描	1910. 11. 5	
		多摩文華館	

〔銀座風景〕	油彩	1911.	
築地居留地	シ	[1911.]	
夕 陽	シ	1912. 1. 29	
虎の門風景	シ	1912. 3. 9	
外套着たる自画像	シ	1912. 3. 27	
少 女 像	シ	1912. 5. 2	
築地居留地風景	シ	1912. 6. 19	
築地明石町	シ	1912.	
斎藤与里氏像	シ	1913. 4. 8	
バーナード・リーチ氏像	シ	1913. 5. 12	
東京国立近代美術館			
千家元磨像	シ	1913. 6. 19	
裸 婦	シ	1913. 8. 16	
ブリヂストン美術館			
自 画 像	シ	1913. 9. 11	
自 画 像	シ	1913. 10. 3	
自 画 像	シ	1913. 10. 14	
自 画 像	シ	1913. 11. 5	
自 画 像	シ	1913. 12. 25	
自 画 像	シ	1914. 1. 26	
武者小路実篤像	シ	1914. 3. 12	
自 画 像	シ	1914. 4. 9	
芝川照吉氏像	シ	1914. 5. 3	
椿君に贈る自画像	シ	1914. 5. 8	
自 画 像	シ	1914. 5. 20	
南瓜を持てる女	シ	1914. 7. 7	
エターナル・アイドル	シ	1914. 11.	
椿君の肖像	シ	1915. 2. 27	
赤 土 と 草	シ	1915. 6. 18	
代々木附近の赤土風景〔代々木附近〕	シ	1915. 10. 15	
多摩文華館			
切通しの写生	シ	1915. 11. 5	
多摩文華館			
大崎附近〔目黒に於ける土の写生〕	シ	1915. 11. 24	
高須光治君之肖像	シ	1915. 12. 22	
冬の屋上の道	シ	1915. 12. 23	
風景(上 水)	シ	1915.	
代々木山谷の路傍	シ	1916. 3. 25	
古屋君の肖像(草持てる男の肖像)	シ	1916. 9. 10	
林 檎 三 個	シ	1917. 2.	
鶴 沼 風 景	シ	1917. 4. 21	

初夏の小路	シ	1917. 5. 17	
静物(ビンと茶碗と林檎一個)	シ	1917. 6. 22	
静物(青布と林檎四個)	シ	1917. 9. 15	
晩秋の霽日	シ	1917. 11. 15	
静物(赤き林檎二個とビンと茶碗と湯呑)	シ	1917. 11. 19	
義 母 之 像	素描	1917. 11. 30	
川幡正光氏之肖像	油彩	1918. 1. 13	
静物(白き花瓶と台皿と林檎四個)	シ	1918. 4. 12	
手を描き入れし静物(カーテンのある)	シ	1918. 5. 8	
薬 之 像	素描	1918. 10. 15	
村 娘 の 図	水彩	1919. 2. 2	
麗 子 像	素描淡彩	1919. 3. 19	
村娘之図〔正面之村娘〕	素描水彩	1919. 4. 13	
村 娘 之 図	素描淡彩	1919. 4. 21	
麗 子 像	シ	1919. 4. 21	
村 娘 之 図	シ	1919. 6. 1	
京都スケッチ	油彩	1919. 6. 11	
麗子坐像(絞りの着物)	シ	1919. 8. 23	
麗 子 像	素描水彩	1919. 12. 18	
麗 子 坐 像	水彩	1920. 2. 3	
麗 子 立 像	シ	1920. 2. 25	
麗 子 之 像	素描淡彩	1920. 2. 28	
静物(赤林檎三個・茶碗・ブリキ罐・匙)	油彩	1920. 3. 27	
大原美術館			
早春之一日	シ	1920. 3. [27]	
初夏の麦畑と石垣	シ	1920. 5. 30	
六 月 風 景	シ	1920. 6. 1	
村娘於松坐像(村娘於松之像)	シ	1920. 6. 12	
麗子坐像(麗子肖像)	素描淡彩	1920. 8. 21	
麗 子 裸 像	水彩	1920. 8. 31	
自画像(画家三十歳之自画像)	素描淡彩	1920. 10. 17	
村 娘 図	水彩	1920. 10. 18	
肩掛麗子(麗子坐像)	素描淡彩	1920. 11. 7	

美術展覧会(11月)

麗子立像(麗子微笑之立像) 水彩 1921. 4. 3
 童子像(信行之像) 油彩 [1921. 7. 13]
 童児肖像 水彩 1921. 7. 26
 童女像(麗子花持てる) 油彩 1921. 9. 26
 麗子洋装(青果持テル) 水彩 1921. 9. 30
 麗子微笑(青果持テル) 油彩 1921. 10. 15
 東京国立博物館
 紫色毛糸洋服着たる麗子坐像 水彩 1921. 11. 1
 支那服着たる妹照子之像 油彩 1921
 童女立像(麗子住吉詣之立像) 水彩 1922. 2. 20
 河野君肖像(河野通勢画兄之像) 素描 1922. 2. 23
 神奈川県立近代美術館
 童女飾髪図(三人麗子飾髪図) 油彩 1922. 3. 21
 窓外早春 水彩 1922. 3. 30
 麗子微笑 水彩 1922. 3. 30
 麗子肖像(麗子微笑) 油彩 1922. 7. 9
 [窓外夏景] 水彩 [1922. 7. 13]
 麗子肖像(正面図) 水彩 1922. 11. 2
 1925. 1. 14 補筆
 芝居絵・鯉坊主 水彩 1922. 11. 16
 芝居絵・大安寺堤(観劇図) 水彩 1922. 11
 三人麗子 素描 [1922]
 花籠(竹籠含春) 油彩 1923. 4. 9
 童女図(麗子立像) 水彩 1923. 4. 15
 童女像(麗子像) 水彩 1923. 12. 22
 籠 椿 水彩 1924. 5. 17
 冬日小閑 水彩 1924. 11. 27
 蕉 図 水彩 1925. 1. 14
 近藤医学博士之図 水彩 1925. 3. 20
 神奈川県立近代美術館
 舞伎図(舞妓里代之像) 水彩 1926. 1. 28
 蕉 図 水彩 1926. 2. 28
 京都祇園舞妓之像 素描 1926

静物(ギヤマン皿に苺・椿・冬瓜) 油彩 1928. 3.
 静物 水彩 1928. 3.
 岡崎義郎氏之肖像 水彩 1928. 5. 11
 薔薇 水彩 1929. 1.
 パインアップル 水彩 1929. 5.
 静物(赤絵水差し・栗・柿) 水彩 1929.
 満鉄総裁邸の庭 水彩 1929. 11.
 大連星ヶ浦風景 水彩 1929. 11.
 路傍秋晴(大連風景) 水彩 1929. 11.
 徳山風景 水彩 1929. 12. (絶筆・未完)
 鶴沼風景 水彩 不詳
 麗子 素描 不詳
 画家の妻 油彩 1914. 11. 16
 妹照子の像 水彩 1913. 8. 13
 六彫展(1回) 16—28 現代彫刻センター(菊地一雄、佐藤忠良、高田博厚、舟越保武、本郷新、柳原義達)
 小堀鞆音展 18—27 東京芸大正木記念館
 横堀角次郎・長岡忠三郎二人展 20—25 小田急
 鍋井克之展 21—30 梅田画廊
 勝本富士雄展 21—12月8 フジテレビギャラリー
 大東読書展(7回) 24—28 中央公論画廊
 鍋木清方個展 24—29 三越
 中村岳陵回顧展 24—29 三越
 出品目録
 仏 誕 明治45年 軸
 薄 暮 大正4年 水彩
 輪廻物語絵巻 水彩 10年 巻 子
 貴妃賜浴 昭和2年 屏 風
 白 狗 水彩 4年 水彩
 牡鹿啼く 水彩 5年 水彩
 鉢かつぎ草紙 水彩 6年 巻 子
 婉膩水韻 水彩 9年 屏 風
 砂 丘 水彩 11年 屏 風
 豊 幡 雲 水彩 12年 水彩
 砂 浜 水彩 15年 巻 子
 肇 国 絵 水彩 17年 屏 風
 緑 影 水彩 25年 額
 気 球 揚 水彩 額
 孫 水彩 額

軍 鶏 水彩 28年 水彩
 鉄 線 花 水彩 29年 水彩
 金 魚 水彩 30年 水彩
 雪 晴 水彩 31年 水彩
 月 明 水彩 32年 水彩
 嘉 例 水彩 33年 水彩
 四天王寺金堂壁画下図 水彩 35年 水彩
 仏 誕
 出 城
 降 魔
 初転法輪
 涅槃
 花 菖 蒲 昭和36年 額
 清 曉 水彩 水彩
 残 照 水彩 水彩
 風 濤 水彩 37年 水彩
 郷子刀自像 水彩 38年 水彩
 海添ひの丘 水彩 水彩
 雨 霽 水彩 39年 水彩
 曙 の 海 水彩 水彩
 山 湖 雨 情 水彩 40年 水彩
 春 月 水彩 水彩
 磯 柳 水彩 水彩
 春 漫 の 春 水彩 41年 水彩
 爛 漫 の 春 水彩 水彩
 山 湖 見 ゆ 水彩 水彩
 晴 れ し 海 水彩 水彩
 那 智 神 瀧 水彩 42年 水彩
 香 魚 水彩 水彩
 江 頭 黎 明 水彩 水彩
 静 韻 水彩 水彩
 朝霧の那智御山 水彩 43年 水彩
 明けゆく巖島 水彩 水彩
 光 峰 明 月 水彩 水彩
 峻 峰 溪 声 水彩 44年 水彩
 裾 野 の 朝 水彩 水彩
 天 壇 内 廊 水彩 水彩
 濃雲雨意(絶作) 水彩 水彩
 (絶 筆) 水彩 水彩
 ル・コルビュジェ展 25—12月10
 麻布画廊
 ベリクレ・ファッツィーニ展 25—
 12月19 ギャラリー・ユニバース
 榎戸庄衛個展 27—12月24 第七画
 廊
 国際墨画展 28—12月4 日本美術
 協会会館
 12 月
 八木一夫展 1—6 伊勢丹

美術展覧会(12月)

上原卓個展 1—6 高島屋
進藤蕃展 4—9 京王梅田画廊
粲々会彫刻展(10回) 4—9 東急
近代美術協会展(7回) 5—11 日
本美術協会会館
山本日子士良個展 7—12 銀座ヤ
マト画廊
小紋章子個展 7—12 壺番館画廊
佐藤照雄個展 7—13 文芸春秋画
廊
上矢津展 7—26 芸術生活画廊
難波田史男個展 7—26 東邦画廊
里見勝蔵油絵展 8—13 三越
岩崎鐸作品展 8—13 三越
佐藤真一個展 8—13 兜屋画廊
小松崎邦雄個展 8—14 高島屋
退官記念岩橋英遠展 8—15 東京
芸大正木記念館
大森啓助歌舞伎絵展 9—15 ギャ
ルリ・アルカンシエル
日本洋画壇新鋭 100人展 10—17
大丸
大潮会展(34回) 10—26 都美術館
東京国際版画ビエンナーレ展(7回)
10—46年1月24 東京国立近代美
術館

出品目録

アルゼンチン

- チエサ, ノルベルト
弾丸の鋳型を持つ自画像 1970
シルクスクリーン
命中 1970 シルクスクリーン
- デミルヒアン, ホルヘ
頭 1969 リトグラフ
“6728” 1969 リトグラフ
- ロベス=アナジャ, フェルナンド
幾何学的空 1969 エッチング
幾何学的な花 1970 エッチング
- マッジオ, ロムロ
記録 1970 シルクスクリーン
無名団体 1970 シルクスクリー
ン
- ボルテル, リリアナ
こぼれとしわ 1 1970 シルク
スクリーン
こぼれとしわ 2 1970 凸版、
シルクスクリーン

オーストラリア

- リーチ=ジョーンズ, アラン
ある晴れた日に 1969 シルクス
クリン
星群 1969 シルクスクリーン
- センバークス, ジャン
丘 1970 シルクスクリーン
舞台を愛せ 1970 シルクスクリ
ーン

オーストリア

- ホルツァー, アディ
蜃気楼(「ドン・キホーテ」より)
1970 シルクスクリーン
キリスト(「聖書」より) 1970 シ
ルクスクリーン
- レームデン, アントン
段形ピラミッド 1969 エッチン
グ
骨の広野Ⅱ 1970 エッチング
- ムール, ゴットハルト
脱落 1970 アクアティント、エ
ッチング
かたつむり 1970 アクアティン
ト、エッチング
- ジュティフター, ウォルフガング
オルビス・ビクトゥス—展開
1969 エッチング
殉教者シリーズ—石打ちの刑
1969 エッチング

ベルギー

- アレシンスキー, ビエール
人口統計学問題 1969 リトグラ
フ
生きているコブラ 1969—70 エ
ッチング、リトグラフ
- バステルナーク, モーリス
肘掛椅子 1970 メゾティント
紫の女 1970 メゾティント
- ウェルコム, フランソワ
犬が吠える、キャラバンが通る
1970 リトグラフ
デマ 1970 リトグラフ

ブラジル

- デルサント, ディオニージオ
迷路—空間 1970 シルクスクリ

ーン

- 菱形—空間 1970 シルクスクー
リン
- マヌエル, アンтониオ
報復 1969 凸版、シルクスクリ
ーン
再弾圧 1969 凸版、シルクスク
リーン

カナダ

- レイナー, ゴードン
無題 1969 リトグラフ
- サミラ, デイヴィッド
カンブレ 9/19 1968 シルク
スクリーン
ハンムラビ王 14/22 1969 シ
ルクスクリーン

チリー

- ブル, ロセール
途切れた記憶 1970 凸版
戦争と記憶 1970 凸版

中華民国

- 廖修平
太陽祭 1969 エッチング
門と芸術家 1970 エッチング
- 呉昊
にわとり百態 1970 木版
顔さまざま 1970 木版

チェコスロヴァキア

- クチェロヴァ, アレナ
鳥 1970 凹版
灌木 1970 凹版
- クルハーネック, オールドリッヒ
誘惑 1969 エッチング
レポート No. 3 1970 エッチ
ング
- マリッヒ, カレル
連作Ⅷより
版画 2 1969 エッチング、ド
ライポイント
版画 7 1969 エッチング、ド
ライポイント
- シモトヴァ, アドリエナ
カーテン 1970 エッチング
1970—雲にのって 1970 エッチ
ング

デンマーク

- アーノルド・ペア
RAINBOW 1970 シルクスクリーン
- COLOURED 1970 シルクスクリーン
- ヨーン・アスガー
シリーズ「日本」10点 1968 エッチング
- モーテンセン、リカード
テアトル・デ、シゾー 1 1970 シルクスクリーン
- テアトル・デ・シゾー 2 1970 シルクスクリーン

フィンランド

- ヘルヴォ、エルッキ
コンボジション 5—70 1970 木版
- コンボジション 8—70 1970 木版
- マキネン、ペッカ
人間図式 II 1969 エッチング、シルクスクリーン
- 人間図式 III 1970 エッチング

フランス

- アッセ、ジュスヴィエーヴ
日本に捧ぐ 1 1969 ドライポイント
- 日本に捧ぐ 2 1969 ドライポイント
- ブリエン、カミーユ
リトグラフ 1968 1968 リトグラフ
- M・ビュートル著「ニュー・メキシコからの手紙」のために 1970 エッチング
- フォワシー、ジョルジュ＝アンドレ
丘を駆ける情熱 1969 エッチング
- ロラ・V・スタンの法悦 1969 エッチング
- フロマンジェ、ジェラルド
旗と映像 1960 シルクスクリーン
- ジェラルディアス
恍惚 1970 リトグラフ
- リビドー 1970 リトグラフ

- ランヴァン、フランソワ
われわれに残されたもの 1969 銅版
- おゝ！他者よ、墮落した富者と勝ち誇った者たちよ 1969 銅版
- モリソン、フィリップ
コーラス 1970 リトグラフ
- ティテュス＝カルメル、ジェラルド
アメリカ大陸発見 I 1969 リトグラフ
- アメリカ大陸発見 II 1969 リトグラフ
- 西ドイツ
- アルト、オトマール
能なし熊 1970 シルクスクリーン
- 楽園の木 1970 シルクスクリーン
- アスムス、ディーター
飛行機のある風景 1968—69 メゾティント
- 馬 1968—69 メゾティント
- ブーフホルツ、ウォルフ
力強い踊り 1970 アクアティント
- 二重像 1970 アクアティント
- フルートルンク・ギュンター
赤・緑・黒・赤 1968—69 シルクスクリーン
- 五つの緑 1969 シルクスクリーン
- レンク、カスパール＝トーマス
セリグラフ31 1970 シルクスクリーン
- セリグラフ32 1970 シルクスクリーン
- メックゼベル、フリードリッヒ
テーブル 1969 エッチング
- 箱 1970 エッチング
- イギリス
- ベンジャミン、アンソニー
無題1 1970 シルクスクリーン
- 無題2 1970 シルクスクリーン
- ボシャー、デレク
イメージ1 1969 リトグラフ
- イメージ2 1969 リトグラフ
- コールフィールド、パトリック
浴室の鏡 1968 シルクスクリーン

- ラウドスピーカー 1968 シルクスクリーン
- フラナガン、バリー
草2 1968 平版
- 草3 1968 平版
- フロスト、テリー
オークル・赤・青 1970 リトグラフ
- 側辺の色 1970 リトグラフ
- ホイランド、ジョン
青・赤 1969 シルクスクリーン
- 赤・青 1969 シルクスクリーン
- マーチャント、レオナード
最高天 1969 メゾティント
- 遠日天 1969 メゾティント
- ミロー、キース
15、23、55、55、46、66 No. 1 1969 シルクスクリーン
- 15、23、55、55、46、66 No. 2 1969 シルクスクリーン
- ムーア、リン
ワイヴェルズフィールド近辺(1、2) 1970 凸版
- カヌスのプール 1970 凸版
- ウォーカー、ジョン
隆起 1 1969 リトグラフ
- 隆起 2 1969 リトグラフ

ハンガリー

- ギュライ、リーヴィウス
道化師とその家族 1968 リノカット
- 厩(さい) 1970 リノカット
- ラスラー、カーロリ
バルトークの最後のピアノ・コンチェルト 1970 リトグラフ
- ミハーリ・ヴァチを記念して 1970 リトグラフ
- レカッシー、チャバ
物語師 1968 凸版
- A. D. デッサン学校 1970 凸版
- ロザニーチ、ティボー
光の死 1969 リノカット
- 永遠の苦悩 1970 リノカット

インド

- バート、ジョーティ
顔 1 1970 凹版
- 顔 2 1970 凹版

美術展覧会(12月)

- ハシミ, ザリーナ
ロープ 1970 木版
こだま 1970 木版
- ロイ, スハース
夜明け 1969 凹版
トルソ 1970 凸版
- インドネシア
- イルサム
庭の太陽 1970 凸版
魚 2 1970 凸版
- イスカンドール, ボボ
トルソ II 1969 木版
二重のトルソ 1970 木版
- イラン
- シャヤンス, マリー
ババ・クヒ 1969 凸版
ゾロアスター教徒 1969 凸版
- ザイミ, デランクシャンデー
無題 1969 凹版
空間 併用技法
- アイルランド
- ル・ブロッキー, ルイス
変形 1969 リトグラフ
殺害 1969 リトグラフ
- イスラエル
- モレー, モルデカイ
連作「女の勝利」より
悪魔 1969 ドライポイント
傲慢と墮落 1970 ドライポイント
- スツツパック, イヴェット
叫び 1970 木版
連作「六日間戦争」より・負傷者
1970 木版
- ウェラー・シュタイナー, エフーダ
雨の中の馬 1970 木版
アッカ 1970 木版
- イタリア
- アルヴィアーニ, ジェトウリオ
版画)(1968—69 リトグラフ
版画 × 1968—69 リトグラフ
- カルミ, エウジェニオ
P. P. C. C. 1 1970 シルクスクリーン
P. P. C. C. 2 1970 シルクスク

- リーン
- デル・ペッツォ, ルチオ
立方体 1969 シルクスクリーン
ジグラー(聖塔) 1970 シルクスクリーン
- スパカル, ルイジ
サルヴォーレの月夜 1969 木版
春分 1970 木版
- スカナヴィーノ, エミリオ
縛った形 1969 シルクスクリーン
縛った三角形 1969 シルクスクリーン
- ヴォルピーニ, レナート
無用の機械 I 1970 シルクスクリーン
無用の機械 II 1970 シルクスクリーン
- 日本
- 尼野和三
相関 A 1970 木版
相関 B 1970 木版
- 荒木哲夫
引き潮 1970 アクアティント
赤い鎖 1970 アクアティント
- 東貞美
そろばんむし 1970 銅版
ボートレイト 1970 銅版
- 襲嘯
「レインボー・北斎」ポジションA
1970 シルクスクリーン
「レインボー・北斎」ポジションB
1970 シルクスクリーン
- 深沢史朗
時間・70・A 1970 シルクスクリーン
時間・70・B 1970 シルクスクリーン
- 深沢幸雄
指の間の記憶 A 1970 銅版
指の間の記憶 B 1970 銅版
- 船坂芳助
作品 A t 30—1970 1970 木版
作品 S7—1970 1970 木版
- グループ・トウハンシ
記録—Start Oct. 8th 1970
併用技法
記録—Work day Dec. 8th
1970 併用技法

- 原健
No Focus 4 1970 シルクスクリーン
No Focus 5 1970 シルクスクリーン
- 日和崎尊夫
小さな劫—N 1970 木版
劫—No. 3 1970 木版
- 井田照一
ピンク色の広場 1970 リトグラフ
黒いソファー 1970 リトグラフ、シルクスクリーン
- 飯塚八朗
NYNY 1970 シルクスクリーン
PCPC 1970 シルクスクリーン
- 池田満寿夫
海辺の光景 1970 リトグラフ
撮影中 1970 リトグラフ
- 磯辺行久
Everyday is earthday A 1970
シルクスクリーン
Everyday is earthday B 1970
シルクスクリーン
- 泉茂
北の空 1970 シルクスクリーン
樹蔭 1970 シルクスクリーン
- 片山未加
ジャズ・メン 1970 銅版
ジャズ・メン 1970 銅版
- 木村光佑
現在位置—存在 A 1970 リトグラフ、シルクスクリーン
現在位置—存在 B 1970 リトグラフ、シルクスクリーン
- 木村利三郎
History of City 1998 1970
シルクスクリーン
History of City 1999 1970
シルクスクリーン
- 清塚紀子
昨日・今日・明日 1970 凹版
昨日・今日・明日 1970 凹版
- 黒崎彰
「闇」のコンポジション 1970 木版
- 松谷武判
繁殖 W—S 1969 シルクスクリーン
私の位置 1970 シルクスクリーン

ン

○三好敏弘

蕩児の家系 上 1970 エッチング

蕩児の家系 下 1970 エッチング

○野田哲也

日記 “1970年5月8日”、ニューヨークで 1970 木版、シルクスクリーン

日記 “1970年5月22日”、ニューヨークで 1970 木版、シルクスクリーン

○小田襄

銀世界—I 1970 凸版

銀世界—II 1970 凸版

○小田まゆみ

風神 1970 シルクスクリーン

雷神 1970 シルクスクリーン

○オノサト・トシノブ

CIRCLE—70—E 1970 シルクスクリーン

CIRCLE—70—F 1970 シルクスクリーン

○小作青史

椅子になった男 1970 リトグラフ

ふりむいたあなた 1970 リトグラフ

○佐藤亜土

INSTITUT HOTEL I 1970 シルクスクリーン

INSTITUT HOTEL II 1970 シルクスクリーン

○高松次郎

日本語の文学 1970 平版

英語の単語 1970 平版

○竹田和子

虚空・上 1970 メゾティント

虚空・下 1970 メゾティント

○田村文雄

夢想記—個人的な疑いと畏れと 1970 リトグラフ

夢想記—通俗的な陶酔の中に 1970 リトグラフ

○矢崎剛

女体 A 1970 シルクスクリーン

女体 B 1970 シルクスクリーン

○吉田克朗

No. 11 1970 シルクスクリーン

No. 12 1970 シルクスクリーン

○吉原英雄

INDOOR 1970 エッチング、リトグラフ

OUTDOOR 1970 エッチング、リトグラフ

大韓民国

○河鍾顯

作品 1 1970 シルクスクリーン

作品 2 1970 シルクスクリーン

○金次燮

コンポジション A 1970 シルクスクリーン

コンポジション B 1970 シルクスクリーン

○李禹煥

場と位置 I 1970 ステンシルーボード

場と位置 II 1970 ステンシルーボード

マレーシア

○ラティフ、アブダル

成虫 1970 凹版

旅 1970 凹版

○ロン、ティン、シー

脚と足 1970 凸版、エッチング

人像—花茎 1970 凸版、エッチング

メキシコ

○アンギアーノ、ラウル

宇宙飛行士の食物 1969 エッチング

バレエ 1970 エッチング

○アレヴァーロ、ハヴィエル

フワナ・アラベジャのアンナ 1970 リトグラフ

エル・ビッグメニオおじさんの思い出 リトグラフ

○ロベス＝ロサ、ルイス

白にとりつかれた女 1969 メゾティント

色を抑えようとする黒に 1969 メゾティント

○オルティス・エミリオ

二重の自画像 1969 凹版

倒れる女 1969 凹版

オランダ

○ホルスタイン、ピーター

エルンスト・マックの観察 1969 エッチング

視点 1969 エッチング

○ハイスマンズ、シブケ

アムステルダム児童遊園地：1969—70 平版

a. フルート奏者の瞑想

b. プロ

c. E・リンゲルブルムのワルソー・ゲッター日記のための感動的

挿絵

d. 観念学的瞬間

○ルシベルト

青い花 1969 凹版

No. 6 1969 凹版

○フエアホーグ・アート

デューラーの死 1969 エッチング

デューラーの死 1969 リトグラフ

ニュージーランド

○ウェップ、マリリン

海岸線 2 1970 リノカット

丘と雲 1970 リノカット

ノルウェー

○ヘブレル、ヘルマン

No. 16 / 70 コンビネーション 1970 シルクスクリーン

No. 20 / 70 復活 1970 シルクスクリーン

○ヘルマン＝ハンセン、オーラフ

標的 1968 凹版

バンドボール II 1969 凹版

フィリピン

○ファハルド、ブレンダ

マチス、デ・クーニング、ラリー・リヴァースに捧ぐ 1969 凹版

動いている形 VI 1970 凹版

○ヘルヴェソン、オフエリア

標的 1969 エッチング

黙示録評釈 1970 エッチング

ポーランド

○アレクシエン、ヤン・ヤロミール

美術展覧会(12月)

- 避難所 1970 リノカット
アバルトヘイト(人種差別) 1970
リノカット
○クシヴォボッキー, ヴォイチェフ
風景の中へ 1970 リトグラフ
パッケージ 1970 リトグラフ
○マイエフスキー, ミエチエスラフ
火を消せ! 1968 メゾティント
盲従 1970 メゾティント
○ノヴァッキ, アンジェイ
打明け話 1969 エッチング
檻 1970 エッチング
○オバウァク, ロマン
「またその子孫も地のりのように
ふやそう……」(旧約聖書:創世記
より) エッチング
輪廻 エッチング
ポルトガル
○カリャウ, フェルナンド
版画 1 1970 シルクスクリー
ン
版画 2 1970 シルクスクリー
ン
○テイセイラ=ロベス, ジル
カーテンの旅 1970 エッチング
衝立の裏表 1970 エッチング
プエルトリコ
○オマール=ヘラベルト, ロレンソ
BURUNDANGA 1969 シル
クスクリーン
ブルゴスのフーリアに捧ぐ 1969
シルクスクリーン
○イリサリ, カルロス
パブロ・ピカソ 1970 シルクス
クリーン
ピアフラ 1970 シルクスクリー
ン
ルーマニア
○ペトラスク, マリアナ
コンポジションⅠ (白いマスク)
1969-70 併用技法
コンポジションⅡ (先祖)
1969-70 併用技法
スペイン
○ペリオベニャ, イグナシオ

- 盛りの年 1970 エッチング
呼びかけ 1970 エッチング
○クニ・ホセ, アルフォンソ
山と城壁 1969 シルクスクリー
ン
海 1969 シルクスクリーン
○ベリコット, ヤゴ
展開 1968 銅版
六ペンス物語 1968 銅版
○サンタマリア, フリアン
息子フリアン 1968 凸版・リト
グラフ
娘ロサリオ 1968 凸版・リトグ
ラフ
スウェーデン
○ネームス, エンドレ
オフィスの情景 1969 アクア
ティント
記号言語 1969 アクアティント
○ベッテルション, チェル・ベツテ
ル
女の肖像Ⅱ リトグラフ
女の肖像Ⅶ リトグラフ
スイス
○ルクールト・ジャン
賭けるⅠ 1969 リトグラフ
散歩Ⅰ 1969 リトグラフ
○ローズ・リシャール, ポール
四つの色の四つのリズム 1 1970
シルクスクリーン
四つの色の四つのリズム 2 1970
シルクスクリーン
○ルギンビュール, ベルンハルト
キュクロプス・プラン 1967-
70 凹版
大阪パンチ 雀をうつ 1970 凹
版
○シュヴァイツァー, ハンス
六つの靴 1970 凹版
電話 1970 凹版
タイ
○パタナ=ピラディッツ, ピラ
無題 1/15 1969 シルクスク
リーン
無題 3/19 1969 シルクスク
リーン
○シースタ, プラバン

- 希望 1939 木版
絶望 1969 木版
ソヴィエト
○ビスティ, ドミトリ
「インターナショナル」シリーズよ
り
No. 2 1970 リノカット
No. 3 1970 リノカット
○デンボ, アレクサンドル
「1918年」シリーズより
勇気 1968 エッチング
不寝番 1968 エッチング
○ペトロフ, レオニード
「1917年」シリーズより
V・I・レーニン 1969 エッチ
ング
農民大会 1969 エッチング
○ボドルスキー, レフ
「赤い広場」シリーズより
モスクワ、クレムリン 1970
エッチング
クレムリン堤防 1970 エッチ
ング
○ソロヴィエフ, エフゲニー
「初期ソヴィエト政権」シリーズよ
り
騎手 1969 エッチング
旗 1969 エッチング
アメリカ
○ケイジ, ジョン
“マルセルのことは言いたくない”
リトグラフ A 1969 リトグラ
フ
○フランケンサラー, ヘレン
風見 1969-70 アクアティント
ライラックの庭 1970 アクア
ティント
○ジョーンズ, ジャスパー
無題 1969 エッチング、アクア
ティント
無題 1969 エッチング、アクア
ティント
○リクテンスタイン, ロイ
ヘイスタック 2 1969 リトグ
ラフ、シルクスクリーン
化学による平和 1970 リトグラ
フ、シルクスクリーン
○プライス, ケネス

- フィギュリン・カップ I
1969—70 リトグラフ
フィギュリン・カップ V
1969—70 リトグラフ
- ラウシェンバーク, ロバート
スカイ・ガーデン 1969 リトグラフ、シルクスクリーン
- ラッシャ, エドワード
罪 1970 シルクスクリーン
ペプトーキャヴィア ハリウッド
1970 シルクスクリーン
- ウィーグ, ウィリアム
ライ河の廃棄油 1969 リトグラフ、シルクスクリーン
レイ レイ レディ レイ 1970
シルクスクリーン
- ウルグァイ
- フラスコニ, アントニオ
窓 I 1968 凸版
壁 VIII 1969 木版
- ソラリ, ルイス・A
人形芝居 1969 エッチング
二重の会話 1969 エッチング
- ユーゴスラヴィア
- ベルニーク, ヤネズ
椅子 1969 エッチング
りんご 1970 エッチング
- イエメッツ, アンドレイ
青 1969 シルクスクリーン
燃える赤 1970 シルクスクリーン
- スーテイ, ミロスラヴ
SM 6 1969 シルクスクリーン
モバイル版画 9 1970 シルクスクリーン
- ヴェリチコヴィッチ, ウラジミール
無題 I 1968 シルクスクリーン
無題 II 1969 シルクスクリーン
- 62層展 14—19 壹番館画廊
山本豊市新作デッサン展 14—26
現代彫刻センター
濱田庄司作陶展 15—20 三越
成田禎介個展 15—25 フジテレビ
ギャラリー

- 彫刻五人展 15—26 日本橋画廊
(松井祐一、中村直人、松村外次郎、峰孝、淀井敏夫)
- 東郷青児新作展 21—26 三越
サルバドール・ダリ展 21—30 吉井画廊
- 第一美術協会展 22—28 日本美術協会会館

＜古美術＞

1 月

- 奥州の諸大名に伝わった名刀展 2—11 仙台丸光百貨店
- 伊勢神宮御神宝展 4—12 福岡玉屋
- 特別陳列「漆椀」 4—3月31 京都国立博物館
- 伊勢神宮御神宝展 15—20 長崎玉屋
- 伊勢神宮御神宝展 23—28 佐世保玉屋
- 特別陳列「祇園祭の山鉦の胴掛」 27—3月8 サントリー美術館
- 後期浮世絵版画展 31—3月1 奈良県文化会館

2 月

- 伊勢神宮御神宝展 6—11 佐賀玉屋
- 水戸黄門展 6—11 浅草松屋
- 欧州巡回記念特別陳列「日本古美術展」 14—22 東京国立博物館
- 伝教大師1150年ご遠忌奉賛「天台の秘宝展」 14—3月3 小田急百貨店本館
- 奈良国宝展 14—3月15 茨城県立美術博物館
- 国宝姫路城展 17—22 三越本店

3 月

- 特別陳列「雛人形」 1—31 京都国立博物館
- 華麗なる芸術「黄金の美展」 3—15 大丸大阪店
- 名刀展 3—4月19 刀剣美術館
- 万国博記念「東西の交流」 4—4月26 大和文華館

- 第60回式年遷宮奉賛伊勢神宮御神宝展 6—11 近鉄百貨店
- 京の美術「柱絵」 11—4月12 京都国立博物館
- 近世初期風俗画名作展 13—25 そごう百貨店神戸店
- 茶道名品展 14—23 富山県民会館美術館
- 万国博美術展 15—9月13 万国博美術館
- 伊達家遺宝展 17—22 三越本店
- 春の特別展「髪と化粧」(慶長から大正まで) 17—5月3 サントリー美術館
- にっぽん「茶・華道展」 20—5月10 宝塚ファミリーランド「文化館」
- 駿府と家康 29—4月6 田中屋百貨店

4 月

- 徳川美術館秘宝展 1—12 トキワ文化ホール
- 京の美術「京の人形」 1—19 京都国立博物館
- 京の美術「古清水」 1—9月27 京都国立博物館
- 開館10周年記念館蔵優品展 1—5月24 五島美術館
- 徳川美術館名品展 4—26 神奈川県立近代美術館
- 古瀬戸展 4—5月5 徳川美術館
- 浦上玉堂名作展 7—12 三越本店
- 新指定宝国重要文化財特別陳列 7—19 東京国立博物館
- 日本の美を語る名刀展 9—14 さいか屋藤沢店
- 日本刀の歴史展 10—15 そごう百貨店神戸店
- 名刀正宗とその門流展 11—5月10 秋田市立美術館
- 京の美術「金剛力士」 14—9月27 京都国立博物館
- 伊達家遺宝展 18—23 三越大阪店
- 尾張徳川家伝来茶道名物展 18—5月5日 島根県立博物館
- 松花堂昭乗展 18—5月17 奈良文化会館
- 京の美術「天球院障壁画」 18—5月31 京都国立博物館

美術展覧会(12月)

仏教美術名品展 18—8月23 奈良
国立博物館
安宅コレクション東洋陶磁名品展
21—5月3 高島屋本店
明治—昭和100年の日本画展 21—
5月10 本間美術館
弥生人展 24—5月12 小田急百貨
店本館
富嶽三十六景と東海道五十三次(酒
井コレクション) 25—5月17
岡山美術館
日本刀の美展—刀剣外装— 26—5
月31 大阪城天主閣
日本刀の美展 26—5月31 大阪市
立博物館
日本美術名刀展 28—5月3 丸井
今井本店
日本刀名物展 28—5月11 致道博
物館
京の美術「高台寺蒔絵」 28—6月28
京都国立博物館
万国博記念「東洋の美術」 28—6月
28 大和文華館

5 月

応神王朝展 2—7 三越大阪支店
九州出身近代作家秀作展 2—24
福岡県文化会館
古瀬戸展 9—31 根津美術館
日本絵画史に見る「写生派の流れ」
12—31 本間美術館
特別陳列「友禅」 12—6月21 サン
トリー美術館
サントリー美術館「くらしの中の日
本美術展」 15—20 近鉄百貨店
上本町店
日本文人画名作展 15—6月3 致
道博物館
古代人のアクセサリー展 16—31
神戸市立考古館
弥生人展 22—27 近鉄百貨店阿倍
野店
徳川美術館名宝展 23—6月9 香
川県文化会館
日本考古展 29—6月28 五島美術
館

6 月

浮世絵名品展 5—17 そごう百貨
店大阪店
京の美術「法然上人絵伝」 6—7月
5 京都国立博物館
弥生人展 9—14 岩田屋
風俗屏風名品展 9—21 東武百貨
店
越前のやきもの 13—8月2 石川
県美術館
弥生人展 19—24 名鉄百貨店
白描画 27—8月2 サントリー美
術館
弥生人展 30—7月5 広島・福屋
万国博記念「日本の美術」 30—8月
23 大和文華館

7 月

藤村庸軒展 1—8月2 五島美術
館
備前名刀展 5—8月2 BSN新
潟美術館
南蛮文化とキリシタンの遺宝展 8
—26 京都府総合資料館
京の美術「京名所風俗図」 11—8月
26 京都国立博物館
京の美術「京の絵地図」 11—8月16
京都国立博物館

8 月

日本名刀展 1—23 本間美術館
特別陳列「旅 筑紫展」 1—31
サントリー美術館
小笠原家名宝史料展 1—31 日本
民俗資料館
京の美術「友禅染」 1—9月27
京都国立博物館
加賀の名刀工「兼若展」 8—30
石川県美術館
新収品特別陳列 11—23 東京国立
博物館
酒井家伝来名品展 12—31 致道博
物館
第15回剣美展(奥州諸大名の名刀)
14—19 名鉄百貨店
刀剣と歴史展 15—20 秋田県立美
術館
桃山の美—描かれた庶民生活展—
15—9月15 大阪城天主閣

天理ギャラリー第27回展「善本百選」
20—11月14 天理ギャラリー
京の美術「禪の書」 22—9月27
京都国立博物館
日本名刀展 28—9月2 大丸東京
店
仙厓と古唐津展 25—30 札幌グ
ランドホテル

9 月

仙厓と古唐津展 1—6 函館人幡
宮
徳川美術館名宝展 1—27 仙台市
博物館
春信—没後200年記念展— 1—30
東京国立博物館
金銅仏展 1—10月18 神戸市立考
古館
石川県の肖像画 4—27 石川県美
術館
万博記念特別展「栖鳳とその後の展
開」 13—27 京都市立美術館
ポストン美術館100記念展出品「禪
林美術展」 15—27 東京国立博
物館
伊達家遺宝展 22—27 三越札幌支
店
生きている日本刀—その美と歴史を
さぐる— 23—10月18 佐野美術
館(第1会場)
第46回特別展「吉野・大峯山の秘宝」
23—10月25 大阪市立博物館
秋の特別展「近世日本の美術貿易」
26—11月8 サントリー美術館

10 月

琳派名品展—光悦・宗達・光琳とそ
の系譜— 1—14 そごう百貨店神
戸店
弘法大師と高野山展 1—15 高野
山霊宝館
名蓋と茶器 3—25 石川県美術館
特別陳列「唐宋の陶枕」 6—11月23
京都国立博物館
特別陳列「京の古瓦」 6—11月23
京都国立博物館
第25回国民体育大会記念「岩手名刀
展」 8—14 岩手県立図書館
関白秀吉展 8—11月3 豊清二公

顕彰館
東洋陶磁展 9—11月29 東京国立
博物館
開館記念近代100年名作展 10—11
月8 兵庫県立近代美術館
桃山・江戸美術名作展 15—11月3
佐賀県立博物館
名家コレクションシリーズⅥ「文房
具名品展」(富山・綿貫家コレク
ション) 16—11月15 五島美術館
第5回古備文化展「浦上玉堂とその
時代—没後150年記念—」 17—
11月3 岡山美術館
国宝源氏物語絵巻展 17—11月3
徳川美術館
横浜開港と洋画の開花—チャール

ス・ワーグマンとその周辺—
17—11月8 神奈川県立博物館
生きている日本刀展—その美と歴史
をさぐる— 21—26 田中屋(第
2会場)
東洋陶磁名品展 24—11月15 新潟
県美術館
正倉院展 25—11月8 奈良国立博
物館
道元禅師展 29—11月15 福井県立
岡島美術記念館
中興名物展 31—11月23 根津美術
館
大和の文人「柳澤淇園の芸術」 31—
11月29 奈良県文化会館

11 月

熱田神宮文化史展 「古代にみる熱
田のすがた」 1—25 熱田神宮
宝物館
茶の湯名宝・茶碗・花入・釜展 7
—12 三越大阪支店
特別陳列「古筆手鑑」 10—29 東京
国立博物館
生活の中の美 17—46年1月17 サ
ントリー美術館

12 月

冬季展「東洋の陶磁」 2—46年1月
31 大和文華館

「物故者」 ページ (97～110 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.97-110)

Cut for protection of the personal information

美術文献目録

(昭和45年)

凡 例

- ここに採録した文献は昭和45年中にわが国において発行された単行図書、定期刊行物、および諸新聞に掲載されたものである。ただし雑誌により年度外が含まれることもある。
- 単行図書の形で刊行されたもののうち多数の論文を集録したものは単行図書としてあげたほか、その内容を定期刊行物中にも組み入れた。
- 現代美術文献目録は明治以後の美術に関するものを、外国美術文献は西洋を主として集めたが、東洋やその古美術に関するものも現代に関わりをもつ限りこれを採録した。
- 建築ならびに工芸の範囲は本文最初の凡例に記した範囲にとどめた。
- 各項目内の配列は特記したほかは、内容別順とした。なお主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。(例えば作家欄において作家名を先に出す等のこと。)
- 雑誌の号数は主として通巻番号を採用した。なお773~775には773号、774号、775号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9.1,3,6は昭和45年9月1日、3日、6日の新聞を示す。5は昭和45年5月号を示す。

目 次

〔定期刊行物所載文献〕

現代美術・西洋美術

総 説	112
絵 画	116
彫 刻	118
工芸・デザイン	119
建 築	120
作 家 (人名別音順)	
日 本	127
外 国	138
美術関係者 (人名別50音順)	141
美術時評・その他	143
展覧会批評 (主要新聞)	148
展覧会批評 雑誌 (50音順)	159
美術館・文化財保存・書評	169

雑誌(紙別、50音・日付順)

東洋古美術文献

美術総記	172
絵 画	173
書 跡	176
彫 刻	177
建築・庭園・石造美術	179
工 芸	180
陶 磁 工	180
金 工	182
木 漆 工	183
染 織 工	183
玉・ガラス工	184
考古学関係	184
雑	185

〔単行図書〕

現代美術・西洋美術・東洋古美術	186
-----------------	-----

定期刊行物所載文献

現代美術・西洋美術文献

総説

美的価値について	今道 友信	美 学	83
Wittgenstein 「Tractatus」における「Aesthetik」の概念について	増成 隆士	シ	シ
芸術における時間、序説—ヘーゲルの哲学と美学講義の時間論的考察	武藤三千夫	シ	81
美的実存の時間性について	後藤 翯士	シ	82
美の時間論的背景	掛下栄一郎	シ	83
「学」としてのヘーゲル美学の特色	私高 伸二	シ	シ
ヘンクマン「ヘーゲル美学文献目録」〈資料紹介〉	武藤三千夫	シ	シ
聖トマスにおける美的構造	石川 毅	シ	シ
ベルグソンの芸術哲学 2~5	高階 秀爾	季刊芸術	12~15
デュラールの芸術論	谷口 鉄雄	美 学	80
芸術作品の存在(3)	渡辺 護	シ	シ
芸術・情報・コミュニケーション—情報美学的批判と、芸術の情報性に関する考察	岡本 重温	シ	81
芸術における自己表現	利光 功	シ	83
機械時代における芸術と技術(1)	鈴木 健二	シ	シ
フォルムと言葉の深み—W・C・ウィリアムズをめぐって	鍵谷 幸信	芸術生活	254
美術と宗教	福田 新生	美術グラフィ	19—4
美術は科学を告発する	シ	シ	19—6
美術と人間像—比較芸術学のこと	山本 正男	学 燈	67の11
趣味の非合理性と創造性	村田 誠一	美 学	83
土着的なもの	大原 親	シ	シ
世界美術の多元性	土方 定一	仏教芸術	75
西洋美術の系譜	乾 由明	シ	シ
旧石器美術の新検討—ブルイユ以後	鬼丸 吉弘	美 学	80
エジプト美術の裏〈真贋・73〉	鈴木 八司	芸術新潮	241
永遠なる美術 (エジプト編)	東 珠樹		

1. ネフェルト夫妻 座像		美術グラフィ	19—2
2. カフラ王の像		シ	19—5
3. メンカウ・ラー の像		シ	19—7
エジプト、アトーン神 像	三輪 福松	古美術	31
ギリシア美術の生成 および人体表現	村田 潔	仏教美術	75
ギリシア三美神レ リーフ金銅鏡	三輪 福松	古美術	31
新アッティカ派のス テール、ヘラクレス	相内武千雄	シ	31
オリブとギリシア 文化	村川堅太郎	毎日夕刊	4.16
西から東へ—シルク ロードの美術	林 良一		
19. 生命の樹 (1)		萌 春	183
20. シ (2)		シ	184
21. 樹下美人 (1)		シ	185
22. シ (2)		シ	187
23. 羊文の源流 (1)		シ	188
24. シ (2)		シ	190
25. 天馬空をゆく		シ	191
26. 獅子狩のモチ ーフ		シ	192
27. パラダイスの風 景		シ	193
28. 真珠の首飾		シ	194
特集 インドの美術		三 彩	257
インドの光と影— 序論	上原 和		
インドの仏跡を行 く	平山 郁夫		
ガンダーラ美術の源 流を掘る〈発掘・58〉	樋口 隆康	芸術新潮	250
特集・インド・バロ ック空間		みづゑ	784
1. 「母なるインド」 の意匠	真鍋 俊照		
2. 空間を充たす神 々	清野 恒		
「神の門」チッタゴン 〈研究ノート〉	鈴木 独	朝日夕刊	12.15
モンゴル草原の魔神	吉村 貞司	みづゑ	789
アフリカとオセア ニアの美術	木村 重信	仏教美術	75
エラスムスの木像	高階 秀爾	朝日夕刊	5.12
神々の愛でし都	栗田 勇		
1. 予言の世界・パ ピロン		芸術生活	245

2. 神への門・パビロン	芸術生活	246	2. 二科会における新興美術の運動—東郷青児氏にきく(1)	本間 正義	現代の眼	183
3. 美の緊密な証・ベルセボリス	〃	247	3. 〃 (2)	〃	〃	184
4. 典雅な沈黙・パサルガダイ	〃	248	4. 未来派美術協会の頃(1)	木下秀一郎	〃	185
5. 宙空の飛閣・クテシフォン	〃	249	5. 〃 (2)	〃	〃	186
6. 聖なる空間・サマッラの塔	〃	251	6. アクションの物語的思い出(1)	神原 泰	〃	187
7. 理想郷・アレキサンドリア	〃	252	7. 〃 (2)	〃	〃	188
8. ナイルの顕揚・メンフィス	〃	253	8. マヴォの思い出(1)	〃	〃	189
9. 死者の王国・ピラミッドとスフィンクス	〃	254	9. 〃 (2)	〃	〃	190
10. ハトシ・ブスト女王葬祭殿	〃	255	10. 三科の創立と解散(1)	〃	〃	191
11. 光と闇のドラマ・アモン大神殿	〃	256	11. 〃 (2)	〃	〃	192
イェルサレム	堀内 清治	古美術	32	12. 画廊九段—無選首都展—単位三科—中原実氏にきく(1)	〃	193
ヨー・ヨッパの旅から—風土・文化・美術の性格	寺田 千壘			新しい可能性を求めて—戦後25年の歩みから(1)	京都夕刊	8.5
1. ラテン的とゲルマン的	東京夕刊	5.25	日本画ベスト5—世界的な視点から	河北 倫明		
2. キリストとビーナス	〃	5.26	油絵ベスト5—歴史的成熟期の50年代	植村鷹千代		
3. ギリシャ的ということ(上)	〃	5.27	建築ベスト5—新しい創造の展開	藤井正一郎		
4. 〃 (下)	〃	5.28	日本の現代美術	小倉 忠夫	仏教芸術	75
5. 悲劇の流れ	〃	5.30	ダダの再燃	高橋 新吉	東京夕刊	5.9
6. あまりにも芸術至上的	〃	6.1	特集・シュルレアリスム		美術手帖	336
7. 抑制の心	〃	6.3	シュルレアリスムの今日—その「隔離」と「隠蔽」について	巖谷 国士		
キリスト教の美術	高橋 巖	仏教美術	75	シュルレアリスムの不可視の光線	アラン・ジフフロワ 訳・峯村敏明	
特集 記号の帝国・日本				アンドレ・ブルトンの「探索」		
ロラン・バルトのみた日本	宗 左近	芸術新潮	250	1. 魔術的芸術	アンドレ・ブルトン 訳・宮川淳	
対談・日本人の美	谷川 徹三 東山 魁夷	京 都	1.3	2. 石の言語	アンドレ・ブルトン 訳・巖谷国士	
木の文化・石の文化	谷川 徹三	〃	1.1	3. 絶対の隔離	アンドレ・ブルトン 訳・宮川淳	
長崎の学問—開港四百年によせて	越中 哲也	読売夕刊	5.7	シュルレアリスムの新たな転回—1968年体験—	訳編・江原順	
明治美術におけるイギリス19世紀美術思潮特にブレラファエリティズムの移入と影響について	中村 義一	宮崎大学教育学部紀要		1. はじめに	江原 順	
2. 白樺とブレラファエリティズム		芸能27		2. 無題	ジャン・ゴードン	
3. 島村抱月とブレラファエリティズム		〃 28		3. 第四のうた	ジャン・ジュステル	
大正期の新興美術運動をめぐって						
1. 序説	本間 正義	現代の眼	182			

定期刊行物所載文献

4. 造形美術のなかのシュルレアリスムの現存 ジョゼ・ピエール 335
- 超現実主義と私の詩的体験 瀧口 修造
- 埃及笑うまで—私のシュルレアリスム 大岡 信
- わたしにとってシュルレアリスムとは何か 池田 龍雄
- 主客分離前の現実—シュルレアリスム表現をめぐるのム 岡田 隆彦
- シュルレアリスムと錬金術 渋谷 龍彦
- 激情の軌跡—アレドレ・マッソン 出口 裕弘
- 「反自然の苦痛」ハンス・ベルメールシュルレアリスムの着想—その発想と展開 岡田 隆彦
- 挿図入り略年表 巖谷 国土
- 表現の意味—現代芸術の思想的基礎 栗津 則雄 季刊芸術 12
- 伝統と現代芸術 針生 一郎 国際文化 195
- 現代芸術・源泉と展開
1. ルネ・マグリットと…—絵画から非絵画へ 大久保喬樹 美術手帖 322
2. カルダールと…—モビールという物体の運命 山口 勝弘 324
3. クルト・シュヴァイツターと…—魔品のイリュージョニズム 乾 由明 325
4. ロバート・ラウシェンバークと…—自伝およびその注釈 東野 芳明 326
5. パーネット・ニーマンと…—絵画の問題 藤枝 晃雄 327
6. ジョナス・メカスと…—映像・詩・批評 飯村 隆彦 328
7. モホリー・ナジと…—光と空間の思想家 中原 佑介 329
8. フランシス・ベーコンと…—崩壊する人間像 乾 由明 331
9. アンディー・ウォーホルと…—映像による映像の批評 飯村 隆彦 332
10. フランシス・ピカビアと…—機械という肉体 中原 佑介 333
11. バックミンスター・フラーと…—宇宙船「地球」号の行方 東野 芳明 334
12. ジョン・ケージと…—行為の哲学 秋山 邦晴 美術手帖 335
- 現代芸術の底流
1. 人間の解体 李 禹煥 S D 63
2. 現代日本美術のいろは 藤枝 晃雄 64
3. 劇画論または生活—文化—表現論 石子 順造 65
4. 映像の生まれる地帯 大島 辰雄 66
5. ハンス・ホフマン論 ジョセフ・ラブ 訳・藤枝晃雄 67
6. 人間と機械(1) 石崎浩一郎 68
7. 3(2) 69
8. 新しい空間の認識にむかって—危機の結晶化作用(1) 岡田 隆彦 70
9. 3(2) 71
- イメージの変革 坂崎 乙郎
1. ボッシュ—幻想の世界に裁かれた人びと 美術手帖 322
2. グリユーネヴァルト—醜悪さに潜む偉大な信仰告白 324
3. クラナッハー—女性に永遠の主題を求めて 325
4. アルチンボルド—奇想天外な観想学にかけた一生 326
5. レオナルド・ダ・ヴィンチ—庶民の子に生まれた天才の苦悩 327
6. ブリュゲル—自然としての神の悲劇性を啓示 328
7. セーヘルズ—風景に人間の崩壊と死の象徴を見る 329
8. フェルメール—物質に光を、万物に生命を 331
9. マニヤスコ—現実に縛られぬ精神の自由を 332
10. ウィリアム・ブレイク—栄光に満ちた聖なる幻に無限の価値を 333
11. ターナー—虚構の宇宙に真の人間性を探求 334
12. ゴッヤ—混沌の時代を真の民衆画家として生きる 335

環境芸術から観念芸術へ	鈴木 健二	視 る	38	「東京ビエンナーレ」作家たち	東野 芳明		
特集・現代のグロテスク—失われたものを求めて		みづゑ	787	ヴェネチア・ビエンナーレの解体と再生	ス	美術手帖	332
脱美化への衝動	種村 季弘			特集・現代美術のアーティストとアルチザン		芸術新潮	246
夢・わがグロテスク—洞窟から遠く離れて	池田 龍雄			アーティストとアルチザンの系譜	瀬木 慎一		
現代芸術の思想と動向<人間と文明>	ミッシェル・ラゴン	毎 日	6.2	ビッグ・アートと仕事の共存—70年代の美術のあり方	吉田 光邦	毎日夕刊	2.6
現代美術への疑問	高階 秀爾	読売夕刊	7.11	特集・天才は今日では認められない		芸術新潮	241
特集・反芸術はアイデアで高値		芸術新潮	242	自称天才と天才を否定する天才	東野 芳明		
ビール罐五万ドルの現代美術	東野 芳明			無名の天才	針生 一郎		
美術史と前衛—アメリカ現代美術を中心に	植村鷹千代	東京夕刊	2.26	ピカソ型とマチス型	瀬木 慎一		
特集 ニューヨーク・芸術とその環境		美術手帖	322	天才に酬いる現代	藤枝 晃雄		
アメリカ美術の形成	藤枝 晃雄			荒唐が生む天才・瑛九	久保貞次郎		
第7回ニューヨーク・アヴァンギャルド・フェスティヴァル報告	ジャド・ヤルカット・フェスティヴァル	飯村昭子		「天才」は遠くなり	中原 佑介		
アメリカのサブ・カルチャーをつくる6人のスーパーアーティストたち	飯村 隆彦			特集・表現と暴力—芸術は無力か		美術手帖	326
爆発するセックス革命	久保田成子			見ることの攪乱	ス		
乾いた街 ニューヨーク—日本人作家の生活基盤をめぐって	(K・A)			赤瀬川原平—常套句をつきぬけるちから	岡田 隆彦		
ニューヨーク美術界を動かす力	愛甲 健児			木村恒久—「イメージ公害」にたち向う	刀根 康尚		
ニュー・ボヘミアンの根拠地—ヒップ・ガイド・ヴィレッジ	飯村 隆彦			森山大道—写真は行きずりに交す私語	柳本 尚規		
特集・前衛は何処に		季刊芸術	12	特集・そして、いま恍惚革命		ス	332
対談・前衛の栄光と悲惨	東野 芳明 高階 秀爾			幻覚の共和国	金坂 健二		
特集・もうひとつなにかある—サブ・カルチャーの状況		美術手帖	325	ドラッグ・カルチュア、明と暗	久保田成子		
狂言をこえて—自我解放の時代	浜野 安宏			特集・ROCK IS		ス	333
座談会・時代はわれわれがつくる	加納 典明 寺田 稔 山本 寛斎 ジョセフ・P・ラヴ 浜野 安宏			原始への回帰—文明論的ロックの考察	日向あき子		
トータルな文化の革命	ジョセフ・P・ラヴ			座談会・ロッカー肌で聞く共同幻想	磯崎 新 木村 英輝 鋤田 正義 杉浦 康平		
特集・これがなぜ芸術か—第10回東京ビエンナーレを機に		ス	329	人間復興を求めて—「ニルヴァーナ」展取材記—ものを作らない作家たち	福住 治夫	ス	ス
新しい表現への志向	藤枝 晃雄			特集・行為する芸術家たち		ス	335
				単独行為者の超劇場	ヨシダ・ヨシエ		
				松沢寛—滝口修造氏との対談	(文責・松沢有)		
				芥正彦—実録戯話	足立 正生		

定期刊行物所載文献

糸井貫二一直会肉談	豊島 重之				ハーバート・リード論のためのプロローグ	酒井 忠康	芸文研究	29
存在のギリギリの不可能性としての行為	前山 忠				特集・廃語空間を超えて		デザイン批評	12
行為についてのメモから	風倉 匠				討論・われわれは何に向かって自由なのか	栗津 潔 木村 恒久 中平 卓馬 原 広司		
反乱の肉体・断想	邦 千谷				座談会・自然と人間	佐藤 栄作 糸川 英夫 東山 魁夷	日本美術	72
自らの変容の過程を観視	稲 憲一郎				人間と物質の間			
「バッド・トリップ」	安土 修三				1. ロケーションの思想	中原 佑介	三 彩	262
プレイー日常生活との境界をとり払って					「国際未来学会議」について	川添 登	毎日夕刊	4.8
流動する「エア・コミュニケーション」へ	池田 正一				人間どうなるんや・5—京の未来学会議から		京 都	4.20
友人ペア・カービーへの手紙	小杉 武久				自然と人間—公害・変貌する自然のなかで	ヨシダ・ヨシエ	S D	71
何もしないで何かする現代美術の新人たち	安井 収蔵	毎日夕刊	2.20		人類の文化財—ボロボドール	千原大五郎	朝日夕刊	6.2
「場」としてのグラフィズム—禁治産者の日常空間	平井 亮一	デザイン批評	12		ボロボドール仏跡	佐和 隆研	読 売	6.21
現代美術の東と西	三宅正太郎				戦火の中の遺跡—アンコールをしのいで	梅原 猛	東京夕刊	6.27
11. 歪みと欠落		崩 春	183		特集・戦火の中の芸術		芸術生活	247
12. 交流と同時性		〃	184		人間讃歌のベトナム美術	大沢 武雄		
13. 人間の物質化		〃	185		戦火の中の芸術家	杉村 恒		
14. 美術の物質化		〃	187		ルーヴルの変貌	竹本 忠雄	芸術新潮	242
15. 重力の拡散と消失		〃	188		全人教育と美術の役割	高野啓一郎	芸文研究	29
16. 続・重力の拡散と消失		〃	189					
17. 美術と自然(1)		〃	190		絵 画			
18. 〃 (2)		〃	191		「ギリシャの大絵画」の発見(発掘・60)	沢柳大五郎	芸術新潮	252
19. 〃 (3)		〃	192		フランス中世壁画の調査(上)	吉川 逸治	学 燈	67—5
20. 〃 (4)		〃	193		十字架降下について(1)	長塚 安司	美 術 史	76
21. 〃 (5)		〃	194		「パリの510番」写本挿絵中の福音書場面の研究—図像篇(1)(2)	辻 成史	〃	78、79
現代美術とエロス<ある論点>	(藤)	京 都	3.6		手写本挿絵「楽園追放」と「カインとアベルの争い」	三輪 福松	古 美 術	29
特集・東のエロス		芸術新潮	247		聖告(サン・ロレンツォ聖堂)	中山 公男	仏教芸術	75
対談・エロスの発見	真鍋 俊照 前田 常作				ルネサンスと遠近法	柏木 隆夫	大手前女子大学論集	4
東西の美術的創造の対置—万国博美術館展覧会の構想	富永 惣一	仏教芸術	75		遠近法と明暗法—イタリヤ・ルネサンス絵画に於けるその役割と意義	〃	美 学	83
イギリス美術と新世代の動向	富山 秀男	現代の眼	190		ミケランジェロの素描とマンネリスト	中江 彬	〃	80
イギリス現代美術のむこうに	本間 正義	〃	〃					
現代イギリス美術のアムビグイティ	岡田 隆彦	〃	191					
座談会・現代イギリスの美術—ゴスリング氏を囲んで		〃	〃					
ムッソリーニの考古学<発掘・51>	野上 素一	芸術新潮	243					

肖像画家ハンス・ホルバイン	海津 忠雄	美 学	81
死の像におけるデュラーとホルバイン	ス	芸文研究	29
ブリュッゲルの「農民」描写について	岡部 紘三	美 学	83
ベラスケス初期作品の一考察—ボデゴネス絵画の意義	遠藤 恒雄	ス	82
デッサンにおける線と明暗—アングルとドラクロワからスラーヘ	池上 忠治	ス	ス
ポール・セザンヌのデッサン—初期の作品	ス	美術史	76
近代美術論—19世紀フランス絵画におけるリアリズム	白山 定雄	愛知教育大研究報告	19
西洋近代絵画にあらわれた女性像	井関 正昭	日本美術	65
英国風景画	岡本謙次郎	視 る	43
東と西の風景画	高階 秀爾	日 経	10.6
北欧と南欧の絵画	前川 誠郎	仏教芸術	75
キュービズムの絵にみる楽器	高橋 功	芸術新潮	245
キュービズム	末吉 雄二	芸文研究	29
パウル・クレーの絵画理論に関する一考察	岸野 悦子	文 化	34—3
ピカソの「ゲルニカ」に関する一考察	末吉 雄二	美 学	83
絵画におけるエロチシズム	種村 季弘	芸術新潮	244
世紀末芸術とピアズリー〈研究ノート〉	荒川 龍彦	朝日夕刊	5.6
特集・アメリカン・ナイフ		みづゑ	790
知られざる国民絵画	藤枝 晃雄		
なにはともあれシリウスはとぶに捨てよう	饗 嘯		
特集・苦悩するアメリカ絵画		芸術新潮	243
新しいものの歴史	中原 佑介		
ハンガリー—現代絵画〈文代往来〉		日 経	10.3
現代インドの絵画	本間 正義	現代の眼	192
特集・アジャント再見		芸術新潮	245
光と闇の荘厳	田枝 幹宏		
アジャント壁画随想	平山 郁夫		
本邦に伝来せるヨーロッパ古版都市図について	高橋 正	龍谷史壇	63
明末清初の絵画(上)	川原 正二	美術グラフィ	19—10
江戸の洋風画—三つの研究について	陰里 鉄郎	季刊芸術	12

明治絵画史	細野 正信		
33. 第4回文展・洋画		萌 春	184
34. ス		ス	185
35. 第5・6回文展の日本画(1)		ス	187
36. ス(2)		ス	188
37. 第5・6回文展の洋画		ス	191
明治洋画史	外山卯三郎		
54. 文部省美術展覧会の開設(1)		美術グラフィ	19—4
55. ス(2)		ス	19—5
56. ス(3)		ス	19—6
日本近代洋画史のなかの女性美	朝日 晃	日本美術	64
新出の田村宗立画について	大橋 乗保	人 文	18
特集・絵金—幕末土佐地狂言怨念図譜		みづゑ	789
邪霊送りの絵師・金蔵	藤村欣市朗		
前近代への嫌悪	横尾 忠則		
食いつく絵金の泥絵	浜口 富治		
近代日本画の特質	倉田 公裕		
1. 墨の美		三 彩	255
2. 光と隈		ス	258
3. 遠近法—絵画空間の論理		ス	260
4. 余白のころ		ス	262
5. 線—その表現の特色		ス	265
近代日本画に於ける西洋—土田麦僊について	内山 武夫	美 学	83
新しい日本画への提案—世界的視座に立つことが望まれる日本画の将来	鈴木 進	日本美術	70
日本画を考える(上)	石本 正 西山 英雄 豊秋 半次	京 都	4.10
ス(下)	河北 倫明 佐野 猛夫 小原 啓介	ス	4.17
特集・現代日本画と日本人—現代日本画の彼方(座談会)	加山 又造 横山 操 平山 郁夫 藤本 鷹司 藤本 昭三	三 彩	253
特集・幻想の日本画—幻想の自然観照	坂崎 乙郎	芸術生活	256
特集・舞妓の絵画		三 彩	259
近代と舞妓	加藤 一雄		
洋画にあらわれた舞妓	東 珠樹		
画題三代記—明治・大正・昭和の舞妓絵	田中 皓一		

定期刊行物所載文献

私の舞妓さん	小倉 遊亀			2 版画ことはじめ (二)	季刊版画	6
私の舞妓—あるいは現代日本画について	石本 正			3 〃 (三)	〃	7
京舞妓	徳力富吉郎			4 庶民信仰の承譜と版画の歩み (一)	〃	8
舞妓の絵—土の匂いの女たち	水上 勉			5 〃 (二)	〃	9
日本画線の性格(上) 二(下)	川原 正二	美術グラ フ	19—2 19—4	版画と近代	海上 雅臣	
米点とその展開	〃	〃	19—5	2 棟方板画の意義	〃	6
特集・水墨画こそわれらが究極		芸術新潮	242	3 小コレクター運動の歩み	〃	7
独断する水墨	横山 操			4 時代の旅人瑛九	〃	8
私の志向する水墨画	加山 又造			5 「白と黒」, 「版 芸術」誌のこと	〃	9
日本ナンセンス画史—恣意の暴逆	草森 紳一			自伝的日本近代版画史	関野準一郎	
1. 鳥獣戯画		芸術生活	245	4 地上の祭	〃	6
2. 地獄草紙・餓鬼草紙		〃	246	5 まだ生きられるこのおカボチャ様	〃	7
3. 信貴山縁起・伴大納言絵詞・平治物語絵巻		〃	247	6 版画家は倉が建つ	〃	8
4. 一休宗純の書		〃	248	7 版画奉公会、半峰	〃	9
5. 祖師禅機画		〃	249	現代版画の状況	小倉 忠夫	〃 6
6. 豊国祭礼図		〃	250	現代版画界の状況	〃	現代の眼 193
7. 西鶴諸国はなし		〃	251	イギリスの現代版画	パット・ギル マー 富山秀男訳	季刊版画 8
8. 白隠画		〃	252	版画の欲求を満すもの—現代版画のフロンティア展討論会抄録	編集部	美術手帖 335
9. 国芳・木曾街道六十九次		〃	253	藤田嗣治のエッチング		毎日夕刊 10. 21
10. 黄表紙		〃	254	版画グランプリ—渡辺栄一の版画	〃	10. 8
11. 渡辺崋山		〃	255	銅版画の技法 4~6	駒井 哲郎	季刊版画 6~8
12. 人体内景図		〃	256	石版画の技法 1	吉原 英雄	〃 9
かえってきた戦争絵画	本間 正義	現代の眼	188	彫 刻		
戦争画の功罪	田中日佐夫	芸術新潮	252	サン・ドニカシャルトルカーゴシック彫刻誕生の問題	馬杉 宗夫	美術史 77
里帰り戦争絵画<文化往来>	(H)	日 径	7. 18	サン・ドニの彫刻<真贋・76>	〃	芸術新潮 244
自画像	瀬木 慎一	日本美術	66	彫刻と風景 —ヘンリー・ムーア彫刻試論	八代 修次	芸文研究 29
絵と絵の題名の周辺	河野 芳夫	〃	70	無限の柱—タル・ストリーターの彫刻	エリー・アメル	S D 74
一枚の絵	嘉門 安雄	学 燈	67—12	エジプト・アトーン神像	三輪 福松	古 美術 31
黒の情念	坂崎 乙郎	芸術生活	245	石のインド	佐藤宗太郎	
特集・同じ作家による傑作と凡作—傑作の条件	宇佐見英治	芸術新潮	242	1. 彫刻の美	三 彩	257
特集・現代画家十人による「人間」の追求—「描く」ことの今日の意味	栗田 勇	〃	248	2. アジャンタ	〃	259
アルブレヒト・デューラー木版大受難伝	前川 誠郎	美術史	78	3. エローラの石窟	〃	261
感情の木霊する自然—ドナウ派の版画	千足 伸行	み づ ゑ	787	4. マハーバリプラム	〃	264
グロテスクに装われたエロティスム—フォントヌブロー派の版画	坂本 満	〃	785	5. カジュラーホ	〃	266
日本版画文化史	杉山 二郎	季刊版画				

「中原悌二郎賞」設定にあたって	匠 秀夫	東京夕刊	3.28
飛鳥初期の彫刻—飛鳥仏と朝鮮三国仏	久野 健	月刊文化財	87
静岡県の彫刻	鷲塚 泰光	〃	86

工芸・デザイン

倉俣史朗の近作—光の座		S	D	63
高見慧の椅子と環境—ワコール新宿店のショールーム	内井 昭蔵	〃		65
タイプライターとプラスチックのコンパイン—ソットサスのデザインと「パレンタイン」	向井周太郎	〃	〃	
柔らかく毛深いタイプライター—オリベッティの新しいタイプライター「パレンタイン」	高橋 睦夫	〃		
引出し論—倉俣史朗の家具	中原 佑介	〃		66
イラストレーションとは?—機関誌「イラストレーション」の発刊	藤枝 兄雄	〃	〃	
特集・セラミックスの可能性		〃		67
陶器づくりの体験	エットーレ・ソットサス			
陶と建築	会田 雄亮			
アップシリーズ、または因習からの解放—ガエターノ・ペーシェの「イス」?	S. T	〃	〃	
黒と白の自叙伝—ナイト・イン	光藤 俊夫	〃		68
オフィス・ファニチュアのための新しい展示空間	W・ブラットナー・小倉善明	〃		69
スペース・ライティング	石井 幹子	〃		70
自立する光の柱—帝國ホテル・アーケードのカネボウのディスプレイ	倉俣 史朗	〃	〃	
NARCISO — 細江勲夫の照明	渡辺 力	〃		72
張清嶽のランプ・シェードと椅子—プロセスとしてのデザイン		〃	〃	
非相似の言語—北欧プラスチック食器	泉 真也	〃		74
デザインの画一化に抗して—環境とインダストリー	柳 宗理	〃	〃	

堀川あたりの茶染師 特集・私の蒐めたやきもの	木村 孝 学 燈	67—6
「私の蒐めたやきもの」展を見て	八木 一夫	芸術新潮 241
骨蒸百話	小山富士夫	
13. 古井戸茶碗	〃	241
14. 豆腐・高橋由一	〃	242
15. 高麗青磁辰砂・蓮弁文瓢形水注	〃	243
16. 墨絵・魯山人の顔、サム・フランシス	〃	244
17. 随・唐の定窯	〃	245
18. 淡墨・仙人	〃	246
19. 司馬江漢染付・気球皿	〃	247
20. 寂庵の書・万戸擣衣声	〃	248
21. 粉引茶碗	〃	249
22. 根来大鉢	〃	250
23. 信楽壺	〃	251
24. 慈雲書・円通	〃	252
志賀直哉さんと加納鉄哉	奈良岡 明	〃 245
伝統工芸と現代工芸会の相克—二つの工芸展を見て—フット・ライト	沢野 久雄	〃 246
特集・現代の手づくり		
手づくりとしての仕事	神代雄一郎	〃 249
沖縄の民芸	草野 心平	〃
スイスの山奥で見つけた金襴	山辺 知行	〃 250
アメリカ陶芸界に驚愕する	三輪 竜作	〃
韓国に茶器の絵付けに行く	小堀 宗慶	〃 252
庶民の美	高橋 正雄	
4. 風絵	芸術生活	245
5. 絵馬	〃	246
6. お面	〃	247
7. 雛人形	〃	248
8. 千代紙	〃	249
9. 漆喰紙	〃	250
10. 喫煙具	〃	251
11. 団扇	〃	252
12. 神輿・山車	〃	253
ブラックの宝石デザイン	〃	247
祇園・山鉾胴掛の織物—美を競う世界の織物	北村 哲郎	〃 248
家紋とトレード・マーク	大森 忠行	〃 249

定期刊行物所載文献

特集・イラストレーター三傑—P. マックス、横尾忠則、M. フォロン		芸術生活	251	富本先生	近藤 豊	〃	〃
へたくその美学	河原 淳			富本憲吉のことは		〃	〃
劇的状況の創作	金森 馨	〃	252	対談・北欧の現代陶芸	加藤 卓男 乾 由明	〃	39
内的世界を造形する 金森馨	浅利 慶太	〃	〃	イスラエル国際陶芸 シンポジウムに参加 して	今井 政之	〃	40
トップ・オフィス12 人の競作—情報時代 のオフィス	亀倉 雄策	〃	256	起立工商会社—明治 初期工芸職人団の組 織と活動	長谷川 栄	ミュージ アム	232
特集・賞 日宣美の亡霊	河原 淳	〃	〃	デザインののための鉛 筆デッサンと着彩画	御茶の水美術 学院デザイン部描写 研究室	別冊アト リエ	102
伝統の陶芸				イラストレーション 入門	武蔵野美術 大学T・デ ザイン研究 室、土屋幸 夫編	〃	103
1. 唐津・上野・黒 牟田の諸窯	永竹 威	月刊文化 財	76	レイアウトマニユ アル		〃	104
2. 染付けと赤絵の 故里、有田	〃	〃	77	ベージックデザイン 実習	東京学芸大 学美術科デ ザイン研究 室編	〃	105
3. 筑前の窯場、日 田の皿山	〃	〃	78	美しい福木の群れの ために	外村吉之介	朝日夕刊	3. 18
4. 高麗伝陶技の周 辺	南 邦男	〃	79	デザイン0年—無風 の砂漠時代	栗津 潔	〃	7. 22
5. 萩焼	河野 良輔	〃	80	工業の思想を問う— 商品に文化的価値を	泉 真也	〃	9. 30
6. 備前焼	桂 又三郎	〃	82	朝鮮陶磁の道—古唐 津などの源流求めて	三上 次男	日 経	4. 20
7. 佐渡における 「無名異焼」とそ の周辺	吉田 耕三	〃	83	韓国行脚			
8. 四国のやきもの	小山富士雄	〃	84	奇蹟のタペストリー ・祇園祭の山鉦	北村 哲郎	毎日夕刊	2. 10
9. 九谷焼	高橋 勇	〃	85	I・D道具による人 間の疎外	小池岩太郎	〃	6. 16
10. 常滑、信楽、伊 賀焼	平野 敏三	〃	86	パロリス陶芸ビエン ナーレ	長谷川 栄	〃	6. 23
11. 瀬戸焼	内藤 隆三	〃	87	東独の柿右衛門	深川 正	〃	11. 16
沖縄の美術工芸	大城 精徳	〃	81	陶芸振興の為に一部 門別の官展開催を	吉田 耕三	読売夕刊	6. 20
現代フランスのタピ スリー	友部 直	現代の眼	182	陶磁の世界	三上 次男	京都夕刊	1. 14
壁掛けの話	龍村 平蔵 龍村 元	〃	〃	工芸における用と美 〈ある論点〉	竜 平	京 都	4. 24
フランスのタピス リー	フランソワ ・グラビエ	〃	〃	工芸・鎖国主義への 訣別〈ある論点〉	(藤)	〃	10. 16
特集・現代の陶芸展 現代の陶芸—ヨー ロッパと日本—を 見て	佐藤 雅彦	三 彩	265	工芸・純粋美術への 接近〈ある論点〉	(藤)	京 都	10. 30
フランスのタピス リー—その歴史と現 代	藤井 久栄	日本美術	64	建 築			
ガラスの世界	香取 忠彦	〃	69	特集・USAの新しい 波—ケビン・ロー チの登場		S D	63
日本陶磁の美	〃	〃	72	ローチ事務所のこ と	菅原 信孝		
構成主義のデザイン 理論—形式主義と要 素主義	宮島 久雄	美 学	80	対向面の切削	原 広司		
陶芸の世界	北村 由雄	萌 春	191	建築・空間・人間	坂崎 乙郎		
明治の壁掛—万国博 と近代日本の工芸	村松 寛	視 る	32	1. 壁		〃	63
名物裂	守田 公夫	〃	33	2. 穹窿		〃	64
石黒先生(石黒宗磨)	杉原 信彦	〃	35				
石黒先生の憶い出	清水 卯一	〃	〃				
富本憲吉の芸術	乾 由明	〃	36				
富本憲吉先生を憶う	山田 喆	〃	37				

3. ゴッホの場合	S	D	65	シカゴ・スピリット	三栖 邦博		
4. マチスの彫刻	シ		66	町に接する学園の領域	小倉 善明		
5. 都市	シ		67	変革への基地	上田 信也 上杉 武夫		
6. プリュージェルの場合	シ		68	ブラウン大学寄宿舎 計画案—P A 誌コン ペ1970年度最優秀案		S	D 66
7. 風土—佐熊桂一 郎とアンドリュウ ・ワイエス	シ		69	アンチ・アーキテク チュアの時代—アメ リカ現代建築の底流	磯部 行久	シ	シ
8. 窓	シ		70	特集・大学キャンパ ス論(2)		シ	67
9. 人形の家	シ		71	都市と大学(1)	土田 旭 若林 時郎 土肥 博至		
10. 自然—ブレーク とガウディ	シ		72	カナダのキャンパス			
11. 砂漠—クレート ・ハインツ・マッ ク	シ		73	1. トロント大学・ スカボロ・カレ ッジ	解説・山田 敦之		
12. 実存—ジャコメ ッティ—の姿勢	シ		74	2. サイモンフレ ーザ—大学	解説・訳 小倉 善明		
特集・シヨッピング ・センターの新段階	シ		64	3. トロント大学	シ		
シヨッピング・セ ンターへの断章	加藤 秀俊			特集・ニューヨー クの都市計画		シ	シ
玉川高島屋シヨッ ピング・センター について	松田・平田 ・坂本設計 事務所			ニューヨーク都市 空間の断絶	三木 誠		
シヨッピング・セ ンター—効外へ	田巻 博道			マンハッタン・レ ポート	J・スター リング 訳・富田玲 子		
光の思想	E・ソット サス 訳・パロー タ佐藤和子	シ	シ	特集・大学キャン ス論(3)		シ	68
ピーター・コリンズ の論文をめぐって— 建築の哲学? またし ても?	中村 敏雄	シ	シ	都市と大学(2)	土田 旭 若林 時郎 土肥 博至		
図説インド都市建築 史	飯塚キヨ編			1. ヴィルタヌーズ			
1 仏教文化時代まで		シ	64	2. フリー・ベルリ ン			
2 ヒンドゥー文化時 代		シ	65	3. ボッフム			
3 イスラーム文化時 代		シ	66	4. ヨーク			
特集・体育館		シ	65	5. ラフボロー			
体育館—その必要 条件と最適条件	岡田 新一			6. サンディエゴ			
日本歯科大学体育 館	鷲尾 修			7. サンタ・クルツ			
日産自動車追浜工 場体育館	西脇 敏夫			The New Harvard Graduate School of Design	訳・小倉善 明		
スポーツ施設の考 え方	長田 一臣			特集・ウォーター・ フロント開発の動向		シ	68
スポーツ・建築・ 雑考	山田 水城			臨港地区の再生	水谷 頼介 小林 郁雄		
体育館論	草森 紳一			マンハッタン・ バッテリー・パー ク・シティー	三木 誠		
特集・大学キャン ス論(1)		シ	66	世界貿易センター ビルの意義	田中 正美		
コミュニティとし ての大学	香山 寿夫			神戸港と神戸商工 貿易センタービル	浅井 謙史		
エールとニューヘ ブン	木村誠之助						
歴史と現代を生き る大学	山田 弘康						

定期刊行物所載文献

特集・大学キャンパス論(4)		S	D	69	モルフォロジーとエコロジー	曾根 幸一			
大学計画に関する覚え書	香山 寿夫				参加の論理	宇佐見圭司			
コミュニケーション・スペースの構成としてのキャンパス	〃				Much about Nothing	大島 辰雄			
芸術工学をめざすもの—その教育的側面	小池 新二				万国博の映像表現	飯村 隆彦			
九州芸術工科大学の設立の趣旨	田辺員人編				なぜ赤瀬川原平か	刀根 康尚			
アメリカ1970	三木 誠				消えた万国博彫刻	有馬 宏明			
特集・都市高層ホテル		〃		69	ファーム・ウェア・シティ	泉 真也			
都市ホテルの展望と京王プラザホテル	村尾 成文				EXPO'70 拝見	P・ブレイク			
帝国ホテル新本館設計概論	深津 秀夫				うしろめたさと醜い足	草森 紳一			
ホテルプラザ・設計概要	中村 功美濃 吉昭				見ないことは見ることである	市川 雅			
自律する表面構造—内も外も無(新宿・一番館、二番館をめぐって)	粟津 内田 深繁 実修	〃	〃		エチオピアの石窟建築—現象的なラリベラ教会	木島 安史	S	D	70
可動建築論	真鍋 恒博				自律化する領域—媒体空間の形成		〃	〃	
1 建築は動くのだ		〃	〃		秋田相互銀行盛岡支店	宮脇 檀			
2 建築は何故動くのか		〃		70	和気町公民館	川崎 清			
3 建築はこうして動くのだ		〃		71	富士重工業労働組合会館	竹山 実			
4 建築はもっと動くようになるのだ		〃		72	人間環境における領域の知覚—「自律化する領域媒体空間の形成」に関連して	〃	〃	〃	
5 建築は動かないのだ		〃		73	特集・地域空間の共同主観性を求めて—品川再開発研究会の実践		〃		71
6 建築は動くのだ		〃		74	終末論的世界からの出発	佐伯洋一郎			
都市開発プロジェクト批判					地域の特性	工藤 英一			
1 行政都市計画論	若林 時郎	〃		70	地域住民の特徴	本城 和彦			
2 理論都市計画論	松川 淳子	〃		71	品川再開発1968年	河原 一郎 猪野 忍 長谷川 紘			
3 設計論的観点から	土田 旭	〃		72	集って住むことへの問題提起	鬼頭 梓			
4 高蔵寺計画メモ	土肥 博至	〃		73	住民運動と研究者の社会的役割	奥田 道大			
5 多摩ニュータウン計画	小林 篤夫	〃		74	北品川再開発研究会とわたし	金子勇次郎			
特集・インスタントシティの幻想と現実「万国博」		〃		70	住民運動とわたし	佐伯洋一郎			
馬の前の荷車万博建築以前	伊藤ていじ				変化に対応するための実践—キャプラン&マクローリン事務所設計プロセス	W・B・フォックスホール 訳・小倉善明	〃	〃	
万博は縁日か	多木 浩二				芹沢文学館		〃	〃	
肉弾三勇士—2時間半の万博見聞	藤枝 晃雄				自然と人為の周で—芹沢文学館設計にあたって	富永 譲			
宿営の地としてのバンパクには宿命のように内がないということのややこしくどしい嘆きなど	長谷川 亮				芹沢文学館の印象—内と外の親和性	有馬 宏明	〃		71
俗の俗	川添 登				TOKYO FIGURE GROUND	三木 誠	〃	〃	

建築と色彩—「無色多彩」空間を越えて	田中 一光	S	D	71	1. 装置化空間モデルとしてのお祭 広場計画		
特集・丹下チーム・海外のプロジェクト		シ		72	2. 装置化空間モデルとしてのトリ エンナーレ計画		
座談会・協同の構造—建築からアー バンデザイン、都 市計画まで	丹下 健三 神谷 宏治 平良 敬一				3. 装置化空間モデルとしての生活 場計画		
ニューヨーク・ス ポーツセンター	谷口 吉生				アーキグラムの指向 するもの	建築文化	279
リヤド・スポーツ センター	高宮 真介				楽天主義的な建築 概念のメッセンジ ャー	佐々木隆文	
クエト・スポーツ センター	松下 一之				アーキグラム症候 群に関するノート	ピーター・ クック	
スターリングのコン ピューター・リサ ーチ・センター	沢・北川フ ラム	シ	シ		レオナルド・サ ヴィオリについて の証言	パオロ・リ アニ	
菊竹清訓の島根県立 武道館		シ	シ		特集・コンピュー ターと建築		280
正面性・序列性・ 人間性	菊竹 清訓				建築にとってコン ピューターとはな にか		
形而上的相似—島 根県立武道館と 「菅谷たたら」	平山 忠治				情報革命の中の 建築家	寺田 秀夫	
特集・環境科学への 課題(1)		シ		73	都市・システム・ 建築として	伊藤 滋	
ホモ・サピエンス は反逆する	日高 敏隆				建築生産システ ムの現状から	嶋 富士夫	
地球は永く人類は 短い	山下 一郎				建築の設計主体 とコンピューター の役割は	太田 利彦	
対談・自然・総体 としての環境の論 理	宮脇 昭 大谷 幸夫				建築家にコンピ ューター・マイ ンドを	吉田 邦彦	
反自然社会と肉体 の復活	市川 稚				建築家のための コンピューター 教育は	服部 正	
芸術とエコロジー	磯辺 行久				コンピューターに よるシステムとし ての都市と都市建 築へのアプローチ	稲富 昭 田坂入 千代 辻 正紀	
栃木県議会庁舎— 再び記念性を	大高 正人	シ		73	コンピューターに よる設計のシステ ム開発—PPSSの 開発実例	川崎 清 笹田 剛史	
ACORN プロジェ クト	J・モンゴ メリー 沢・小倉善 明	シ	シ		ソフトな住宅への試 み		280
特集・環境科学への 課題(2)		シ		74	ソフトな住宅への 試み	内井 昭蔵	
人間とは何か—現 代人周学の問題	小原 秀雄				インテリア・デザ インの考え方	内井 乃生	
座談・環境破壊の 借金返せるか— 環境破壊と都市文 明の価値変革	池辺 陽 川上 秀光 半谷 高久				組織と設計—発想から デザインの定着ま で	岡田新一建 築事務所	281
建築屋が舞台をつく れば	清家 清	芸術生活		245	原型を求めて	岡田 新一	
ブルー・ガフの幻 想住宅—永久に未完 成な建築	谷川 正己	シ		247	流れのシステム	栗原 成実	
旧済生館本館と山形 の明治建築<開発と 文化財>	伊原 恵司	月刊文化 財		78	白い壁	岡田 新一	
沖縄の建造物	全 正夫	シ		81	山上の光		
ソフト・アーキテク チャー応答場とし ての環境	磯崎アトリ エ 磯崎 月尾 新男	建築文化		279	ガラスの箱	鷲尾 修	
					特集・日本万国博覧 会		282

定期刊行物所載文献

万国博の計画と未来都市	丹下 健三				京都・奈良の都市計画における歴史的地域の保存と開発に関するシンポジウムの報告と勧告				
万国博会場計画と建築	山本 康雄				保存と開発の新しい哲学と方法を求めて	桐敷真次郎			
特集・新しい都市空間をめざして—'60年代のニュータウンの変遷と分析	スペース・システム研究所	建築文化	283		東京ブラウス本社ビル環境とファッショ	内井 昭蔵	〃	290	
これからの都市空間はいかにあるべきか	佐々波秀彦				旧古河邸について—コンドルの住宅<遺作の研究>	奈良 昭彦	史迹と美術	403	
ニュータウン誕生の背景—イギリス、フランス、ソビエト、スウェーデン					特集・世界現代建築の展望		新建築	45—1	
17のニュータウンの分析と評価					対談・世界現代建築の行方	丹下 健三 磯崎 新			
都市空間の演出(2)—ケース・スタディ—	高口 恭行 アトリエCASA	〃	283		1970年代への胎動				
坂のシークエンス	法政大学・宮脇ゼミナール	〃	284		K・ローチ、 B・フラー他 次の時代を継ぐもの	横 文彦			
ビッグプロジェクトに挑むアーキテクトの苦悩—ミノル・ヤマサキの動向をとおして—	一ノ宮賢治	〃	〃		現代建築の潮流				
絶対的遊戯者の被膜—茶室の意味	石井 和紘	〃	285		ヨーロッパとアメリカ	神代雄一郎			
プライマティ・アーキテクチュア論	宮脇 壇	〃	286		情報革命を文化革命に	川添 登			
あすのアメリカをひらく人々	磯辺 行久 訳・吉原慎一郎	〃			建築と建築家の存在理由	佐々木 宏			
1. Lewis Davis, Sam Broche		〃	286		建築家のクライテリア	山下 和正			
2. Kewin Roche		〃	287		1960年代を築いた建築家たち	宮脇 壇			
3. Lawrence Halprin		〃	288		The World Architectural Climate				
4. Hugh Hardy, Malcolm Holzman, Norman Pfeiffer		〃	290		北アメリカ	岡田 新一 芦原 敏夫			
デザイン・サーヴェイ—巻岐・勝本	明治大学、神代研究室	〃	287		ラテン・アメリカ	鈴木 恂			
「コミュニケーション空間」序説—構造的アプローチによる幾つかの例	丹下 健三	〃	288		西ドイツ	山下 和正			
正面性をもつ建築	菊竹 清訓 他	〃	〃		イギリス	〃			
対談・デザイン原点の発見—イサム・ノグチ郎を語る	大高 正人 山本 忠司	〃	〃		フランス他	福島 駿介			
人間生態学としての建築—パオロ・ソレリの世界	白鳥 健二	〃	289		デンマーク、スウェーデン、フィンランド	竹下 実			
侵蝕される文化遺産—京都・奈良に関するユネスコ国際シンポジウムで提起された問題をめぐって		〃	290		イタリア、スペイン	上松 正直			
					アフリカ	木島 安史			
					現代建築思潮	服部 岑生			
					世界建築史年表	ブルー・ピター			
					象徴と現実の空間論	瀬尾 文彰			
					1. 空間的反省の季節		〃	45—1	

2. 空間論の前提— 建築空間の道具 性に関する断章	新 建 築	45—2	万博会場の人工環 境—地域冷房とそ の利用	尾島 俊雄	〃	〃
3. 生きられる空間		45—3	日本万国博の歴史 的意義	村松貞次郎	〃	45—5
4. 直観的空間		45—4	日本万国博の構想 と現実	西山 卯三	〃	〃
5. 行動の空間		45—5	素通りした万博見 学記	吉阪 隆正	〃	〃
住宅産業を受けと める	井口 洋佑	〃 45—2	芦屋市民会館ルナホ ール		〃	45—6
日本建築界の断面	黒沢 隆 山口 広 村松貞次郎 近江 栄 水谷 顕介 小能林宏城 服部 陽生 本多 昭一 井上 耕一	〃 〃	新たな劇場空間を 求めて	大野 洋		
17. 建築教育はどう あるべきか		〃 〃	ある地域文化の拠 点づくりに関係し て	山崎 孝		
18. 建築教育		〃 45—3	生活文化軸の拠点 でありたい	水谷 顕介	〃	〃
人間復活の教育 へ	山口 広		世界貿易センタービ ルの基準階計画	田中 正美	〃	〃
通信教育でも建 築が教えられる か	近江 栄		神戸商工貿易センタ ービルの基準階計画	浅井 謙史	〃	〃
デザインスクール のもたらすもの	井上 耕一		柔間と充間の周辺 対談・構造的可能性 への挑戦—	鈴木 恂 木村 俊彦 川口 衛	〃	〃
19. 大学教育の可能 性	水谷 顕介	〃 45—4	アマト「住宅産業」デ スカ	工藤 晴正	〃	〃
玉川高島屋ショッピ ングセンター	伴 弘好	〃 45—2	青山タワービル		〃	〃
建築構造70年代の展 望	木村 俊彦	〃 45—3	青山タワービルの 印象	林 昌二		
永遠なる墓標の美学— 日本歯科大学体育館 を見て	長谷川 堯	〃 〃	青山タワービルの 構造計画	温品 鳳治		
現代デザインの中の 郷土—高知県立郷土 文化会館	神代雄一郎	〃 〃	住宅産業にとって建 築家は必要なのか	近藤 正一	〃	45—7
バー・マンション 「一番館」雑感	近沢 司也	〃 〃	「意味された」世界— 日本ルーテル神学大 学を見て	小能林宏城	〃	〃
住宅産業の成立とそ の理念	藤井 昇	〃 45—4	千里中央地区センタ ー・現況、計画、実 施		〃	〃
レーモンドとコンク リート・デザイン— 上智大学6・7号館 をみて	佐々木 宏	〃 〃	計画	大阪府企業 局		
栃木県議会棟庁舎		〃 45—4	実施	田畑 弘		
道標への挑戦	大高 正人		地域冷暖房	河野 元昭		
丈の高い空間のなか で	瀬尾 文彰		水族館の建築—東海 大学海洋科学博物館	高瀬 本居	〃	45—7
特集・EXPO '70		〃 45—5	座談会「生の生産の 器としてのいえ」と は何か—新建築住宅 設計競技1970のため の座談会	川添 登 菊竹 清訓 槇 文彦		
対談・日本万国博 覧会のもたらすもの	丹下 健三 川添 登	〃	「住宅産業」に期待で きることを、できない こと	養原 敬	〃	45—8
ディストピアとして の万国博を通り 抜ける	佐々木隆文		秋田相互銀行盛岡支 店		〃	〃
動く歩道と都市交 通	曾根 幸一 大行 征 森岡 佑士		設計メモ	宮脇 檀		
情報システム	月尾 嘉男		現実と非現実との 関係を橋わたす方 法について	服部 岑生		

定期刊行物所載文献

今日の議事堂建築はいかにあるべきか—茨城県議会議事堂を見て	伊藤ていじ	新 建 築	45—7	建築の解体 アーキグラム・グループ情報に還元された建築	磯崎 新	ス	324
茨城議事堂と静岡県庁—茨城議会議事堂静岡県庁東館	林 昌二	ス	45—8	ラスヴェガス—伝達メディアに置換された建築		ス	326
対談・地域冷暖房とドームドスペースへの展望—EXPO'70での環境工学	野村 豪	ス	ス	セドリック・ブライス—システムのなかに消去された建築		ス	328
部分としての住宅産業	篠原 一男	ス	45—9	エレクトロ・グラフィック建築・抄	トム・ウルフ 訳 中村敏男	ス	326
住宅は叫ぶ・覚書	神代雄一郎	ス	ス				
対談・文化の意思—芹沢文学館	芹沢光治良 菊竹 清訓	ス	ス	生活環境づくりのために	セドリック・ブライス 訳 中村敏男	ス	328
建築と公害 環境要素としての建築の位置	田村 明	ス	45—10	集合住宅の新しい波	原 広司	朝日夕刊	4.30
環境破壊と建築家の役割	湯川 利和	ス	45—11	千里ニュータウンのモニュメント計画	小川 正隆	ス	6.1
計画・設計行為と環境破壊	水谷 颯介	ス	45—12	荒廃する米国の大都市	植 文彦	ス	6.3
特集 丹下健三+都市建築設計研究所		ス	45—10	環境開発と空間利用	菊竹 清訓	ス	7.1
対談・環境と建築をつなぐもの	丹下 健三 菊竹 清訓			アメリカの旅から—古い建物生かして脈うつ不死の美学	剣持 勇	ス	7.2
可能性の建築—丹下健三の最近作をめぐって	佐々木 宏			スコピエの再建	神谷 宏治	ス	8.3
SNSU・草津プロジェクト		ス	ス	都市空間としての広場	榎並 公雄	ス	9.16
SNSU 概論	東方 洋雄			アメリカ建築のふたつの流れ—個人への回帰と威信への挑戦と	穂積 信夫	ス	10.31
人工土地とスペース・ユニットの住みがい	茶谷 正洋			「デザム」の仲間—都市計画論を提起<わが道・建築学>	西山 卯三	ス	12.15
桜台コートビレジ		ス	45—11	建築界この一年	伊藤ていじ	ス	12.24
環境装置としての集合住宅	内井 昭蔵			万国博と建築	大高 正人	東京夕刊	4.4
小道と単空間の交歓	小沢 明			超高層建築と都市再開発—地区単位の計画を	高山 英華	ス	4.23
集合住宅におけるすぐれた実験と解答	山下 和正			新しい都市環境の創造	伊藤 滋	ス	12.2
対極の論理・棲家か、建築か	小能林宏城			建築屋の建築屋任せ—とっつきやすくてむずかしい商売	神谷 正信	日 経	4.29
座談会・「生の生産の器」をデザインする—新建築住宅設計競技1970講評・入選者座談会	川添 登 菊竹 清訓 横 文彦 新建築住宅設計競技1970入選者	ス	45—11	あすの指針エキスポ標識—都市計画にも通ずる人間管理	坪井 恭平	ス	6.5
座談会・1970年の建築界をかえりみて	神代雄一郎 山本 学治 村松貞次郎 長谷川 堯	ス	45—12	欧米カラー—行脚一町づくりに生かされる大胆な色彩	海上 雅臣	ス	12.3
すわり心地がよくないうって?じゃ始めよう	デイヴィット・グリーン 訳 中村敏男	美術手帖	324	新陳代謝が必要—未来都市と住宅について	黒川 紀章	毎 日	3.6
				ボロブドールに光を	千原大五郎	毎日夕刊	3.11
				未来都市の映像—万国博に寄せて<人間と文明>	イアン・L・マクハーグ	毎 日	8.18
				現代の広場—都市環境を高める役割	伊藤ていじ	毎日夕刊	9.10

建築家レーモンドと日本	浜口 隆一	毎日夕刊	10.8
対談・公共のための建築<この人>(1)~(11)	丹下 建三 松岡 英夫	毎 日	11.15~27
未来都市の可能性—万国博の実験建築	黒川 紀章	読売夕刊	1.26
五周年を迎える明治村	谷口 吉郎	ス	3.16
木から石への変化—都市の外観は文化の象徴	中村 光夫	ス	7.18
高密度社会の生活	芦原 義信	読 売	12.12
仮構都市旅行	鈴木 均	京都夕刊	4.7

作 家 (日本)

アメリカン・ナイン—なにはともあれシリウスはどぶに捨てよう	巖 嘯	みづゑ	790
巖光と「馬」をめぐる	宮川 寅雄	世 界	3
私の陶芸と海軍	愛甲 文雄	日本美術	66
ヨーロッパの古い町を訪ねて(5)~(12)	相原求一郎	国際文化	187~194
青木繁ノオト—神と国家とその物語	村上 一郎	芸術生活	253
宇野浩二君<交遊抄>	青木 大乗	日 経	3.14
習画遠想	青木 田卿	日本美術	66
鞍馬の火祭<私の個展>	赤木 竜吉	ス	64
儀式—裁判・儀式・茶番劇	赤瀬川原平	芸術生活	249
梅雨の少年期	ス	中央公論	8
赤瀬川原平<人物交差点>	(贋)	ス	9
絵を描くところ	穂月 明	日本美術	72
インド・カリガート<名作とわたし>	秋野 不矩	京 都	11.27
東京での個展<私の個展>	芥川 耿	日本美術	65
古瀬戸展を見て	朝井閑右衛門	東京夕刊	5.18
アメリカの前衛劇にハプニング出演して	朝倉 摂	朝日夕刊	5.6
アメリカで会った舞台美術家たち	ス	毎日夕刊	6.2
アメリカ人のあいさつ・グービー!	ス	朝 日	6.10
ムンクと私	ス	東京夕刊	10.6
奇妙な本	朝木良之助	日本美術	63
特集・浅井忠の芸術		三 彩	253
浅井先生のこと	黒田重太郎		
浅井忠ノート	佐々木静一		
浅井忠の写実表現について	原田 実	ミュージアム	229
浅井忠の水墨山水図	土居 次義	茶道雑誌	34—9
浅井忠あれこれ	ス	日本美術工芸	387

近代リアリズムの創始—浅井忠をめぐる	乾 由明	世 界	9
今日の反省と明日の精進<私の個展>	浅田 進	日本美術	64
ベン・シャーン「ハンド・ボール」<名作とわたし>	浅野 竹二	京 都	12.18
山崎大耕老師<交遊抄>	浅見 隆三	日 経	9.21
京都を描く	麻田 鷹司	三 彩	254
ブルューゲル「死の勝利」<名作とわたし>	麻田 浩	京 都	5.29
東孝光<現代建築の12人・7>	伊藤 滋	中央公論	7
初めての個展<私の個展>	阿部 ケイ	日本美術	63
個展偶感<ス>	阿部 武久	ス	64
70年ヴェニス・ビエンナーレ・スケッチ	阿部 展也	芸術新潮	249
尼野和三<作家訪問>	川合 昭三	季刊版画	6
ニューヨークの荒川修作	安井 収蔵	毎日夕刊	12.10
釣さんの落日	有島 生馬	三 彩	260
三岸節子さんのガラス絵	淡島 雅吉	芸術新潮	241
粟津潔<訪問・3>	和田 誠	デザイン批評	11
粟津潔<現代の旗手>	木村 英二	読 売	11.26
恐怖放談	安西 啓明	日本美術	63
東京スケッチ随想	ス	朝 日	2.13~4.24
薩摩の彫刻家(安藤照)<交遊抄>	国生 義夫	日 経	5.21
シンボジウム終る	飯田 善国	芸術新潮	242
ルイジアナ美術館の春<ワイポイント芸術鑑賞>	ス	芸術生活	253
増殖するイメージ<新人たちの主張・7>	飯野 静江	三 彩	259
肖像画談義	五十嵐真穂	日本美術	64
みえない<私の個展>	池上 柁子	ス	66
寸景	池田 憲三	ス	64
わたしにとってシュールレアリズムとは何か	池田 龍雄	美術手帳	336
夢・わがグロテスク	ス	みづゑ	787
私のニューヨーク通信(上)、(下)	池田満寿夫	朝日夕刊	3.5 3.6
作家の眼(2)~(5)	ス	季刊版画	6~9
古武道を生きる彫刻家・池田宗弘	福島菊次郎	芸術生活	250
老猫の境地	池田 宗弘	芸術新潮	250

定期刊行物所載文献

画室訪問・池田遙邨	藤本 韶三	三 彩	258	浦上玉堂「山雨染衣図」<名作とわたし>	伊谷 賢蔵	京 都	4.3
追悼・伊谷賢蔵さんのおもいで	池田 遙邨	ス	ス	追悼・伊谷賢蔵さんのおもいで	池田 遙邨	三 彩	258
富士山駄筆	ス	ア ー ト	18—1	伊東深水画伯・出生秘話の巻<草際居閑話・10>	横川毅一郎	日本美術	63
しゃせいの虫	ス	日本美術	63	津軽では…<新人たちの主張・9>	伊藤 彬	ス	260
富田溪仙「御室の桜」<名作とわたし>	ス	京 都	3.6	特集・伊藤清永	ス	ス	69
池部釣さんと鯉節屋	清水巳之助	芸術新潮	242	伊藤清永の女体礼賛	三宅正太郎		
特集・池部釣の人物と作品	三 彩	260		伊藤清永さんのこと	日野耕之祐		
池部釣の二つの世界	佐々木静一			一言(ボスの魅力・その印象)			
釣さんの落日	有島 生馬			エグラン村	伊藤 仁	ス	72
画人・中川一政	石井 鶴三	三彩増刊	263	岸田劉生と色刷会	伊藤 敏博	ス	64
「鞭打つ」時代の画家たち(石垣栄太郎)	石垣 綾子	世 界	12	平山郁夫さんとの思い出	伊藤 弘人	ス	63
未来への愛と意志<新人たちの主張・4>	石黒 直子	三 彩	257	伊藤快彦の静物画	細野 正信	世 界	2
欧州スケッチ巡遊<いちばん長かった日>	石川 滋彦	東 京	6.14	絵画雑感	伊藤 独	ア ー ト	18—1
観念の表出<新人たちの主張・6>	石踊 紘一	三 彩	258	淡々と美校仲間<交遊抄>	井手 宣道	日 経	2.17
藤田嗣治「アッツ島玉砕」<名作とわたし>	石原 薫	京 都	4.10	キャンパスに祭り追う	ス	ス	3.20
シモーネ・マルティニ「グイドリッチオ將軍の騎馬像」<名作とわたし>	石本 正	京 都	2.27	井上永悠さんのこと	南 美穂子	日本美術	65
「明日的」な仕事を<日本画を考える>	ス	ス	4.10	民衆の画家・清水登之	井上長三郎	美術グラフ	19—4
私の舞妓—あるいは現代日本画について	ス	三 彩	259	解釈源氏物語絵の周辺	井上 利哉	日本美術	72
小林古径の安珍清姫	ス	ス	262	木曾谷の嘶	稲熊 万栄	ス	63
特集・石本正	ス	ス	ス	美しき日本の女性	猪熊弦一郎	東京夕刊	1.8
石本正の舞妓絵	水上 勉			マーク・ロスコの想い出	ス	芸術新潮	245
石本正の舞妓	坂崎 乙郎			埋もれていたキュビスト今西中通の遺作	坂崎 乙郎	芸術生活	246
わがイタリア	石本 正	芸術新潮	247	拳闘とレアリスム	入江 観 求	美 2	
石本正の「女」—妖しきものについて	栗田 勇	ス	250	芸は人なり	入山 白翁	日本美術	66
物としてのデザイン	泉 真也	美術手帖	330	駒がいさめば花が散る	岩崎 巴人	ア ー ト	18—2
四つの出来事、四つの言葉	ス	中央公論	5	岩崎巴人小論	原田 実	三 彩	261
泉真也氏<EXPO'70—人間・創造・イメージ>	ス	京都夕刊	2.23	どこがいったい大切か—土着作陶家の話(菊地晃)	岩崎 巴人	日本美術	72
磯崎新氏<ス>	ス	ス	2.9	父・巖谷小波のこと—生涯百年に	巖谷 大四	東京夕刊	6.2
磯崎新<現代建築の12人・6>	伊藤 滋	ス	6	インドの木綿	岩立 広子	カラー・デザイン	16—13
五沐会の仲間<交遊抄>	市川 鎮琅	日 経	10.6	特集・上村松篁の壁画「万葉の春」	橋本 喜三	三 彩	258
青葉浄瑠璃寺	出岡 実	東京夕刊	6.6	万葉の春	田中日佐夫		
糸園和三郎「黄色い風景」を評す<再見と発見>	川原 正二	美術グラフ	19—8	上村松篁の壁画「飛鳥の春」	前川佐美雄		
溪流とその周辺	伊川 鷹治	日本美術	66	上村松篁画伯の壁画・万葉の春	上村 松篁	京 都	5.22
				泉石(文正)筆鳴鶴図<名作とわたし>			

上村淳<新人作家紹介>	吉田 耕三	美術グラフィック	19—7
鳥と花<随筆・讃花>	上村 淳	三 彩	253
上田久之<好日好題>		日本美術	63
上原卓論	内山 武夫	三 彩	266
牛島憲之のアトリエをたづねて	(J)	求 美	2
宇佐美圭司氏<EXPO'70—人間・創造・イメージ>		京都夕刊	2.16
宇田萩郎氏<画談涼風>	山田 竜平	京 都	7.31
歌川国芳「里すずめねぐらの假宿」<私の一枚>	飯沢 匡	みづゑ	791
地獄極楽<茶の間>	内島 北朗	毎日夕刊	11.3
誠実の画家・内田巖さん<思い出の人たち・1>	段塚 魚郎	日本美術	63
窓<私の個展>	内山 懋	シ	70
清澄な朝の空気の中で	鳥頭尾 精	シ	65
コプトの彩色面像<天上大風>	梅原龍三郎	三 彩	253
畏友中川一政君の画業	梅原龍三郎	三彩増刊	263
畏友小林和作君	シ	日本美術	64
梅原龍三郎「ブルターニュの娘」<私の一枚>	中村 哲	みづゑ	790
ついに聞いた「幻の曲」—祖先玉堂作の七弦琴の調べ	浦上 定司	日 経	4.9
私流	海野 和江	日本美術	63
人体を描いて	栄永大治良	シ	64
パレットと<私の個展>	榎倉 省吾	シ	シ
バリの新春	海老原喜之助	東京夕刊	1.7
追悼・海老原喜之助	藤本 韶三	三 彩	265
円鋸勝三<ふろふいる>		東 京	123
大垣禎造さん<パイオニア'70>		京都夕刊	1.2
バリ雑記帳	大垣 禎造	京 都	1.30
大下藤次郎「万年橋」<私の一枚>	土居 次義	みづゑ	789
大島哲以<明日に期待する・3>	白石かずこ	美術グラフィック	19—10
少女幻想—日本画の異才・大島哲以の近作		芸術生活	248
マドリードにて	大田 幸雄	日本美術	72
公害的暴力列島	大谷 幸一	シ	71
バリから帰る「ある青春」—大谷文男		朝日夕刊	1.26
大谷幸夫<現代建築の12人・1>	伊藤 滋	中央公論	1

大塚 均<ぶろふいる>		東 京	7.8
大野五郎の画境	川原 正二	美術グラフィック	19—9
小野幸吉の思い出	大野 吾郎	シ	19—5
今一度鎖国すべきか	大野 忠男	日本美術	65
伝・顧愷之女史箴図卷<名作とわたし>	大野 俣嵩	京 都	4.24
私のウラ芸<随筆・芝居絵>	大森 啓助	三 彩	255
大森運夫<明日に期待する・2>	竹田道太郎	美術グラフィック	19—9
黒川能の世界—庄内の人々と風土	大森 運夫	三 彩	260
岡鹿之助<ディアローグ・12>	安東 次男	みづゑ	791
岡信孝<新人作家紹介>	桑原 住雄	美術クラフ	19—10
岡田謙三<ディアローグ・8>	安東 次男	みづゑ	787
あの顔この顔—肖像画に写した無限の妙	岡田 行一	日 経	2.7
画室訪問・岡田又三郎	藤本 韶三	三 彩	255
岡田又三郎作「大地」	柳 亮	美術グラフィック	19—5
日本の心<交遊抄>	岡田又三郎	日 経	4.2
一人言	岡野 正樹	日本美術	70
笑っちゃったゴッホ	岡本信治郎	芸術新潮	241
インド彫刻女人像<名作とわたし>	岡本 庄三	京 都	9.11
わが世界美術史(1)~(12)	岡本 太郎	芸術新潮	241~
ベラボー・タワー	シ	中央公論	5
太陽の塔と私	シ	読売夕刊	5.22
人と思想・岡本太郎	針生 一郎	朝 日	7.30
元宋の詩想—奥田元宋展を観て	中村 溪男	三 彩	257
含羞	奥田 元宋	シ	シ
画室訪問・奥田元宋	藤本 韶三	シ	シ
寿亀図<天上大風>	奥田 元宋	シ	259
剣・仙人池日記	シ	日本美術	65
小糸さんのひととなり	奥村 土牛	三彩増刊	267
和田英作先生と富士初の個展の頃	刑部 人	日本美術	63
女人讃歌(織田広喜)	水上 杏平	ア ー ト	18—2
映画バラライカの主役になつて	織田 広喜	芸術新潮	245
芋銭の「幽霊」と「妖異画卷」	矢野 文夫	ア ー ト	18—2
特集・小川千麿の書		三 彩	254
ながい手紙の一部	小川 千麿		
小川千麿さんの心境	吉村 貞司		
土を奪われた農民への共感	小口 一郎	芸術生活	252

定期刊行物所載文献

私の舞妓さん	小倉 遊亀 三 彩	259	アメリカこのごろ (上)、(下)	金井 淳	読売夕刊	7.6
古怪先生のお下絵 〈天上大風〉	〃 〃	260	随想	金島 桂華	京都夕刊	7.31
小栗潮〈現代日本画 の苦悩・10〉	菊地芳一郎 美術グラ フ	19—1	金島桂華氏〈画談涼 風〉	山田 竜平	京 都	8.21
日本画への否定〈新 人たちの主張・2〉	小田切ようこ 三 彩	255	居候日記より	金森世士夫	芸術新潮	252
私の画材	小津 卓 日本美術	64	円空作「薬師如来像」 〈名作とわたし〉	金田 辰弘	京 都	9.4
小野幸吉〈画人再評 価〉	小津 卓 美術グラ フ	19—5	狩野芳崖・悲母観音 の下図	水上 勉 三 彩	254	
小野幸吉の思い出	大野 五郎		狩野芳崖「悲母観音 図」について	細野 正信	〃	258
小野幸吉のこと	佐藤 三郎		錦木昌弥メモ〈異色 作家紹介〉	織田 達朗	〃	259
安井先生の空飛ぶ裸 婦	小野 末 芸術新潮	246	玉潤「廬山図」〈名作 とわたし〉	下保 昭	京 都	8.28
菱田春草「黒き猫」 〈名作とわたし〉	小野 竹喬 京 都	1.16	秋と喘息	鎌倉 秀雄	日本美術	71
小野竹喬氏〈画談涼 風〉	山田 竜平 〃	8.7	前衛彫刻と空間〈視 点〉	亀倉 雄策	毎日夕刊	4.23
いとしや白鷺城	小野 勉 日 経	2.14	成功した絵文字 〈〃〉	〃 〃	〃	4.30
印刷できない絵	小野木 学 芸術新潮	243	ピーターと忠則 〈〃〉	〃 〃	〃	5.21
風化した永遠の時 〈特集 イヴ・タン ギー・沈黙の原光景 2〉	〃 〃 みづゑ	791	すごいヤツ・土門 〈交遊抄〉	〃 日 経	11.19	
ゴヤー沈黙の反響地 帯〈ゴヤ・黒い戦慄 の告発〉	小山田二郎 〃	782	川島徳太郎〈ときの 人〉	板垣 保 毎 日	11.2	
オノサト・トシノブ 〈作家研究・1〉	三木 多聞 季刊版画	9	ラインとパート〈私の 個展〉	川上キヨ子	日本美術	63
押尾豊〈ときの人〉	〃 〃 毎 日	9.20	川崎千足氏〈パイオ ニア〉	〃 〃	京都夕刊	1.19
尾島俊雄〈現代建築 の12人・11〉	伊藤 滋 中央公論	11	陶芸職人六十年	川瀬 竹春	芸術新潮	248
世界一大きいクリス タル・オブジェ	各務 満 日本美術	64	河合卯之助—その人 と作品	河合 紀	日本美術	70
優雅な生活	鹿児島寿蔵 日 経	9.4	二人(河井寛次郎、 棟方志功)〈現代の ことば〉	保田与重郎	京都夕刊	11.10
感触	笠松 昭吾 日本美術	66	作品「無題」	瓦林 睦生	芸術生活	256
香日泰男〈ディア ローグ・6〉	安東 次男 みづゑ	785	葛飾という謎の挿絵 画家	菱田 順子	芸術新潮	243
魚族について	香取栄次郎 日本美術	68	菊川多賀子〈好日好 題〉	〃 〃	日本美術	65
堅山南風画伯の竜	河北 倫明 アー ト	18—2	作陶の前に思う	菊地 晃	〃	68
私のちいさな美術運 動	片柳 忠男 日本美術	65	砂〈私の個展〉	菊地 友一	〃	70
野草的絵画談義	加倉井和夫 小森 盛	アー ト 18—2	劉生の薔薇のある静 物	武者小路実 篤	芸術新潮	241
歴史の風格刻む印章	加藤慈雨楼 日 経	9.3	特集・岸田劉生の日 本画	〃 〃	三 彩	266
六ツ目の駅〈私の個 展	加藤登美子 日本美術	64	劉生芸術の日本画 的発展	東 珠樹	〃	
たわごと〈〃〉	加藤 吉正 〃	71	「鵜沼海岸永日小 景」によせて	横堀角次郎	〃	
私の志向する水墨画	加山 又造 芸術新潮	242	岸田劉生と色刷会	伊藤 敏博	日本美術	64
加山又造・横山操の 弟子	宗 左近 〃	246	岸田劉生の芸術	富山 秀男	東京夕刊	11.12
川と水の中から	賀川 忠 日本美術	68	岸田劉生の思い出	中川 一政	〃	11.14
ペン・シャーン展を 見て	桂 ゆき 東京夕刊	6.2	劉生の魅力	〃 〃	〃	
鯛の漬焼	角 浩 求 美	2	1.麗子の裸像	宮本 三郎	〃	11.12
針穴のあるエッチン グ	〃 〃 芸術新潮	247	2.白狗図	東 珠樹	〃	11.13

3. 自画像	佐藤 忠良	東京夕刊	11.14
4. 静物	酒井 忠康	〃	11.16
5. 村娘於松像	三雲祥之助	〃	11.17
6. 切り通しの写生	匠 秀夫	〃	11.8
わがエロス	北川 民次	芸術新潮	248
北川民次論<再見と発見>	豊口 葉子	美術グラフィ	19-5
突然の手紙<交遊抄>	北川 民次	日 経	1.10
個展雑感<私の個展>	北 大象	日本美術	63
明治洋画の思わぬ面白いもの	木内 克	芸術新潮	247
木内克<ときの人>	沢開 進	毎 日	10.2
木村光佑について	三木 多聞	芸術生活	250
うしろめたさとまよい	木村 光佑	〃	〃
版に対する抵抗	〃	日本美術	65
絹谷幸二論	大高保二郎	〃	71
白隠・一行書<名作とわたし>	来野 月乙	京 都	10.9
巨匠・清水六兵衛	(0)	日本美術	68
特集・楠瓊州と鍋島紀雄		三 彩	261
無名の画家一楠瓊州と鍋島紀雄	河北 倫明		
二忘居の追憶	田中 一松		
薄幸の画家一楠瓊州その信仰と人柄	滝谷 由龟		
楠瓊州と上田桑鳩	三上 正寿		
丁酉生まれ<交遊抄>	楠部 弥弼	日 経	8.22
仁清作鉄線文茶碗<名作とわたし>	〃	京 都	7.24
岩壁彫刻に挑む工藤哲巳		芸術生活	245
反芸術と反体制	工藤 哲巳	毎日夕刊	3.3
在外作家・国吉康雄の軌跡	富山 秀男	世 界	8
脱皮期間を経て	久保田善満	日本美術	71
熊谷守一<ディアローグ・1>	安東 次男	み づ ゑ	780
夫を語る(熊谷守一)	熊谷 秀子	芸術新潮	249
美少年(庫田毅)<交遊抄>	入江 英雄	日 経	6.10
蔵本利彦について	小川 正隆	芸術生活	251
青と私	蔵本 利彦	〃	〃
パビリオンの設計で<いちばん長かった日>	黒川 紀章	東 京	5.17
保存されるもの<古都との対話>	〃	京 都	5.30
黒川紀章<人気もの・70年代の百人>		朝 日	7.7
黒川紀章さん<'70の私>		毎 日	12.31
浅井先生のこと	黒田重太郎	三 彩	253
なんでやろ	黒田征太郎	中央公論	11
天職への導き手<交遊抄>	黒田 辰秋	日 経	4.29

幸野楳嶺生誕の地<東西南北>		京 都	12.1
河野芳夫<好日好題>		日本美術	68
絵と絵の題名の周辺	河野 芳夫	〃	70
郡山三郎氏の個展を見る	名取 堯 中 美		188
二十年歳月の後にくるもの	黄 碧月	日本美術	71
ラスト・彩人物文口花瓶<天上大風>	郷倉 千鶴 三 彩		257
五年社の旧友<交遊抄>	古賀 忠雄	日 経	4.15
古賀春江・詩の罪	松永 伍一	芸術生活	253
絵と私<私の個展>	国領 宏行	日本美術	65
威嚇の美学・勇怯の造形	越野 周二	芸術生活	245
児玉希望の芸術とその年輪	柳 亮 三 彩		260
画室訪問・児玉希望	藤本 韶三	〃	〃
交誼のルール<交遊抄>	児玉 三鈴	日 経	6.6
一縷の解放感(小泉淳作)<この人を推す>	安岡章太郎	求 美	2
小出楢重の魅力	匠 秀夫	読売夕刊	10.16
特集・小糸源太郎		三彩増刊	267
小糸源太郎の近作	今泉 篤男		
小糸さんのひととなり	奥村 土牛		
小糸さんへの傾倒	水原秋桜子		
小糸源太郎氏を訪ねる	藤本 韶三		
交友五十八年	渋沢 秀雄		
小糸先生のきびしさ	高山 辰雄		
小糸先生の作品について	東山 魁夷		
小糸さんの横顔	竹林 賢		
「風神雷神」抄	小糸源太郎		
画室訪問・小島善太郎	藤本 韶三	三 彩	259
具象絵画の空間<私の個展>	小島 俊男	日本美術	66
群 像	小玉 光雄	〃	65
特集・小林古径		三 彩	262
小林古径の安珍清姫	石本 正		
古径回顧展の感想	寺田 透		
古径の洗濯場	横山 操		
小林集居人と水郷の詩	田近 憲三 萌 春		183
画業五十年	小林 清栄	日本美術	64
特集・小林和作の芸術		三 彩	254
このごろのことなど	小林 和作		
小林和作の画業	小倉 忠夫		

定期刊行物所載文献

尾道の小林和作氏	藤本 韶三			カンボジアのかおり	里見米山人	日本美術	70
秋の旅	小林 和作	日本美術	63	カンボジアのかおり	〃	京 都	6.19
畏友小林和作君	梅原龍三郎	〃	64	埴輪<名作とわたし>	沢 宏毅	〃	6.12
M・エルンスト「荒野のナポレオン」 <名作とわたし>	小牧源太郎	京 都	3.13	沢田哲郎—藤田嗣治 直伝の芸術家根性	村木 明	芸術生活	249
ルノアール「泉」 <〃>	小松 均	〃	9.25	ニューヨークから帰 って	沢田 哲郎	東京夕刊	4.8
不安—希望<私の個 展>	小松原勝市	日本美術	70	画室訪問・沢田政広	藤本 韶三	三 彩	265
小谷津雅美<新人作 家紹介>	菊地 明子	美術グラ フ	19—9	釈迦像制作を了えて	沢田 政広	美術グラ フ	19—9
藤村先生のこと	小山 敬三	東京夕刊	11.7	平塚の石垣さん<交 遊抄>	沢田 政広	日 経	2.28
わが内なるルドン	駒井 哲郎	みづゑ	786	ぼくらのコンボラ美 術館	篠原有司男	S D	67
駒井哲郎<ディアロ ーグ・2>	安東 次男	〃	781	地主梯助<ディアロ ーグ・4>	安東 次男	みづゑ	783
お礼書きと幻想と	近藤 弘明	芸術新潮	241	異端の画家・思想家 —司馬江漢	塚谷 晃弘	芸術生活	255
「絵高麗・耳付瓶」 <名作とわたし>	近藤 悠三	京 都	1.30	ピエロ・デルラ・フ ランチェスカ「ウル ビーノ公と同妃」 <名作とわたし>	芝田 米三	京 都	2.13
静かな忠告(斎藤清) <交遊抄>	大野 誠夫	日 経	2.13	環境のなかの自然 <新人たちの主張・ 10>	島屋尾安亮	三 彩	260
僧侶と画家と先生と 真如堂の大涅槃図 <名作とわたし>	斎藤 真成	芸術新潮	248	民衆の画家・清水登 之	井上長三郎	美術グラ フ	19—4
斎藤寿一<作家訪問>	川合 昭三	季刊版画	8	清水登之にみる生活 者の孤独	酒井 忠康	世 界	6
坂本繁二郎とその周 辺	小木曾 進	三 彩	262	レアな感動	清水 鍊徳	日本美術	66
坂本 正治氏<EX PO'70—人間・創 造・イメージ>		京都夕刊	2.25	村上華岳「太子樹下 禪那」	志村ふくみ	京 都	10.16
抽象と具象の間<私 の個展>	坂本 信子	日本美術	68	カルーズと私	下川都一郎	日本美術	65
人物描写	坂本 淑晃	〃	70	下田義寛<ぶろふい る>		東 京	9.4
絵を売ろうとした時 土着する作家—榎山 龍司	桜井 浜江	芸術新潮	241	下田 義寛<ときの 人>		毎 日	8.29
早春の大山参り	笹島 喜平	東京夕刊	3.18	最後の浮気	下村良之介	芸術新潮	249
写真の歩み(1)~(3)	〃	季刊版画	7~9	阿蘇の自然	城口 幸男	日本美術	70
佐伯と四人の画学生	山口 長男	芸術新潮	246	写楽に憑かれた男た ち	堀田 佑介	芸術生活	245
バリでの佐伯祐三	朝日 晃	日 経	12.8	建築家・白井晟一の 創造の世界	海上 雅臣	〃	249
現代日本画への愛着 <新人たちの主張・ 1>	佐々木裕久	三 彩	255	状態を超えて在る <発言する新人た ち>	菅 木志雄	美術手帖	324
天と地の間<私の個 展>	〃	日本美術	65	菅隆子について	三木 多聞	芸術生活	245
山を描く	佐々木邦彦	ア ー ト	18—2	私と壺	杉浦 勝人	日本美術	72
箱の中の女<私の個 展>	佐藤 事	日本美術	66	兄弟展を顧みて<私 の個展>	杉本 重則	〃	68
ボルティ彫刻をみる	佐藤 忠良	三 彩	253	湯平の双体道祖神	杉山 良雄	芸術新潮	246
劉生の魅力—自画像	〃	東京夕刊	11.14	画室訪問・鈴木信太 郎	藤本 韶三	三 彩	253
平安時代の抽象	佐藤多都夫	日本美術	64	キリコの世界に遊ぶ	鈴木 照子	芸術新潮	244
公害表現作品<私の 個展>	佐藤 亘宏	〃	71	鈴木春信・春信錦絵 のはいけい	洪井 清	三 彩	264
個展台風<〃>	佐藤 文代	〃	68	私と馬と	鈴木 博尊	日本美術	66
日本画を考える	佐野 猛夫	京 都	4.17	丸顔の医者<交遊 抄>	鈴木 良三	日 経	4.11
アンボワーズの高台 から	佐野 ぬい	日本美術	70				

須田先生の思い出 (須田国太郎)〈ある 論点〉	山田 竜平	京 都	12.18
〈希望対談〉	妹尾 正彩 森 治樹	日本美術	65
中村岳陵先生	関 主税	〃	63
空蟬	関谷 充	美術クラ ブ	19—5
関根正二「姉弟」〈私 の一枚〉	正木ひろし	みづゑ	785
ヴォルス「きらめく 都市」〈名作とわたし 〉	関根勢之助	京 都	7.3
ミラノでの「出会い」	関根 伸夫	美術手帖	332
ヒラリーと山	清野 恒	東京夕刊	7.27
画家の見たインド	〃	現代の眼	192
瀬間高角について	安井 収蔵	芸術生活	249
たねのような	瀬間 高角	〃	〃
対 象	千正 一博	日本美術	65
「之からだよ」〈私の 個展〉	曾根 徹	〃	66
絵かきが夢みる風景 改造	曾宮 一念	朝日夕刊	7.8
死せる鳩からの命題 〈新人たちの主張・ 5〉	染川 英輔	三 彩	258
にわか住職	高岡徳太郎	日 経	11.3
面〈私の個展〉	高木 雅章	日本美術	70
別れの杯〈交遊抄〉	高沢 七郎	日 経	7.11
「人間」との対語〈ほ んとうの教育者はと 問われて〉	高田 博厚	朝 日	2.3
リュクサンブール園 にて	〃	朝日夕刊	11.28
絵の誕生と結婚〈私の 個展〉	高塚 省吾	日本美術	63
月と心象	高頭 信子	〃	66
小さな自然の中で	高橋 忠弥	東京夕刊	10.7
絵描き雑感	高橋 敏弥	日本美術	64
高橋楽斎さん〈日曜 訪問〉	〃	京 都	1.18
サーカス〈私の 個 展〉	高橋 由明	日本美術	64
高橋由一の写実の眼	原田 実	美術グラ フ	19—1
高橋由一の「東北地 方風景図」について —「三島文書」による 新見(1)~(3)—	渡部 恵子	萌 春	186~ 188
高村光太郎覚書	〃	〃	〃
1. ロダン、守衛、 光太郎	原田 実	三 彩	262
2. 光雲と光太郎	〃	〃	264
3. 白樺派と光太郎	〃	〃	265
純情な無軌道男(広 川 松五郎)〈交遊 抄〉	高村 豊周	日 経	7.4
作品発表について	高松健太郎	日本美術	64

高松次郎氏〈あすに 期待する・1〉	三木 多聞	美術グラ フ	19—7
特集・第2回日本芸 術大賞・高山辰雄	〃	芸術新潮	244
高山辰雄の世界	土方 定一	〃	〃
高山さんのポエジ ー	井上 靖	〃	〃
小糸先生のきびしさ	高山 辰雄	三彩増刊	267
竹内健蔵君の死を悼 む	野間 仁根	芸術新潮	246
シモーネ・マルティ ーニ「聖告」〈名作と わたし〉	竹中 三郎	京 都	10.23
大作に向つて—日本 画の存在探究〈新人 たちの主張・3〉	館岡 豊照	三 彩	257
小島さんコンニチワ (1)~(6)	田栗 テル	美術グラ フ	19—4 ~19— 10
自然を語る書〈座右 の書〉	田崎 広助	日 経	10.18
J・M・ウィリアム・ ターナー「サウソー ルの風車付近」〈美 の美〉	〃	〃	10.28
お西さま	田代 光	読売夕刊	11.20
田中忠雄〈訪問〉	〃	東京夕刊	7.14
美術と「救い」	田中 忠雄	毎 日	9.26
ふるさとの秋	田中 岑	日本美術	71
田村一二さんの個展	八木 一夫	芸術新潮	244
およいでのこと	田村 一男	三 彩	254
富本憲吉先生の陶器 生涯をかけた陶器 (富本憲吉)	田村 耕一	〃	257
田屋幸男〈アトリエ 訪問〉	〃	現代の眼	185
立原杏所が十年の歳 月を費して模写した 方干魯の墨譜—古径 画伯愛玩稀品の逸事 〈芸苑一夕話1〉	山水 春秋	中 美	179
思い出の人たち	横川毅一郎	日本美術	72
1. 誠実の画家・内 田巖さん	段塚 魚郎	日本美術	63
2. 禅味豊かな漫画 家・細木原青起 さん	〃	〃	64
みちのくの心情	近岡善次郎	求 美	2
塚原哲夫展をみて	大島 清次	三 彩	258
遊蝶石〈茶の間〉	辻 光典	毎日夕刊	12.9
寡黙と饒舌	津高 和一	毎 日	4.13
印度の旅	津谷 鹿市	三 彩	258
土田麦僊研究	田中 皓一	〃	〃
6. 国展旗揚げまでの 道程—国画創 作協会の誕生	〃	萌 春	183
7. 土田麦僊年譜 (1)第一期画家 になるまで	〃	〃	184

8. (2) 第二期文展時代	萌 春	185
9. (3) 第二期文展時代	〃	186
10. (4) 第三期国展時代	〃	187
11. (4)その2 第三期国展時代	〃	188
12. (5) 第三期国展時代 —外遊篇—	〃	189
13. (6) 第三期国展時代	〃	190
14. (6)その2 第三期国展時代	〃	191
15. (7) 第四期帝展時代	〃	192
16. (8) 第四期帝展時代	〃	193
17. (9) 第四期帝展時代	〃	194
近代日本画に於ける 西洋—土田麦僊につ いて—	内山 武夫	美 学 83
絵を観る心	都竹 伸政	日本美術 63
個展を開いて<私の 個展>	角田 礼子	〃 65
椿貞雄氏の絵	網野 菊	芸術新潮 249
閑人閑技<随筆・芝 居絵>	坪内節太郎	三 彩 255
牡丹ぐらし	〃	朝日夕刊 5.25
鶴田吾郎氏の素描	藤本 昭三	三 彩 255
現代少年漫画論	手塚 治虫	東京夕刊 9.17
寺島紫明<ぶろふい る>	〃	東 京 4.11
寺田政明のデッサン	吉井 忠	日本美術 70
油絵は生きている	寺田 春弑	日 経 5.18
謎の奥入瀬行	寺中 作雄	日本美術 66
東方洋雄<現代建築 の12人・5>	嶋 富士夫	中央公論 5
堂本印象氏<画談涼 風>	山田 竜平	京 都 7.24
戸川ふみ子さん<女 流訪問・14>	〃	美術グラ フ 19—2
徳岡神泉氏<画談涼 風>	山田 竜平	京 都 8.14
ヨーロッパ旅行記	徳永 考衝	日本美術 64
京舞奴	徳力富吉郎	三 彩 259
伊勢神宮能舞台境板 の揮毫	〃	〃 265
永い時間の流れの中 で	利根山光人	国際文化 189
わが心の円空	富樫 実	京 都 1.25
国宝十一面観音像 <名作とわたし>	〃	〃 7.17
今宵仲秋<私の個 展>	富張 広司	日本美術 63
現代に石を刻む	富田 真平	〃 63

特集・富本憲吉の芸 術	三 彩 257
富本憲吉・人と芸 術	乾 由明
富本芸術への私感	吉田 耕三
敗戦と富本憲吉先 生	藤本 能道
富本さんとその時 代	村松 寛
富本先生の陶器	田村 耕一
富本生生の思い出	増田 三男
富本憲吉の芸術	乾 由明 現代の眼 185
富本先生の思い出	増田 三男 〃 〃
生涯をかけた陶器	田村 耕一 〃 〃
越後の富本コレクシ ョン	村松 寛 〃 〃
父・富本憲吉のこと	富本 壮吉 〃 〃
絵画随想	富山 芳男 日本美術 66
ピカソ十四歳の作品	鳥居 敏文 芸術新潮 248
どこまでも創造で <日本画を考える>	豊秋 半次 京 都 4.10
石濤・黄山園巻<名 作とわたし>	〃 〃 5.1
マジョリカ壺<天上 大風>	中川 一政 三 彩 258
中川一政	三彩増刊 263
中川一政の近作	武者小路実 篤
畏友中川一政君の 画業	梅原龍三郎
画人中川一政	石井 鶴三
「中川一政の世界」 についてのエス キース	小川 正隆
中川一政氏を訪ね る	藤本 昭三
うちには猛犬がい る抄	中川 一政
岸田劉生の思い出	〃 東京夕刊 11.14
明治人間<茶の間>	中川 紀元 毎日夕刊 3.11
日本画について最近 思うこと<新人たち の主張・8>	中島 千波 三 彩 259
万国博を色どる霧の 演出—大気の彫刻を めざす中谷美二子さ ん<地球市民>	朝 日 3.15
川のある風景(1)、 (2)	中野 淳 日本美術 68.69
「中原第二郎賞」設 定にあたって	匠 秀夫 東京夕刊 3.28
中村岳陵先生	関 主税 日本美術 63
難波別院本堂余間の 襖絵(中村貞以)	ア ー ト 18—2
中村正義・その異端 と正統	芸術生活 246
写楽「大兄」のこと <交遊抄>	中村 正義 日 経 3.6
中村正義と写楽	(竜 平) 京 都 7.31

空間<私の個展>	中村ゆう子	日本美術	66	都会の現実と野田英夫の世界	陰里 鉄郎	世 界	7
個展の功罪<私の個展>	中山 三郎	シ	66	華麗なる幻影あるいはリアリズムの呪縛	野田 弘志	芸術生活	256
永井繁夫		シ	70	竹内健蔵君の死を悼む	野間 仁根	芸術新潮	246
永島慎二<いま人は・70年代の百人・4>		朝 日	1.5	師代わりの友<交遊抄>	野水 信	日 経	4.6
旧友の死<絵と随筆・身辺雑記・30>	永田 春水	美術グラフィ	19-1	橋口五葉の芸術	本間 正義	浮世絵芸術	23
マルテの手記・ペンシャーンとリルケの見事な融合	永田 力	美術手帖	325	座談会・橋口五葉を語る	中島晋一郎 他	シ	シ
馬のシッポの筆	シ	芸術新潮	242	橋口五葉展に寄す	高橋誠一郎	シ	シ
茶釜に魅入られて	長野 恒志	日 経	6.2	五葉ノート・年表	山口桂三郎	シ	シ
死ねない彫刻の生命保険	流 政之	芸術新潮	241	端正一直線的な刻跡<異端の造形美・「新発見の円空展」によせて>	橋本 典子	京 都	1.22
石は暖かいんだ一流政之<アウトサイダー・70年代の百人・2>		朝 日	5.1	服部正<現代建築の12人・8>	嶋 富士夫	中央公論	8
流政之<現代の旗手>	木村 英二	読 売	12.24	作品「宇宙空間と人間の地位」	埜 賢三	日本美術	63
無名の画家一楠瓊州と鍋島紀雄	河北 倫明	三 彩	261	利行の一枚の絵から	宮崎 進	芸術新潮	248
心の豊かさ<私の個展>	成田 康俊	日本美術	68	花と私<の個展>	早坂 信	日本美術	65
岸田劉生展をみて	難波田龍起	東京夕刊	11.18	富岡鉄斎「鐘馗嫁妹図」<名作とわたし>	早川 幾忠	京 都	6.26
現代を見つめる西真の芸術	上野 照夫	ア ー ト	18-1	太田垣さん<交遊抄>	早川尚古斎	日 経	11.13
似顔絵描きで見た人の裏側	西 八郎	芸術新潮	243	白夜の国の思い出	浜田 信	東京夕刊	6.23
西八郎<異色画家>	津川 晨	求 美	2	焼い弾ふる下で<交遊抄>	シ	日 経	8.13
西村五雲のこと	仙波 健	三 彩	264	ノルウェーの旅・ムンクの風土を尋ねて	シ	東 京	9.21
西村龍介<好日好題>		日本美術	64	竹内栖鳳「東本願寺・大寝殿の障壁画」<名作とわたし>	浜田 観	京 都	8.21
絵を描く態度	西元 保	シ	70	浜田知明<作家訪問>	川合 昭三	季刊版画	7
新しい日本画を志向<日本画を考える>	西山 英雄	京 都	4.10	多芸ながんこ者<交遊抄>	浜谷 浩	日 経	9.11
西山翠嶺「牛買」<名作とわたし>	シ	シ	4.17	原撫松の芸術	細野 正信	世 界	10
新本燦根さんと私<この人を推す>	三浦 哲郎	求 美	2	原弘<人その意見>	朝 日	6.16	
無我夢中<私の個展>	根本喜美恵	日本美術	70	原広司<現代建築の12人・9>	嶋 富士夫	中央公論	9
野口小嶺	冠 豊一	茶道雑誌	34-2	芸術家のこころ(速水御舟)<ある論点>	(竜 平)	京 都	4.3
特集・野口弥太郎の人と芸術		三 彩	261	速水御舟「供身像」<私の一枚>	武智 鉄二	みづゑ	787
西欧的な東洋リアリズム論—野口弥太郎ノート	副島三喜男			私のモチーフ	半田 圭治	日本美術	66
土俗的でない風景画—野口作品の背景	中村 哲			光悦「舟橋の硯箱」<名作とわたし>	番浦 省吾	京 都	8.14
西洋との出逢い—リアリズム論	野口弥太郎			東山さんの「白夜の旅」に魅せられて	毛利 寿夫	芸術新潮	243
画室訪問・野口弥太郎	藤木 韶三	シ	シ	東山さんの絵と私の写真	緑川 洋一	シ	252
野口弥太郎氏<訪問>		朝日夕刊	6.30	小糸先生の作品について	東山 魁夷	三彩増刊	267
富士狂の弁	野上 魏	日本美術	64	花のある窓	シ	朝日夕刊	1.7
バビロンの遺跡<名作とわたし>	野崎 一良	京 都	12.11				

定期刊行物所載文献

東山魁夷<ディアローグ・3>	安東 次男	みづゑ	782	キューバのグラフィック・デザイン	ス	朝日夕刊	8.31
李禹煥批判―「表現」の内的危機におけるファシズム	彦坂 尚嘉	デザイン批評	12	美術と宗教	福田 新生	美術グラフィック	19—4
南洋島民の裸体周辺	土方 久功	日本美術	63	美術は科学を告発する	ス	ス	19—6
火の山を描く	日高 蒔	ス	71	万国博とんぼ返り記	ス	ス	19—7
北ぐにの花へのオマージュ	日野 謙夫	三 彩	253	年末寄贈画に苦言<ちょっと一言>	ス	ス	19—10
異色作家紹介・日野謙夫	三宅正太郎	ス	264	福田翠光氏を訪ねて	山田 竜平	ア ー ト	18—1
北ぐに賛花(1)~(4)	日野 謙夫	京 都	1.7~1.10	追悼・福田豊四郎氏	藤本 昭三	三 彩	265
ぼくのエスプリ	日野耕之祐	日本美術	63	速水御舟「扇面・白梅」<名作とわたし>	福田平八郎	京 都	3.27
永見晃堂<ぷろふいる>		東 京	4.1	福田平八郎<画談涼風>	山田 竜平	ス	7.17
ある画家の死(平井進)	東野 芳明	芸術新潮	243	土着する作家・福田実	中野 中	日本美術	71
ダミア八十歳の誕生日	平川 勇	日本美術	64	ゴヤ模写修業の記	藤井 哲	芸術生活	252
平川敏夫<ディアローグ・7>	吉村 貞司	みづゑ	786	高知条記考	藤田 謹三	日本美術	65
一人になって<私の個展>	平間 文子	ス	68	藤田吉香<アトリエ訪問>	山水 春秋	中 美	181
飛鳥から西域への道	対談・井上靖、平山郁夫	求 美	2	エル・グレコ不安と恍惚の昇華・トレドの聖像画工	藤田 吉香	みづゑ	785
アジヤンタ壁画随想	平山 郁夫	芸術新潮	245	藤田吉香<ディアローグ・9>	安東 次男	ス	788
ガンダーラの仏頭<天上大風>	ス	三 彩	264	藤田吉香<ぷろふいる>		東 京	3.7
トルコ雑感	ス	世 界	9	藤田吉香<ときの人>	沢開 進	毎 日	3.9
平山郁夫さんとの思い出	伊藤 弘人	日本美術	63	心理学者は絵かき<交遊抄>	藤本東一良	日 経	6.2
日本列島誕生	平山 郁夫	京 都	1.4	敗戦と富本憲吉先生	藤本 能道	三 彩	257
人生の邂逅<交遊抄>	ス	日 経	1.24	花のイメージ	藤村加代子	日本美術	71
インド紀行	ス	朝日夕刊	2.10	芸術の庶民化<私の個展>	二名ノリコ	ス	63
インドの旅	ス	毎日夕刊	4.8	パンリアル二人展によせて	不動 茂弥	ス	66
安井先生<交遊抄>	広瀬 功	日 経	9.8	個展の喜び<私の個展>	穂永 瑞枝	日本美術	64
感觸の世界―広田多津展をみて	田近 憲三	三 彩	255	亡霊の家	堀 文子	芸術新潮	244
舞妓を描く	広田 多津	ス	ス	芒	ス	求 美	2
広野殷生<好日好題>		日本美術	63	消えるべき想念―堀文子さんの個展を前に	串田 孫一	三 彩	259
愛は輝いている	広野 殷生	求 美	2	一瞬の美に妖気<天台の秘宝・3>	堀 文子	東京夕刊	2.14
新版画工房の使い心地	深沢 幸雄	芸術新潮	246	大賞の憂鬱	堀内 正和	芸術新潮	243
芸術の泉<交遊抄>	深谷 徹	日 経	11.6	特集・やきものの若い世代―オブジェ焼と陶彫	ス	ス	244
漸く落着いて	吹田 文明	日本美術	70	童女の首と友情	本郷 新	ス	241
病をおして<私の個展>	福井 みち	ス	68	画室訪問・本郷新	藤本 昭三	三 彩	264
画家の見たインド	福沢 一郎	現代の眼	192	サンカルロスの壁画教室	本田 克己	日本美術	65
画室訪問・福沢一郎	藤本 昭三	三 彩	266	横文彦<現代建築の12人・2>	伊藤 滋	中央公論	2
個展に寄せて	福沢 一郎	美術グラフィック	19—10	牧野邦夫さんとの邂逅<この人を推す>	黒柳 徹子	求 美	2
日本のモデルニゼー	福島金一郎	日本美術	66				
旅する心・夢二ブームに寄せて	福島金一郎	京 都	2.1				
モナリザ 100 微笑	福田 繁雄	美術手帖	355				

「泥足」の達人〈ほん とうの教育者はと問 われて	前川 国男 朝 日	8.18
前田寛治「ヴェニス 風景」〈私の一枚〉	杉 靖三郎 みづゑ	786
平治合戦絵巻（六波 羅合戦の巻）断簡 〈天上大風〉	前田 青郎 三 彩	261
巨匠青郎の執念	入江 相政 〃	262
ネパール・インド観 光団とともに	前田 常作 芸術新潮	243
前田常作〈ディアロ ーグ・10〉	安東 次男 みづゑ	789
アゴ先生（増田大罌） 〈交遊抄〉	山田 正雄 日 経	5.4
富本先生の思い出	増田 三男 現代の眼	185
富本先生の思い出	〃 三 彩	257
松尾敏男〈好日好題〉	〃 日本美術	72
お通の前身	松尾 通世 〃	65
女一恋・愛一人	松任谷国子 〃	66
松野奏風「立ち雛」 〈私の一枚〉	鹿内 信隆 みづゑ	783
暗黒の中の知性と造 形—松本竣介の世界	陰里 鉄郎 世 界	4
鬼貫	松本富太郎 日本美術	70
ダムにつかれて	松本 一 〃	72
ニューヨークの心 〈私の個展〉	松本 奉山 〃	65
渡伊佐松〈ほんとう の教育者はと問われ て〉	丸木 俊 朝 日	5.5
三尾公三さん〈日曜 訪問〉	〃 京 都	1.11
ルネ・マグリット 「ピレネーの城」〈名 作とわたし〉	三尾 公三 〃	9.18
描く人と見る人と	三上 隆彦 日本美術	65
画題の事など	三上 知治 〃	66
「道化」の悲愁と三岸 の芸術	匠 秀夫 世 界	5
三岸節子さんのガラ ス絵	淡島 雅吉 芸術新潮	241
パリから	三岸 節子 日本美術	64
スペイン美術展に期 待する	三雲祥之助 朝日夕刊	4.10
鯉のぼり	〃 東京夕刊	5.4
万国博美術館を訪 れて	〃 〃	8.20
オナガの鳴声〈茶の 間〉	〃 毎日夕刊	10.10
劉生の魅力—村娘於 松像	〃 東京夕刊	11.17
三澤千代治〈現代建 築の12人・10〉	嶋 富士夫 中央公論	10
狩野派に憑かれた男 （三沢孝松）	渋谷 清 芸術新潮	250
東福寺天井画龍〈名 作とわたし〉	三輪 晃勢 京 都	8.7
三輪良平の舞妓図	松村 曠 ア ー ト	18—2

下町に残る祭礼	宮尾しげを 東京夕刊	5.16
利行の一枚の絵から	宮崎 進 芸術新潮	248
木版画雑感	宮田 三郎 日本美術	65
騒点—銀座の歩行者 天国	宮永 岳彦 東京夕刊	12.24
ミレー展から（3）	宮本 三郎 読売夕刊	8.20
思いつくまゝに	水谷 淳 日本美術	72
ハワイの日系人〈交 遊抄〉	皆川 月華 日 経	8.1
私のモチーフは破壊 される	向井 潤吉 芸術新潮	252
雪の檐下宿	〃 東京夕刊	2.9
山村の民家をたずね て	〃 毎日夕刊	6.12
神鷹奇譚—棟方志功 と八甲田山の仙人	小山 竜二 日本美術	64
文化勲章を受章した 棟方志功〈フットラ イト〉	山田智三郎 芸術新潮	252
心尽微笑	棟方 志功 毎日夕刊	1.7
棟方志功氏—縄文的 な美を表現	谷川 徹三 朝日夕刊	10.28
縄文的な強烈な血潮 —棟方志功氏の芸術	鈴木 進 京 都	11.3
棟方志功〈執念・70 年代の百人〉	〃 朝 日	11.27
静と動	村岡 清 日本美術	63
村上華岳論	寺田 透 三 彩	255
村上華岳の画	藤森 成吉 萌 春	183
クレヨンで描いた御 釈迦様（吉岡堅二）	目黒 果雨 日本美術	63
ハワイと花	望月 春江 〃	64
望月春江〈この人〉	〃 京 都	4.19
望月春江〈ぶろふい る〉	〃 東 京	4.24
トルコの僧から買っ たアイコン	森 省一郎 芸術新潮	245
王様と乞食〈交遊 抄〉	〃 日 経	8.8
緑翠画への期待	竹田道太郎 三 彩	265
特集・中世歌謡によ る森田曠平の絵画	〃 〃	255
森田曠平君の絵	河北 倫明	
森田曠平の女たち	吉村 貞司	
海・船・孔版画	森田 睦 日本美術	71
素人の初個展〈私の 個展〉	森田 貞吉 〃	〃
美への目を開く〈交 遊抄〉	森野 嘉光 日 経	8.6
ふたり展〈私の個 展〉	森本 三郎 日本美術	63
イタリアの屋根	守屋多々志 三 彩	253
田園の詩情を求めて 〈私の個展〉	諸沢 吉美 日本美術	64
田村一二さんの個展	八木 一夫 芸術新潮	244
灰陶の馬〈名作とわ たし〉	〃 京 都	2.6

定期刊行物所載文献

陶家随想	ス	毎 日	12.19
断 想	八幡 健二	日本美術	65
安井先生の空飛ぶ裸婦	小野 末	芸術新潮	246
政治へのうらみ・わがマンガ論	安岡 明夫	朝日夕刊	2.21
安田靉彦と院展歴史画	吉村 貞司	三 彩	264
円空彫り二十年	安福 康次	芸術新潮	242
絵描きへの道	山岸 直保	日本美術	63
ベン・ニコルソン「マンダラ」<名作とわたし>	山崎 修	京 都	6.5
レディ・マクベスの遺跡	山下 菊二	芸術新潮	242
兄の版画と花札<随筆・花札>	ス	三 彩	254
伝達と自己表現	山下 邦雄	日本美術	70
わたしの戦後(3)	山口 華楊	京都夕刊	8.10
佐伯と四人の画学生	山口 長男	芸術新潮	246
万暦五彩魚藻文五花洗<天上大風>	山口 逢春	三 彩	255
山元桜月<時の人>		読 売	1.10
五人展によせて<私の個展>	山本 真也	日本美術	68
自分の作品に監視人をつけた画家	山本 正	芸術新潮	244
画室訪問・山本豊市	藤本 韶三	三 彩	262
彫刻50年山本豊市氏	安井 収蔵	毎日夕刊	7.15
紅ばらの想い出	山本ひろの	日本美術	70
追憶の花札<随筆・花札>	山本 政雄	三 彩	254
河童考	ス	日本美術	71
色と形の印刷ハプニング	山本美智代	芸術生活	252
餓鬼<私の個展>	結城 栄三	日本美術	68
ローマの印象	結城 天童	ス	70
ヨーロッパ通信	ス	ス	72
イラストレーター休業日記(1)~(4)	横尾 忠則	芸術生活	250~256
星と死と資本主義	対談 ビーター・マックス・横尾忠則	中央公論	7
横尾忠則<明日をひらく芸術家>	石子 順造	美術手帖	325
デザインはもともと匿名的なものだ	横尾 忠則	ス	ス
絵金一前近代への嫌悪	横尾 忠則	みづゑ	789
小卒の父<ほんとうの教育者はと問われて>	ス	朝 日	5.26
横尾忠則<人気もの・70年代の百人>	ス	ス	7.3
ビートルズ、ビートルズ、ビートルズ	横尾 忠則	朝日夕刊	9.26
初めての小説	ス	読 売	10.4

「鶴沼海岸永日小景」によせて(劉生の日本画)	横堀角次郎	三 彩	266
幻の画家・横山潤之助<発掘・52>	朝日 晃	芸術新潮	244
その後の横山潤之助	ス	ス	250
横山大観(35)~(40)<近代日本名匠譚58~63>	横川毅一郎	萌 春	183~189
犬のいる風景	横山 操	芸術新潮	241
独断する水墨	ス	ス	242
古径の洗濯場	ス	三 彩	262
横山操<ディアローグ・5>	安東 次男	みづゑ	784
寺田政明のデッサン	吉井 忠	日本美術	70
吉岡堅二<好日好題>		ス	66
法隆寺西里のこと	吉田 善彦	三 彩	254
馬と女<私の個展>	吉田 良一	日本美術	70
ピカソ近作銅版画を見て	吉原 英雄	季刊版画	6
お祭広場か管理広場か	吉村 益信	朝日夕刊	8.11
彼岸花など<茶の間>	淀井 敏夫	毎日夕刊	10.6
出会いを求めて<発言する新人たち>	李 禹煥	美術手帖	324
李禹煥批判―「表現」の内的危機におけるファシズム	彦坂 尚嘉	デザイン批評	12
殷時代の「焼金」と私の絵	劉 生容	芸術新潮	246
魯山人の知られざる前董金欄手	白崎 秀雄	ス	250
和田英作先生と富士	刑部 人	日本美術	63
粟津潔<訪問・3>	和田 誠	デザイン批評	11
陶芸と私の周辺<私の個展>	渡辺 朝子	日本美術	70
渡辺栄一<ときの人>	沢開 進	毎 日	10.17
世に出た華山の画稿	西村 南岳	芸術新潮	242
渡辺三子男について	田中 稷	芸術生活	246
日本画新人論(松尾敏男他)(上)・(下)	吉村 貞司	三 彩	259, 261
座談会・「もの」がひらく新しい世界<発言する新人たち>	小清水漸他	美術手帖	324
座談会・新鋭作家の発言	小倉 忠夫 矢柳 剛他	季刊版画	8
フランスの美術事典が選んだ日本の26人	瀬木 慎一	芸術新潮	248

作 家 (外国)

特集・仮面の諷刺劇―アンソール		みづゑ	781
封じこめられたアレゴリー	西沢 信彌		
奇妙な予言者	高橋 忠彌		

トム・ウェッセルマン<夢歩き、決算処分市へ急げ! 4>	鈴木志郎康	みづゑ	786
物語的マニエリスム—ジャン・フィリップ・ボ・ウセリーニ<新綺想異風派・2>	グスタフ・ルネ・ホッケ、訳・種村季弘	ミ	790
ヴァザリ「遊星の民話への参加」をめぐって	戸村 浩	美術手帖	329
マニエリスムのローマ風景—ゴドウィン・エックハルト<新綺想異風派・3>	グスタフ・ルネ・ホッケ、訳・種村季弘	みづゑ	791
クレス・オルデンバークの素描と版画	日向あき子	美術手帖	327
パオロ・カロソーネ<この人を推す>	武満 徹	求 美	2
没落のパラダイス—アルフレッド・クービン	種村 季弘	みづゑ	780
パリ画壇に悪態をつくキリコ	小川 照	芸術新潮	245
変身の館の主・ペーター・クリーチ	種村 季弘	ミ	256
クールベの狩猟画	大島 清次	三 彩	265
特集・エル・グレコ不安と恍惚の昇華		みづゑ	785
グレコ的神秘空間	神吉 敬三		
トレドの聖像画工	藤田 吉香		
エル・グレコ「聖イネスと聖テクラを伴える聖処女」<美の美>	J・カーター・J・ブラウン	日 経	8.21
不条理の神秘—ファブリフィオ・クレリチ—<新綺想異風派・1>	グスタフ・ルネ・ホッケ、訳・種村季弘	みづゑ	789
ゴーガンの残光	酒井 傳六	芸術新潮	256
ゴッホが使った木製プレス	菅野 陽	ミ	244
ファン・ゴッホの世界<読書室>	大岡 信	世 界	9
特集・ゴヤ—黒い戦慄の告発		みづゑ	782
ゴヤ—その破壊的性格	坂崎 乙郎		
ゴヤ—沈黙の反響地帯	小山田二郎		
悪魔祓いの狂宴	井上究一郎		
ゴヤと自画像	高木市之助	中央公論	9
コルビュジェの手—版画「ユニテ」シリーズ	中村 敏男	みづゑ	781
ゴヤの版画—「闘牛技」への道筋	西山 重徳	季刊版画	8
シケイロスとニシザワ	高山 智博	芸術新潮	241
特集・画家ベン・シャーン			
一行の詩のために	阪田 寛史	ミ	247

特集・ベン・シャーン—告発と祈り		芸術生活	249
ベン・シャーンの特質	坂崎 乙郎		
民衆への限りなき共感	針生 一郎		
ベン・シャーン—ことばと年譜	編・愛甲健児		
ベン・シャーンを思う	栗津 潔	現代の眼	187
ベン・シャーン	須山 計一	ミ	ミ
マルテの手記—ベン・シャーンとリルケの見事な融合	永田 力	美術手帖	325
ベン・シャーンの手「手」をめぐって	岡田 隆彦	ミ	328
特集 ベン・シャーン—寓意と象徴の旗手		みづゑ	783
アメリカの苦悩と良心	瀬木 慎一		
ベン・シャーンを思う	栗津 潔		
わが夫ベン・シャーンの思い出	バーナーダ・シャーン	東京夕刊	5.19
ベン・シャーンの芸術と現代	嘉門 安雄	ミ	5.21
ベン・シャーン展から(1)~(10)		東 京	5.18~28
現代イギリス美術展の2人(アレン・ジョーンズとR・B・キタイ)	三木 多聞	芸術生活	255
よい脚、よい眼—アレン・ジョーンズ<鏡の街のアリス・6>	宮川 淳	みづゑ	782
線と球の神秘的造形—イタリア画家シルバーノの作品	日向あき子	芸術生活	248
特集・行き詰って自殺したド・スタールの絵は何故高いのか		芸術新潮	252
芸術の死—ニコラ・ド・スタールの場合	大島 辰雄		
無限の柱—タル・ストリーターの彫刻	エリー・アメル	S D	74
アントニオ・セギー—ユーモア生む視線フェチッシュ<夢歩き、決算処分市へ急げ! 3>	鈴木志郎康	みづゑ	785
ピーター・ソール超現実主義者のグロテスク攻撃<ミ・6>		ミ	788
ポール・セザンヌのデッサン—初期の作品	池上 忠治	美術史	76
「ハイカラの象徴」ターナー	福原麟太郎	日 経	11.13
自然とロマン—英国風景画の巨匠たち(ターナー他)(1)~(5)		ミ	10.5~10.9

その絵との出会い (ダーカンジェロ)	瀬戸内晴美	芸術新潮	246	バプロ・ピカソ「ア ヴィニオンの娘た ち」<私一枚>	遠山 一行	みづゑ	780
ダ・ヴィンチ展の思 い出	須知 白塔	シ	252	ピカソ「たたずむ裸 婦」<美の美>	エバ・ブジ ゴバ	日 経	2.20
レオナルド・ダ・ヴ ィンチ「聖アンナと 聖母子」<美の美>	坂本 満	日 経	7.10	ピカソ「球乗りの少 女」<シ>	河北 倫明	シ	3.20
サルヴァドール・ダ リ「ゆでたインゲン 豆のある柔かい構 造;内乱の予感」 <私一枚>	松本 俊夫	みづゑ	784	ビーター・フィリッ プス「白昼の、夢の 配給者」<夢歩き、決 算大処分へ急げ、 5>	鈴木志郎康	みづゑ	787
特集イヴ・タンギー —沈黙の原光景 消えてゆく存在の 影	岡田 隆彦	シ	791	ヨハネス・フェルメ ール「合所の女中さ ん」<美の美>	フェルス・ ヘニン	日 経	12.11
風化した永遠の時 イヴ・タンギーの 家	小野木 学 アンドレ・ ブルトン 訳・宮川淳			悲劇をユーモアで描 く—ジャン・ミッシ ェル・フォロン	勝見 勝 毎 日	4.26	
イヴ・タンギー	ポール・エ リユール 訳・宮川淳			現代の人間悲劇—軽 妙な風刺・フォロン	松原 俊郎	シ	シ
ベチュルリオ・チチ アーノ「鏡を見るピ ーナス」<美の美>	J・カータ ー・ブラウ ン	日 経	7.3	フランス具象界の新 風—アンドレ・ブラ ジリエ	植村鷹千代	芸術生活	246
チチアーノ「貢の金」 <シ>	マネリーゼ ・マイヤー ・マインチ ェル	シ	10.16	ビエロ・デラ・フラ ンチエスカ「キリス ト降誕」<美の美>	摩寿意善郎	日 経	8.28
感覚解放装置の製造 家—ジョー・ティル ソン	鈴木志郎康	みづゑ	784	ヘップワースの「女」 ヘップワースを訪れ て	高階 秀爾	芸術生活	252
来日したデ・クーニ ング氏	小川和加子	芸術新潮	243	体の内部で感じる力 (ヘップワース)	乾 由明	視 る	41
この「生まじめな怪 物」—東京のビル・ デ・クーニング	東野 芳明	美術手帖	325	ヘンリー・ムーアと バーバラ・ヘップワ ース	堀内 正和	シ	41
特集・天賦の色彩と 律動		芸術生活	246	ディエゴ・ベラスケ ス「無原罪の宿り」 <美の美>	三木 多聞	シ	42
ボブ・トンプソンの 不安と歓喜の生 涯	藤枝 見雄			「反自然の苦痛」ハン ス・ベルメール	高階 秀爾	日 経	6.26
ニーダーラインの巨 匠「恋の魔術」<美の 美>	ゲルハルト ・ウインク ラー	日 経	7.17	ベンチュレリのこと	種村 季弘	美術手帖	336
続・引用について— リチャード・ハミル トン	宮川 淳	みづゑ	781	ヨセフ・ボイス—不 気味な関係の形而上 学<明日を開く芸術 学>	松谷 彊	美術クラ ブ	19-7
ヤヌス的人間像	レオナルド ・パスキン	シ	790	反芸術への志向— 「KUNST」誌のイン タビューに答え て	針生 一郎	美術手帖	322
ハンス・バルドッ ン「女の一生」<美の 美>	ゲルハルト・ ウインクラ ー	日 経	6.19	ホガースの版画を追 って	ヨセフ・ボ イス 訳・針生一 郎	シ	シ
ピカソ近作銅版画を 見て	吉原 英雄	季刊版画	6	ディヴィッド・ホク ニー—異説・「キャ ンブ」についてのノ ート<鏡の街のアリ ス・4>	久保貞次郎	芸術新潮	246
ピカソと近作版画	小倉 忠夫	現代の眼	183	ポッティチェリと フラ・アンジェリコ 礼賛	宮川 淳	みづゑ	780
ピカソの「347 gra vures」の「画家と そのモデルについて	神原 泰	シ	シ	セルゲ・ボリアコフ 「無題」<私一枚>	小山 五郎	日本美術	63
ピカソの版画制作に 従事して	アルド・ク ロムリン ク、ビエロ・ クロムリン ク、訳・藤 井久栄	シ	シ	肖像画家ハンス・ホ ルバイン	まどみちよ	みづゑ	788
					海津 忠雄	美 学	81

特集・醒めた魔術師 ルネ・マグリット		芸術生活	248
ルネ・マグリット	滝口 修造		
不思議の雲—ルネ ・マグリット	巖谷 国士		
マグリットのこと ば	訳編・村木 明		
マグリットの包容 力	アンドレ・ ブルドン		
マグリットの年譜			
特集・マチスのなか の現代		みづゑ	780
写実主義への決別 と平面性の復権	八代 修次		
マチスの言葉	訳編・栗津 則雄		
激情の軌跡—アンド レ・マッソン	出口 裕弘	美術手帖	336
一瞬の海—アンドレ ・マッソンの「フェ ミネール」	出口 裕弘	みづゑ	791
特集・アンリ・マン ギャン		三 彩	258
マンガンに思う	嘉門 安雄		
マンガンにおけ る色の解放	遠山 一行		
新発見? ミケランジ エロのタブロー〈真 贋・81〉	小川 照	芸術新潮	249
ミレー〈フットライ ト〉	匠 秀夫	シ	250
詩画集 ジョアン・ ミロ・滝口修造「手 づくり談」	天沢退二郎	美術手帖	335
ミロの「ユビュ王」	竹内 健	みづゑ	784
特集・ムンクの油		芸術新潮	250
ムンクの闇の世界	中山 公男		
特集・エドワード・ ムンク		芸術生活	255
私のムンク	沢野 久雄		
ムンク—愛と死の逆 説	鷗木 勉	日本美術	72
特集・ムンク—孤独 の翳の傷痕		みづゑ	788
1890と1970(対談)	五木 寛之 鈴木 正明		
ムンクの言葉一生 のフリーズ	訳編・鈴木 正明		
ムンクの芸術	坂崎 乙郎	東京夕刊	9.19
ムンクの世界(1)~ (10)		シ	9.24~ 10.7
ムンクと私	朝倉 摂	シ	10.6
人生長く、芸術短し (ムンク他)	宮本 忠雄	日 経	11.10
アメデオ・モジリア ニ(赤い髪の子)〈私 の一枚〉	澤野 久雄	みづゑ	781
クロード・モネ「ラ バクルの日没」	高階 秀爾	シ	11.26
モランディのこと		美術グラ フ	19—7

冬の闇—ジョルジュ ・ド・ラ・トゥール (3)~(6)	田中 英道	季刊芸術	12~15
メル・ラモス—侵犯 へ煽情する虚構	鈴木志郎康	みづゑ	783
人間の景品化—メル ・ラモスの近作石版 画	加藤 郁乎	美術手帖	333
ジョルジュ・ルオー 「キリスト教牧歌」 〈私の一枚〉	麻生 良方	みづゑ	782
アンリ・ルソー「私 自身・肖像風景」 〈美の美〉	ヤナ・ウィ ットリホバ ー	日 経	5.22
オディロン・ルドン 「ビーナスの誕生」	富永 惣一	シ	11.20
特集・夢魔の華苑— オディロン・ルドン		みづゑ	786
冥府の詩人・ルド ン	高畠 正明		
わが内なるルドン	駒井 哲郎		
特集・レームデンの 俯瞰幻想		芸術生活	252
白に秘めた繊細な 色彩	坂崎 乙郎		
レンブラント・ファ ン・レイン(5)~ (7)	土方 定一	季刊芸術	12~15
レンブラントの大作 「ジュノー」への疑問 〈真贋・77〉	嘉門 安雄	芸術新潮	245
レンブラント「アル カデアの衣装をつた なフローラ」〈美の 美〉	シ	日 経	7.24
レンブラント「赤い 花を持つ妻サスキ ア」〈美の美〉	アネリーゼ ・マイヤー ・マインチ ェル	シ	9.25
マーク・ロスコの思 い出	猪熊弦一郎	芸術新潮	245
画家ワシーリエフと 「リヒテルの手」	木村 浩	シ	252

美術関係者

相見香雨翁の死	加瀬 藤圃	芸術新潮	248
海外との交流も盛ん —美術史学会〈学会 めぐり〉	秋山 光和	日 経	9.29
安達健二〈ときの人〉	安達 敬吾	毎 日	2.22
安藤更生の死—水到 りて渠成る—	菅原 明朗	芸術新潮	252
甘粕健〈人・その意 見〉		朝 日	7.17
私の履歴書	井伏 鱒二	日 経	11.19
室浜逗留、関雪画 伯			11.20
暁の茶会でみた幻の 名盤	市田 幸治	芸術新潮	247
異端の造形美—「新 発見の円空展」を見 て	岩淵 洋子	京 都	2.2

定期刊行物所載文献

ラー二世号と人類学	泉 靖一	読売夕刊	8.1	兜屋画廊・西川武郎氏に会う<画商訪問II>	安井 収蔵	求 美	2
シュメール文明と東アジア<視点>	ス	毎日夕刊	8.14	羽黒童介という男	小森 盛	日本美術	65
凝縮した美しさ一切手づくりの秘密	大塚 均	読売夕刊	7.18	二天の鳥の絵(宮本二天)<東風西風>	花田 清輝	読売夕刊	5.28
心象華譜(1)~(12)	岡部伊都子	芸術新潮	241~252	東洋趣味<ス>	ス	ス	6.11
岡部長景先生回想	今泉 篤男	現代の眼	189	私の履歴書8東京帝大	久松 潜一	日 経	5.28
植木屋の老棟梁<交遊抄>	岡本謙次郎	日 経	5.23	フェノロサと二人の妻	柳田 暹暎	芸術新潮	246
紋章一伝統の重み	緒方 富雄	ス	6.27	特集・福島コレク		求 美	2
美術印刷しゃくのたね	笠原 栄次	芸術新潮	247	ジョン			
胡服美人図<美の美>	熊谷 宜夫	日 経	6.5	巴里に於ける福島繁太郎夫妻	宮田 重雄		
仏さまの腹中<茶の間>	倉田 文作	毎日夕刊	6.25	福島繁太郎の事	高島達四郎		
西欧との触れ合い一美術家の真のはじまり	黒江 光彦	ス	1.13	福島君のこと	佐野繁次郎		
ブルターニュのにわが名士	ス	芸術新潮	250	福島繁太郎氏を想う	熊谷 九寿		
史跡保存に新法を一「飛鳥」機に地域ぐるみへ	今 日出海	日 経	7.6	福島さんのこと	香月 泰男		
明日香村を「聖域」として<土曜対談>	今 日出海 柳沢 一夫	京都夕刊	7.11	「十五分間モデル」父のこと	本田 克己		
日本の美術に思う<現代のことば>	佐和 隆研	ス	10.29	対談	福島 幸子		
随想三題				批評について一現代芸術の批評の批評	藤枝 晃雄	S D	65
芳崖先生	白川 一郎	萌 春	189	大原美術館館長藤田真一郎氏にきく	(足 立)	求 美	2
光雲先生少年の頃				予期せぬ場所に立つ一美術界を歩いた四十七年	藤本 昭三	京都夕刊	11.27
正木先生				ふらり集めた400点一現代アメリカ絵画に魅せられて	ウイリアム ベントン	日 経	9.5
かくれ里(13)~(24)	白洲 正子	芸術新潮	241~252	伎芸天の裏方として	堀内 祥永	芸術新潮	247
女流美術史家の回想(5)、(完)	白畑 よし	ス	241, 242	仏像のみかた	町田 甲一	毎 日	9.12
淮貳観音<天上大風>	ス	三 彩	252	アンドレ・マルローは語る	竹本 忠雄	芸術新潮	246
末永雅雄<ときの人>		読 売	3.25	アレクサンドロス、さようなら	村田数之亮	ス	249
義に厚い中国の友<交遊抄>	杉村 勇造	日 経	4.10	ある堂宮大工の遺産(安井奎太郎)<発掘54>	岸 哲男	ス	246
「世紀群」のころ	瀬木 慎一	朝 日	7.30	感慨新た「教科書人生」一美術教育史の得がたい資料	山形 寛	日 経	8.3
鑑定家ベレンソン<真贋・74>	ス	芸術新潮	242	私のページ	山崎 一芳		
集めたら二千冊一世界の美術カタログ・役立ちます	高階 秀爾	日 経	2.2	結城素明、中村岳陵、東山魁夷		日本美術	63
ミロと詩画集をつくって<フットライト>	瀧口 修造	芸術新潮	248	小林和作と入樹会棟方志功、向井潤吉		ス	64
洛東独居の記(1)~(12)	竹内 逸	ス	241~252	本門寺一大堂龍子天井絵など、五浦天心居と緒方広之		ス	65
千原大五郎<ときの人>	堀 利貞	毎 日	2.24	美術ブームの正体、小糸源太郎		ス	66
ヒッピー画家蕭白のブーム<研究ノート>	辻 惟雄	朝日夕刊	3.13	奥の細道俳行脚		ス	68
新学問のすすめ一土居次義		京都夕刊	4.15	山本丘人など		ス	70
中原佑介<ときの人>	沢関 進	毎 日	4.17				
中原佑介<人物交差点>	(舞)	中央公論	7				
京都美の根底	奈良本辰也	芸術新潮	252				

林武、海老原喜之助など		日本美術	71	売られたフランス画壇新人展	(S O R)	朝日ジャーナル	10.4
工藤甲人、沢田政広、棟方志功、金島桂華		〃	72	ソ連の現代芸術論集	(J & B)	〃	11.15
ベルリン大の畏友<交遊抄>	山田智三郎	日 経	5.7	米国の芸術家と政治行動—「アート・フォーラム」の誌上討論	(S O R)	〃	11.29
メリメとサン・サヴァン(中)、(下)	吉川 逸治	学 燈	67の6,7	美術界この一年	〃	〃	12.27
マンガがもたらすもの<あすへの話題>	吉田 光邦	日経夕刊	2.25	死者たちの復権—わだつみ像破壊者の思想<70年論壇>	鮎原 輪	〃	2.8
空がける巨鳥—出生ということば	吉村 貞司	京都夕刊	2.8	わだつみの実像と虚像	古山 洋三	〃	〃
顔—美貌のイメージ	〃	〃	6.10	版画に高まる関心<点描>		朝日夕刊	3.2
海洋—海の誘い	〃	〃	8.19	メール・アート	(水)	〃	5.11
肉体—偉大な霊の怒り	〃	〃	9.2	大学とは芸術とは何か—「芸術系」にみる学園闘争の軌跡	東野 芳明 朝 日	6.22	
地藏尊—こころの芸術・詩	〃	〃	9.30	写真と絵画の新しい関係	重森 弘淹	〃	7.14
空かける処女	〃	〃	11.23	モンパルナス—新しい顔と古い顔	奥村 心	朝日夕刊	8.13
コレクター・ゼロ氏の正体	ポール・渡部	芸術新潮	249	社会主義国の観念美術	(天)	〃	8.15
時評・その他				現代芸術<標的>	(狂)	〃	10.28
<文化ジャーナル>				ことしの回顧ベスト5<美術>	河北 倫明 高階 秀爾 三木 多聞	朝 日	12.14
文化支配への挑戦—70年代への課題	(M O R)	朝日ジャーナル	1.4	かえる哲学に学ぶ—創造性は如何に開発するか	尾上 豊穂	ア ー ト	18—1
カナダでの「場所と過程」展	〃	〃	1.25	平素の常識の斧で…吾兒を斬殺するな!	小森 盛	〃	18—2
ゆれる国際美術展	(C)	〃	2.15	百花撩乱の陰に一美術繁栄にひそむもの	〃	〃	〃
住宅設計競技の問題点	(F A N)	〃	3.8	石膏デッサンとはなぜ描くか—対話による技法の理解	寺田 春弐	ア ト リ エ	515
変革せまられる美術教育	(M O R)	〃	3.15	あなたにもできる人物画の描き方	西村 憲定	〃	516
ニューヨークの「空間」展	(C)	〃	3.29	風景画のまとめ方	〃	〃	517
農村住宅研究会の設計セット	(M O N)	〃	4.5	静物画のならない方	〃	〃	518
万国博はスプロールの見本?	(J & J)	〃	4.19	風景スケッチを始める人へ	安保健二他	〃	519
オルデンバーグの回顧展	(S)	〃	5.17	油絵の初歩技法から次の段階へ	佐田 勝他	〃	520
こどもの国の野外美術フェスティバル	(S O R)	〃	5.24	パステル画の描き方	小林哲夫他	〃	521
第10回日本国際美術展	(C)	〃	6.7	クロッキーを始める人へ	〃	〃	522
日の当らぬ活字デザイナー	(U H F)	〃	6.14	やさしい水彩画のならない方	田坂ゆたか他	〃	523
ボイスの個展から	(S O R)	〃	7.5	細密画の基礎技法と展開	立石 鐵臣	〃	524
芸術見本市初の問題点	(M O R)	〃	7.19	木版画を始める人へ	〃	〃	525
カール・アンドレの芸術観	(S O R)	〃	8.23	油絵技法のポイント	金子博信他	〃	526
二つの近代美術館の新人展	〃	〃	9.6	再論「場」は「媒体」ではない—模型千円札事件と現代美術野外フェスティバル事件	石子 順造 S D	68	
日本美術と外国人批評家「アート・インターナショナル」誌の特集	〃	〃	9.20				

定期刊行物所載文献

「to:hanji」六頭のサ ラブレッド	峯村 敏明	季刊版画	7	才能の発見に賭けた 眼—親愛なる他者た ち	針生 一郎	芸術新潮	243
大海に落とす朱の一 滴	〃	〃	8	絵ごころ詩ごころの 記	多田 裕計	〃	〃
タブローの目	〃	〃	9	芸術としての漫画は アイディア	星 新一	〃	〃
シモネッタとジュリ アーノ	(J)	求 美	2	新宮殿のアート・ギ ャラリー	高尾 亮一	〃	244
美術品の値段—美術 時評に代えて	嘉門 安雄	〃	〃	私の集めた現代日本 美術	ジョセフ・ ラブ	〃	244
<ある論点>				目をおおりの日本 「芸術見本市」	江原 順	〃	245
個性を出せ! 画廊	(F)	京 都	1.16	輸入洋画は売れると いうが<フットライ ト>	洲之内 徹	〃	〃
日展を切られた委 嘱作家	(竜 平)	〃	1.30	ルグロ事件・贋作者 の告白<真贋78>	佐々木静一	〃	246
現代美術がわかり ません	〃	〃	2.6	「ヨシ・ア画卷」—自 己欺瞞の芸術	辻 成史	〃	248
これからの「日本 画」の課題—額装 か軸装か	(竜 平)	〃	2.13	日本で売られたア ールボロー・コレク ション—輸入美術品 の大形商法	安井 収蔵	〃	〃
変革しようとする 芸大	(藤)	〃	2.20	京都の職人たち	沢野 久雄	〃	〃
美人画はどこへゆ く	(竜 平)	〃	2.27	開幕・開幕	陳 舜臣	〃	249
偽画の背景—天才 ホリーの仕事		京都夕刊	3.3	世界市場と現代日本 美術	江原 順	〃	252
絵の買い方と画商	(竜 平)	京 都	3.13	ボーナスで買える絵 画	田中 修	芸術生活	245
画塾とその行方	〃	〃	5.29	複雑・日展人脈新地 図	小林 勇人	〃	247
版画ブーム	(藤)	〃	6.5	国際市場に通用する 日本美術	ポール・わ たなべ	〃	249
最近「美術に関し て」ハラの立つこ と	佐和隆研他	〃	6.12	絵画の保存と修理			
日本画新人展ブー ム	(竜 平)	〃	6.19	油絵の保存処置作 業について	岩崎 友吉	現代の眼	188
美術教育の問題点 上、下	(藤)	〃	6.26	油彩画の修復の実 際	黒江 光彦	〃	〃
京都の前衛芸術	(Q)	京都夕刊	8.10	日本画の補修	浜田 隆	〃	〃
現代美術はどこへ 行く上、中、下	(藤)	京 都	8.28 9.4 9.18	<美術時評>	岡田 隆彦		
西洋美術ブームの 背景	山田 竜平	〃	9.25	1. 物を見させる	三 彩	255	
美術展の裏側—作 家の苦勞	〃	〃	10.9	2. 変質した自然	〃	257	
映像をめざす作家 たち	(藤)	〃	11.6	3. 玉堂再見	〃	258	
美術展に秋風が吹 くか	山田 竜平	〃	11.13	4. 写意による自然 の全体化	〃	259	
芸術—この投資の 対象	(藤)	〃	12.4	5. 表現のシステム と自然観	〃	260	
何が芸術か<現代の ことは>	吉田 光邦	京都夕刊	11.27	6. 自然の循環と表 現の関係	〃	261	
70年美術界—落した 影	(藤)	京 都	12.31	7. 物体のとらえ方	〃	264	
切支丹三代	奈良本辰也	〃	7.6	8. 新しい表現と自 然の関係	〃	266	
南蛮物語—日本史に みるキリシタン1~ 11	〃	〃	7.7~ 7.18	日本美術品のポスト ン移住	堀岡弥寿子	〃	259
鋸山の環境芸術	高橋 義博	芸術新潮	241	本の美術史	小野 忠重	〃	
コレクター衰微	佐藤 忠雄	〃	〃	1. 装幀の出發	〃	253	
モンパルナス・スキ ンダラー—日本の美 術界のアニマルたち	宗 左近	〃	242	2. ボール表紙本の さしえ家	〃	254	

3. 第一次大戦の戦後派とプロレタリア文化	三 彩	255
4. 暗い谷間の豪華本	〃	257
5. 洋装本事始	〃	258
6. 活字と活画と多色刷	〃	260
飛鳥路をゆく	山本 健吉	中央公論 9
60日間世界見て歩き4~15	郡山 鉄郎	中 美 177~188
万博見聞記	〃	180
「文化」の意味	〃	188
わからない漫画<大波小波>		東京夕刊 2.26
「中原悌二郎賞」設定にあたって	匠 秀夫	〃 3.28
美術この一年	植村鷹千代	〃 12.19
戦争絵画里がえり	(O)	日本美術 69
イラストレイション<文化往来>	(F)	日 経 3.7
里がえり美術品<〃>	(H)	〃 6.2
日本美術の待遇<〃>	〃	9.29
さしえの原画<〃>	〃	12.18
美術品ドロ流行<今月の焦点>	〃	12.14
鉄鋼彫刻シンポジウム	峯村 敏明	美術手帖 322
去勢されたピカソ展	大島 辰雄	〃 〃
画壇から遠くはなれて一村上華岳展	小倉 忠夫	〃 〃
批評の奪還めざして第10回国際展	峯村 敏明	〃 324
完成した万国博美術館	中山 公男	〃 〃
彫刻の森美術館の成果	日野耕之祐	〃 〃
美術界に税金旋風	安井 収蔵	〃 〃
見直される北斎芸術	白川 一郎	〃 〃
歌麿の美人画に見る女性観	田名網敬一	〃 325
すべての賞を廃止ヴェネチア・ビエンナーレ	井関 正昭	〃 〃
バリのJAF展	嘉門 安雄	〃 〃
よみがえるマネキン	吉村 益信	〃 〃
誤解された日本現代美術	ジョセフ・P・ラブ	〃 326
70年代への問い「ヒューマン・ドキュメンツ'70」	三木 多聞	〃 〃
建築のオリンピック	亀田 正雄	〃 〃

作家による自主的運営—現代美術野外フェスティバル	藤枝 晃雄	美術手帖 326
具象絵画のある極点	滝沢 泰	〃 327
スペイン絵画の栄光と戦慄	桑原 住雄	〃 〃
具象絵画と安井賞展	三木 多聞	〃 〃
狂気ある表現を	春原 敏之	〃 〃
人間と物質のふれあい—第10回東京ビエンナーレ展	中原 佑介	〃 328
ニューヨーク展に賭ける JAF	嘉門 安雄	〃 〃
盛んなメル・アート	石子 順造	〃 〃
失われた人間性の回復—バーバラ・ヘップワース展	日野耕之祐	〃 329
独立した想像力の表現	北村 由雄	〃 〃
建築のグラフィズム	原 広司	〃 331
千里「モニュメント」の設置	奈須 豊	〃 〃
ロック・ライフ・ラヴ	木村 英輝	〃 〃
1970年8月展	三木 多聞	〃 〃
JAFに根本的な改革を	針生 一郎	〃 332
「日宣美」の終幕	日向あき子	〃 〃
戦争記録画と公開の問題	北村 由雄	〃 〃
「漫画読本」の休刊むしろ「あいまいさ」が重要—現代美術の動向展	草森 伸一	〃 〃
二つのイギリス美術展—英国風景画展・現代イギリス美術展	李 禹煥	〃 333
愛知県立美術館のゴミ論争	北村 由雄	〃 〃
アメリカン・ナイン絵画展	中村 英樹	〃 〃
クロード・モネ展	藤枝 晃雄	〃 334
東京国際版画ビエンナーレ	桑原 住雄	〃 〃
鉄鋼彫刻シンポジウム作品のゆくえ	藤井 久栄	〃 335
小出楢重展	北村 由雄	〃 〃
万博アーティストその後	陰里 鉄郎	〃 〃
<世界の動向>	奥 英了	〃 〃
42作家の現代美術一堂に	東野 芳明	〃 322
リキテンシュタイン再評価	元村 重吾	〃 324
態度がかたちになるとき		〃 〃

定期刊行物所載文献

美術館の使い方	泉 治郎	美術手帖	325	クリフォード・スティールの回顧展	みづゑ	781
芸術とコンピュータ	トム・シャットマン	ス	326	アメリカのグロテスク芸術展	ス	ス
「ニューヨーク・スクール」は存在するか		ス	ス	ヴィクトル・ヴァザリリの回顧展	ス	782
新雑誌「カウントダウン」		ス	327	風変りな「プレイ・オービット」展	ス	ス
「ヴィレッジ・ヴォイス」は体制だ	泉 治郎	ス	ス	反響を呼んだ環境展	ス	ス
オブジェ詩人ジムダイ		ス	328	アメリカにおける芸術家の造反運動	ス	ス
美術界のブラックパワー		ス	ス	12世紀の中世美術展	ス	783
芸術家の新天地「ソーホー」	(乙)	ス	329	フランドル近代美術展	ス	ス
ウォーホールも回顧展		ス	331	モホリ・ナギの回顧展	ス	ス
芸術家も公害ととりくむ		ス	ス	ジム・ダインの回顧展	ス	ス
体制支配下の芸術	(乙)	ス	332	ダニエル・ブーパの版画と素描展	ス	784
アート・ストライキ	ス	ス	ス	アメリカの「だまし絵」展	ス	ス
ニューヨーク近代美術館「インフォメーション」展		ス	333	ボストン美術館開館百周年記念展	ス	ス
作品を盗まれた荒川修作	針生 一郎	ス	335	アメリカの黒人作家たち	ス	ス
うるさい美術館規制	(乙)	ス	ス	マチス生誕百年記念大回顧展	ス	785
個展の作品を押収されて〈問題と視点〉	上原 一郎	美術グラフィ	19-1	話題を呼んだステラとモリスの回顧展	ス	ス
美術界への大型資本攻勢〈ス〉	菊地芳一郎	ス	19-2	ジョン・キャナデイの東京見聞	ス	ス
美術時評 1~7	平井 亮一	ス	ス	苦悩するフランスの美術館	ス	ス
どうみる選つて来た戦争画		ス	19-7	「ヨーロッパ表現主義1900~1930」展	ス	786
阿々土のころ	濤川雪爪庵	崩 春	186	美術学生が組織した「平和」展	ス	ス
トレド紀行	井垣 春雄	ス	187	グッゲンハイム美術館開館10周年展	ス	ス
上野	井上 昇三	ス	188	165点のピカソの新しい連作展	ス	ス
アッと驚く観念芸術	安井 収蔵	毎日夕刊	3.26	ボストンで初の黒人美術展	ス	787
ゴミの山〈視点〉	伊藤ていじ	ス	10.3	西ドイツの新しい美術市場	ス	ス
美術この1年		ス	12.9	ニューヨーク近代美術館の報告書	ス	ス
〈ワールド・トビックス〉				レナード・バスキンの回顧展	ス	ス
カンディンスキーとM・ピルの回顧展		みづゑ	780	第35回ヴェネチアビエンナーレ展	ス	788
ディックスとハートフィールドの回顧展		ス	ス	疑問投げた「インフォメーション」展	ス	ス
アイディアとテクノロジー展		ス	ス	モーリス・ドニ生誕百年記念回顧展	ス	ス
クロード・ローランの回顧展		ス	ス			
マルク・シャガールの大回顧展		ス	781			
パウル・クレーの回顧展		ス	ス			

第3回国際画商サロン展	みづゑ	788	万国博が語ったもの				
フランスで開催のアメリカ現代美術展	シ	789	3. 空気建築と環境	坂井 利之 他共同討議	京 都	8.26	
西ドイツが新しい美術創造の中心地?	シ	シ	4. ハンコの記号演出	シ	シ	8.28	
サルヴァドール・ダリの優雅な生活	シ	シ	EXPO '70—人間・創造・イメージ(磯崎新他) 万博とは何か		京都夕刊	2.9~ 2.25	
フランス・ピカビアの回顧展	シ	790	五色の文字と蝶の翅	江藤 淳	季刊芸術	13	
建築と1パーセントの装飾をめぐる	シ	シ	対談・幻像の中で	栗津 潔	シ	シ	
ヒットラーの建築デザイン資料展	シ	シ	悲しき万博—「進歩の思想」の構造的矛盾	原田 統吉	シ	シ	
現代美術の新しい実験的中心地ザグレブ	シ	シ	移行する物神—EXPO '70に生命化されるもの	岡田 隆彦	シ	シ	
ジョージア・オキーフの回顧展	シ	791	反博の思想	坂崎 乙郎	シ	シ	
19世紀のドイツ絵画展	シ	シ	万国博の本	春山 行夫	シ	シ	
アール・デコの再流行	シ	シ	最後の巨大な祭典—エキスポ '70<フットライト>	鈴木 恂	芸術新潮	241	
贋作者スタインの異常な人気	シ	シ	万博で遊ぶ前衛芸術	栗田 勇	シ	243	
日本万国博と東京ビエンナーレ<フラッシュ>	(J)	786	万国博美術館—不易なる「かなたへ」	大岡 信	シ	245	
作品のない展覧会—現代美術の皮肉な状況	中原 佑介	読 売	万国博の映像				
絵画市場に新しい動き—生活のなかに生かす	徳大寺公英	シ	映像万博狂騒曲	畑 正憲	芸術生活	250	
回顧 '70<美術>	村木 明	読売夕刊	新しい映像は何をめざすか	平井 輝章	シ	シ	
美術品盗難に思う	嘉門 安雄	読 売	EXPO '70のデザイン				
<万国博>			1. 日本万国博の会場計画	坪井 恭平	工芸ニ ース	37—3	
万国博・その仮面と素顔			2. 万国博覧会と交通システム	曾根 幸一 森岡 侑士	シ	37—4	
1. 大屋根は覆う	朝日夕刊	4.2	3. サイン計画	金子 修也 森岡 侑士	シ	38—1	
2. はらんする映像	シ	4.3	4. ディスプレイテーマ館他	平野繁臣他	シ	38—2	
3. エキスポの神々	シ	4.6	5. その評価				
4. 空気で建てる	シ	4.7	日本万国博のデザイン・その文 明史的意義	吉田 光邦	シ	38—3	
5. 天と地と	シ	4.9	デザイン実験の場としてのEX PO '70	池辺 陽	シ	シ	
6. 広場の造形	シ	4.10	万国博のむなし さ	亀倉 雄策	シ	シ	
7. 虚像と実像	シ	4.13	IDの立場から みた万国博	水谷 文平	シ	シ	
8. 記号環境の中で	シ	4.14	万博—この壮大な張 ぼて祭	針生 一郎	世 界	6	
9. 民族性と無国籍 性	シ	4.16	万国博論争<論談時 評上>	飯塚 良明	東京夕刊	3.30	
10. 善意人間の化粧	シ	4.17	万国博と造形	植村鷹千代	シ	4.2	
万国博の終りに			EXPO '70・発想か ら完成まで				
上. 文化の模倣店	堀米 庸三	シ	トータル・シアタ ーのころみ	山口 勝弘	美術手帖	326	
中. 空恐しきもの	堀田 善衛	シ					
下. 神のない祭	山田 宗睦	シ					

定期刊行物所載文献

狂気とエロスの体験の場	松本 俊夫	美術手帖	327
スペース・シアター	宇佐美圭司	〃	328
新しい体験の場	ビリー・クルーヴァー 中谷芙二子訳	〃	329
万国博跡地利用の提案			
ポスト万博—全く新しい時代へ	浅田 孝	〃	330
物質は消滅すべし	松沢 宥	〃	〃
「ネガロポジロス」への提案	進来 廉	〃	〃
歩くスペース	長 新太	〃	〃
世界都市計画環境管理センターと都市博物館	戸村 浩	〃	〃
真の未来遊戯都市—テル・ルーデンスの建設	仙田 満	〃	〃
EXPO '70の演出の技術			
空気と水	中谷芙二子	〃	〃
光—ディスプレイとしての実験的試み	小南 忠明 大熊 俊隆	〃	〃
光—多様性とその世界の拡大	石井 幹子	〃	〃
空気構造	沖 種郎	〃	〃
制御機構	月尾 嘉男	〃	〃
二つの文化と環境への志向	山口 勝弘	〃	〃
文明の構造の部分として・観念—概念—行為—観念	伊藤 隆康	〃	〃
万博で考えた21のこと	福田 繁雄	〃	〃
祭り	泉 靖一	〃	〃
現代の祭りとお化け屋敷	辻村 明	〃	〃
ナショナル・プロジェクトとしての万国博	坂本 二郎	〃	〃
情報とメディア	後藤 和彦	〃	〃
物としてのデザイン	泉 真也	〃	〃
「最終走者」の自由と孤独—EXPO '70大衆論	淀野 隆之	〃	〃
オフ・ギャラリーの流行	中原 佑介	朝日夕刊	1.17
これからの美術館	(英)	〃	4.4
美術館考上・中・下	(藤)	京 都	5.8
			5.15
			5.22
メトロポリタン美術館の百年	山田智三郎	芸術新潮	241
ボストン美術館の日本	堀岡 智明	〃	245

公開されたブランデージ・コレクション<フットライト>	安藤 更生	芸術新潮	247
フィルムセンター設置に当って	今 日出海	現代の眼	184
フィルムセンター設置までの経緯	福岡 敏矩	〃	〃
フィルム・ライブラリーの回顧	斎藤 宗武	〃	〃
特集・新設フィルムセンターに望む			
国立フィルムセンターの発足に当って	小林 行雄	〃	186
より本質的な仕事を	川喜多かしこ	〃	〃
いまからでもおそくはない	波多野完治	〃	〃
おもいつくままに	飯島 正	〃	〃
昭和44年度新収蔵作品について	三木 多聞	〃	〃
西洋美術館の新収品	(H)	日 経	4.24
特異な画廊誕生<文化往来>	〃	〃	6.16
期待される大画廊<〃>		〃	12.15
博物館を生かせ	星野 直隆	毎日夕刊	9.3
大原美術館40年の歩み	藤田慎一郎	読売夕刊	11.6
ヨーロッパの美術館	朝日 晃	〃	11.19
博物館建設ブームに思う	中川 成夫	〃	12.14
美術館・博物館めぐり			
44. 佐野美術館	渡辺 妙子	月刊文化財	76
45. 神戸市立考古館	佐原 真	〃	77
46. 秋田県立美術館	加賀谷辰雄	〃	78
47. 高知県立郷土文化館	乾 常美	〃	79
48. 万国博美術館	坂元 正典	〃	80
49. 琉球政府立博物館	外間 正幸	〃	81
50. 江戸村	本岡 三郎	〃	82
51. 旧開智学校	柏沢 貴男	〃	83
52. 鹿児島県立博物館	河口 貞徳	〃	84
53. 鎌倉国宝館	三浦 勝男	〃	85
54. 福井県立岡島美術記念館	山田 武男	〃	86

展覧会批評 (主要新聞)

入樹会展	朝日夕刊	1.10
島田章三展と向井、西山二人展	〃	1.14
ポール・ギアマン展	〃	1.17
ピエール・クレラン展	〃	〃

フランス現代タピスリー展	朝日夕刊	1. 17	春の公募展から（モダンアート協会、光風会、日本版画協会、創元会）	小川 正隆	朝日夕刊	4. 19
岡本半三展	〃	1. 21	スペイン美術展	小川 正隆	〃	4. 21
広田多津展	〃	〃	和田徹展	〃	〃	4. 22
ブルーノ・ブルーニ石版展	〃	〃	後藤よ志子展	〃	〃	〃
平松輝子展	〃	1. 24	北村綱義展	〃	〃	〃
五山会展	〃	〃	スペイン美術展から1～10	小川 正隆	〃	4. 24～5. 7
ルドン石版画集展	〃	1. 28	北川民次展	〃	〃	4. 25
田中佐一郎展	〃	1. 31	野島青絃展	〃	〃	〃
中野淳展	〃	〃	彩春会展	〃	〃	〃
レンブラント没後300年記念展	嘉門 安雄	2. 2	富本憲吉遺作展	小川 正隆	〃	4. 28
彩杯会展	〃	2. 4	鶴岡政男展	〃	〃	4. 29
黒沢吉蔵展	〃	〃	伊原通夫展	〃	〃	〃
昭和会展	〃	2. 7	桑原正昭展	〃	〃	〃
ヒューマン・ドキュメント展	〃	〃	シャルパンティエ・コレクション展	〃	〃	5. 2
ベネチア展	〃	2. 14	ストリート・ファニチャー展	(山)	〃	〃
中川一政近作展	〃	2. 18	春の公募展から（国画会、春陽会）	小川 正隆	〃	5. 4
彩翠会展	〃	2. 21	山本丘人画展	〃	〃	5. 9
奥田元宋展	〃	〃	英国陶芸展	〃	〃	〃
閃光会展	〃	〃	バザレリ展	〃	〃	5. 13
ピカソ近作版画展を見て	小川 正隆	2. 25	早川良雄展	〃	〃	〃
丸山妙子展	〃	2. 28	児玉希望回顧展	〃	〃	5. 16
半田圭治展	〃	〃	木内克自選展	〃	〃	〃
小玉光雄・恵俊彦二人展	〃	〃	大沢昌助展	〃	〃	5. 20
印象派以後展	〃	3. 4	田中阿喜良展	〃	〃	〃
マルケ展	〃	〃	日本国際美術展	小川 正隆	〃	5. 21
大島哲以小品展	〃	3. 7	スペイン美術展	堀田 善衛	〃	5. 27
ビュッフェ展	〃	3. 14	新制作日本画春季展	〃	〃	5. 30
川島理一郎回顧展	〃	3. 16	小林哲夫個展	〃	〃	〃
山本文彦個展	〃	3. 18	暖話会展	〃	〃	〃
坂本繁二郎展	〃	3. 20	スペイン美術展から1～10	朝 日	6. 1～6. 17	〃
東京イラストレーターズ・クラブ展	〃	3. 21	ベン・シャーン展	小川 正隆	朝日夕刊	6. 3
坂本繁二郎展	小川 正隆	朝 日	未更会展	〃	〃	6. 6
坂本繁二郎追悼展	井上 靖	朝日夕刊	堀文子展	〃	〃	〃
小島善太郎自選展	〃	3. 28	サロン・ド・ジュアン展	〃	〃	6. 10
燦々会展	〃	〃	女流画家協会展	〃	〃	〃
永井一正個展	〃	4. 1	スペイン美術展—スペイン美術の古さと新しさ	ホアキン・デ・ラ・ブエンテ	〃	〃
アンリ・マンギャン展	〃	4. 4	島内きみ展	〃	〃	6. 13
清水登之展	〃	4. 8	野宮武明展	〃	〃	〃
スペイン美術展	三雲祥之助	〃	伊藤清永展	〃	〃	〃
古茂田宇介遺作展	〃	4. 11	「肉筆による 東海道五十三次」展	〃	〃	〃
彩虹会展	〃	〃	松本利彦個展	〃	〃	6. 17
ワイズパッシュ展	〃	4. 15	飯山勇個展	〃	〃	〃
朝倉響子展	〃	4. 18	松本曼個展	〃	〃	〃
岡田又三郎油絵展	〃	〃				

定期刊行物所載文献

大蔵克衛展	朝日夕刊	6.20	上永井正展	シ	8.28
伊藤朝彦展	シ	シ	ボナール展	シ	8.29
清流会展	シ	6.24	樹展	シ	シ
岩田正己展	シ	シ	現代美術の動向展	小川 正隆	シ 9.1
松樹路人・桑原巨守 二人展	シ	シ	「1970年8月現代美 術の一断面」展	シ	シ 9.1
ポーランドの二つの ビエンナーレ展	シ	6.30	スペイン美術展を見 て	沢野 久雄	シ 9.1
熊谷守一展	シ	7.1	バーバラ・ヘップワ ース展	小川 正隆	シ 9.2
仲田好江展	シ	シ	高井貞二展	シ	9.9
清宮質文展	シ	シ	彩日会展	シ	シ
太陽展	シ	シ	安田靉彦展	小川 正隆	シ 9.11
薔美会展	シ	7.4	秋の公募展から(院 展、行動、二科)	小川 正隆	シ 9.14
五百住乙展	シ	7.8	カルズー展	シ	9.16
枝英会展	シ	シ	平田勝規展	シ	シ
アメリカの現代グラ フィック展 (東)	シ	7.11	保田春彦展	シ	9.18
ベネチア・ビエンナ ーレ報告 東野 芳明	シ	7.14	「木内克の全貌」展	小川 正隆 朝 日	9.25
森田沙伊近作小品展	シ	シ	ジョージ・ナカシマ 展 (球)	朝日夕刊	9.26
庫田燧個展	シ	シ	生きつづけるモンパ ルナス展	シ	シ
田中忠雄展	シ	7.15	19世紀フランス巨匠 展	シ	シ
浦田正夫展	シ	シ	根深い工芸の危機— 二つの展覧会をみて (現代の陶芸展、日本 伝統工芸展)	小川 正隆	シ 10.3
山本豊市作品展 小川 正隆	シ	7.18	秋の公募展をみて (新制作協会、一水 会、一陽会)	小川 正隆	シ 10.6
金森馨演劇空間展 (間)	シ	シ	フォンタナ展	シ	10.7
万国博美術展によせ て 小川 正隆	シ	7.20	ラファエロ・タビス リー展	シ	シ
ジャパン・アート・ フェスティバル	シ	7.21	滝口修造、ミロ詩画 集「手づくり謠」展	シ	10.8
ミッシェル・スクリ ア展	シ	7.22	アントニン・レーモ ンド展 (鳥)	シ	10.10
片谷美香展	シ	シ	ペーター・クリーチ 展	シ	シ
山本美智代個展	シ	シ	瀬戸須磨離宮公園現 代彫刻展	小川 正隆	シ 10.13
野口弥太郎展 小川 正隆	シ	7.25	ムンクの世界	シ	シ 10.14
潮音会展	シ	7.29	版画グラン・ブリ展	シ	10.15
ジャンセン、ミノー 二人展	シ	シ	モネ名作展	小川 正隆	シ 10.16
デュデュエ、ラング レー素描展	シ	シ	山口蓬春展	シ	シ 10.17
本郷新彫刻展	シ	7.31	上村松篁展	シ	シ
「小林古径その人と 芸術」展 小川 正隆	シ	8.1	現代イギリス美術展 を見て	シ	シ 10.21
斎藤寿一銅版画個展	シ	8.8	秋の公募展から(独 立美術、二紀会、自 由美術)	シ	シ 10.23
サルバドール・ダリ 展	シ	シ	小出楯重没後四十年 の記念展	小川 正隆	シ 10.24
現代の宗教美術展	シ	8.10	国際形象展を見て	シ	シ 10.29
竹谷富士雄滞欧作個 展	シ	8.12	正倉院展	シ	10.30
マベ・マナブ展	シ	8.15	白根光夫個展	シ	10.31
新樹会展	シ	シ			
上村淳展	シ	8.19			
四人展(大成瓢吉、 久田弘、藤沢匠、横 尾茂)	シ	シ			
「1970年8月現代美 術の一断面」展	シ	8.25			

池田幹雄個展	朝日夕刊	10.31	上矢津展	朝日夕刊	12.16
神保綾子滞欧作品展	〃	〃	永田力個展	〃	〃
松井叔生個展	〃	〃	芝英会展	〃	12.18
岩田栄吉作品展	〃	〃	中央公論秋季展	〃	〃
棟方志功板業展	〃	11.2	浜田庄司陶芸展	〃	〃
宇治山哲平展	〃	11.4	DNIASのモデル 展「百億人の生活」	〃	12.25
福沢一郎展	〃	〃	サルバドール・ダリ 版画展	〃	12.26
三人展(麻生三郎、 糸園和三郎、野見山 曉治)	〃	11.7	アトリエC-126版 画展	〃	〃
アポロ展	〃	〃	入樹会展	寺田 千壘	東京夕刊 1.9
絵金展	〃	11.10	ポール・ギアマン展	〃	〃
モナ・リザ100微笑 展	〃	11.12	向井潤吉、西山英雄 小品展	〃	〃
ポー・ボワール展	〃	11.14	現代ポーランド版画 展	〃	〃
淡彩素描展	〃	〃	国際ジュエリー・ アート展	東 京	1.16
昭和会受賞作家展	〃	〃	広田多津展	寺田 千壘	東京夕刊 1.23
絵更紗展	〃	11.17	井上悟個展	〃	〃
小林和作展	〃	11.18	山口猛彦個展	〃	1.30
田辺三重松展	〃	〃	女流秀作美術展	〃	1.26
寺島龍一展	〃	〃	ルドン石版画集展	〃	1.30
彼末宏展	〃	〃	田中佐一郎遺作展	〃	〃
本荘起展	〃	〃	中野淳展	〃	〃
伊藤彬展	〃	〃	刑部人油絵展	〃	〃
現代インド絵画展	小川 正隆	〃 11.21	ベネチア展	〃	2.13
東洋陶磁展を見て	八木 一夫	〃 11.23	篁牛人展	〃	〃
現代の女性美展	〃	〃	松本弘子個展	〃	〃
六影展	〃	11.25	進藤妙子個展	〃	〃
松原直子展	〃	〃	マグリット、ダリ石 版展	坂崎 乙郎	〃 2.17
サム・フランシス展	〃	〃	「天台秘宝展」に思う	浜田 隆	〃 2.19
中村岳陵展	〃	11.28	中川一政近作展	寺田 千壘	〃 2.20
鎗木清方個展	〃	〃	奥田元宋展	〃	〃
川崎鈴彦展	〃	〃	吉田清個展	〃	〃
秋の公募展から(日 展)	小川 正隆	〃 12.1	淀井敏夫展	〃	2.27
岸田劉生展	〃	12.2	マルケ展	〃	〃
双杉会展	〃	〃	彩翠会展	〃	〃
清水光子展	〃	12.5	丸山妙子油絵展	〃	〃
上原卓展	〃	〃	19世紀フランス巨匠 展	〃	3.6
雪の絵展	〃	〃	印象派以後展	〃	〃
ファッツイーニ展	〃	〃	フランス近代絵画展	〃	〃
日動展	〃	〃	潮展	〃	〃
ソウル国際版画ビエ ンナーレ展の審査に 参加して	東野 芳明	〃 12.8	寺田竹雄、中村直人 二人展	〃	〃
元永定正のミクロ・ コスモス展	〃	12.10	ピカソ近作版画展	坂崎 乙郎	〃 3.9
奥村土牛・天皇の世 紀展	〃	12.11	四向会展	東 京	3.13
シャギー・アート展	(竹)	〃 12.12	ビュッフェ展	〃	〃
塚原哲夫個展	〃	〃	西八郎、市川秀光、 大野修「三人展」	東京夕刊	3.16
里見勝蔵自選展	〃	〃	山本文彦個展	〃	3.20
戸村浩展	〃	12.16			

定期刊行物所載文献

川島理一郎展	坂崎 乙郎	東京夕刊	3.20	北岡文雄個展	寺田 千壘	東京夕刊	5.29
山口薫遺作展	〃	〃	〃	ベン・シャーン展	桂 ゆき	〃	6.2
樋口治平個展	〃	〃	〃	堀文子作品展	寺田 千壘	〃	6.5
坂本繁二郎追悼展	〃	〃	3.27	未更会展	〃	〃	〃
岡本省吾エッチング展	〃	〃	3.27	弥生会展	〃	〃	〃
菌部雄作個展	〃	〃	3.30	日本の美展	〃	〃	〃
沢田鉄郎個展	〃	〃	〃	サロン・ド・ジュアン展	〃	〃	6.12
荻須高德パリ近作展	〃	〃	4.2	島内きみ展	〃	〃	〃
斎藤真一展	坂崎 乙郎	〃	4.3	伊藤清永展	〃	〃	〃
北村真、今村昭寛二人展	〃	〃	〃	安田寛遺作展	〃	〃	〃
富山妙子個展	〃	〃	〃	七人会展	〃	〃	6.19
エチオピア国宝展によせて	鈴木 秀夫	〃	4.6	吹田文明個展	〃	〃	〃
竹岡羊子個展	〃	〃	4.10	池下昌徳個展	〃	〃	〃
魚住百誉エッチング展	〃	〃	〃	ケーテ・コールヴィッツ展を見て	坂崎 乙郎	〃	6.24
光風会展	柳 亮	〃	4.14	「近代絵画の名匠を偲ぶ」展	寺田 千壘	〃	6.26
創元会展	〃	〃	〃	大蔵克衛展	〃	〃	〃
モダン・アート展	〃	〃	〃	浜田信ヨーロッパ風景近作展	〃	〃	〃
ワイズパッシュ展	寺田 千壘	〃	4.17	大内田茂士近作展	〃	〃	〃
岡田又三郎油絵展	〃	〃	〃	清流会展	〃	〃	〃
牧野邦夫展	〃	〃	〃	岩田正己展	〃	〃	〃
古茂田守介展	〃	〃	〃	ヘップワース、ニコルソン版画二人展	〃	〃	7.3
彩虹会展	〃	〃	〃	熊谷守一展	〃	〃	〃
アンリ・マンギャン展	〃	〃	4.24	片谷美香展	〃	〃	〃
清水登之展	〃	〃	〃	佐野ぬい展	〃	〃	〃
春陽展	植村鷹千代	東京	4.29	小林古徑展	〃	〃	7.10
国展	〃	〃	〃	庫田毅展	〃	〃	〃
東光展	〃	〃	〃	太陽展	〃	〃	〃
朝倉響子展	寺田 千壘	東京夕刊	5.1	山本豊市作品展	〃	〃	7.17
穹展	〃	〃	〃	ミッシェル・スクリア展	〃	〃	〃
明日葉展	〃	〃	〃	川口精六展	〃	〃	〃
山本丘人画展	〃	〃	5.8	浦田正夫展	〃	〃	〃
シャルバンティエ・コレクション展	〃	〃	〃	虹の会日本画展	〃	〃	〃
森下紀久子個展	〃	〃	〃	池部鈞遺作展	〃	〃	〃
立軌会会員展	〃	〃	〃	清和会日本画展	〃	〃	7.24
木内克自選展	〃	〃	5.15	登龍会新人展	〃	〃	〃
児玉希望回顧展	〃	〃	〃	十柯会油絵展	〃	〃	〃
雨晴会展	〃	〃	〃	松永敏太郎展	〃	〃	〃
香月泰男展	〃	〃	〃	本郷新彫刻展	〃	〃	7.31
須田寿展	〃	〃	〃	永瀬義郎自選版画展	〃	〃	〃
大沢昌助展	〃	〃	5.22	潮音会展	〃	〃	〃
田中阿喜良展	〃	〃	〃	現代の宗教美術展	〃	〃	8.7
彫刻集団「五月会」展	〃	〃	〃	津田青楓書画展	〃	〃	〃
三宅悦隆デッサン展	〃	〃	〃	萩谷巖展	〃	〃	〃
滝川美一彫塑小品展	〃	〃	〃	新樹会展	〃	〃	8.14
木村賢太郎彫刻展	〃	〃	5.29	独立十人の会展	〃	〃	〃
岩田藤七個展	〃	〃	〃	竹谷富士雄展	〃	〃	8.21
飯田実雄遺作展	〃	〃	〃	上村淳作品展	〃	〃	〃

岡本半三個展	寺田 千壘	東京夕刊	8.21	彼末宏個展	寺田 千壘	東京夕刊	11.13
ボナール素描展	〃	〃	〃	熊谷守一展	〃	〃	〃
十一会展	〃	〃	〃	岸田劉生展	難波田龍起	〃	11.18
物故作家展	〃	〃	〃	六彫展	寺田 千壘	〃	11.20
今井繁三郎展	〃	〃	〃	小林和作小品展	〃	〃	〃
「ミレー展」を見て	坂崎 乙郎	〃	9.3	田辺三重松小品展	〃	〃	〃
ミケランジェロの彫刻 (ミケランジェロ彫刻館)	リド・ボベ ッキ	〃	9.8	日展を見て	柳 亮	〃	11.21
安田靉彦展	寺田 千壘	〃	9.11	第三文明展	〃	〃	〃
児島善三郎展	〃	〃	〃	東洋陶磁展	〃	〃	11.23
院展	植村鷹千代	〃	9.14	二紀、独立、自由美術展を見て	坂崎 乙郎	〃	11.26
二科展	〃	〃	〃	中村岳陵展	寺田 千壘	東 京	11.28
行動展	〃	〃	〃	川崎鈴彦展	〃	〃	〃
石本正人物画展	寺田 千壘	〃	9.18	幻想の日本画展	〃	〃	〃
18・19世紀のアメリカ・ ナイーブ絵画展	〃	〃	〃	十一月会展	〃	〃	〃
生きつづけるモンパ ルナス展	〃	〃	9.25	ファッツ・ニ展	〃	東京夕刊	12.4
平田勝規展	〃	〃	〃	雪の絵展	〃	〃	〃
西村計雄近作展	〃	〃	〃	I・N・F展	〃	〃	〃
宮下実展	〃	〃	〃	日動展	〃	〃	〃
ムンク展を見て	山室 静	〃	10.1	日展を見て一工芸美術	南 邦男	〃	〃
小原稔展	寺田 千壘	〃	〃	小松崎邦雄個展	寺田 千壘	〃	12.11
国領経郎展	〃	〃	〃	塚原哲夫個展「海」	〃	〃	〃
新制作・一水会・一陽 会展を見て	柳 亮	〃	10.5	富成忠夫油絵個展	〃	〃	〃
フランス美術の栄光 展	寺田 千壘	〃	10.9	石黒直子作品展	〃	〃	〃
モネ名作展	〃	〃	〃	里見勝蔵自選展	〃	〃	〃
近代絵画彫刻名品展	〃	〃	〃	彫刻五人展(松村外 次郎、中村直人、淀 井敏夫、峰孝、桜井 祐一)	〃	〃	12.18
第一回版画グラン・ プリ展	〃	〃	〃	奥村土牛「天皇の世 紀」原画展	〃	〃	〃
油絵五人展(飯山勇 ・井上悟・白根光天・ 藤田吉香・吉田清)	〃	〃	〃	難波田史男個展	〃	〃	〃
好花会日本画展	〃	〃	〃	エルク・シュマイサ ー展	〃	〃	〃
上村松篁展	〃	〃	10.16	世界の歌麿展	(H) 日 経	〃	1.9
英国風景画展を見て	岡本謙次郎	〃	10.7	新春の日本画展	〃	〃	1.16
小出楯重展	寺田 千壘	〃	10.23	川崎小虎展	〃	〃	1.23
テレスコピッチ競馬 シリーズ展	〃	〃	〃	フランス現代タピス リー展	〃	〃	1.30
国際形象展	〃	〃	10.30	ベネチア展	〃	〃	2.13
カリエール展	〃	〃	10.30	新槐樹社展	田近 憲三	〃	2.25
岩田栄吉油絵展	〃	〃	〃	日府展	〃	〃	〃
ヨハン・アルデンド ロフ素描展	〃	〃	〃	中川一政展	〃	〃	〃
福沢一郎展	〃	〃	11.6	彩翠会展	(H) 〃	〃	2.27
宇治山哲平展	〃	〃	〃	ピカソ近作版画展	〃	〃	3.6
アポロ展	〃	〃	〃	大島哲以展	〃	〃	3.12
絵金展	〃	東 京	11.9	新世紀展	田近 憲三	〃	3.13
晴秋会展	〃	東京夕刊	11.13	美術文化展	〃	〃	〃
互元会展	〃	〃	〃	森田曠平展	(田) 〃	〃	3.14
三人展(麻生三郎、 糸園和三郎、野見山 暁治)	〃	〃	〃	関四郎五郎展	〃	〃	〃
				南大路一展	〃	〃	〃
				現代ソ連絵画展	〃	〃	3.16

定期刊行物所載文献

川島理一郎展	(H)	日	経	3.20	ミレー展	(田)	日	経	8.28
白日会展	田近 憲三	〃	〃	3.26	春信展	〃	〃	〃	9.4
示現会展	〃	〃	〃	〃	院展	田近 憲三	〃	〃	9.10
水彩連盟展	〃	〃	〃	3.27	二科展	〃	〃	〃	9.11
三軌会展	〃	〃	〃	〃	行動展	〃	〃	〃	〃
坂本繁二郎追悼展	(田)	〃	〃	3.28	安田靉彦展	(H)	〃	〃	9.12
アンリ・マンギャン展	〃	〃	〃	4.3	児島善三郎展	(田)	〃	〃	9.18
浦上玉堂名作展	〃	〃	〃	4.8	「日本の美」展	(H)	〃	〃	9.25
創元展	田近 憲三	〃	〃	4.9	鱸利彦展	〃	〃	〃	〃
モダン・アート展	〃	〃	〃	〃	濤々会「北欧風景画」展	〃	〃	〃	〃
富本憲吉・清水登之両遺作展	(田)	〃	〃	4.17	新制作展	田近 憲三	〃	〃	10.1
伊勢正義滞伊作品展	(H)	〃	〃	4.18	一水展	〃	〃	〃	10.2
岡田又三郎油絵展	〃	〃	〃	〃	一陽展	〃	〃	〃	〃
桑原正昭展	〃	〃	〃	4.25	ムンク展	(H)	〃	〃	10.9
磯山会、彩春会展	〃	〃	〃	〃	東洋陶磁展	〃	〃	〃	10.16
国画会展	田近 憲三	〃	〃	5.1	独立展	田近 憲三	〃	〃	10.21
春陽展	〃	〃	〃	5.4	二紀展、自由美術展	〃	〃	〃	10.23
東光展	〃	〃	〃	〃	琳派展	(田)	〃	〃	11.6
山本丘人展	(田)	〃	〃	5.7	日展の日本画	田近 憲三	〃	〃	11.13
日本画院展	田近 憲三	〃	〃	5.15	日展の洋画	〃	〃	〃	11.16
朔日展	〃	〃	〃	〃	日展—彫刻・工芸	〃	〃	〃	11.17
児玉希望回顧展	(H)	〃	〃	5.16	岸田劉生展	(H)	〃	〃	11.20
臥龍会	〃	〃	〃	〃	熊谷守一展	〃	〃	〃	〃
大沢昌助展	〃	〃	〃	5.22	幻想の日本画展	〃	〃	〃	11.26
スペイン美術展	(田)	〃	〃	6.5	川崎鈴彦展	〃	〃	〃	〃
女流画家協会展	田近 憲三	〃	〃	6.11	中村岳陵展	〃	〃	〃	〃
太平洋展	〃	〃	〃	〃	榎戸庄衛展	〃	〃	〃	12.4
新興展	〃	〃	〃	6.12	ファッツィーニ展	〃	〃	〃	〃
主体美術展	〃	〃	〃	〃	世界の歌麿展	高橋誠一郎	毎日夕刊	〃	1.6
ベン・シャーン作品展	(H)	〃	〃	6.13	サントリー'70展	〃	〃	〃	1.7
風俗屏風名品展	〃	〃	〃	6.19	第10回東京ビエンナーレの構想について	中原 佑介	〃	〃	1.8
大内田茂土近作展	〃	〃	〃	6.26	向井潤吉・西山英雄小品展	〃	〃	〃	1.12
浜田信展	〃	〃	〃	〃	ポール・ギアマン展	〃	〃	〃	1.13
大歳克衛展	〃	〃	〃	〃	歌麿展を見る	河北 倫明	〃	〃	1.16
松樹路人・桑原臣守二人展	〃	〃	〃	〃	入樹会展	〃	〃	〃	1.20
佐藤大寛量彩画展	〃	〃	〃	〃	新春の日本画「富士」	〃	〃	〃	1.26
創英会展	〃	〃	〃	6.27	ピカソ近作版画展	小倉 忠夫	〃	〃	3.10
清流会展	〃	〃	〃	〃	ビュッフェ回顧展	安井 収蔵	〃	〃	3.11
品山記念館春季展	〃	〃	〃	7.3	「印象派以後」展	〃	〃	〃	3.12
池部鈞遺作展	〃	〃	〃	7.10	現代ソビエト絵画展	〃	〃	〃	3.16
太陽展	〃	〃	〃	〃	白井晟一「顧之書」展	〃	〃	〃	〃
野口弥太郎回顧展	(田)	〃	〃	7.17	南大路一展	〃	〃	〃	〃
小林古徑展	〃	〃	〃	7.24	森田曠平展	〃	〃	〃	〃
本郷新彫刻展	(H)	〃	〃	8.1	「墨の美」展	〃	〃	〃	3.18
永瀬義郎自選展	〃	〃	〃	〃	川島理一郎展	〃	〃	〃	3.21
近代日本名画特別展	(H)	〃	〃	8.7	大沢鉦一郎展	〃	〃	〃	〃
藤井達吉回顧展	(田)	〃	〃	8.14	坂本繁二郎追悼展	〃	〃	〃	3.30
竹谷富士雄展	(H)	〃	〃	8.21					

荻須高德展		毎日夕刊	4.2	「こころと表現」展	加藤 貞雄	毎日夕刊	5.30
清水登之遺作展		〃	4.7	弥生会展		〃	6.3
永井一正展		〃	4.9	未更会展		〃	〃
マンガ展		〃	4.10	日本の美展		〃	〃
日春展		〃	4.14	日本国際美術展を終えて	中原 佑介	〃	6.4
春の公募展から(光風会、創元会、モダン・アート協会)		〃	4.15	未更会展、日本の美展、加藤東一展、堀文子作品展		〃	〃
ワイズパッシュ展		〃	〃	サロシ・ド・ジュアン展		〃	6.5
コンセプト・アート展		〃	〃	下村良之介展		〃	〃
富本憲吉遺作展	加藤 貞雄	〃	4.20	女流画家協会展、太平洋展		〃	6.9
桑原正昭展		〃	4.24	佐藤重土展		〃	6.11
瀬間高角展		〃	4.28	風俗屏風名作展		〃	6.15
最近の女流展(朝倉響子ほか)		〃	〃	マールボロー・コレクション展		〃	6.16
東京ビエンナーレ	安井 収蔵	毎日	4.30	日本考古展		〃	6.18
河野芳夫展		毎日夕刊	〃	山下忠平展		〃	6.19
春陽会		〃	5.6	岩田正己展		〃	〃
国画会		〃	〃	伊藤朝彦展		〃	〃
シャルパンティエ・コレクション展		〃	5.7	大蔵克衛展		〃	〃
日本国際美術展から1~8	安井 収蔵	〃	5.8~19	ベン・シャーン展		〃	6.22
東京ビエンナーレ	中原 佑介	毎日	5.9	佐藤大寛個展		〃	6.26
兄玉希望回顧展		毎日夕刊	5.13	近代絵画の名匠をしのぶ展		〃	6.29
If you please 展		〃	5.16	熊谷守一展		〃	7.1
ビクトル・バザレリ展		〃	5.19	片谷美香展		〃	7.3
広田多津展		〃	1.27	太陽展		〃	7.7
岡本半三展		〃	〃	森田沙伊展		〃	7.9
渡辺三子男展		〃	1.28	大森運夫展		〃	〃
田中佐一郎展		〃	1.30	池部鈞遺作展		〃	7.10
ルドン石版画展		〃	2.3	アメリカの現代グラフィック展		〃	7.13
昭和会展		〃	2.5	大沢昌助展		〃	7.14
ピカソ近作版画展	安井 収蔵	〃	2.6	ジャパン・アート・フェスティバル国内展		〃	〃
ヒューマン・ドキュメンツ'70展		〃	2.10	池部鈞遺作展		〃	7.16
ベネチア展		毎日	2.13	白描画展		〃	7.15
全日本水墨画協会展		毎日夕刊	2.15	小林古徑—その人と芸術展		〃	7.14
スイス・西ドイツの日本古美術展覧会	西川杏太郎	〃	2.17	ミッシェル・スクリア展		〃	7.20
奥田元宋展		〃	〃	十河会		〃	7.22
淀井敏夫展		〃	2.27	野口弥太郎回顧展	安井 収蔵	〃	7.23
大島哲以展		〃	3.4	ベニス・ビエンナーレ展	井関 正昭	〃	7.29
牧 進展		〃	〃	ジャンセン、ミノー2人展		〃	8.4
マルケ展		〃	3.5	山下菊二展		〃	8.6
安井賞展		〃	3.9	現代の宗教美術展		〃	8.10
チェコ版画展		〃	5.21	「1970年8月・現代美術の一断面」展	安井 収蔵	〃	8.12
島田章三展		〃	〃	藤井達吉展に寄せて	山口 光春	〃	8.14
日本国際美術展	宗 左近	〃	5.22				
田中阿喜良展		〃	5.26				
中山忠彦展		〃	〃				

定期刊行物所載文献

竹谷富士雄展	毎日夕刊	8.19	熊谷守一展	加藤 貞雄	毎日夕刊	11.13
上村淳展	〃	8.26	現代インド絵画展	〃	〃	11.16
バーバラ・ヘップワース展	〃	8.31	岸田劉生展	〃	〃	11.18
竹久夢二展	〃	9.2	小出楢重展	〃	〃	11.19
二科展	安井 收藏	〃	日展展望	加藤 貞雄	〃	11.20
院展	〃	〃	幻想の日本画展	〃	〃	11.23
行動展	〃	〃	「モナリザ100の微笑」展	〃	〃	11.25
バビロンの画家たち・ミレー展	〃	9.9	「雪の絵」展	〃	〃	11.28
ニルヴァーナ展	〃	9.10	ファッツイーニ作品展	〃	〃	11.30
安田靉彦展	〃	9.11	アボン・カンパーナ展	〃	〃	12.1
児島善三郎展	〃	〃	日動展	〃	〃	12.5
18、19世紀アメリカ・ナイーブ絵画展	〃	9.14	吉原英雄展	〃	〃	12.7
竹久夢二展	〃	〃	里見勝蔵自選展	〃	〃	〃
石本正展	〃	9.16	塚原哲夫展	〃	〃	12.15
ヨゼフ・パカラル展	〃	9.17	カール・アンドレ展	〃	〃	12.19
春信展に寄せて	西山松之助	〃	世界の歌麿展	(丈)	読売夕刊	1.8
モンパルナス・ピバン展	〃	9.21	向井、西山小品展	〃	〃	1.10
長谷川昇展	〃	9.24	八樹会展	〃	〃	〃
鱸利彦展	〃	9.25	宮島明美個展	〃	〃	1.21
朝比奈文雄展	〃	〃	島田章三滞欧作品展	〃	〃	〃
国領経雄展	〃	〃	渡辺三子男個展	〃	〃	1.22
ルチオ・フォンタナ展	田近 憲三	〃	岡本半三展	〃	〃	1.29
新制作協会展、一水会展、一陽展	安井 收藏	〃	中野淳展	〃	〃	〃
シャトー展	〃	10.2	ルドン石版画展	〃	〃	2.4
エドワード・ムンク展	〃	10.5	簗牛人展	河北 倫明	〃	2.5
特別展「日本の四季」	〃	10.7	ヨハネス・アイト展	(丈)	〃	2.7
現代彫刻展	〃	10.12	彩畑会展	〃	〃	〃
現代イギリス美術展	安井 收藏	10.13	ベネチア展	〃	〃	2.12
近世日本の美術貿易展	〃	10.14	簗牛人展	〃	〃	2.14
日仏画壇展	〃	10.15	奥田元宋展	〃	〃	2.19
国際形象展	〃	10.16	ルネ・マグリット石版画展	〃	〃	2.20
白根光夫滞欧作品展	〃	10.20	中川一政近作展	〃	〃	2.25
独立、二紀、自由美術展	加藤 貞雄	10.23	ピカソ近作版画展	〃	〃	2.28
東洋陶磁展	小山富士夫	10.28	「印象派以後」展	〃	〃	3.7
カリエール展	〃	10.29	南大路一個展	〃	〃	3.11
三輪晃勢スケッチ展	〃	10.30	安井賞展	〃	〃	3.12
橘天敬障壁画展	〃	11.2	白井晟一書展	〃	〃	〃
宇治山哲平展	加藤 貞雄	11.4	森田壱平個展	〃	〃	3.14
正倉院展を見て	陳 舜臣	11.5	万国博美術展覧会	中山 公男	〃	3.15
今井政之作陶展	〃	11.6	牧進作品展	(丈)	〃	〃
三人展(麻生三郎、糸園和三郎、野見山曉治)	〃	11.7	大島哲以小品展	〃	〃	〃
福沢一郎展	〃	11.9	現代ソビエト絵画展	〃	〃	3.20
英国風景画展	加藤 貞雄	11.11	川島理一郎展	〃	〃	3.21
		11.12	坂本繁二郎追悼展	〃	〃	3.27
			沢田哲郎個展	〃	〃	3.28
			斎藤真一「越後磐女日記」展	〃	〃	4.1
			永井一正個展	〃	〃	4.3

アンリ・マンギャン展	(丈)	読売夕刊	4.8	石井藤雲人新南宗画展	(丈)	読売夕刊	7.27
浦上玉堂名作展	〃	〃	4.10	山内豊喜個展	〃	〃	〃
ラウシェンバーク「ダンテの地獄篇」展	〃	〃	〃	野口弥太郎展	〃	〃	7.30
現代工芸展	中村伝三郎	〃	4.13	本郷新彫刻展	〃	〃	8.1
岡田又三郎油絵展	(丈)	〃	4.17	小林古径展	〃	〃	8.6
彩虹会展	〃	〃	〃	津田青楓書画展	〃	〃	8.7
現代工芸展	〃	〃	4.18	萩谷巖展	〃	〃	〃
清水登之展	〃	〃	4.25	国際青年美術家展受賞者近作展	〃	〃	8.11
北川民次展	〃	〃	〃	「1970年8月・現代美術の一断面」展	〃	〃	〃
春陽展	三木 多聞	〃	4.30	マベ・マナブ個展	〃	〃	8.14
国展	〃	〃	〃	現代の宗教美術展	〃	〃	8.17
東光展	〃	〃	〃	ミレー展から1~8	〃	〃	8.17~26
日彫展	〃	〃	〃	竹谷富士雄展	(丈)	〃	8.21
朝倉響子展	(丈)	〃	5.1	中村哲個展	〃	〃	9.5
ジャン・ミッシェル・フォロン展	〃	〃	5.4	春信展	(丈)	〃	9.7
山本丘人画展	〃	〃	5.7	竹久夢二展	〃	〃	〃
シャルパンティエ・コレクション展	〃	〃	5.9	院展	陰里 鉄郎	〃	9.10
児玉希望回顧展	〃	〃	5.13	二科展	〃	〃	〃
バザレリ展	〃	〃	5.16	行動展	〃	〃	〃
大沢昌助展	〃	〃	〃	安田靉彦展	(丈)	〃	9.11
日本国際美術展	〃	〃	5.20	福田豊四郎展	〃	〃	〃
スペイン美術展	〃	〃	5.21	児島善三郎展	〃	〃	〃
田中阿喜良展	〃	〃	5.22	岩田正己、寺島紫明、牛島憲之三人展	〃	〃	9.11
相原求一郎展	〃	〃	〃	18、19世紀アメリカ・ナイーブ絵画展	〃	〃	9.17
ブランデー・コレクション展	谷川 徹三	〃	5.27	生きつづけるモンパルナス展	〃	〃	9.22
ペン・シャーン展	(丈)	〃	5.28	保田春彦展	〃	〃	9.29
サロン・ド・ジュアン展	〃	〃	6.6	瓦林睦生展	〃	〃	〃
吹田文明個展	(丈)	〃	6.9	国領経郎展	〃	〃	〃
栃木順子版画展	〃	〃	〃	「19世紀絵画を求めて」展	〃	〃	10.2
江戸の浮世とすがた・風俗屏風名品展	〃	〃	6.13	「フランス美術の栄光」展	〃	〃	〃
門脇俊一作品展	〃	〃	〃	「ハンガリー現代絵画とフランドルアート」展	〃	〃	〃
佐藤大寛墨彩画展	〃	〃	6.20	マレクブール歌子展	〃	〃	〃
蔵本利彦個展	(丈)	〃	6.23	滝口修造、ミロ詩画集「手づくり謠」展	〃	〃	10.3
松樹路人・桑原巨守二人展	〃	〃	6.25	版画グランプリ展	〃	〃	〃
近代絵画の名匠を偲ぶ記念展	(丈)	〃	7.2	シャトー展	〃	〃	10.3
清宮質文展	〃	〃	〃	上田臥牛展	〃	〃	〃
太陽展	〃	〃	7.7	一水会展	〃	〃	〃
薔美会展	〃	〃	〃	新制作展	〃	〃	〃
森田沙伊近作小品展	(丈)	〃	7.10	一陽会展	〃	〃	〃
庫田發展	〃	〃	〃	「大ヴェルサイユ展」によせて	田中 英道	〃	10.5
池部鈞遺作展	〃	〃	7.16	現代イギリス美術展	(丈)	〃	10.10
山本豊市作品展	〃	〃	〃	ムンク展	〃	〃	〃
片谷美香個展	〃	〃	7.17				
ジャパン・アート・フェスティヴァル	〃	〃	7.23				

定期刊行物所載文献

「大ヴェルサイユ展」を見て	宗 左近	読売夕刊	10.12	石黒宗磨回顧展	鈴木 健二	京都	4.10
モネ名作展	(丈)	〃	10.15	新制作日本画部春季展	(竜平)	〃	4.17
小出楯重展	〃	〃	10.24	関西二科展	〃	〃	〃
英国風景画展	〃	〃	10.30	東丘社展	〃	〃	5.8
現代美術フェスティバル・1970		〃	10.31	光風会展	(R)	〃	5.15
福沢一郎個展	(丈)	〃	11.5	パンリアル春季展	(藤)	〃	〃
「善本百選」展		〃	〃	光風会展	(竜平)	京都夕刊	5.20
アポロ展	(丈)	〃	11.7	朴土グループ	(F)	京 都	5.22
三人展(麻生三郎、糸園和三郎、野見山暁治)	(丈)	〃	11.17	甲辰会展	〃	〃	〃
藤沢典明個展	〃	〃	〃	全関西行動美術展	(藤)	〃	〃
ピカソ・女性たち展	瀬木 慎一	〃	11.10	富本憲吉遺作展	〃	〃	5.29
フックス展	(丈)	〃	11.14	高田力蔵展	〃	〃	〃
日展を見て	〃	〃	11.17	モダン・アート協会展	〃	〃	〃
現代の女性美展	〃	〃	11.21	京都美術工芸展	(竜平)	〃	6.5
幻想の日本画展	〃	〃	〃	日本国際美術展	(藤)	〃	6.12
小林和作小品展	〃	〃	〃	現代工芸京都会展	〃	〃	〃
サム・フランシス展	〃	〃	〃	西田秀雄回顧展	(藤)	〃	6.19
現代インド絵画展	〃	〃	〃	植松奎二展	〃	〃	〃
「雪の絵」展	〃	〃	11.28	晨島社展	(竜平)	〃	〃
岸田劉生展	〃	〃	〃	静塔社展	〃	〃	〃
ファッツィーニ展	〃	〃	11.30	柳原睦夫個展	(藤)	〃	6.26
外国人の見た日本人展		〃	12.1	衣笠会日本画展	(竜)	〃	〃
INF展	(丈)	〃	12.5	国際陶芸ビエンナーレ展	(F)	〃	7.3
清水光子展	〃	〃	〃	主体美術展	(竜)	〃	7.17
上原卓展	〃	〃	〃	南蛮文化とキリシタン遺宝展	(南)	〃	7.20
日動展	〃	〃	〃	南蛮美術について	吉村 元雄	〃	7.24
石黒直子作品展	〃	〃	12.9	天地創造展	山崎覚太郎 住谷 悦治 湯川 スミ ブルーノ・ ピステンベ ルク	〃	〃
塚原哲夫個展	〃	〃	12.12			〃	8.4
里見勝蔵自選展	〃	〃	〃			〃	〃
奥村土牛「天皇の世紀」原画展	〃	〃	12.16	関西国画会展	(藤)	〃	8.7
永田力個展	〃	〃	12.18	自由美術1970年展	〃	〃	〃
エルク・シュマイサー銅版画展	〃	〃	12.21	ニルヴァーナ展	〃	〃	8.14
東京国際版画ビエンナーレ展を見て	三木 多聞	〃	12.22	チャーチル会作品展	(竜)	〃	8.21
京都国立博物館新収品展		京都夕刊	1.17	ベン・シャーン展	(藤)	〃	〃
新発見の円空展	(Q)	〃	1.20	木村晃雄展	〃	〃	8.28
〃	(竜)	〃	1.27	奥村厚一展	〃	〃	〃
日本国際美術展		京 都	2.13	現代日本版画展	〃	〃	〃
牧人社展	(竜平)	〃	2.20	「竹内栖鳳とその後の展開」展	〃	〃	〃
日本伝統工芸展	(藤)	〃	〃	「現代の陶芸・ヨーロッパと日本」展	〃	〃	9.4
毎日選抜美術展	〃	〃	2.27	「竹内栖鳳とその後の展開」展	(竜平)	〃	9.11
「東洋の染織」展		〃	3.6	陶版画展	(藤)	〃	〃
京都アンデパンダン		〃	〃	木村光佑展	〃	〃	〃
女流陶芸公募展	(藤)	〃	4.2	浜田清展	〃	〃	〃
南画院展	(竜平)	〃	〃	シェル美術賞展	(竜平)	京都夕刊	9.18

榊原始更遺作展	(竜平)	京 都	9.25
新象展	(F)	〃	〃
南林社展		〃	〃
奥井章夫展	(藤)	〃	9.25
大橋孝子展	〃	〃	〃
寺本喜代子展	〃	〃	〃
新匠会展	〃	〃	10.9
リンデ・パーペル展	(F)	〃	〃
古津三男展	〃	〃	〃
伊東一信展	〃	〃	〃
菅井滋展	〃	〃	〃
新制作協会関西在住作家展	(竜平)	〃	10.16
酒見恒平障壁画展	(R)	〃	〃
野村耕展	(藤)	〃	〃
戸谷誠展	〃	〃	〃
要樹平展	〃	〃	〃
ミア・ペリヴォラス展	〃	〃	〃
「京の古瓦」特別展		京都夕刊	10.17
伊谷賢蔵遺作展	山田 竜平	京 都	10.23
行動展	(藤)	〃	〃
榊原紫峰展	〃	〃	〃
畠中光享展	〃	〃	〃
林剛展	〃	〃	〃
岸田紘司展	〃	〃	〃
広重明展	〃	〃	〃
小川建展	〃	〃	〃
パーバラ・ヘップワース展	(竜平)	〃	10.30
パンリアル展	(藤)	〃	〃
関雪素描名作展と 思い出	山田 竜平	〃	11.6
新制作日本画部京都 研究会展	(竜)	〃	〃
エルク・シュマイサー展	(藤)	〃	〃
本野東一展	〃	〃	〃
水城赤人展	〃	〃	〃
勝田哲展	(竜)	〃	〃
梅本アキラ遺作展	〃	〃	11.9
浮世絵名作展	高橋誠一郎	〃	11.10
現代版画・東と西	(藤)	〃	11.13
新制作日本画展	(竜平)	〃	〃
ゼロの会展	(F)	〃	11.27
濤展	〃	〃	〃
二科展	(竜)	京都夕刊	〃
独立展	〃	〃	〃
自由美術展	(藤)	京 都	〃
二紀展	(竜平)	〃	〃
浅野竹二展	(藤)	〃	〃
鍋島紀雄展	〃	〃	〃
二科展	(竜)	〃	12.4

素版展	(F)	京 都	12.4
若林智久展	(藤)	〃	〃
林潤一展	〃	〃	〃
鈴木慶則展	〃	〃	〃
滝本清次展	〃	〃	〃
独立展	(竜平)	〃	12.11
小田部正邦展	(藤)	〃	〃
岡崎紀子展	〃	〃	〃
森田秀展	〃	〃	〃
上原卓個展	(竜平)	〃	12.18
ルイス・オテロ展	(藤)	〃	〃
岡崎忠雄展	〃	〃	〃
上野富二郎展	〃	〃	〃
日展京都展を見て	山田 竜平	〃	12.25

展覧会批評(雑誌)

中村正義展	小林 盛	ア ー ト	18-1
第37回独立展	三宅正太郎	〃	〃
棟方志功断章一版芸 業40年記念障壁画 展を見て	〃	〃	〃
改組第1回日展	〃	〃	〃
日 展	矢野 文夫	〃	〃
改組第1回日展の 日本画	山田 竜平	〃	〃
日展の工芸美術	〃	〃	〃
川島理一郎の世界	三宅正太郎	〃	18-2
児玉希望回顧展	柳 亮	〃	〃
山本丘人画展	水上 杏平	〃	〃
奥田元宋展	田近 憲三	〃	〃
小松均素描展を見る	尾上 豊穂	〃	〃
「熊野」の画家・橋本 春光一第4回大阪高 島屋展に寄する	猿 仙	〃	〃
渡辺玉花展	寿岳 文章	〃	〃
フォロンのデザイン 〈鑑賞席〉	勝部 篤子	朝日ジャ ーナル	1.4
高知県立郷土文化会 館〈展〉	神代雄一郎	〃	1.25
ルドン「聖アントワ ーヌの誘惑」〈展〉	渡辺 一民	〃	2.22
坂本繁二郎追悼展 〈展〉	陰里 鉄郎	〃	3.1
国際ジュウリー・ア ート展〈展〉	江口 週	〃	3.15
日本版画協会展 〈展〉	小川 正隆	〃	5.10
スペイン美術展 〈展〉	なだいなだ	〃	5.24
第10回日本国際美術 展〈展〉	岡田 隆彦	〃	6.7
横尾忠則全集展 〈展〉	針生 一郎	〃	6.14
ベン・シャーン展 〈展〉	石垣 綾子	〃	6.28

定期刊行物所載文献

ケーテ・コルヴィッ ツ展<シ>	坂崎 乙郎	朝日ジャーナル	7.5	塚原琢哉展、川口精 六展、岡田節子展	坂崎 乙郎	S	D	71
千里モニュメント 展<シ>	乾 由明	シ	7.12	現代美術の動向展よ り	岡田 隆彦	シ	シ	
バーバラ・ヘップワ ース展<シ>	穴沢 一夫	シ	7.26	現代美術の一断面展	藤枝 晃雄	シ		72
橋口五葉展に寄す	高橋誠一郎	浮世絵芸 術	23	熊本正義個展	有馬 宏明	シ		73
日本の遠近—田中君 子個展、平井一男個 展、日本の遠近展	坂崎 乙郎	S	D	滝口・ミロ「手づく り」展	大島 辰雄	シ	シ	
村上華岳展	岡田 隆彦	シ	シ	石本正個展と浅野節 子個展	坂崎 乙郎	シ	シ	
現代イギリス版画展	有馬 宏明	シ	シ	現代イギリス美術展 と英国風景画展	有馬 宏明	シ	シ	
松村勝男個展	野口 寿郎	シ	シ	今日の作家 '70 年展	シ	シ		74
現代彫刻の三人展 (G・リッキー、M・ ビル、流政之)	小川 正隆	シ	シ	美術季評	野村 太郎	季刊芸術		14
滝川鯉吉のキチガイ 機械展	高橋 睦郎	シ	シ	美術季評	中原 佑介	季刊版画		15
志水晴児展	有馬 宏明	シ	64	版画展評				6
李禹煥個展から	ジョセフ・ ラブ	シ	65	(東京)島洲一、清 水洋子、横尾忠則、 木村光佑、吉原英 雄、加藤清美、松 田政志、野間伝治、 山村昌明各個展、 中林忠良・竹田和 子二人展、第14回 CWAJ 版画展	岡田 隆彦			
ピカソ近作版画展	有馬 宏明	シ	66	(関西)木村光佑、 長谷田三保子、奈 須豊、黒崎彰、西 真、林菊、織田繁、 金相游、吉原英雄、 小口益一各個展、 エッチャーの会 展、ムハ版画展、 京都版画家集団展	乾 由明			
三輪竜作の「愛液展」	高橋 睦夫	シ	シ	ピカソ近作銅版画を 見て	吉原 英雄	シ	シ	
白井晟一「願之書展」	海上 雅臣	シ	67	パリ青年ビエンナー レ展と「版画」	東野 芳明	シ	シ	
エクスパンデッド・ アート・フェスティ バル	ヨシダ・ヨ シエ	シ	シ	版画展評		シ		8
富本憲吉遺作展から 二つの個展—藪野健 個展と空田たけを個 展	海上 雅臣	シ	68	(東京)「日本版画 協会」展、「モダン アート協会」展、 「春陽会」展、「国 画会」展、魚住五 百譽、駒井哲郎、 岡本省吾、小林ド ンゲ、宮下登喜雄、 深沢幸雄、野村博、 高橋省三、吉岡弘 昭、永井一正、富 田文雄、金子英彦、 飯塚八郎、鈴鹿芳 康、船坂芳助、脇 田愛二郎、吉田勝 彦、後藤真知子、 木村光佑、池田満 寿夫各個展	岡田 隆彦			
春の野外彫刻展と現 代美術野外フェスティ バル	有馬 宏明	シ	シ	(関西)具体美術版 画八人展、大阪の 全版画、早川良雄、 船井裕、池田満寿 夫、久保田和子、 吉田美弥、相馬美 保各個展	高橋 亨			
第10回日本国際美術 展		シ	69	美術史家による第38 回日本版画協会展評	杉山 二郎	シ	シ	
時間の奪回	中原 佑介							
現代美術勧進帳	大島 辰雄							
足音を失う	草森 紳一							
展示空間と展示空 間	藤枝 晃雄							
物質・作家・空間 —についての感想	森永 純							
灘波淳郎展、小寺明 子展、奥村光正展	坂崎 乙郎	シ	シ					
黒田辰秋展	海上 雅臣	シ	シ					
シチズン・アートク ロック展	中原 佑介	シ	70					
アップル・イン・ス ペースの「鉄の部屋」 展	ジョセフ・ ラブ、沢有 馬宏明	シ	シ					
金森馨演劇空間展 「勧進帳」	市川 雅	シ	71					
第5回ジャパン・ア ート・フェスティバ ルより	藤枝 晃雄	シ	シ					
山本美智代印刷画展 より	S. T.	シ	シ					

版画展評

(東京)黒崎彰、清宮質文、日和崎尊夫、小作青史、森慶文、若江漢字、馬場橋男、サイトウ良、福井良之助、田中進、吹田文明、齋藤寿一、原健、佐藤亜土、萩原光之、片谷美香、鶴谷登、荒井久栄、由木礼、松本受各個展、堀博・河内成幸二人展、川口裕弘・小島日南恵・坂元広範・杉山みち代・長谷川真紀男展	岡田 隆彦	季刊版画	9
(関西)清宮質文、井上篤、小作青史、下村宏、坪内政彦、木村光佑各個展、大阪版画集団展	乾 由明		
<特集>国際版画展の動向			
第2回バリ国際版画ビエンナーレ展	ミッシェル・グージュン、小倉忠夫訳		
第2回フィレンツェ国際版画ビエンナーレ展	井関 正昭		
世界の国際版画展	小倉 忠夫		
激変する毎日国際美術展<フットライト>	三木 多聞	芸術新潮	242
「ピカソ近作版画展」をみて<ス>	西脇順三郎		243
「天台の秘宝展」「三井寺秘宝展」を見て<ス>	高橋 徹		244
スペイン美術展	堀米 庸三		246
東京ビエンナーレを問う	大岡 信		247
ポーランドが開いた宮脇愛子展<フットライト>	中原 佑介		249
ギャラリー・パイロット	針生 一郎		
第1回ローザンヌ展に参加して	山本孝(談)		
浅野竹二版画展<個展評>	亀田 正雄	芸術生活	245
鴨居玲、井上長三郎、水田力<ス>	三好豊一郎		246
尾崎愛明、豊島弘尚<ス>	田中 修		247
李禹煥<ス>	岡田 隆彦		248
国松明日香・斎藤浩二・川村千秋三人展<ス>	藤枝 晃雄		249
斎藤真一展	森川紘一郎		250
泉茂個展<個展評>	高橋 享		
木村賢太郎個展<ス>	木岡 正義		251

10回日本国際美術展	宗 左近	芸術生活	251
岩崎巴人大作展<ス>	三好豊一郎		253
現代の宗教美術展			254
<Pick up>			
ニルヴァーナ展<個展評>	乾 由明		
金森馨演劇空間展	宗 左近		
田中孝道個展<個展評>	日向あき子		255
小無田泉個展<ス>	田辺彦太郎		256
スイス・西ドイツ巡回「日本古美術展」	西川杏太郎	月刊文化財	76
東西の対話—万国博美術館の展示	岡田 譲		80
仏教美術名品展	蔵田 蔵		82
春信「没後二百年記念」特別展	小林 忠		83
東洋陶磁展	矢部 良明		85
特集「1970年8月—現代美術の一断面」展		現代の眼	189
「1970年8月—現代美術の一断面」について	三木 多聞		
現代美術雑感	乾 由明		
美の復権	瀬木 慎一		
「1970年8月—断面」展から			190
「現代イギリス美術展」を観て	江島 祐二		191
第7回東京国際版画ビエンナーレ展について	藤井 久栄		193
展覧会評		三 彩	253
麻田鷹司、杉本健吉、鈴木信太郎、中村正義、加藤登美子、小林栗居人、加藤東一・広瀬功二人展、十一会、森会	松原 叔		
鈴木信太郎、二元展	田近 憲三		
原口典之展	平井 亮一		
(京阪の美術)奥井章夫、亀月明、沢宏毅、富樫実、中野光雄、山崎修	田中日佐夫		
展覧会評			254
吉田善彦、川崎鈴彦・高木義夫二人展、荒土会、芝英会、白寿会、無窮会、川崎小虎、大本美術展	松原 叔		
岩瀬静、嶋屋征一、前川佳子、須藤健望月淑子	平井 亮一		
田村一男	田近 憲三		
(京阪の美術)エルク・ジュマイサー、濤展	田中日佐夫		

定期刊行物所載文献

展覧会評	三	彩	255
牧人社、五山会、 春鶯会、京風会、広 田多津、島田章三	松原	叔	
近藤吾郎、女流画 家合同展、下川都 一郎	田近	憲三	
梅沢健・松本晴夫、 '69展、李禹煥	平井	亮一	
(京阪の美術)大垣 禎造、新道弘之、 あすなろ展	田中日佐夫		
展覧会評	ス		257
十実会、伊川鷹治、 牧進	松原	叔	
清水晃、伊東良、 ムサシノ選抜展、 井上紀樹・渡瀬克 次郎二人展	平井	亮一	
(京阪の美術)下倉 祺世子、安田謙	田中日佐夫		
奥田元宋展を観て	中村	漢男	ス
展覧会評	ス		258
光風会、日本画五 人展、碧空展、潮 会、毛利武彦、下 保昭	松原	叔	
大町紘、日本実在 派、関四郎五郎	田近	憲三	
第13回安井曾太郎 賞展	山岸	信郎	
平野京子、木村林 吉、内田信、中村 憲之、西八郎・大 野修・市川秀光三 人展	平井	亮一	
(京阪の美術)コピ エルスキー・ブル ス・ペーター版画 展、フレスコ画研 究グループ南欧素 描展、麻田鷹司・ 山岸純・児玉幸雄・ 芝田米三四人展	田中日佐夫		
展覧会評	ス		259
日春展、日本表現 派、磯山会、岡田 又三郎、伊勢正義、 鱸利彦、安西啓明、 北川民次	松原	叔	
十二展、田栗テル、 古茂田守介	田近	憲三	
国松明日香・川村 千秋・斎藤浩二三 人展、関根民雄、 高瀬昭男、白浜信 明、森秀雄、籾木 昌弥、稲生元	平井	亮一	
(京阪の美術)西村 五雲遺作素描展、 小松均素描展、山 田彊一、京展	田中日佐夫		
ボストン美術館創立 百年記念展	堀岡	智明	ス
展覧会評	ス		260

新制作日本画春秀 展、雨晴会、青嵐 会、山本丘人、野 島青玄、松本弘二、 高田力蔵、須田寿	松原	叔	
相原求一郎、福岡 芳忠、臥竜会、確 田勝己・関口誠二 人展	田辺	憲三	
現代美術野外フ スティバル、韓国 現代作家六人展、 鶴野政・島谷晃・ 田口雅己三人展、 吉野正喜、大阪日 出男、中村敬	平井	亮一	
(京阪の美術)東丘 社、朴土グループ 展、真魚(MAO) 展、甲辰会、パン リアル春季展	田中日佐夫		
兄玉希望回顧展から	三宅正太郎	三	彩 260
兄玉希望の芸術とそ の年輪	柳	亮	ス
展覧会評	ス		261
清流会、未更会、 中央公論春季展、 暖話会、岩田正己、 大沢昌助	松原	叔	
伊藤清永、大内田 茂士、武林敬吉	田近	憲三	
高山登、梁島晃一、 稲山貴一、奥村光 正、結城栄三、山 本博、稲葉弘子、 大須賀虎光	平井	亮一	
(京阪の美術)青塔 社、晨鳥社、穂月 明	田中日佐夫		
62層京都展のことな ど	大島	辰雄	ス
第10回東京ビエン ナーレ	峯村	敏明	ス
展覧会評	ス		264
ウィリアム・ゲッ ツ・コレクション 日本展示、ボナ ール・デッサン展、 竹谷富士雄、青嶺 会、寺島繁明・岩 田正己・牛島憲之 三人展	松原	叔	
上村淳、蒼踏会、 十一会	田近	憲三	
第5回ジャパン・ アート・フェステ ィバル、菅木志雄、 吉田克朗、田畑あ き子、粕谷博、梅 木勝旦、奈良岡茂	平井	亮一	
(京阪の美術)木村 晃郎、藤本忠彦、 石原靖夫、奥村厚 一	田中日佐夫		
特集・秋の団体展Ⅰ	ス		264
院展印象	多田	信一	

二科・行動展	平井 亮一			
展覧会評				
長谷川昇、石井弥一郎	田近 憲三	三	彩	265
奈良英俊、西村誌摩子、中町薫・山地晴子作品展、佐藤信重、高橋甲、松田一蔵、塚田猛昭、依田邦子、豊島弘尚	平井 亮一			
(京阪の美術)万国博記念特別展、西山喬、由利明、矢野正治	田中日佐夫			
神戸須磨離宮野外彫刻展	峯村 敏明	シ	シ	
生きつづけているモンパルナス展をみて	桑原 住雄	シ	シ	
特集・秋の団体展Ⅱ		シ	シ	
新制作の日本画印象	多田 信一			
一水会・一陽会・新制作展評	平井 亮一			
榊原始更遺作展をみて	田中日佐夫	シ	シ	
展覧会評		シ		266
橘天敬障壁画展、穂月明、鱸利彦、矢吹恵子、渡辺玉花、奥村厚一・牧進二人展、凡々会第4回創展	松原 叔			
田中孝道、山下一郎、加賀谷武、山田展也、藤井博、吉田昌功	三宅正太郎			
(京阪の美術)伊谷賢蔵遺作展、パンリアル展、畠中光享、榊原紫峰、野村耕、広重明、永島武	平井 亮一			
特集・秋の団体展Ⅲ	田中日佐夫			
日展の日本画・洋画・彫刻	三宅正太郎			
独立・自由・二紀展	平井 亮一			
パリの美術展		シ	シ	
(1)「マチス生誕百年記念展」をみて	大島 清次			
桃山障屏画名作展	林 紀一郎	中	美	177
18世紀フランス美術展	シ	シ	シ	
展覧会月評	シ	シ	シ	
中神潔、瀬高政良、榎戸庄衛、中村民夫、勝一晃、杉全直、田中君子、中条顯、浜田信、北村脩、佐藤哲三				
展覧会月評	シ	シ		178

二元展、大調和委員展、INF3人の会、瀬下妙子、小林集居人、永田力、前川佳子、小野彦三郎、深谷徹、寺島竜一、田中実、前林章司、斎藤隆	シ	シ		179
展覧会月評				
八樹会展、白土会展、風神会展、女流秀作美術展、第22回立軌会展、パリアル二人展(不動・西井)、川崎小虎、小堀進、村土洋一、田辺竹次、平野充、刑部人	シ	シ		180
展覧会月評				
ルドン石版画集展、昭和会展、安井賞候補展、丸山妙子、大町礼	シ	シ		181
展覧会月評				
一線美術展、新世紀展、三軌会、水彩連盟展、白日展、示現会展、二元会代表作家展、北山憲二・香西逸男・高樹定雄三人展、三人展(西・市川・大野)、樋口治平、大久保実雄、近藤央、内田信	シ	シ		182
展覧会月評				
美術文化展、創元展、モダンアート展、日本版画協会展、春陽会、東光展	シ	シ		183
展覧会月評				
穹展、五月会、森秀雄、ワイズバック、古茂田守介、森本紀久子、賀川忠、松葉良、砥上賢治、奈良岡正夫、小林哲夫、榎戸真喜、香取栄次郎、秋元清弘、朔日会展、中央美術協会展				
相原求一郎、松本弘二	田近 憲三			
バーバラ・ヘップワース、伊藤清永、羽藤馬佐夫、奈良岡正夫	日野耕之祐			
中央美術協会展	中村伝三郎			
展覧会月評				184
伊藤清永、武林敬吉	田近 憲三			
エミール・アントワース・ブールデルの代表作、太陽展、森田伊沙	日野耕之祐			

定期刊行物所載文献

スペイン美術展、 ベン・シャーン展、 東京ビエンナーレ、 現展、律動展、 玉之内満雄、大内 田茂士、松樹路人・ 桑原巨守二人展	林 紀一郎			(東京) 木田金次 郎、高橋忠弥、野 見山暁治、昭和会 受賞作家展、田村 一男、此木三男、 吉川隆	三好豊一郎		
展覧会月評		中美	185	(シ) 尼野和三、 植松真治、松本タ カオ、彦坂和夫、 和田衛明、田窪恭 治、飛永頼節	嶋岡 晨		
本郷新、山本豊市、 小林古径、池部鈞	日野耕之祐			(関西) 矢柳剛、 吉原英雄、織田広 喜、木村忠太、山 口牧生、国際鉄鋼 シンポジウム	日高 てる		
山下菊二、那須日 都夫、高田正二郎、 NOBUSHI 展	林 紀一郎			下川一朗個展をみて 個展評	植村鷹千代	日本美術	64
山本豊市、庫田毅、 松永敏太郎	田近 憲三	シ	186	(東京) 寺島龍一、 矢野雅章、松本俊 郎、中川康之、杉 本賢司、大森啓介、 ポール・ギアマン	三好豊一郎	シ	シ
展覧会月評				(シ) 北村空、鶴岡 洋、日和崎尊夫、 渡辺三子男、八幡 健二	嶋岡 晨		
現代の宗教美術 展、市川正三、マ ベ・マナブ、前林 章司、今井善一 郎、安田毅彦、独 立十人の会、第1 回蒼踏会、第1回 樹展	林 紀一郎			(関西) 持田総章、 素版展、現代イ リス版画展、カリ カチュア・にんげ んポートレート展 エロス展	日高 てる		
第13回十一会、橋 尾常次・美代子展	田近 憲三			香野ルミ子・熊谷ま ち子日本画二人展 ＜すぽっと＞	大高保二郎	シ	65
院展、行動美術展、 二科展、須磨離宮 現代彫刻展、ボ ナール素描展、高 井貞二展	日野耕之祐			墨の美	小野 禮子	シ	シ
展覧会月評		シ	187	個展評		シ	シ
長谷川昇、鱸利彦	田近 憲三			(東京) 奥田元宋、 中川一政、淀井敏 夫、小玉光雄・恵 俊彦二人展	三好豊一郎		
新制作、一水会、 一陽会、ムンク展	日野耕之祐			(シ) 芝章一、ヨハ ネス・アイト、松 尾通世、金宗学、 山内秀臣、戸田正 寿、伊藤良、吉岡 幾哉・秋本隆治二 人展、栗田重雄・ 武市勝二人展	嶋岡 晨		
エルワルド・ムン ク、今村昭寛、三 上誠、星野真吾二 人展、平田勝規、 出水徹、第1回 「遙」展	林 紀一郎			(関西) 安沢阿弥、 大垣禎造、今村輝 久、寺田武弘、第 5回兵庫県青年彫 刻家県団展	日高 てる		
展覧会月評		シ	188	金守世士夫の富山個 展	三宅正太郎	シ	66
後藤和子・杉山留 美子展、熊本正 義、二元会代表作 家展、春日部たす く、知求会、郡山 三郎、抒情七人展 (和田徹ら) 瀧田依 子、瀬下妙子、野 村千春	田近 憲三			北山憲三第3回絵 画三人展から＜す ぽっと＞	大高保二郎	シ	シ
春日部たすく、野 村千春	日野耕之祐			個展評		シ	シ
小出橋重、ピカソ 版画展、テレスコ ピッチの「競馬シ リーズ展」、英国 風景画展、アポロ 展	田近 憲三			(東京) 西八郎・大 野修・市川秀光三 人展、土井俊泰、 南大路一、清水鍊 徳	三好豊一郎		
永嶋忠彦展＜すぽ っと＞	大高保二郎	日本美術	63				
第13回旺彩展	植村鷹千代	シ	シ				
個展評		シ	シ				

(シ) 脇田愛二郎、 松田襄、平野京子、 難波田竜起	嶋岡 晨			野口弥太郎展	日本美術	70
(関西) 大阪金版展、 '69 信濃橋画廊選 抜展、'70 京都ア ンデパンダン展	日高 てる			山本豊市作品展	シ	シ
シャルバンティエ・ コレクショ展<す ぽつと>	大高保二郎	日本美術	68	バーバラ・ヘッ プス、ベン・ニコ ルソン 版画展<す ぽつと>	大高保二郎	シ
スペイン美術展	(Q)	シ	シ	杉浦勝人の近作 個展評	植村鷹千代	シ
ベン・シャーン展に よせて	滝沢 泰	シ	シ	(東京) 小川哲郎、 中村一郎、松永敏 太郎、江本伸子、 清岡宏彰、市尾哲・ 管野実二人展、な かま展(藤本邦子 ほか)、たんべらめ んと展、日高和、 坂田武蔵、吉城弘、 原田史、森田睦	三好豊一郎	シ
岩崎巴人の真諦と運 命—その大作展を見 て	牧 章造	シ	シ	(シ) 鶴谷登、片谷 美香、河野興二、 水野たづ子、有馬 良作、今野照秋・ 玉野良雄・服部正 展	嶋岡 晨	シ
個展評		シ	シ	(関西) 「現代美術 の動向」展、和田 徹、河端亮治、荒 木高子、池田正三、 三津田隆子、福岡 道雄、	日高 てる	
(東京) 香月泰男、 大沢昌助、松任谷 國子、矢吹福、難 波淳郎、小寺明子、 岡弘	三好豊一郎			安田靉彦展	能 宇遠	シ
(シ) 本沢敏夫、森 本紀久子、鬼頭正 人、世利徹郎、矢 吹福、加藤以素子、 難波淳郎	嶋岡 晨			秋の公募展、1	(中)	シ
(関西) パンリアル 春季展、木村嘉子、 吉岡一、舟一朝、 船井裕、津高和一、 早川良雄・岩宮武 二三人展	日高 てる			院展・二科展・行 動展		シ
バーバラ・ヘッ プス展		シ	69	個展評		シ
佐熊桂一郎展	大高保二郎	シ	シ	(東京) 阿部合成、 大岡章夫、石井弥 一郎、西尾善積、 新田豊、黄碧月、 藤本かをり、加藤 吉正、中村哲、角 竜之介・新井秀一 郎展	三好豊一郎	
公募展から		シ	シ	(シ) 柵山竜司・村 上善男・杉村英一 展、石山駿、山本 一郎、勝岡重夫、笠 原三津子	嶋岡 晨	
旺玄展	(S)			(関西) 木村茂、久 保晃、元永定正、 木村光佑、反かぞ う展	日高 てる	
主体美術協会展、 太平洋美術展、女 流美術協会展、20 回記念新興展、第 58回日本水彩展	(O)			神戸須磨離宮公園・ 現代彫刻展	シ	シ
第一美術展	植村鷹千代			萬鉄五郎展に思う	栗木幸次郎	シ
新美術協会展	(O)	シ	シ	秋の公募展、2	(中)	シ
個展評		シ	シ	新制作展、一水会 展、一陽展、独立 展、二紀展、自由 美術展		シ
(東京) 伊藤朝彦、 大歳克衛、安藤軍 治、春日部洋、小 林武夫、垣田昭文、 横塚繁、坂元淑見、 岸きくえ、加藤正 信、根本喜美恵、 陳景容	三好豊一郎			現代作家個人展(鷹 山宇一、工藤甲人、 金守世士夫、近藤弘 明)	(P)	シ
(シ) 池下昌徳、菅 木志雄、吹田文明、 香取栄次郎、石原 百合子、松本受、 由木礼、佐藤亜土、 サイトウ良	嶋岡 晨			入島太郎展	(シ)	シ
(関西) 鄭相和、三 島喜美代、堀口力、 山本美智代	日高 てる					シ
ミレー展		シ	70			シ

個展評

日本美術 72

(東京) 杉浦勝人、
野村千春、橋本美
知子、上田臥牛、
須磨とおる、青木
以佐夫、荒平典子、
森本三郎・光子二
人展 三好豊一郎

(シ) 佐藤昌平、青
山光佑、鈴木俊行、
山田展也、田中稔
之、赤岩賢三 嶋岡 晨

(関西) 丸山石根、
儀間比呂志、斎藤
正治、杉山英行、
杉原莞爾、北田孝
之 日高 てる

特集・改組第1回日
展

美術グラ
フ 19-1

彫刻概説 菊地芳一郎
工芸概説 吉田 耕三

展覧会評

大潮会第33回展 (芳)
四象会展 シ
岡本唐貴展 シ
水島裕個展 シ
中島哲郎個展 (林)
戸津勇作個展 (織 田)
羽田重亮個展 シ
阿部ケイさんの作品 (芳)
宮崎喜三個展 (明)
二重作竜夫油絵展 シ
張替正次個展 シ
吉賀大眉の作陶 シ

展覧会評

菊地芳一郎
林 紀一郎
菊地 明子
山岸 信郎

シ 19-2

全日本水墨画協会展 (芳)
日本南画院第10回展 シ
第9回大調和展
新槐樹社展 (芳)
日本画府第17回展 シ
日本アンデパンダン
展 シ
藝会第12回展 シ
第8回珠紅会 (明)
十実会第2回展 (芳)
三多圭会 シ
牧人社展 シ
第1回赫画会展 シ
燦展 (山 岸)
深谷徹個展 (林)
前林章司個展 シ
大森啓助個展 シ
酒見恒平屏風絵展 (芳)
浦崎永錫油彩展 シ

友正光個展 (山 岸)
広田多津作品展 (明)
早坂信展 (芳)
館岡豊照個展 (山 岸)

日展 シ 19-3

日本画 菊地芳一郎
改組日展の洋画 佐波 甫
彫刻概評 菊地芳一郎
工芸概評 吉田 耕三
展覧会評 植村鷹千代
菊地芳一郎
菊地 明子
山岸 信郎

シ 19-4

第30回美術文化展

第15回新世紀展

第22回三軌展

第20回一線美術展

第29回水彩連盟展

第46回白日会

第22回示現会

第56回光風会展

モダンアート展

第29回創元展 (明)

第38回日本版画展

今年の日影展

第4回東方美術展

三仲展

蒼3会展

「告」展 (山 岸)

「証言展」と「三人
展(市川秀光他) シ

「列」展 (明)

川崎小虎水墨画展 (芳)

水田舜人<東洋の
幻想>展 シ

牧進<華の絵>展 シ

樋口治平の作品 シ

錦木昌弥展 (山 岸)

大村連個展

難波田竜起個展 (明)

田中岑個展 シ

荻野康兒個展 シ

大久保実雄個展 シ

藤浪成喜第2回個
展 シ

鈴木政治風景展 シ

淀井敏夫彫刻展 シ

スペイン美術展を見て 池辺 一郎 シ 19-5

展覧会評 菊地芳一郎 シ

春季院展 (明)

日本画院30回展 (芳)

東光会36回展 シ

国展44回展 シ

春陽会47回展	(芳)				福田新生展	(芳)			
旺玄会36回展	〃				奈良岡正夫油絵展	(明)			
第3回創作画人展	(明)				大内田茂士近作展	〃			
日本表現派展					峯岸莊一の絵				
日春展5回展の成果	(芳)				坂元淑晃個展	(明)			
第10回伝統工芸新作展	(明)				倉員日奈生遺作展	(芳)			
桂花会展	(芳)				岩田藤七個展	(明)			
二十五日会展	〃				勝尾青竜洞の陶芸				
向彫会8回展	〃				井上治男展	(芳)			
土窯グループ作陶10回展					河本五郎作陶展	(明)			
第4回春相会日本画展					藤田喬平新作展	〃			
本田たけをのコレクション	(芳)				滝川美一彫塑展	〃			
安西啓明日本画展	(明)				展覧会評	菊地芳一郎 菊地 明子	美術グラ フ	19-7	
田栗テル個展	〃				前衛美術会展	(明)			
田中義昭個展	〃				第18回平和美術展	〃			
美作七朗個展	〃				第5回秋の日府展	〃			
並木義治個展	〃				21世紀展を觀て	(堀江浩一)			
鱸利彦作品展	〃				独立十人の会	(明)			
林茂松作陶展	〃				七彩会	〃			
清水喜美個展	〃				自由美術の四人展	〃			
ベン・シャーンの芸術	吉井 忠	美術グラ フ	19-6		第12回煌土社日本画展				
充実した主体美術第6回展	佐波 甫	〃	〃		第13回女流日本画創作会	(芳)			
毎日国際展の感想	〃	〃	〃		登龍会新人展という展	〃			
第41回第一美術展	植村鷹千代	〃	〃		森田伊沙近作展	(明)			
展覧会評	植村鷹千代 菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃		比田井仁史展	〃			
太平洋会66回展	(芳)				山下菊二展	〃			
第24回女流画家展	植村鷹千代				保科米三作品展	〃			
光陽会第18回展	(芳)				林香代子個展	〃			
新興20回展	〃				西尾善積個展	〃			
第10回日展水彩作家協会展	〃				彩土会展	(芳)			
創型会19回展	〃				佐々木邦彦展	〃			
新制作日本画春季展	(明)				寺池陶舐作陶展	(明)			
新綜工芸13回展					ムンクを見て	井上長三郎	〃	19-8	
新構造展	(芳)				米寿記念安田靱彦展から	菊地芳一郎	〃	〃	
朱葉会展	〃				展覧会評	植村鷹千代 佐波 甫 菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃	
創造美術23回展	〃				第55回院展	菊地芳一郎			
第7回黒門会展	(明)				二科と行動展	植村鷹千代			
第13回明窓会展	〃				東方美術協会々員展から	(芳)			
第4回轍会展	〃				グループ萌第2回展	(明)			
浦田正夫展					四象会展	〃			
大森運夫の絵					第2回九月会	〃			
依岡慶樹展	(芳)				小林丙展	(芳)			
山下邦雄展	〃				鱸利彦展				
					篠田義一の陶展				

定期刊行物所載文献

前林章司水彩展				エドワルド・ムンク 断想	粟津 則雄	ス	333
福与悦夫個展	(尾上豊穂)			「1970年8月—現代 美術の一断面」展に ふれて	岡田 隆彦	ス	ス
本目勇市個展	(佐波 甫)			現代イギリス美術展	酒井 忠康	ス	334
永井繁男展	(芳)			神戸須磨離宮公園第 2回現代彫刻展	赤根 和生	ス	ス
佐藤亘宏個展	(明)			改組第1回・日展の 日本画	細野 正信 萌 春	ス	183
リネ展に寄せて	久富 貢	美術グラ フ	19—9	奥田元宋展所感	三宅正太郎	ス	185
上村松篁の画業五十 年展をみて	菊地芳一郎	ス	ス	下保昭個展	中村 溪男	ス	ス
長谷川昇近作展から	ス	ス	ス	児玉希望回顧展によ せて	細野 正信	ス	186
三輪晃勢のデッサン 展から	ス	ス	ス	東洋陶磁名品展	井上 昇三	ス	ス
森緑翠の近作	(芳)	ス	ス	日本現代工芸美術展 をみて	田近 憲三	ス	ス
展覧会評	佐波 甫 菊地芳一郎 菊地 明子	ス	ス	「禪林美術展」漫録	竹内 尚次	ス	189
第32回一水会展	(佐波 甫)			古徑展に因んで	佐々木直比 古	ス	190
一陽会展	ス			好花会日本画展につ いてのエチュード	倉田 公裕	ス	ス
新制作展	ス			第55回院展印象記	永井 信一	ス	191
木本晴三の風景画	(芳)			安田靉彦展に寄す	直木友次良	ス	192
田代順七の阿蘇園	ス			第34回新制作展の日 本画	細野 正信	ス	ス
出水徹個展	(明)			九月会展	田近 憲三	ス	ス
小野寺英吾油絵展	(明)			川崎小虎展	永井 信一	ス	ス
梶山良吉個展	(明)			徳力彦之助「天地創 造」展		ス	ス
第4回滝田依子油 絵個展	ス			日展の日本画	田近 憲三	ス	193
出口直日・席雄二 人展	(芳)			山口蓬春喜寿記念展 と松篁展	永井 信一	ス	ス
上条静光の木曾路 と大和路	ス			石本正の舞妓画	田中 皓一	ス	ス
丹阿弥岩吉の水墨 画	ス			「東洋陶磁展」に出品 された海外の名陶	矢部 良明	ス	194
第4回山田土筆日 本画展	(明)			第2回日展の日本画	細野 正信	ス	ス
清水六兵衛作陶展	ス			日展工芸をみて	柳橋 真	ス	ス
大樋年郎の陶芸	(明)			守谷史男作品展〈く ろにくる〉		視 る	32
中野晃嗣作陶展	(明)			エロス展〈ス〉		ス	ス
英国風景画展をみて	植村鷹千代	ス	19—10	持田總章個展〈ス〉		ス	ス
展覧会評	菊地芳一郎 菊地 明子	ス	ス	松本宏個展〈ス〉		ス	ス
第38回独立展	(菊地芳一郎)			アート・7展〈ス〉		ス	33
第34回自由美術展	ス			伴文夫個展〈ス〉		ス	ス
第24回二紀展	ス			大垣禎造版画展 〈ス〉		ス	ス
川上尉平展	(芳)			喜谷繁暉展〈ス〉		ス	ス
横尾芳月の風俗画	ス			吉原治良回顧展観と グタイ・ピナコテカ の一時閉鎖〈眼〉	鈴木 健二	ス	35
市川保道素描展	(明)			新制作日本画部春季 展に見る〈ス〉	内山 武夫	ス	36
第9回水島裕日本 画展	ス			北美とパンリアル 〈ス〉	吉岡健二郎	ス	37
第6回バリ青年ビエ ンナーレ	嘉野 ミサワ	美術手帖	322	橋本典子と柏原えつ とむの個展〈ス〉	中村 敬次	ス	38
都市空間にいだむ	志水 晴児	ス	324				
「万国博美術展」にみ る現代美術	木島 俊介	ス	328				
ロバート・モリスの 物量彫刻	近藤 竜男	ス	329				
バーバラ・ヘップ ワース—その人と作 品	穴沢 一夫	ス	331				

万国博—国際美術展 —動向展<眼>	高橋 亨 視 る	39
二つの国際陶芸展 (現代国際陶芸展、 プラハ国際陶芸展) <ミ>	村松 寛	40
展覧会をみて (現代 の陶芸展)	八木 一夫	41
「現代の陶芸」展をみ て感じたこと	辻 晋堂	42
神戸須磨離宮公園 「野外現代彫刻展」 <眼>	木村 重信	41
無題<ミ>	小倉 忠夫	42
バーバラ・ヘップ ワース展開会にあ たって	ロロ・チャ ールズ	43
フィルム造形 '70 <眼>	杉村 宏	43
書 評		
高階秀爾著「名画を 見る眼」岩波新書	梅原 猛 朝日ジャ ーナル	1.4
増田義郎著「太陽と 月の神殿」新潮社、 利根山光人著「マヤ」 暮らしの手帖社	曾野 綾子	1.11
飯島耕一著「シュル レアリスムの彼方 へ」イザラ書房	鶴岡 善久	4.12
ハンス・H・ホーフ シュテッター著種村 弘一訳「象徴主義と世紀 末芸術」美術出版社	渋谷 龍彦	5.17
辻惟雄著「奇想の系 譜」美術出版社	岡田 隆彦	5.24
A・ブルトン著生田・ 田淵共訳「アンドレ・ ブルトン集成」人文 書院	巖谷 国土	8.9
岡本太郎、泉靖一、 梅村忠夫編「世界の 仮面と神像」朝日新 聞社	山口 昌男	9.6
栗田勇監修「白井晟 一」(現代日本建築家 全集9) 三一書房	山本 太郎	9.20
仁科惇著「礫山・萩 原守衛」柳沢書苑、 林文雄著「萩原守衛」 新日本出版社	土方 定一	9.27
ルネ・ユイグ著池上 訳「イメージの力」 美術出版社	坂崎 乙郎 S D	63
滝口修造著「画家の 沈黙の部分」みすず 書房	飯島 耕一	70
栄久庵憲司著「道具 考」鹿島出版会SD 選書	草森 紳一	71
ミルチャ・エリアー デ著風間訳「聖と俗」 法政大学出版局	種村 季弘	72

坂崎乙郎著「反体制 の芸術」中央公論社 (中公新書)	高儀 進 S D	64
E・ドールス著成瀬 訳「バロック論」筑摩 書房 (筑摩叢書156)	窪田 般弥	65
サルバドール・ダリ 著飯島弘一訳「ダリとダ リ」二見書房	大島 辰雄	66
ヨシダ・ヨシエ、佐 藤真一、赤根和生、 佐田勝、匠秀夫執筆 「異端の画家たち」 造形社	桑原 住雄	65
種村季弘著「ナンセ ン詩人の肖像」竹 内書店	三木 卓	66
アンリ・フォション 著神沢、長谷川、高 田、加藤訳「ロマネ スク」鹿島出版会	高階 秀爾	66
L・ヒルベルザイマ ー著渡辺訳「都市の 本質」彰国社	中村 敏男	67
ハンス・H・ホーフ シュテッター著種村 弘一訳「象徴主義と世紀 末芸術」美術出版社	飯島 耕一	67
山田宗睦著「道の思 想史・神話」学芸書 林	神代雄一郎	67
アド・キルナー著種村 弘一訳「ブニュエル」三 一書房	大島 辰雄	68
高橋巖著「ヨーロッパ の闇と光」新潮社	坂崎 乙郎	68
ハウス・M・ウィン グラー編著パウハウ ス翻訳委員会訳「パ ウハウス」MIT、 造形社共同刊行	向井周太郎	69
日向数夫編「江戸文 学」グラフィック社	河原 淳	69
飯島耕一著「シュル レアリスムの彼方 へ」イザラ書房	三木 卓	70
辻惟雄著「奇想の系 譜」美術出版社	種村 季弘	71
ローレンス・ハルプ リン著伊藤訳「都市 環境の演出」彰国社	林 泰義	72
ソール・スタインバ ーグ著「新しい世界」 みすず書房	大島 辰雄	73
D・H・カーンワイ ラー著千足訳「キ ビスムへの道」鹿島 出版会(SD選書)	野村 太郎	74
宮川淳・他著「現代 芸術入門」弥生書房	渡辺 武信	75
坂崎乙郎著「鏡の前 の幻想」学芸書林	西沢 信彌	76

定期刊行物所載文献

トリスタン・ツェラ 著小海、鈴木訳「ダ ダ宣言」竹内書店	清水 俊彦	S D	70	隈元謙次郎著「浅井 忠」日本経済新聞社	芸術生活	253
赤瀬川原平著「オブ ジェを持った無産 者」現代思潮社	大島 辰雄	ス	71	種村季弘著「吸血鬼 幻想」薔薇十字社	中田 耕治	ス 254
ロバート・ローゼン ブラム解説 中山訳 「アングル」美術出版 社、ヴェルナー・ハ フトマン解説 大高、 宝木訳「エミール・ ノルデ」美術出版社	坂崎 乙郎	ス	ス	日向あき子「ニュー・ エロティシズム 宣 言」荒地出版社	ス	ス
吉武泰水編、伊藤誠 著「建築計画学10・ 病院」丸善、吉武泰 水著「建築計画の研 究」鹿島出版会	岡田 新一	ス	72	「日本の文様1・菊」 光琳社出版	ス	255
稲垣足穂・中村宏共 著「地をゆく飛行機 と飛行する蒸気機関 車」仮面社	三木 卓	ス	ス	「魅力ある外装の造 形」商店建築社	ス	ス
種村季弘著「吸血鬼 幻想」薔薇十字社	竹内 健	ス	ス	飯村隆彦著「芸術と 非芸術の間」	ス	256
水尾比呂志著「日本 美術史」筑摩書房	伊藤ていじ	ス	73	坂崎乙郎著「鏡の前 の幻想」学芸書林	ス	ス
ジュフリ・ケインズ 著梅津訳「ブレイク の手紙」八潮出版社	坂崎 乙郎	ス	ス	ジョン・デューイ著 「芸術論」春秋社	藤堂 弘道 三 彩	253
飯村隆彦著「芸術と 非芸術の間」三一書 房	ヨシダ・ヨ シエ	ス	ス	林屋辰三郎著「歴史・ 京都・芸能」朝日新 聞社	田中日佐夫	ス 254
バーバラ・ローズ著 桑原訳「20世紀アメ リカ美術」美術出版 社	石崎浩一郎	ス	74	坂崎坦著「十八世紀 フランス 絵画の研 究」岩波書店	高階 秀爾	ス
詩・桑原住雄、版画 木村茂「天使がうた を歌うとき」	大岡 信	季刊版画	6	河北倫明著「村上華 岳」中央公論美術出 版	原田 平作	ス 255
E・ウィント著高階 訳「芸術と狂気」岩 波書店	高橋 巖	季刊芸術	14	安東次男著「帰巢者 の芸術」読売新聞社	吉増 剛造	ス
金子良運著「仮面の 美」社会思想社	杉本 苑子	芸術生活	245	神奈川県立近代美術 館編「神奈川美術 風土記」(幕末明治初 期篇)有隣堂	宮川 寅雄	ス 257
柚木沙弥郎解説「形 染集」三一書店		ス	ス	原田実著「岡倉天心」 三彩社(東洋美術選 書)	陰里 鉄郎	ス
田中穰著「藤田嗣治」 新潮社		ス	ス	俵有作編著「日本の 風」菊華社	織田 達朗	ス 258
有島生馬著「有島生 馬選集」実川美術		ス	246	坂本勝著「佐伯祐三」 日動出版	朝日 晃	ス
安東次男著「帰巢者 の芸術」読売新聞社	中村 稔	ス	247	岩哲男著「飛鳥古京」 写真評論社	弦田平八郎	ス
ドーミエ「政治・風 俗漫画」岩崎美術社		ス	ス	辻惟雄著「奇想の系 譜」美術出版社	飯沢 匡	ス 259
辻惟雄著「奇想の系 譜」美術出版社	畑 正憲	ス	249	色川大吉編「岡倉天 心」(日本の名著第29 卷)中央公論社	酒井 忠康	ス
須山計一著「抵抗の 画家」造形社	吉井 忠	ス	250	串田孫一著「鳥賊の 夢」青娥書房	難渡田龍起	ス 260
香月泰男著「私のシ ベリア」文芸春秋社	内村 剛介	ス	252	竹内尚次編「近世の 禅林美術」(日本の美 術第47卷)至文堂	大島 辰雄	ス
安田武・多田道太郎 編「日本の美学」風 濤社		ス	ス	中村直勝著「日本想 芸史」学生社	佐々木直比 呂	ス 261
				多田智満子訳「レ ヴィ・ストロースと の対話」みすず書房	山岸 信郎	ス
				吉村貞司著「日本美 の構造」	細野 正信	ス 264
				栗津則雄著「近代芸 術の意味」未来社	吉増 剛造	ス

小林忠著「春信」三新 社	森田 曠平 三 彩	265	アントニン・レーモ ンド著「自伝アント ニン・レーモンド」 鹿島出版会	山本 学治 新 建 築	45—12
寺田透著「思想と造 形」筑摩書房、寺田 透著「芸術の理路」河 出書房新社	山岸 信郎	ス	田中穂著「藤田嗣治」 新潮社	蘆原 英了 中央公論	1
堀谷雄高著「闇の中 の黒い馬」河出書房 新社	織田 達朗	ス	横尾忠則著「一米七 〇のブルース」新 書館	松永 伍一 デザイン 批評	11
山本学治著「日本建 築の現況」彰国社	福田 晴虔 新 建 築	45—1	「寸紅集」雑感—子規 の画論その他	千島染太郎 日本美術	65
志水英樹著「効外都 市論」鹿島出版会	庄田 文夫	ス	住谷磐根著「布衣」	ス	72
L・ウィンゴ・ジュ ニア編佐々波訳編「都 市と空間」鹿島出版 会	鈴木 崇英	ス	栄久庵憲司著「道具 考」鹿島研究所出版 会	福田 繁雄 美術手帖	324
関野克著「文化財と 建築史」鹿島出版会	内藤 昌	ス	ルネ・ユイグ著池上 訳「イメージの力」美 術出版社、同著高階 ・中山訳「見えるも のとの対話」美術出 版社	坂本 満	ス
H・ヘルマン著岡沢 「未来の交通」鹿島出 版会	湯川 利和	ス	池田満寿夫著「模倣 と創造」中央公論社	安原 顕	ス
L・ヒルベルザイ マー著渡辺訳「都市 の本質」彰国社	寺門 征男	ス	瀧口修造著「画家の 沈黙の部分」みすず 書房	刀根 康尚	ス
ポール・ヘイヤー著 稲富訳「現代建築を ひらく人々1」彰国 社	三沢 浩	ス	サルバドール・ダリ 著版島訳「ダリとダ リ」二見書房	池田 龍雄	ス
矢田洋著「建築馬鹿 第1集どろぬま建築 論」鳳山社	山本 彰二	ス	高橋巖「ヨーロッパ の闇と光」新潮社	西沢 信弥	ス
ルイス・マンフォー ド著磯村、神保訳「多 層空間都市—アメリ カに見るその明暗と 未来」ぺりかん社	稲葉 武司	ス	「ビートルズ・ソ ング・イラスト集」(日 本語解説・植草、 草森、富岡、横尾)誠 文堂新光社	長 新太	ス
山本学治・稲葉武司 著「巨匠ミースの遺 産」彰国社	山口 広	ス	阪本勝著「佐伯祐三」 日動出版	陰里 鉄郎	ス
菊竹清訓著「人間の 建築」井上書院	長谷川 堯	ス	蟻二郎著「幻覚芸術」 晶文社	諏訪 優	ス
栗田勇監修「現代日 本建築家全集・白井 晟一」三一書房	佐々木隆文	ス	「オルテガ著作集3」 芸術論集、神吉訳、 白水社	野村 太郎	ス
ローレンス・ハルプ リン著伊藤訳「都市 環境の演出」彰国社	浅野弥三一	ス	エウヘーニオ・ドー ルス著「バロック論」 神吉訳(美術出版社) 同著成瀬訳(筑摩書 房)	種村 季弘	ス
藤井正一郎著「近代 建築再考」鹿島出版 会	阿部 公正	ス	「針生一郎評論6」 田畑書店	多木 浩二	ス
北原春道著「茶室の 展開図」光村推古書 院	岡田 孝男	ス	栗津則雄著「近代芸 術の意味」未来社	窪田 般弥	ス
ユルゲン・イエー ディケ著阿部訳「生 ける建築のために」 美術出版社	井上 耕一	ス	赤瀬川原平著「オブ ジェを持つた無産 者」現代思潮社	刀根 康尚	ス
上田篤・横並公雄・ 高口恭行他著「都市 の生活空間」日本放 送協会	山本 彰二	ス	バーバラ・ローズ著 桑原訳「20世紀ア メリカ美術」美術出版 社	藤枝 晃雄	ス
			滝口修造訳「画集ダ リ」河出書房	岡田 隆彦	ス
			水尾比呂志著「日本 美術史」筑摩書房	大西 廣	ス
			ギメーの「日本散歩 —東京・日光」	高橋邦太郎 萌 春	190

東洋古美術文献目録

総記

世界美術の多元性	土方 定一	仏教芸術	75
東西の美術的創造の 対置	富永 惣一	〃	〃
美の東西 49~57	原 随園	日本美術 工芸	376~384
東洋の芸術観 1~5	中村 茂夫	鯉 峨	23-6, 7, 9~11
想芸の譜 13~24	吉村 貞司	日本美術 工芸	376~387
骨董百話 13~24	小山富士夫	芸術新潮	241~252
美のふるさと 1~5	安東 次男	日本美術 工芸	381~383 385, 387
塔 1~12	梅原 猛	芸術新潮	241~252
勸進の美術	河原 由雄	日本美術 工芸	381
古美術にみる戌	岡田 譲	月刊文化 財	77
狛犬一考古随筆一	大場 磐雄	考古学ジ ャーナル	40
「犬」考古談	〃	日本歴史	260
日本美術の原初時代	源 豊宗	仏教芸術	75
日本史前文化の問題 点	平山 久夫	考古学ジ ャーナル	41
九州と大陸との文化 交流	森 克巳	仏教芸術	76
遣隋使と遣唐使	〃	東洋学術 研究	9-1
長安を中心とする東 西文化の交流	護 雅夫	〃	8-4
唐文化とイスラム文 化	前島 信次	〃	〃
正倉院とイラン文化	和田 軍一	〃	9-1
正倉院楽器と胡楽ブ ームの世界	原田 淑人	月刊文化 財	84
「白鳳・天平 芸術の 史的背景」補記	鈴木 治	仏教芸術	74
白鳳文化覚書	遠藤 元男	東洋学術 研究	9-1
キリシタンと日本文 化	海老沢有道	国際文化	188
南蛮美術	菅瀬 正	仏教芸術	75
寛永文化	中村 直勝	大手町女 子大論集	4
江戸の美意識につい ての試論	江口 正一	ミュー ジ アム	228
鎌倉路	貫 達人	月刊文化 財	85
鶴岡八幡宮と神仏分 離 2 社蔵宝物等 の移動について	三浦 勝男	三浦古文 化	7
夢窓国師の遺跡一泊 船庵の退耕庵一	高橋 恭一	〃	〃

駿豆路	長田 実	月刊文化 財	76
竜華寺調査概報	〃	金沢文庫 研究	166
信濃路	米山 一政	月刊文化 財	83
飛騨路	長倉 三朗	〃	78
能登・加賀路	下出 積与	〃	82
若狭路	武藤 正典	〃	86
湖北の美術	田中比佐夫	古 美 術	29
湖北の風土	蒲池 義秀	〃	〃
京都美の根底	奈良本辰也	芸術新潮	252
泉涌寺	竹村 俊則	仏教芸術	78
大原の寺	佐和 隆研	〃	74
東大寺二月堂の謎 (真贋75)	菅原 明朗	芸術新潮	243
法隆寺のなぞ	香取 忠彦	日本美術	66
飛鳥の遺跡と遺物	横山 浩一	月刊文化 財	87
中将姫伝説を掘る (発掘57)	田中日佐夫	芸術新潮	249
播磨路	和田 邦平	月刊文化 財	77
四国路	武田 明	〃	79
肥後・薩摩路	乙益 重隆	〃	84
老岐考史遊記 上、下	瀧川政治郎	史跡と美 術	409, 410
沖縄の歴史と文化	山里 永吉	月刊文化 財	81
沖縄の史跡	平野 邦雄	〃	〃
沖縄の埋蔵文化財	知念 勇	〃	〃
沖縄の美術工芸	大城 精徳	〃	〃
米国欧州インドの各 美術館東アジア美術 品目録	山本 智教	密教文化	92
アメリカにおける日 本美術享受の様相	衛藤 駿	芸文研究	29
ボストン美術館の日 本	堀岡 智明	芸術新潮	245
公開されたブラン デーコレクション	安藤 更生	〃	247
ブランデーコレク ション展によせて	佐藤 雅彦	陶 説	208
文化財と史跡	坂本 太郎	月刊文化 財	85
開発と文化財保護	文化庁文化 財保護部	〃	76
これからの文化財保 護	内山 正	〃	77
開発に対処した文化 財の保護方策につい て一特に遺跡等を中 心に	室屋 晃	日本歴史	265
史跡等の保護の事業 計画	中西 貞夫	〃	294

開発と文化財—史跡の保存	平野 邦雄	月刊文化財	77	仏教美術名品展	蔵田 蔵	月刊文化財	82
開発と文化財—埋蔵文化財の保護	田村 晃一	〃	79	「禅林美術展」漫録	竹内 尚次	萌 春	189
開発と文化財—大気汚染による影響	江本 義理	〃	83	〃 西域の美術	上野 照夫	仏教芸術	75
侵蝕される文化遺産		建築文化	290	〃 シルクロード	熊谷 宣夫	〃	〃
京都奈良の都市計画における歴史的地域の保存と開発に関するシンポジウムの報告と勧告				〃 シルクロードの美術(西から東へ19~28)	林 良一	萌 春	183~194
明日香周辺に見る現状				古代中東の美術	三上 次男	仏教芸術	75
保存と開発の新しい哲学と方法を求めて	桐敷真次郎			パンテアイ・スレイの遺跡	小山 清男	萌 春	188
飛鳥藤原地域の文化財の保存と活用	内山 正	月刊文化財	87	塩砂に埋もれた文明オラズム(発掘55)	香山 陽坪	芸術新潮	247
飛鳥保存問題に想ふ	保田与重郎	芸術新潮	249	インド美術の自然観	上野 照夫	美 学	83
沖縄の文化財保護行政の現状	武村 盛文	月刊文化財	81	インドの光と影	上原 和	三 彩	257
沖縄復帰のための準備体制と文化財保護行政上の問題点	石川 二郎	〃	〃	インドの仏跡に行く	平山 郁夫	〃	〃
写真測量の文化財調査への応用 2		奈良国立文化財研究所年報	1969年	石のインド 1~5	佐藤宗太郎	〃	257, 259, 261, 264, 266
ボストン美術館における「美術品の研究に対する自然科学の応用」セミナーについて	山崎 一雄	考古学雑誌	56—1	空間を充たす神々	清野 恒	みづゑ	784
法隆寺金堂壁画パネル試験報告	関野 克	保存科学	6	「母なるインド」の意匠	真鍋 俊照	〃	〃
木製品の保存処置 2	岩崎 友吉 樋口 清治	〃	〃	ガンダーラとその周辺	高田 修	仏教芸術	75
国宝東福寺三門上層内部彩色保存処置	茂木 曙	〃	〃	ガンダーラ美術の源流を掘る(発掘58)	樋口 隆康	芸術新潮	250
空気温度変化緩和材としての木材の材種による相違	登石 建三 見城 敏子	〃	〃	捻体形動物意匠について	池田 厚史	ミュージアム	231
栃木県大平町出土舟形棺中からの蘇類	江本 義数	〃	〃	スキタイ動物意匠の起源と展開—鹿意匠を中心として	山本 忠尚	古代学	17—3
釈迦像の成立と展開	高田 修	仏教芸術	75	古代東洋美術における魚文	白川 一郎	陶 説	211
釈迦伝とその造形表現	杉山 二郎	古 美術	32	いわゆるフエッテルスフェルデ出土桶の金製魚飾とその文様の意義について	相馬 隆	日本美術	69
錠光仏本生図と施无畏印の起源について—インド仏教にみられる西アジア的要素の研究 1—	〃	ミュージアム	232	Angkor 遺跡の Lintel 文様について	小山 清男	東京芸大美術学部紀要	6
敦煌の釈迦瑞像図	小野 勝年	竜谷史壇	63	ムンヤッターとサーマツラーの装飾文様	水野美奈子	芸文研究	29
飛天	小杉 一雄	萌 春	192	絵 画			
飛天之美	香取 忠彦	日本美術	68	東洋の山水と花鳥画	衛藤 駿	仏教芸術	75
密教の美術	佐和 隆研	仏教芸術	75	日本			
「別尊雑記」の成立に関する二三の問題	錦織 亮介	美 学	83	日本ナンセンス画史 1~11	草森 紳一	芸術生活	245~255
密教美術と現代—天台の秘宝展・三井寺秘宝展をみて	高橋 徹	芸術新潮	244	画史編削の場—日本絵画史の画期をめぐって—	吉田 友之	美 学	83
				日本画論年表	鶴田 武良	文 化	33—4
				古今書画鑑定秘話(真贋79)	瀬木 慎一	芸術新潮	247

定期刊行物所載文献

巨勢派系図について	笠井 昌昭	人文学	119	白描伊勢物語絵巻について	伊藤 敏子	大和文華	53
在外垂迹画紹介	浜田 隆	ミュージアム	228	梵字経刷白描伊勢物語絵巻の本文	片桐 洋一	シ	シ
来迎図の正面観から斜め構図への展開	山本 興二	仏教芸術	78	白描下絵伊勢物語梵字経の梵字について—光明真言の分析とその解説—	真鍋 俊照	シ	シ
独逸から帰ってきた禪画—石橋可宣讃の観音図—	田山 方南	古美術	29	平群天神縁起絵巻について 上	真保 亨	仏教芸術	77
普賢十羅刹女	有賀 祥隆	仏教芸術	77				
現図曼荼羅再考	石田 尚豊	シ	78	九州の縁起絵	菊竹 淳一	シ	76
勢州天然寺大順の智光曼荼羅略讃	藤堂 恭俊	元興寺仏教民俗資料研究所年報	3	聖徳太子絵伝にみえる四季絵的要素	シ	ミュージアム	226
信仰と古絵図	難波田 徹	日本美術工芸	376~387	歌仙藤原元真像	むしやこうじみのる	国 華	922
1. 信仰絵図について				三十六歌仙絵屏風	森 暢	古美術	32
2. 春日宮曼荼羅				東照宮拜殿三十六歌仙の額	青山 隆生	大日光	34
3. 石清水八幡宮曼荼羅							
4. 山王曼荼羅と山王講				立ちあがる太子—聖徳太子孝養画像の変遷—	菊竹 淳一	日本美術工芸	377
5. 那智参詣曼荼羅図の登場				三つの頼朝像	たなかしげひさ	史鑑と美術	408
6. 竹生島信仰と絵図				善恵証空画像考	花田 雄吉	東大史料編纂所報	4
7. 京の社寺参詣曼荼羅図				一隻眼の大鑑禅師像	谷口 鉄雄	仏教芸術	76
8. 多賀伊勢信仰と参詣曼荼羅図				大応国師画像	古川 智次	シ	シ
9. 観音霊場信仰と参詣曼荼羅図							
10. 清水寺参詣曼荼羅				本願寺本三十六人集表紙絵の復原と考察	江上 綏	美術研究	268
11. 社寺領勝示絵図と信仰				謄本「松風」解説	山根 有三	国 華	922
12. 信仰絵図の性格について				奈良絵本	赤井 達郎	日本美術工芸	386
				上方歌舞伎前期絵づくし放	土田 衛	愛媛大学法文学部論集	文学科篇2
神奈川県における横穴古墳の線刻壁画	赤星 直忠	考古学ジャーナル	48	本の美術史 1~6	小野 忠重	三 彩	253~255, 257, 258, 260
称名寺の壁画について	浜田 隆	三浦古文化	7	形式希求と擬古典性—宝亀院藏山水図襖絵の特異な立場について—	中島 純司	ミュージアム	226
三千院阿弥陀堂の壁画	平田 寛	仏教芸術	74	三時知恩寺の襖絵について	佐々木丞平	美 学	83
富貴寺壁画の問題	シ	シ	76				
富貴寺壁画の模写に寄せて	浜田 隆	シ	シ				
「女絵」語義考—美術史学と国文学	玉上 琢弥	大和文華	53	肥前名護屋城図屏風について	岩沢 愿彦	日本歴史	260
白描画について	真保 亨	萌 春	190	吉野花見図屏風	水尾比呂志	国 華	927
ぼくの発見した中尊寺経の一卷(発掘53)	今 東光	芸術新潮	245	中村座を画く二つの屏風絵について	楠崎 宗重	シ	922
				春園怡楽図	シ	シ	926
絵巻物	村重 寧	日本美術	68	日本版画文化史 2 ~5	杉山 二郎	季刊版画	6~9

錦絵開眼	楠崎 宗重	浮世絵芸術	26	司馬江漢の生年について	細野 正信	ミュージアム	230
柱絵	武田 恒夫	日本美術工芸	379	春重について	シ	シ	233
「双六類聚」雑考	関 忠夫	ミュージアム	230	江漢と田善について	シ	萌 春	189
幕末の横浜絵に描かれた巨船グレートイースタン	山田 迪生	海事史研究	14	司馬江漢新書簡一銅版地球全図の製作事情を語る一	片桐 一男	古美術	30
明治以前における浮世絵の海外流出	瀬木 慎一	浮世絵芸術	24	司馬江漢の「西遊旅譚」	細野 正信	日本歴史	270
俳画の世界	鈴木 進	古美術	29	司馬江漢著書挿絵本一覽		大和文華	52
絵馬	高橋 正雄	生活芸術	246	司馬江漢年譜		シ	シ
漆喰絵	シ	シ	250	吉村孝敬の雪梅竹双鳩図模絵	土居 次義	茶道雑誌	34—1
木曾路の歌麿—残存する錦絵のかずかず	北大路 健	萌 春	191	恋川好町について	調 憲助	浮世絵芸術	27
雲谷派の人と作品(補訂4)	田中 助一	国 華	923	中山高陽論	細野 正信	東京国立博物館紀要	5
雲谷等顔筆山水図屏風	水尾比呂志	シ	シ	中山高陽	シ	国 華	925
画人劉雲泉	平 春生	長崎市立博物館館報	10	高陽年譜	シ	シ	シ
四つの太公望図	土居 次義	茶道雑誌	34—2	山水図 解説	シ	シ	シ
邪霊送りの絵師金蔵	藤村欣市朗	みづゑ	789	蘭亭曲水図巻	シ	吉沢 忠	シ
前近代への嫌悪	横尾 忠則	シ	シ	墨梅図	シ	細野 正信	シ
喰いつく絵金の泥絵	浜口 富治	シ	シ	鳳凰孔雀図屏風	シ	シ	シ
応挙様式の検討—三井家蔵雪松図屏風を通して—	橋本 綾子	美 学	83	柴庵筆東坡騎驢図	中村 溪男	日本美術工芸	377
応挙筆阿弥陀三尊図	鈴木 進	古美術	31	四つの太公望図	土居 次義	茶道雑誌	34—2
野呂介石の研究	脇田秀太郎	国 華	924	渡辺始興筆駒迎図屏風	白畑 よし	古美術	31
僧鶴亭の画事	土居 次義	茶道雑誌	34—4	写楽に憑かれた男たち	堀田 佑介	芸術生活	245
世に出た崋山の画稿	西村 南岳	芸術新潮	242	榎本雄斎氏著「写楽—まぼろしの天才」について 1, 2	北小路 健	萌 春	184, 185
渡辺崋山筆雨中走馬図	吉沢 忠	国 華	927	岡本秋暉筆雌雄孔雀図 解説	河野 元昭	国 華	928
浦上玉堂	鈴木 進	古美術	30	岩佐又兵衛筆豊国祭図屏風 解説	辻 惟雄	シ	924
浦上玉堂の題詞と画題	山中 蘭径	シ	シ	岩佐勝以筆俊寛図	楠崎 宗重	シ	927
玉堂文献考・年譜		シ	シ	曾我蕭白「仙人図屏風」について	辻 惟雄	美術史	79
玉堂の絵のふるさと	山内 長三	シ	シ	四季風俗図屏風 祐信筆	楠崎 宗重	古美術	30
玉堂琴楽清鑑	岸辺 成雄	シ	シ	牧童図 赤脚子筆	中村 溪男	日本美術工芸	379
残雨半村図 玉堂筆	鈴木 進	シ	シ	雪舟—「四季山水長巻」を中心に—	金沢 弘	シ	378
浦上玉堂筆夏山静望図	シ	シ	32	柏に鳩栗に叭々鳥雪村筆	中村 溪男	古美術	29
七代目市川團十郎と芸妓たち—大版錦絵二枚続山本平吉版五渡亭国貞画—	鈴木 重三	浮世絵芸術	24	了義寺と桜井雪保 1, 2	中島 亮一	美術史	77, 78
盛花図 元賀筆	中村 溪男	日本美術工芸	384	長谷川宗圖の一画跡	土居 次義	茶道雑誌	34—6
司馬江漢の画業について	成瀬不二雄	大和文華	52	仔犬図 宗達筆	中村 溪男	古美術	29
司馬江漢小論	菅瀬 正	シ	シ	宗達下絵光悦和歌短冊	福田喜兵衛	シ	30
異端の画家・思想家司馬江漢	塚谷 晃弘	芸術生活	255	沢庵が賛をした宗達の山水	青柳 瑞穂	芸術新潮	248

定期刊行物所載文献

村瀬太乙筆山水画冊 解説	吉沢 忠 国 華	928	燕村と馬東	清水 孝之 ミュージ アム	231
対山と南部の歌人	冠 豊一 茶道雑誌	34—4	柿に小禽図 酒井抱 一筆	白畑 よし 古 美術	32
対山と雲如	〃 〃	34—6	新発見の武蔵花鳥画 二大名作について	西村 南岳 古 美術	32
対山筆の聲牙像と猿 邱像	〃 〃	34—12	狩野元信3, 4	辻 惟雄 美術研究	270, 272
洋風画家石川大浪と 江戸の蘭学界 上、 下	片桐 一男 ミュージ アム	227, 228	四つの太公望図	土居 次義 茶道雑誌	34—2
勝田竹翁筆唐獅子牡 丹図 解説	河野 元昭 国 華	924	久隅守景筆都鳥図 解説	吉沢 忠 国 華	923
竹田の船窓小戯帖	菅沼 貞三 芸文研究	29	海北友松の水墨画 1, 2	蓮実 重康 仏教芸術	74, 77
宮川長春筆読書美人 図 解説	檜崎 宗重 国 華	928	山水図屏風 友松筆	中村 溪男 古 美術	30
瀟湘八景図屏風 直 庵筆	辻 惟雄 古 美術	31	駒井美信	J・ヒリア ー 浮世絵芸 術	26
松梅に鷹図 田村直 翁筆	〃 〃	29	佐竹義躬の蘭画	武埴林太郎 ミュージ アム	231
江漢と田善について	細野 正信 萌 春	189	東照宮御本社御内陣 の絵師木村了琢につ いて	大西 芳雄 〃	237
山田道庵筆布袋図	徳永 弘道 国 華	924	深江芦舟筆墨梅図 解説	水尾比呂志 国 華	928
黄檗独立禅師交遊の 一側面	石村 喜英 仏教史研 究	4	中国・その他		
錦絵の創始と鈴木春 信	菊地 貞夫 日本美術 工芸	383	詩にみた中国絵画の 諸相 1	鶴田 武良 文 化	33—3
春信と錦絵—初版と 後版板行の変化につ いて	〃 ミュージ アム	233	明末清初の絵画 上	川原 正二 美術グラ フ	19—10
浮世絵師春信画の魅 力	〃 美術グラ フ	19—9	九州所在大陸伝来の 仏画	熊谷 宣夫 仏教芸術	76
鈴木春信の役者絵	小林 忠 ミュージ アム	233	元画白衣観音図	戸田 禎佑 国 華	922
春信の女	高橋誠一郎 浮世絵芸 術	26	敦煌本幡画仏伝図考 上	上野 アキ 美術研究	269
春信の作品に表われ た故事物語と年中行 事	山口桂三郎 〃 〃	〃 〃	敦煌藻井図案 上	カラード デザイン	16—12
春信の人形絵を見て	山田徳兵衛 〃 〃	〃 〃	祁子佳の生年	川上 涇 美術研究	269
春信くさぐさ	吉田 暎二 〃 〃	27 〃	殊賢筆の山水図につ いて	田中 一松 古 美術	29
春信の伝記を追つて	林 美一 〃 〃	〃 〃	趙雲巖筆風竹図	古原 宏伸 〃	30
春信のはいけい	渋谷 清 三 彩	264	八大山人の芸術	堂谷 憲勇 日本美術 工芸	387
春信ごろの髪形	橋本 澄子 浮世絵芸 術	26	アジャント再見	田枝 幹宏 芸術新潮	245
春信「歿後二百年記 念」特別展	小林 忠 月刊文化 財	83	アジャント壁画随想	平山 郁夫 〃 〃	〃 〃
私の春信コレクショ ン	三井 高陽 浮世絵芸 術	26	書 跡		
岡田半江筆重嶺雪図 解説	吉沢 忠 国 華	924	書の鑑賞 112~120	綾村 坦園 茶道雑誌	34—1~ 5, 7~10
広重について	高橋誠一郎 浮世絵芸 術	24	墨跡	古矢 弘 〃	34—2
広重資料：安藤家の 由緒書と親類書	山口桂三郎 〃	27	墨跡と茶道	福岡 俊翁 〃	34—1
広重の絵封筒	三井 高陽 〃 〃	〃 〃	「墨跡」如是観	神田喜一郎 淡 交	24—1
住吉広行筆春冬堂上 放鷹之図屏風下絵及 び「朝鮮信使来聘一 件書類」	加藤 秀幸 美術研究	267	日 本		
燕村の俳仙図	安東 次男 芸術新潮	252	墨美手鑑 日本一漢 字 2, 3	墨 美	198, 203

女人の書 1~8		日本美術 工芸	380~387	近衛家熙と王羲之の 帖	角井 博	ミュージ アム	237
古筆の名称と解説 33~35	西本 支星	かな研究	39~41	平復帖考 2	西川 寧	書 品	212
古筆の内容 37~40	久曾神 昇	シ	38~41	僧智元乱等造像記	伊藤 伸	シ	209
翻刻「古筆切名物」	武田 則夫	ミュージ アム	236	慈香窟	西川 寧	シ	209
名筆の切斷	山本 信吉	古文書学 研究	4	温泉銘を鑑る	宇野 雪村	シ	シ
古筆の表装史	前田多美子	ミュージ アム	236	欧陽詢史事帖	伏見 冲敬	シ	211
冊子本の装潢様式 1, 2	春名 好重	かな研究	38, 39	欧陽詢千字文	仲 卿	シ	シ
				趙模行書千字文	伏見 冲敬	シ	210
				宋高宗の真草千字文	西川 寧	シ	208
				宋高宗と称する行書 千字文	シ	シ	210
				董其昌行草二種	伏見 冲敬	シ	207
片仮名の起源と発達	中田 祝夫	東洋学術 研究	9-2	樓蘭・敦煌の加點本	石塚 晴通	墨 美	201
平城宮木簡と正倉院 文書	狩野 久	日本美術 工芸	376	チベットの写經	ケツン・サ ボン述 森岡 康編	東洋文庫 書 報	1
太宰府発見の木簡	横田 義章 亀井 明德	考古学雜 誌	55-4	文房清玩史考	中田勇次郎	大手前女 子大論集	4
最澄・空海交友考一 とくに風信帖と久隔 帖をめぐって	小野 勝年	龍谷大学 論集	394				
世尊寺書流考	田中 塊堂	かな研究	38~41	彫 刻			
伝藤原公任筆十五番 歌合	久曾神 昇	シ	40	日 本			
元暦校本万葉集の古 筆切群	古谷 稔	ミュージ アム	236	天平塑像の科学的研 究—塑像の構造と塑 土の性質	小口 八郎 沢田 正昭	東京芸術 大学美術 学部紀要	6
春日懷紙	永島福太郎	墨 美	197	奈良時代の塑像技法 下(造像技法考2)	辻本 千也	仏教芸術	74
春日懷紙の位置	田山 方南	シ	シ	奈良時代の乾漆技法 (シ3)	シ	シ	78
伝兼好筆に関する書 誌的考察—伝兼好筆 古書古筆切目録1—	小松 操	金沢文庫 研究	170	銀鑑の材質と組織	新山 栄	東京芸術 大学美術 学部紀要	6
誓願寺の孟蘭盆一品 経縁起	裏辻 憲道	仏教芸術	76	仏像修理の今昔	西村 公朝	月刊文化 財	78
禪の書—夢窓疏石の 墨跡から—	木下 政雄	日本美術 工芸	385	仏像の写真測量につ いて	長谷川 誠	仏教芸術	74
後崇光院宸筆宝藏絵 詞	石塚 一雄	書陵部紀 要	21				
青蓮院藏「夜鶴庭訓 抄」の読み方	田中 塊堂	かな研究	41	仏師研究小史1~12	佐藤 昭夫	国立博物 館ニュー ス	272~283
伝光悦筆語本と觀世 黒雪	伊藤 敏子	国 華	922	仏工のらくがき	猪川 和子	日本美術 工芸	379
近衛家熙と王羲之の 帖	角井 博	ミュージ アム	237	運慶と東国一下向非 下向の問題	三山 進	跡見学園 女子大学 紀要	3
池大雅書唐詩帖		墨 美	204	大和川流域の仏師快 慶作彫	太田 古朴	史迹と美 術	409
大雅飲中八仙歌卷一 書を中心として	森田 子龍	シ	205	仏師湛慶について	麻木 修平	シ	404
大雅飲中八仙歌卷	西村 南岳	シ	シ	九州所在の康俊・康 成在銘仏像について	八尋 和泉	仏教芸術	76
円空の書の背景	棚橋 一見	シ	202				
良寛一本田家蔵1—		シ	206				
印人余延年 2	中西 慶爾	書 品	206	会津の仏像	佐藤 昭夫	ミュージ アム	230
中国・その他				三浦市の仏像彫刻	上杉 孝良	三浦古文 化	7
光和三公山碑	伏見 冲敬	シ	シ				
漢校官碑	シ	シ	212				

定期刊行物所載文献

静岡県の彫刻	鷺塚 泰光	月刊文化財	86	石山寺本尊観音菩薩像	猪川 和子	美術研究	272
徳川時代大仏殿諸仏像の造頭 下	堀池 春峰	大和文化研究	139	十一面観音立像(山形県宝積院蔵)	倉田 文作	仏教芸術	77
九州所在の康俊・康成在銘仏像について	八尋 和泉	仏教芸術	76	十一面観音立像(福岡県長谷寺蔵)	八尋 和泉	ス	76
飛鳥初期の彫刻—飛鳥仏と朝鮮三国仏	久野 建	月刊文化財	87	截金文様地蔵菩薩立像二軀	久野 建	古美術	30
鎌倉彫刻における「宋風」について	清水 善三	南都仏教	25	美濃の白山高賀山の虚空蔵菩薩像	倉田 文作	ミュージアム	229
仏像	香取 忠彦	日本美術	65	観世音寺馬頭観音像と真木大堂大威徳明王像	猪川 和子	仏教芸術	76
仏像と装飾性の美	中野 忠明	史迹と美術	405	造仏記—高野山金剛峯寺金堂金剛薩埵像	菅原 安男	東京芸術大学美術学部紀要	6
銅造阿彌陀如来座像	上原 昭一	古美術	31	執金剛神像考	杉山 二郎	仏教芸術	74
東関紀行の鎌倉「大仏木像」記の否定	たなかしげひさ	金沢文庫研究	167	峰定寺蔵金剛力士像について	赤松 俊秀	史迹と美術	404
法隆寺金堂本尊について	小川 伸之	史学	43-(1・2)	峰定寺諸像の系譜—長寛元年造立仁王像の銘文を中心にして	中野 玄三	国華	926
法隆寺金堂釈迦三尊像に関する二三の疑問	石川満洲江	美学	83	称名寺仁王像の胎内銘について	前田 元重	金沢文庫研究	171
清涼寺釈迦檀像様説	たなかしげひさ	仏教芸術	74	押出仏	香取 忠彦	日本美術	71
宝冠釈迦如来像考—円覚寺仏殿本尊を中心に	三山 進	国華	927	箱根本地仏懸仏について	久野 健	史迹と美術	405
永遠の秘仏善光寺如来(真臘82)		芸術新潮	250	三つの頼朝像	たなかしげひさ	史迹と美術	408
西日本における善光寺式三尊像を中心として	川勝政太郎	史迹と美術	407	仏通禅師坐像(愛媛県保国寺蔵)	田中 義恭	仏教芸術	78
疑問の神護寺薬師像	中野 忠明	ス	410	舞楽面の地方分布とその変遷について	田辺三郎助	三浦古文化	8
余慶寺木彫薬師如来坐像私考	斎藤 孝	岡山大学法文学部学術紀要	30	追難面	上原 昭一	古美術	30
如来立像 福岡県宇美八幡宮蔵	八尋 和泉	仏教芸術	76	面作者の神意	中村 直勝	日本美術工芸	379
東大寺大仏の永祿再興について	松山 鉄夫	美術史	79	近江観音正寺の石窟仏	川勝政太郎	史迹と美術	405
東大寺大仏の鑄造関係年表考	香取 忠彦	ミュージアム	229	寂照院の版本と石仏	ス	ス	410
東大寺大仏鑄造及び補鑄に関する二三の問題点	前田 泰次	美学	83	奈良の石彫新資料と概要 1~3	太田 古朴	ス	404, 406, 407
東大寺大仏の鑄造及び補修に関する技術的研究 3	前田 泰次 西松山 鉄夫 戸津圭之介 平川 晋吾	東京芸術大学美術学部紀要	6	新発見の白豪寺石彫	ス	ス	402
東大寺大仏蓮弁の「万勝院」銘について	松山 鉄夫	南都仏教	25	大和郡山発見の頭塔石仏	清水 俊明	ス	403
東大寺大仏蓮弁の吉川宗栄銘について	前田 泰次 松山 鉄夫	国華	928	大阪府下の十三仏資料一例	天岸 正男	ス	ス
百済観音—その様式の飛鳥後期的性格について	町田 甲一	ス	923	柏原・八尾両市の石仏新資料	奥村 邦道	ス	406
岡寺考—特に本尊について—	田村 吉永	大和文化研究	142	鸕殿石仏群	木下 之治	日本美術工芸	381
園城寺金堂本尊の一試考	宇野 茂樹	史迹と美術	403	豊後の磨崖仏をめぐる諸問題	中野 幡能	日本歴史	266
				異色の仏足跡	森 貞雄	大和文化研究	142

中国・その他

思惟の菩薩	松原 三郎	古美術	29
金銅半跏思惟像(韓国国立博物館蔵)	〃	仏教芸術	75
中国初期金銅仏の一考察—特に新資料の二体を中心として—	〃	美術研究	267
天王像—竜門石窟將來	〃	古美術	29
インド彫刻の魅力	高田 修	仏教芸術	74
カシュミール・スワート・カプルの坐仏小銅像	水野 清一	〃	78

建築・庭園・石造芸術

日本

「墨壺」の名称について	中村 雄三	日本歴史	269
塔の斗拱について1	浜島 正士	日本建築学会論文報告	172
沖縄の建造物	空 正夫	月刊文化財	81
修理竣工の奥宮拝殿	河井 正春	大日光	34
陽明門案内 2	矢島 清之	〃	〃
陽明門の彩色	吉原 昭夫	〃	35
唐門と透塀	大河 直躬	〃	35
初期伽藍配置の問題その後	村田 治郎	史迹と美術	408
推古32年紀の寺46所ありを疑う	たなかしげひさ	聖徳太子研究	5
10世紀の平安京内外の諸寺	〃	日本歴史	267
皇田抄録の道長の4国諸寺巡礼記	〃	史迹と美術	406
国分尼寺の性格	斎藤 忠	仏教史研究	4
史跡の毛越寺	板橋 源	古美術	31
関東古代寺院について	鶴岡 静夫	史学雑誌	79—4
常陸国分尼寺跡の発掘調査をめぐって	高杉洋二郎 三輪 嘉六	月刊文化財	86
上総国分尼寺址の調査	滝口 宏	考古学ジャーナル	49
建長寺伽藍考—山門の場合	三浦 勝男	金沢文庫研究	174
鎌倉に於ける宋風伽藍の一型—一徳園寺仏殿(現薬師堂)について	大森 順雄	鎌倉	19
六浦嶺松寺をめぐって	熊原 政男	金沢文庫研究紀要	7
篠尾の心礎	野村 英一	若越郷土研究	15—1
別当大師堂の棟札	景山 春樹	史迹と美術	407

八世紀中葉寺院造営労働力の一考察—造石山寺所甲賀山作所

中世城郭伽藍“山科本願寺”—その歴史考古学考察—	岡藤 良敬	史 洵	102
石山本願寺	井口 尚輔	日本歴史	265
峰定寺の建築	宮崎 円遵	泊 園	9
東大寺二月堂参籠所湯屋及び仏餉屋の建築実測報告	伊藤 延男	国 華	926
二月堂炎上と文書・聖教の出現	東京芸術大学建築科	東京芸術大学紀要	6
俊乗房重源の東大寺再建について	堀池 春峰	書陵部紀要	22
江戸時代における東大寺大仏殿の再興について	西田 円我	仏教大学研究紀要	54
葉師寺の最近の発掘調査	平岡 定海	南都仏教	24
唐招提寺講堂地下調査概要	杉山 信三 松下 正義 阿部 義平	仏教芸術	74
長弓寺の旧三重塔	奈良文化財保存事務所	月刊文化財	79
高野山鎌倉期建築遺構私論—金剛三昧院多宝塔・経蔵・金剛峯寺不動堂—	津田 誠	史跡と美術	409
泉州久米多寺について	山本 栄吾	密教文化	90
浄土寺阿弥陀堂	納富 常天	金沢文庫研究紀要	7
九州の中世仏教建築	伊原 恵司	月刊文化財	84
観世音寺資財帳と観世音伽藍	工藤 圭章	仏教芸術	76
宮殿(宮殿と寺院遺跡1)	竹内 理三	〃	〃
都城と地方官衙(〃2)	坪井 清足 沢村 仁	〃	77
多賀城の調査	〃	〃	78
昭和43年度平城宮発掘調査概報	岡田 茂弘	月刊文化財	83
平城宮跡の近況	横山 浩一	奈良国立文化財研究所年報	1969年
平城宮の世界	町田 章	日本歴史	260
平城宮の建築	宮沢 智士	日本美術工芸	376
用材乾燥問題からみた長岡宮の造営	小林 清	史 林	53—4
ある堂宮大工の遺産(発掘54)	岸 哲男	芸術新潮	246
平安京三条西殿跡の調査	伊藤 玄三 白石 太一 近藤 喬一	考古学ジャーナル	41
民家の指定と保存	工藤 圭章	月刊文化財	84

胡桃館埋没建物の復原		奈良国立文化財研究所年報	1969年	近江の二、三の石塔	佐野知三郎	〃	407
入口部構造のわかる加曾利B式期住居址	安孫子昭二	考古学ジャーナル	50	大徳寺三門の五輪塔地輪	川勝政太郎	〃	〃
東京都中田遺跡の復原住居 1, 2	渡辺 保忠	〃	42, 44	高野山に所在する五輪塔の概要	愛甲 昇寛	密教文化	92
福井県民家調査概要		奈良国立文化財研究所年報	1969年	万治二年崇源院殿石造六角宝塔—紀伊高野山金石遺記 8—	天岸 正男	史迹と美術	406
今井町民家調査概要		〃	〃	但丹地方の中心飾付格狭間をもつ宝篋印塔	川勝政太郎	〃	〃
茶匠と建築—茶苑の創造・結び—	中村 昌生	日本美術工芸	383	総社市皇ノ墓礎塔	〃	〃	408
織部好みの茶室について 上、下—二・三の寸法書にみる作例	〃	茶道雑誌	34—2, 4	宮崎県の題目板碑	久保 常晴	立正大学人文科学研究年報	8
遠州の茶室と茶立所	〃	〃	34—1	手水鉢通説 7~10	川勝政太郎	茶道雑誌	34—1, 4, 8, 10
遠州伏見の四畳台目について	〃	〃	34—5	石灯籠よもやま話	土井 実	日本美術工芸	387
太郎庵の一遺構について	〃	〃	34—9	岡山における石造扁額二面	斉藤 孝	史迹と美術	408
奈良の茶室	〃	大和文化研究	143	長国寺の鬼面付き棟石	赤松 秀雄	〃	〃
八女市の組立舞台群に就いて	太田 静六	日本建築学会論文報告	174	益田石船補考	西谷 真治	〃	401
葡萄唐草紋軒丸平瓦の研究	近江 昌司	考古学雑誌	55—4	古代巨石文化の一遺跡	吉原 博見	国学院雑誌	71—2
駿豆古瓦系譜にみる一考察	三輪 嘉六	〃	〃	養老七年在銘阿波石井の中王子神社の御神体	田岡 香逸	大和文化研究	140
河内通法寺出土宝篋紋軒丸瓦の研究	近江 昌司	古代学	17—1	中国・その他			
庭園の滝	佐々木利三	日本美術工芸	382	朴容填著「百済瓦当に関する研究」1~3	西谷 正訳 栗原和彦	考古学ジャーナル	48, 50, 51
庭園の飛石・敷石・軒打	〃	〃	386	規矩考—「周礼考工記」よりの考察—続	高田 克巳	大手前女子大論集	4
鎌倉瑞泉寺の庭園の謎(発掘 56)	久恒 秀治	芸術新潮	248	図説インド都市建築史 1~3	飯塚 キヨ	S. D.	64~66
大心院庭園と照福寺庭園	中根 金作	茶道雑誌	34—10	工 芸			
高架道路の建設と臨川寺庭園遺跡の保存	吉川 需	月刊文化財	82	古燈器の美	香取 忠彦	日本美術	70
中世における石塔造立階級の研究	川勝政太郎	大手前女子大論集	4	茶道具	浜本 宗俊	淡 交	24—1~12
展開初期青石塔婆の頭部形態について	京田 良志	史迹と美術	401	中興名物について 1, 2	砂 少石	茶道雑誌	34—3, 4
早期宝篋印塔考 1, 2	田岡 香逸	〃	405, 409	陶 磁 工			
特殊な格狭間	〃	〃	402	ヨーロッパにある東洋陶磁	ジョン・エアーズ	ミュージアム	235
葉山・逗子地区の庚申塔—賢表—三浦古文化第6号補遺—	藤井 慶治	三浦古文化	8	「世界一」に食傷する—東洋陶磁展をみて—	青柳 瑞穂	芸術新潮	251
三浦半島の庚申塔—西海岸地帯—	服部 清道	〃	〃	東洋陶磁展(座談会)	谷川 徹三 小山富士夫 三上 次男 林屋 晴三 磯野 風船子	陶 説	213
駿河附近の五輪・宝篋印混合式石塔について	川勝政太郎	史迹と美術	402				

東洋陶磁展寸感	井上 昇三	陶 説	213	読古窯巡礼 8阿波の大谷焼 9吉備古窯 10萩と姫谷	村上 正名	陶 説	202~204
東洋陶磁展	小山富士夫	シ	シ	読々古窯巡礼 1山陰の古窯 2高知能茶山窯 3肥前の窯業 4安芸の古窯	シ	シ	208, 210~212
東洋陶磁展をみて	杉浦 澄子	シ	シ	奈良・平安・鎌倉・室町の陶磁	檜崎 彰一	ミュージアム	235
東洋陶磁展をみて	直木友次良	シ	シ	桃山の茶陶	林屋 晴三	シ	シ
名品との邂逅	広田不孤斎	シ	シ	キリシタン茶碗考上、下	竹村 覚	淡 交	24-11, 12
東洋陶磁展を見て	細川 護貞	シ	シ	江戸時代陶芸の流れ	中川 千咲	ミュージアム	235
東博の東洋陶磁展を見て	山上 鎮夫	シ	シ	土佐市寺山出土の壺	岡本けんじ	陶 説	210
東洋陶磁展に出品された海外の名陶	矢部 良明	萌 春	194	埼玉県草山窯跡の調査	坂詰 秀一	考古学ジャーナル	49
安宅コレクションを見て	井上 昇三	陶 説	207	景行天皇陵出土の須恵器	石田 茂輔	書陵部紀要	22
安宅コレクションを観て	杉浦 澄子	シ	シ	大阪府富田林市竜泉出土の蔵骨器について	中村 浩	考古学雑誌	55-3
朝鮮陶磁の人間性—安宅コレクションを観て	三上 次男	シ	シ	南島の須恵器	佐藤 伸二	東洋文化	(48・49)
安宅コレクション東洋陶磁名品展	井上 昇三	萌 春	186	秋草文壺(発掘49)	清水 潤三	芸術新潮	241
私のあつめたやきもの展	黒田 領治	陶 説	212	秋田県脇本出土の施釉器について	小野 正人	陶 説	206
茶碗変遷資料	林屋 晴三	東京国立博物館紀要	5	後三年・金沢欄	シ	シ	212
続茶碗抄 37~43	加藤義一郎	日本美術工芸	376~382	脱藩者と棟梁	近藤 侃一	シ	210
練上手の技法について	高田 直彦	陶 説	212	武州飯能焼考	益井 邦夫	国学院雑誌	71-12
日本	香取 忠彦	日本美術	72	今戸焼考	シ	シ	71-3
日本陶磁の美	水尾比呂志	日本美術工芸	376~387	日本の家紋と古九谷	山下 朔郎	陶 説	205
やきものの美 1縄文 2弥生と土師 3須恵 4三彩 5瀬戸 6常滑と越前 7丹波 8備前と信楽 9美濃 10唐津 11伊万里 12九谷	永竹 威	月刊文化財	76	四月号の「日本の家紋と古九谷」に関して	片倉 二郎	シ	211
伝統の陶芸	南 邦雄	シ	79	加賀銘の古九谷	土岡秀太郎	日本美術工芸	386
1.唐津・上野・黒牟田の諸窯	河野 良輔	シ	80	柿右衛門・古九谷随想	磯野風船子	陶 説	210
2.染付けと赤絵の故里有田	桂 又三郎	シ	82	化学的に見た古九谷と古伊万里	向井 繁正	シ	203
3.筑前の窯場 日田の皿山	吉田 耕三	シ	83	能登の旅と喜多家の庭焼	岡田 宗淑	シ	202
4.高麗伝陶技の周辺	小山富士夫	シ	84	尾林古窯址(長野)発掘見学記	木下平八郎	日本美術工芸	377
5.萩焼	高橋 勇	シ	85	志野撫角大鉢	黒田 領治	古 美 術	29
6.備前焼	平野 敏三	シ	86	狛犬像二軀	海棠 静男	シ	30
7.佐渡における無名異焼とその周辺	内藤 隆三	シ	87	土符—もう一つの伊賀焼	菊山 重文	陶 説	210
8.四国のやきもの	シ	シ	シ	土符の出土地に就て	十河 泰隆	シ	212
9.九谷焼	シ	シ	シ	初期信楽壺の一作例	杉本 拙次	シ	210
10.常滑・信楽・伊賀焼	シ	シ	シ	湖東焼	石丸 正運	古 美 術	29
11.瀬戸焼	シ	シ	シ	高原焼茶碗(五郎七焼)	杉本 捷雄	陶 説	207
	シ	シ	シ	仁清鉄線文小鉢	満岡 忠成	古 美 術	29

定期刊行物所載文献

乾山の直指庵独照参 禅について—新資料 と郡波古峰に關連し て	大槻 幹郎	仏教芸術	77	中国の彩陶と銅器	樋口 隆康	仏教芸術	75
五弁のあじさいと乾 山の皿	中村万次郎	陶 説	210	中国の灰釉陶	メアリ・ト レギア	ミュージ アム	234
染代々展点描	小田 栄一	〃	208	唐三彩とイスラム陶 器	三上 次男	東洋学術 研究	8—4
黒楽茶碗 銘楽天 本阿弥光悦作	林屋 晴三	古美術	32	隋唐の陶磁	マドレーヌ ・ダヴィッ ド	ミュージ アム	234
須磨焼について	青木 重雄	日本美術 工芸	379	宋代陶磁の変遷	長谷部楽爾	〃	〃
古備前名品展レポ ート	小田 栄一	陶 説	204	元明の陶磁	マーガレッ ト・メドレ ー	〃	〃
大永年銘古備前算木 花入	桂 又三郎	〃	〃	青花竜文壺	長谷部楽爾	〃	231
古備前瓢徳利	林屋 晴三	古美術	29	赤絵と中国民族の好 み	佐藤 雅彦	陶 説	213
姫谷一姫谷焼窯跡発 掘調査報告	姫谷焼調査 団	陶 説	206	彩絵鐘	黒田 辰男	〃	207
尾戸焼	山本 貞彦	〃	211	清朝陶磁の面白さ美 しさ—南天子画廊の 特別展に因んで	広田不孤齋	〃	202
正伯と尾戸の系譜 下	丸山 和雄	〃	202	五彩花鳥文胡芦瓶 万曆銘	長谷部楽爾	古美術	31
長崎県下県郡厳原町 地域の白土ならびに 陶石産床	矢嶋 澄策 堤 貞夫 須崎 祐吉	早大教育 学部学術 紀要	19	南蛮・島物 1~10 (古陶みちるべ)	岡田 宗叡	陶 説	202~208 210~212
亀山焼文献考 2	越中 哲也	長崎市立 博物館報	10	ペルシヤ陶器につい て	市川 清	古美術	31
再び珍の山窯という ものについて	岡田 宗叡	陶 説	204	唐三彩とイスラム陶 器	三上 次男	東洋学術 研究	8—4
絵唐津筒向付	中里太郎右 衛門	古美術	30	金 工			
化学的に見た古丸谷 と古伊万里	向井 繁正	陶 説	203	銅鐸	香取 忠彦	日本美術	64
柿右衛門・古丸谷随 想	磯野風船子	〃	210	倣製銅鐸の銘范につ いて	三木 文雄	ミュージ アム	230
その後の「色鍋島と 松ヶ谷」	今泉 元佑	〃	205	平形銅剣と銅鐸の関 係について	近藤 喬一	古代学	17—3
延岡内山焼(小峰焼) の研究	柴田 五橋 小田 省三	〃	203	「韓国」京畿道竜仁郡 出土の銅剣銘范	西谷 正	考古学ジ ャーナル	41
延福蓬葉山焼研究	小田 省三	〃	205	福岡県沖ノ島発見の 金銅製竜頭	沖ノ島祭祀 遺跡調査団	考古学雑 誌	56—1
古薩摩茶碗	満岡 忠成	古美術	30	古代帯金具考	町田 章	〃	〃
中国・その他				宇治市二子山南墳出 土の短甲と挂甲	中村 徹也	〃	55—4
南海紀行 上、下— インドネシアの島々 をめぐって—	藪山 康彦	陶 説	202, 203	横短形式の短甲と付 属小札について	野上 丈助	〃	56—2
高麗の秘色	井垣 春雄	〃	213	三角縁神獣鏡の同范 関係	西田 守夫	ミュージ アム	232
高麗青磁象嵌牡丹文 丸壺—安宅コレクシ ョン展ノート	長谷部楽爾	〃	207	隅田八幡蔵画像鏡考	駒井 和愛	東方学	40
安宅コレクシジョンの 高麗白磁陰刻文瓶	小山富士夫	〃	〃	前橋市天神山古墳の 出土鏡	尾崎喜佐雄	考古学雑 誌	55—3
久田井戸	満岡 忠成	茶道雑誌	34—7	五島若松二宮岩穴発 見の報寶鏡について	田中 重雄	史迹と美 術	403
広州の窠—李朝の白 磁窠をたづねて—	三上 次男	日本美術 工芸	385	広瀬都賀編「技桑紀 年銘鏡図説」以後発 見の紀年銘鏡 2	中野 政樹	ミュージ アム	229
李朝の小品	森 政三	陶 説	210	梵鐘	香取 忠彦	日本美術	63
森氏の李朝水滴コレ クション	岡田 宗叡	〃	206				
李朝黒釉徳利	安東 次男	日本美術 工芸	382				
● 故宮博物院の一日	村山 武	陶 説	211				

訪鐘閑談	熊谷幸次郎	日本歴史	261	わが郷土が誇る刀剣王国「長船」について—併せて備前新々刀工達を語る 1~3	小西 昭光	〃	161~163
山口県深龍寺の梵鐘と古版本	坪井 良坪	史迹と美術	407	長船鍛冶受領について	三浦 正雄	〃	163
九州所在の朝鮮鐘	〃	仏教芸術	76	草壁の青江刀工遺跡	山部 健二	〃	159
金銅小幡 解説	中野 政樹	国 華	928	青江鍛冶の居住地について	〃	〃	167
鎌倉妙本寺の雲版	安藤 孝一	史迹と美術	402	続左行秀の新研究 1~5	橋田 倉欣	〃	159~163
金山寺香炉	石田 茂作	古 美術	30	左安吉に就て	池辺 善盛	〃	163
銭弘俣八万四千塔考	岡崎 譲治	仏教芸術	76	肥前国住武蔵大塚藤原忠広寛永元年八月吉日此忠広理忠明寿弟子：刀の考察 続	畑島 庄宗	〃	157
茨城の甲冑師明珍派義通一族と早乙女派について 上、下	長谷川 武	刀剣美術	157, 158	肥前刀あとがき一傍系について—	片岡 銀作	〃	156
常州府中住義通作銘の兜と早乙女派の始祖について 1, 2	〃	〃	164, 165	豊後刀工の再研究 21~23	久野 繁樹	〃	159, 161, 164
義通は早乙女派の始祖である	〃	〃	166	「利休刀掛」について	小山 金波	〃	160
長曾弥利光のこと	小笠原信夫	〃	159	三余不空 1~5	若山 泡沫	〃	163~167
長曾弥利光の鎖鎌	〃	〃	161	中国の彩陶と銅器	樋口 隆康	仏教芸術	75
近世の鋳物師と真継家	中川 弘泰	日本歴史	266	中国殷時代の鼎	林 巳奈夫	古 美術	29
水戸金工赤城軒の名代の銘振花押等について	長谷川 武	刀剣美術	161	殷中期に由来する鬼神	〃	東方学報 京都41	
町彫金工百人の切銘 4, 5, 追加	若山 泡沫	〃	156, 157, 161	バルテイア期における馬の造形表現—ギラン州出土の馬形裝飾化粧棒について	深井 晋司	東洋文化研究所記要	50
浜野保随について	高橋たけし	〃	160	漆 工			
会津における雪下鍛冶—天文二十年の政次作透し文釣灯籠—	池辺 均	〃	166	漆の固化と湿度の関係	見城 敏子	保存科学	6
後藤顯乗銘の香合	本阿弥光博	〃	162	平安時代漆芸資料 4	中里 寿克	〃	〃
赤坂鐔について	三玉 浩正	〃	164	宝篋印塔舍利厨子	石川 立田	史迹と美術	401
鐔・小道具画題事典 59~70	沼田 鎌次	〃	156~167	片輪車螺鈿手箱	荒川 浩和	日本美術工芸	383
鯨鱗と安正	松本 正利	〃	156	梅月蒔絵手箱	〃	〃	330
わん公ものがたり	益本 芦月	〃	〃	蒔絵螺鈿蒸籠について	新村 撰吉	古 美術	30
日本刀の美と歴史	末永 雅雄	日本美術工芸	380	高台寺蒔絵	岡本 務	日本美術	64
日本刀の謎	吉田 光邦	〃	〃	若越の轆轤師	杉本 寿	若越郷土研究	15—5
金錯銘直刀身	末永 雅雄	考古学雑誌	56—1	舍利容器（ギメ美術館蔵）解説	岡崎 譲治	仏教芸術	75
波平と正倉院の刀剣	本間 薫山	刀剣美術	163	染 織 工			
徳川五代將軍綱吉と刀剣 上、下、続	辻田 吉堯	〃	159, 160, 162	東西染織文様の流れ 1~3	西村 兵部	カラーデザイン	16—2, 3, 5
武州下原山本与五郎康重の存在	佐藤 寒山	〃	158				
「伊勢の刀工」補遺	矢ヶ瀬清一	〃	167				
堀川国広の交り銘脇指	佐藤 寒山	〃	159				
南紀重国についての一考察 3	中島新一郎	〃	156				
播磨物の研究 7, 7続, 8	小山 金波	〃	156, 157, 164				

定期刊行物所載文献

縞文様について—染織工芸における	元井 能	茶道雑誌	34—11	縄文時代における埋 壙風習	渡辺 誠	考古学ジ ャーナル	40
国宝重文指定の染織 品調査録 2	毛利 登	東京芸術 大学美術 学部紀要	6	礼文島神崎ウエナイ ボ道跡調査概要	松野 正彦 佐野 達男 兼重	考古学雑 誌	56—2
上代裂の染色に関す る化学的研究 4	高木 豊	書陵部紀 要	21	北海道檜山郡宮ノ沢 遺跡	渡辺 兼庸 松崎 水穂	ス	56—1
広東錦	今永 清士	国 華	923	青森県下北郡大畑町 二枚橋出土の土器石 器について	須藤 隆	ス	56—2
茶の裂地 1~12	守田 公夫	淡 交	24—1~ 12	群馬県新治村「役場 遺跡」と出土遺物に ついて	塚田 光孝 芝崎 哲也 戸田	ス	56—1
美を競う世界の織物 石道寺神前神社蔵種 子刺繍襦について	北村 哲郎	生活芸術 ミュージ アム	248	利根川流域の石器時 代文化の研究から	西村 正衛	考古学ジ ャーナル	44
衣装にみる戦国武将 の趣向	伊藤 敏子	茶道雑誌	34—3	埼玉県行田市長野神 明遺跡について	塩野 博	考古学雑 誌	55—4
桃山・江戸前・中期 の産衣十三領につい て 上、中	神谷 栄子	美術研究	267, 272	千葉県小見川町阿玉 台貝塚—東部関東に おける縄文中・後期 文化の研究 2	西村 正衛	早大教育 学部学術 紀要	19
近世初期の染織技術 一部分の彩色法の出 現	北村 哲郎	ミュージ アム	237	松戸市稲台富山遺跡	関根 孝夫 木下 正史	考古学雑 誌	55—4
家康公の辻ヶ花染衣 服 統一2	徳川 義宣	大 日 光	35	東京都船田遺跡にお ける集落跡の調査	八王子市船 田遺跡調査 会	考古学ジ ャーナル	40
岡山美術館所蔵 能 衣装		奈良国立 文化財研 究所年報	1969年	静岡県大石ヶ原千居 遺跡の発掘調査	小野 慎一	ス	48
「續麻録」と越後ち まみ	樋口 秀雄	ミュージ アム	237	富山県婦負郡小竹貝 塚	高瀬 保	考古学雑 誌	55—3
18世紀中国の絹織	渡 辺	カラーデ ザイン	16—1	馬場川遺跡の調査— 縄文晩期の集落と生 活	藤井 直正	月刊文化 財	82
コーカサスラッグ	ス	ス	16—2	讃岐広島心経山の弥 生遺跡	遠藤 順昭 町田 章	古 代 学	17—2
18・9世紀インドの 染織	ス	ス	16—3	佐世保市の先史文化 概観	下川 達弥	考古学ジ ャーナル	44
ガラス工・玉工				下本山岩陰の調査	麻生 優	ス	50
ガラスの世界	香取 忠彦	日本美術	69	熊本市沼山津貝塚と 出土土器	富田 紘一	ス	ス
瑞鳳塚出土玻璃杯雑 感	相馬 隆	萌 春	192	装飾古墳—日本人の 造形感覚をさぐる	江川 和彦	古 美 術	31
玉作から見た邪馬台 国の所在—玉類関係 記事の検討と硬玉を 中心として—	寺村 光晴	考古学ジ ャーナル	47	神奈川県における横 穴古墳の線刻壁画	赤星 直忠	考古学ジ ャーナル	48
考 古 学				湖北の古墳とその世 界	丸山 龍平 福岡 澄男	古 美 術	29
青森県における埋蔵 文化財保護の現状と 問題点	橘 善光	考古学ジ ャーナル	42	土偶の新資料	福田 友之	考古学ジ ャーナル	40
佐賀県における緊急 発掘とその問題点	木下 元治	ス	47	配石を伴う土偶の出 土例	葛西 励	ス	50
熊本県における緊急 発掘とその問題点	隈 昭志	ス	43	青森県最花貝塚の土 偶	橘 善光	ス	ス
型式学的方法への試 論	大井 晴男	考古学雑 誌	55—3	顔面把手新例紹介	江坂 輝也	ス	44
擦文文化研究の現況 1, 2	桜井 清彦	考古学ジ ャーナル	43, 44	埼玉県後谷遺跡出土 の土笛	吉川 国男	考古学雑 誌	56—1
				大木式土器理解のた めに 6	興野 義一	考古学ジ ャーナル	48
				縄文のランプ	藤森 栄一	日本美術 工芸	382

沖積地発見の縄文中期の遺物	町田 信	考古学ジャーナル	48	十三塚の歴史的一考察	段木 一行	三浦古文文化	8
京都府丹後市津波遺跡出土の埴輪水紋土器	坪倉 利正	考古学雑誌	56—2	播磨大蔵院考	玉村 竹二	東大史料編纂所報	4
秋田県大曲市宇津ノ台遺跡の弥生式土器について	須藤 隆	文 化	33—3	花蕊夫人の宮詞	原田 淑人	月刊文化財	79
古墳出土の盒	西谷 真治	考古学雑誌	55—4	敦煌本舜子変文・董永変文と我が国説話文学	川口 久雄	東 方 学	40
円筒土器の分布	村越 潔	考古学ジャーナル	43	フォン・カバイン著「高昌のウイグル王国」について 3	鷺見 東観	愛知教育大学研究報告	19—人文科学編
九条兼実と経塚	保坂 三郎	月刊文化財	83	眼玉考	相馬 隆	萌 春	190
九州の経塚	小田富士雄	仏教芸術	76	スキタイとウラルトウ	シ	シ	191
文化史・雑				安息国通貨銘文資料	シ	ミュージアム	237
インド仏教思想史の基礎づけのために	荒牧 典俊	東方学報	京都41	胡騎考—安息の騎兵に就いて	シ	考古学雑誌	56—2
仏教の伝来は工人の渡来頃説	たなかしげひさ	史迹と美術	401	猿園考	シ	シ	55—4
鑑真和上の律宗	徳田 明本	南都仏教	24	フェニキア紫維考	シ	ミュージアム	227
晩年の忍性と西大寺	和島 芳男	シ	シ	古文書の再吟味・醍醐味 上	中村 直勝	日本美術工芸	383
乾徳寺開山会通和尚伝	中野 正典	史迹と美術	408	百万塔陀羅尼「印刷物」について	中田 祐夫	古 美 術	32
法華八講と道長の三十講 上, 下	山本 信吉	仏教芸術	77, 78	京岡右京の小泉について	杉山 信三	史迹と美術	410
藤原道長の浄妙寺 13~15	波多野忠雄	史迹と美術	401, 402, 404	床の間と掛軸の関係 3	江馬 務	茶道雑誌	34—3
蔵骨と納骨について—概念規定の必要性和中世信仰の課題	奥野 義雄	元興寺仏教民俗資料研究所年報	3	奈良茶人の系譜—松屋久重・長閑堂・小堀遠州	森 蘊	大和文化研究	143
やぐら発生の時期と吾妻鏡の記載について	平田 伸夫	史迹と美術	404	大阪の洋学	有阪 隆道	泊 園	9

単行図書

総説

- 美学2. 第一部—美的なもの
の特性 ルカーチ(G) 勁草書房
木幡順三訳
- 美と弁証法<叢書・ウニベ
ルシタス> (ジェルジ) 法政大学出版
良知 力 局
池田 貞夫
小箕俊介訳
- 美学における自然と現実
表現の美学<紀伊国屋新
書> 金田 民夫 創文社
川桐 信彦 紀伊国屋書店
- 拒絶と沈黙—芸術家と昌隆
者の思想 伊藤 勝彦 勁草書房
- オルテガ著作集3. 芸術論
集 神吉敬三訳 白水社
- 美と豪華と静謐と悦楽と—
レオナルド・ダ・ヴィンチ
の周辺<三省堂ブックス> 小野 健一 三省堂
- シンメトリー ヴァイル
(ヘルマン) 紀伊国屋書店
遠山 啓訳
- 女体の美 シュトラッ
ツ(C・H) 刀江書院
高山洋吉訳
- 現代の美学
1. 現代芸術への視点 菅井幸雄他 啓隆閣
3. 日本的情念論 中村新太郎
他
- 現代芸術論叢書
見者の美学 江原 順弘 文堂
私のダダ 〃 〃 〃
芸術マイナス1 大岡 信 〃
サド復活 渋谷 竜彦 〃
芸術の前衛 針生 一郎 〃
針生一郎評論
4. 歴史の辺境 針生 一郎 田畑書店
5. サドの眼 〃 〃 〃
6. 遊撃クロニクル 〃 〃 〃
- 芸術論 フロイド
(S) 日本教文社
高橋 義孝
池田紘一訳
- 芸術論ノート 永井 潔 新日本出版社
マーツア 伊吹二郎他 啓隆閣
訳
- 20世紀芸術論
認識と芸術の理路 三浦つとむ 勁草書房
現代芸術入門 宮川 淳他 弥生書房
芸術心理学入門 中野 久夫 造形社
行為と芸術—十三人の作家 富岡多恵子 美術出版社
現代芸術の位相—芸術は思
想たりうるか 刀根 康尚 田畑書店

- 芸術の理路 寺田 透 河出書房新社
ヒューマニズムと芸術の哲
学<りぶらりあ選書> (T・E) 法政大学出版
長谷川鉦平 局
- 危機の結晶 岡田 隆彦 イザラ書房
幻影的現実のゆくえ 〃 田畑書店
呪われた美<三省堂新書> 中本 達也 三省堂
ヨーロッパの闇と光 高橋 巖 新潮社
グロテスク<コア・ブッ
クス> 近松 良之 毎日新聞社
- ザ・イメージ ボウルディ
ング(K・E) 誠信書房
大川信明訳
- 意味と無意味 メルロー・
(M) 邦文社
永戸多喜雄 訳
- 機械学宣言 中村 宏 仮面社
稲垣 足穂
- 近代芸術の誕生—文芸復興
の研究 小野 武雄 高文堂出版社
近代芸術の意味 粟津 則雄 未来社
表現における近代の呪縛 石子 順造 川島書店
- 美術様式論<美術名著選
書> リーグル
(アロイス) 岩崎美術社
長広敏雄訳
- 人類の美術
12. ギリシア・アルカイ
ク美術 シャルボノ
(ジャン) 新潮社
他 岡谷公二訳
13. 民族大移動期のヨー
ロッパ美術 ユベール
(ジャン) 〃
他 富永良子訳
- 西欧の芸術 1. ロマネスク
フオジョン
(ダンリ) 鹿島研究所出
版会
神沢 栄三
長谷川太郎
他訳
- 世界の文化史12. ロマネ
スク・ゴシックの聖堂 柳 宗玄編 講談社
ミケランジェロの怖れ 山元 一郎 法律文化社
- エ
マニエリスム上, 中, 下
<美術名著選書> ハウザー
(アーノ
ルド) 岩崎美術社
若桑みどり
訳
- バロック論 ドールス
(エウヘ
ニオ) 美術出版社
神吉敬三訳
- ロココ—十八世紀のフラン
ス ベーン(M
・V) 理想社
飯塚信雄訳

象徴主義と世紀末芸術	ホーフシュテッター (ハンス・H) 種村季弘訳	美術出版社	12. エジプト	シ	シ
アール・ヌーヴォー<世界大学選書>	マドセン (S・T) 高階秀爾 千足伸行訳	平凡社	13. インド・西アジア	シ	シ
抽象の形成<紀伊国屋新書>	二見 史郎	紀伊国屋書店	現代世界美術全集		
シュルレアリスムの彼方へ	飯島 耕一	イザラ書房	2. モネ	座右宝刊行 会編	集英社
セリ・シュルレアリスム2. 夢の軌跡	A・ブルドン 編 清岡卓行他 訳	国文社	7. ゴーギャン	シ	シ
二十世紀アメリカ美術	ローズ(パ ーバラ) 桑原住雄訳	美術出版社	8. ゴッホ	シ	シ
幻覚芸術	蟻 二郎	晶文社	9. ロートレック	シ	シ
フランス文化史<人文選 書>	デュビイ (ジョルジ ユ) マンド ルー(ロベ ール) 前川貞次郎 他訳	人文書院	4. ルノワール(普及版)	シ	シ
ルネサンス精神史<世界大 学選書>	ドレスデン (S) 高田 勇訳	平凡社	8. ゴッホ(シ)	シ	シ
世界文化史蹟別巻. インカ の遺蹟	泉 靖一編	講談社	キリスト教図像学	パコ(マル セル) 松本富士男 増田治子訳	白水社
ダリウスの遺産—ペルシャ ・メソポタミア文明	並河 万里	河出書房新社	キリスト教図像辞典	モーリ(C ・R) ファーガソ ン(G) 中森義宗訳 編	近藤出版社
アンコール・ワット	藤岡 通夫 恒成一訓	毎日新聞社	造形芸術の基礎—パウハウ スにおける美術教育	イッテン (ヨハネス) 手塚又四郎 訳	美術出版社
世界の美術館	ヴェッツォ ルト(シユ テファン) 前川 誠郎	講談社	現代美術野外フェスティバ ル	ブロンズ社 編集部	ブロンズ社
27. ベルリン美術館	カニンガム (チャール ズ・C) 編	シ	日本美術史<筑摩総合大 学>	水尾比呂志	筑摩書房
28. シカゴ美術館	辻 茂編	シ	美術史—日本	久野 健 辻 惟雄 永井信一編	近藤出版社
29. プレラ美術館	ミリアディ ス(ヤンニ ス) 沢柳大五郎 編	シ	日本仏教美術史叙説	亀田 孜	学芸書林
30. ギリシャ国立美術館	上野照夫編	シ	孔雀文様の旅—正倉院から ローマまで	森 豊	講談社
32. カルカッタ美術館	京都国立博 物館監修	シ	聖徳太子<東洋美術選書> 29>	上原 和 原田 実	三彩社
33. 京都国立博物館			岡倉天心<シ>	色川大吉編	中央公論社
エルミタージュ美術館	富永 惣一 谷川 徹三 西脇 順三 監修	恒文社	岡倉天心集<日本の名著 29>	岡倉 天心 浅野 晃 植田 寿蔵	角川書店
1. ゴシックとルネサンス の芸術			東洋の理想—特に日本美術 について<角川文庫>	安田 武 多田道太郎 編	創文社
4. 近代フランスの芸術 (1)	シ	シ	日本の美の論理	西田 正好 竹山 道雄	創元社
5. シ (2)	シ	シ	日本の美術	中村 直勝	新潮社
原色世界の美術			日本の美	橋本 喜三	学生社
5. スペイン・ポルトガル	座右宝刊行 会編	小学館	日本人と美		三彩社
9. イギリス(2)	シ	シ	日本想芸史		
			日本美術の女性たち		
			原色日本の美術		
			1. 原始美術	斎藤 忠 吉川 逸治	小学館
			11. 水墨画	田中 一松 米沢 嘉圃	シ
			21. 甲冑と刀剣	尾崎 元春 佐藤 寒山	シ
			22. 書	堀江 知彦	シ
			25. 南蛮美術と洋風画	坂本 満 菅瀬 正雄 成瀬 不二雄	シ

単行図書

奈良六大寺大観

6. 薬師寺(全) 奈良六大寺大観刊行会編 岩波書店

8. 興福寺(2) シ

9. 東大寺(1) シ

秘宝

1. 法隆寺(上) 石田茂作 講談社

2. シ(下) シ

美術撰集(1)~(7)

奈良の寺シリーズ<カラーボックス>

3. 室生路の寺 村井康彦 保育社

4. 飛鳥路の寺 杉本入江 苑子 泰吉

5. 薬師寺・唐招提寺 永井路子 泰吉

6. 興福寺 小西正文 泰吉

7. 東大寺 青山茂 泰吉

佐和隆研 西国札所会編 社会思想社

西国巡礼<現代教養文庫>

日本文化の歴史

11. 近代への溶明一江戸後期 奈良本辰也 赤井達郎編 学習研究社

12. 開化の日本一明治前期 小西四郎 宮川寅雄編

13. 自我と国家一明治から大正へ

14. 重き流れ一明治から昭和へ

15. 参加する大衆一現代 針生一郎 加藤秀俊編

16. 伝統と創造一総論 和歌森太郎 他編

明治の文化<日本歴史叢書> 色川大吉 岩波書店

明治文化全集・補巻1・維氏美学 明治文化研究会編 日本評論社

明治文化研究

神奈川県美術風土記一幕末明治初期編 神奈川県立美術館編 有隣堂

日本史4一キリシタン伝来のころ<東洋文庫> フロイス(レイス) 柳谷武夫訳 平凡社

南蛮のバテレン一東西交渉史の問題をさぐる<NHKボックス> 松田毅一 日本放送出版協会

文化財保護の現状と問題 文化庁編 大蔵省印刷局

古美術品保存の知識 登石健三編 第一法規出版

国宝・重要文化財案内 毎日新聞社編 毎日新聞社

仙台の文化財 仙台市教育委員会編 仙台市教育委員会

名古屋の史跡と文化財 名古屋市教育委員会 名古屋泰文堂

四国一文化財を訪ねて

現代美術総覧一洋画・彫刻編

現代美術家事典

日本美術年鑑 44年版

美術年鑑 昭和45年版

美術人年鑑 45年版

Arts Of China

絵画

絵画とその周辺

ラオコン一絵画と文学との限界について<岩波文庫>

近代フランスのデッサン

印象主義の戦い

夜の画家たち一表現主義から抽象へ

キュビズムへの道<SD選書>

ダダ宣言

鏡の前の幻想

禁断の絵本一幻想と美と陶酔と

古代から現代へ一私の絵画思考

近代絵画五十人集

芸術の慰め

抵抗の画家

贋作

ヴァン・エイク兄弟

デューラー

ラファエルロ

ベラスケス

フェルメール

世界の巨匠シリーズ

四国四県文化財保護推進連絡協議会編

現代出版機構編

美術出版社編

東京国立文化財研究所編

美術年鑑社編

日本美術振興会編

米沢嘉圃 河北倫明

寺田透 弘文社

レッシング 齋藤栄治訳 岩波書店

ケネスロヴァ (ガブリエラ)

杉本公子訳

ドベルビル (アンリ) 中山公男訳

坂崎乙郎

カーンワイラー (D・H)

千足伸行訳

ツァラ (トリスタン)

小海永二 鈴村和成訳

坂崎乙郎

山下論一

難波田竜起

マリア書房編

福永武彦

須山計一

アーヴィング (クリフォード)

関口英男訳

美術出版社編

シ

シ

シ

シ

第一法規出版

現代出版機構

美術出版社

大蔵省印刷局

美術年鑑社

美術評論社

講談社インターナショナル

弘文社

岩波書店

岩崎美術社

毎日新聞社

造形社

鹿島研究所出版会

竹内書店

学芸書林

KKベストセラーズ

造形社

マリア書房

講談社

造形社

早川書房

美術出版社

シ

シ

シ

シ

ブッサン	フリードレンダー(W) 若桑みどり訳	美術出版社	24. ドーミエ	佐々木英也	シ
アングル	ローセンブラム(R) 中山公男訳	シ	25. クールベ	新 規矩男	シ
エミール・ノルデ	ハフトマン(W) 宝木 範義 大高保二郎訳	シ	26. マネ	富永 惣一	シ
美術家評伝双書			27. モネ	松方 三郎	シ
デュラー	前川 誠郎	岩崎美術社	33. ゴーガン	吉川 逸治	シ
ドガ	大島 清次	シ	34. ヴァン・ゴッホ	生野 幸吉	シ
ブレイク	岡本謙次郎	シ	35. ロートレック	粟津 則雄	シ
セザンヌデッサン集	シブリーク (イー・ジー) 千足伸行訳	シ	38. アンソール	久保貞次郎	シ
ロートレックのデッサン< 双書美術の泉13>	大島 清次	シ	39. グスタフ・クリムト	坂崎 乙郎	シ
ゴヤ	リオン・ フォイヒト ヴァンガー 坂崎乙郎訳	美術出版社	43. ユトリロ	宇佐見英治	シ
ゴーガン私記<美術選書>	ゴーガン (ポール) 前川堅市訳	シ	44. モディリアニ	矢内原伊作	シ
ファン・ゴッホ書簡全集 (2)~(6)	ゴッホ (フ ァン) 宇佐見英治 二見史郎他 訳	みすず書房	48. シャガール	黒江 光彦	シ
ゴッホの手紙(下)<岩波 文庫>	ゴッホ・ボ ンゲル(J ・V) 碓伊之助訳	岩波書店	54. ブラック	大岡 信	シ
パウル・クレー	土方定一監 修	求 龍 堂	57. シケイロス	利根山光人	シ
ダリ	ダリ (サル バドール) 滝口修造訳	河出書房新社	58. エルンスト	渋沢 龍彦	シ
ダリとダリー自分自身への 公開状	サルバドール・ダリ 飯島耕一訳	二 見 書 房	絵画に見る日本の美女<カ ラーブックス>	中村 溪男	保 育 社
ダリ評論集	サルバドール・ダリ 小海 永二 他訳	国 文 社	絵巻物残欠の譜	梅津 次郎	角 川 書 店
ジョアン・ミロー視覚言語 としての芸術	スウィーニ ー(ジェー ムス・ジ ョンスン) 滝口 修造 飯島耕一訳	平 凡 社	源氏物語絵巻図鑑・新撰五 十四帖	後藤いづも	日本古典文学 振興会
ジョアン・ミローとカタルー ニヤ	ペルーチ (ジョアン) 滝口 修造 飯島耕一訳	シ	南蛮屏風	岡本 良知 高見沢忠雄	鹿島研究所出 版会
ファブリ世界名画集			歌合絵の研究一歌仙絵	森 暢	角 川 書 店
5. ラファエロ	摩寿意善郎	平 凡 社	歌麿の歌まくら秘画帖	画文堂編集 部編	画 文 堂
8. ボッショ	東野 芳明	シ	まくら絵	林 美一	三 崎 書 房
21. アングル	高階 秀爾	シ	浮世絵板画の画工たち	岸田 劉生	光風社書店
23. コロー	市原 豊太	シ	肉筆浮世絵	檜崎 宗重	講 談 社
			浮世四十八襲と百人女郎品 定	西川 祐信 東大寺鐸編	画 文 堂
			浮世絵師写楽	瀬木 慎一	学 芸 書 林
			写楽	中村 正義	ノーベル書房
			浮世絵一美人画(1)~(9)	毎日新聞社 「重要文化 財」委員会 編	毎日新聞社
			東海道五十三次裏表	清風書房編	清 風 書 房
			広重	鈴木 重三	日本経済新聞 社
			奇想の系譜	辻 惟雄	美術出版社
			近世日本絵画の研究	土居 次義	シ
			日本美の構造一東洋画論に 求める	吉村 貞司	三 彩 社
			応挙写生帖一草花編・昆虫 編・禽鳥編	円山 応挙 細野正信解 説	フジアート出 版
			日本名山図絵	谷 文晁	図書刊行会
			瀟湘八景扇面帖	池 大雅	中央公論美術 出版
			池霞樵・謝春星一十便十宜 画冊	川端 康成 神田喜一郎 田中 一松 他監修	筑 摩 書 房
			石濤黄山八勝画冊	シ	シ
			鉄斎	座右宝刊行 会編	集 英 社

単行図書

楠瓊州画集	滝谷 由亀 三 彩 社	ヨーロッパ・スケッチギャ ラリー	シ	シ
無名の南画家	加藤 一雄	蒸気機関車のある風景	富田利吉郎	ノーベル書房
東洋美術選書		鍋島紀雄遺作集	鍋島 登代	三 彩 社
祥啓	中村 溪男 三 彩 社	一本の釘	平賀 亀祐	求 龍 堂
宗達	村重 寧	真垣武勝風景画集	真垣 武勝	青 娥 書 房
等伯	脇坂 淳	印刷画集—銀鍍	山本美智代	前 衛 社
春信	小林 忠	日本画家辞典	沢田 章編	大学堂書店
竹田	佐々木剛三	この二十人の作家たち	二元会 編	読売新聞社
在外秘宝		初心者の絵画教室	佐々木侃司	金 園 社
1. 仏教絵画・大和絵・水墨画	島田修二郎 学習研究社	墨画入門<カラーボックス>	内山 雨海	保 育 社
2. 障屏画・琳派・文人画	島田修二郎	墨画の花—鑑賞とその描き方	シ	講 談 社
3. 肉筆浮世絵	橋崎宗重編	墨絵入門	峯岸魏山人	実業之日本社
日本絵画館		現代南画の描き方	直原 玉青	創 元 社
1. 原始・飛鳥	亀田 孔 講 談 社	西洋職人づくし<双書美術の泉II>	アマン(ヨースト)版 ザックス (ハンス)詩 小野忠重絵	岩 崎 美術 社
3. 平安(2)	白畑 よし 浜田 隆	ゴヤ・闘牛技	坂崎乙郎解説	美術出版社
7. 江戸(1)	千沢慎治編	版画集・愛と怒り	コルヴィッ ツ(ケーテ) 箕田源二郎 解題	岩 崎 美術 社
8. 江戸(2)	古沢 忠 橋崎宗重編	キリストの受難	ビュッフェ (ベルナル)	求 龍 堂
9. 明治	隈元謙次郎 岡 畏三郎	長崎古板画	野々上慶一 編	三 彩 社
日本の絵画—国宝50選	毎日新聞社 毎日新聞社	岡鹿之助版画集 1.	岡 鹿之助	加藤版画研究 所
上村松園	三彩社編 三 彩 社	山本鼎版画選 4. 5.	山本 鼎	山本鼎記念館 友の会
東山魁夷	東山 魁夷	棟方志功板画大欄(付英文 解説)	棟方 志功	講 談 社
臥竜—丸木位里墨画集	九木 位里 造 形 社	棟方志功芸業大韻	シ	シ
禅画のこころ	淡川 康一 雄 渾 社	現代版画	池田満寿夫	筑 摩 書 房
ジョルジュ・ビゴー画集— 明治を写した仏人風刺画 家伝	清水 勲編 美術同人社	池田満寿夫	加納 光於	シ
浅井忠	隈元謙次郎 日本経済新聞 社	加納 光於	駒井 哲郎	シ
幻想の画家青木繁	木元 光夫 造 形 社	菅井 汲	菅井 汲	シ
近代の美術 1. 青木繁と浪 漫主義	河北倫明編 至 文 堂	菅井汲版画集	シ	美術出版社
日本の山脈	足立源一郎 著 溪 堂	原爆の長崎—上野誠平和版 画集	上野 誠	新 宿 書 房
梅原龍三郎	三 彩 社 編 三 彩 社	野に叫ぶ人々—足尾銅山鉦 毒事件連作版画集	小口 一郎	明 治 文 献
私のシベリア	香月 泰男 文 芸 春 秋	現代マンガの思想	石子 順造	太 平 出 版 社
水彩素描麗子於松	岸田 劉生 求 龍 堂	新しい世界	スタインバ ーグ(リール)	シ
佐伯祐三	坂本 勝 日 動 出 版 部	Studies in Nature <Masterworks of Ukiyo -E>	ローゼンバ ーグ(ハロ ルド)	みすず書房
坂本繁二郎作品全集	坂本 薫 河北 倫明 五我 五千男 編	Studies in Nature <Masterworks of Ukiyo -E>	滝口修造文	シ
画集火の山	曾宮 一念 木 耳 社			
行人の画帖	竹久 夢二 日 東 書 院			
子供の世界	シ			
素描夢二の女	シ			
初恋のころ—竹久夢二詩画 集	ノーベル書 房編			
しらけろ—高塚省吾絵ツ声 集	高塚 省吾			

Hokusai<Color Books> 菊地 貞夫 保 育 社
Chinese Masters of the 17 th Century Contag (Victoria) Charles Tuttle Co.
Mountains of the Mind Wetherby (Meredith) Weather-hill
Wood-block Print (Primer) 徳力富吉郎 ジャパン・パブリケーションズ

彫 刻

芸術と革命 バージャー (J) 雄 軍 社
彫刻家との対話<弥生選書> アラン 杉本秀太郎 弥 生 書 房
日本の彫刻 毎日新聞社 毎日新聞社
彫刻と技法 乗松 巖 近 藤 出 版 社
仮面と神像 朝日新聞社 朝 日 新 聞 社
世界の仮面と神像 岡本 太郎 泉 靖一 梅棹忠雄編 デシャルス (R) ジャブラン (J・F) 美術出版社
オーギュスト・ロダン 新庄嘉章訳 グセル (ポール) 角 川 書 店
ロダンの言葉<角川文庫> 古川達雄訳
高村光雲懷古談 高村 光雲 新人物往来社
荻原守衛一忘れえぬ芸術家 林 文雄 新日本出版社
わたしのどろ箱 木内 克 求 龍 堂
古代インドの石彫 佐藤宗太郎 河出書房新社
日本の石塔 若杉 慧 木 耳 社
日本の石仏 水尾比呂志 細井 良雄 鹿島研究所出版会
仏像をたずねて 昭和仏典刊行振興会編 文 進 堂
生きている仏像たち—日本彫刻風土論<読売選書> 丸山 高一 読 売 新 聞 社
日本仏教彫刻史の研究 毛利 久 法 蔵 館
日本彫刻史資料集成 5 丸尾彰三郎 他編 中央公論美術出版
Buddhist Images<color Books> 入江 泰吉 青山 茂 保 育 社
Topsy-Turvies Anno (Mitsumasa) Weather-hill
Charm in Motion—a collection of moviles 品川 匠 ジャパン・パブリケーションズ

工芸・デザイン

日本名匠列伝<現代教育文庫> 江崎 俊平 社 会 思 想 社

乾山<東洋美術選書> 佐藤 雅彦 三 彩 社
原色日本の名陶—古伊万里と柿右衛門 今泉 元佑 雄山閣出版K
古伊万里染付皿 山上 朔郎
九谷一色絵の名陶 高橋 勇 北 国 出 版 社
現代陶芸図鑑 3. 黒田 領治 光 芸 出 版
5. 素木 洋一 技 報 堂
図解工芸用陶磁器 出光美術館選書
1. 仙厓 古田 紹欽 平 凡 社
2. 中国陶磁 (上) 小山富士夫
3. 中国古銅器 杉村 勇造
4. ペルシャ陶器 三上 次男
陶芸の技法 田村 耕一 雄山閣出版K
やさしい陶芸入門 那須田 茂 造 形 社
楽茶碗の作り方 江川拙斎編 光 芸 出 版
皿と私 光芸出版編
飛鳥白鳳の古瓦 奈良国立博物館編 東 京 美 術
近世漆器工業の研究 半田市太郎 吉川弘文館
紋<日本染織芸術叢書> 北村 哲郎 芸 艸 堂
加賀友禅 木村雨山監修 北 国 出 版 社
国立故宮博物院—緯緯刺繍 蔣 復聰 学 習 研 究 社
世界文様図鑑 岡登貞治編 東 京 堂 出 版
日本の文様
1. 菊 西村 兵部 光琳社出版K
吉田 光邦
河原 正彦
2. 車 源 豊宗他
3. 梅 西村 兵部
日本の文様
8~10. 染色編 日本文様研究会編 フジアート出版
11~15. 繡と箔編
染織名作集 6. 縫箔
色と文様・江戸 (上) 1 田畑喜八編 光村推古書院
色と文様・桃山慶長編 3~10
色と文様・辻が花編 10
色と文様・辻が花編
日本の造形
1. 木組 清家 清 淡 交 社
水尾比呂志 吉田 光邦
2. 竹編
3. 紙折
バウハウス<美術選書> 利光 功 美術出版社
デザインスクール 伊藤 幸作 ダヴィット社
色彩論<岩波新書> 稲村 耕雄 岩 波 書 店
イリュージョン・デザイン—知覚・想像力・空間 海野 弘 造 形 社
田中 紀男

単行図書

デザイン創造1. 論理するデザイン	川喜多煉七郎	改造社	年鑑広告美術'70	東京アートディレクターズクラブ編	美術出版社
現代デザイン講座3. デザインの創造	菊竹清訓他監修	風土社	Tamba Pottery	Phodes (Daniel)	講談社インターナショナル
日本デザイン小史	日本デザイン小史編集同人編	ダヴィッド社	Japanese and Oriental Ceramics	Gorham (Hazel・H)	Charles E Tuttle Co.
デザイン馬鹿1. もうひとりのデザイナー<ブルーボックス>	大出 才無	鳳山社	The Art of the Japanese Screen	Grili (Elise)	Weatherhill
真鍋博のエキスポファンタジー	真鍋 博	シ	建 築		
栗津デザイン図絵	栗津 潔	田畑書店	建築史	堀口捨巳他	オーム社
ピーター・マックス画集	マックス (ピーター) 岡村孝一訳	早川書房	建築学大意	永井 久雄	理工図書KK
愛	シ	シ	近代建築再考<SD選書>	藤井正一郎	鹿島研究所出版会
想い	シ	シ	世界建築宣言文集	コンラーツ (ウルリヒ) 編 阿部公正訳	彰 国 社
神	シ	シ	建築と都市—デザインおぼえがき	丹下 健三	シ
平和	シ	シ	人間と建築—デザインおぼえがき	シ	シ
ヨーロッパのグラフィックデザイナー(1) (2)	美術出版社編	美術出版社	人間の建築<井上新書>	菊竹 清訓	井上書院
アメリカのグラフィックデザイナー(2) (3)	シ	シ	人間の都市	シ	鹿島研究所出版会
シルク・スクリーン<新技法シリーズ>	植田 理郎	シ	生ける建築のために<美術選書>	イエーディゲ (ユルゲン) 阿部公正訳	美術出版社
新版デザイン技法ハンドブック	高橋 正人	ダヴィッド社	どこに住むべきか	エックハルト (ヴォルフ・フォン) 小沢 明 渋谷盛和訳	彰 国 社
ニュー・イラストレーション・テクニク	荻場 修	誠文堂新光社	対談・現代建築—都市空間の原点を求めて	川添 登 楓 文彦	筑摩書房
イラストレーション・ノート	KKパブリシティ編	グラフィック社	都市環境の演出	ハルブリン (ローレンス) 伊藤ていじ訳	彰 国 社
イラストレーション年鑑—1969	東京イラストレーターズクラブ編	講談社	都市の本質	ヒルベルザイマー (L) 渡辺明次訳	シ
イラスト事典	現代デザイン研究所	ダヴィッド社	多層空間都市—アメリカに見るその明暗と未来<べりかん双書5>	マンフォード (L) 神保登代訳	べりかん社
英字レタリング・ノート	KKパブリシティ編	グラフィック社	アーバン・ランドスケープデザイン	ガレット・エクボ 久保 貞訳	鹿島研究所出版会
精説英字デザイン	河原 英介	邦文社	記念碑都市	小川 博三	技報堂
和英文字レタリング	古沢 恒敏	金園社	EXPO'70の建築	「建築生産」編集部編	工業調査会
日本字デザイン<文字のデザインテキスト1>	佐藤敬之輔	丸善KK	日本万国博の建築	朝日新聞社編	朝日新聞社
日本字レタリングメソッド	深沢 春郎	理工学社	現代建築家の思想	中 真己	近代建築社
日本字レタリング	上原 昌 深野 匡	講談社	現代建築をひらく人びと2	ヘイヤー (ポール) 稲富 昭訳	彰 国 社
レタリング演習—明朝体	河原 英介	グラフィック社			
江戸文字	日向数夫編	シ			
フォト・レタリング	馬場 雄二	ダヴィッド社			
レンダリング入門	日野 永一	鳳山社			
紙のかたち	尾川 宏	美術出版社			
おもちゃ	福田 繁雄	シ			
香月泰男のおもちゃ筐	福島慶子編	求龍堂			
ACC/CM 年鑑'70	全日本CM協議会編	三彩社			

建築家の世界—その職能と実務	グラッド (バーナード・ジョーン) 藤井正一郎 訳	彰 国 社	古建築	藤原 義一	河 原 書 房
ライトの建築論	ライト (フ ランク・ロ イド) 谷川 正己 谷川睦子訳	シ	日本の神社仏閣	毎日新聞社 編	毎日新聞社
巨匠ミースの遺産	山本 学治 稲葉 武司	シ	奈良時代建築の研究	浅野 清	中央公論美術 出版
自伝アントニン・レーモン ド	レーモンド (アントニ ン) 三沢 浩訳	鹿島研究所出 版会	营造法式の研究	竹島 卓一	シ
Bruce Goff と建築	毛利武信編	建築プランニ ングセンター	日本城郭事典	大類伸監修	秋 田 書 店
ピエール・ルイージ・ネル ヴィ、フェリックス・キャ ンデラ<現代建築家シリー ズ>	二川 幸夫 坪井 善勝 木村 俊彦	美術出版社	日本の城	井上 宗和	河出書房新社
現代建築家全集			日本の古城1. 中部・近畿 編	藤崎 定久	新人物往来社
6. 谷口吉郎	栗田勇監修	三 一 書 房	豊臣秀吉の居城—大阪城編	桜井 成広	日本城郭資料 館出版会
9. 白井晟一	シ	シ	東照宮<SD選書>	大河 直躬	鹿島研究所出 版会
10. 丹下健三	シ	シ	今日の数寄屋造り	浦島 勇	井 上 書 院
18. 大谷幸夫・大高正人	シ	シ	合掌づくり—くらしと風土	岩田 慶治	淡 交 社
黒川紀章の作品	黒川 紀章	美術出版社	そ の 他		
建築馬鹿第2集	矢田 洋	鳳 山 社	幼児画の謎—根源フォルム の探究	グレイ ンゲル(W) 鬼丸吉弘訳	黎 明 書 房
ボロブドールの建築	千原大五郎	原 書 房	子供の絵と教育	北川 民次	創 元 社
9 中国の建築	竹島 卓一	中央公論美術 出版	フィレンツェだより	リルケ (R ・M) 森 有正訳	筑 摩 書 房
ゴシック<世界の建築>	ホーフシュ テッター (ハンス・ H) ベルジ (ルネ) 飯田喜四郎 訳	美術出版社	ヴィーナスの神話<美術選 書>	矢島 文夫	美術出版社
住宅論	篠原 一男	鹿島研究所出 版会	メキシコの美—よみがえる 民族の声	利根山光人	日本放送出版 協会
ヨーロッパの住宅建築	カンタクセ ーノ (S) 山下和正訳	シ	ラ・フォンテーヌ寓話	窪田般弥訳	社会思想社
住宅生産の工業化	ボノム (カ ーミュー)、 レオナル (レイ) 水田喜一郎 松谷蒼一郎 訳	シ	歎美抄—東洋美術の諸相	矢代 幸雄	鹿島研究所出 版会
			壺のある風景	青柳 瑞穂	日本経済新聞 社
			東行西行	河北 倫明	三 彩 社
			壺中天	北川 桃雄	光風社書店
			絵のある手紙	木村 荘八	中央公論美術 出版
			オブジェを持った無産者	赤瀬川原平	現代思潮社
			古色大和路	入江 泰吉	保 育 社
			語らばやな古社寺	中村 直勝	学 生 社
			世界のにっぽん—一次代を担 う作家たち	美術報知社 編	美術報知社

印刷 昭和47年3月20日
発行 昭和47年3月28日

日本美術年鑑

昭和46年版

編集者 東京国立文化財研究所美術部
(美術研究所)

発行所 東京国立文化財研究所
東京都台東区上野公園12-53
電話 (823) 2241

印刷所 大蔵省印刷局
東京都港区赤坂葵町2番地
電話 (582) 4411

本年鑑は下記の販売所で1部2,000円で取扱っております。

政府刊行物普及販売所一覧

官報・政府刊行物のご相談、ご注文は下記普及販売所をご利用下さい。

●政府刊行物サービス・センター (大蔵省印刷局直営)

(名称)	(所在地)	(電話番号)	(電話)	(振替番号)
霞が関大手町	東京都千代田区霞が関1の2(森有朋別館前)	100	東京 591 1924-1925	東京 68492
大蔵省	東京都千代田区大手町1の3の2	100	東京 211 5570-7095	東京 59843
大蔵省	大蔵省東区大手町2の2(合同庁舎2号館内)	540	大阪 945 1681-1682	大阪 13413
大蔵省	名古屋市中区三の丸2の5(合同庁舎2号館内)	400	名古屋 951 9205-9341	名古屋 29773
大蔵省	福岡市博多区博多駅東2の11の1	812	福岡 411 6201-6204	福岡 17603
札幌	札幌市中央区北3条西4丁目	060	札幌 241 7211-7213	小樽 9549
広島	広島市上八丁堀6番30号(合同庁舎2号館内)	730	広島 222 6012-6013	広島 30302

●政府刊行物サービス・ステーション (官報販売所)

(名称)	(所在地)	(電話番号)	(電話)	(振替番号)
札幌	札幌市中央区北3条西7丁目1	060	札幌 241 0975	小樽 13995
青森	青森市南大通1丁目7番16号(今泉書店)	030	青森 521 3811	小樽 31390
仙台	仙台市青葉区中央1丁目15の2号	022	仙台 222 2984	小樽 255
仙台	仙台市青葉区中央3丁目11番6号	022	仙台 222 6486	小樽 1349
仙台	仙台市青葉区中央2の2の2(石川書店)	010	仙台 222 2129	小樽 300
山形	山形市本町2丁目4の11号(八文字屋)	990	山形 222 2150	山形 150
福島	福島市大町7の20(福島西沢書店)	900	福島 242 0161~2	山形 249
水戸	水戸市泉町2の2の31(川又書店)	310	水戸 241 2047	東京 5441
宇都宮	宇都宮市法政町3234(東英堂書店)	320	宇都宮 321 2732-3533	宇都宮 558
前橋	前橋市本町1丁目3の4号(松平堂)	371	前橋 241 8216	東京 134340
浦和	浦和市高砂1の7の9(駅前岩瀬書店内)	336	浦和 241 4259	東京 56788
熊谷	熊谷市本町1丁目169	360	熊谷 241 0400	東京 36201
千葉	千葉市美浜町299	230	千葉 241 7655	東京 196171
横浜	横浜市中区相生町4の74(横浜日経社)	231	横浜 241 2661~3	横浜 12493
横浜	横浜市中区本町1の2	231	横浜 241 0605	
東京	東京都千代田区神田御所町1の2	101	東京 241 1601(代)	東京 87035
東京	東京都渋谷区神南1の22の4(大塚堂書店内)	150	東京 464 7555	東京 144373
東京	東京都豊島区西池袋1の17の7(岩林堂書店内)	171	東京 384 1101(代)	東京 95618
立川	立川市栄町3の6の27(オカリナ書店内)	190	立川 241 2213	
新潟	新潟市東大通1の5の24(教科書ビル内)	950	新潟 241 5297	新潟 4570
富山	富山市中央通り2丁目5の6(中田書店内)	930	富山 241 1340	新潟 6001
金沢	金沢市片町2丁目1番7号(千尋堂書店内)	920	金沢 241 6136	金沢 631
福井	福井市福地2丁目1番19号(品川書店)	910	福井 241 0112	金沢 7848
甲府	甲府市中央4丁目2の18(藤正堂)	400	甲府 241 2201	甲府 333
長野	長野市大門町66の1(長野西沢書店)	380	長野 241 3185	長野 124
岐阜	岐阜市箕土屋町25	500	岐阜 241 2707	名古屋 25651
静岡	静岡市駿河区3丁目1番4号(鷹匠町通り)	420	静岡 241 2661	東京 96449
名古屋	名古屋市中区栄2丁目6番2号(川島書店)	460	名古屋 241 3703-4705	名古屋 563
名古屋	名古屋市中村区船内町2の33	450	名古屋 511 7451(代)	名古屋 1
豊橋	豊橋市呉服町40(豊川堂内)	444	豊橋 241 6588	名古屋 1766
津	津市中央5番21号(別所書店内)	514	津 241 3366	東京 13149
大津	大津市中央1丁目5番2号(沢五車堂)	520	大津 241 2683	東京 18033
京都	京都市中京区河原町六角下東入	604	京都 241 4444	京都 20028
大阪	大阪市西区土佐堀船町6(肥後橋前)	550	大阪 441 2171~3	大阪 57561
神戸	神戸市北區信保町1の15(天満橋北詰)	530	大阪 431 3861~2	大阪 63148
神戸	神戸市中央区北長狭通5丁目15の9	650	神戸 241 0637	神戸 9470
奈良	奈良市橋本町4の1(奈良明新社)	630	奈良 241 8844	大阪 91807
和歌山	和歌山市本町1の7(宮井平安堂)	640	和歌山 241 1331	大阪 62
鳥取	鳥取市若松町39(ロゴス文化会館内)	680	鳥取 241 2158	大阪 9035
松江	松江市殿町63(今井書店)	690	松江 241 2230	松江 185
岡山	岡山市駅前地下商店街(山田書房)	700	岡山 241 7048	岡山 286
広島	広島市福町3番55号(女学院南側)	730	広島 241 2868-2965	広島 5854
山口	山口市中区中央5の15の6	753	山口 241 0582	山口 1047
徳島	徳島市紙屋町3の18(小山助学館)	770	徳島 241 2135(代)	徳島 595
高松	高松市番町1の9の16	760	高松 241 6056-6056	徳島 15399
松山	松山市三番町4丁目6の13	790	松山 241 7879	徳島 1678
高知	高知市本町5丁目2の21	780	高知 241 5866	徳島 8791
福岡	福岡市中央区天神4丁目5番17号	810	福岡 241 1151	福岡 1177
北九州	北九州市小倉区城内1の1(北九州市役所内)	803	北九州 545 4124	
佐賀	佐賀市上通町1丁目2番18号	840	佐賀 241 3722	福岡 25088
長崎	長崎市出島町5番15号	850	長崎 241 1413	福岡 1619
熊本	熊本市上通町6番23号(長崎書店内)	860	熊本 241 0555	熊本 68
大分	大分市春日町5番22号	870	大分 241 4308	下関 9230
宮崎	宮崎市橘通西東3丁目1番6号(田中書店)	880	宮崎 241 5511	鹿児島 10680
鹿児島	鹿児島市中町12番7号(西本願寺前)	892	鹿児島 241 1591	鹿児島 113
那覇	那覇市泉崎1の4の6(琉球文芸図書K K)	900	那覇 241 1201	